

No.

神戸市

使用者名

# 神戸市建築・設備積算システム Ver.2

<機械設備工事編>

<取扱説明書>

平成 25 年 03 月 作成  
平成 26 年 02 月 改訂 1  
平成 26 年 10 月 改訂 2  
平成 27 年 03 月 改訂 3  
平成 27 年 08 月 改訂 4  
平成 28 年 06 月 改訂 5  
平成 28 年 08 月 改訂 6  
平成 29 年 06 月 改訂 7  
平成 30 年 06 月 改訂 8  
令和 元年 06 月 改訂 9

神戸市

		<b>目次</b>	<i>Page</i>
<b>1</b>		<b>セットアップの前に</b>	
	<b>1</b>	動作環境について	1
<b>2</b>		<b>神戸市建築・設備積算システムのセットアップ</b>	
	<b>1</b>	セットアップ時の注意事項	2
	<b>2</b>	セットアップの手順	2
	<b>3</b>	セットアップ後の認証について	9
	<b>4</b>	Microsoft Access データベースエンジンのインストール	10
	<b>5</b>	削除の手順	12
<b>3</b>		<b>神戸市建築・設備積算システムへのログイン</b>	
	<b>1</b>	ログイン時の[ユーザーID]と[パスワード]について	14
	<b>2</b>	ログインの手順	14
<b>4</b>		<b>神戸市建築・設備積算システムの基本操作</b>	
	<b>1</b>	ツリービュー表示について	17
	<b>2</b>	<b>画面表示について</b>	
	1	メインメニュー画面（「5. メインメニュー」<本書 P37>を参照）	18
	2	当該単価登録画面（当該基礎/名称変更代価/補足単価/代価等）	18
	3	内訳明細登録画面	19
	<b>3</b>	<b>ツリービューの操作について</b>	
	1	基本事項	20
	2	フォルダー・シートの新規作成	20
	3	フォルダー・シートの複写（コピー）	21
	4	フォルダー・シートのプロパティ設定	23
	5	フォルダー・シートの移動	24
	6	フォルダー・シートの削除	25
	<b>4</b>	<b>一覧入力時のツールボタン</b>	27
	<b>5</b>	<b>単価コードについて</b>	28
	<b>6</b>	<b>内訳明細・代価の計算コードについて</b>	29
<b>7</b>	<b>端数処理について</b>	30	
<b>8</b>	<b>コードの検索機能</b>	31	
<b>9</b>	<b>パターンコピー機能</b>	32	
<b>10</b>	<b>内訳書データベースの最適化</b>	36	

		<b>目次</b>	<i>Page</i>	
<b>5</b>		<b>メインメニュー</b>		
	<b>1</b>	<b>メインメニュー画面の表示項目について</b>	37	
	<b>2</b>	<b>メインメニューの機能について</b>		
		1	環境設定(基本設定)	38
		2	積算システムのアップデート(不具合修正・部分的な変更の発生時)	39
	3	積算基準改定に伴う表示について	40	
<b>6</b>		<b>内訳書の新規作成/保存・読み込み</b>		
	<b>1</b>	<b>内訳書の新規作成</b>	41	
	<b>2</b>	<b>内訳書の保存</b>		
		1	名前をつけて保存	42
		2	上書き保存	43
		3	バックアップ保存	44
		4	保存先フォルダーの既定値の設定	45
	<b>3</b>	<b>内訳書の金抜き保存</b>	46	
	<b>4</b>	<b>内訳書の読み込み</b>		
		1	内訳書の読み込み	49
		2	内訳書の読み込み先フォルダーの既定値の設定	51
		3	内訳書ファイルの追加登録	52
		4	読み込み先フォルダーの全内訳書ファイルを再登録	53
		5	新しい内訳書管理ファイルの追加	54
		6	内訳書情報の更新	55
		7	内訳書の読み込み時にメッセージが表示されて読み込み処理が中断する場合	55
	<b>5</b>	<b>内訳書の金入れ処理</b>	56	
<b>7</b>		<b>内訳書作成要領</b>		
	<b>1</b>	<b>使用単価ファイルの設定</b>		
		1	使用単価ファイルの設定	58
		2	配布単価のインストール(複写)	60
		3	積算基準改定に伴う表示について	62
	<b>2</b>	<b>設計書(甲表)の作成</b>		
		1	設計書(甲表)の作成	63
		2	設計書(甲表)の Excel 編集	64
		3	積算基準改定に伴う表示について	65
		4	甲表ファイル差し替え	66
<b>3</b>	<b>工事概要の入力</b>			
	1	工事概要の入力	67	

		<b>目次</b>	<i>Page</i>
<b>7</b>	<b>3</b>	2 積算基準改定に伴う表示について	69
	<b>4</b>	<b>消費税率の設定</b>	
		1 消費税率の設定	70
	<b>5</b>	<b>当該単価(6 頭コード)・複合単価 (7 頭コード) 登録・再計算</b>	
		1 当該単価登録画面の表示	71
		2 単価登録シートの基本設定	71
		3 当該基礎単価の登録～見積り比較	72
		4 当該基礎単価→複合単価の登録	75
		5 見積りメーカー数の変更(ルートプロパティの設定)	79
	<b>6</b>	<b>当該見積メーカー登録</b>	
	1 当該見積メーカー登録画面の表示	80	
	2 当該見積メーカーの登録	80	
<b>7</b>	<b>7</b>	<b>標準代価(8 頭コード)・複合単価 (9 頭コード) 登録・再計算</b>	
		1 当該標準代価登録画面の表示	83
		2 単価登録シートの基本設定	83
		3 共通代価の登録	85
		4 当該標準代価の登録→複合単価の登録	88
		5 搬入費代価の登録	92
		6 据え付け費代価の登録	95
		7 撤去費代価の登録	98
		8 ボックス類代価の登録	101
		9 吹出し口・ダンパ代価の登録	
<b>8</b>	<b>共通費の入力</b>		
	1 共通費の入力画面の表示	107	
	2 既定の設定(平成 24 年度以降積算基準に基づいた設定)	107	
	3 共通仮設工事費積上げによる明細の入力	109	
	4 現場・一般管理費積上げによる明細の入力	109	
	5 共通費計算の確認	111	
<b>9</b>	<b>9</b>	<b>内訳書の入力・再計算</b>	
		1 内訳書の入力・再計算画面の表示	112
		2 既定の設定(平成 24 年度以降積算基準に基づいた設定)	112
		3 内訳集計項目(工事項目)の編集	113
		4 内訳明細の編集	116
		5 内訳明細 直接工事費の合計行の追加	119
		6 共通費の按分について	120
		7 コード検索	123
		8 シートに数量を付加	124
<b>10</b>	<b>一括再計算</b>	125	

		<b>目次</b>	<i>Page</i>		
<b>7</b>	<b>11</b>	<b>単価表・内訳明細の印刷</b>			
		1 印刷画面における基本操作(各種印刷画面共通)	126		
		2 印刷帳票の Excel 出力	127		
		3 当該単価表印刷	128		
		4 当該見積メーカー一覧表印刷	129		
		5 当該見積比較表印刷	130		
		6 当該標準代価表印刷	131		
		7 内訳明細書の印刷	132		
		8 共通仮設明細の印刷	134		
		9 単価種別・専門データ印刷(オプション印刷)	135		
		10 数量公開書印刷(オプション印刷)	136		
<b>8</b>	<b>1</b>	<b>設計変更書作成要領</b>			
		<b>内訳書の確定処理～使用単価ファイルの設定</b>			
		1 内訳明細書の確定処理	137		
		2 設計変更時の使用単価ファイルの設定	139		
		3 設計変更時の消費税率の設定	139		
		<b>2 請負金額の入力～落札率の算出</b>			
		1 請負金額の入力及び落札率の算出方法の設定	140		
		2 【参考】請負金額算出根拠表の印刷	141		
		<b>3 当該単価(6頭コート)・複合単価(7頭コート)登録・再計算【設計変更】</b>			
		1 設計変更時の当該単価・複合単価登録	143		
		2 【参考】設計変更時の見積単価変更処理	143		
		<b>4 標準代価(8頭コート)・複合単価(9頭コート)登録・再計算【設計変更】</b>			
		1 設計変更時の標準代価登録	146		
		2 代価の設変	147		
		<b>5 共通費～内訳明細入力</b>			
		1 設計変更時の共通費の入力	149		
		2 設計変更時の内訳明細入力	150		
		<b>9</b>	<b>1</b>	<b>FAQ(よくある質問と回答)</b>	
				1 本取扱説明書について	151
2 セットアップ・アンインストールについて	151				
3 セットアップ後、正常起動しない場合について	152				
4 本システムの操作に関する内容について	153				

# 目次

Page

## 補足

### 補足事項

1	平成 22 年度積算基準改定に伴う積算システム変更点 (Ver. $\beta$ 1.50 以降)	補-1
2	平成 24 年度積算基準改定に伴う積算システム変更点 (Ver. $\beta$ 1.60 以降)	補-2
3	平成 29 年度積算基準改定に伴う積算システム変更点 (Ver. 2.10 以降)	補-3
4	見積比較に関する補足事項	補-4
5	内訳書ファイルの変換 (バージョン1形式からバージョン2形式へ)	補-5
6	刊行物単価入力に関する補足事項 (バージョン 2.01 以降)	補-6
7	甲表・乙表一括金抜き印刷 (出力) (バージョン 2.05 以降)	補-7
8	契約保証金の計上に伴う積算システム変更点 (バージョン 2.11 以降)	補-8

## 参考

### 参考資料

	新規作成から保存まで (モデル工事による練習編)	参-1
--	--------------------------	-----

# 操作目的別索引

※この操作順序・方法は、1つの標準的な参考です。

※( )は、参照ページを示します。

## I. 内訳書を作成する前に

・(P60～P61)神戸市標準単価等を、システムで読込むため、パソコンへ保存する。

## II. 作業を途中で中断・保存したいとき

・内訳書ファイルを新規作成した場合 : (P42)内訳書の名前をつけて保存を行う。

・既存の内訳書ファイルを編集した場合 : (P43)内訳書の上書き保存を行う。

## III. 内訳書の新規作成・編集 ～ 保存まで

- ① (P14～P16)積算システムを起動し、ログインを行う。
- ② (P41)内訳書の新規作成を行う。  
※ 既存の内訳書ファイルの編集を行う場合は、内訳書ファイルの読み込みを行う。(P49～P55)
- ③ 工事概要の入力を行う。(新規作成時は P42) (既存のファイルの編集時は P67～P69)
- ④ (P63～P66)設計書(甲表)を作成する。
- ⑤ (P28:基本情報)単価コードについてを参照。
- ⑥ (P58～P62)適用する単価ファイルを設定する。(基礎単価・標準単価・歩掛)
- ⑦ (P19～P35:基本情報) (P111～P114:実践)内訳項目(種目・科目・中科目…)を設定する。
- ⑧ (P18, P20～P35:基本情報) (P80～P82:実践)当該見積メーカを登録する。(登録しなくても可)
- ⑨ (P18, P20～P35:基本情報) (P71～75:実践)当該単価(6 頭コード)・複合単価 (7 頭コード)を作成する。
- ⑩ (P18, P20～P35:基本情報) (P83～P104:実践)標準代価(8 頭コード)・複合単価 (9 頭コード)を作成する。
- ⑪ (P18, P20～P35:基本情報) (P107～P111:実践)共通費の入力を行う。
- ⑫ (P19～P35:基本情報) (P112～P124:実践)内訳書の入力を行う。  
※⑧～⑫において、前工程の登録不足や間違いがあれば、適宜前工程に戻って作業を行う。
- ⑬ (P125)一括再計算を行う。(設計事務所版では金抜きのため、実質正確な金額の処理はされないが、項目の最終設定のため推奨。)
- ⑭ (P126～P136)単価表・内訳書の印刷を行う。  
(数量公開書の印刷は P136(7-11-10)を参照。但し表紙の様式は本システムにありません。)
- ⑮ (P42～P43)内訳書の保存を行う。  
(設計事務所等の場合、このデータを記録媒体に保存して納品。)

### 【注意】

不測の事態に備え、⑮に至るまでの作業途中においても、内訳書の保存処理を適宜行うことを推奨。

## 操作目的別索引

### IV. 設計事務所等に入力を委託 ～ 委託先から納品されたデータを使用して内訳書を作成する

- ※ 本製品のインストール CD-ROM 及び取扱説明書を、必要に応じて設計事務所等に貸し出すこと。
- ※ 金抜き配布単価ファイルが入力作業時に必要なので、設計事務所等に渡すこと。
- ① 作成済の金入り内訳書の内容の変更を委託する場合は、(P46～P48)金抜き保存をし、作成された金抜き内訳書ファイルを設計事務所等に渡して入力を委託する。  
※ 新規の内訳書データの作成を委託した場合は②から。
- ② (P52)納品された内訳書データの追加登録を行う。
- ③ (P49～P57)内訳書の読み込みを行う。
- ④ (P56～P57)①にて金抜き内訳書を渡して入力を委託した場合は、金入れ処理を行う。  
※ 新規の内訳書データの作成を委託した場合は④の金入れ処理は不要。
- ⑤ (P63～P66)設計書(甲表)の入力を行う。(不足情報の追加・修正等)
- ⑥ (P67～P69)工事概要の入力を行う。(不足情報の追加・修正等)
- ⑦ (P58～P62)適用する単価ファイルを設定する。(基礎単価・標準単価・歩掛)  
(その他、Ⅲ. の操作の環境設定について設定変更があれば適宜変更する。)
- ⑧ (P18, P20～P35:基本情報)(P107～P111:実践)共通費の入力を行う。  
(設計事務所版では、制限により共通費の計算は行いません。)  
※ Ⅲ. の⑧～⑫の作業が、適宜必要。
- ⑨ (P125)一括再計算を行う。
- ⑩ (P126～P137)単価表・内訳書の印刷を行う。  
(数量公開書の印刷は P119(7-13-12)を参照。)
- ⑪ (P42～P43)内訳書の保存を行う。

#### 【注意】

不測の事態に備え、⑪に至るまでの作業途中においても、内訳書の保存処理を適宜行うことを推奨。

### V. 設計変更の内訳書を作成する

- ② P136～P141) 原設計の確定処理・概要作成。
- ② 設計変更単価コードの作成。(Ⅲ. の⑧～⑩及び P143～P148 の作業により、設計変更単価コードを入力)
- ③ (P18, P20～P35:基本情報)(P107～P111, P149:実践)共通費の入力を行う。(設計変更明細を入力)
- ④ (P19～P35:基本情報)(P112～P124, P150:実践)内訳書の入力を行う(設計変更内訳明細を入力)
- ⑤ (P126)一括再計算を行う。
- ⑥ (P126～P136)単価表・内訳書の印刷を行う。
- ⑦ (P42～P43)内訳書の保存を行う。

#### 【注意】

不測の事態に備え、⑦に至るまでの作業途中においても、内訳書の保存処理を適宜行うことを推奨。

# 操作目的別索引

## VI. 各種機能について

- 現在ある内訳書を使って、別の内訳書を作成したい。  
→(P152・Q16)「既存の内訳書ファイルの内容を利用して、他の工事の内訳書を入力したい」を参照。
- 設計変更で確定処理済みの原設計の内訳書ファイルを再度編集したい。  
→(P153・Q26)「名前をつけて保存」により別ファイル名で保存すると確定情報が外れた状態の同じ内容のファイルが作成できる。
- 共通費の按分計算をしたい。  
→(P119～121)共通費の按分についてを参照。

## VII. トラブルが発生したとき

- 正常にインストールができない。  
→対処①(P1)セットアップについて参照。  
  
→対処②管理者と標準ユーザーの権限を分けている環境において、標準ユーザーに対してアプリケーションのインストールを制限していることにより本製品のインストールが正常にできない場合は、各所属のコンピュータ管理者に連絡して指示を受けて下さい。  
※ セットアップ CD-ROM に関するよくある質問は、P151 の Q4・Q5 を参照。
- 積算システムのインストールは正常にできたはずなのに、下図のようなメッセージが表示されて起動しない。



→(P10) Microsoft Access データベースエンジンのインストールを参照

- 動作が不安定である。  
→(P151・Q14)一時的に動作が不安定になっている可能性があるため、積算システムを終了し、コンピュータを再起動して動作確認を行う。
- アップデートプログラムが配布されたけれど、どうしたらよいか？  
→(P39)積算システムのアップデートを参照。
- 作業中に下図の例のようなエラーメッセージが表示されたけれど、どうしたらよいか？



→(P36)内訳書データベースの最適化を参照。

# セットアップの前に

## 動作環境について

\* セットアップを実行する前に、次の環境で正常動作していることを確認して下さい。

### 【動作環境】

- パーソナルコンピュータの OS (オペレーティングシステム) が、Windows7 (SP1 以降)、Windows 8.1、Windows10 (バージョン 1607 以降) (いずれも 32 ビット版/64 ビット版とも対応) の何れかで正常動作していること。
- CD-ROM ドライブ (DVD/BD ドライブ等を含む) が使用可能であること (セットアップ作業で必要)。
- Microsoft Excel 2010 SP1 (サービスパック 1) 以降/2013、2017 (何れも 32 ビット版のみ) の何れかがインストールされていること。

### 【注意】

- ※ Windows の各 OS のバージョンについても、新元号 (令和) に対応させるために最新の更新プログラムを適用した状態にしておいて下さい。新元号に対応していない状態の場合は、工期の計算や帳票の印刷に支障をきたします。  
(令和元年 (2019 年) 5 月以降に Windows Update を実行し、最新の状態にしておいて下さい。)
- ※ Office2007 以前の Microsoft Office は、新元号 (令和) に対応していないため、本システムも対応していません。
- ※ 64 ビット版の Microsoft Office には対応していません。
- ※ Office2010 をご使用の場合、必ず SP1 以降にアップデートして下さい。サービスパック未適用の場合、エラーが発生する場合があります。
- ※ 各製品のサービスパックの入手方法及び適用手順の詳細につきましては、インターネットでマイクロソフト社のサイトのサポートページをご確認下さい。
- インストール先のディスクが、本製品のプログラム用として 600MB 以上の空き容量が確保できること。
  - ※ 別途、データ保存のための空き容量が必要。(1 ファイル当り、小規模工事で 4MB 程度、再開発や学校建設等の大規模工事で 16MB~19MB 必要。入力したデータ行数により変化します。)
  - ※ Windows を安定動作させるためには、システムドライブ (C ドライブ) の空き容量が 10GB 程度あることが望ましい。
- 印刷可能なプリンタが設定されていること (モノクロ・カラーどちらでも可)。
- 上記の OS 及び Office のバージョンよりも古い製品は、マイクロソフト社のサポートが終了したため、新元号の対応ができないため、本システムも動作対象外の環境といたします。

### 【インストール時の条件】

- 初回インストール時は、管理者権限 (Administrator) でログオンしていること。
  - ※ 平成 25 年 10 月現在における神戸市統合管理システム上の PC では必ずしも必要ではありません。運用基準の変更によりセキュリティ制限が厳しくなった際は管理者権限 (Administrator) でログオンの上、インストール作業を行って下さい。
- ウィルス対策ソフトウェアが常駐監視 (「リアルタイム保護」・「リアルタイム検索」等) している場合、環境により本製品のセットアップ プログラムを正常に実行できない場合があります。その際は、ウィルス対策ソフトウェアの常駐監視を一時的に解除し、セットアップが終了した後で常駐監視を再開して下さい。

**※セットアップ CD-ROM は、技術管理委員会事務局から配布されたものを使用して下さい。必要枚数が不足している場合や正しく読み込みが出来ない場合は、技術管理委員会事務局 (設計事務所等の方は神戸市設計担当者) にお問い合わせ下さい。**

**※セットアップ CD-ROM は、信号面に傷や指紋等の汚れを付けないよう丁寧に取り扱いして下さい。**

## 2

## 神戸市建築・設備積算システムのセットアップ

## 1

## セットアップ時の注意事項

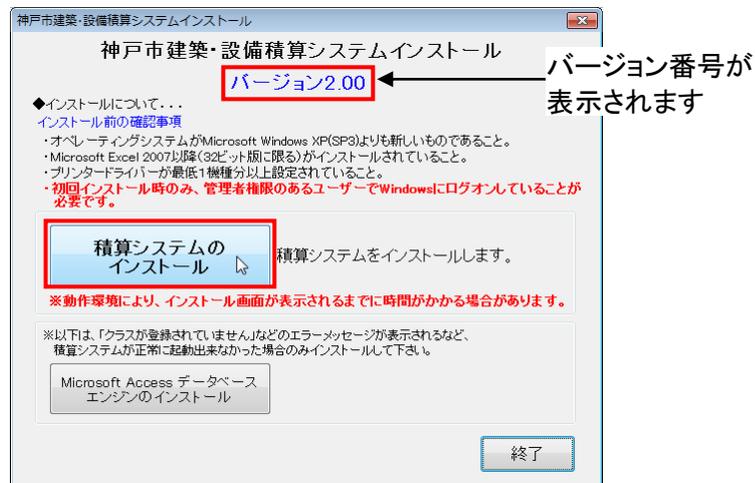
- ※ウイルス対策ソフトウェアをご使用の場合は終了または常駐監視を一時的に解除してからインストールして下さい。(推奨)
- ※ウイルス対策ソフトウェアが常駐監視(「リアルタイム保護」・「リアルタイム検索」等)している場合、環境により本製品のセットアップ プログラムを正常に実行できない場合があります。その際は、ウイルス対策ソフトウェアの常駐監視を一時的に解除し、セットアップが終了した後で再び常駐監視を再開して下さい。
- ※本製品のセットアップを始める前に実行中の全てのアプリケーションを終了して下さい。

## 2

## セットアップの手順

本製品をセットアップするには以下の操作を行います。

- 1) 本製品のセットアップ CD をドライブに挿入すると、インストールメニューが表示されます。バージョン番号を確認の上、[積算システムのインストール]ボタンをクリックして下さい。



- ※ [積算システムのインストール]ボタンをクリック後、動作環境によっては次の画面が表示されるまでしばらく時間がかかって画面に変化が無く進捗していないように感じる場合がありますが、しばらくお待ち下さい。
- ※ 下図のような画面が表示された場合は、「SETADD21.EXE の実行」をクリックして下さい。



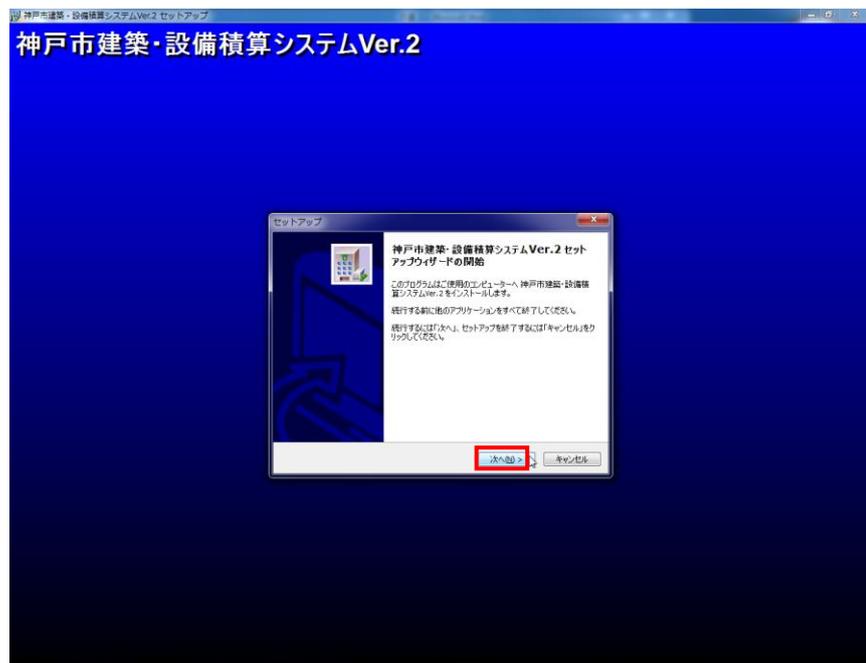
- ※ リムーバブルメディア (CD ドライブ 含む) の自動再生機能が無効になっている場合、インストールメニューは自動的に表示されません。その場合は、エクスプローラーで CD ドライブを開き、「SETADD21.exe」をダブルクリックして実行して下さい。



- 2) OS が Windows 7 以降の動作環境の場合、ユーザーアカウント制御画面が表示される場合がありますので、[はい(Y)]ボタンをクリックして下さい。



- 3) セットアップウィザードの開始ダイアログ画面の[次へ(N) >]ボタンをクリックして下さい。



- 4) [インストール先の指定]ダイアログ画面が表示されます。

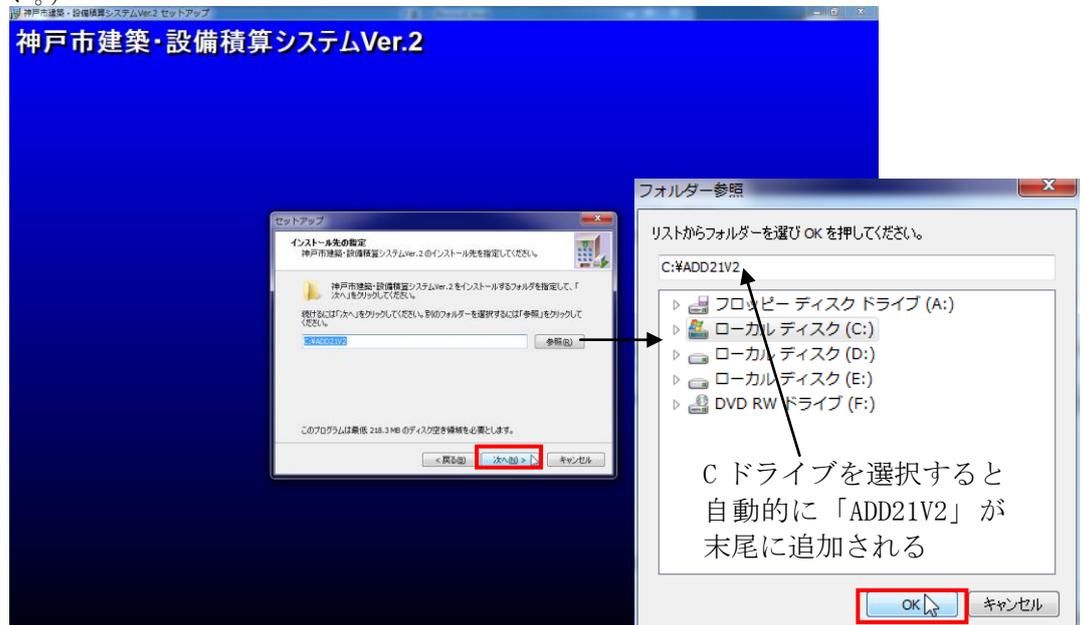
インストール先フォルダーを設定し、[次へ(N) >]ボタンをクリックして下さい。

本製品は、既定の設定では主に以下のフォルダーに本製品に必要なファイルがコピーされます。

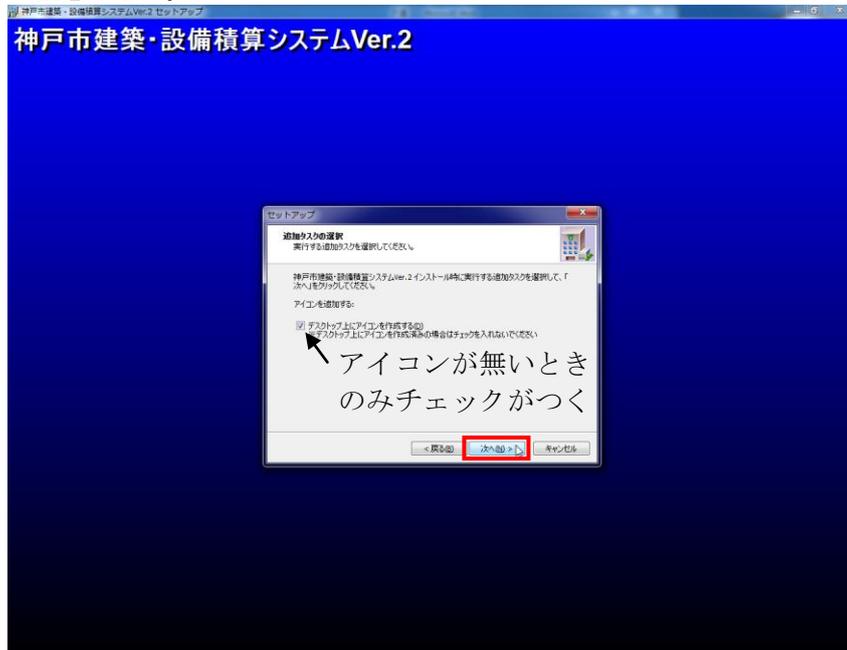
C:\¥ADD21V2¥ (C:\¥ は 通常、Windows がセットアップされているドライブです。)

なお、本製品は、既定のフォルダーにセットアップすることをお勧めします。

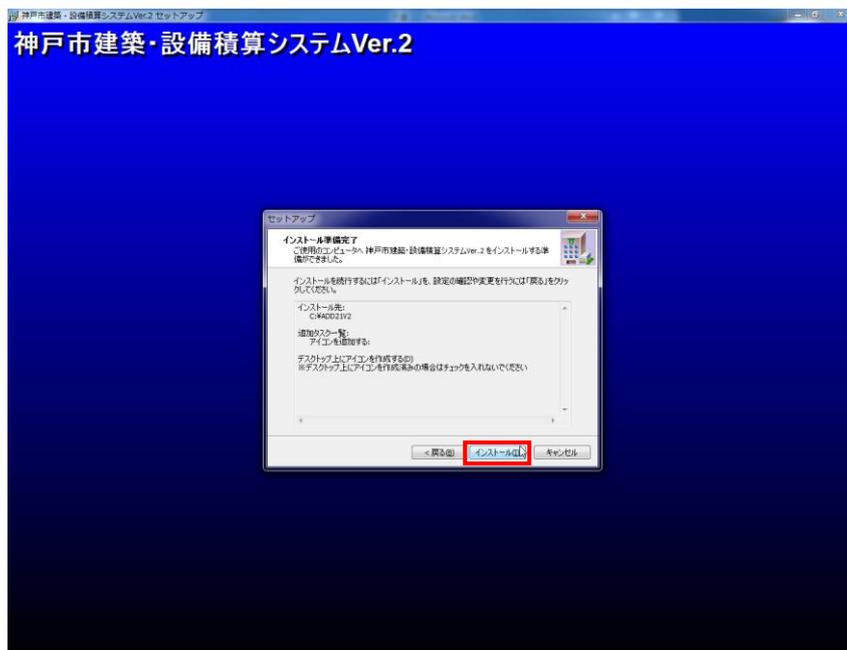
(権限による制限やディスクの空き容量の都合などにより、他のフォルダーに設定する場合は、[参照(R)]ボタンをクリックし、インストール先を任意の場所に変更して下さい。フォルダー参照画面で設定する場合、ドライブやフォルダー選ぶと自動的に末尾に「ADD21V2」が追加される仕様となっていますので、注意して下さい。)



- 5) [追加タスクの選択]ダイアログ画面で、デスクトップにアイコンを作成するかどうかを選択し、[次へ(N)>]ボタンをクリックして下さい。
- ※ 「デスクトップ上にアイコンを作成する(D)」にチェックを入れるとデスクトップ上に本システムのショートカットアイコンが作成されます。
  - ※ デスクトップ上に本システムのショートカットアイコンが無い時は自動的にチェックが入ります。
  - ※ デスクトップ上に既に本システムのショートカットアイコンがある時にチェックを入れると、環境によっては本システムのショートカットアイコンが複数登録される場合がありますのでご注意ください。



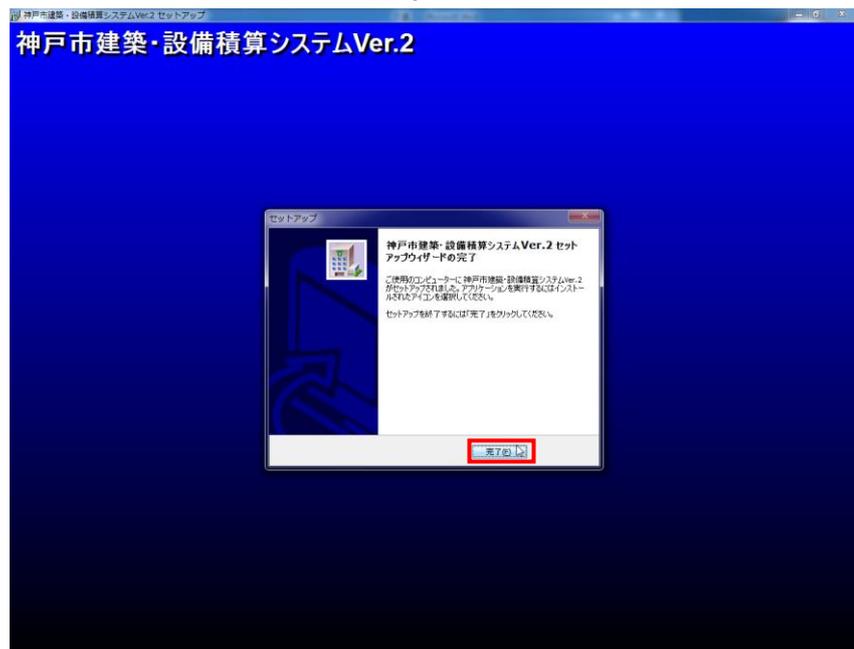
- 6) インストール準備完了ダイアログ画面でインストールの条件を画面で確認し、[インストール(I)]ボタンをクリックして下さい。設定変更が必要な場合は[戻る(B)]ボタンをクリックして前の手順に戻り、設定を変更して下さい。



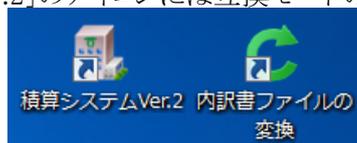
- 7) セットアップが開始されます。セットアップの完了までしばらくお待ち下さい。



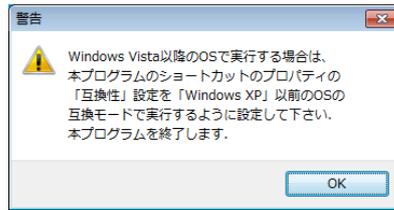
- 8) [セットアップの完了]ダイアログ画面が表示されたら、セットアップは完了です。  
[完了(F)]ボタンをクリックし、セットアップウィザード画面が閉じた後、本製品の CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出して下さい。



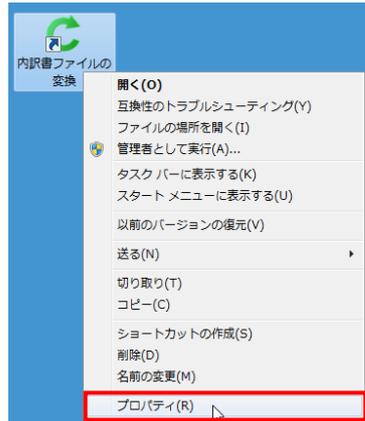
- 9) デスクトップ上に次の2つのショートカットアイコンが作成されています。  
積算システムの起動は、この「積算システム Ver.2」のショートカットアイコンをダブルクリックして下さい。  
なお、Windows 7 以降の動作環境の場合、「内訳書ファイルの変換プログラム」のショートカットアイコンに「互換モードの設定」が必要です。「互換性の設定」がまだの場合は、次の手順 10)へ進んで下さい。過去のセットアップ時に互換モードの設定を済ませている場合は、セットアップ作業はこれで終了です。  
※ 「積算システム Ver.2」のアイコンには互換モードの設定は不要です。



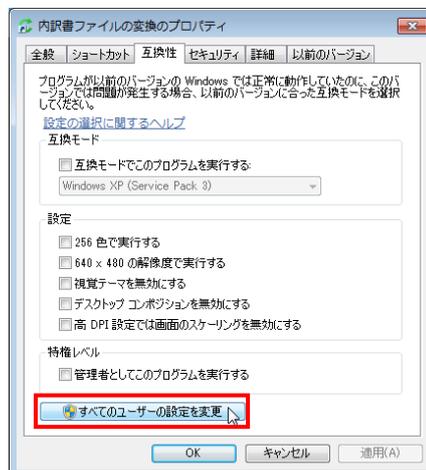
- ※ Windows 7 以降の動作環境で、内訳書ファイルの変換プログラムのショートカットアイコンに「互換モードの設定」をしていない場合、起動時に下記のメッセージが表示されて起動しません。その場合は、次の手順で互換モードの設定を行って下さい。



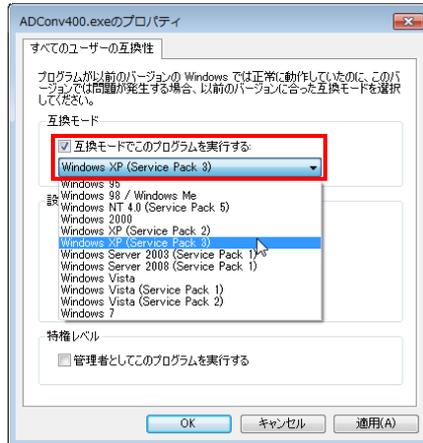
- 10) 「内訳書ファイルの変換」ショートカットを右クリックし、「プロパティ(R)」をクリックして下さい。



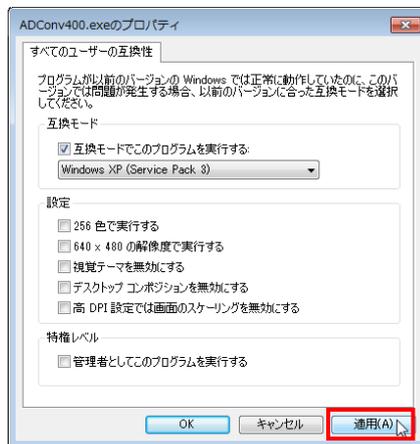
- 11) 「互換性」タブを選択し、「すべてのユーザーの設定を変更」ボタンをクリックして下さい。  
 ※ 管理者権限が無い場合は「すべてのユーザーの設定を変更」ボタンが無効になっている場合があります。その場合は、この「互換性」タブ上の互換モードの部分(12)以降の手順で設定して下さい。



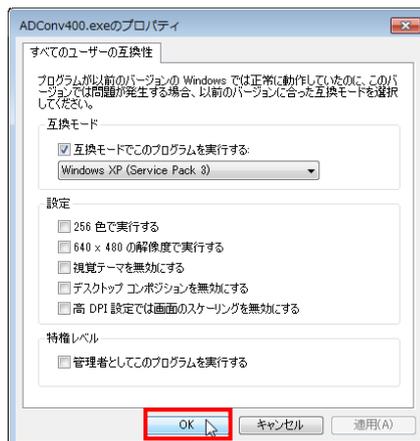
- 12) 「互換モードでこのプログラムを実行する」にチェックを入れ、「Windows XP」等を選択して下さい。(Windows 7 上で実行している場合は「Windows XP (Service Pack 3)」・Windows 7 上で実行している場合は「Windows XP (Service Pack 2)」を選択して下さい。)



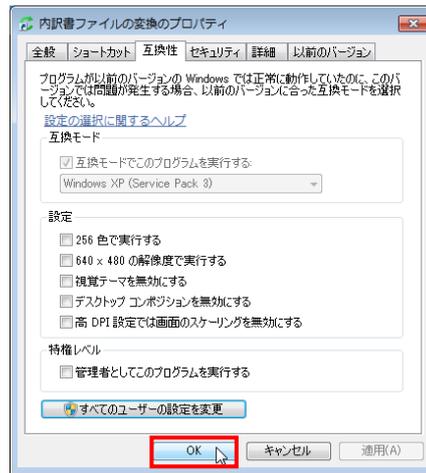
- 13) 前の手順 12) で設定した内容を確認し、「適用(A)」ボタンをクリックして下さい。



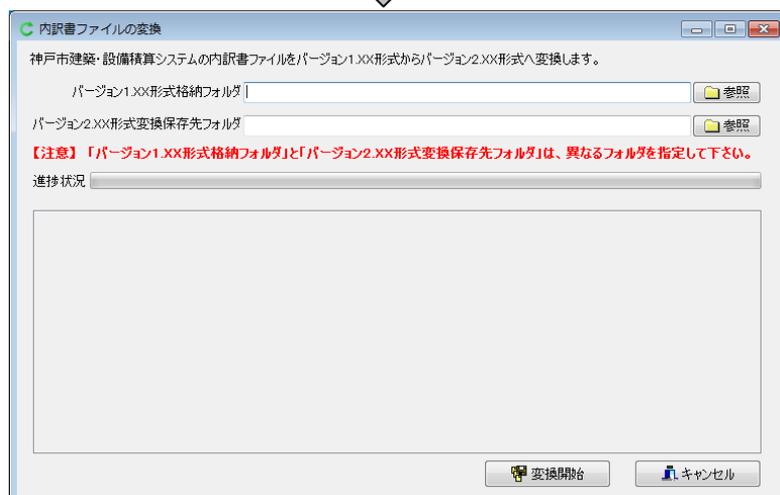
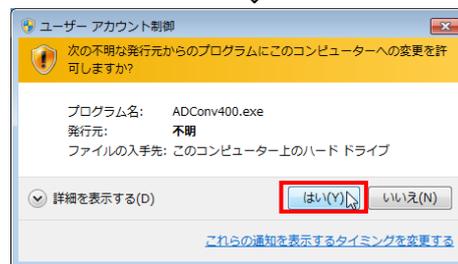
- 14) 「OK」ボタンをクリックして下さい。



15) 「OK」ボタンをクリックして下さい。



16) 互換モードの設定が完了すると、ショートカットアイコンに盾のマークが付加されます(動作環境によっては付加されない場合もあります)。ショートカットアイコンをダブルクリックしてプログラムを起動すると、ユーザーアカウント制御画面が毎回表示されます。「はい(Y)」ボタンをクリックすると、「内訳書ファイルの変換」プログラムが起動します。



## 3

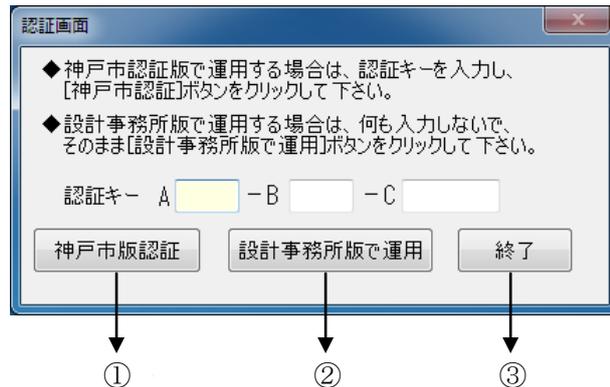
## セットアップ後の認証について

- ※ 本製品を神戸市認証版で運用するには認証キーによるユーザー認証が必要です。
- ※ 認証キーによる認証ができない場合は、設計事務所版(機能制限版)として運用します。
- ※ 一度認証情報を設定すると、本システムを削除するまで認証情報は保持されます。そのため、次回以降のバージョンアップ等でのインストール後は、ユーザー認証は不要です。
- ※ 神戸市認証版にすべきところを誤って設計事務所版にしてしまった場合は、一旦本システムを削除の上<本書 P12 参照>、再度インストール作業を行って認証処理を行って下さい。

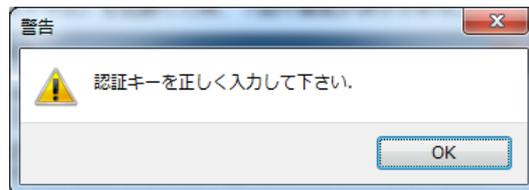
- 1) 「積算システム Ver.2」ショートカットアイコンをダブルクリックして起動すると、認証画面が表示されます。



- 2) 次の操作により、認証情報が設定されます。



- ① 正しい認証キーを入力して[神戸市認証版]ボタンをクリックした場合  
「神戸市認証版」で積算システムが運用されるように設定された状態で積算システムログイン画面<本書 P14 参照>が表示されます。  
※ 不正な認証キーを入力した場合は下図のメッセージが表示されますので、正しい認証キーを再入力して下さい。



- ※ 設計事務所版で運用する場合は、認証キーの入力は不要です。認証キーは絶対に公開しないで下さい。
- ② [設計事務所版で運用]ボタンをクリックした場合  
「設計事務所版」で積算システムが運用されるように設定された状態で積算システムログイン画面<本書 P14 参照>が表示されます。  
※ 正しい認証キーを入力した上で[設計事務所版で運用]をクリックした場合も「設計事務所版」で積算システムが運用されるように設定されますのでご注意ください。
  - ③ [終了]ボタンをクリックした場合  
次回起動時も再度認証画面が表示されます。

## 4

**Microsoft Access データベースエンジンのインストール**

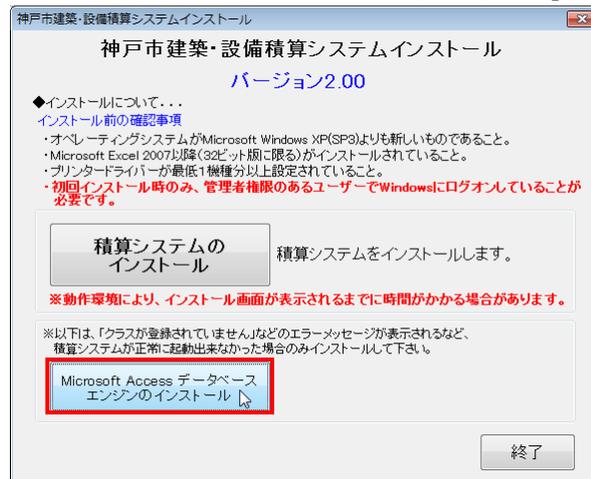
ログイン画面〈本書 P14 参照〉でユーザーIDとパスワードを入力して認証を行う際、以下のようなエラーメッセージが表示された場合は、Microsoft Access データベースエンジンのインストールが必要です。

- ※ Microsoft Access データベースエンジンは、本製品で使用しているデータベースを読み書きするためのソフトウェアです。
- ※ 正常に起動する場合はインストール不要です。
- ※ 一度インストールすると、次のバージョンアップ時などはインストール不要です。

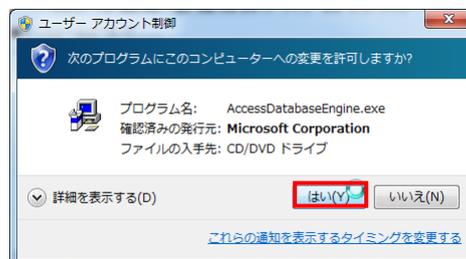
※ 下のようなエラーメッセージが表示された場合は、Microsoft Access データベースエンジンをインストールして下さい。



- 1) 本製品の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入、インストールメニューを起動して下さい。  
※自動的に実行されない場合の起動手順は、〈本書 P2〉を参照して下さい。
- 2) 「Microsoft Access データベースエンジンのインストール」ボタンをクリックして下さい。



- 3) Windows 7 以降の動作環境の場合で、ユーザー アカウント制御ダイアログが表示された場合は、「はい(Y)」ボタンをクリックして下さい。



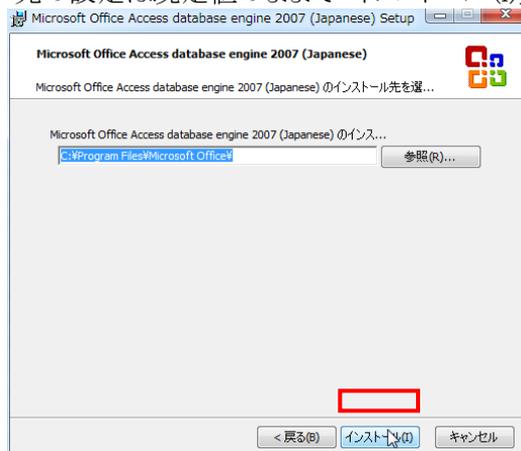
4) Microsoft Office Access database engine 2007(Japanese)」のセットアップ画面が表示されま

す。  
「使用許諾契約書」の条項に同意します(A)」にチェックを入れ、「次へ(N)」ボタンをクリックし

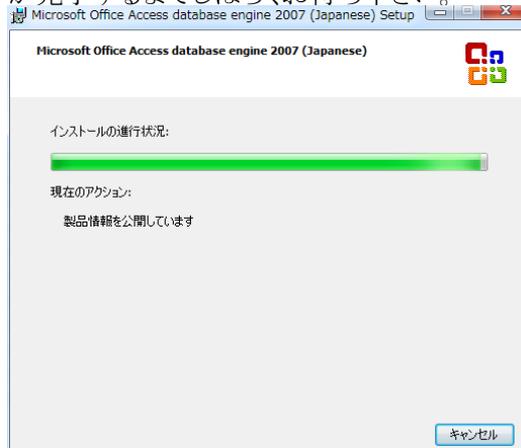
て下さい。  
※Microsoft Office2010 以降の環境では「Microsoft Access database engine 2010(Japanese)」のセットアップ画面が表示されますが、操作方法は同様です。



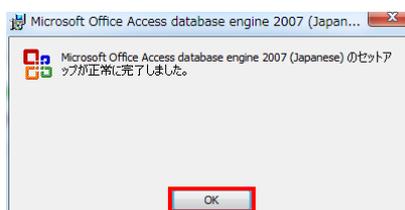
5) インストール先の設定は既定値のままで「インストール(I)」ボタンをクリックして下さい。



6) セットアップが完了するまでしばらくお待ち下さい。



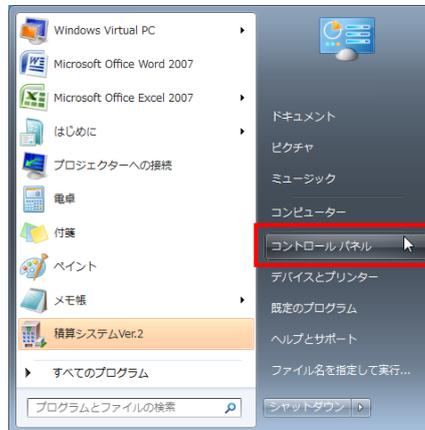
7) セットアップの完了メッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックして下さい。



## 削除の手順

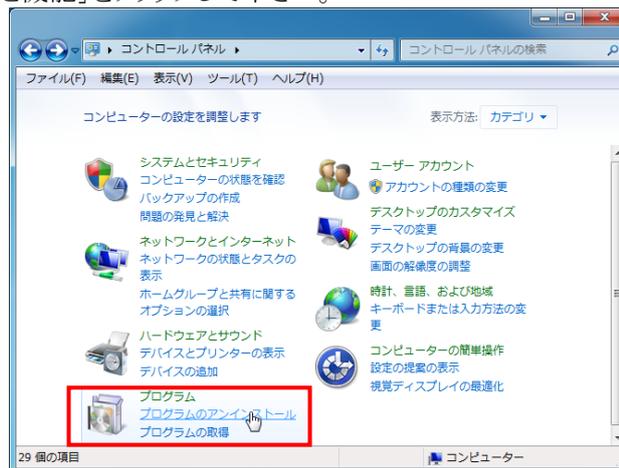
本製品をセットアップ後、お使いのシステムから本製品を削除するには、以下の操作を行って下さい。

- 1) 実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。
- 2) [スタート]メニューから、[コントロール パネル(C)]をクリックして下さい。

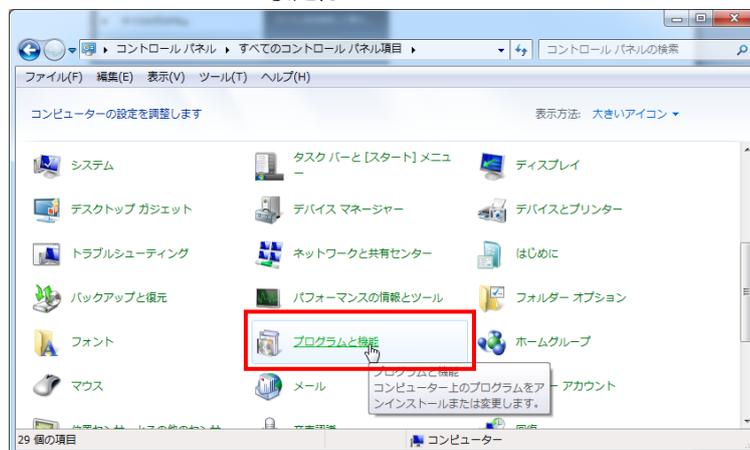


※Windows のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

- 3) コントロールパネルの「プログラム」→「プログラムのアンインストール」または「プログラムと機能」をクリックして下さい。

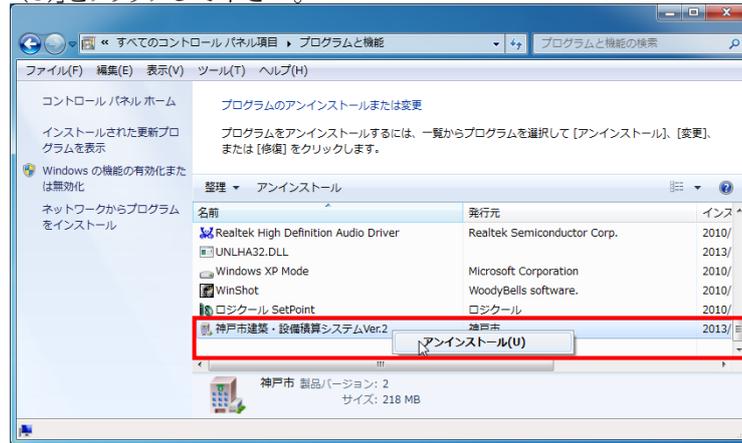


または



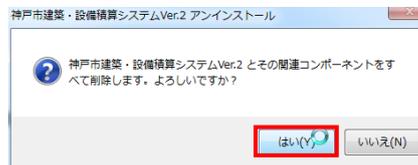
※Windows のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

- 4) 一覧から「神戸市建築・設備積算システム Ver.2」をクリックして選択し、右クリック→[アンインストール(U)]をクリックして下さい。

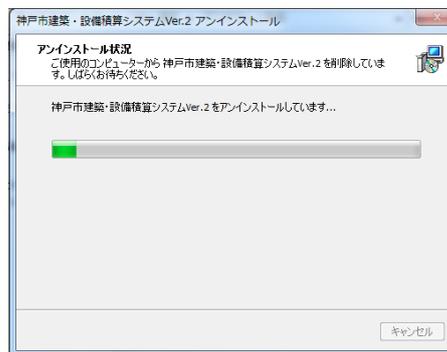


※Windows のバージョンにより、表示方法が異なります。

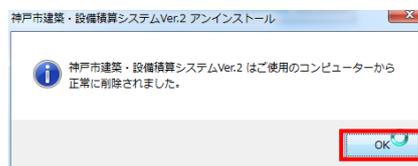
- 5) [アンインストールの確認]ダイアログが表示されたら、[はい(Y)]ボタンをクリックして下さい。



- 6) アンインストールが完了するまでしばらくお待ち下さい。



- 7) アンインストール処理の完了メッセージが表示されましたら、[OK]ボタンをクリックして下さい。



※ アンインストールを行っても、下記のフォルダー及びその中に保存されているファイルは残ります。

- ・「\_金抜き内訳書」フォルダー
- ・「\_配布単価」フォルダー
- ・「My\_SEKKEISYO」フォルダー
- ・上記以外で、インストール先の ADD21V2 フォルダー内に保存されているファイルのうち、セットアッププログラム以外が作成したファイル(本システム利用者が作成したファイル等)それらのフォルダーやファイルについても不要な場合は、手作業で削除して下さい。

※ 神戸市認証版、設計事務所版に関するシステム認証情報も削除されます。再インストール時は神戸市認証版、設計事務所版の設定が必要となります(＜本書 P9 参照＞)。

## 3

## 神戸市建築・設備積算システムへのログイン

## 1

## ログイン時の[ユーザーID]と[パスワード]について

- ※ 神戸市建築・設備積算システムを神戸市認証版で運用時は、予め登録されたユーザー(使用者)しか起動させることができません。また、起動にはユーザーID とパスワードが必要です。
- ※ 神戸市建築・設備積算システムは、ユーザーID 毎に作業項目の設定(限定)を行うための情報を持つ「LOGIN Key ファイル」を作成し、システムに組み込んで運用します。

## 2

## ログインの手順

- 1) 神戸市建築・設備積算システム Ver.2 のショートカットアイコンをダブルクリックすると、ログイン画面が表示されます。

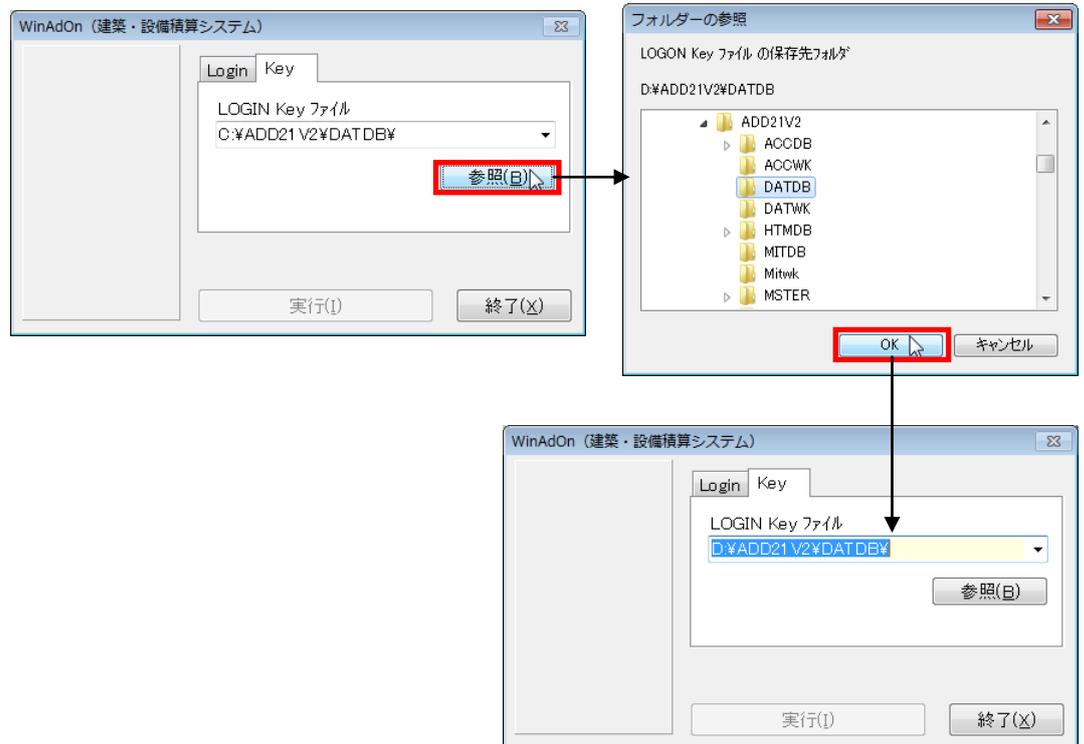


- ※ 設計事務所版で運用時は認証済みの状態で起動するため、ユーザーID とパスワードの入力は不要です。次ページの 6) の手順へ進んで下さい。
- ※ 神戸市建築・設備積算システムを既定(C:\¥ADD21V2)以外のフォルダーにセットアップした場合や、インストール先のドライブが異なる場合、または、別の「LOGIN Key ファイル」フォルダーを設定する場合には、「LOGIN Key ファイル」の保存先フォルダーを設定する必要があります。
- ※ 神戸市建築・設備積算システムを既定(C:\¥ADD21V2)のフォルダーにインストールした場合、「LOGIN Key ファイル」の保存先フォルダーは「C:\¥ADD21V2¥DATDB¥」になります。  
**(既定の設定で運用する場合は、次ページの 5) の手順へ進んで下さい。)**

- 2) ログイン画面の[Key]タブを選択して下さい。  
現在設定されている「LOGIN Key ファイル」の保存先が表示されます。



- 4) [参照(B)]ボタンをクリックすると、フォルダー一覧ウィンドウが表示されます。LOGIN Key ファイルの保存先のフォルダーを指定し、[OK]ボタンをクリックして下さい。  
 (下図は、DドライブのADD21V2に本システムをインストールした場合の「LOGIN Key ファイル」の保存先(D:\ADD21V2\DATDB)を指定している例です。)



- 5) ログイン画面の[Login]タブをクリックし、[ユーザーID]と[パスワード]を入力して下さい。  
 ※ [ユーザーID]は、「\_\_\_\_\_」・[パスワード]は、「\_\_\_\_\_」です。  
 パスワード入力部で[Enter]キーを押すと、ログインの認証が行われます。  
 ユーザーが認証されると、[ユーザー名]に、設定ユーザー名が表示されます。  
 ※ 設計事務所版で運用時は、[ユーザーID]と[パスワード]は自動設定され、認証済状態で起動します。



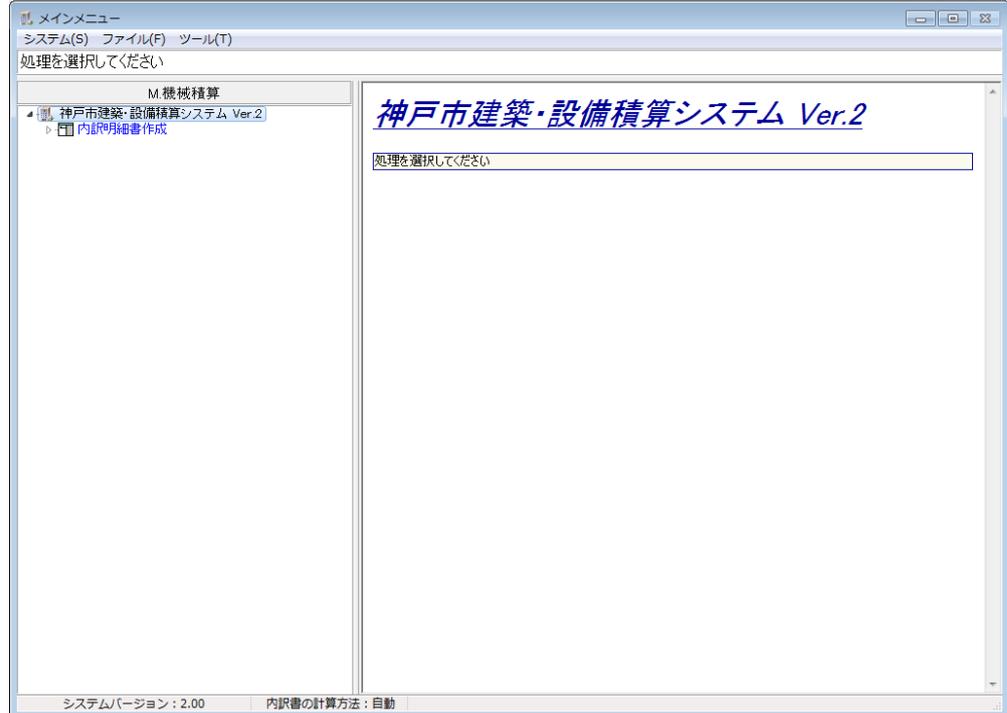
- 6) [積算区分]を選択して下さい。



7) ログイン画面の[実行(I)]ボタンをクリックして下さい。



8) システム情報が読み込まれ、起動処理が完了するとメインメニューが表示されます。



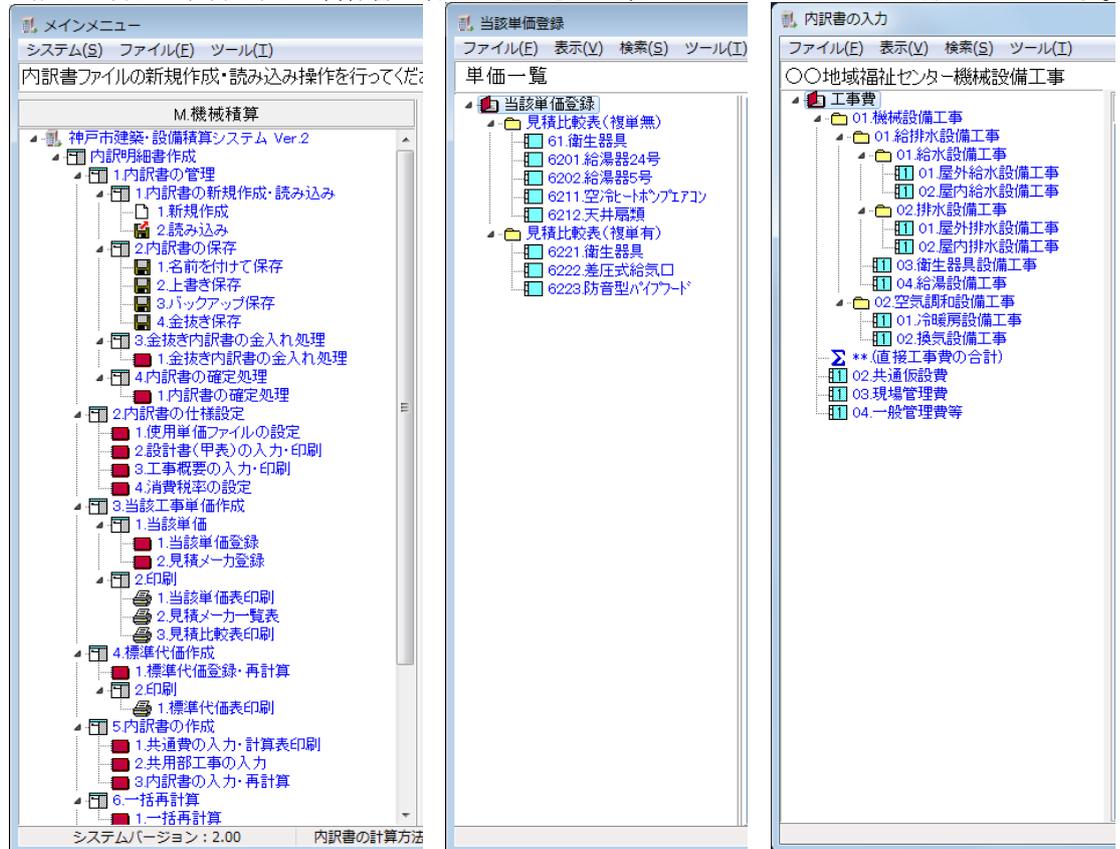
## 4

## 1

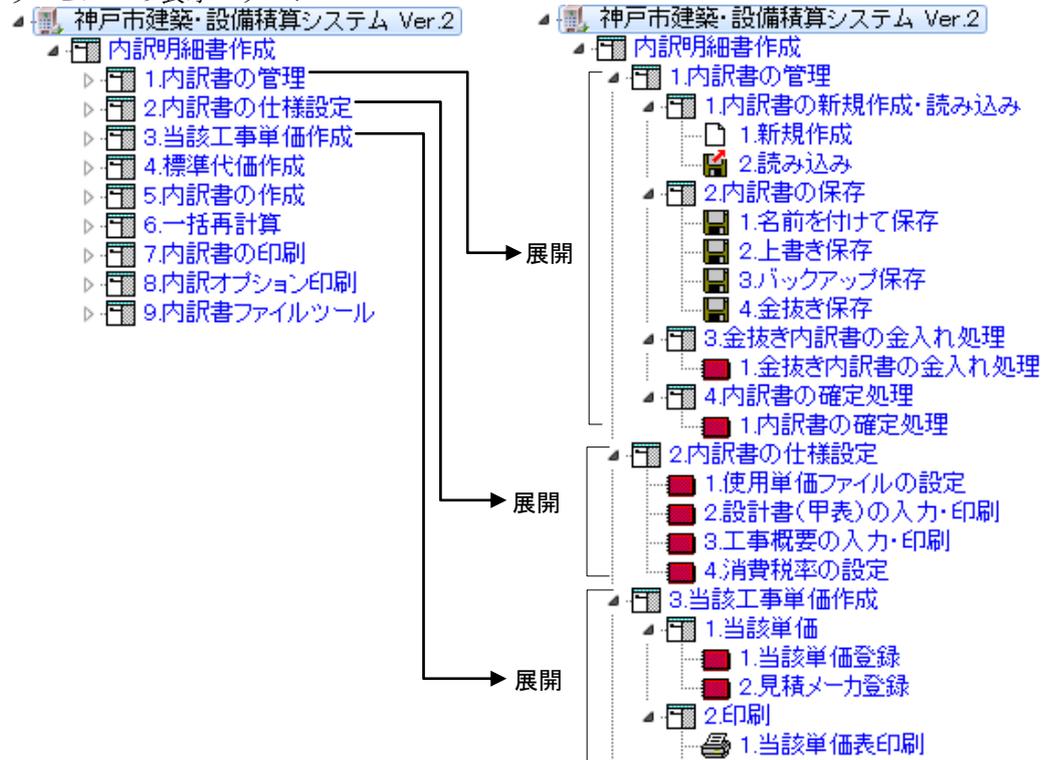
## 神戸市建築・設備積算システムの基本操作

## ツリービュー表示について

神戸市建築・設備積算システムでは、メイン業務選択メニュー、当該単価グループ、設計書集計項目(種目・科目・中科目)など、階層に管理できるものは、全てツリービュー方式を採用しています。



## ツリービューの表示パターン



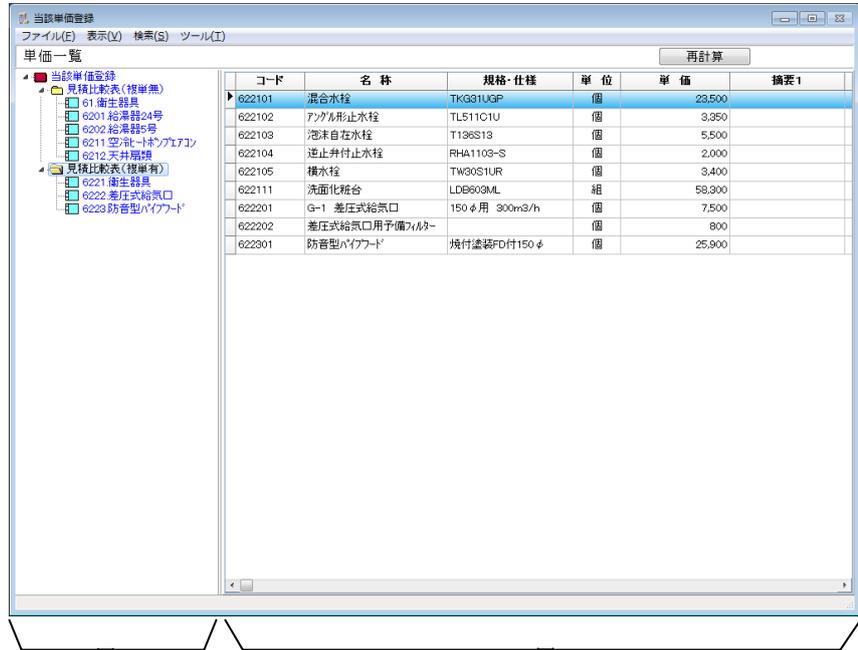
ツリーの展開は、ツリービュー文字をダブルクリックするか、▶ の部分をクリックして下さい。(Windows の「エクスプローラー」のツリービューの操作と同様です▶ の部分は + で表示される環境もあります。)

## 2 画面表示について

### 1 メインメニュー画面

「5. メインメニュー」〈本書 P37〜〉を参照して下さい。

### 2 当該単価登録画面(当該基礎/名称変更代価/補足単価/代価等)



#### 〔単価分類階層〕

分類階層の作成/設定を行います。〈ツリービュー〉

#### 〔登録単価の一覧表示〕

登録済み単価の一覧を表示します。

アイコン	内 容
	〔ルートフォルダーアイコン〕 主要な設定及び、初期設定を行います。
	〔フォルダーアイコン〕 ※右側はオープン時 このアイコン下階層に単価登録用シートを設定します。
	〔シートアイコン〕 ※右側はオープン時 単価を登録します。

※キーボードでの操作

  :〈ツリービュー〉項目を上下に移動します。

  :〈ツリービュー〉の拡張/縮小を行います。

 :単価一覧へ処理が移行します。  
続けて  により、単価の編集画面へ移行します。

## 3 内訳明細登録画面



## [工事分類階層]

分類階層の作成/設定を行います。〈ツリービュー〉

## [工事の一覧表示]

工事の一覧及び区分・積算額を表示します。

アイコン	内 容
	[ルートフォルダーアイコン] 主要な設定及び、初期設定を行います。
	[フォルダーアイコン(種目/科目)] ※右側はオープン時 このアイコン下階層に単価登録用シートを設定します。
	[シートアイコン(科目/中科目)] 科目/中科目に該当し、細目別内訳を入力します。
	[従工事シートアイコン] 従工事の直接工事費・現場管理費・一般管理費等を入力します。
	[小計アイコン] 「直接工事費の合計」等、同階層の直前項目までの小計を計算します。
	[シートアイコン(按分計算)] 共通仮設費/現場管理費/一般管理費等の按分指定を行います。

※キーボードでの操作

:〈ツリービュー〉項目を上下に移動します。

:〈ツリービュー〉の拡張/縮小を行います。

:フォルダー時、〈ツリービュー〉の選択  
シートの時、明細入力画面へ処理が移行します。

### 3 ツリービューの操作について

#### 1 基本事項

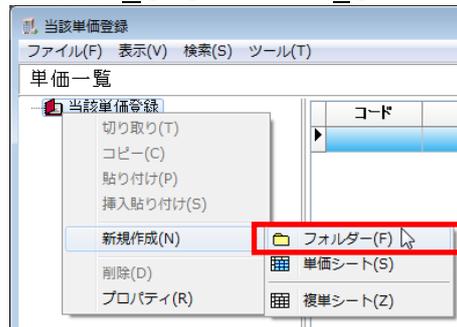
- ・以降、マウスの左ボタンでクリック操作をすることを明示的に[左クリック]または[クリック]と称します。
- ・以降、マウスの右ボタンでクリック操作をすることを[右クリック]と称します。
- ・以降、マウスの左ボタンを2回素早くクリックし、命令などを実行する操作を[ダブルクリック]と称します。
- ・マウスでフォルダーやシートを選択(フォルダー テキストの背景に色がついた表示または文字色が反転表示となります)する際は、対象のフォルダーやシートを必ずマウスの**左ボタン**を[クリック](左クリック)して確実に選択して下さい。(マウスの右ボタンによる[右クリック]操作では、対象のフォルダーやシートの選択操作にはならず、元から選択されている位置に戻ってしまいます。)
- ・操作ミスによりフォルダーやシートを想定外の位置に移動させてしまうことを防止するため、マウス操作による[ドラッグ & ドロップ]機能は本製品には実装しない仕様となっております。

#### 2 フォルダー・シートの新規作成

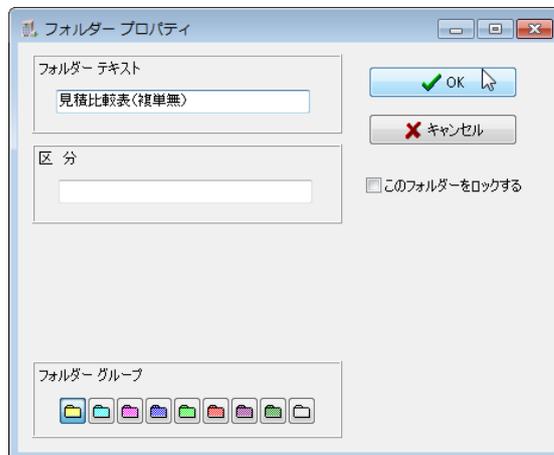
※フォルダーは、シートを階層に整理して管理する為に用います。(作成は必須ではありません。)

- ・当該単価・代価等では、単価及び代価の種別の分類等に使用します。
- ・内訳明細では、工事項目の分類(種目・科目・中科目…等)に使用します。

- 1) 作成する階層の親フォルダーにカーソルを合わせて[左クリック]して選択して下さい。
- 2) [右クリック]すると、ポップアップメニューが表示されます。
- 3) [新規作成(N)]→[フォルダー(F)]にカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。

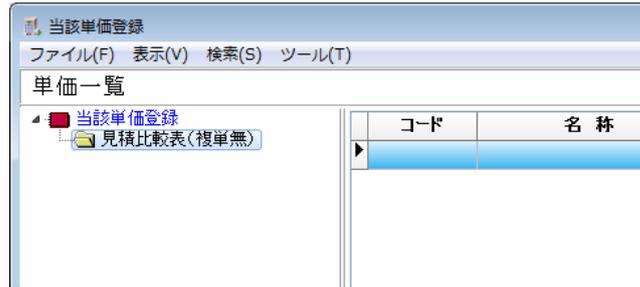


- 4) [フォルダー プロパティ]が表示されます。  
※当該単価、代価、内訳書、共通費によりプロパティの内容は異なります。



- 5) [フォルダー テキスト]・[区分]・その他項目を設定し、[OK]ボタンをクリックして下さい。  
※[フォルダー(シート) グループ]はツリービューの「表示色」に反映されます。

6) 指定した親フォルダー下に、新たにフォルダーが作成されます。



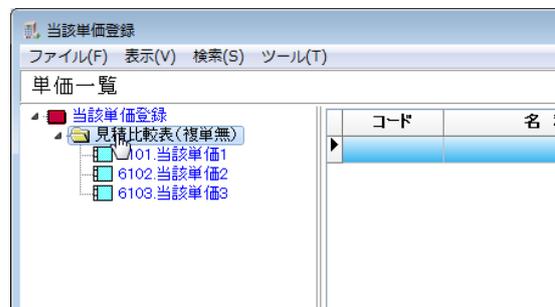
※ シート(小計・按分グループ等)についても同様の手順で作成できます。

※ シートを選択時は、[新規作成(N)]メニューは操作出来ません(シートの配下にフォルダーやシートは作成出来ません)。

### 3 フォルダー・シートの複写(コピー)

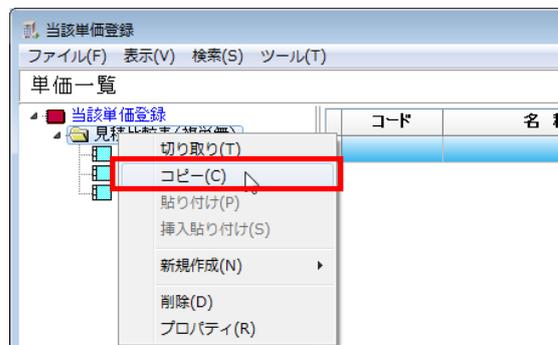
1) 複写するフォルダーにカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。

※画面は、フォルダーの中にシートを3つ作成しています。



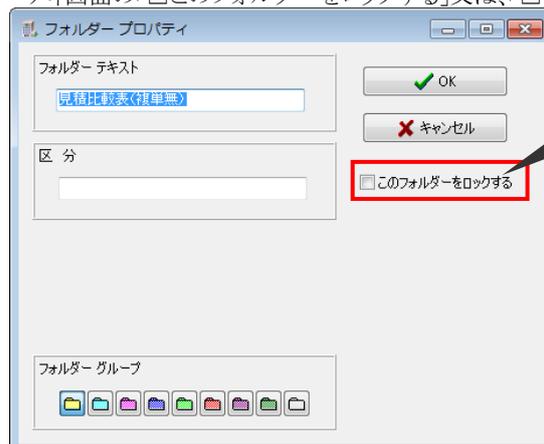
2) [右クリック]すると、ポップアップメニューが表示されます。

3) [コピー(C)]にカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。

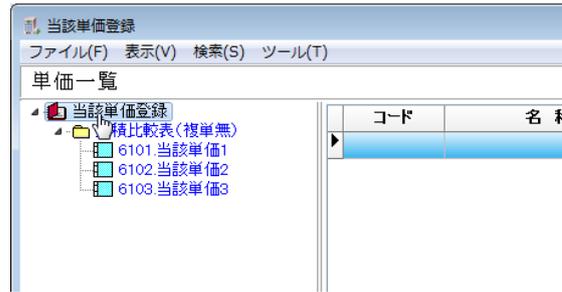


※「ルートフォルダー」はコピーできないため、「ルートフォルダー」選択時は[コピー(C)]が使用不可になります。

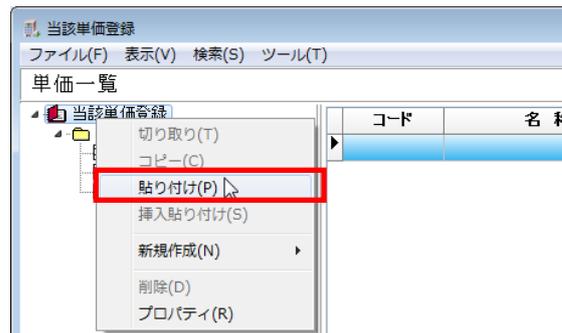
※[コピー(C)]が選択できない時は、対象のフォルダーやシートを[右クリック]→[プロパティ(R)]を選択し、プロパティ画面の「このフォルダーをロックする」又は、「このシートをロックする」のチェックを外して下さい。



- 4) 複写したい場所の親フォルダーに、カーソルを合わせて[左クリック]して下さい。

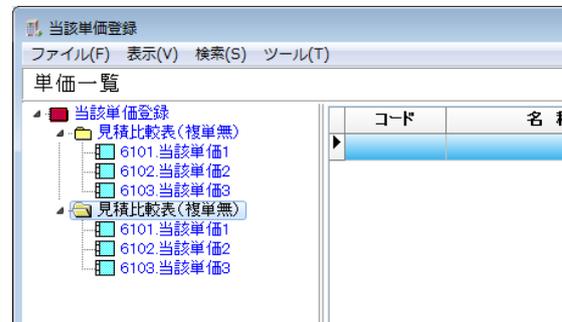


- 5) [右クリック]すると、ポップアップメニューが表示されます。
- 6) [貼り付け(P)]にカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。



※ シートを選択した時は、[貼り付け(P)]メニューは無効となります(「シート」はそれ自体で完結するものであり、階層下にフォルダーやシートを配置するためのものではないため)。

- 7) 指定した親フォルダー下に、複写したフォルダー(階層下も含む)が作成されます。

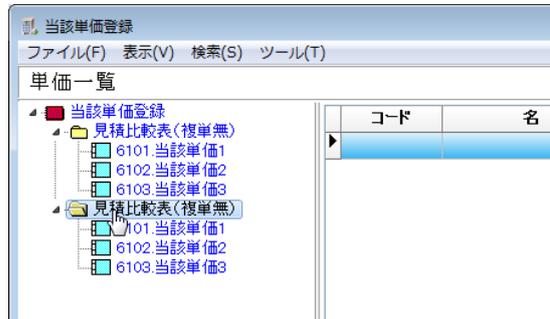


- ※ シートも同様に複写(コピー)できます。
- ※ 当該基礎単価や当該代価等を入力しているシートを複写した場合は、コードが重複しないように再設定して下さい。

#### 4 フォルダ・シートのプロパティ設定

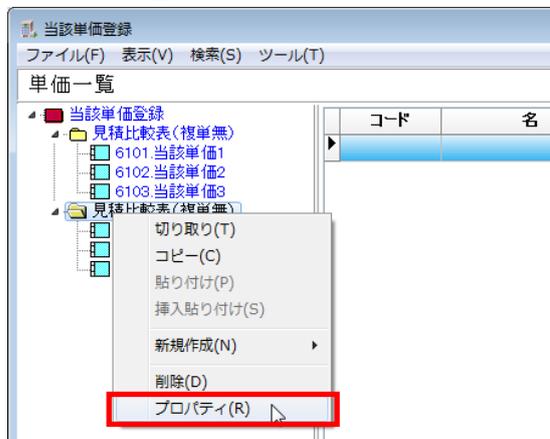
※「プロパティ」とは「対象」についての「属性」のことを意味します。例えば、「信号機」を対象とし、その「色」をプロパティ(属性)とすると、その値には、「赤」・「黄」・「青」があるということだと考えて下さい。

- 1) 設定を行うフォルダにカーソルを合わせて[左クリック]して選択して下さい。

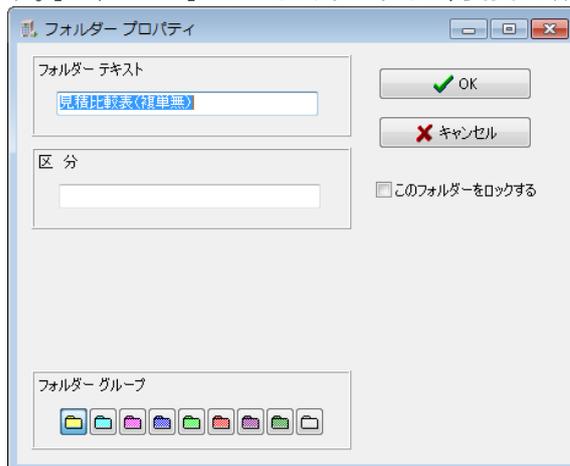


- 2) [右クリック]すると、ポップアップメニューが表示されます。

- 3) [プロパティ(R)]にカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。



- 4) プロパティ画面の各項目を設定し、[OK]ボタンをクリックすると変更した内容が反映されます。[キャンセル]ボタンをクリックすると、変更内容を破棄します。

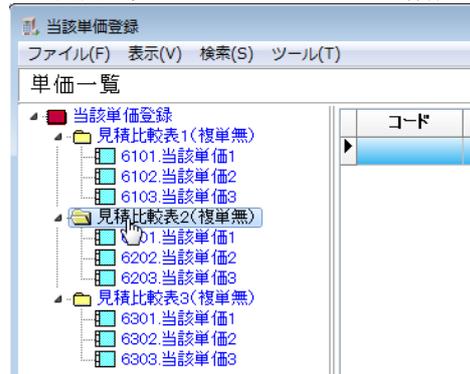


※[フォルダ(シート) グループ]はツリービューの「表示色」に反映されます。

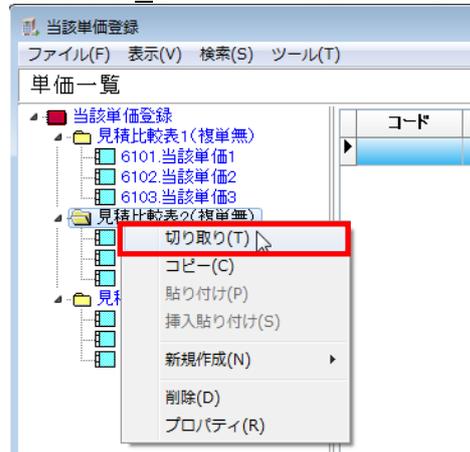
※ シートのプロパティ設定手順も同様です。

## 5 フォルダ・シートの移動

- 1) 移動するフォルダにカーソルを合わせて[左クリック]して選択して下さい。  
※画面は、フォルダグループを3つ作成しています。

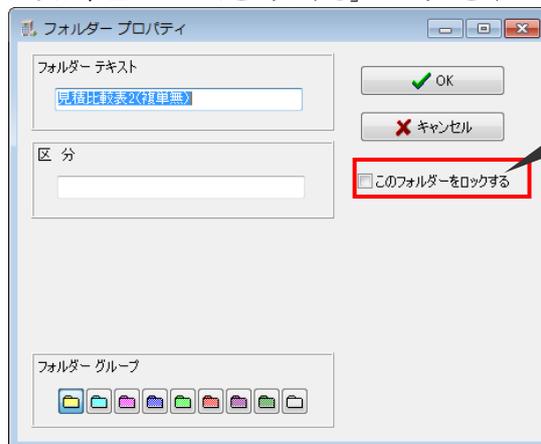


- 2) [右クリック]すると、ポップアップメニューが表示されます。
- 3) [切り取り(T)]にカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。



※「ルートフォルダ」は移動できないため、「ルートフォルダ」選択時は[切り取り(T)]メニューは使用不可になります。

※[切り取り(T)]が選択できない時は、[プロパティ(R)]を選択し、プロパティの「このフォルダをロックする」又は、「このシートをロックする」のチェックを外して下さい。



- 4) 移動先を指定して下さい。
  - ◆挿入する場合…挿入したい場所にある(移動対象のフォルダやシートを移動後、それらの下の並びに配置したい)フォルダ又は、シートにカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。
  - ◆選択したフォルダ内の最下に移動する場合…親フォルダにカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。

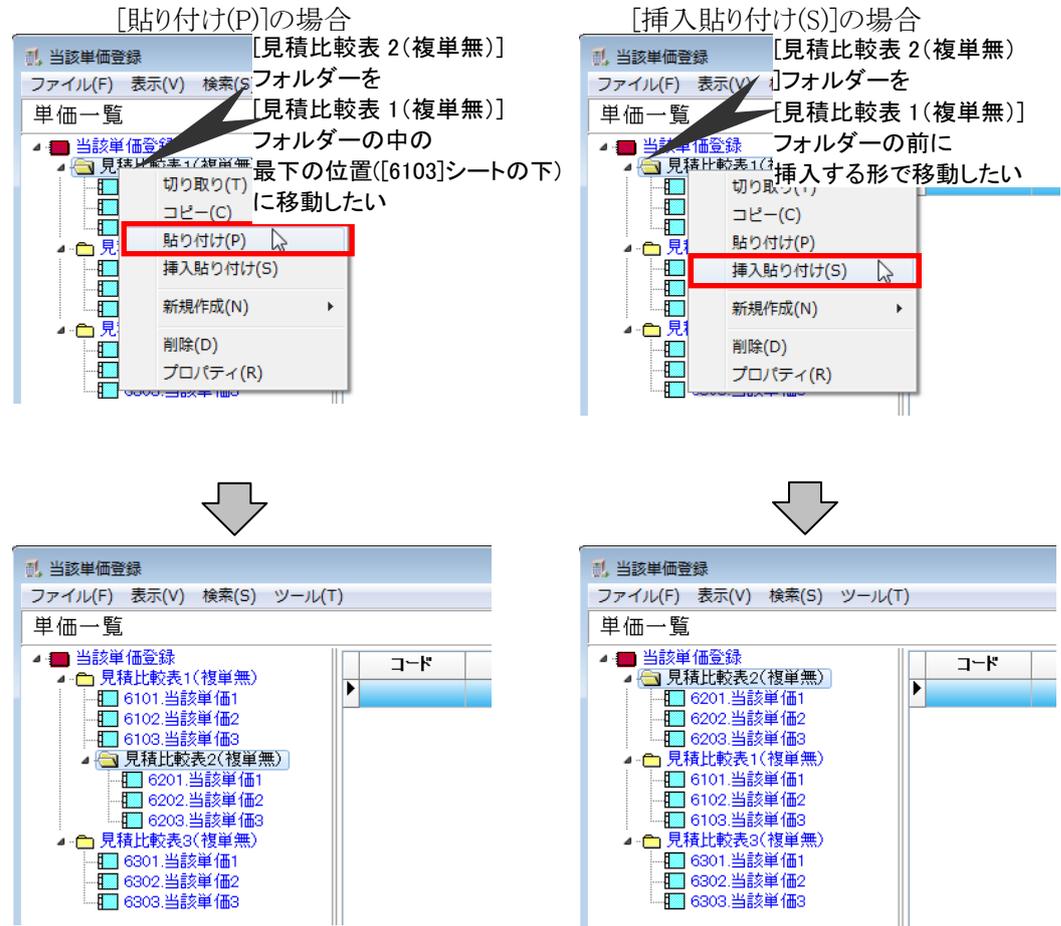
5) [右クリック]すると、ポップアップメニューが表示されます。

6) [貼り付け(P)]又は、[挿入貼り付け(S)]にカーソルを合わせて[左クリック]すると、対象のフォルダー(階層下も含む)が移動されます。

◆挿入する場合・・・[挿入貼り付け(S)]を[左クリック]して下さい。

◆フォルダー内最下に移動する場合・・・[貼り付け(P)]を[左クリック]して下さい。

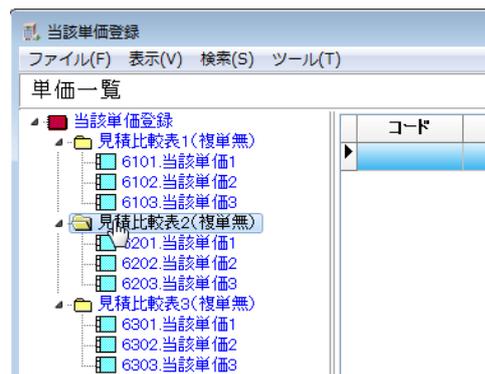
※ シートを選択した時は、[貼り付け(P)]・[挿入貼り付け(S)]メニューは無効となります(「シート」はそれ自体で完結するものであり、階層下にフォルダーやシートを配置するためのものではないため)。



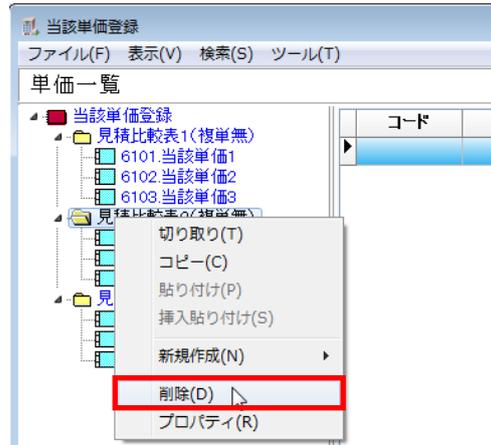
※ シートの移動手順も同様です。

## 6 フォルダー・シートの削除

1) 削除するフォルダーにカーソルを合わせて[左クリック]して選択して下さい。

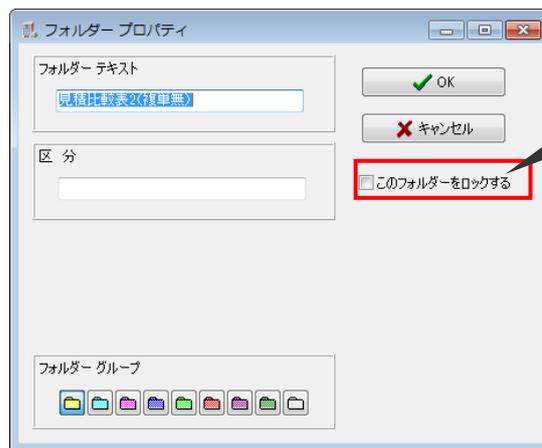


- 2) [右クリック]すると、ポップアップメニューが表示されます。
- 3) [削除(D)]にカーソルを合わせて[左クリック]して下さい。



※「ルートフォルダー」は削除できないため、「ルートフォルダー」選択時は[削除(D)]メニューは使用不可になります。

※[削除(D)]が選択できない時は、[プロパティ(R)]を選択し、プロパティの「このフォルダーをロックする」又は、「このシートをロックする」のチェックを外してください。



- 4) 指定したフォルダー(階層下にあるフォルダーやシートも含む)が削除されます。

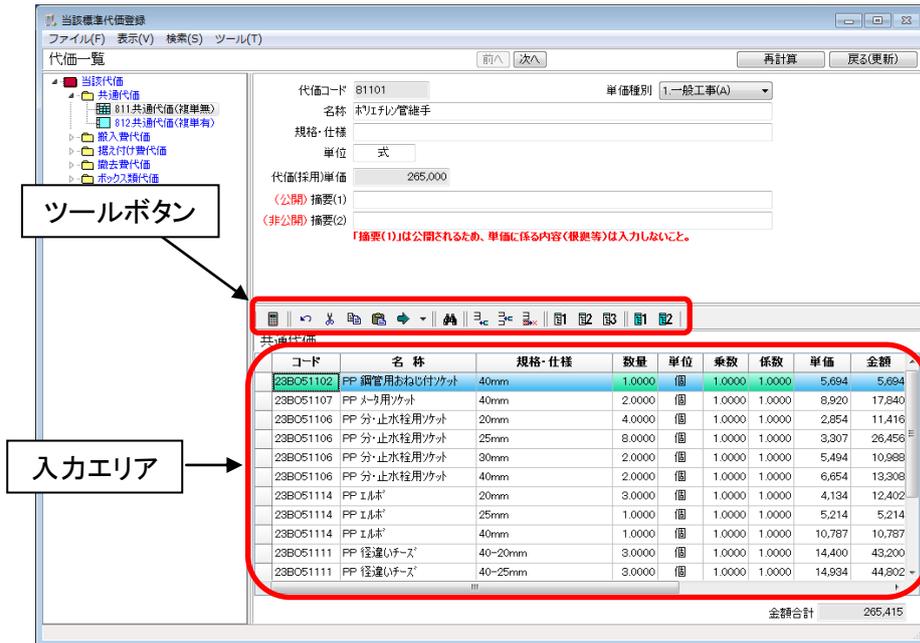


※シートの削除手順も同様です。

4

一覧入力時のツールボタン

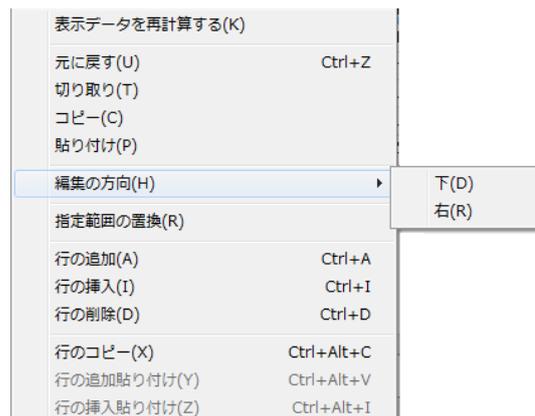
※ データの入力時、入力エリア上部にツールボタンが表示されます。



◆ 表示されるボタンと機能

ツールボタン	機能説明
	表示データの編集結果を保存します。
	表示データを再計算します。
	編集内容を元に戻します。 ※削除した行の復活はできません。
	セルの値を切り取りします。
	セルの値をコピーします。
	選択しているセルに値を貼り付けします。
	[Enter]キー後のカーソルの移動方向を指定します。
	置換ウィンドウを表示し、選択領域の置換作業を行います。
	最終行に、行を追加します。
	カーソル行の上に、行を挿入します。
	選択行の削除を行います。 ※削除した行の復活はできません。
	「使用単価ファイルの設定」<本書 P58～参照>で設定した配布単価の単価コード選択画面を表示します。
	当該基礎単価・当該代価・当該複合単価の単価コード選択画面を表示します。
	※設計変更時のみ [原]: 原設計の配布単価を引込 [変]: 設計変更の配布単価を引込

※ 入力エリア上で[右クリック]により、次のポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューの選択を行っても、同様に処理されます。



## 5 単価コードについて

## 1) 配布単価(機械)

頭コード	単価名称	備考
1	基礎単価	年1回配布予定
2	標準単価(複合単価)	年1回配布予定
3	補足単価	年1回配布予定
J	住宅整備課標準単価	住宅建設課にお問い合わせ

※歩掛は種別ごとに異なる頭コードが付番されています。

※「住宅整備課標準単価」(頭コードJ)は、住宅建設課(平成26年度迄は住宅整備課が担当)関連の公共住宅事業者等連絡協議会(事連協)基準で積算を行う際に使用します。なお、環境設定(基本設定)画面<本書 P38 参照>で「H14年度・H22年度・H24年度共通費計算シート」の設定値を「住整設備」に設定した場合のみ使用可能です。

※配布時期は、住宅都市局 建築技術部 設備課の積算システム担当者にお問い合わせ下さい。

## 2) 配布単価ファイル名について

ファイル名は、下記の通りになっています。

[積算区分]+[単価名称]+西暦年月+「.zip」(拡張子)

(例)平成25年6月(2013年6月)度機械標準単価の場合  
M標準201306.zip

積算区分:A(建築)、E(電気)、M(機械)

単価名称:基礎(基礎単価)、標準(標準単価)、補足(補足単価)、住整(住宅整備課標準単価)<sup>※1</sup>、歩掛(歩掛)

西暦年月:201306(平成25年(2013年)6月)

拡張子 :zip<sup>※2</sup> (ZIP形式圧縮ファイル)

※1 「住宅整備課単価」は、住宅建設課(平成26年度迄は住宅整備課が担当)関連の公共住宅事業者等連絡協議会(事連協)基準で積算を行う際に使用します。

※2 配布時、金入り配布単価ファイルは、拡張子が「.zip」(小文字)で金抜き配布単価ファイルは、拡張子が「.ZIP」(大文字)になっています。但し、Windows2000よりも古いOS環境にデータを保存した経歴がある場合、ファイル名が自動的に変更され(全て大文字、ファイル名の先頭だけ大文字等)判別出来なくなる場合もありますのでご注意ください。なお、一般的にはファイル容量が小さい方が金抜き配布単価ファイルとなります。

## 3) 当該工事単価(頭コード)

頭コード	単価名称	備考
6	当該基礎単価(刊行物・カタログ・見積単価等)	当該工事毎に作成
7	複合単価(当該基礎単価をもとに作成)	当該工事毎に作成
8	当該代価	当該工事毎に作成
9	複合単価(当該代価をもとに作成)	当該工事毎に作成

6

内訳明細・代価の計算コードについて

コード入力部に入力できるコードは、登録済みの単価コード以外に次にあげるものがあります。  
 (例1)「当該標準代価登録画面」の共通代価明細入力部

共通代価	コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	係数	単価	金額	摘要1(公開・単価根拠は)	摘要2(非公開)	仮	GP
	1A0501930	保温・保冷材 ロックウール保温	200A*50T	1.0500	m	1.0000	1.0000	2,310	2,425			*	1
	1B2902200	造園材 木質エチレンフィルム	200mm幅	0.8200	m	1.0000	1.0000	3	2			*	1
	1G0504150	着色アルカラスクロス	幅150mm	6.6000	m	1.0000	1.0000	75	495			*	1
	#	小計(直前合計)	(直前までの単価を仮単価と						2,922				
	1A0501932	保温・保冷材 ロックウール保温	250A*50T	1.0500	m	1.0000	1.0000	2,761	2,899				1
	1B2902200	造園材 木質エチレンフィルム	200mm幅	8.7000	m	1.0000	1.0000	3	26				1
	1G0504150	着色アルカラスクロス	幅150mm	0.6500	m	1.0000	1.0000	75	48				1
	#10	雑材料	直前行の10%	10.0000	%	1.0000	1.0000	48	4				1
	#1	小計(グループ合計)	(グループ小計は仮単価扱い)						5,899			*	
	#1#10	雑材料	グループ小計の10%	10.0000	%	1.0000	1.0000	5,899	589				
	/	コメントが書き込めます											
	1A0502914	保温・保冷材 グラスウール保温	40A*30T	1.0500	m	1.0000	1.0000	259	271				2
	1A05080610	保温・保冷材 保温保冷用	幅100mm	5.3000	m	1.0000	1.0000	33	174				2
	#2	小計(グループ合計)	(グループ小計は仮単価扱い)						445			*	

種別	入力例	入力例による結果
直接仮設工事費 (率による計算)	*%20	明細の仮単価以外の合計*0.20 ※内訳明細のみ有効
直前行掛率	%5	直前行*0.05
直前行掛率	%5%7	直前行*0.05*0.07
直前仮単価行掛率	%5	直前行*0.05 (直前行は自動的に仮単価となり、計算対象となりません。注)
直前行までの合計	#	直前行までの合計 (直前までの行は自動的に仮単価となり、計算対象となりません。注)
グループ 合計	#1	全行のうち同一グループの合計 (入力例「#1」はグループ1の合計) (グループ合計の行は自動的に仮単価となり、計算対象となりません。注)
グループ 合計に掛率	#1%5	全行のうち同一グループの合計*0.05 (グループ1の合計*0.05)
グループ 仮単価の合計に掛率	#3%5	全行のうち同一グループ 仮単価の合計*0.05 (グループ3の合計*0.05 直前までの同一グループ 行は自動的に仮単価となり、計算対象となりません。注)
/	/	名称・規格にコメント
T (コードの先頭)	T	任意入力単価

※ 頭コード「@」は、従工事の金額を入力する際に自動設定されるコードなので、従工事シート以外では使用できません。

※ グループ番号は1~9まで指定可能(#1~#9)。

(例2)「内訳書の入力画面」の内訳明細入力部(小計「#」、「#1」の使用例)

05.消火設備工事										小計	832,020	改め計	832,000
単価コード	名称	規格・仕様	数量	単位	単価	金額	摘要1(公開・単価根拠)	摘要2(非公開)	工種	単価種別	専	GP	仮
	消火栓関連												
23F111010	屋内消火栓箱(総)	HB-1A	3.0000	組	55,400	166,200			1新管	1一般工事(A)	0		*
23F171022	排水口 埋込型 <	双口(100A×75A)	1.0000	個	83,300	83,300			1新管	1一般工事(A)	0		*
#	小計(直前合計)	(直前までの単価を				249,500			1新管	1一般工事(A)	0		
/	スプリンクラー関連												
23F41010	スプリンクラー装置	(標準型)	16.0000	個	4,120	65,920			1新管	1一般工事(A)	0	1	
23F41110	スプリンクラー装置	ヘッド用保護網	16.0000	個	3,750	60,000			1新管	1一般工事(A)	0	1	
23F421090	スプリンクラー装置	流	80A	3.0000	組	124,000	372,000		1新管	3主要機器(M)	0	1	
23F431108	スプリンクラー装置	制	80A	3.0000	個	12,600	37,800		1新管	1一般工事(A)	0	1	
23F44010	スプリンクラー装置	末	ゲート弁(保護カバー)	3.0000	組	15,600	46,800		1新管	1一般工事(A)	0	1	
#1	小計(グループ合計)	(グループ小計は仮				582,520			1新管	1一般工事(A)	0		*

共通費率の計算に単価種別が反映されない項目 (仮単価となっている項目)

(注) 内訳明細等で単価項目を小計でまとめる際、仮単価の行(「仮」の列に「\*」が自動表示される行)の単価種別は、共通費率の計算に単価種別が反映されません。  
 内訳明細等で小計を行う場合は、グループ合計(「#1」等)の機能を使用して下さい。

◆グループ番号及びグループ合計を設定する際の注意事項

1. グループ番号は上から1、2、3、・・・9というように若い番号順に入力すること。
2. 各グループ内でグループ合計を入力するまでの途中の行には、異なるグループ番号は入力しないこと。

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	係数	単価	金額	摘要1(公開・単価根拠は)	摘要2(非公開)	仮	GP
2111001	コンクリート	手練り無筋	0.2700	m3	1.0000	1.0000	30,900	8,243				1
21114001	型枠	一般用	1.0800	m2	1.0000	1.0000	6,320	6,825				1
21113001	モルタル	モルタル(厚さ15mm) 1:3	2.8800	m2	1.0000	1.0000	1,560	4,492				1
#1X20	諸雑費	グループ合計の20%	20.0000	%	1.0000	1.0000	19,660	3,932				
2111001	コンクリート	手練り無筋	0.5400	m3	1.0000	1.0000	30,900	16,696				2
21114001	型枠	一般用	2.2600	m2	1.0000	1.0000	6,320	14,283				
21113001	モルタル	モルタル(厚さ15mm) 1:3	5.7600	m2	1.0000	1.0000	1,560	8,965				
#2X10	諸雑費	グループ合計の10%	10.0000	%	1.0000	1.0000	25,671	2,567				

※注意  
 グループ合計(に掛率)(#●%\*\*)を設定する場合、グループ合計より上の行に当該グループコードを入力して下さい。  
 グループ合計の下の行に当該グループ番号を入力してもエラーが出てグループ番号を振ることができません。  
 この場合、GP欄に「1」を入力するとエラーになり、グループ合計に含まれません。

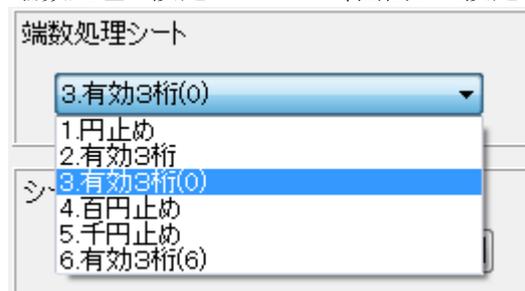
7 端数処理について

◆端数処理のパターンと処理後の値

種別	1	11	111	1,111	11,111	111,111	1,111,111
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
1. 円止め	1	11	111	1,111	11,111	111,111	1,111,111
2. 有効3桁	1	11	111	1,110	11,100	111,000	1,110,000
3. 有効3桁(0)	1	11	110	1,110	11,100	111,000	1,110,000
4. 百円止め	1	11	111	1,100	11,100	111,100	1,111,100
5. 千円止め	1	11	111	1,000	11,000	111,000	1,111,000
6. 有効3桁(6)	1	11	110	1,110	11,100	111,000	1,111,000

※「6.有効3桁(6)」は10万以上は「千円止め」、10万未満は「有効3桁(0)」と同じ処理となる。

◆端数処理の設定はプロパティ画面にて設定します。



## 8

## コードの検索機能

※当該単価コード・当該見積メーカーコード当該代価コードを各入力画面にて検索します。大規模な工事などのように入力済のコードの行数が多い場合においても、目的のコードへの頭出しを容易に行うことができます。

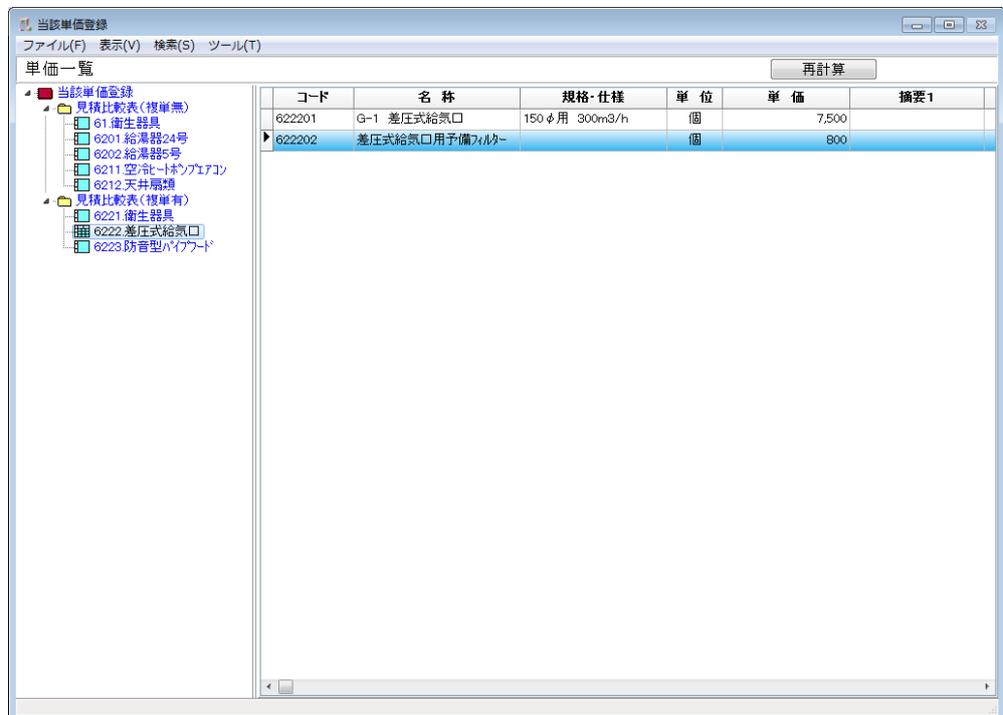
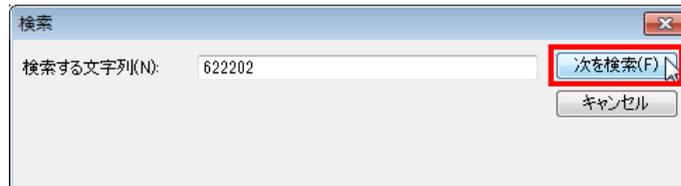
※本解説は[当該単価の入力]画面にて行います。他の画面についても操作方法は同じです。

- 1) [検索(S)]→[当該基礎単価コード検索(F)]をクリックして下さい。

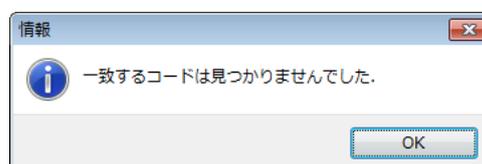
※[当該基礎単価コード検索(F)]など、ポップアップされるメニューの文字列はそれぞれの画面で対応する名称に読み替えて下さい。



- 2) 検索したいコードを入力し、[次を検索(F)]ボタンをクリックすると、一致するコードが見つかった場合はそのコードの行に頭出しされます。



※入力したコードと一致するデータが無い場合は、下記のメッセージが表示されます。



## パターンコピー機能

※パターンコピー機能は以下のようなときに使用します。

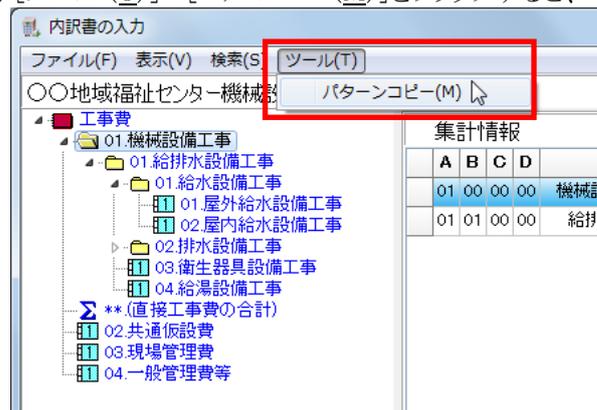
- ・本システムのインストール先フォルダー（標準は C ドライブの ADD21V2 フォルダー）内にある[内訳書パターン]フォルダー内に格納されている内訳書パターンファイルの、内訳明細の項目のフォルダー及びシート階層パターンを作業中の内訳書ファイルに取り込む時。  
（内訳書パターンファイルは、「建築積算用」・「電気設備積算用」（2 パターン）・「機械設備積算用」が準備されていますので該当するものを利用します。）
- ・大規模な工事のように入力する項目が非常に多い場合、入力作業を複数人で分担して行うと複数の内訳書ファイルに分割された状態となります。それらの複数の内訳書ファイルの内容を最終的に1つの内訳書ファイルに取りまとめ作業を行うとき（内訳書ファイルの併合処理）。

※本解説は[内訳書の入力]画面にて行います。他の画面についても操作方法は同じです。適宜読み替えて下さい。なお、各画面におけるパターンコピーの対象データは、各画面で処理を行うデータとなります。

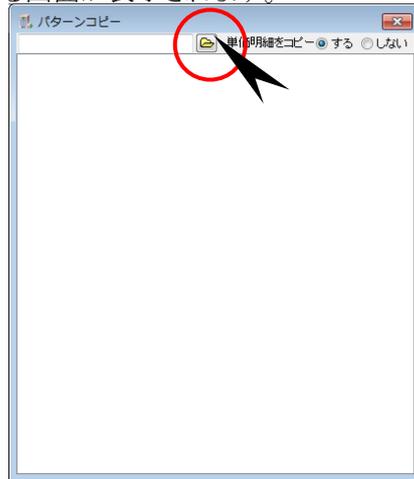
- 1) あらかじめ、内訳書ファイルが新規作成済または読み込まれている状態にして下さい。
- 2) 内訳書の入力・再計算 画面の集計情報表示状態にして下さい。  
他の画面では、単価一覧(コード一覧)表示状態にして下さい。  
※コード入力表示や内訳明細入力表示状態では操作できません。



- 3) [ツール(T)]→[パターンコピー(M)]をクリックすると、パターンコピー画面が表示されます。



- 4) パターンコピー画面のフォルダーボタンをクリックすると、パターンを取り込むファイルを選択する画面が表示されます。



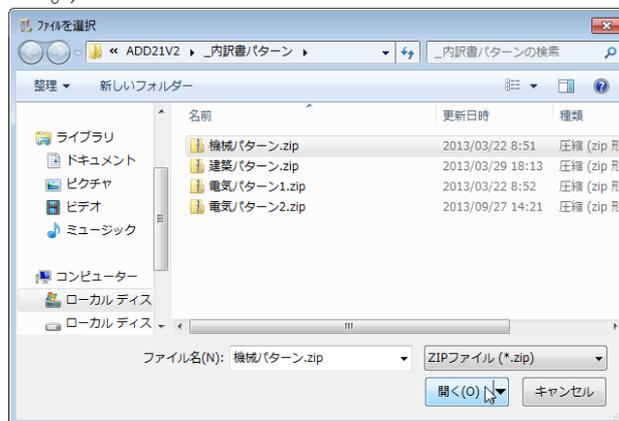
- 5) 「内訳書パターンファイル」または情報の取り込みを行う(併合処理を行いたい)内訳書ファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックすると、フォルダー・シートの階層が表示されます。  
 ※選択したファイルのバージョンが積算システムのバージョンと異なる場合は読み込みできません。選択したファイルから情報の取り込みを行いたい場合は、一旦そのファイルを読み込んでバージョンアップを行い、上書き保存(または[名前をつけて保存]により別名で保存)を行ってから処理を行って下さい。

※「内訳書パターンファイル」は、下記のフォルダーにインストールされています。

**C:\¥Add21V2¥内訳書パターン (Cドライブ内の[ADD21V2]フォルダー内の[内訳書パターン]フォルダー)**

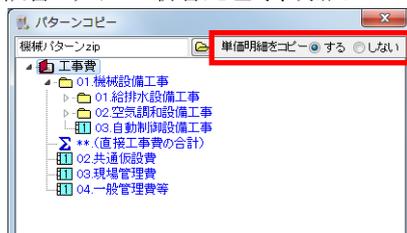
積算システムが、Cドライブにインストールされているものとします。

(尚、インストール先がCドライブでない場合は、Cを該当するドライブ名に読み替えて下さい。また、インストール先が任意の場所を指定した場合は、その場所に読み替えて下さい。)

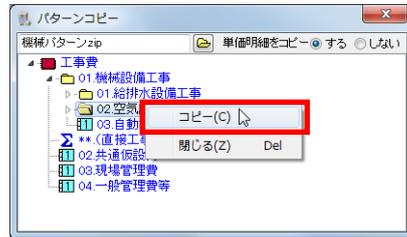


- 6) シートに保存されている明細(単価情報)についてもコピーする場合は、[単価明細をコピー]を[する]を選択して下さい。フォルダー・シート階層のみをコピーする場合は、[しない]を選択して下さい。

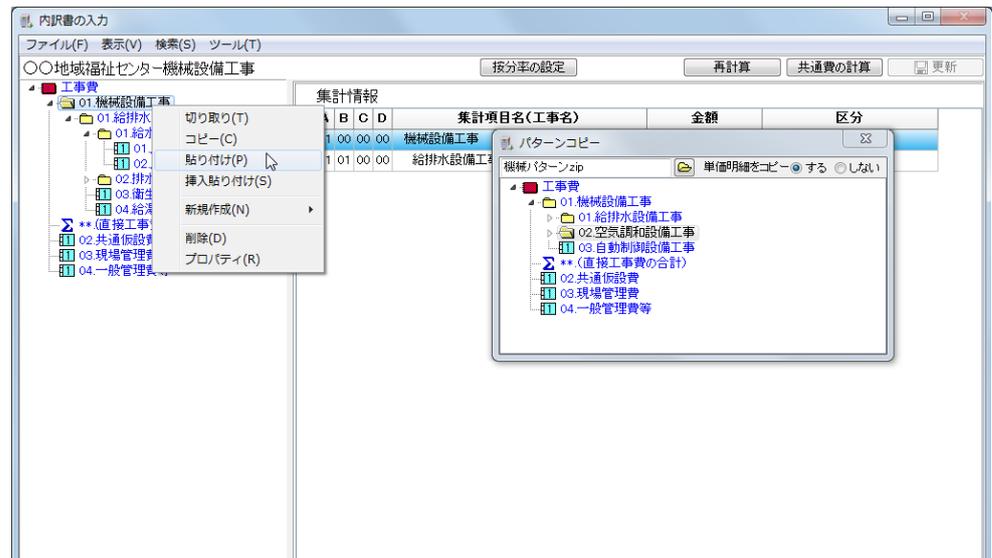
※内訳書ファイルの併合処理等、明細についてもコピーを行う場合は、必ず[する]を選択して下さい。



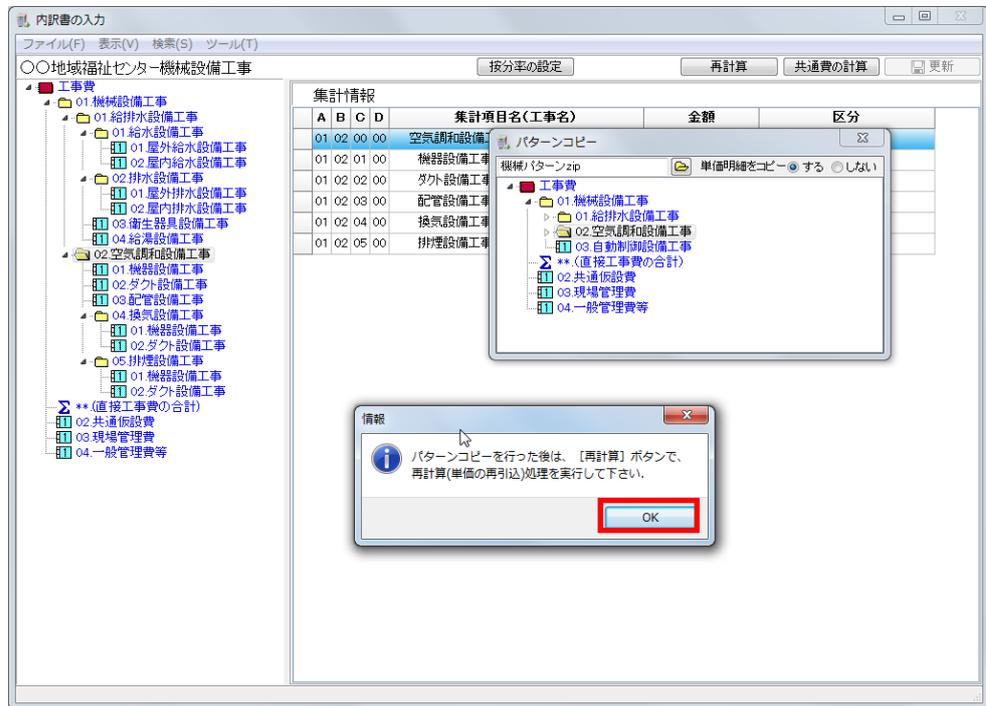
- 7) コピーしたいフォルダー又はシートを選択し(文字の背景に色がついた状態または文字色が反転している状態で)、右クリック→[コピー(C)]をクリックして下さい。  
 ※コピーした情報が失われるので、パターンコピー画面は開いたまま、選択しているフォルダーまたはシートをそのまま保持しておいてください。



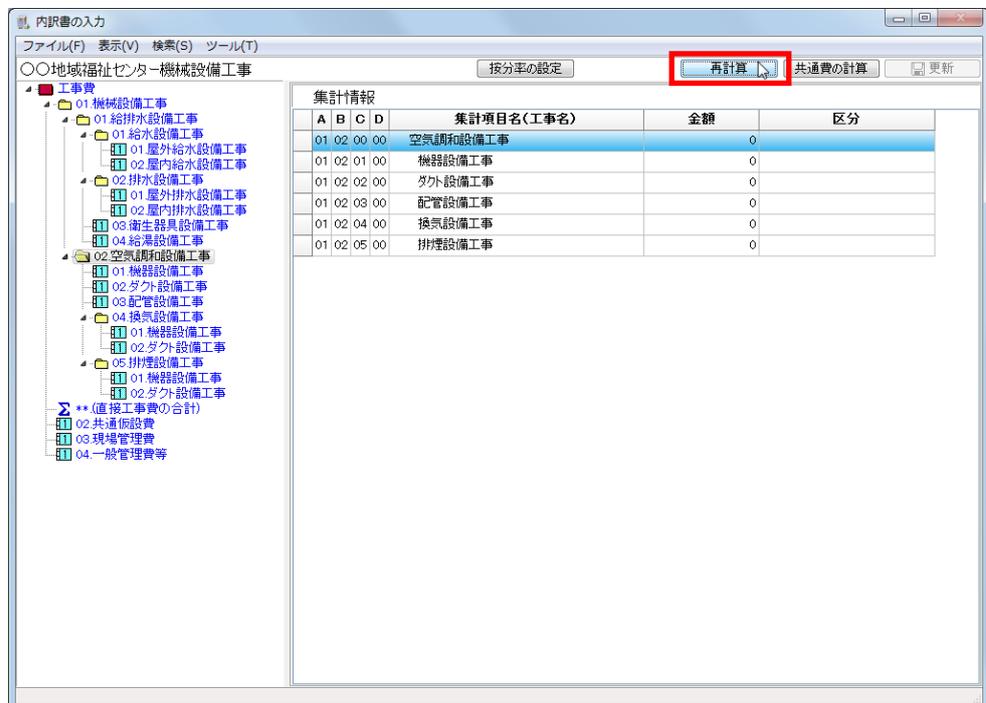
- 8) 入力画面の貼り付け(または挿入貼り付け)を行いたいツリービューの位置を選択し(文字の背景に色がついた状態または文字色が反転している状態で)、右クリック→[貼り付け(P)](または[挿入貼り付け(S)])をクリックすると、内容が貼り付けられます。  
 ※[単価明細をコピー]を[する]を選択した場合は、シートに保存されている明細(単価情報)も貼り付けられます。  
 ※下図はシートを選択しているため[貼り付け(P)]メニューが無効になっています。フォルダーを選択すると[貼り付け(P)]メニューも有効になります。



- 8) パターンコピー作業が完了しましたら、パターンコピー画面の右上の $\times$ ボタンをクリックし、パターンコピー画面を閉じて下さい。  
 ※パターンコピー画面を閉じる際に下記のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックして下さい。



- 8) 再計算ボタンをクリックし、再計算を行って下さい。

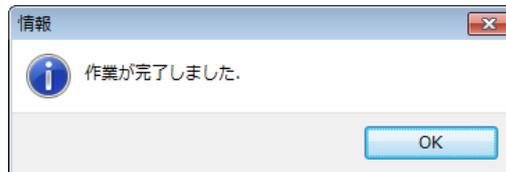
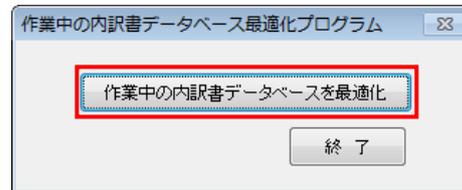


## 内訳書データベースの最適化

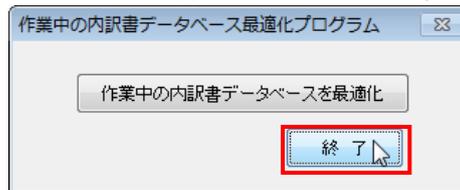
作業中に、極めてまれに下図の例のようなエラーメッセージが表示され、何らかの原因によりデータを正常に読み書き出来ない状態となる現象が発生する場合があります。その際は、下記の手順にて内訳書データベースの最適化を行うことにより、エラーが解消される場合があります。



- 1) メインメニュー[11.内訳書ファイルツール]→[1. 内訳書データベースの最適化]をダブルクリックすると、内訳書データベースの最適化画面が表示されます。
- 2) 「作業中の内訳書データベースの最適化」ボタンをクリックすると最適化処理が行われます。最適化作業が完了すると、「作業が完了しました。」というメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックして下さい。



- 3) 「終了」ボタンをクリックして内訳書データベースの最適化画面を閉じ、メインメニューへ戻して下さい。その後、エラーが発生した作業を再試行し、エラーが発生しなければ問題は解消されています。(エラーが解消しない場合は、内訳書ファイルのエラーが修復不可能なため、保存済の内訳書ファイルを読み込んで作業を再開して下さい。)



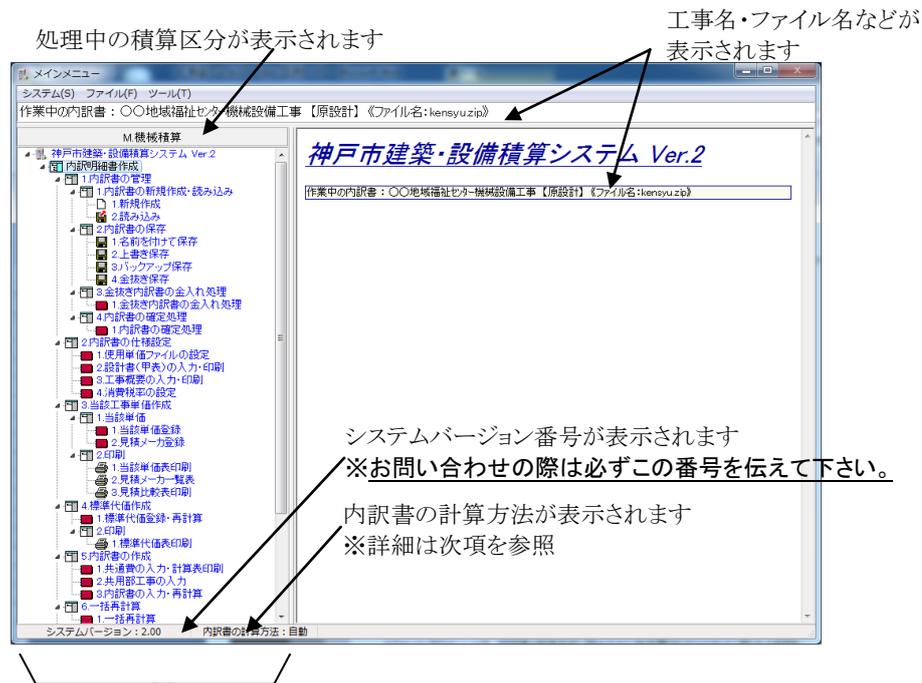
※ 内訳書データベースの最適化処理は内訳書の保存処理中に自動的に実行されるため、通常は実行する必要はありません。

## 5

## メインメニュー

1

## メインメニュー画面の表示項目について



## [業務選択メニュー]

ダブルクリックでプログラムを  
実行します。〈ツリービュー〉

※[ファイル(F)]メニューにも、[内訳書の新規作成]・[読み込み]・[保存]関係などのようなよく使われる機能を割り当てています(動作は[業務選択メニュー]の該当する機能と同じです)。

アイコン	内 容
	[システム(S)メニュー内アイコン] システムを終了します。
	[システム(S)メニュー内アイコン] システムの設定を行います。
	[グループアイコン] このアイコン下階層に関連プログラム起動用アイコンがあります。
	[プログラムアイコン] 登録/計算/その他プログラムを実行します。
	[プログラムアイコン] 内訳書ファイルの新規作成を行います。
	[プログラムアイコン] 内訳書ファイルの読み込みを行います。
	[プログラムアイコン] 内訳書ファイルの保存を行います。
	[プログラムアイコン] データ印刷のプログラムを実行します。

※キーボードでの操作

  :〈ツリービュー〉項目を上下にスクロールします。

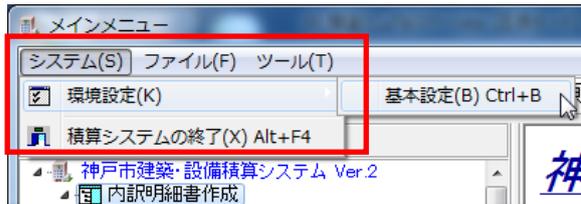
  :〈ツリービュー〉の拡張/縮小を行います。

 :プログラムアイコンを実行します。

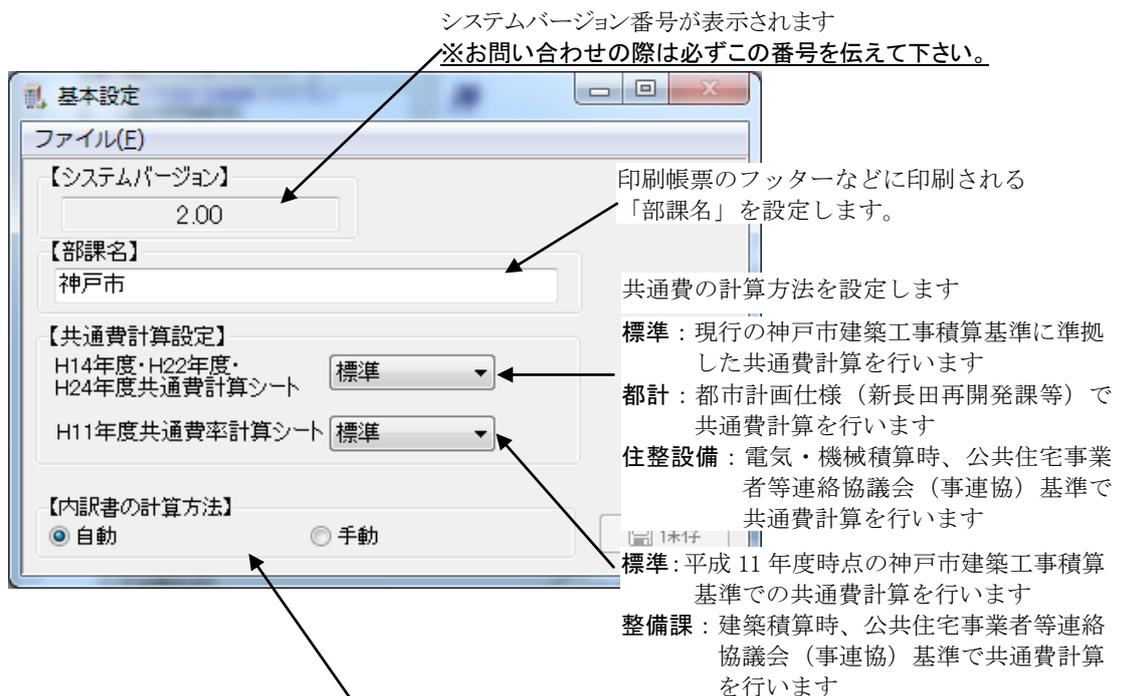
## 2 メインメニューの機能について

### 1 環境設定(基本設定)

- 1) メインメニューの[システム(S)]→[環境設定(K)]→[基本設定(B)]をクリックして下さい。



- 2) 各項目の設定を行い、「保存」ボタンをクリックするとシステム環境に反映されます。  
 ※次回起動時も設定値を記憶しています。【内訳書の計算方法】など、その都度変更を要する項目については、必要に応じて本画面にて再設定を行って下さい。



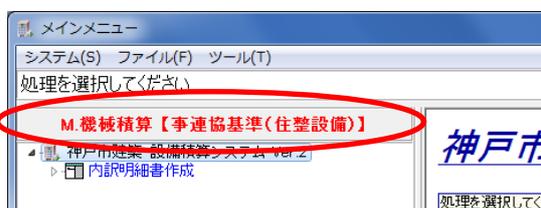
通常は「自動」に設定して下さい。

内訳書の項目及び明細が多い大規模な工事を作業する際、内訳明細の入力を終えた後に項目へ戻る際、積上げ計算をその都度行っているため画面の切り替え処理が極端に遅くなる場合があります。その際は「手動」にしますと、その都度行われる積上げ計算を省き、処理速度を向上させることが出来ます。

（「手動」に設定している場合、最終的な金額を出す場合は、必ず【一括再計算】処理を行って下さい。）

※共通費計算については、[共通費の入力]画面における共通費シートの設定状況により、「H14年度・H22年度・H24年度」または「H11年度」のいずれかの共通費計算シートがシステムにて選択されます。

※「H14年度・H22年度・H24年度共通費計算シート」の設定値を「住整設備」に設定した場合のみ、メインメニュー画面の下図の部分の表示が変更されます。（「標準」・「都計」の場合は黒文字で「M.機械積算」の通常表示となります。）



※バージョン1では消費税率の設定を本画面で行いましたが、バージョン2以降は「消費税率の設定画面<本書 P70 参照>」にて行います。

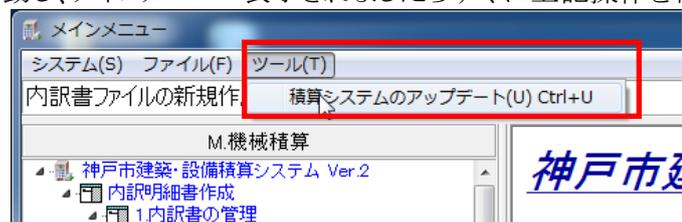
## 2 積算システムのアップデート(不具合修正・部分的な変更の発生時、設計書(甲表)差し替え時)

積算システムの不具合・システムの変更点が生じた際、次回バージョン配布までの間、現在のシステムの修正・変更部分を新しいプログラムに置き換えます。また、各部署用の設計書(甲表)の差し替え時も同様の操作で行います。

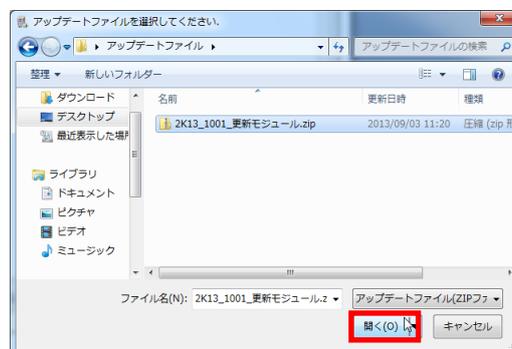
※ 以降、解説用に作成した擬似アップデートファイルによる実行結果の例として解説致します。従いまして、[2K13\_1001\_更新モジュール(2.00).zip](平成 25 年(2013 年)10 月 01 日修正分)擬似アップデートファイルは実際は配布されていません。

- 1) 積算システムを起動し、メインメニューを表示して下さい。
- 2) メインメニューの [ツール(T)] → [積算システムのアップデート(U)]をクリックして下さい。

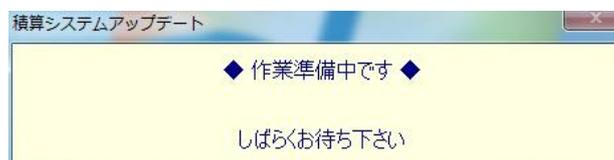
※(既に内訳書の新規作成や読み込みを行うなど何らかの作業を行った場合は[積算システムのアップデート(U)]が使用不可になります。その際は、積算システムを再起動し、メインメニュー表示されましたらすぐに上記操作を再試行して下さい。)



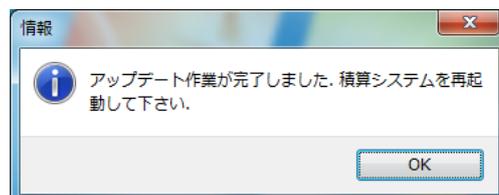
- 3) 配布されたアップデートファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックして下さい。  
※ファイルの名前・ファイル数は、配布される時により異なります。



- 4) 以下のような画面が表示されるのでしばらくお待ち下さい。



- 5) 完了後、以下のメッセージが表示されます。積算システムを再起動して下さい。



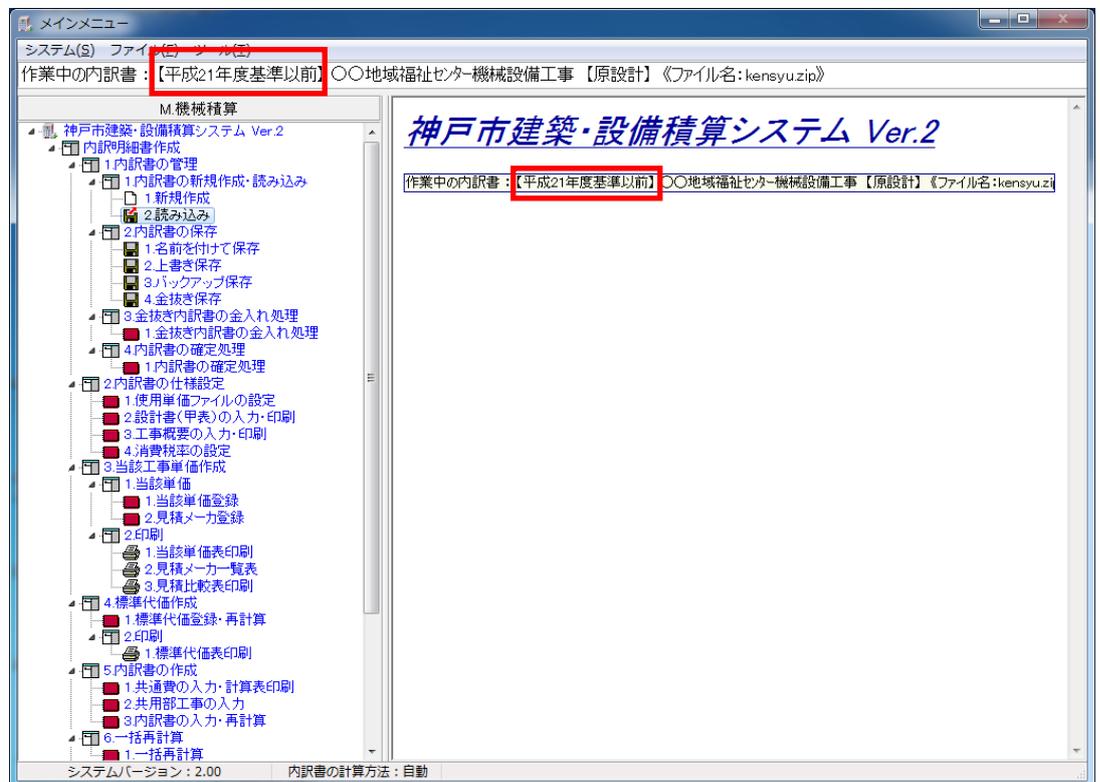
- 6) 更新後、メインメニュー画面左下のバージョン表示部は、システムバージョンに加えて括弧で囲まれた更新バージョン番号(下記の例では[2K13\_1001])が表示されます。  
**※お問い合わせの際は必ずシステムバージョン番号に加え更新バージョン番号も併せて伝えて下さい。**



- ※以降の解説ではシステムバージョンの表示を[更新前]の状態に戻しています  
 ※設計書(甲表)の差し替え時は、システムバージョン番号は変更されません。

### 3 積算基準改定に伴う表示について

平成 29 年度版よりも前の積算基準で作成された内訳書ファイルを読み込んだ際は、工事名称等表示部に下記のように表示されます。積算基準変更に伴う本システムの更新内容等の詳細は、下記に示す補足事項を参照して下さい。



作成した積算システムバージョン (基準更新前)	積算基準(表示)	詳細参照箇所 (本書)
β 1.00～β 1.46	【平成 21 年度基準以前】	補足 1
β 1.50～β 1.56	【平成 22～23 年度基準】	補足 2
β 1.60～2.07	【平成 24～28 年度基準】	補足 3

# 内訳書の新規作成/保存・読み込み

## 内訳書の新規作成

1) メインメニュー[1.内訳書の管理]→[1.内訳書の新規作成・読み込み]→[1.新規作成]をダブルクリックすると工事概要入力画面が表示されます。

2) [工事名称]及び[工事概要]の各項目を入力して下さい。

**【注意】**工事名称が入力されていないと、新規内訳書を作成できません。

※工事名称は、次のように反映されます。

① 設計書(甲表)の工事名称 ※工事概要⇄設計書(甲表)の相互で修正変更が可能です。

② 保存時の工事名称(新規作成→名前をつけて保存時のみ(任意変更可))

※保存時の工事名称([内訳書の読み込み]画面のリスト表示用)は、内訳書の保存画面にて本来の工事名とは異なる任意の工事名称を設定可能(別名称の工事名称は帳票等には反映されません)。

※【工事名】及び【工事概要(全体)】の各項目は、次のように反映されます。

① 【工事】 ※共通費計算時の判断項目

＜1.主工事＞ ＜2.従工事＞ 何れか該当する工事を選択して下さい。

**※内訳書の項目の雛形に影響するため、新規作成時に正確に選択して下さい。**

※環境設定(基本設定)画面<本書 P38 参照>で「H14 年度・H22 年度・H24 年度共通費計算シート」の設定値を「住整設備」に設定した場合のみ、<従工事>は使用しないため、「※」表示になっています。

② 【工事種別】 ※共通費計算時の判断項目/内訳明細の[工事種別]項目([工種]と表示)の値

＜1.新営＞ ＜2.改修＞ ＜4.昇降機＞

※設備積算では＜3.新営+改修>は使用しないため、「※」表示になっています。

※設計事務所版として運用している場合、設備積算では＜2.改修>は選択できません。

※環境設定(基本設定)画面<本書 P38 参照>で「H14 年度・H22 年度・H24 年度共通費計算シート」の設定値を「住整設備」に設定した場合のみ、<2.改修>は使用しないため、「※」表示になっています。

③ 【追加工事】 …追加工事か否かを設定して下さい。 ※共通費計算時の判断項目

④ 【契約保証金の有無】 ※共通費計算時の判断項目(平成 30 年度以降積算基準に適用)

＜1.有＞ …契約保証金を[一般管理費等]に計上する場合設定します。

[契約保証率]契約保証率(%)を入力して下さい。

※<0.無>の場合は、契約保証金を一般管理費等に計上しません。

⑤ 上記以外の項目は、メモ情報として処理されます。(入力値は共通費計算に影響しません。)

3) [OK] ボタンにより、新規データがシステムの作業領域に作成され、メインメニューに戻ります。

※処理が正常に行われると、メインメニューの工事名称等表示部に、入力した工事名称が表示されます。

※内訳書を「名前をつけて保存」<本書 P42 参照>を行うまでは、内訳書ファイルとして保存されません。

## 2

## 内訳書の保存

## 1 名前を付けて保存

※既存の内訳書ファイルを別ファイル名で保存する場合も、「名前をつけて保存」にて処理を行います。

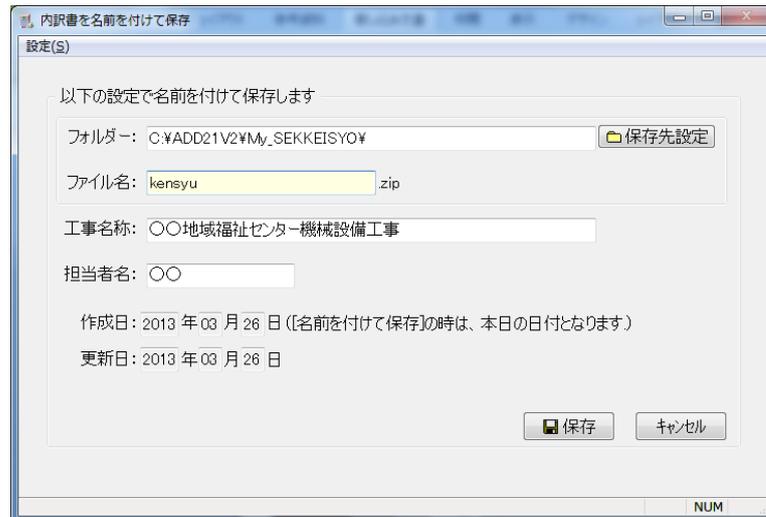
(既存の内訳書ファイルとは別物扱いとなります。)

※既存の確定済内訳書ファイルに対して「名前をつけて保存」にて保存処理を行った場合は、確定済情報が削除され、編集可能となります(確定済の内訳書ファイルを残す必要があるため、必ず、「確定済内訳書ファイル」とは異なるファイル名で保存して下さい)。

※神戸市認証済環境で既存の内訳書ファイルに対して「名前をつけて保存」にて保存処理を行った場合は、金抜き情報が削除されます。同じファイル名で保存した場合は金入れ処理を行うことが不可能となりますので、必ず別ファイル名で保存するように十分注意して下さい。

1) メインメニューのツリービューの[1.内訳書の管理]→[2.内訳書の保存]→ [1.名前を付けて保存] をダブルクリックすると[内訳書を名前を付けて保存] 画面が表示されます。

※上記操作はメインメニューの[ファイル(F)]→「内訳書に名前をつけて保存(Ctrl+A)」と同様。



2) 別のフォルダーに保存したい場合は、[フォルダー]欄に保存先フォルダーまでのパス名を直接入力するか、[保存先設定]ボタンを押して保存先を設定してください。



※データベースファイルの圧縮率低下に伴い、ファイルサイズが 3MB 以上になりますのでご注意ください。

※[作成日]と[更新日]は、双方ともに本日の日付となります(既存の内訳書ファイルを処理時も同様)。

3) [保存]ボタンをクリックして保存処理を実行して下さい。

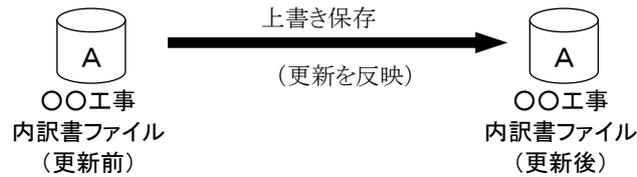
4) 保存処理が完了するとメニューに戻りますが、システムを終了するまで作業中のデータは保持されています。

※引続き作業を行うことが可能です。

※引続き編集作業を行った後で再度データを保存する場合は、通常、上書き保存を行います。

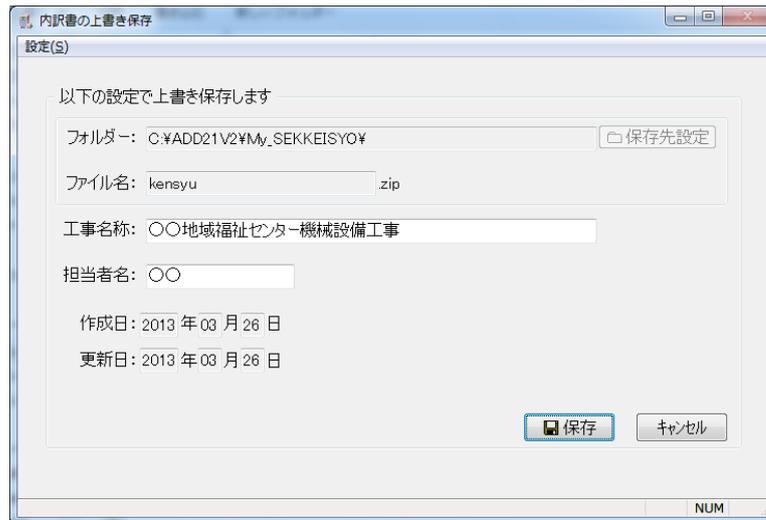
## 2 上書き保存

※内訳書の新規作成時は、上書き保存は実行できません。まず、[1.名前を付けて保存]を行って下さい。



- 1) メインメニュー[1.内訳書の管理]→[2.内訳書の保存]→[2.上書き保存] をダブルクリックすると、[内訳書の上書き保存] 画面が表示されます。

※上記操作はメインメニューの[ファイル(F)]→「内訳書を上書き保存(Ctrl+S)」と同様。



※ 最終保存先(読み込み先または最後に保存したフォルダー)の内訳書ファイルが上書き保存されます(保存先フォルダー及びファイル名は変更出来ません)。

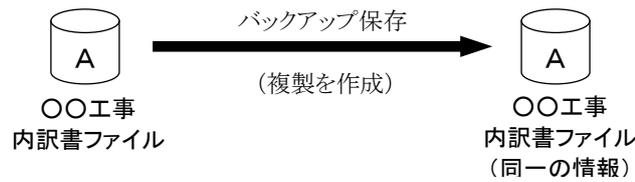
※上書き保存後はデータを元に戻すことはできませんので、十分注意して下さい。

※[更新日]のみ、本日の日付に更新されます。

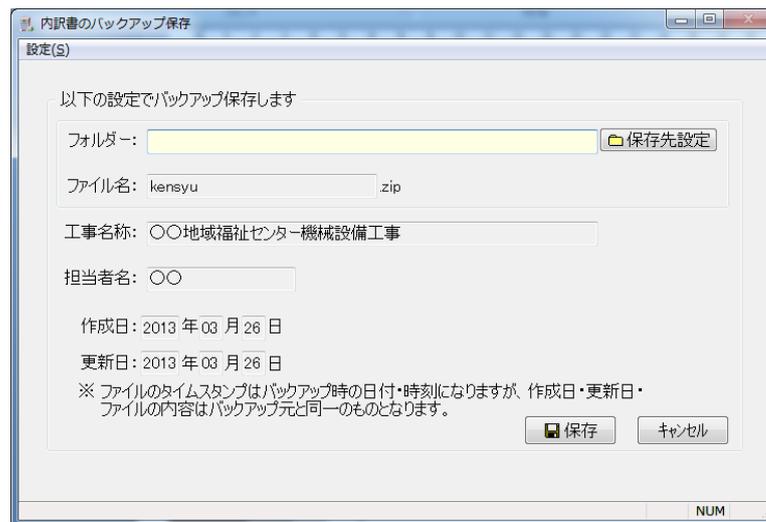
- 2) [保存]ボタンをクリックして保存処理を実行して下さい。
- 3) 保存処理が完了するとメニューに戻りますが、システムを終了するまで作業中のデータは保持されています。
  - ※引続き作業を行うことが可能です。
  - ※引続き編集作業を行った後で再度データを保存する場合は、通常、上書き保存を行います。

### 3 バックアップ保存

※最終保存先と異なる保存先に[作成日]及び[更新日]を変更されることなく保存したい場合に使用します。  
 ※内訳書の新規作成時は、バックアップ保存は実行できません。まず、[1.名前を付けて保存]を行って下さい。



- 1) メインメニュー[1.内訳書の管理]→[2.内訳書の保存]→[3.バックアップ保存] をダブルクリックすると、[内訳書のバックアップ保存]画面が表示されます。  
 ※上記操作はメインメニューの[ファイル(F)]→「内訳書をバックアップ保存(Ctrl+U)」と同様。

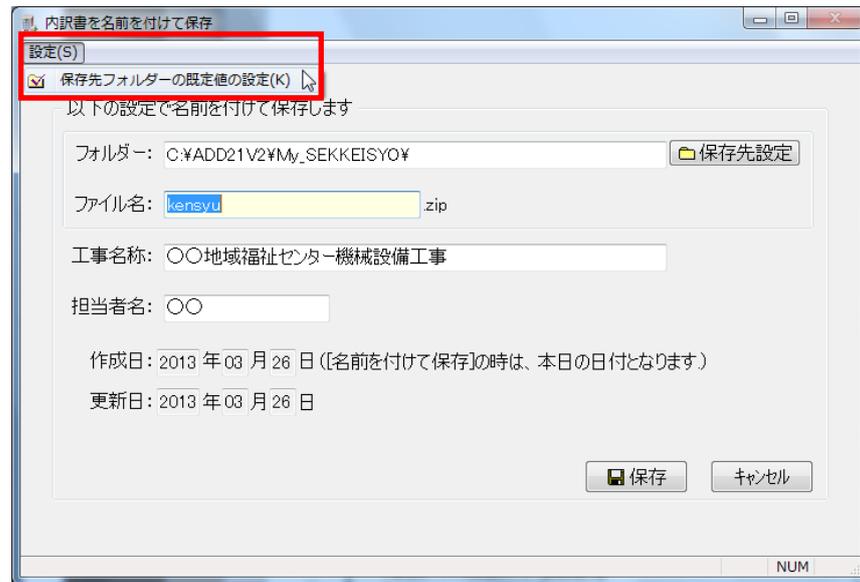


- 2) バックアップ保存先フォルダーまでのパス名を直接入力するか、[保存先設定]ボタンを押して保存先を設定してください。  
 ※バックアップ保存先に指定したフォルダーに同じファイル名のファイルが既に存在する場合は、そのフォルダーにはバックアップ保存できません。その際は別のフォルダーを設定して下さい。
- 3) [保存]ボタンをクリックして保存処理を実行して下さい。
- 4) 保存処理が完了するとメニューに戻りますが、システムを終了するまで作業中のデータは保持されています。  
 ※引き続き作業を行うことが可能です。  
 ※引き続き編集作業を行った後で再度データを保存する場合は、通常、上書き保存を行います。

#### 4 保存先フォルダーの既定値の設定

※「名前をつけて保存」・「上書き保存」・「バックアップ保存」とも共通。

- 1) [設定]→[保存先フォルダーの既定値の設定]をクリックして下さい。



- 2) 保存先の既定値に設定したいフォルダーを選択し、[OK]ボタンをクリックして下さい。



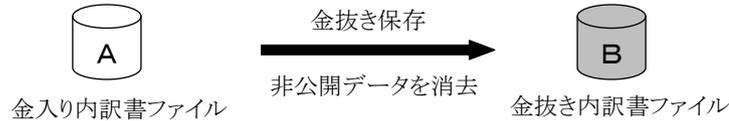
※次回から、[名前をつけて保存]を行う際は、設定したフォルダーが保存先の既定値として設定されます。  
 ※内訳書ファイルの読み込み先フォルダーの既定値にも反映されます。

## 3

## 内訳書の金抜き保存

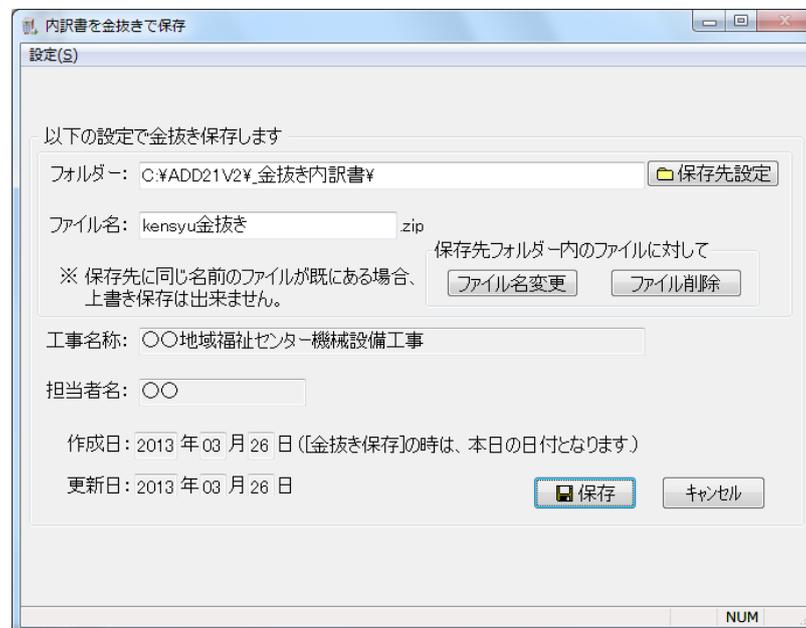
※内訳書の新規作成時は、金抜き保存は実行できません。まず、[1.名前を付けて保存]を行って下さい。  
 ※設計事務所版環境では、金抜き保存は実行できません。

- ◆ 神戸市認証版システム環境に保存されている既存の金入り内訳書ファイルの編集作業を設計事務所等に委託する際は、必ず「金抜き処理」を行い、金抜き内訳書ファイルを渡します。  
 (金入り内訳書ファイルは設計事務所版環境では読み込みできません)。  
 ※単価、金額、摘要、低減率、査定率等の非公開データは消去されます。なお、消去された非公開データは、「金抜き内訳書の金入れ処理」〈本書 P56 参照〉にて元に戻します。

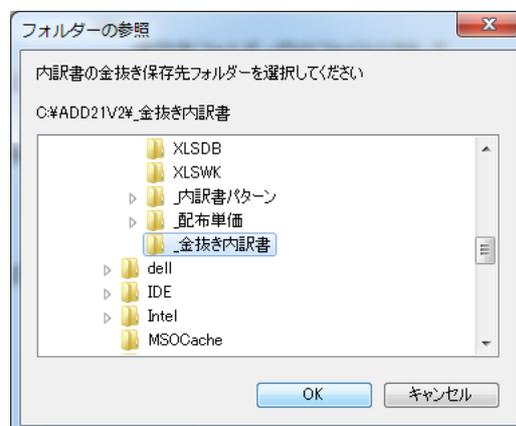


- 1) メインメニュー[1.内訳書の管理]→[2.内訳書の保存]→[3.金抜き保存] をダブルクリックすると、[内訳書の金抜きで保存]ダイアログが表示されます。

※上記操作はメインメニューの[ファイル(F)]→「内訳書を金抜き保存(Ctrl+M)」と同様。



- 2) 保存先を変更したい場合は、直接フォルダー欄に入力するか、[保存先設定]ボタンを押して保存先を設定してください。



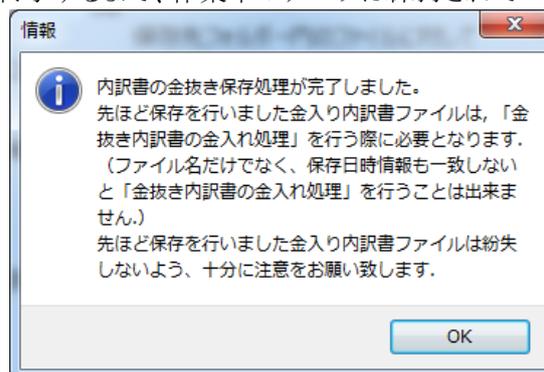
※データベースファイルの圧縮率低下に伴い、ファイルサイズが 3MB 以上になりますのでご注意ください。

3) 保存ファイル名を入力して、[保存]ボタンをクリックして下さい。

※金抜き保存先に同じファイル名のファイルが存在する場合は下記メッセージが表示され、金抜き保存できません。その際は、別の保存先または別のファイル名を設定するか、金抜き保存先の既存のファイルに対して[ファイル名変更]を行うか、[ファイル削除]を行って下さい。



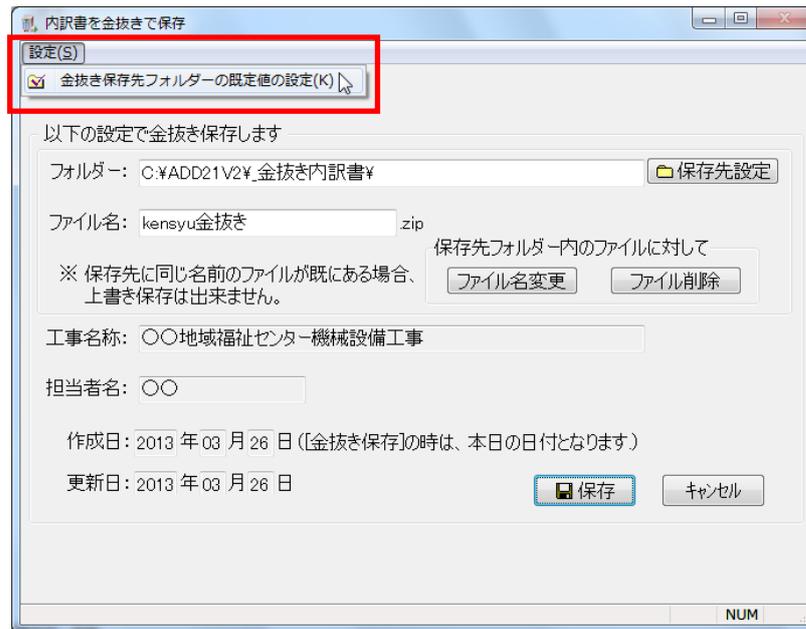
4) 保存が終了すると下記メッセージが表示され、[OK]ボタンをクリックするとメニューに戻りますが、システムが終了するまで、作業中のデータは保持されています。



- ※金抜き処理後、設計事務所等に編集作業を委託前に変更を要する箇所が発見された場合は、修正後に上書き保存し、再度金抜き保存を行い、金抜き処理した内訳書を設計事務所等に渡して下さい。
- ※引続き作業を行うことが可能ですが、設計事務所等に編集作業を委託後は、トラブル防止のため、後日金抜き内訳書ファイルの最終成果物が納品されて金入れ処理を行うまでの間については、金入り内訳書ファイルは編集しないで下さい(正常に金入れ処理が出来なくなる可能性があるため、内容の閲覧や印刷を行う程度にとどめて下さい)。
- ※設計事務所等に編集作業を委託後は、内訳書ファイル名の変更を行ったり金抜き処理を再度行ったりすることは厳禁です。金抜き内訳書の金入れ処理ができなくなります。
- ※設計事務所等に編集作業を委託後は、金抜き内訳書ファイルの最終成果物が納品されるまでは、金入り内訳書ファイルは絶対に紛失しないように注意して下さい。金抜き内訳書の金入れ処理ができなくなります(非公開情報を神戸市環境で全て手作業にて復旧することとなります)。
- ※内訳書の金入れ処理は、<本書 P56>を参照して下さい。

## ※ 金抜き保存先フォルダーの既定値の設定

- 1) [設定]→[保存先フォルダー既定値の設定]をクリックして下さい。



- 2) 金抜き保存先の既定値に設定したいフォルダーを選択し、[OK]ボタンをクリックして下さい。



※次回から、[金抜き保存]を行う際は、設定したフォルダーが金抜き保存先の既定値として設定されます。

## 4 内訳書の読み込み

### 1 内訳書の読み込み

1) メインメニュー[1.内訳書の管理]→[1.内訳書の新規作成・読み込み]→[2.読み込み] をダブルクリックして下さい。

※上記操作はメインメニューの[ファイル(F)]→[内訳書の読み込み(Ctrl+O)]と同様。

2) [内訳書の読み込み]画面が表示されます。

◆読み込み先フォルダー内の内訳書データファイルの一覧が表示されます。

※読み込み先フォルダーに工事ファイルが無い時 または、内訳書管理ファイルが無い時には一覧表示されません。

[内訳書管理ファイル]・・・このファイルに登録(ファイル名、工事名称等の情報)された工事ファイルをシステムが、[内訳書ファイル選択]時に一覧表示します。

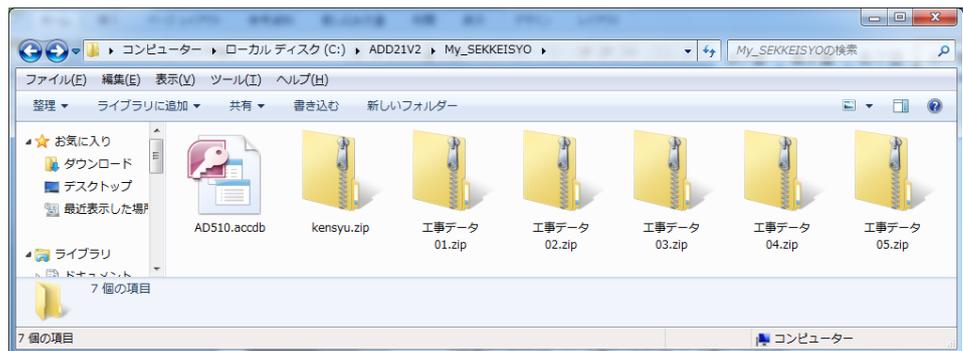
※このファイルは、保存先フォルダーに必ず1つ必要です。

◇インストール時の既定値「C:\¥Add21V2¥My\_SEKKEISYO」を読み込み先フォルダー仮定した場合、内訳書管理ファイルと内訳書データファイル、読み込み先フォルダーの関係は次の様になります。

内訳書管理ファイル ..... AD510..accdb(選択リストに表示される情報が保存されています)

内訳書データファイル ... 工事データ\_01..zip ~ 工事データ\_05..zip・・・等

・読み込み先フォルダー(内訳書データファイルが保存されているフォルダー)



・内訳書管理ファイル「AD510..accdb」の登録されている情報が一覧表示されます。(標題部の項目名をダブルクリックすると、その項目順にデータが並び変わります。)

内訳書の読み込み												
読み込み先フォルダー: C:\¥ADD21V2¥My_SEKKEISYO¥												
No.	*	積算区分	ファイル名	工事名	担当者名	作成日	更新日	ファイル有無	設計回	確定	金抜き	保存バージョン
1	M	機械積算	kensyu.zip	〇〇地域福祉センター機械設備工事	〇〇	2013.03.26	2013.03.26	○	原設計			2.00
2	M	機械積算	工事データ01.zip	工事①		2013.02.18	2013.02.26	○	原設計			2.00
3	M	機械積算	工事データ02.zip	工事②		2013.02.01	2013.02.19	○	原設計			2.00
4	M	機械積算	工事データ03.zip	工事③		2013.03.19	2013.03.24	○	原設計			2.00
5	M	機械積算	工事データ04.zip	工事④		2013.01.11	2013.03.03	○	原設計	○		2.00
6	M	機械積算	工事データ05.zip	工事⑤		2013.03.03	2010.03.26	○	設置01			2.00

※読み込み先フォルダーに内訳書データファイルが存在するのに、一覧表示されない時は、[追加登録]ボタンを押して一覧表示させたい内訳書データファイルを選択して下さい。

※一覧から登録情報を削除したい場合は、[登録削除]ボタンを押して下さい。

1. 「選択されている内訳書の登録情報を内訳書管理ファイルより削除しますか?」というメッセージが表示されます。

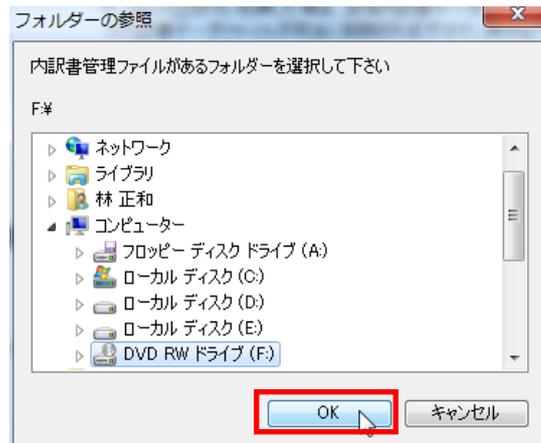
[はい(Y)]ボタンを押した場合、内訳書管理ファイルの該当情報が削除されます。

※この時点では、読み込み先フォルダー内の内訳書データファイルは削除されません。

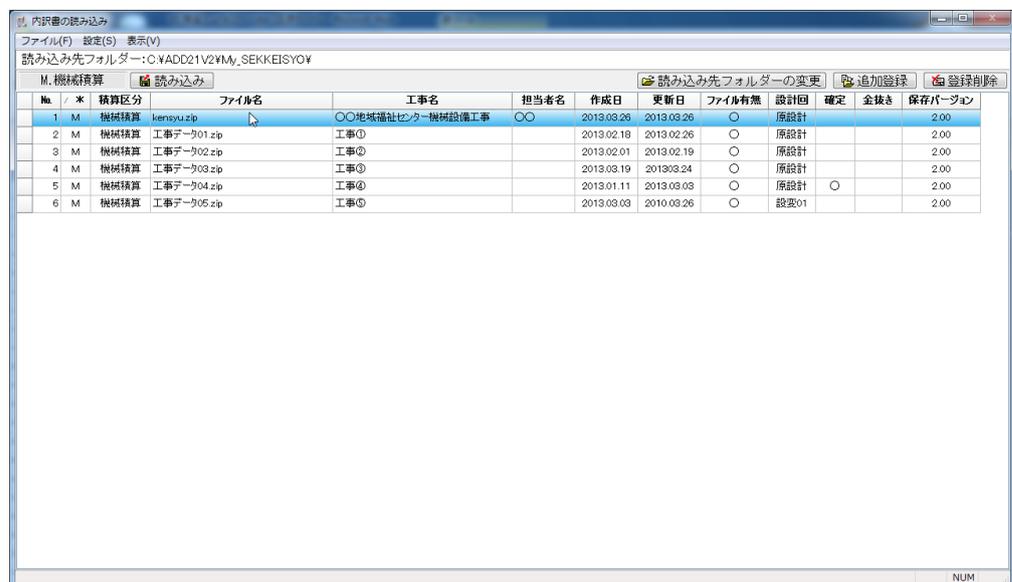
2. 次に、「読み込み先フォルダーの内訳書データファイルも削除しますか?」のメッセージが表示されます。[はい(Y)]ボタンを押した場合、該当内訳書データファイルが削除されます。

※内訳書データファイルが完全に削除されますので、十分に注意して操作して下さい。

- 3) 読み込み先を変更したい場合は、[読み込み先フォルダーの変更]ボタン(または[設定(S)]→[読み込み先フォルダーの変更(H)])をクリックして読み込み先を設定して下さい。  
 ※CDドライブ等、書き込みの出来ないドライブの指定は出来ません。



- 4) 読み込みを行う内訳書ファイルの行を選択し、ダブルクリック又は、[読み込み]ボタンをクリックすると、内訳書ファイルの読み込み作業を実行します。



- ※処理が正常に行われると、メインメニューの工事名表示部に、読み込みを行った内訳書ファイルの工事名称及びファイル名が表示されます。



※既存の内訳書ファイルのバージョンが積算システムのバージョンよりも古い場合、読み込み時にバージョンアップ作業が行われます(上書き保存により、バージョンアップ結果が反映されます。)

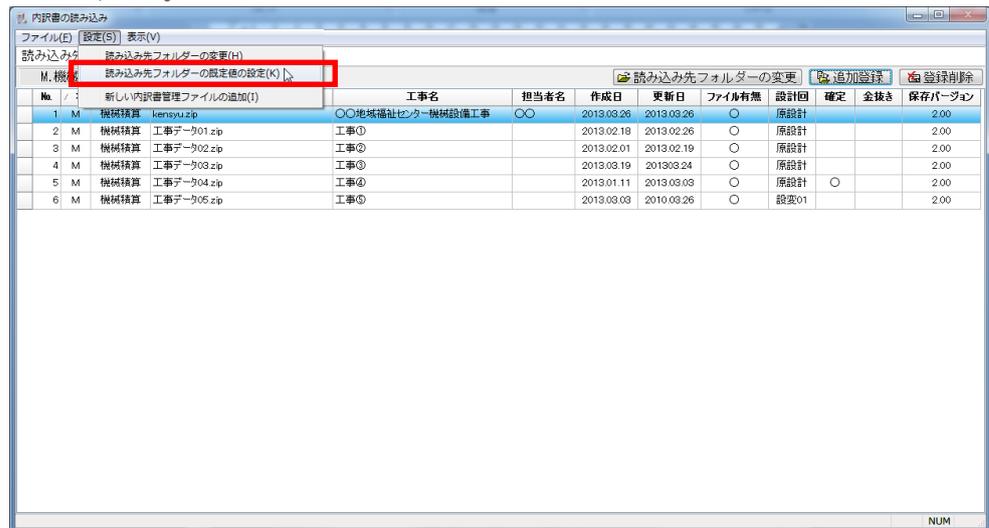
※既存の内訳書ファイルのバージョンが積算システムのバージョンよりも新しい場合、内訳書ファイルを読み込みことが出来ません(積算システムをバージョンアップして下さい)。

※設計事務所版では、金入り内訳書ファイルを読み込むことは出来ません。

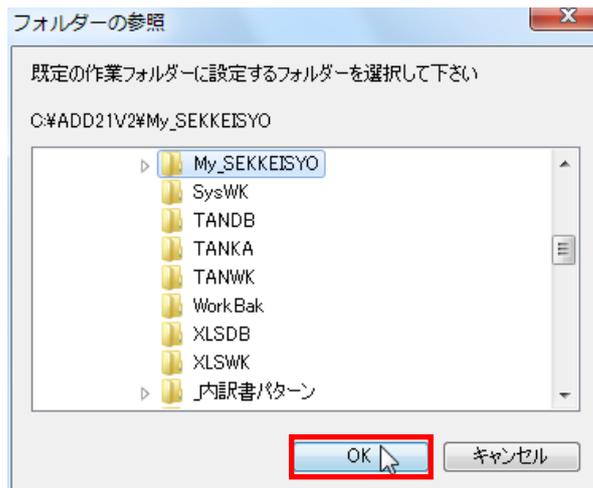
## 2 内訳書の読み込み先フォルダーの既定値の設定

※[内訳書の読み込み]画面が表示された際に初期表示される読み込み先フォルダーを変更したい場合、下記の手順で設定します。

- 1) [内訳書の読み込み]画面の[設定(S)]→[読み込み先フォルダーの既定値の設定(K)]をクリックして下さい。



- 2) 読み込み先の既定値に設定したいフォルダーを選択し、[OK]ボタンをクリックすると、次回の[内訳書の読み込み]画面を起動した時から指定したフォルダーが初期表示されます。



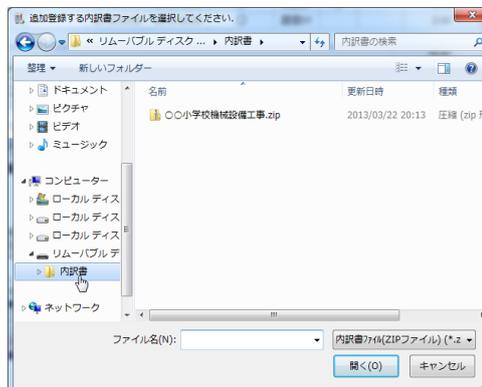
### 3 内訳書ファイルの追加登録

※ CD-R や USB フラッシュメモリー等のリムーバブルメディアで納品された内訳書ファイルなど、内訳書ファイル一覧に登録されていないファイルを1件ずつ取り込んで追加登録を行います。

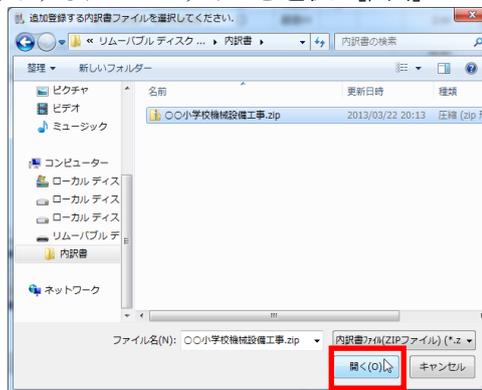
1) [内訳書の読み込み]画面の[追加登録]ボタンをクリックして下さい。



2) 追加するデータの格納されているドライブ・フォルダーを選択します。  
 ※下記の例は、リムーバブルメディアにデータがあるものとして解説します。



3) 追加するデータファイルを選択し[開く]ボタンをクリックして下さい。



4) 追加処理が終了しますと、一覧表示画面にデータが追加されます。  
 (その後、通常の内訳書の読み込み作業を行います。)



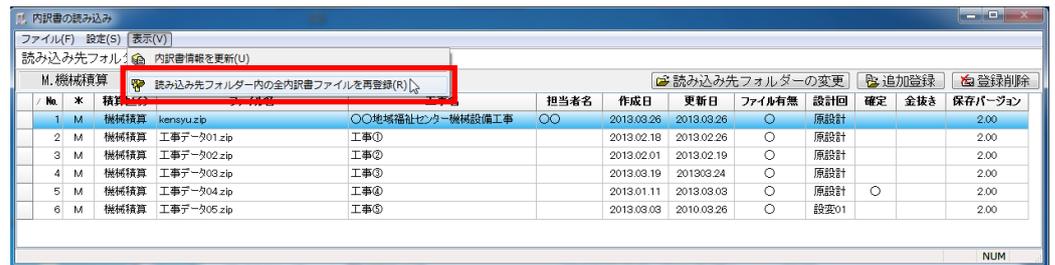
#### 4 読み込み先フォルダーの全内訳書ファイルを再登録

※内訳書ファイルの一覧情報を初期化し、読み込み先フォルダー内にある全ての内訳書ファイルを再登録し、内訳書一覧情報を更新します(読み込み先フォルダー内にある未登録の内訳書ファイルを大量に追加登録する際に便利な機能です)。

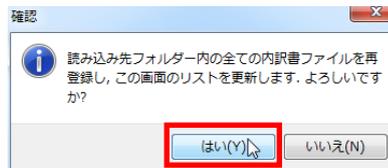
※この機能を実行すると、[ファイル有無]の項目に“×”が表示されている(ファイルが存在しない)行の情報は無くなります。

※この機能を実行すると、内訳書ファイルの登録順([No.]の順)が実行前の状態と変わる場合があります。(読み込み先フォルダー内にある全ての内訳書ファイルを「ファイル名」順で登録するため。)

- 1) [内訳書の読み込み]画面の[表示(Y)]→[読み込み先フォルダーの全内訳書ファイルを再登録(R)]をクリックして下さい。

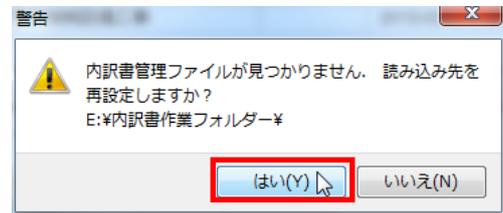
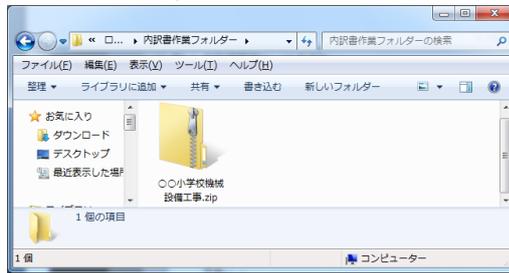


- 2) [はい(Y)]ボタンをクリックすると処理を開始します。処理が完了すると、内訳書ファイル一覧リストが更新され、読み込み先フォルダー内に存在する全ての内訳書ファイルが一覧表示されます。(その後、通常の内訳書の読み込み作業を行います。)



## 5 新しい内訳書管理ファイルの追加

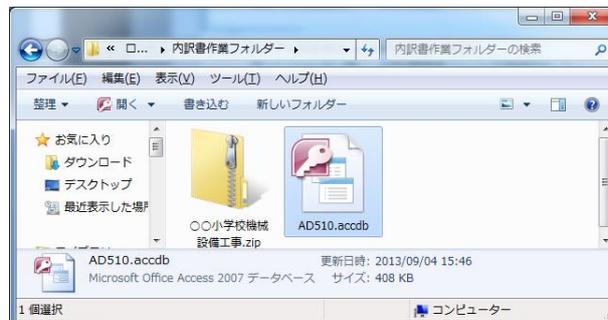
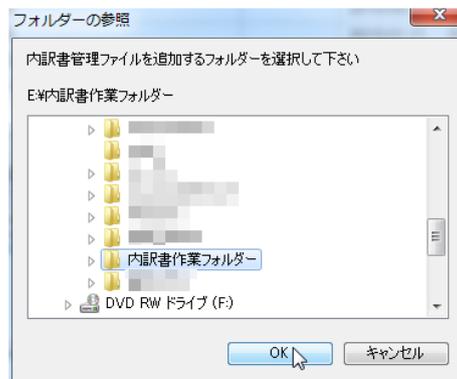
※例えば、内訳書ファイルのみを任意のフォルダーにコピーしたが、そのフォルダーに内訳書管理ファイルが無いためにシステムで読み込みが出来ない状態となっている場合などに、そのフォルダーに内訳書管理ファイルを追加することによってそのフォルダーを読み込み先として指定できるようにします。



- 1) [内訳書の読み込み]画面の[設定(S)]→[新しい内訳書管理ファイルの追加(I)]をクリックして下さい。



- 2) 新しい内訳書管理ファイルの追加したいフォルダーを選択し、[OK]ボタンをクリックすると、指定したフォルダーに新しい内訳書管理ファイルが追加され、そのフォルダーを読み込み先に指定可能となります。



※新しい内訳書管理ファイルには、内訳書ファイル一覧は登録されていません。「2. 内訳書ファイルの追加登録」または「3. 読み込み先フォルダーの全内訳書ファイルを再登録」の手順にて内訳書ファイルを追加登録してから読み込みを行います。

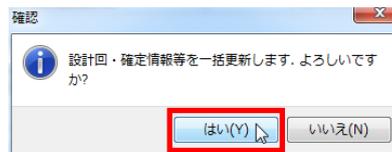
## 6 内訳書情報の更新

内訳書一覧リストに登録されているファイルを対象に、表示項目を最新の状態に更新します。  
 ※あくまでも内訳書一覧リストに登録されているファイルを対象に処理を行うため、内訳書一覧リストに登録されていない内訳書ファイルの追加登録処理等はいりません。

- 1) 「表示(V)」→「内訳書情報を更新(U)」をクリックして下さい。



- 2) 下図のメッセージの「はい(Y)」ボタンをクリックして下さい。



- 3) 処理が完了すると、[設計回]・[確定]・[金抜き]・[保存バージョン]情報が正しく表示されます。

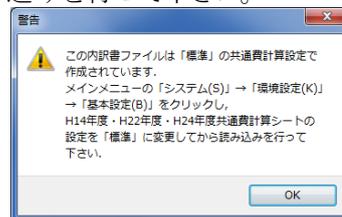
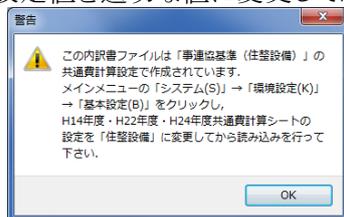


## 7 内訳書の読み込み時にメッセージが表示されて読み込み処理が中断する場合

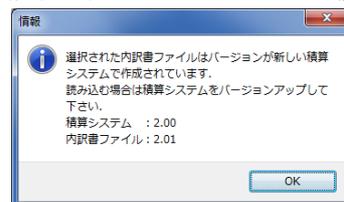
「エラーコード:9999」が表示される場合は担当者へ連絡して下さい。



下図のようなメッセージが表示される場合は、メインメニューの「システム(S)」→「環境設定(K)」→「基本設定(B)」(本書 P38 参照)をクリックし、H14 年度・H22 年度・H24 年度共通費計算シートの設定値を適切な値に変更してから読み込みを行って下さい。



下図のようなメッセージが表示される場合は、積算システムをバージョンアップして下さい。(内訳書ファイルのバージョンが積算システムのバージョンよりも新しい場合)



その他のメッセージで読み込み処理が中断する場合は、本システムを一旦終了し、Windows を再起動してから本システムを再起動し、読み込みを試みて下さい。それでもエラーが発生する場合は、内訳書ファイルに異常がある可能性がありますので、バックアップがある場合はバックアップから復元してから読み込んで下さい。

## 5

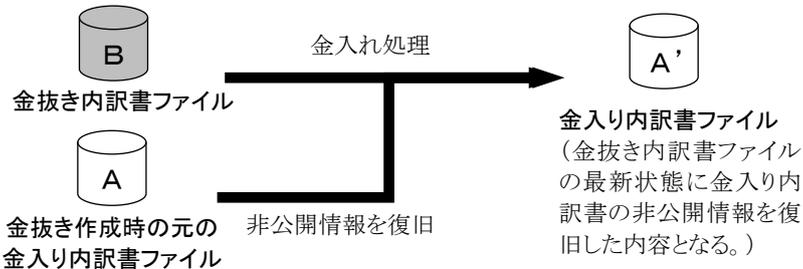
## 内訳書の金入れ処理

※金入り内訳書を読み込み時は、金入れ処理を実行できません。

※金抜き処理情報が記録されていない内訳書ファイルは、金入れ処理を実行できません。

※設計事務所版環境では、金入れ処理は実行できません。

- ◆ 神戸市認証版システム環境にて金抜き保存<本書 P46 参照>を行い、設計事務所等に編集作業を委託した場合、その金抜き内訳書ファイルは単価、金額、摘要、低減率、査定率等の非公開データが消去された状態となっています。金入り内訳書に保存されている非公開情報をもとに金抜き内訳書の非公開情報を復旧することを「金入れ処理」と称します。



※金入れ処理後の内訳書ファイルのデータの内容

	金入り内訳書の情報を反映	金抜き内訳書の情報を反映
金抜き内訳書で当該単価、当該代価の単価コードの追加・削除を行った場合	—	○
配布単価の年月を変更する場合	—	○
金抜き内訳書の当該単価の単価・摘要2等の変更を行った場合	○	—

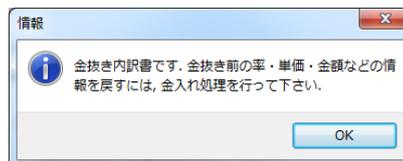
※ 積算システムをバージョンアップ後に金入れ処理を行う場合は、金入り内訳書ファイルを新バージョンで読み込んで上書き保存によりファイルのバージョンを揃えてから行って下さい。

- 1) あらかじめ、**金入れ処理を行う[金抜き内訳書]**を読み込んでおきます。

※内訳書の読み込みは<本書 P49>を参照。

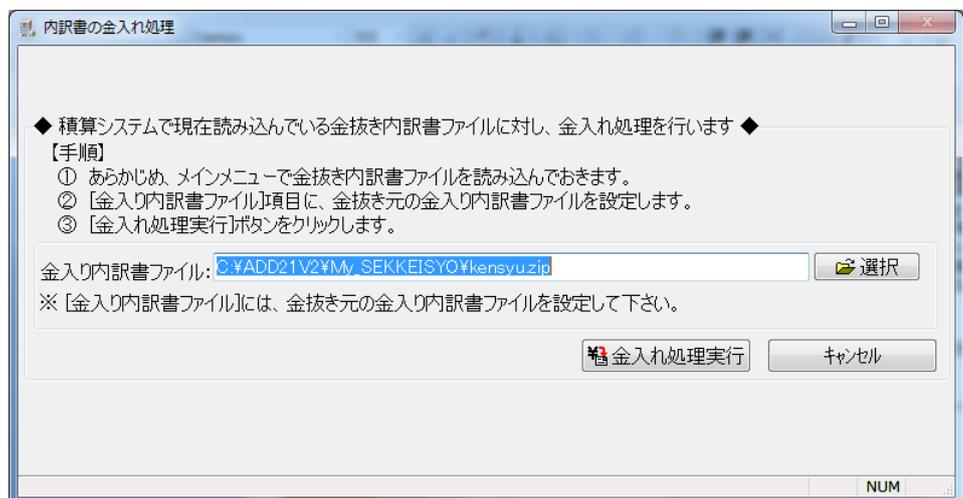
※必ず[金抜き内訳書]を読み込んで下さい。

※金抜き内訳書を読み込み時は、読み込み処理完了前に下記のメッセージが表示されます。



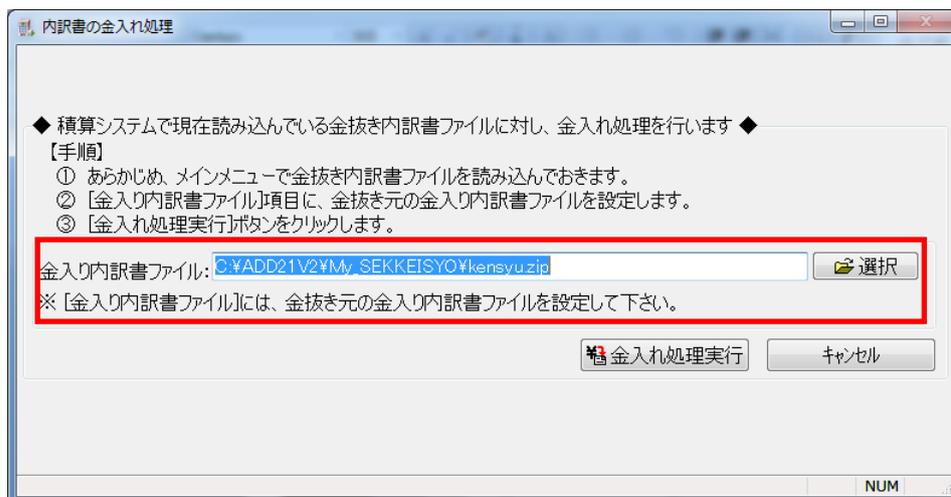
- 2) メインメニュー[1.内訳書の管理]→[3.金抜き内訳書の金入れ処理]→[1.金抜き内訳書の金入れ処理]をダブルクリックすると、[内訳書の金入れ処理]画面が表示されます。

※上記操作はメインメニューの[ファイル(F)]→「金抜き内訳書の金入れ処理(Ctrl+I)」と同様。



- 3) [金入り内訳書ファイル]設定項目に、金入り内訳書ファイルまでのフルパス(金抜き内訳書のある場所までのフォルダー及びファイル名)が自動設定※1されますが、金入り内訳書の保存先を変更している場合は、[選択]ボタンをクリックして再指定して下さい。

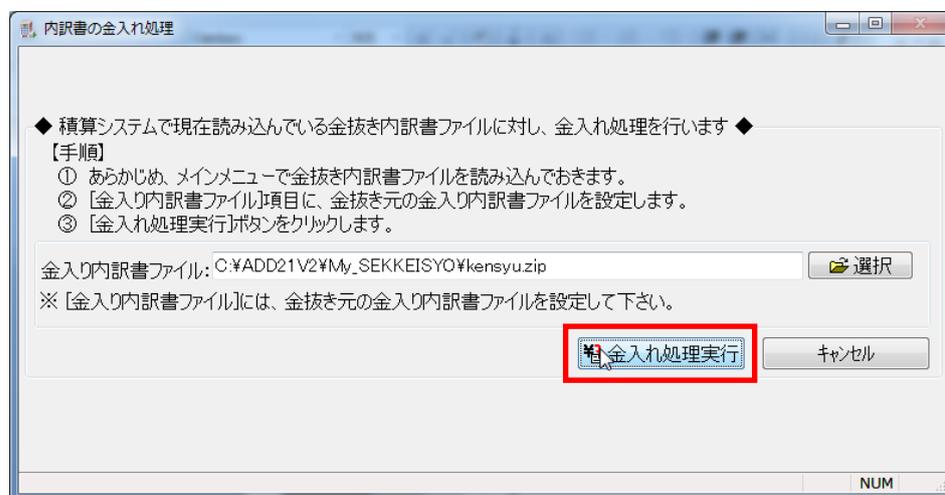
※1 金抜き内訳書側に記録された金抜き情報のうち、金入りファイルに関する情報が自動設定されます。



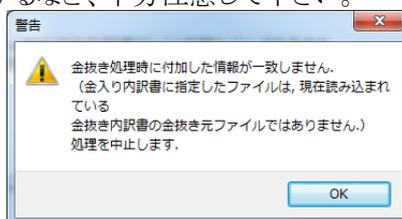
- 4) [金入れ処理実行]ボタンをクリックすると金入れ処理を実行します。金入れ処理が完了するとメインメニューに戻ります。

※金抜き内訳書は、金入り内訳書となります。上書き保存時の保存場所は、[金入り内訳書]の保存先となります(金入り内訳書が上書き保存されます。不都合な場合は[名前をつけて保存]により、別ファイル名で保存して下さい。)

※金抜き後に追加された項目の非公開情報については、神戸市認証済環境にて適宜入力して下さい。



※[金入れ処理実行]ボタンをクリック後に下記のメッセージが表示された場合は、読み込んである[金抜き内訳書]側に記録されている金抜き情報と[金入り内訳書]側に記録されている金抜き情報とが一致しないため、金入れ処理が実行出来ません。正しい金抜き元の金入り内訳書ファイルを再指定して下さい。なお、正しい金抜き元の金入り内訳書ファイルが存在しない場合は金入れ処理が不可能となり、単価、金額、摘要、低減率、査定率等の非公開データは手作業による復旧が必要となりますので、金抜き処理後は、金抜き元の金入り内訳書ファイルの編集作業を行ったり名前をつけて保存処理を行ったりすることは避けて下さい。また、紛失ないように厳重に保管するなど、十分注意して下さい。



## 7

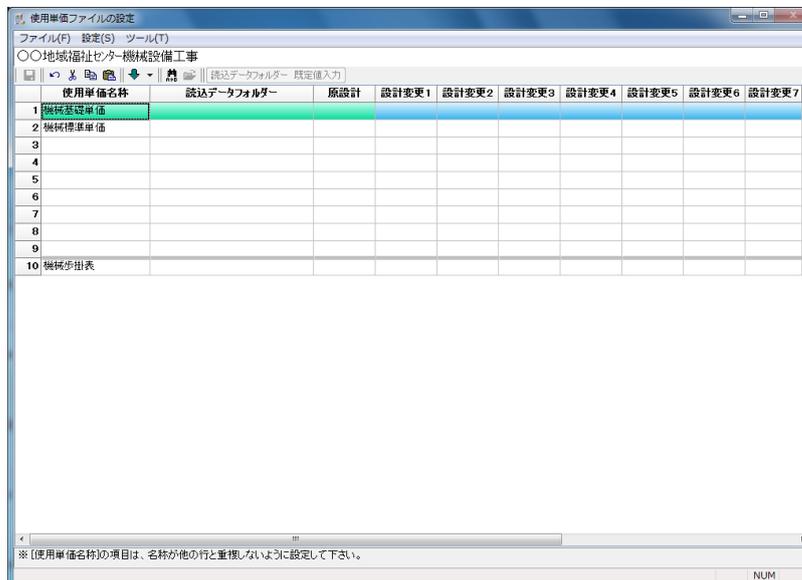
## 1

## 内訳書作成要領

## 使用単価ファイルの設定

## 1 使用単価ファイルの設定

- 1) メインメニュー[2.内訳書の仕様設定]→[1.使用単価ファイルの設定]をダブルクリックすると[使用単価ファイルの設定]画面が表示されます。



- 2) 使用単価名称及び読込データフォルダを設定します。

※使用単価名称をリストから選択して下さい。

(住宅建設課(平成26年度迄は住宅整備課が担当)関連の公共住宅事業者等連絡協議会(事連協)基準で積算を行う際に環境設定(基本設定)画面<本書P38参照>で「H14年度・H22年度・H24年度共通費計算シート」の設定値を「住整備備」に設定した場合のみ「使用単価名称」の選択リストの選択肢に「機械住宅整備課単価」が追加されますので、適宜手作業にて追加設定して下さい。)

※カーソルを読込データフォルダ列へ移動させ、「読込データフォルダ 既定値入力」ボタンをクリックして下さい。



※読み込みデータフォルダを既定値以外に設定する場合は、 ボタンをクリックして、任意のフォルダを指定して下さい。

注意)内訳書の計算を行うため単価ファイルは必ず必要になります。既定値以外での利用の場合は、該当フォルダの削除や一時的なフォルダの使用は出来るだけ避けて下さい。基本的に既定値設定のフォルダを利用して下さい。(既定値フォルダの変更方法は、次ページに解説しています。)

- 3) 原設計列にカーソルを移動させて、使用する単価の年度(西暦)、月(1桁の月は0を補って下さい)を入力して下さい。

使用単価名称	読込データフォルダ	原設計	設計変更1	設計変更2	設計変更3	設計変更4	設計変更5	設計変更6	設計変更7
1 機械基礎単価	C:\ADD21V2\配布単価*	2013-06							
2 機械標準単価	C:\ADD21V2\配布単価*	2013-06							
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10 機械歩掛表	C:\ADD21V2\配布単価*	2013-06							

※例) 平成 25 年度(2013 年度)6 月単価の場合、「2013-06」と入力します。

- 4) 同様に、他の単価や歩掛についても設定を行います。  
 ※他の配布単価についても積算業務に使用する場合は、[使用単価名称]を上詰めに設定し、2)~4)の手順を行って下さい。

使用単価名称	読込データフォルダ	原設計	設計変更1	設計変更2	設計変更3	設計変更4	設計変更5	設計変更6	設計変更7
1 機械基礎単価	C:\ADD21V2\配布単価*	2013-06							
2 機械標準単価	C:\ADD21V2\配布単価*	2013-06							
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10 機械歩掛表	C:\ADD21V2\配布単価*	2013-06							

- 5) [保存]ボタン(または[ファイル(F)]→[保存(S)])をクリックして保存を行って下さい。

使用単価名称	読込データフォルダ	原設計	設計変更1	設計変更2	設計変更3	設計変更4	設計変更5	設計変更6	設計変更7
1 機械基礎単価	C:\ADD21V2\配布単価*	2013-06							
2 機械標準単価	C:\ADD21V2\配布単価*	2013-06							
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10 機械歩掛表	C:\ADD21V2\配布単価*	2013-06							

※使用単価ファイル(配布単価)の詳細は、「4. 神戸市建築・設備積算システムの基本操作」の「6. 単価コードについて」を参照して下さい。

※ 読み込みデータフォルダの既定値の変更方法

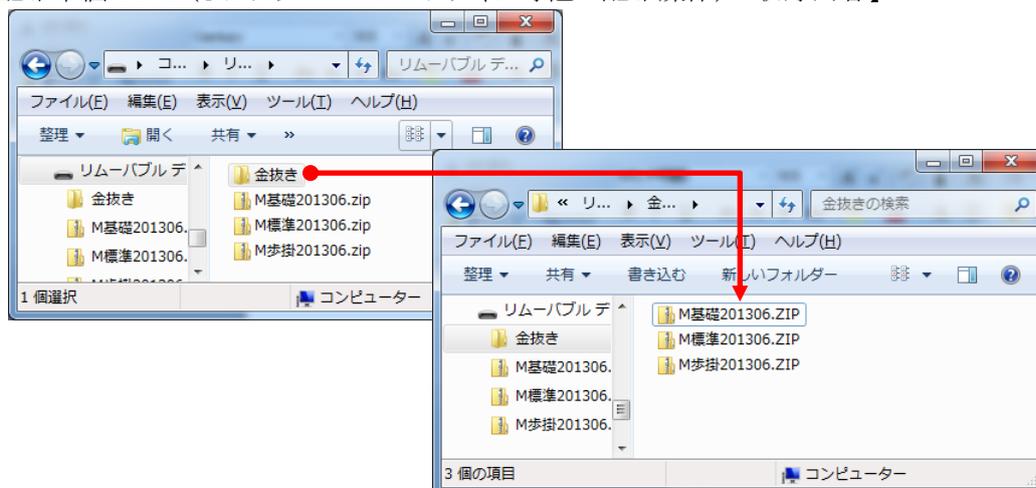
※インストール時の読み込みデータフォルダの既定値は、「C:\¥Add21V2¥配布単価」となっています。  
 (C:\¥ は、システムインストールドライブです。)

- 1) [設定]→[既定の読み込みデータフォルダの設定(K)]をクリックし、既定値としてフォルダを選択して[OK]ボタンをクリックして下さい。

使用単価名称	読込データフォルダ	原設計	設計変更1	設計変更2	設計変更3	設計変更4	設計変更5	設計変更6	設計変更7
1 機械基礎単価	C:\ADD21V2\配布単価*	2013-06							
2 機械標準単価	C:\ADD21V2\配布単価*	2013-06							
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10 機械歩掛表	C:\ADD21V2\配布単価*	2013-06							

## 2 配布単価のインストール(複写)

【配布単価 CD-R(またはリムーバブルメディア等の配布媒体)の収録内容】



※金抜きファイルは設計事務所等に入力業務を委託する際に必ず貸し出して下さい。(金入りを渡さないこと!!)  
 ※金抜きファイルは保存容量が若干小さくなります。)

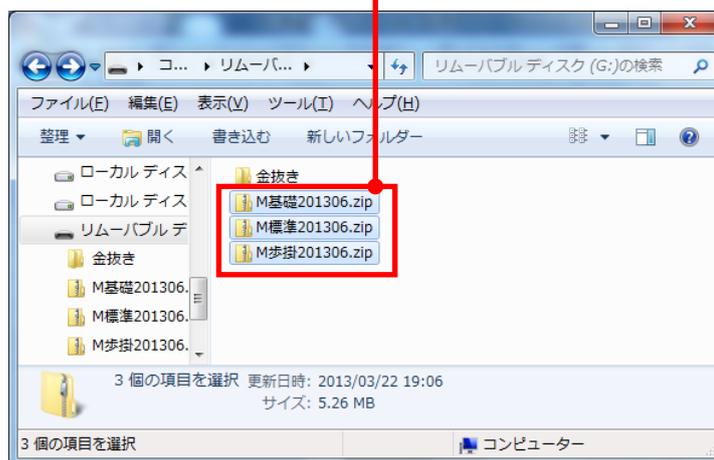
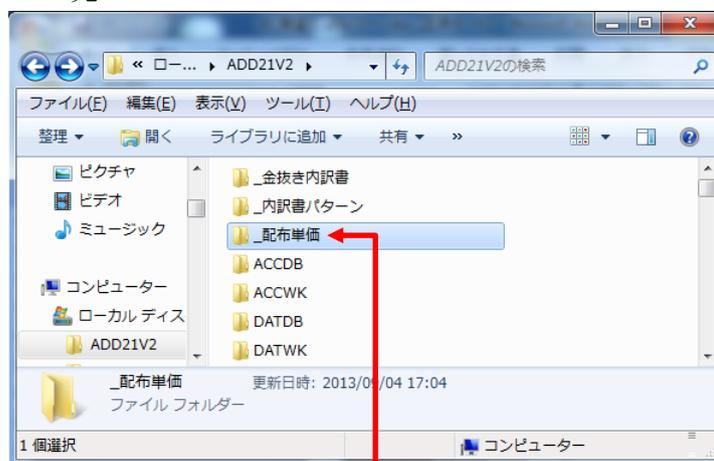
配布単価のシステムへのインストール方法

### 【方法1】

- ・全ファイル(金入りまたは金抜きのいずれか)を、下記のフォルダーにコピーして下さい。  
 C:\¥ADD21V2¥\_配布単価 (Cドライブ内の[ADD21V2]フォルダー内の[\_配布単価]フォルダー)

※積算システムがCドライブの「ADD21V2」フォルダーにインストールされている場合(尚、Cドライブではない場合は、Cを該当するドライブ名に読み替えて下さい。また、任意のフォルダーに変更している場合はそのフォルダーに読み替えて下さい。)

※コピー先

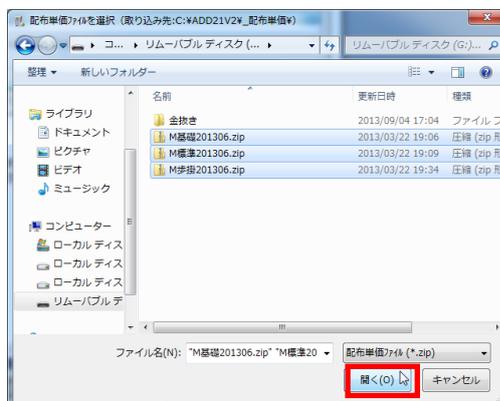


## 【方法2】

- 1) [ツール(T)]→[配布単価ファイルを既定の読み込みデータフォルダーへ取り込む(R)]をクリックして下さい。

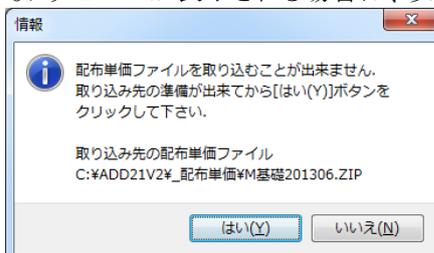


- 2) 取り込むファイルを選択し(複数のファイルを選択可能)、[開く(O)]ボタンをクリックすると、配布単価ファイルが既定の読み込みデータフォルダーにインストールされます。



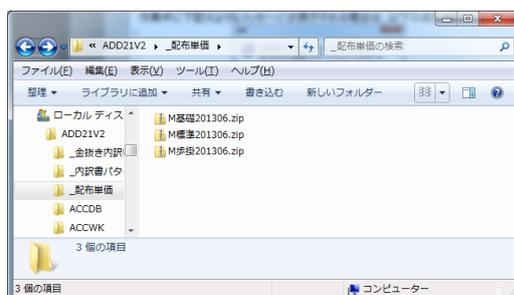
## 【頻度の高い失敗について】

作業中に下記のようなメッセージが表示される場合は、以下の点を確認して下さい。

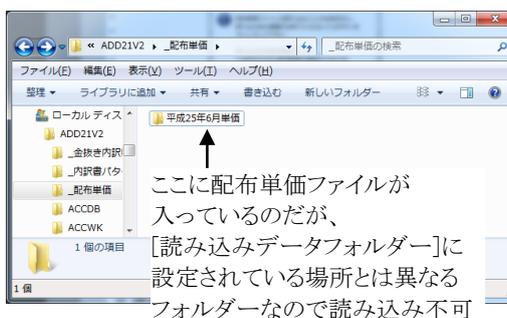


- ① 配布単価ファイルが[読み込みデータフォルダー]に設定したフォルダー内に存在するか？(仮に、[読み込みデータフォルダー]内の1階層下のフォルダーに配布単価ファイルが存在していても、[読み込みデータフォルダー]とは異なる場所であるため取り込むことが出来ません。)

正



誤



- ② [読み込みデータフォルダー]の入力値が正しく設定されているか？(配布単価が積算システムにインストール済でも、[読み込みデータフォルダー]に意図しない場所を設定していると取り込むことが出来ません。)

## 3 積算基準改定に伴う表示について

平成 29 年度版よりも前の積算基準で作成された内訳書ファイルを読み込んだ際は、工事名称等表示部に下記のように表示されます。積算基準変更に伴う本システムの更新内容等の詳細は、下記に示す補足事項を参照して下さい。

使用単価名称	読込データフォルダ	原設計	設計変更1	設計変更2	設計変更3	設計変更4	設計変更5	設計変更6	設計変更7
1 機械基礎単価	C:\ADD21V2\配布単価	2013-06							
2 機械標準単価	C:\ADD21V2\配布単価	2013-06							
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10 機械歩掛表	C:\ADD21V2\配布単価	2013-06							

※ [(使用単価名称)の項目は、名称が他の行と重複しないように設定して下さい。]

作成した積算システムバージョン (基準更新前)	積算基準(表示)	詳細参照箇所 (本書)
β 1.00～β 1.46	【平成 21 年度基準以前】	補足 1
β 1.50～β 1.56	【平成 22～23 年度基準】	補足 2
β 1.60～2.07	【平成 24～28 年度基準】	補足 3

## 2

## 設計書(甲表)の作成

## 1 設計書(甲表)の作成

- 1) メインメニュー[2.内訳書の仕様設定]→[2.設計書(甲表)の入力・印刷]をダブルクリックすると、[設計書(甲表)の入力・印刷]画面が表示されます。

- 2) 工事名、工事場所、概要、摘要 を入力して下さい。  
 ※概要の 工事施工期間、工事担保期間の設定値は、次のように設計書へ反映されます。  
 ・**工期(平成 24 年度基準以降は共通費計算に使用するため入力必須)**  
 日付入力の場合…「本工事施工期間は請負契約締結の翌日から+ [入力日付] + ~ + [入力日付] + までとする。」  
 ※期間がマイナスとなる日付を設定した場合は保存時に警告メッセージが表示されます。(但し、平成 23 年積算基準以前の場合は工期末日のみの表示・入力となります。)  
 期間入力の場合…「本工事施工期間は請負契約締結の翌日から + [入力数値] + 日間とする。」  
 ・**担保期間**  
 「本工事担保期間は工事目的物引き渡しの日から + [入力数値] + [か月間(日間)]+とする。」  
 なお、「担保期間」の[か月間(日間)]及び概要③~⑦はプルダウンリストに候補が無い場合は、任意入力も可能です。
- 3) 会計項目を選択して下さい。(各項目とも、プルダウンリスト(会計科目は選択画面)に候補が無い場合は、任意入力も可能です。)
- 4) 各項目の入力が完了しましたら、[保存]ボタンをクリックし、データを保存して下さい。
- 5) 印刷設定を設定して下さい。  
 ・補修(画面左上部の作成日欄の右)…補修の場合チェックを入れて下さい。  
 (設計書(甲表)入力画面の「工事」が補修に表示が変わります。)  
 ・他部署合議 …… 決裁欄の所属名の表示が変わります。(所属名は任意入力も可能。)  
 ・補助事業 …… 「補助事業」の表示が会計項目欄の下に印刷されます。  
 ※「他部署合議」・「補助事業」は、部署により制御されない場合があります。  
 ・金抜き …… 設計書を金抜き印刷します。  
 ・Excel ファイル出力 …… 保存先を指定後、印刷物と同じ様式を Excel ファイルに出力します。
- 6) [印刷]ボタン下の[プレビュー]をチェックして、ボタンをクリックすると、Excel の印刷プレビュー画面が表示されます。その後、[印刷]ボタンを押し印刷して下さい。  
 ※[プレビュー]をチェックしていない場合は、直接プリンタに印刷出力されます。
- 7) 印刷処理が終了すると、設計書(甲表)の入力画面に戻ります。
- 8) 上部メニュー[ファイル(F)]→[メニューに戻る(X)] Alt+F4により、メインメニューに戻ります。  
 ※データが更新されている場合は、更新の確認メッセージが表示されます。

## 2 設計書(甲表)の Excel 編集

※各部課において、都度、一部様式を変更したい場合などに行います。

1) 設計書(甲表)の入力画面より、[Excel 編集]ボタンをクリックして下さい。

2) Excel が自動起動し、Excel 画面に切り替わります。

([甲表の入力・印刷]画面は操作出来ません。)

※Excel の画面に切り替わらない場合は、タスクバーに表示されている「Excel」をクリックして下さい。

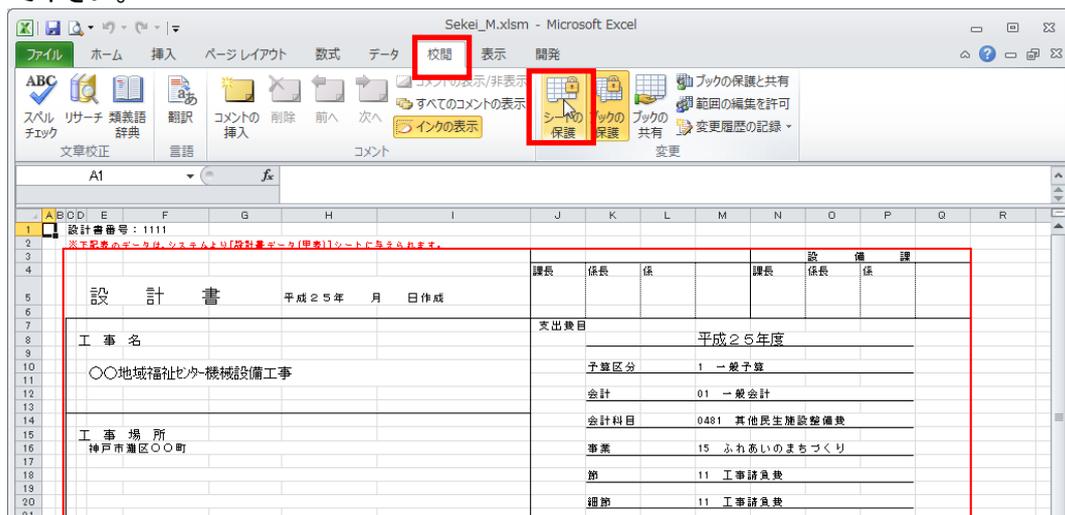
※Excel の起動時間が多少要する場合がありますので、画面が切り替わるまでしばらくお待ち下さい。

3) 編集規制を解除するには、シートの保護を解除します。 [校閲]→[シート保護の解除]をクリックして下さい。

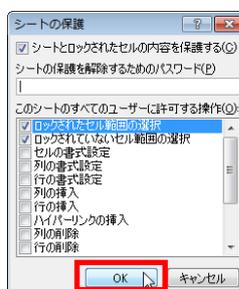
### ※編集の注意事項

- ・ファイル名の変更は絶対に行わないで下さい(保存の際は**上書き保存**すること)。
- ・シート名の変更は、絶対に行わないで下さい。
- ・予め設定されている計算式などを変更した場合は自動的に元に戻りせん。
- ・次のシートには、絶対編集しないで下さい。  
「設計書データ(甲表)」、「全体工事概要データ」、「個別工事概要データ」、
- ・各項目の値の修正は、[設計書(甲表)の入力・印刷]画面で行って下さい。  
(Excel 編集で直接入力した内容は入力画面の内容に反映されません。)

- 4) 編集が終わりましたら、必ず編集規制をかけて下さい。[校閲]→[シートの保護]をクリックして下さい。

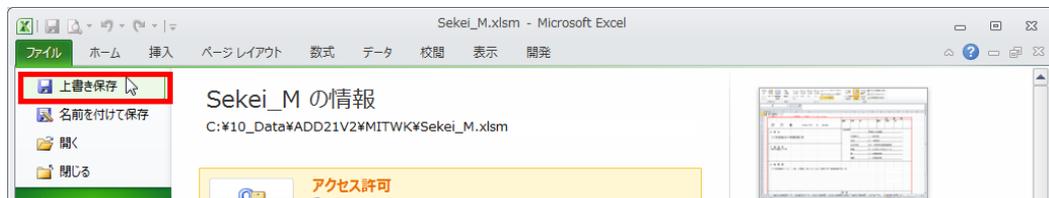


- 5) チェックの状態及びパスワードの値はそのまま変更しないで[OK]ボタンをクリックして下さい。



※Excel のバージョンによっては左の画面の項目が異なる場合があります。

- 6) 上書き保存を行い、Excel 画面を閉じると、[甲表の入力・印刷]画面が操作可能となります。



※積算システムのバージョンアップを行った場合は、以前のシステムバージョン上でExcel 編集にて変更した内容は初期化され、通常の様式に戻ります。お手数をおかけいたしますが、再度、Excel 編集にて変更して下さい。

### 3 積算基準改定に伴う表示について

平成 29 年度版よりも前の積算基準で作成された内訳書ファイルを読み込んだ際は、工事名称等表示部に下記のように表示されます。積算基準変更に伴う本システムの更新内容等の詳細は、下記に示す補足事項を参照して下さい。

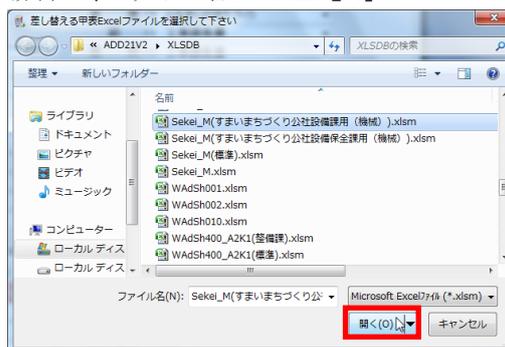


作成した積算システムバージョン (基準更新前)	積算基準(表示)	詳細参照箇所 (本書)
β 1.00～β 1.46	この内訳書は平成 21 年度積算基準以前の共通費計算を行います	補足 1
β 1.50～β 1.56	この内訳書は平成 22～23 年度積算基準以前の共通費計算を行います	補足 2
β 1.60～2.07	この内訳書は平成 24～28 年度積算基準以前の共通費計算を行います	補足 3

## 4 甲表ファイル差し替え

- 1) [甲表 Excel ファイル差し替え]ボタンをクリックして下さい。

- 2) 差し替え対象のファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックして下さい。  
 ※ 機械積算の場合は、ファイル名に「Sekei\_M」がついているものを選択します。



- 3) 確認メッセージの[OK]ボタンをクリックすると、差し替え作業が完了します。



## 3

## 工事概要の入力

## 1 工事概要の入力 &lt;新規作成時の工事概要の入力は、本書 P41 を参照して下さい&gt;

1) メインメニュー[2.内訳書の仕様設定]→[3.工事概要の入力]をダブルクリックすると、[工事概要入力・印刷]画面が表示されます。

※ 新規作成直後に本画面を表示した場合、【工事名称】及び【工事概要(全体)】の内容は、新規作成時に入力した内容が反映されています。

2) 【工事概要(全体)】の各項目を設定して下さい。

※【監理事務所の有無】・【専門性の高い工事】・【支給材料費の有無】・【合併入札工事費の有無】・【前払い金の有無】は使用しません(使用不可となっています)

※【工事概要(全体)】の各項目は、次のように反映されます。

① 【工事】 ※共通費計算時の判断項目

<1.主工事> <2.従工事> 何れか該当する工事を選択して下さい。

※新規作成時以外は設定値を変更しても内訳書の項目の雛形は変更されません。

(主工事または従工事の設定を間違っていた場合は、内訳書の[一般管理費等]按分グループシートを適宜手作業にて追加削除して下さい。)

※環境設定(基本設定)画面<本書 P38 参照>で「H14 年度・H22 年度・H24 年度共通費計算シート」の設定値を「住整設備」にした場合のみ、<従工事>は使用しないため、「※」表示になっています。

② 【工事種別】 ※共通費計算時の判断項目/内訳明細の【工事種別】項目(【工種】と表示)の値

<1.新営> <2.改修> <4.昇降機>

※設備積算では<3.新営+改修>は使用しないため、「※」表示になっています。

※設計事務所版として運用している場合、設備積算では<2.改修>は選択できません。

※環境設定(基本設定)画面<本書 P38 参照>で「H14 年度・H22 年度・H24 年度共通費計算シート」の設定値を「住整設備」にした場合のみ、<2.改修>は使用しないため、「※」表示になっています。

③ 【追加工事】 ……追加工事が否かを設定して下さい。 ※共通費計算時の判断項目

④ 【契約保証金の有無】 ※共通費計算時の判断項目(平成 30 年度以降積算基準に適用)

<1.有> ……契約保証金を[一般管理費等]に計上する場合設定します。

【契約保証費率】契約保証費率(%)を入力して下さい。

※<0.無>の場合は、契約保証金を一般管理費等に計上しません。

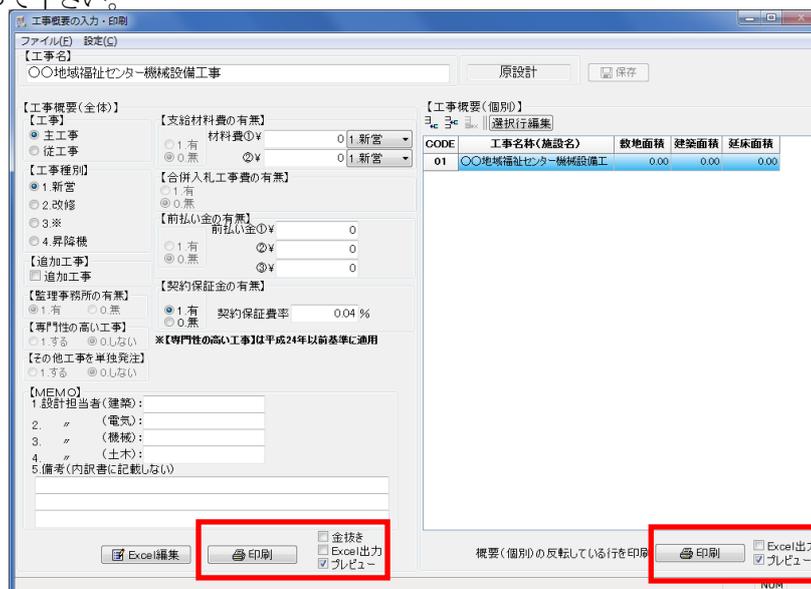
⑤ 上記以外の項目は、メモ情報として処理されます。(入力値は共通費計算に影響しません。)

## 3) 【工事概要(個別)】の各項目を設定して下さい。

- ① 必要に応じて、行を追加して下さい。
- ② 編集を行う行を選択し、ダブルクリックするか、[選択行編集]ボタンをクリックすると、[個別工事概要編集]画面が表示されます。
- ③ 各項目を入力し、[更新]ボタンをクリックして下さい。  
(【要求課】・【工事種別】・【建物用途】・【構造】はプルダウンリストに候補が無い場合は、任意入力も可能です。)

## 4) 【工事名称】・【工事概要(全体)】・【工事概要(個別)】の全ての項目の入力が完了しましたら、[保存]ボタンをクリックしてデータを保存して下さい。

- 5) 【工事名称】・【工事概要(全体)】及び【工事概要(個別)】は、それぞれ必要に応じて印刷を行って下さい。



- ①印刷設定を設定します。

- ・金抜き ..... 設計書を金抜き印刷します。
- ・Excel 出力 ..... 保存先を指定後、印刷物と同じ様式を Excel ファイルに出力します。

- ②【印刷】ボタン右の【プレビュー】をチェックして、ボタンをクリックすると、Excel の印刷プレビュー画面が表示されます。

その後、【印刷】ボタンを押し印刷して下さい。

※【工事概要(個別)】は、印刷する行を選択(反転)してから印刷ボタンをクリックして下さい。

※【プレビュー】をチェックしていない場合は、直接プリンタに印刷出力されます。

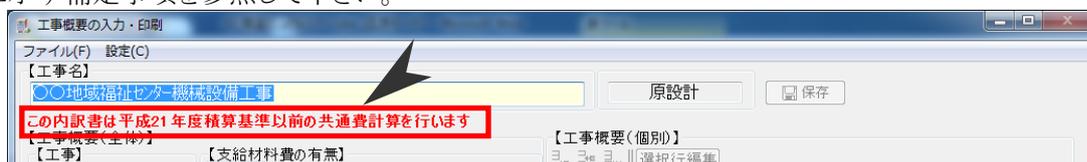
- 6) 印刷処理が終了すると、【工事概要入力・印刷】画面に戻ります。

- 7) 上部メニュー【ファイル(F)】→【メニューに戻る(X) Alt+F4】により、メインメニューに戻ります。

※データが更新されている場合は、更新の確認メッセージが表示されます。

## 2 積算基準改定に伴う表示について

平成 29 年度版よりも前の積算基準で作成された内訳書ファイルを読み込んだ際は、工事名称等表示部に下記のように表示されます。積算基準変更に伴う本システムの更新内容等の詳細は、下記に示す補足事項を参照して下さい。



作成した積算システムバージョン (基準更新前)	積算基準表示	詳細参照箇所 (本書)
β 1.00～β 1.46	この内訳書は平成 21 年度積算基準以前の共通費計算を行います	補足 1
β 1.50～β 1.56	この内訳書は平成 22～23 年度積算基準以前の共通費計算を行います	補足 2
β 1.60～2.07	この内訳書は平成 24～28 年度積算基準以前の共通費計算を行います	補足 3

## 4 消費税率の設定

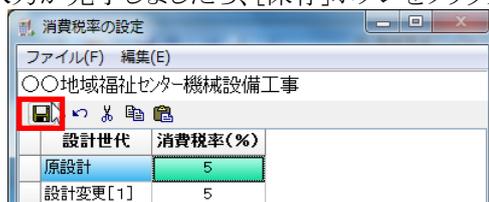
### 1 消費税率の設定

※原設計・設計変更毎に消費税率を設定します。

- 1) メインメニューの[2.内訳書の仕様設定]→[4.消費税率の設定]をダブルクリックすると[消費税率の設定]画面が表示されます。
- 2) 各設計世代における消費税率(%)を設定して下さい。



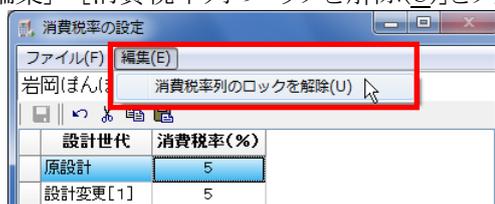
- 3) 入力が完了しましたら、[保存]ボタンをクリックしてデータを保存して下さい。



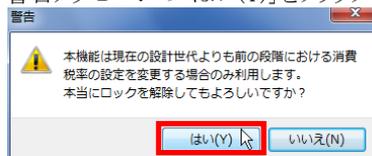
#### \* 設計変更時の消費税率列ロック(変更不可)解除について

※設計変更時では、現時点の設計世代より前の消費税率は、原則、変更しない仕様としています。  
現時点の設計世代より前の消費税率を変更して計算する場合は、消費税率列のロック解除を行い、税率を変更します。

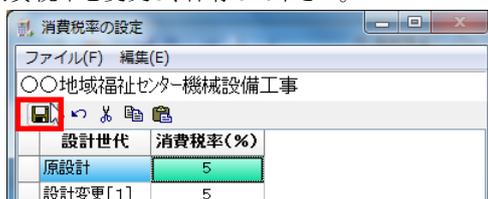
- 1) [編集]→[消費税率列のロックを解除(U)]をクリックして下さい。



- 2) 警告メッセージの「はい(Y)」をクリックすると、消費税率(%)列の全ての行のロックが解除されます。



- 3) 消費税率を変更し、保存して下さい。

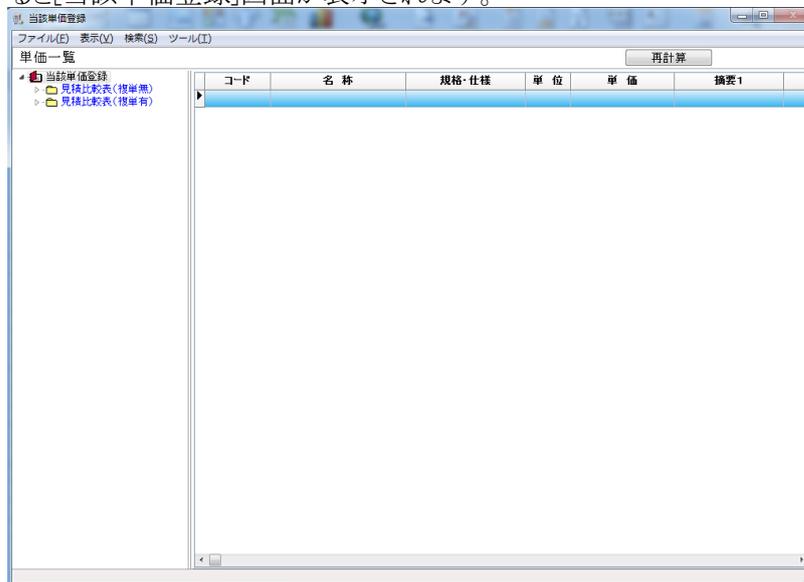


## 5 当該単価(6頭コード)・複合単価(7頭コード)登録・再計算

### 1 当該単価登録画面の表示

※刊行物単価・カタログ記載単価・見積比較単価で構成する当該単価(6頭コード)および当該単価に歩掛等の率などを乗じることにより作成する複合単価(7頭コード)を作成します。

- 1) メインメニュー[3.当該工事単価作成]→[1.当該単価]→[1.当該単価登録]をダブルクリックすると[当該単価登録]画面が表示されます。

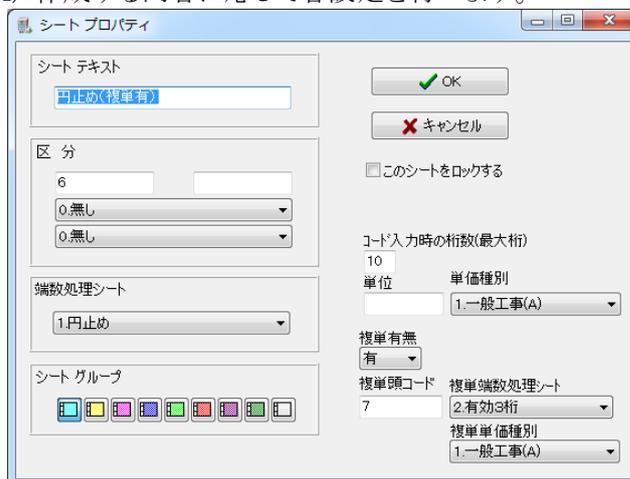


### 2 単価登録シートの基本設定

- 1) ツリービューを展開し、予め登録されているシートで左クリックします。
- 2) シートが選択されていることを確認し、右クリックして選択します。
- 3) ポップアップメニューが表示されますので、[プロパティ(R)]にあわせて、左クリックします。



- 4) 作成する内容に応じて各設定を行います。



※シートテキスト:入力した文字列をツリービューに表示します。  
 ※区分:各設定値が、単価コードの頭コードに反映されます。  
 ※端数処理については、〈本書 P30〉を参照して下さい。  
 ※コード入力時の桁数(最大桁):コードの最大桁数を設定します。  
 ※単位:単価の追加・挿入時、単位の初期値を入力します。(必要に応じて設定)  
 ※単価種別:単価の追加・挿入時、単価種別の初期値を入力します。「複単単価種別」は複合単価における単価種別の初期値です。(必要に応じて設定)  
 ※複単有無:複合単価を作成するときは「有」に設定します。  
 ※複単頭コード:複合単価コードの頭コードに反映されます。(設定桁分を基礎単価頭コードと置き換えます。)

## 3 当該基礎単価の登録～見積り比較

※見積り比較を行う場合、見積りを行うメーカーの組み合わせごとにシートを予め作成しておきます。  
(見積りする部材毎に、「A社・B社・C社」、「A社・B社・D社」のように組み合わせが異なる場合は、複数のシートに分けて単価を登録します。)

- 1) 単価を登録するシートをダブルクリックすると、一覧登録表示になります。



- 2) [単価コード]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[数量]、[率]、[摘要 1]、[摘要 2]、[単価種別]を入力して下さい。

※一覧入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。

・**単価コード**: 下記の頭コード既定とし、桁数は8桁までを基本として重複しない番号を入力して下さい。

6.有効3桁(複単無)・・・複合単価を作成しない単価を登録します(当該基礎単価(6頭コード)の端数処理は「2.有効3桁」に設定)

6.円止め:(複単有)・・・複合単価を作成する単価を登録します。(当該基礎単価(6頭コード)の端数処理は「1.円止め」、複合単価(7頭コード)の端数処理は「2.有効3桁」に設定)

※8桁までを基本とします。なお、コード入力時の桁数(最大桁)に設定した桁数までは入力可能です。

・**単位**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

・**数量**: 数量を入力して下さい(見積り数量に反映されます)。

・**率**: 査定率等を入力して下さい。

## 【注意】

- ・摘要 1: 摘要(公開)を入力して下さい(摘要1は単価根拠等、非公開事項は入力厳禁)。
- ・摘要 2: 摘要(非公開)を入力して下さい。

- 3) 刊行物単価の平均値を採用する場合の入力は、<本書 補足 6>を参照して下さい。

- 4) 見積り比較を行う場合、見積りメーカーを設定して下さい。

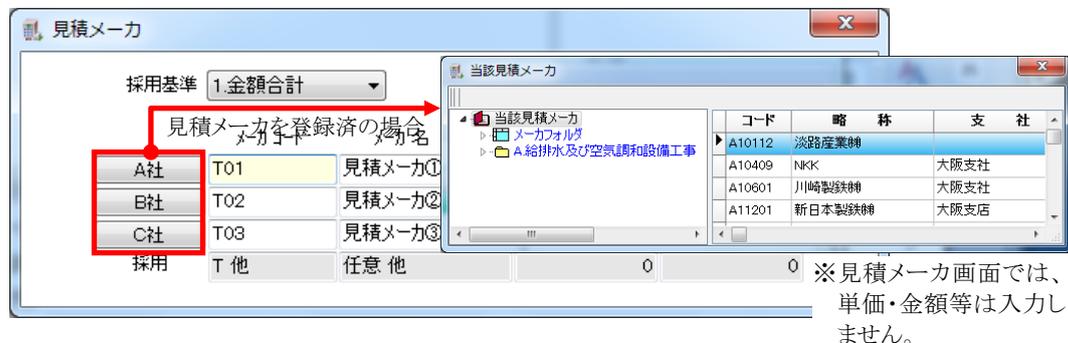
※見積り比較をしない場合は、見積りメーカー情報は登録しないので、そのまま7)の手順から、[単価]を入力して下さい。

- 5) 画面上部の[見積りメーカー]ボタンをクリックすると、[見積りメーカー]画面が表示されます。

※初期設定は、3社表示になっています。メーカー数の変更については、<本書 P79>を参照して下さい



- 6) 見積メーカーコード・メーカー名・採用基準を設定して下さい。  
 ※メーカーコード欄に入力が無い場合は、メーカー名を入力しても削除されますので、必ずメーカーコード（任意の場合は、T+連番）を入力してください。（T 頭コードは任意入力時に使用。）  
 ※見積比較を行わない場合でも、必ず、[A 社]の[メーカーコード]に「T」・[メーカー名 略称]に「任意」と入力して下さい。  
 ※事前に当該見積メーカー情報を登録すると、[A 社]・[B 社]…ボタンをクリックすると見積メーカーを選択でき、他の見積グループでもそのメーカー情報を再使用することが可能です。当該見積メーカーの登録方法は、当該見積メーカー登録<本書 P80>を参照して下さい。



## 採用基準について

- ・金額合計: 見積グループ内で、単価×数量により金額を求め、その金額の合計が最安値となるメーカーを採用。
- ・単価合計: 見積グループ内で単価の合計が最安値となるメーカーを採用。
- ・単品比較: 見積単価(行毎)で最安値となるメーカーの単価を採用(いい所取り)。

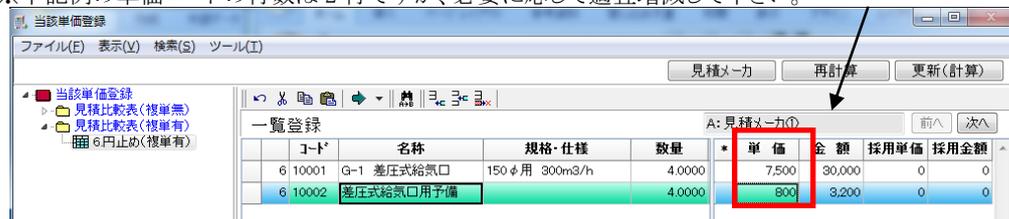
※ある当該メーカーの単価を入力しない場合(または 0 円を入力した場合)は、単価の左の列に「\*」が表示されると共に見積グループのメーカーの中で最安値の単価が自動的に設定され、その単価が当該メーカーの見積単価とみなされます。(補足 4-2 ページ参照。)

- 7) [更新]ボタンをクリックして更新して下さい。なお、必要に応じて画面右上の[×]ボタンをクリックして[見積メーカー]画面を閉じて下さい(表示したままでも以降の作業は出来ます)。



- 8) 見積メーカー① の見積り額(単価)を入力します。見積メーカー名 略称が表示されます

※下記例の単価コードの行数は 2 行ですが、必要に応じて適宜増減して下さい。



- 9) [次へ]ボタンをクリックし、見積メーカー②の見積り額(単価)を入力します。見積メーカー名 略称・単価欄が切り替わります

※ [前へ]ボタンで、見積メーカー① の入力画面に戻ります。



- 10) [次へ]ボタンを押していき、同様に全てのメーカーの見積額(単価)を入力します。  
 ※ [前へ]ボタンで、前回表示していた見積メーカーの見積額(単価)入力表示に戻ります。
- 11) 画面上部の[再計算]ボタンをクリックして下さい。  
 ※ 見積メーカー画面で設定した採用基準に基づき、単価比較を行い採用単価を算出します。



- 12) 画面上部の[更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存されます。



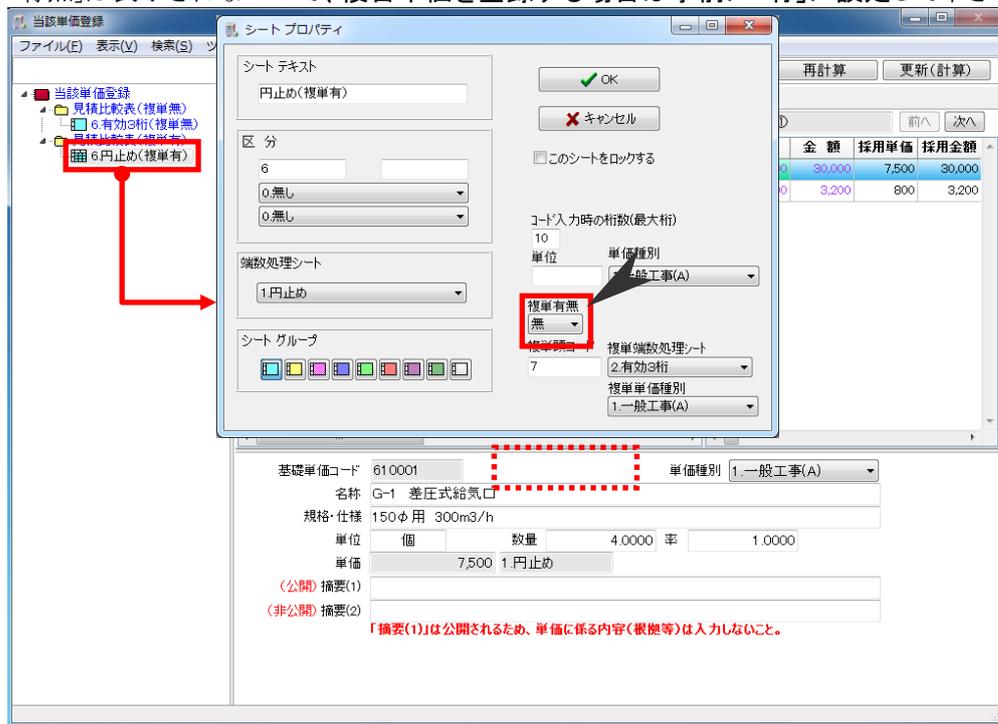
### ◆登録手順概要

### 手順

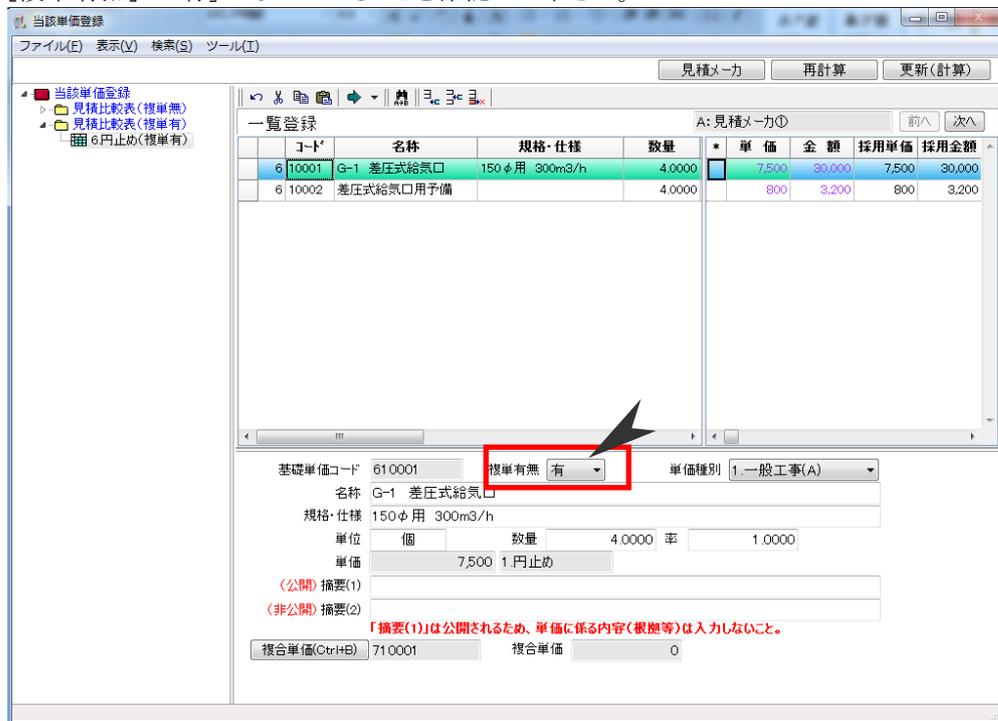
- ① 単価コード、名称、規格・仕様、数量、単位、率、摘要(1)(2)を入力して下さい。  
 ※コードが10桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。  
 ※単価コードは重複しないようにして下さい(他のシートのコードとも重複しないように)。
- ②、③ 見積メーカー、採用基準を入力し、見積メーカー画面の[更新]ボタンをクリックして下さい。
- ④ 見積メーカーの単価を入力して下さい。
- ⑤ [次へ]ボタンにより、次の見積メーカーの入力を行います。(手順④を繰り返して下さい。)  
 $[金額] = [数量] \times [単価]$   
 $[採用単価] = \text{比較後採用対象となる}[単価] \times [率] (\text{査定率})$   
 $[採用金額] = [採用単価] \times [数量]$   
 ※ 内訳明細、代価等に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。  
 端数処理はシートプロパティで設定します。
- ⑥ [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[更新(計算)]ボタンをクリックして保存して下さい。

## 4 当該基礎単価→複合単価の登録

- 1) シートプロパティの[複単有無]が「無」に設定されている場合は、当該単価登録画面の[複単有無]は表示されないのので、複合単価を登録する場合は事前に「有」に設定して下さい。



- 2) 「複単有無」が「有」になっていることを確認して下さい。



※ 当該単価登録画面の[複単有無]が「無」になっている場合は、複合単価に関する項目は表示されません。[複単有無]を「無」から「有」に変更し、他の項目入力部に移動すると複合単価に関する項目が表示されます。

The screenshot shows the 'Single Price Registration' window. The '複単有無' (Composite Unit Existence) dropdown menu is set to 'None' (無). The table below shows the registered items:

コード	名称	規格・仕様	数量	単価	金額	採用単価	採用金額
6 10001	G-1 差圧式給気口	150φ用 300m3/h	4.0000	7,500	30,000	7,500	30,000
6 10002	差圧式給気口用予備		4.0000	800	3,200	800	3,200

Below the table, the '複単有無' dropdown is highlighted with a red box. The '複単有無' field is currently set to 'None' (無). A red dashed box highlights the note: 「摘要(1)は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。」 (Since summary (1) is public, do not input content related to unit price (basis, etc.).)



The screenshot shows the 'Single Price Registration' window after the '複単有無' (Composite Unit Existence) dropdown menu has been changed to 'Yes' (有). The table below shows the registered items:

コード	名称	規格・仕様	数量	単価	金額	採用単価	採用金額
6 10001	G-1 差圧式給気口	150φ用 300m3/h	4.0000	7,500	30,000	7,500	30,000
6 10002	差圧式給気口用予備		4.0000	800	3,200	800	3,200

Below the table, the '複単有無' dropdown is highlighted with a red box. The '複単有無' field is now set to 'Yes' (有). A red dashed box highlights the note: 「摘要(1)は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。」 (Since summary (1) is public, do not input content related to unit price (basis, etc.).) Below this note, a new section for composite unit pricing is visible, with '複合単価(Ctrl+H)' set to '710001' and '複合単価' set to '0', both highlighted with a red box.

3) [複合単価(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、複単カード画面が表示されます。

コード	名称	規格・仕様	数量	* 単価	金額	採用単価	採用金額
6 10001	G-1 差圧式給気口	150φ用 300m3/h	4.0000	7,500	30,000	7,500	30,000
6 10002	差圧式給気口用予備		4.0000	800	3,200	800	3,200

基礎単価コード: 610001 複単有無: 有 単価種別: 1.一般工事(A)

名称: G-1 差圧式給気口  
規格・仕様: 150φ用 300m3/h  
単位: 個 数量: 4.0000 率: 1.0000  
単価: 7,500 1.円止め

(公開) 摘要(1)  
(非公開) 摘要(2)

複合単価(Ctrl+B) 10001 複合単価 0

「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(概略等)は入力しないこと。

4) 複単カード画面の各項目を設定して下さい。

[歩掛コード]ボタンをクリックすると、歩掛選択画面が表示されます。適用したい歩掛コードを選択(右下の表の行をダブルクリック)すると、歩掛が設定されます。

複単カード

複合単価コード: 722201 施工条件: 0条件なし 端数処理シート: 2有効2桁  
複合単価: 14,200 単価種別: 1.一般工事(A)

歩掛コード: 1A2C80420 換気扇 200φ(圧力扇を含む) 台 04機械(ハターン)

コード 名称 単位 労務乗率  
1K0150 設備機械工 人日 1.00  
本数: 1.000  
乗率: 1.000

歩掛(R1) 歩掛(R2) 歩掛(R3) 雑材料率 その他率 乗率 歩掛乗率1 歩掛乗率2 歩掛乗率3  
0.3900 1.0000 1.0000 1.0000 1.1000 1.0000 1.0000 1.0000 1.0000

塗装費コード: 0

機械歩掛表

1歩掛マス

A 国土交通省建築工事積算基  
1 共通工事  
2 空気調和設備工事  
A ホーン及び付属機器部  
B 冷凍機設備  
C 空気調和機設備  
1 空気熱源ハターン  
2 ハターン形空気調和  
3 ルームクーラー  
4 ファクトリユニット  
5 空気調和機  
6 全熱交換器  
7 空気清浄装置  
8 送風機  
01 送風機(片吸い)  
02 送風機(両吸い)  
03 消音ボックス付  
04 換気扇  
05 パイプファン

コード	名称	規格・仕様	計算式
1A2C802	送風機(両吸込)	(機器基礎)	04 機械(ハターン)
1A2C802	送風機(両吸込)	(天井吊り)	04 機械(ハターン)
1A2C802	送風機(両吸込)	(防振基礎)	04 機械(ハターン)
1A2C803	消音ボックス付送風機	(機器基礎)	04 機械(ハターン)
1A2C803	消音ボックス付送風機	(天井吊り)	04 機械(ハターン)
1A2C804	換気扇		04 機械(ハターン)

コード	名称	単位
1A2C8040	200φ(圧力扇を含む)	台
1A2C8040	250φ(圧力扇を含む)	台
1A2C8040	300φ(圧力扇を含む)	台
1A2C8040	400φ(圧力扇を含む)	台
1A2C8040	500φ(圧力扇を含む)	台
1A2C8041	天井埋込形	台

- 5) 全ての項目が正しく設定されていることが確認できましたら、[再計算]ボタンをクリックして下さい。

複単カード

複合単価コード 710001 施工条件 0条件なし 端数処理シフト 2有効3桁  
 複合単価 15,600 単価種別 1.-一般工事(A)

歩掛コード	コード	名称	規格・仕様	単位	計算法
	1A2C804020	換気扇	200φ(圧力扇を含む)	台	04機械(ハワ-ン)

コード	名称	単位	労務乗率	本数	乗率
1K0150	設備機械工	人日	1.00	1,000	1,000

歩掛(R1)	歩掛(R2)	歩掛(R3)	雑材料率	その他率	乗率	歩掛乗率1	歩掛乗率2	歩掛乗率3
0.4000	1.0100	1.0100	1.0100	1.1100	1.0100	1.0100	1.0100	1.0100

塗装費コード 0

- 6) [戻る]ボタンをクリックすると、複単カード画面が消え、当該単価登録画面に計算された複合単価が表示されます。

複単カード

複合単価コード 710001 施工条件 0条件なし 端数処理シフト 2有効3桁  
 複合単価 15,600 単価種別 1.-一般工事(A)

歩掛コード	コード	名称	規格・仕様	単位	計算法
	1A2C804020	換気扇	200φ(圧力扇を含む)	台	04機械(ハワ-ン)

コード	名称	単位	労務乗率	本数	乗率
1K0150	設備機械工	人日	1.00	1,000	1,000

歩掛(R1)	歩掛(R2)	歩掛(R3)	雑材料率	その他率	乗率	歩掛乗率1	歩掛乗率2	歩掛乗率3
0.4000	1.0100	1.0100	1.0100	1.1100	1.0100	1.0100	1.0100	1.0100

塗装費コード 0



当該単価登録

見種メ-カ 再計算 更新(計算)

一覧登録 A:見種メ-カ①

コード	名称	規格・仕様	数量	* 単価	金額	採用単価	採用金額
6 10001	G-1 差圧式給気口	150φ用 300m3/h	4,0000	7,500	30,000	7,500	30,000
6 10002	差圧式給気口用予備		4,0000	800	3,200	800	3,200

基礎単価コード 610001 複単有無 有 単価種別 1.-一般工事(A)

名称 G-1 差圧式給気口  
 規格・仕様 150φ用 300m3/h  
 単位 個 数量 4,0000 率 1,0000  
 単価 7,500 1.円止め

(公開) 摘要(1)  
 (非公開) 摘要(2)

「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。

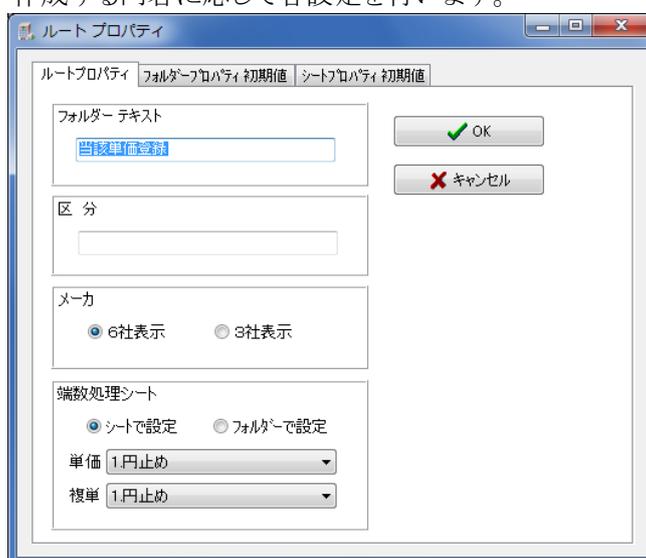
複合単価(Ctrl+B) 710001 複合単価 15,600

## 5 見積りメーカー数の変更(ルートプロパティの設定)

- 1) ツリービューの最上部階層のルートアイコン(赤色のアイコン)で[左クリック]します。
- 2) アイコンが反転していることを確認し、右クリックします。
- 3) ポップアップメニューが表示されますので、[プロパティ(R)]にあわせて、[左クリック]します。



- 4) 作成する内容に応じて各設定を行います。



※フォルダテキスト: 内容をツリービューに表示します。

※区分: 設定値が、単価コードに反映されます。

※メーカー: 見積りメーカー設定ウィンドウでのメーカー数の設定をします。

※端数処理シート: 端数処理の設定を、フォルダで行うか、シートで行うかを設定します。

\*フォルダを指定した場合、設定したフォルダ以下の階層にある全てのデータに設定が反映されます。  
(※複合単価の設定値は、複単カード編集時の初期値となります。)

※端数処理については、本書 P30を参照して下さい。

◇[フォルダプロパティ初期値]、[シートプロパティ初期値]での設定は、フォルダ、シートの新規作成時に、初期値として反映されます。

## 6

## 当該見積メーカー登録

- ※機械積算による内訳書ファイルの雛形には、見積メーカーが予め登録されています。
- ※当該見積メーカーの登録は任意です(見積メーカー画面にて任意入力が可能のため)。
- ※当該見積メーカーを登録すると、複数の見積グループで同じメーカー情報が利用できます。

## 1 当該見積メーカー登録画面の表示

- 1) メインメニュー[3.当該工事単価作成]→[1.当該単価]→[2.見積メーカー登録]をダブルクリックすると[当該見積メーカー登録]画面が表示されます。

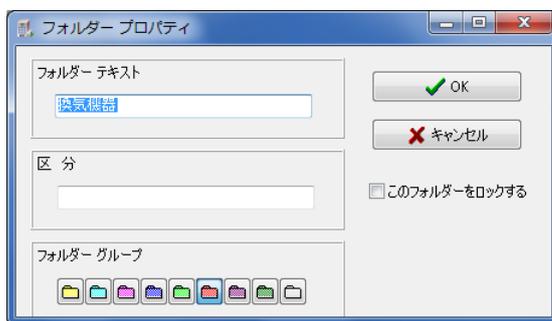


## 2 当該見積メーカーの登録

- 1) 見積メーカーの「ヨミ」(ア行・カ行…)または見積を行う資材の分類等、目安となる項目によりフォルダーを適宜作成して下さい。



※フォルダー作成時の[フォルダー プロパティ](作成する内容に応じて各種設定を行って下さい。)

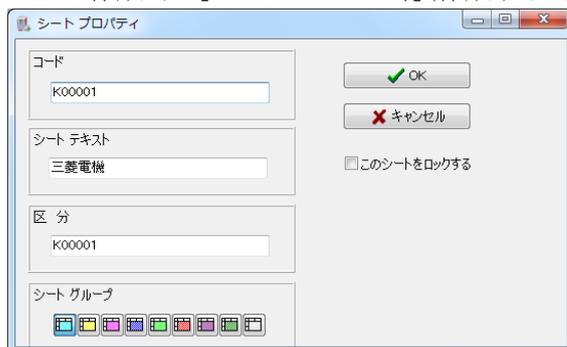


- ※フォルダーテキスト:内容をツリービューに表示します。
- ※区分:設定値が、フォルダーテキストの前に付加されます。

- 2) 見積メーカ 1 社につき、1 シートを作成して下さい。  
 ※メーカコードは、新規作成時のシートプロパティにて設定します。  
 ※メーカコードは他のシートと重複しないように設定して下さい。

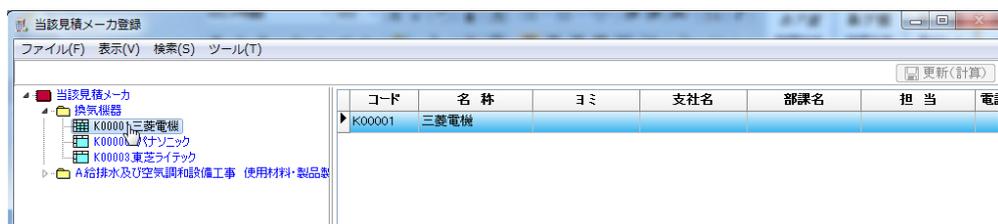


※シート作成時の[シート プロパティ](作成する内容に応じて各種設定を行って下さい。)

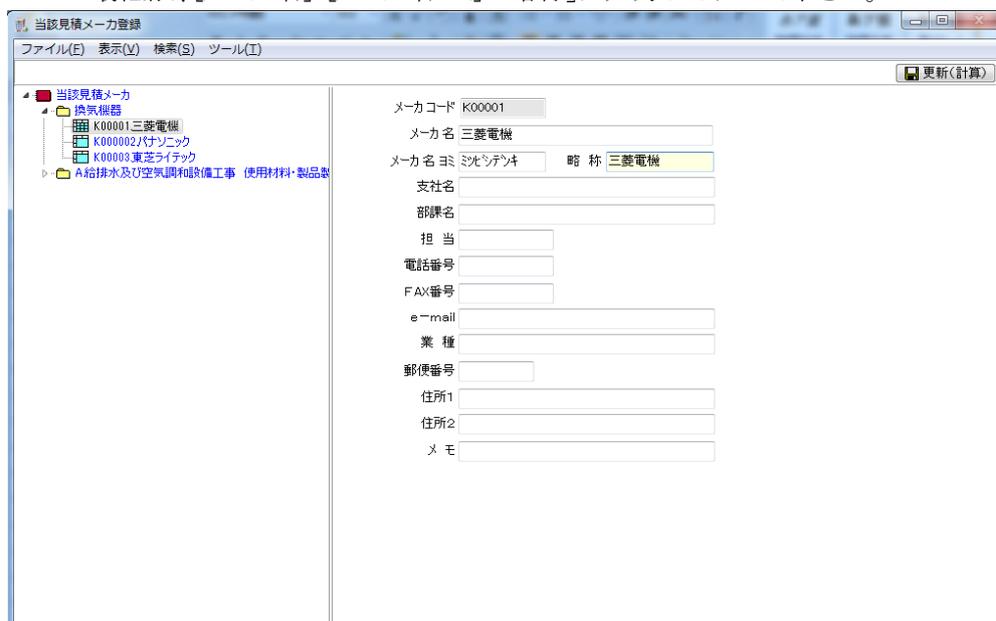


- ※コード:メーカコードに反映されます。  
 6桁までの重複のない番号を設定して下さい。  
 ※シートテキスト:内容をツリービューに表示します。  
 ※区分:設定値が、シートテキストの前に付加されます。

- 3) 編集を行いたいメーカのシートをツリービューでダブルクリックして下さい。または一覧表示の該当する行をダブルクリックして下さい。



- 4) メーカ情報を編集して下さい。  
 ※[略称]は、見積比較のメーカ情報での表示に使用するため入力必須です。  
 最低限、[メーカ名]・[メーカ名ヨミ]・「略称」は入力しておいて下さい。



5) 編集完了後、[更新(計算)]ボタンをクリックすると、編集内容が保存されます。



コード	名称	ヨミ	支社名	部課名	担当	電話
K00001	三菱電機	ミツビシデンキ				

※他のシートも同様の手順でデータを入力して下さい。

コード	名称	ヨミ	支社名	部課名	担当	電話
K00001	三菱電機	ミツビシデンキ				
K000002	パナソニック	パナソニック				
K000003	東芝ライテック	トウシンライテック				

## 7 標準代価(8 頭コード)・複合単価 (9 頭コード) 登録・再計算

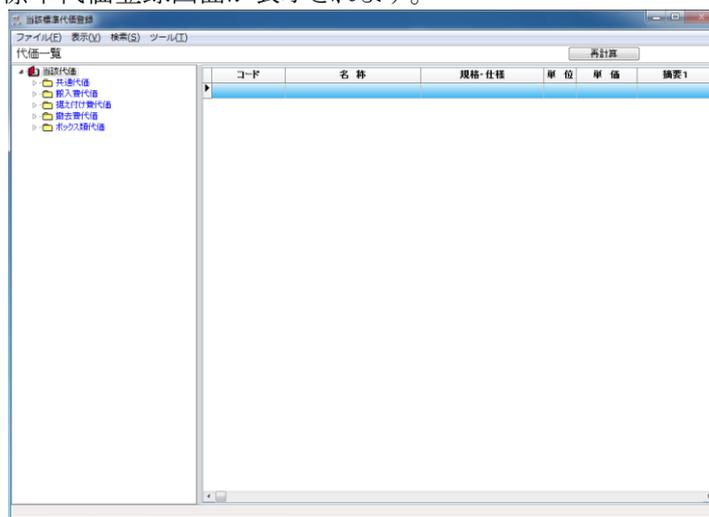
### 1 当該標準代価登録画面の表示

※標準代価は、配布単価、配布歩掛、当該単価(6 頭コード)・当該単価の複合単価(7 頭コード)を利用し、代価歩掛明細を積算し、内訳書に使用する単価です。

※コードの循環参照防止のため、標準代価(8 頭コード)で作成したコードを標準代価(8 頭コード)に引き込むことは出来ません(機械積算では別途作成の代価を代価に引き込む運用は行いません)。

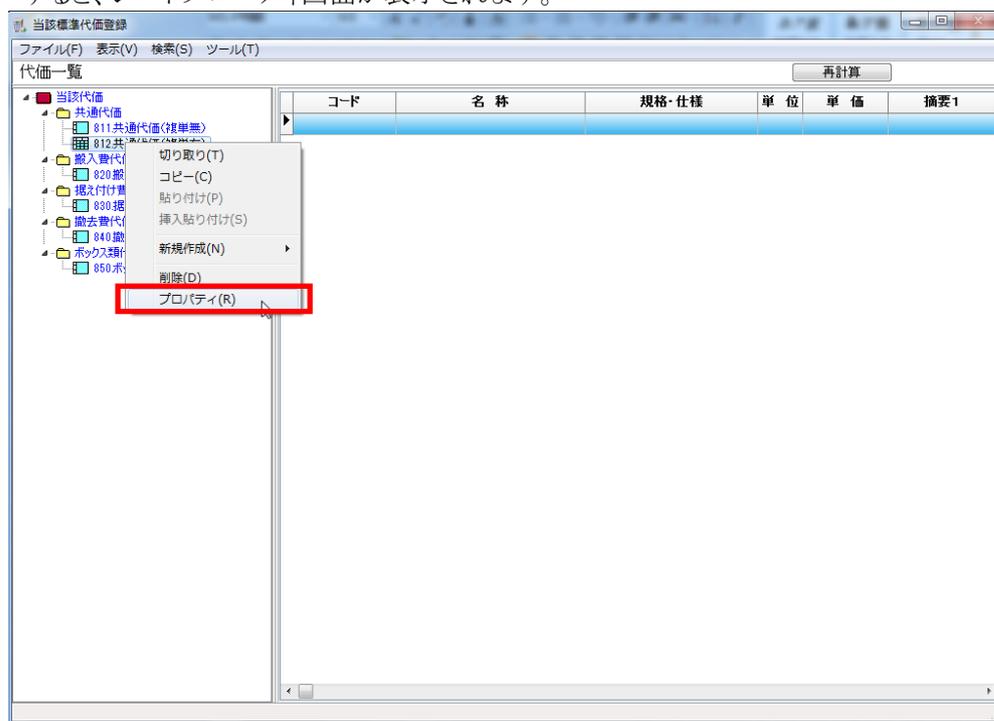
※標準代価(8 頭コード)を基に作成する複合単価(9 頭コード)は、代価の種別が「共通代価」のときのみ作成できます。

- 1) メインメニューの[4.標準代価作成]→[1.標準代価登録・再計算]をダブルクリックすると、当該標準代価登録画面が表示されます。



### 2 単価登録シートの基本設定

- 1) ツリービューを展開し、予め登録されているシートをクリックして選択して下さい。
- 2) シートが選択(文字列が反転)されていることを確認し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックすると、シートプロパティ画面が表示されます。



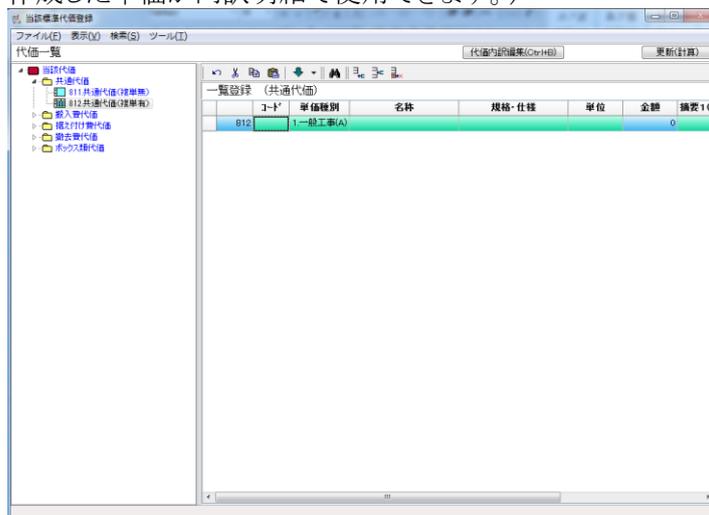
3) 作成する内容に応じて各設定を行って下さい。

※新規作成時のみ選択可能です。

- ※**代価**:代価の種別を選択します。共通代価、搬入費代価、据え付け費代価、撤去費代価、ボックス類代価、吹き出しロ・ダンパ代価が選択可能です。(共通代価のみ複合単価を登録可能です。他の代価表を選択した時は複合単価に関する項目は非表示となります。)
- ※**シートテキスト**:入力した文字列をツリービューに表示します。
- ※**区分**:各設定値が、単価コードの頭コードに反映されます。
- ※**端数処理**については、〈本書 P30〉を参照して下さい。
- ※**コード入力時の桁数(最大桁)**:コードの最大桁数を設定します。
- ※**単位**:単価の追加・挿入時、単位の初期値を入力します。(必要に応じて設定)
- ※**単価種別**:単価の追加・挿入時、単価種別の初期値を入力します。「複単単価種別」は複合単価における単価種別の初期値です。(必要に応じて設定)
- ※**複単有無**:複合単価を作成するときは「有」に設定します。
- ※**複単頭コード**:複合単価コードの頭コードに反映されます。(設定桁分を標準代価頭コードと置き換えます。)

## 3 共通代価の登録

- 1) 代価を登録するシートをダブルクリックすると、代価一覧登録画面が表示されます。(ここで作成した単価が内訳明細で使用できます。)



- 2) [単価コード]、[単価種別]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[摘要 1]、[摘要 2]、[単価種別]を入力します。

※一覧入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。

- ・**単価コード**: 8 頭を既定とし、桁数は 8 桁までを基本として重複しない番号を入力します。
- ・**単価種別**: 共通費算出時、集計分類として単価に種別を割り付けます。
- ・**単位**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

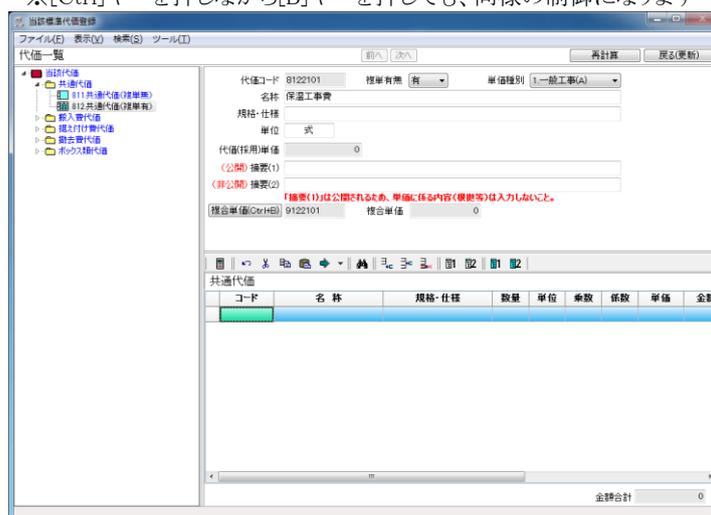
**【注意】**

- ・**摘要 1**: 摘要(公開)を入力して下さい(**摘要 1 は単価根拠等、非公開事項は入力厳禁**)。
- ・**摘要 2**: 摘要(非公開)を入力して下さい。

- 3) 作成した単価の代価内訳明細を入力します。

画面上部の[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。

※[Ctrl]キーを押しながら[B]キーを押しても、同様の制御になります



## 4) 代価明細を入力して下さい。(積上明細の入力)

・コード(引込コード): 配布単価コード、当該単価(6頭コード)・当該複合単価(7頭コード)を入力します。

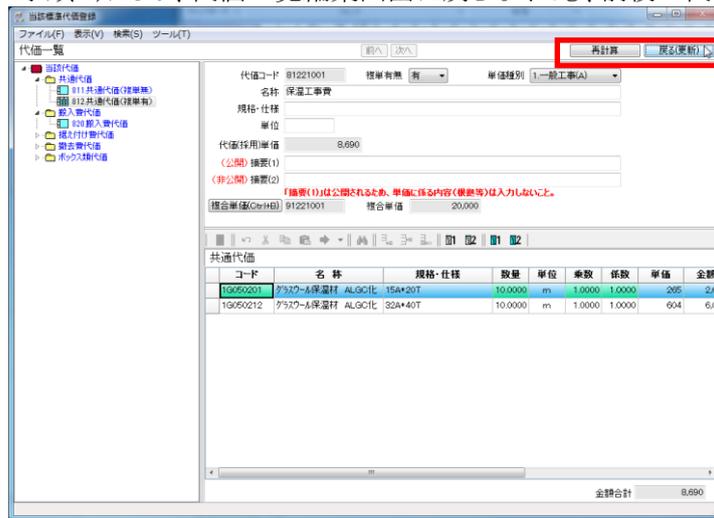
※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。

・数量、乗数、係数: 数量及び各乗率等を入力します。

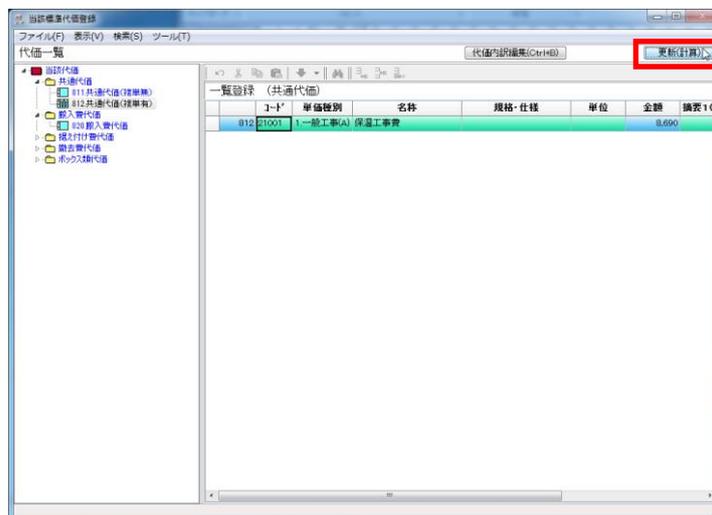
・単位(任意単価入力時): 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

## 5) [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

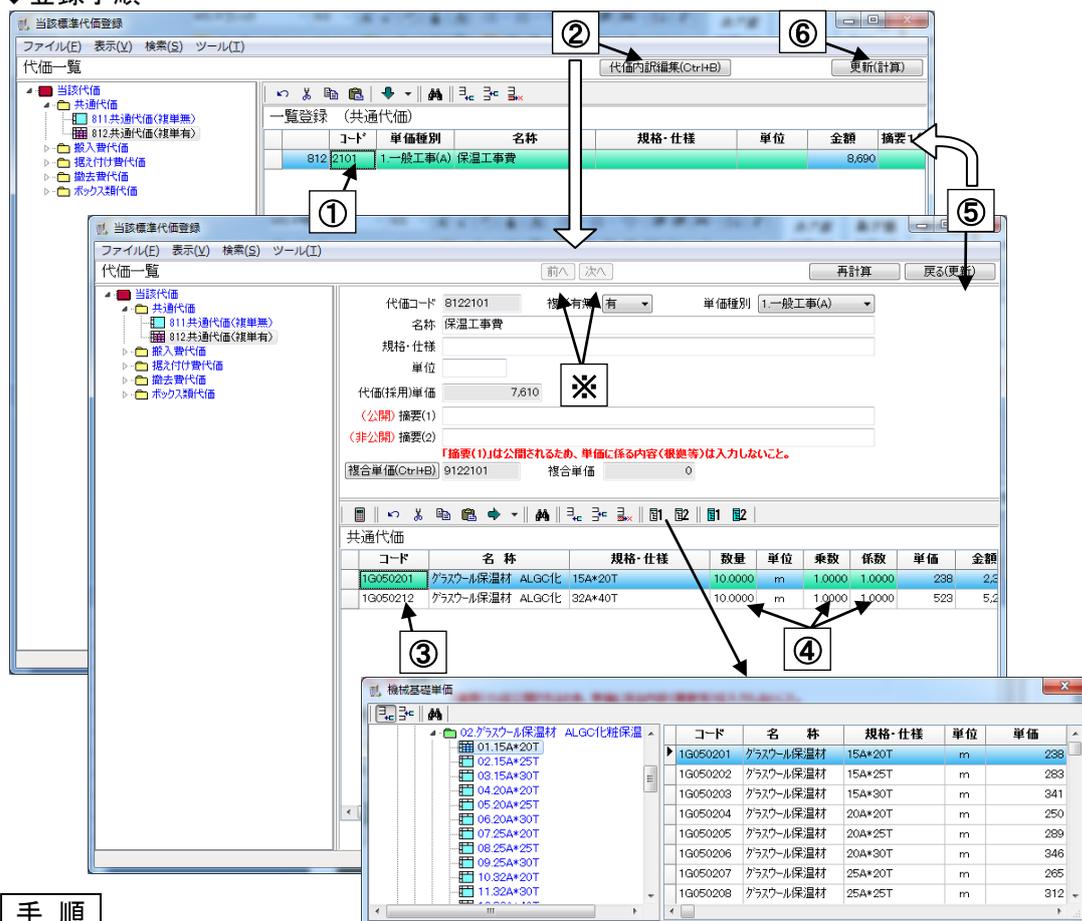
※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。手順 5)により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。



## 6) [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。



## ◆登録手順



## 手順

- ① 標準単価の単価コード・単価種別・名称・規格・仕様・単位・摘要1・摘要2を入力して下さい。  
 ※コードが10桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。  
 ※単価コードは重複しないようにしてください。
- ② [代価内訳編集 (Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面が表示されます。
- ③ コード(引込単価コード)を入力して下さい。  
 配布単価コード、当該単価(6頭コード)・当該複合単価(7頭コード)のコード番号を入力して下さい。  
 該当単価の名称、規格・仕様、単位、摘要(1)(2)が引き込まれます。  
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。  
 ※共通代価は[コード]欄に計算コードを入力することにより計算することが可能です。入力方法の詳細は、<本書 P29>を参照して下さい。
- ④ 数量、乗率・係数を入力して下さい。
- ⑤ [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。  
**【計算】**  

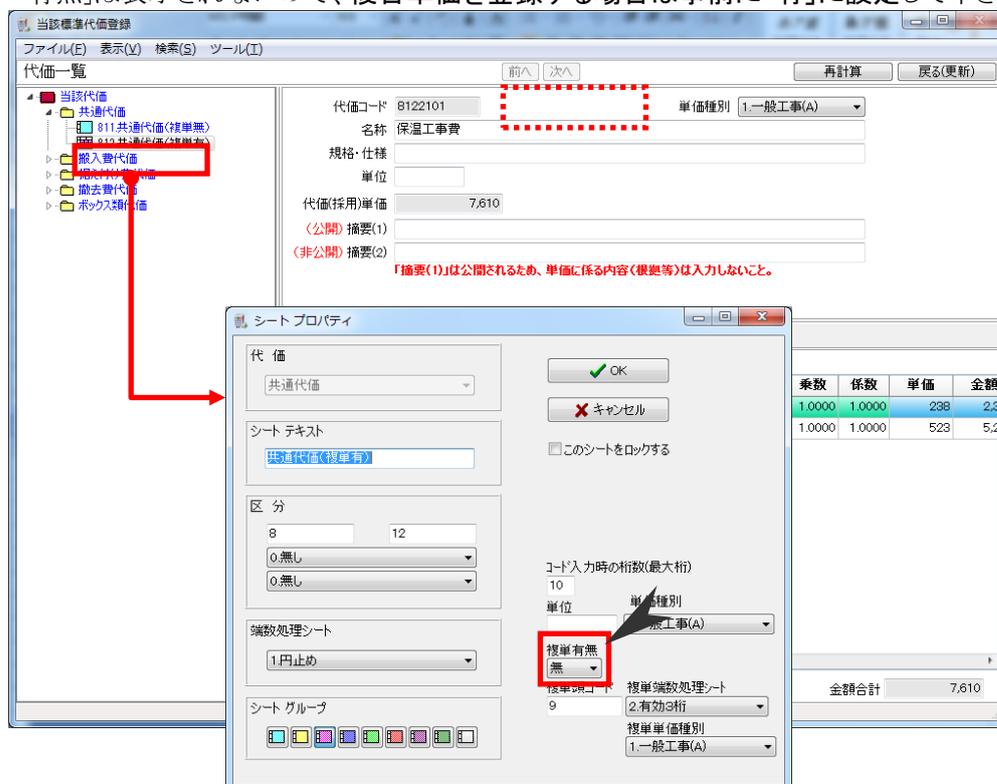
$$[\text{金額}] = [\text{数量}] \times [\text{乗数}] \times [\text{係数}] \times [\text{単価}]$$

$$[\text{代価(採用)単価}] = [\text{金額}] \text{の合計}$$
 ※内訳明細に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。  
 端数処理はシートプロパティで設定します。
- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。  
 手順⑤により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。
- ⑥ [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

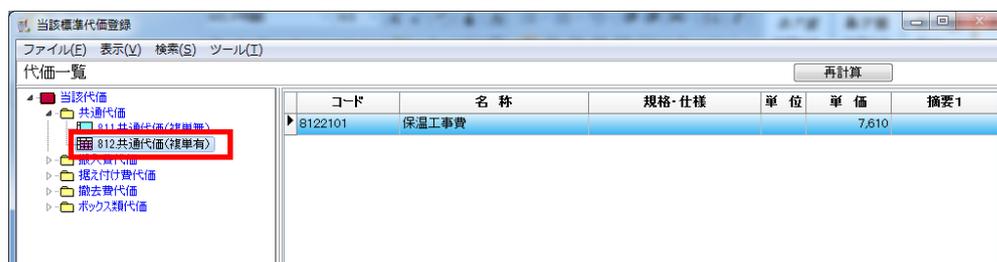
## 4 当該標準代価の登録→複合単価の登録

※ 代価の種別が「共通代価」のときのみ複合単価が登録できます。

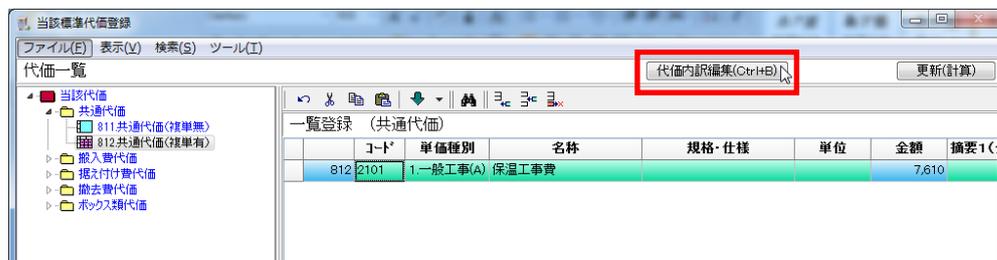
- 1) シートプロパティの[複合有無]が「無」に設定されている場合は、当該単価登録画面の[複合有無]は表示されないため、複合単価を登録する場合は事前に「有」に設定して下さい。



- 2) 代価の種別が「共通代価」のシートをダブルクリックして、代価一覧登録画面を開いて下さい。



- 3) 複合単価を登録する代価コードの行を選択し、画面上部の[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。



## 4) 「複単有無」が「有」になっていることを確認して下さい。

代価一覧

代価コード 8122101 複単有無 有 単価種別 1.一般工事(A)

名称 保温工事費

規格・仕様

単位

代価(採用)単価 7,610

(公開) 摘要(1)

(非公開) 摘要(2)

「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。

複合単価(Ctrl+B) 9122101 複合単価 0

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	係数	単価	金額
1G050201	ガラスウール保温材 ALGOC化	15A*20T	10.0000	m	1.0000	1.0000	238	2,380
1G050212	ガラスウール保温材 ALGOC化	32A*40T	10.0000	m	1.0000	1.0000	523	5,230

金額合計 7,610

※代価内訳明細登録画面の「複単有無」が「無」になっている場合は、複合単価に関する項目は表示されません。「複単有無」を「無」から「有」に変更し、他の項目入力部に移動すると複合単価に関する項目が表示されます。

代価一覧

代価コード 8122101 複単有無 無 単価種別 1.一般工事(A)

名称 保温工事費

規格・仕様

単位

代価(採用)単価 7,610

(公開) 摘要(1)

(非公開) 摘要(2)

「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	係数	単価	金額
1G050201	ガラスウール保温材 ALGOC化	15A*20T	10.0000	m	1.0000	1.0000	238	2,380
1G050212	ガラスウール保温材 ALGOC化	32A*40T	10.0000	m	1.0000	1.0000	523	5,230



代価一覧

代価コード 8122101 複単有無 有 単価種別 1.一般工事(A)

名称 保温工事費

規格・仕様

単位

代価(採用)単価 7,610

(公開) 摘要(1)

(非公開) 摘要(2)

「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。

複合単価(Ctrl+B) 9122101 複合単価 0

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	係数	単価	金額
1G050201	ガラスウール保温材 ALGOC化	15A*20T	10.0000	m	1.0000	1.0000	238	2,380
1G050212	ガラスウール保温材 ALGOC化	32A*40T	10.0000	m	1.0000	1.0000	523	5,230

5) [複合単価(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、複単カード画面が表示されます。

当該標準代価登録

ファイル(F) 表示(V) 検索(S) ツール(I)

代価一覧

代価コード 8122101 複単有無 有 単価種別 1-一般工事(A)

名称 保温工事費

規格・仕様

単位

代価採用単価 7,610

(公開) 摘要(1)

(非公開) 摘要(2)

複合単価(Ctrl+B) 122101 複合単価 0

重要(1)は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。

共通代価

コード	名称	規格・仕様	数量	単位	乗数	係数	単価	金額
1G050201	グラスウール保温材 ALGC化	15A*20T	10.0000	m	1.0000	1.0000	238	2,380
1G050212	グラスウール保温材 ALGC化	32A*40T	10.0000	m	1.0000	1.0000	523	5,230

金額合計 7,610

6) 複単カード画面の各項目を設定して下さい。

[歩掛コード]ボタンをクリックすると、歩掛選択画面が表示されます。適用したい歩掛コードを選択(右下の表の行をダブルクリック)すると、歩掛が設定されます。

複単カード

複合単価コード 8122101 施工条件 0条件なし 端数処理シート 2有効3桁

複合単価 0 単価種別 1-一般工事(A)

歩掛コード

コード	名称	規格・仕様	単位	計算式
A1C31DF2010	グラスウール保温材 冷水(冷水)ハッ	F2-(H)-VII	冷水(冷水)ハッ	05機械(ハッ2)

歩掛単価(R1) 1K0148 保温工 入日 1.00 本数 1.000

歩掛単価(R2) 1K0147 外工 入日 1.00 乗率 1.000

歩掛単価(R3)

歩掛(R1)	歩掛(R2)	歩掛(R3)	難材料率	その他率	乗率	歩掛乗率1	歩掛乗率2	歩掛乗率3
0.1500	0.4600	0.0000	1.0100	1.1300	1.0100	1.0100	1.0100	1.0100

歩掛費コード 0

機械歩掛表

1 歩掛マスク

- A 国土交通省建築工事積算基準
  - 1 共通工事
    - A 配管工事
      - B 配管付属品
        - C 保温工事
          - 1 配管類
            - 2 外類
              - 3 機器類
                - 1 空調調和設備工事
                  - イ ロックウール保温材
                    - ロ グラスウール保温材
                      - F 冷水(冷水)ハッ
                      - 2 (アルミニウム板)
                        - 3 (カーボン鉛鉄板)
                          - G 熱交換器 還水・節湯
                - 4 弁類
                - D 塗装及び防錆工事
                - H 土工事

| コード       | 名称           | 規格・仕様 | 計算式        |
|-----------|--------------|-------|------------|
| 1A1C31DF2 | グラスウール保温材 冷温 |       | 05 機械(ハッ2) |
| 1A1C31DF3 | グラスウール保温材 冷温 |       | 05 機械(ハッ2) |

| コード         | 名称                  | 単位 |
|-------------|---------------------|----|
| 1A1C31DF201 | F2-(H)-VII 冷水(冷水)ハッ | m2 |
| 1A1C31DF202 | F2-(H)-VII 冷水(冷水)ハッ | m2 |

- 7) 全ての項目が正しく設定されていることが確認できましたら、[再計算]ボタンをクリックして下さい。

複単カード

複合単価コード 9122101 施工条件 0条件なし 端数処理シート 2有効3桁 単価種別 1一般工事(A)

複合単価 20,300

| 歩掛コード | コード          | 名称                            | 規格・仕様     | 単位 | 計算式          |
|-------|--------------|-------------------------------|-----------|----|--------------|
|       | IA1C3IDF2010 | ガラスール保温材 冷温水(冷水)ペア F2・(巾)・VII | 冷温水(冷水)ペア | m2 | 05 縦横(メータン2) |

| コード      | 名称         | 単位 | 労務乗率 |
|----------|------------|----|------|
| 労務単価(R1) | IK0148 保温工 | 人日 | 1.00 |
| 労務単価(R2) | IK0147 外土工 | 人日 |      |
| 労務単価(R3) |            |    |      |

| 歩掛(R1) | 歩掛(R2) | 歩掛(R3) | 雑材料率   | その他率   | 乗率     | 歩掛乗率1  | 歩掛乗率2  | 歩掛乗率3  |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 0.1500 | 0.4600 | 0.0000 | 1.0100 | 1.1300 | 1.0100 | 1.0100 | 1.0100 | 1.0100 |

塗装費コード

- 8) [戻る]ボタンをクリックすると、複単カード画面が消え、当該単価登録画面に計算された複合単価が表示されます。

複単カード

複合単価コード 9122101 施工条件 0条件なし 端数処理シート 2有効3桁 単価種別 1一般工事(A)

複合単価 20,300

| 歩掛コード | コード          | 名称                            | 規格・仕様     | 単位 | 計算式          |
|-------|--------------|-------------------------------|-----------|----|--------------|
|       | IA1C3IDF2010 | ガラスール保温材 冷温水(冷水)ペア F2・(巾)・VII | 冷温水(冷水)ペア | m2 | 05 縦横(メータン2) |

| コード      | 名称         | 単位 | 労務乗率 |
|----------|------------|----|------|
| 労務単価(R1) | IK0148 保温工 | 人日 | 1.00 |
| 労務単価(R2) | IK0147 外土工 | 人日 |      |
| 労務単価(R3) |            |    |      |

| 歩掛(R1) | 歩掛(R2) | 歩掛(R3) | 雑材料率   | その他率   | 乗率     | 歩掛乗率1  | 歩掛乗率2  | 歩掛乗率3  |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 0.1500 | 0.4600 | 0.0000 | 1.0100 | 1.1300 | 1.0100 | 1.0100 | 1.0100 | 1.0100 |

塗装費コード



当該標準代価登録

代価一覧

代価コード 8122101 複単有無 有 単価種別 1一般工事(A)

名称 保温工事費

規格・仕様

単位

代価(採用)単価 7,610

(公開) 摘要(1)

(非公開) 摘要(2)

「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(機軸等)は入力しないこと。

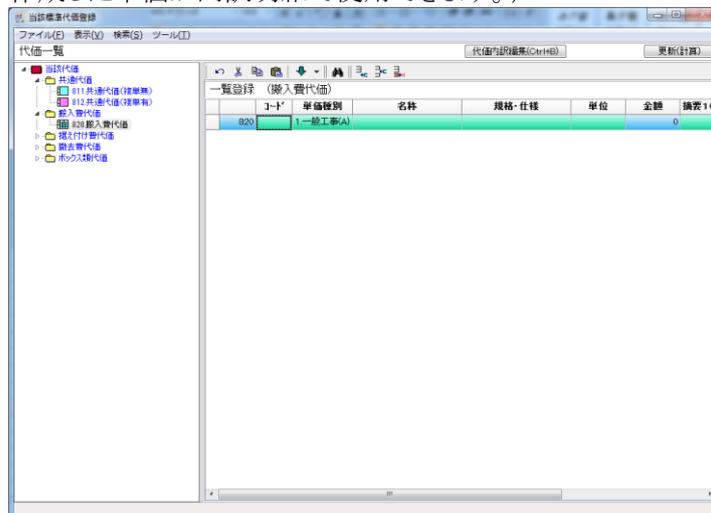
複合単価(Ctrl+H) 9122101 複合単価 20,300

| コード      | 名称             | 規格・仕様   | 数量      | 単位 | 乗数     | 係数     | 単価  | 金額    |
|----------|----------------|---------|---------|----|--------|--------|-----|-------|
| 1G050201 | ガラスール保温材 ALGC化 | 15A*20T | 10.0000 | m  | 1.0000 | 1.0000 | 238 | 2,380 |
| 1G050212 | ガラスール保温材 ALGC化 | 32A*40T | 10.0000 | m  | 1.0000 | 1.0000 | 523 | 5,230 |

金額合計 7,610

## 5 搬入費代価の登録

- 1) 代価を登録するシートをダブルクリックすると、代価一覧登録画面が表示されます。(ここで作成した単価が内訳明細で使用できます。)



- 2) [単価コード]、[単価種別]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[摘要 1]、[摘要 2]を入力します。  
※一覧入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。

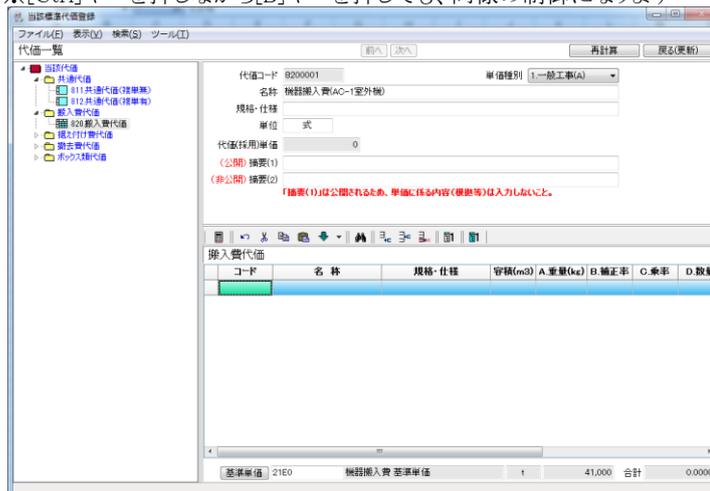
- ・**単価コード**: 8 頭を既定とし、桁数は8桁までを基本として重複しない番号を入力します。
- ・**単位**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

**【注意】**

- ・摘要 1: 摘要(公開)を入力して下さい(摘要 1は単価根拠等、非公開事項は入力厳禁)。
- ・摘要 2: 摘要(非公開)を入力して下さい。

- 3) 作成した単価の代価内訳明細を入力します。  
画面上部の[代価内訳編集 (Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。

※[Ctrl]キーを押しながら[B]キーを押しても、同様の制御になります

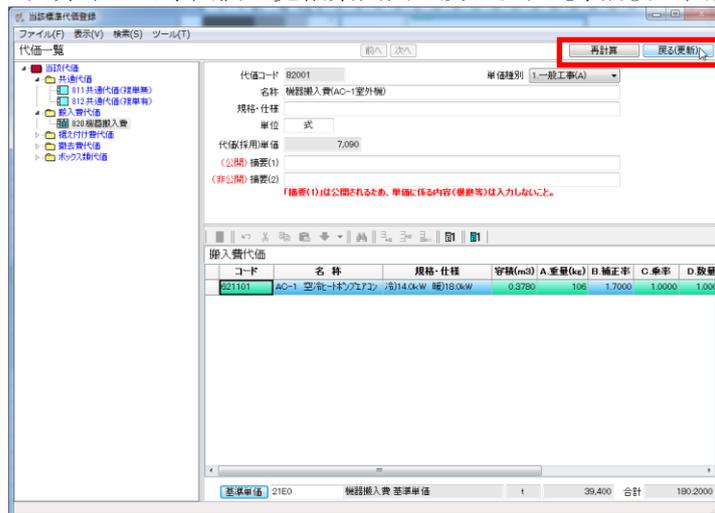


## 4) 代価明細を入力して下さい。(積上明細の入力)

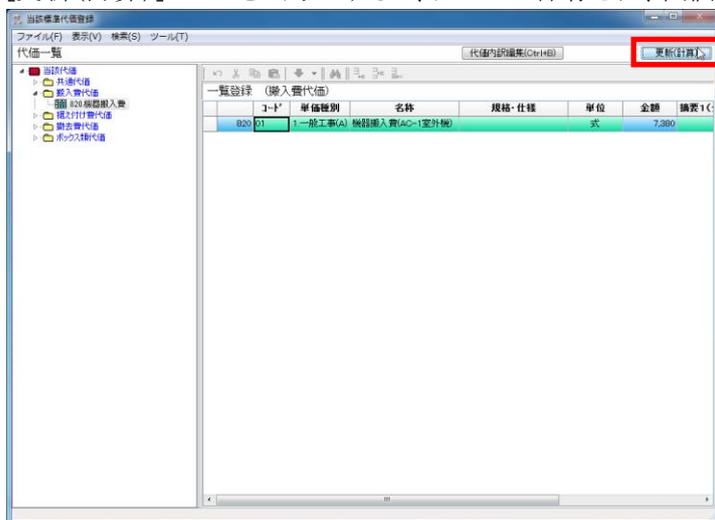
- ・**コード(引込コード)**: 配布単価コード(基礎単価)、当該基礎単価(6頭コード)を入力します。  
※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ・**容積(m3)、重量(kg)、乗率、数量**: 数量及び各乗率等を入力します。
- ・**基準単価**: 搬入費基準単価(単価コード「21E0」)を設定します(通常、自動設定値を使用します)。

## 5) [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

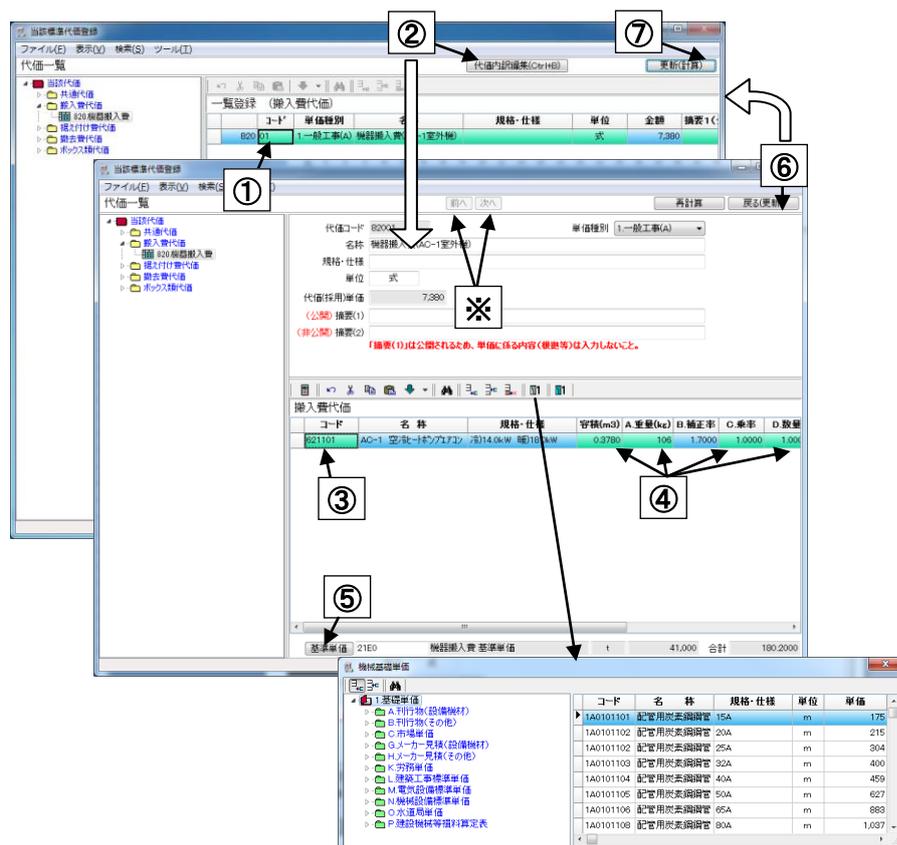
※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。手順 5)により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。



## 6) [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。



## ◆登録手順



## 手順

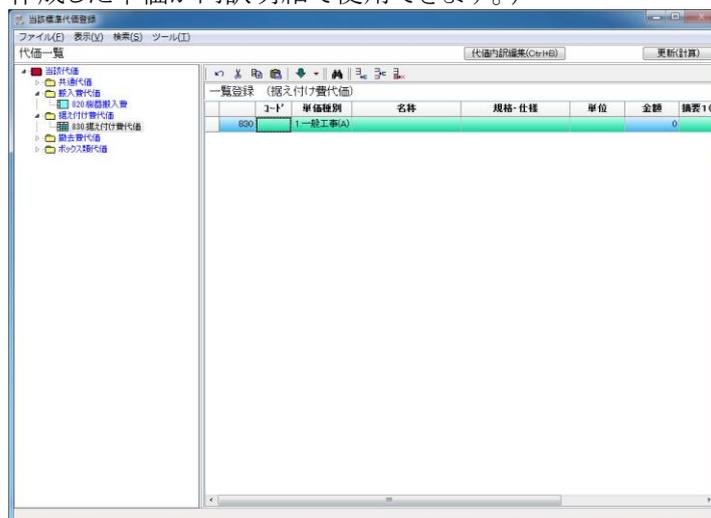
- ① 標準代価の単価コード・単価種別・名称・規格・仕様・単位・摘要1・摘要2を入力して下さい。  
 ※コードが 10 桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。  
 ※単価コードは重複しないようにしてください。
- ② [代価内訳編集 (Ctrl+B)] ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面が表示されます。
- ③ コード(引込単価コード)を入力して下さい。  
 配布単価コード、配布単価コード(基礎単価)、当該基礎単価(6 頭コード)のコード番号を入力して下さい。  
 該当単価の名称、規格・仕様が引き込まれます。  
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ④ 容積 (m3)、重量 (kg)、乗率、数量を入力して下さい。
- ⑤ 基準単価が設定されていることを確認して下さい(通常は自動設定値を使用します)。
- ⑥ [再計算] ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)] ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。  
**【計算】**  

$$[合計] = [重量 (kg)] \times [補正率] \times [乗率] \times [数量] \text{の合計値}$$
 ※ 補正率は容積 (m3) と重量 (kg) の入力値により自動的に設定されます。  

$$[代価(採用)単価] = [合計] \times 搬入費単価 \times 1/1,000$$
 ※内訳明細に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。  
 端数処理はシートプロパティで設定します。
- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。  
 手順⑥により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。
- ⑦ [更新(計算)] ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

## 6 据え付け費代価の登録

- 1) 代価を登録するシートをダブルクリックすると、代価一覧登録画面が表示されます。(ここで作成した単価が内訳明細で使用できます。)



- 2) [単価コード]、[単価種別]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[摘要 1]、[摘要 2]を入力します。  
※一覧入力時のツールボタンについては、[本書 P27](#)を参照して下さい。

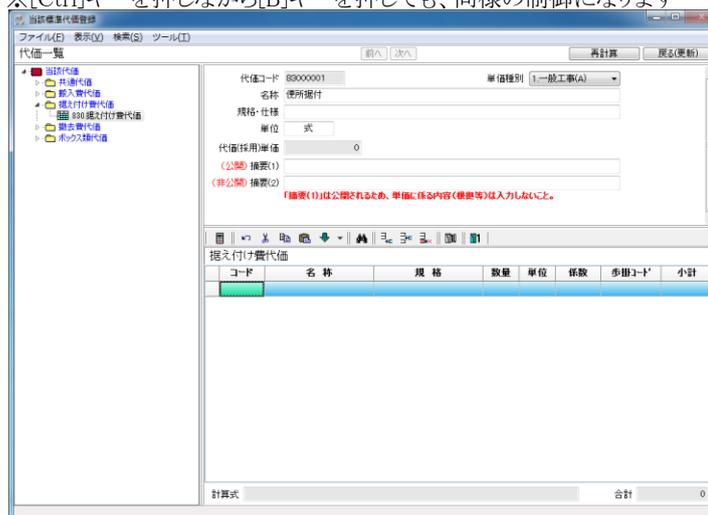
- ・**単価コード**: 8 頭を既定とし、桁数は 8 桁までを基本として重複しない番号を入力します。
- ・**単位**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

**【注意】**

- ・**摘要 1**: 摘要(公開)を入力して下さい(摘要 1は単価根拠等、非公開事項は入力厳禁)。
- ・**摘要 2**: 摘要(非公開)を入力して下さい。

- 3) 作成した単価の代価内訳明細を入力します。  
画面上部の[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。

※[Ctrl]キーを押しながら[B]キーを押しても、同様の制御になります



## 4) 代価明細を入力して下さい。(積上明細の入力)

- ・**コード(引込コード)**: 当該基礎単価(6頭コード)を入力します。  
※ツールボタンにより単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ・**数量、係数**: 数量及び係数を入力します。
- ・**歩掛コード**: 配布単価の歩掛コードを入力します。  
※ツールボタンにより歩掛選択画面からコード選択による入力も可能です。

## 5) [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。手順 5)により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。

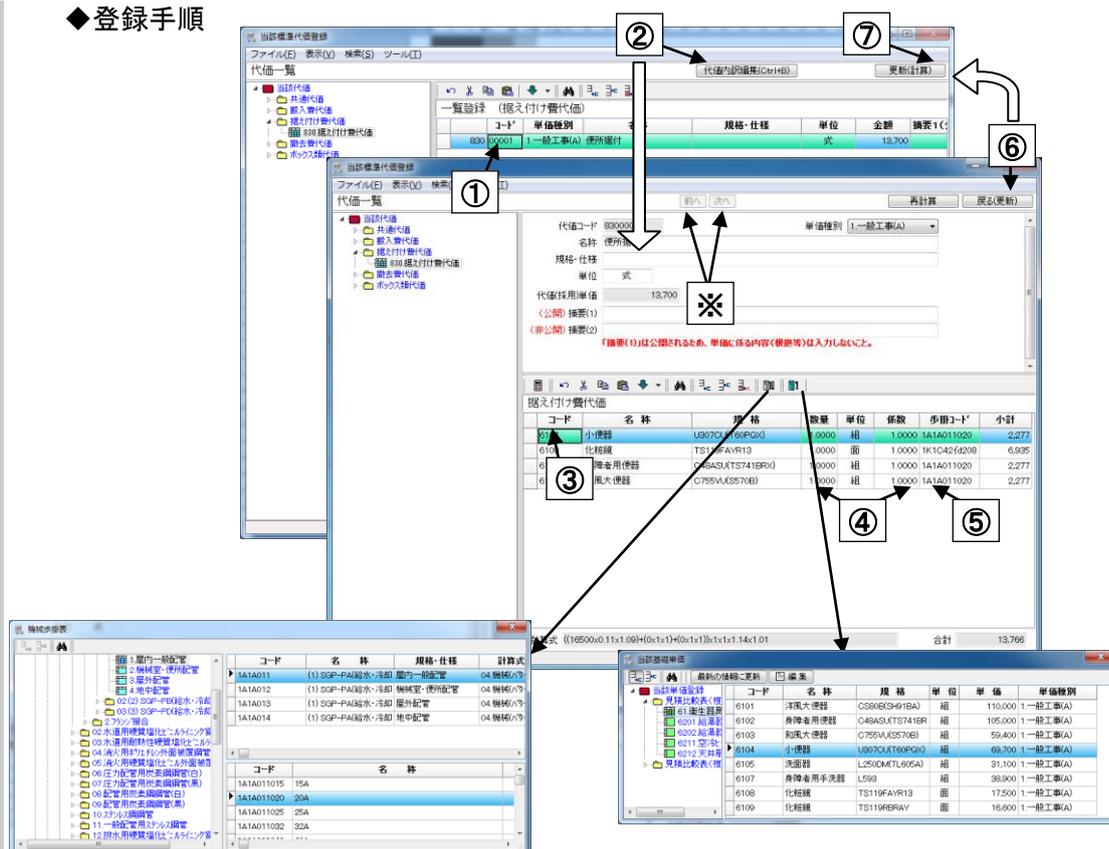
| コード  | 名称     | 規格               | 数量     | 単位 | 係数     | 歩掛コード        | 小計    |
|------|--------|------------------|--------|----|--------|--------------|-------|
| 6104 | 小便器    | US07CU(T60PG0)   | 1.0000 | 組  | 1.0000 | 1A1A011020   | 2,277 |
| 6108 | 化粧鏡    | TS119FAYR13      | 1.0000 | 面  | 1.0000 | 1K1C42(4208) | 6,935 |
| 6102 | 身障者用便器 | C48ASU(TS741EP0) | 1.0000 | 組  | 1.0000 | 1A1A011020   | 2,277 |
| 6103 | 和風大便器  | C75SVUK35700     | 1.0000 | 組  | 1.0000 | 1A1A011020   | 2,277 |

計算式:  $((16500 \times 0.11 \times 1.09) + (0 \times 1 \times 1) \times (0 \times 1 \times 1)) \times 1 \times 1 \times 1.14 \times 1.01$       合計 13,766

## 6) [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

| コード | 単価種別  | 名称       | 規格・仕様 | 単位 | 金額     | 積算1C |
|-----|-------|----------|-------|----|--------|------|
| 890 | 00001 | 1一般工事(A) | 便所便付  | 式  | 13,700 |      |

## ◆登録手順



## 手順

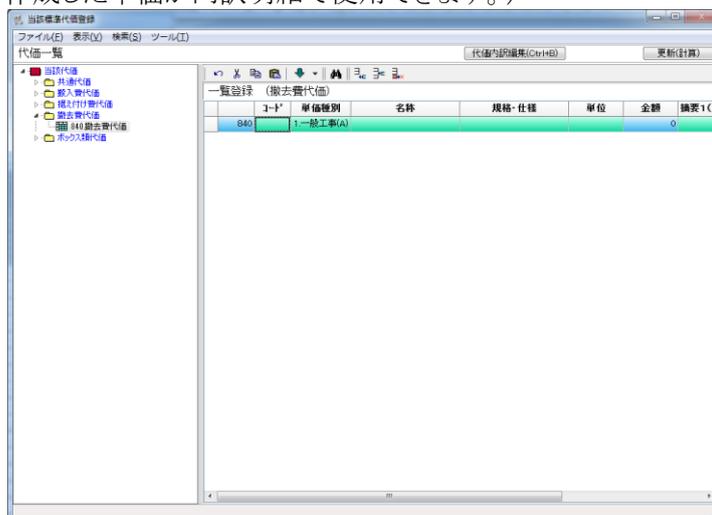
- ① 標準代価の単価コード・単価種別・名称・規格・仕様・単位・摘要1・摘要2を入力して下さい。  
 ※コードが10桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。  
 ※単価コードは重複しないようにしてください。
- ② [代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面が表示されます。
- ③ コード(引込単価コード)を入力して下さい。  
 当該基礎単価(6頭コード)のコード番号を入力して下さい。  
 該当単価の名称、規格・仕様が引き込まれます。  
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ④ 数量、係数を入力して下さい。
- ⑤ 歩掛コードを確認して下さい。  
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ⑥ [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。  
**【計算】**  

$$[小計] = (\text{労務単価} 1 \times \text{歩掛} 1 \times \text{歩掛乗率} 1) + (\text{労務単価} 2 \times \text{歩掛} 2 \times \text{歩掛乗率} 2) + (\text{労務単価} 3 \times \text{歩掛} 3 \times \text{歩掛乗率} 3) \times [\text{係数}] \times [\text{数量}] \times \text{その他率} \times \text{乗率}$$

$$[代価(採用)単価] = [小計]の合計$$
 ※内訳明細に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。  
 端数処理はシートプロパティで設定します。
- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。  
 手順⑥により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。
- ⑦ [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

## 7 撤去費代価の登録

- 1) 代価を登録するシートをダブルクリックすると、代価一覧登録画面が表示されます。(ここで作成した単価が内訳明細で使用できます。)



- 2) [単価コード]、[単価種別]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[摘要 1]、[摘要 2]を入力します。  
※一覧入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。

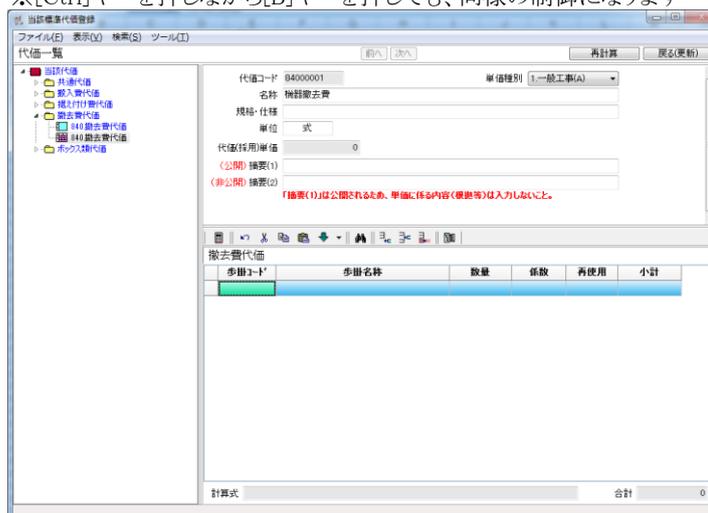
- ・**単価コード**: 8 頭を既定とし、桁数は 8 桁までを基本として重複しない番号を入力します。
- ・**単位**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

**【注意】**

- ・**摘要 1**: 摘要(公開)を入力して下さい(摘要 1は単価根拠等、非公開事項は入力厳禁)。
- ・**摘要 2**: 摘要(非公開)を入力して下さい。

- 3) 作成した単価の代価内訳明細を入力します。  
画面上部の[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。

※[Ctrl]キーを押しながら[B]キーを押しても、同様の制御になります



- 4) 代価明細を入力して下さい。(積上明細の入力)
- ・**歩掛コード**: 配布単価の歩掛コードを入力します。  
※ツールボタンにより歩掛選択画面からコード選択による入力も可能です。
  - ・**数量、係数**: 数量及び係数を入力します。
  - ・**再使用**: 重量物及び軽量物の分類で撤去後再使用するかしないかを設定します。
- 5) [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。
- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。手順 5)により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。

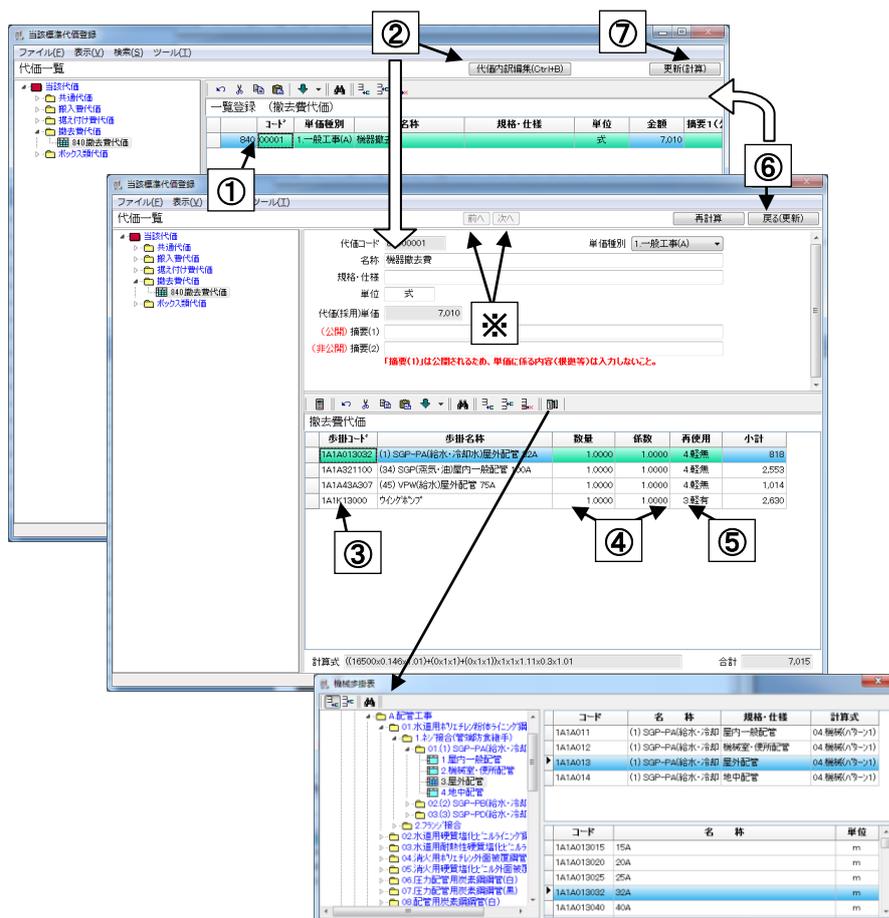
| 歩掛コード      | 歩掛名称                     | 数量     | 係数     | 再使用  | 小計    |
|------------|--------------------------|--------|--------|------|-------|
| 1A1A012022 | (1) SGP-FH給水・汚排水屋外配管 32A | 1.0000 | 1.0000 | 4 軽量 | 819   |
| 1A1A21100  | (34) SGP給水・浴室内一般配管 100A  | 1.0000 | 1.0000 | 4 軽量 | 2553  |
| 1A1A43A97  | (45) VPW給水屋外配管 75A       | 1.0000 | 1.0000 | 4 軽量 | 1,014 |
| 1A1K13000  | ウレタキア                    | 1.0000 | 1.0000 | 8 軽有 | 2,690 |

計算式 ((16500:0.146x1.01)H(0x1x1)H(0:1x1)x1x1x1.11x0.3x1.01 合計 7,015

- 6) [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

| コード | 単価種別  | 名称              | 規格・仕様 | 単位 | 金額    | 換率1/2 |
|-----|-------|-----------------|-------|----|-------|-------|
| 840 | D0001 | 1-一般工事(A) 機器撤去費 |       | 式  | 7,010 |       |

## ◆登録手順



## 手順

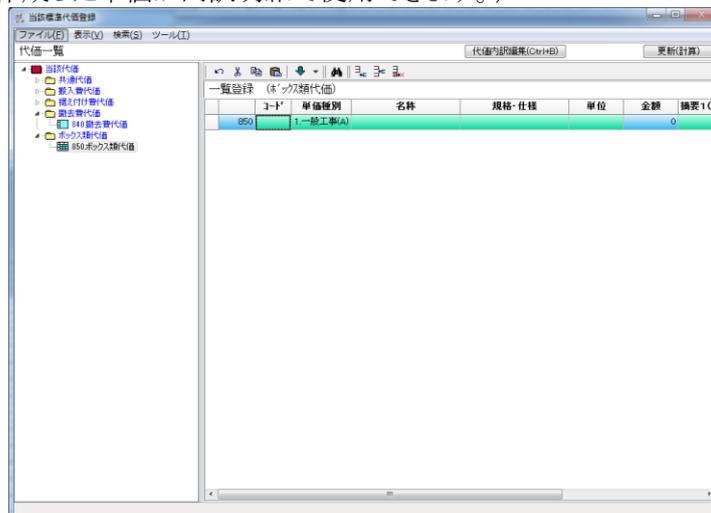
- ① 標準代価の単価コード・単価種別・名称・規格・仕様・単位・摘要1・摘要2を入力して下さい。  
 ※コードが10桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。  
 ※単価コードは重複しないようにしてください。
- ② [代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面が表示されます。
- ③ 歩掛コードを入力して下さい。  
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ④ 数量、係数を入力して下さい。
- ⑤ 重量物及び軽量物の分類で撤去後再使用するかしないかを設定します。
- ⑥ [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。  
**【計算】**  

$$[小計] = (\text{労務単価} 1 \times \text{歩掛} 1 \times \text{歩掛乗率} 1) + (\text{労務単価} 2 \times \text{歩掛} 2 \times \text{歩掛乗率} 2) + (\text{労務単価} 3 \times \text{歩掛} 3 \times \text{歩掛乗率} 3) \times [\text{係数}] \times [\text{数量}] \times [\text{再使用率}] \times \text{その他率} \times \text{乗率}$$
 ※[再使用率]は[再使用]の項目の設定値により自動設定されます。  

$$[代価(採用)単価] = [小計]の合計$$
 ※内訳明細に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。  
 端数処理はシートプロパティで設定します。
- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。  
 手順⑥により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。
- ⑦ [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

## 8 ボックス類代価の登録

- 1) 代価を登録するシートをダブルクリックすると、代価一覧登録画面が表示されます。(ここで作成した単価が内訳明細で使用できます。)



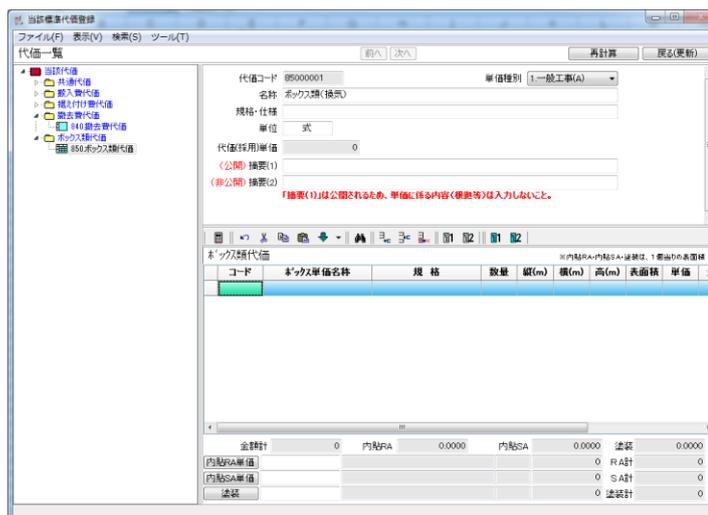
- 2) [単価コード]、[単価種別]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[摘要 1]、[摘要 2]を入力します。  
※一覧入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。

- ・**単価コード**: 8 頭を既定とし、桁数は 8 桁までを基本として重複しない番号を入力します。
- ・**単位**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

**【注意】**

- ・摘要 1: 摘要(公開)を入力して下さい(摘要 1は単価根拠等、非公開事項は入力厳禁)。
- ・摘要 2: 摘要(非公開)を入力して下さい。

- 3) 作成した単価の代価内訳明細を入力します。  
画面上部の[代価内訳編集 (Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。  
※[Ctrl]キーを押しながら[B]キーを押しても、同様の制御になります



## 4) 代価明細を入力して下さい。(積上明細の入力)

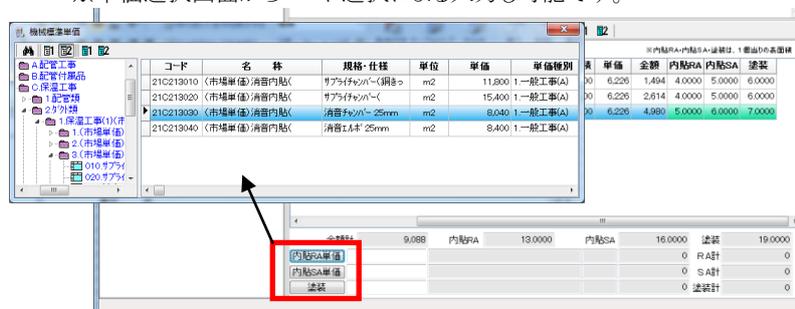
・コード(引込コード): 配布単価コード、当該単価(6頭コード)・当該複合単価(7頭コード)を入力します。

※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。

・数量、縦(m)、横(m)、高(m)、内貼 RA、内貼 SA、塗装: 各数量を入力します。

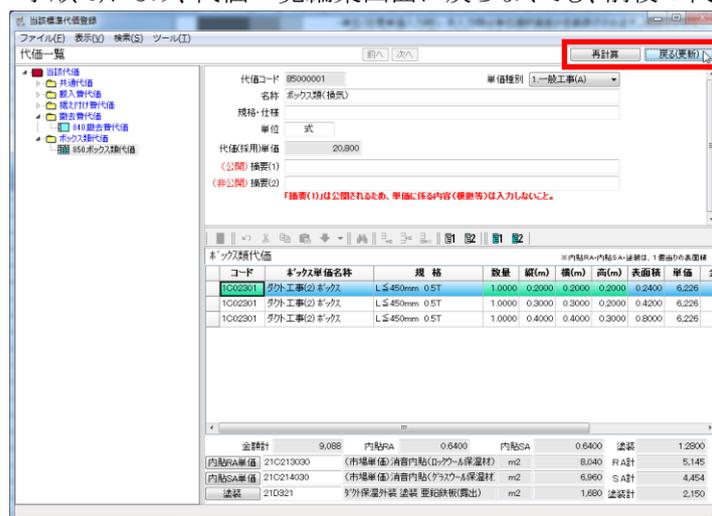
## 5) 内貼 RA 単価、内貼 SA 単価、塗装の各単価コードを設定して下さい。

※単価選択画面からコード選択による入力も可能です。

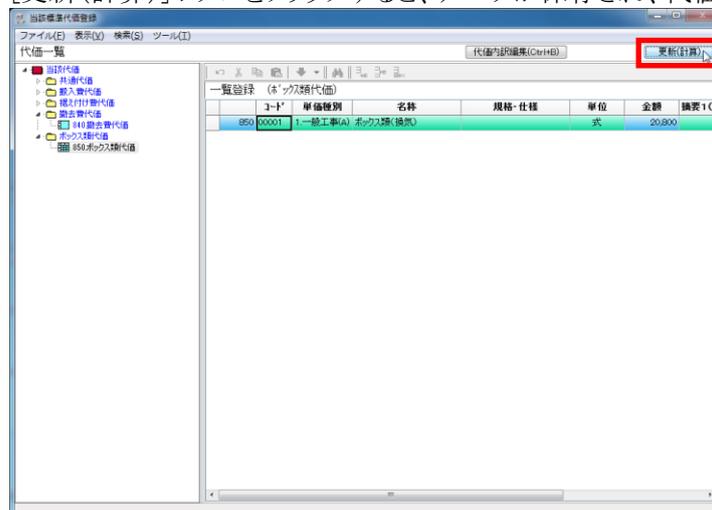


## 6) [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

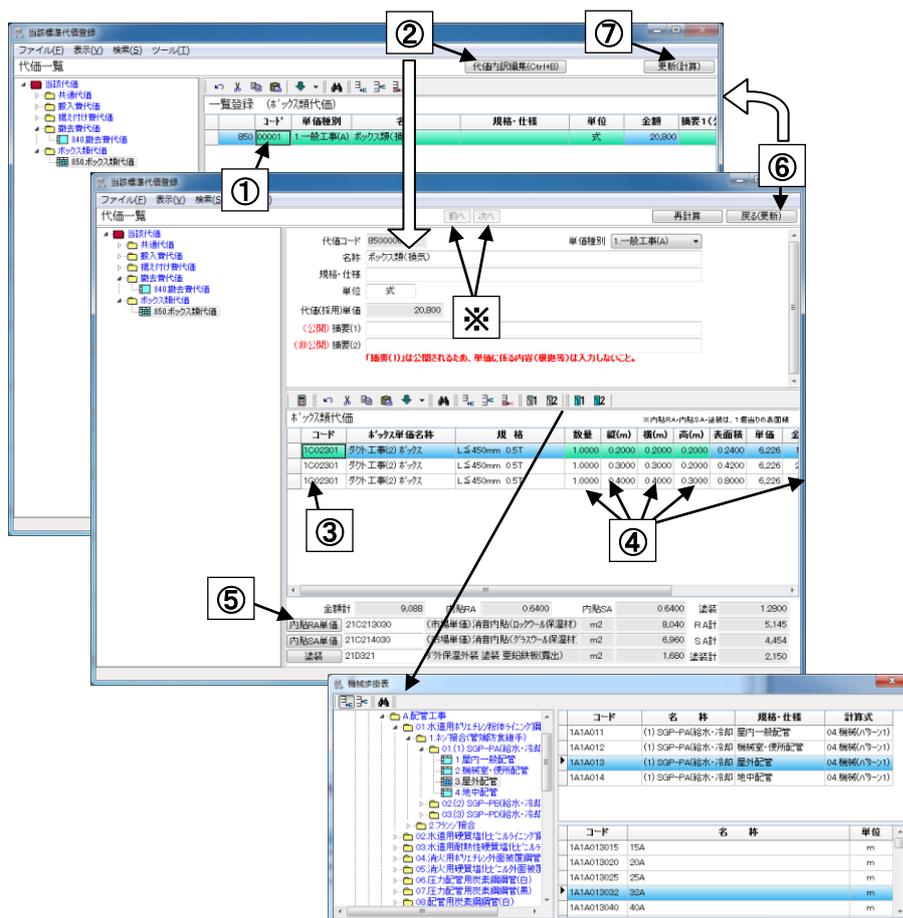
※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。手順 6)により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。



## 7) [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。



## ◆登録手順



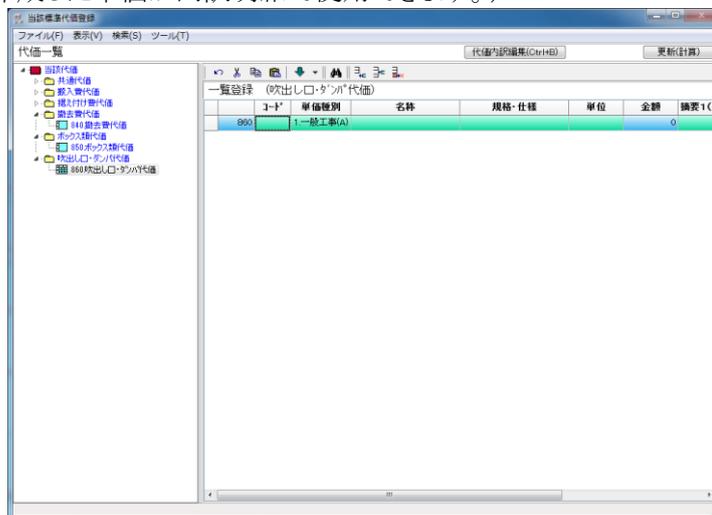
## 手順

- ① 標準代価の単価コード・単価種別・名称・規格・仕様・単位・摘要1・摘要2を入力して下さい。  
 ※コードが10桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。  
 ※単価コードは重複しないようにしてください。
- ② [代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面が表示されます。
- ③ 歩掛コードを入力して下さい。  
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ④ 数量、縦(m)、横(m)、高(m)、内貼RA、内貼SA、塗装を入力して下さい。
- ⑤ 内貼RA単価、内貼SA単価、塗装の各単価コードを設定して下さい。
- ⑥ [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。  
**【計算】**  
 [表面積] = 2 × (縦 × 横) + 2 × (横 × 高) + 2 × (高 × 縦)  
 [金額] = 表面積 × 単価  
 [代価(採用)単価] = [金額]の合計 + 内貼RA計 + 内貼SA計 + 塗装計  
 ※内訳明細に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。  
 端数処理はシートプロパティで設定します。
- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。  
 手順⑥により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。
- ⑦ [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

## 9 吹出し口・ダンパ代価の登録

※吹出し口・ダンパ代価の登録が必要な場合は、新たにフォルダー・シートを登録して下さい。

- 1) 代価を登録するシートをダブルクリックすると、代価一覧登録画面が表示されます。(ここで作成した単価が内訳明細で使用できます。)



- 2) [単価コード]、[単価種別]、[名称]、[規格・仕様]、[単位]、[摘要 1]、[摘要 2]を入力します。  
※一覧入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。

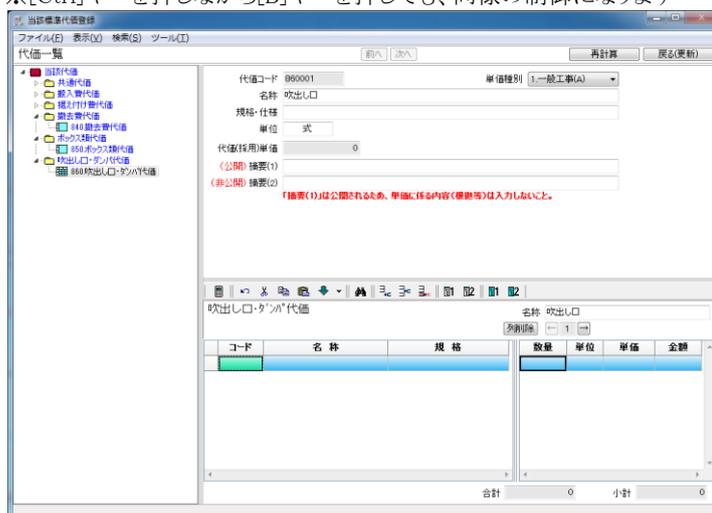
- ・**単価コード**: 8 頭を既定とし、桁数は 8 桁までを基本として重複しない番号を入力します。
- ・**単位**: 未入力時は単位選択画面が自動表示されます。再表示させる場合は、[F2]キーを押して下さい。任意入力も可能です。

## 【注意】

- ・**摘要 1**: 摘要(公開)を入力して下さい(摘要1は単価根拠等、非公開事項は入力厳禁)。
- ・**摘要 2**: 摘要(非公開)を入力して下さい。

- 3) 作成した単価の代価内訳明細を入力します。  
画面上部の[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面になります。

※[Ctrl]キーを押しながら[B]キーを押しても、同様の制御になります



## 4) 代価明細を入力して下さい。(積上明細の入力)

| コード        | 名称            | 規格              | 数量     | 単位 | 単価     | 金額     |
|------------|---------------|-----------------|--------|----|--------|--------|
| 1G08111006 | エバーサル吹出口 V(H) | 200×200         | 1,000  | 個  | 1,984  | 1,984  |
| 1G08111028 | エバーサル吹出口 V(H) | 400×400         | 1,000  | 個  | 4,189  | 4,189  |
| 1G08122070 | 線状吹出口         | BL-D 長辺 700mm   | 1,000  | 個  | 6,079  | 6,079  |
| 1G08122150 | 線状吹出口         | BL-D 長辺 1,500mm | 1,000  | 個  | 8,820  | 8,820  |
| 1G08142080 | 円錐形吹出口        | #8 (口径200mm)    | 1,000  | 個  | 4,042  | 4,042  |
| 1G08142140 | 円錐形吹出口        | #14 (口径250mm)   | 1,000  | 個  | 7,386  | 7,386  |
| 1G08152125 | 円錐形吸込口        | GVS 950×400     | 1,000  | 個  | 13,487 | 13,487 |
| 合計         |               |                 | 45,987 | 小計 | 45,987 |        |

[←][→]ボタンで、表の右部分の名称及び数量の列の切り替えを行いながら入力を行います。最大 20 列分入力可能です。(矢印ボタンの間の数字は列番号です。)

[列削除]ボタンをクリックすると、表示中の列を削除し、前詰めにします。

- ・名称: 名称を入力します(吹出し口の分類等)。
- ・コード(引込コード): 配布単価コード、当該単価(6 頭コード)・当該複合単価(7 頭コード)を入力します。各列で共通で使用します。  
※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ・数量: 数量を入力します。

## 5) [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。

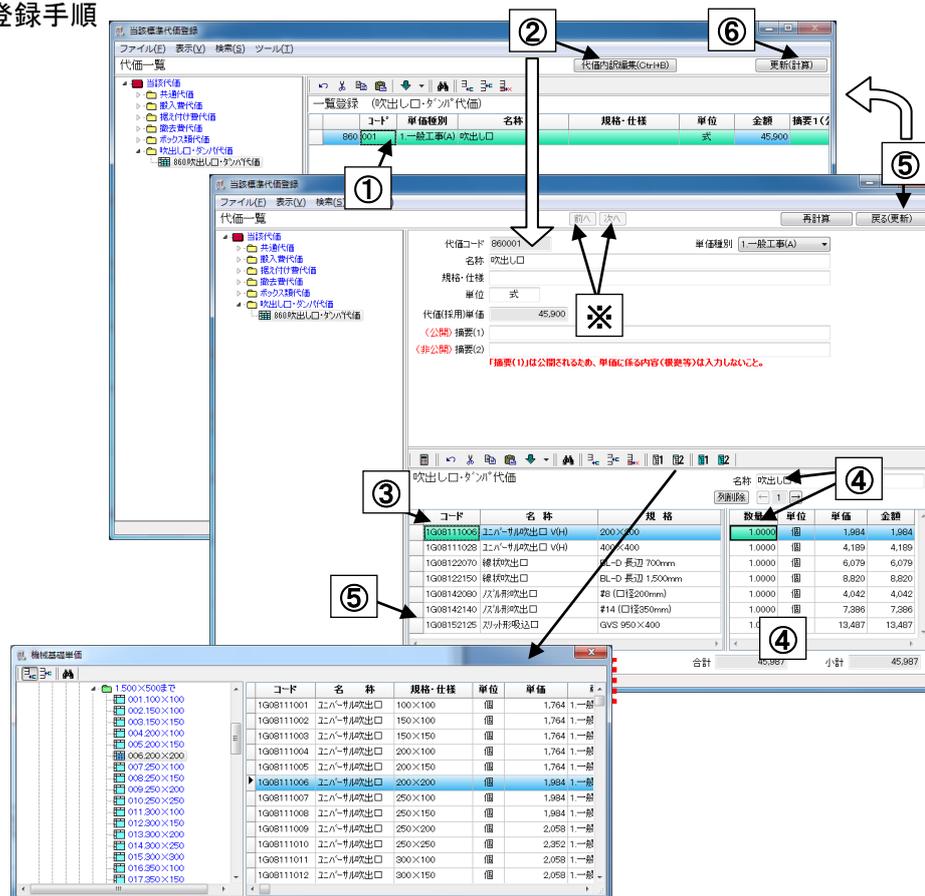
※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。手順 6)により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。

| コード        | 名称            | 規格              | 数量     | 単位 | 単価     | 金額     |
|------------|---------------|-----------------|--------|----|--------|--------|
| 1G08111006 | エバーサル吹出口 V(H) | 200×200         | 1,000  | 個  | 1,984  | 1,984  |
| 1G08111028 | エバーサル吹出口 V(H) | 400×400         | 1,000  | 個  | 4,189  | 4,189  |
| 1G08122070 | 線状吹出口         | BL-D 長辺 700mm   | 1,000  | 個  | 6,079  | 6,079  |
| 1G08122150 | 線状吹出口         | BL-D 長辺 1,500mm | 1,000  | 個  | 8,820  | 8,820  |
| 1G08142080 | 円錐形吹出口        | #8 (口径200mm)    | 1,000  | 個  | 4,042  | 4,042  |
| 1G08142140 | 円錐形吹出口        | #14 (口径250mm)   | 1,000  | 個  | 7,386  | 7,386  |
| 1G08152125 | 円錐形吸込口        | GVS 950×400     | 1,000  | 個  | 13,487 | 13,487 |
| 合計         |               |                 | 45,987 | 小計 | 45,987 |        |

## 6) [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

| コード | 単価種別 | 名称        | 規格・仕様 | 単位 | 金額     | 摘要1 (C) |
|-----|------|-----------|-------|----|--------|---------|
| 890 | 001  | 1-一般工事(A) | 吹出し口  | 式  | 45,987 |         |

## ◆登録手順



## 手順

- ① 標準代価の単価コード・単価種別・名称・規格・仕様・単位・摘要1・摘要2を入力して下さい。  
 ※コードが 10 桁を超えるとき(又はプロパティ設定値超過時)、エラーメッセージが表示されます。  
 ※単価コードは重複しないようにしてください。
- ② [代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンをクリックすると、代価内訳編集画面が表示されます。
- ③ コード(引込単価コード)を入力して下さい。  
 配布単価コード、当該単価(6 頭コード)・当該複合単価(7 頭コード)のコード番号を入力して下さい。  
 該当単価の名称、規格・仕様・単位が引き込まれます。  
 ※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。
- ④ 名称(吹き出し口の分類等)及び数量を入力して下さい。  
 [←][→]ボタンで、表の右部分の名称及び数量の列切り替えを行いながら入力を行います。最大 20 列分入力可能です。(矢印ボタンの間の数字は列番号です。)  
 [列削除]ボタンをクリックすると、表示中の列を削除し、前詰めにします。
- ⑤ [再計算]ボタンをクリックして採用単価を確認後、[戻る(更新)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧編集画面に戻ります。  
**【計算】**  
 [小計]=各列の金額(単価×数量)の計  
 [金額]=[小計]の計  
 ※内訳明細に引込み対象となる単価は、端数処理を施した[採用単価]になります。  
 端数処理はシートプロパティで設定します。
- ※ [前へ]、[次へ]のボタンは、1シートにコードが複数登録されている場合に有効となります。  
 手順⑤により、代価一覧編集画面に戻らなくても、前後の代価内訳編集に移行できます。
- ⑥ [更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存され、代価一覧表示画面に戻ります。

## 8 共通費の入力

### 1 共通費の入力画面の表示

※共通費(共通仮設費、現場管理費、一般管理費等)算出の為の設定を行います。  
 ※設計事務所版では、制限により、共通費の計算は行われません。

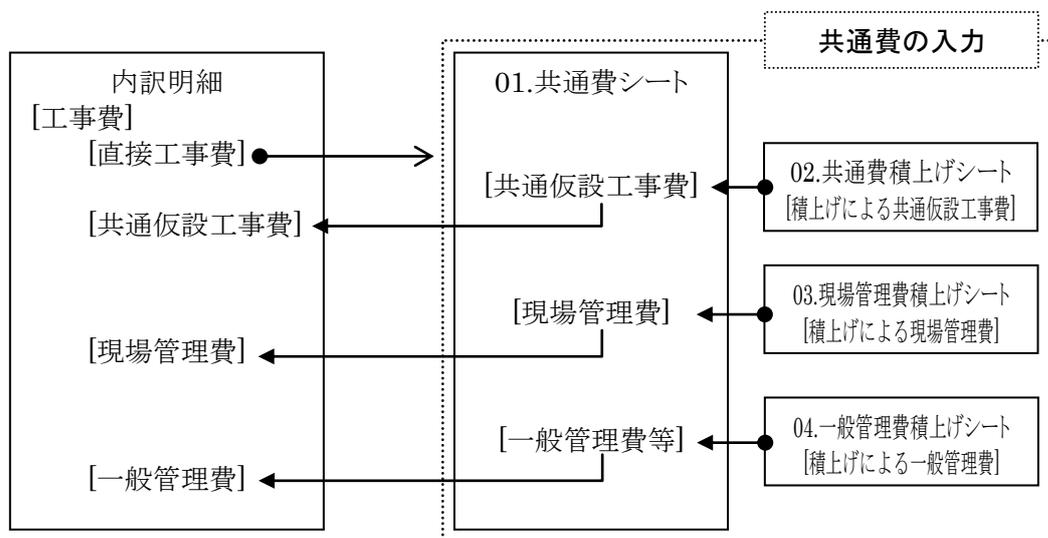
- 1) メインメニュー[5.内訳書の作成]→[1.共通費の入力]をダブルクリックすると、共通費入力画面が表示されます。

| A  | 工事費          | 金額(共仮/積上) | 金額(現場管理費) | 金額(一般管理費等) | 種別                 |
|----|--------------|-----------|-----------|------------|--------------------|
| 01 | 共通費計算確認シート   | 0         | 0         | 0          | 0 6H24年度 金体工事共通費   |
| 02 | 共通仮設費(積上げ入力) | 0         | 0         | 0          | 0 7H24年度 共通仮設費積上げ  |
| 03 | 現場管理費(積上げ入力) | 0         | 0         | 0          | 0 12H24年度 現場管理費積上げ |
| 04 | 一般管理費(積上げ入力) | 0         | 0         | 0          | 0 13H24年度 一般管理費積上げ |

※ ここで計算された結果は、内訳書に即時には反映されません。  
 内訳書入力画面にて再計算を行うことにより、計算結果が反映されます。

### 2 既定の設定(平成 24 年度以降積算基準に基づいた設定)

- ◇ 新規作成時、次のシート(計算及びデータを入力する箱)が、予め登録されています。
- ・[01. 共通費計算確認シート]: 直接工事費及び積上げによる各経費を元に、共通仮設工事費、現場管理費、一般管理費を算出するシート。  
 ※ このシートで算出された共通仮設工事費、現場管理費、一般管理費が、内訳書に反映されます。
  - ・[02. 共通仮設費(積上げ入力)]: [01. 共通費]で算出した共通仮設工事費に積上げの合計額を加算します。
  - ・[03. 現場管理費(積上げ入力)]: [01. 共通費]で算出した現場管理費に積上げの合計額を加算します。
  - ・[04. 一般管理費(積上げ入力)]: [01. 共通費]で算出した一般管理費等に積上げの合計額を加算します。



## ◇ 各シートのプロパティ設定

## [01. 共通費計算確認シート] シートのプロパティ

- ※率フラグ : 現在、関係ありません。
- ※計算フラグ: 現在、関係ありません。
- ※端数処理については、<本書 P30>を参照して下さい。
- ※集計項目名(工事名): 画面表示及び印刷に反映されます。
- ※按分グループ: 「1」に設定します。

## [02. 共通仮設費(積上げ入力)] シートのプロパティ

- ※率フラグ : 現在、関係ありません。
- ※計算フラグ: 現在、関係ありません。
- ※端数処理については、<本書 P30>を参照して下さい。
- ※集計項目名(工事名): 画面表示及び印刷に反映されます。
- ※按分グループ: 「2」に設定します。

## [03. 現場仮設費(積上げ入力)] シートのプロパティ

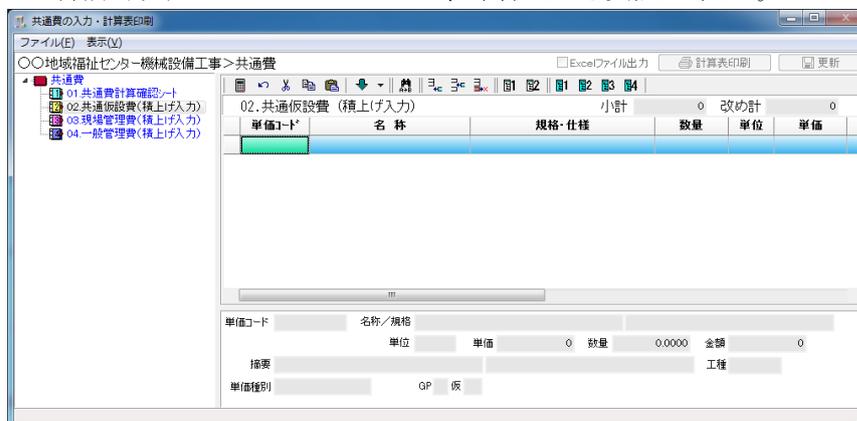
- ※率フラグ : 現在、関係ありません。
- ※計算フラグ: 現在、関係ありません。
- ※端数処理については、<本書 P30>を参照して下さい。
- ※集計項目名(工事名): 画面表示及び印刷に反映されます。
- ※按分グループ: 「3」に設定します。

## [04. 一般仮設費(積上げ入力)] シートのプロパティ

- ※率フラグ : 現在、関係ありません。
- ※計算フラグ: 現在、関係ありません。
- ※端数処理については、<本書 P30>を参照して下さい。
- ※集計項目名(工事名): 画面表示及び印刷に反映されます。
- ※按分グループ: 「4」に設定します。

### 3 共通仮設工事費積上げによる明細の入力

- 1) [02. 共通仮設費 (積上げ入力)]のシートをダブルクリックすると、共通仮設費積上げ明細編集表示となります。
- 2) 積上げ明細を入力し、[更新]ボタンをクリックするとデータが保存されます。  
 ※明細の入力方法の詳細については、<本書 P115 「内訳明細の編集」>を参照して下さい。  
 ※明細入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。



### 4 現場・一般管理費積上げによる明細の入力

- 1) [03. 現場管理費 (積上げ入力)] 又は [04. 一般管理費 (積上げ入力)]のシートをダブルクリックすると、積上げ明細編集表示となります。
- 2) 積上げ明細を入力し、[更新]ボタンをクリックするとデータが保存されます。  
 ※明細の入力方法の詳細については、<本書 P115 「内訳明細の編集」>及び次頁の【入力例】を参照して下さい。  
 ※明細入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。  
 ※現場・一般管理費積上げ明細では単価種別の設定は行いません。  
 ※配布単価または予め当該単価 (6 頭コード)により明細を構成することを原則としますが、T コードの入力により、任意に名称、規格、単位、単価の設定を行うこともできます。(ご担当者様協議のうえ処理方法をご検討下さい。)

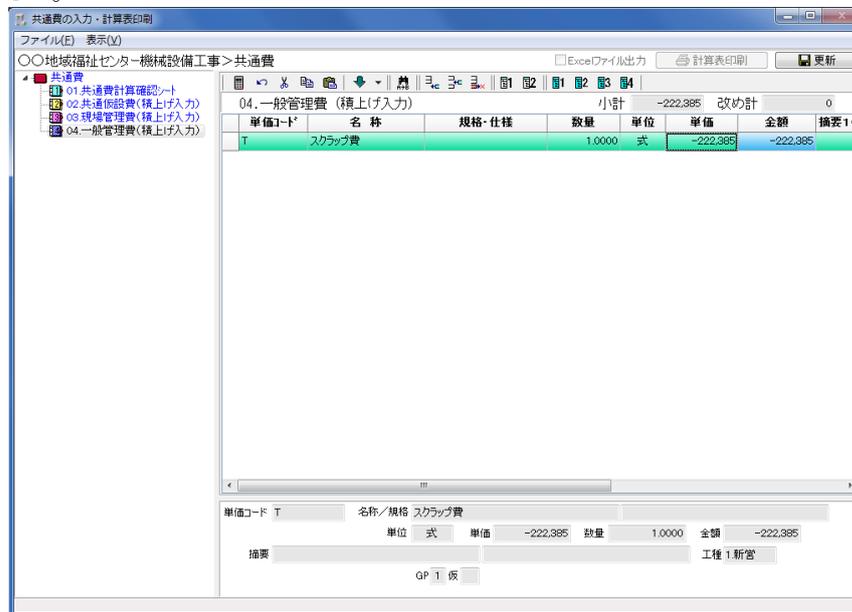
※ 神戸市版環境では、共通仮設工事費積上げによる明細、現場・一般管理費積上げによる明細入力時の随時計算の際、各明細行の単価・金額が0円以下または100万円以上となる場合はセルの色が黄色になり、太文字になります。

| 数量       | 単位 | 単価        | 金額        |
|----------|----|-----------|-----------|
| 1.0000   | 箇所 | 0         | 0         |
| -24.0000 | 式  | 340       | -8,160    |
| 24.0000  | 式  | 580       | 13,920    |
| 1.0000   | 式  | 85,700    | 85,700    |
| 1.0000   | 式  | 12,900    | 12,900    |
| 100.0000 | 式  | 10,200    | 1,020,000 |
| 24.0000  | 式  | 1,240     | 29,760    |
| 24.0000  | 式  | 330       | 7,920     |
| 1.0000   | 人  | 12,000    | 12,000    |
| 1.0000   | 式  | 1,000,000 | 1,000,000 |

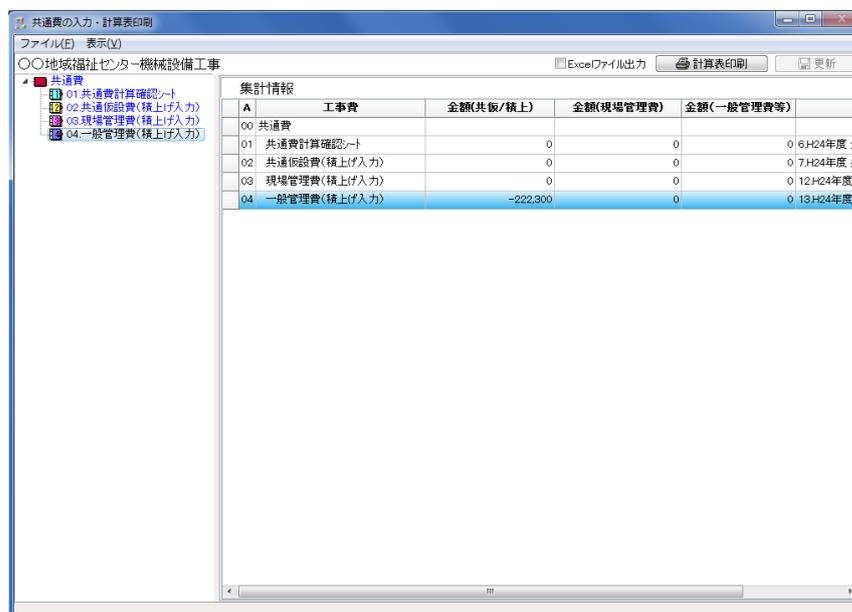
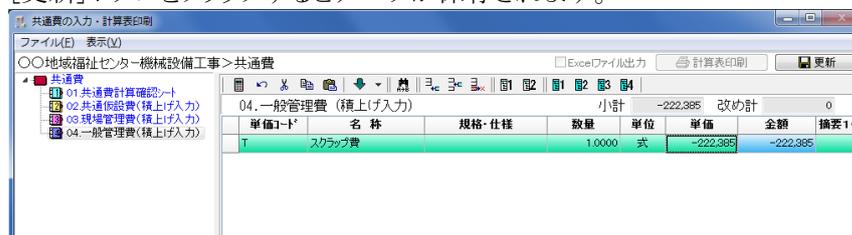
## 【入力例】

「一般管理費(積上げ入力)」シートにおけるスクラップ費の入力

- 1) 一般管理費(積上げ入力)シートをダブルクリックし、明細編集表示にして下さい。
- 2) 予め登録している当該単価(6頭コード)または任意単価(T頭コード)にて明細を入力して下さい。



- 3) [更新]ボタンをクリックするとデータが保存されます。



## 5 共通費計算の確認

- 1) 事前に、内訳書入力画面にて再計算を行って下さい。
- 2) [01.共通費確認シート]のシートをダブルクリックすると、共通費計算確認画面が表示されます。

| 集計情報 |              | 金額(共仮/積上) | 金額(現場管理費) | 金額(一般管理費等) | 種別                 |
|------|--------------|-----------|-----------|------------|--------------------|
| 00   | 共通費          |           |           |            |                    |
| 01   | 共通費計算確認シート   | 0         | 0         | 0          | 0 6 H24年度 全体工事共通費  |
| 02   | 共通仮設費(積上げ入力) | 0         | 0         | 0          | 0 7 H24年度 共通仮設費積上  |
| 03   | 現場管理費(積上げ入力) | 0         | 0         | 0          | 0 12 H24年度 現場管理費積上 |
| 04   | 一般管理費(積上げ入力) | 0         | 0         | 0          | 0 13 H24年度 一般管理費積上 |

- 3) 共通費計算確認画面にて、内容を確認して下さい。

| No. | 集計項目名                             | 集計値     |
|-----|-----------------------------------|---------|
| 1   | 工事名称                              | 〇〇地域福祉セ |
| 2   | 判断①:主工事or従工事(1.主工事,2.従工事)         | 主工事     |
| 3   | 判断②:本工事or追加工事(0.本工事,1.追加工事)       | 本工事     |
| 4   | 判断③:工事種別(1.新営,2.改修,3.新営+改修,4.昇降機) | 1.新営    |
| 5   | 監督員事務所の有無(1.有,0.無)                | 有       |
| 6   | 専門性の高い工事(1.する,0.しない)              | しない     |
| 7   | 支給材料費の有無(1.有,0.無)                 | 無       |
| 8   | 支給材料費<1.新営>                       | 0       |
| 9   | 支給材料費<2.改修>                       | 0       |
| 10  | 合併入札工事費の有無(1.有,0.無)               | 無       |
| 11  | 合併入札工事費<1.新営>※未使用                 | 0       |
| 12  | 合併入札工事費<2.改修>※未使用                 | 0       |
| 13  | 前払い金の有無(1.有,0.無)                  | 無       |
| 14  | 前払い金額1                            | 0       |
| 15  | 前払い金額2                            | 0       |
| 16  | 前払い金額3                            | 0       |
| 17  | 保証金の有無(1.有,0.無)                   | 無       |
| 18  | 下請工事の有無(積上シートにあるか否か)(1.有,0.無)     | 有       |

【共通仮設費(計)】 0 【現場管理費(計)】 0 【一般管理費(計)】 0 ← 共通仮設費・現場管理費は主工事と従工事の合計

- [印刷]ボタンをクリックすると、共通費計算シートを印刷します。  
([Excelファイル出力]にチェックを入れると、共通費計算シートを指定した保存先へExcelファイルに出力します。)
- [Excel編集]ボタンをクリックすると、共通費計算シートをExcel画面にて表示します。

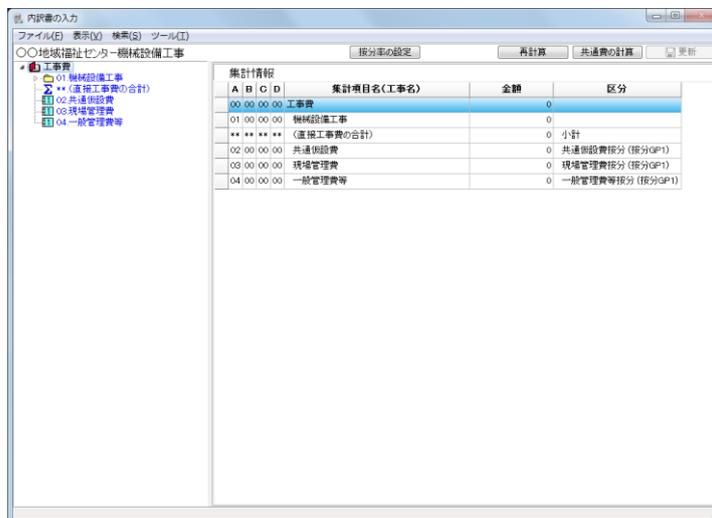
- 4) 画面右上の[計算表印刷]ボタンをクリックすると、共通費計算シートを印刷します。  
([Excelファイル出力]にチェックを入れると、共通費計算シートを指定した保存先へExcelファイルに出力します。)

| 集計情報 |              | 金額(共仮/積上) | 金額(現場管理費) | 金額(一般管理費等) | 種別                 |
|------|--------------|-----------|-----------|------------|--------------------|
| 00   | 共通費          |           |           |            |                    |
| 01   | 共通費計算確認シート   | 0         | 0         | 0          | 0 6 H24年度 全体工事共通費  |
| 02   | 共通仮設費(積上げ入力) | 0         | 0         | 0          | 0 7 H24年度 共通仮設費積上  |
| 03   | 現場管理費(積上げ入力) | 0         | 0         | 0          | 0 12 H24年度 現場管理費積上 |
| 04   | 一般管理費(積上げ入力) | 0         | 0         | 0          | 0 13 H24年度 一般管理費積上 |

## 9 内訳書の入力・再計算

### 1 内訳書の入力・再計算画面の表示

1) メインメニュー[5.内訳書の作成]→[3.内訳書の入力・再計算]をダブルクリックすると、内訳書入力画面が表示されます。



### 2 既定の設定(平成 24 年度以降積算基準に基づいた設定)

◇ 新規作成時、基本的な積算工事項目は予め登録済

※特殊シートは、画面右側一覧表示の[区分]欄に属性が表示されます。(属性の表示が無いものは、通常のフォルダー又は、シートです。) <下画面の矢指参照>

| 集計情報 |    |    |    | 集計項目名(工事名) | 金額 | 区分              |
|------|----|----|----|------------|----|-----------------|
| A    | B  | C  | D  |            |    |                 |
| 00   | 00 | 00 | 00 | 工事費        | 0  |                 |
| 01   | 00 | 00 | 00 | 施設名        | 0  |                 |
| **   | ** | ** | ** | (直接工事費の合計) | 0  | 小計              |
| 02   | 00 | 00 | 00 | 共通仮設費      | 0  | 共通仮設費按分(按分GP1)  |
| 03   | 00 | 00 | 00 | 現場管理費      | 0  | 現場管理費按分(按分GP1)  |
| 04   | 00 | 00 | 00 | 一般管理費等     | 0  | 一般管理費等按分(按分GP1) |

## 3 内訳集計項目(工事項目)の編集

1) 既定の設定されている項目を整理(当該工事の設計に変更)して下さい。

・集計項目の階層変更、集計項目の追加・移動・削除・・・ツリービューの操作により行います。  
 ※フォルダー、シートの追加・移動・削除は、<本書 P20 「ツリービューの操作について」>を参照して下さい

・表示(印刷)名称の変更・・・該当するフォルダー、シートのプロパティを変更により行います。

## ◇ 各プロパティの設定

## ◎ ルートフォルダーのプロパティ

※集計項目名(工事名): 現在、特に影響しません。(「工事費」と設定して下さい)

※階層の最大値: 階層数を設定されている階層に制限します(例として、4に設定した場合は、4階層を超えるフォルダー・シート階層が作成できなくなります)。

※端数処理については、<本書 P30>を参照して下さい。

※[フォルダープロパティ初期値]・[シートプロパティ初期値]は、それぞれフォルダー及びシートを新規作成時の初期値を設定します。

## ◎ フォルダーのプロパティ

※集計項目名(工事名): 画面表示及び印刷に反映されます。

※フォルダーグループ: 現在、関係ありません。(メモ情報として使用ください)

※[このフォルダー下を印刷しない]にチェックを入れると、印刷時にこのフォルダー内の下層にあるフォルダーやシート情報は印刷されません。

## ◎ シートのプロパティ

※集計項目名(工事名): 画面表示及び印刷に反映されます。

※工事グループ: 現在、関係ありません。(メモ情報として使用ください)

※このシートに数量を付加する: 同じ内容の工事を複数行う場合、科目・中科目の明細合計(端数処理後)に数量を乗じたものが科目・中科目の工事金額となります。<本書 P123 参照>

- ◎ 按分グループシートのプロパティ([一般管理費等]シートが不要な場合は、シートを削除して下さい。)

- ※**工事区分**: 按分グループシートの新規作成時に選択された区分を表示しています。(新規作成時以外には変更できません。変更が必要な場合は、按分グループシートの新規作成を行い、不要な按分グループシートは削除して下さい。)
- ※**按分率**: 按分率が表示されます。按分率の設定については、<本書 P119>を参照して下さい。
- ※**集計項目名(工事名)**: 画面表示及び印刷に反映されます。
- ※**按分グループ**: 共通費の入力で作成した [01. 共通費] シートに割り付けた按分番号「1」を設定して下さい。
- ※**工事グループ**: 現在、関係ありません。(メモ情報として使用下さい)

※ 按分グループシートについて

- ・按分グループシートは、内訳明細とは別に作成された合計金額又は、算出金額を、按分グループNo.により、内訳明細の項目内に引き込み、設定された工事内の直接工事費比率により按分し、工事額に計上させます。  
※按分率の設定については、<本書 P119>を参照して下さい。
- ・按分グループシートは、5種類があり、按分対象となるデータは次の通りです。

1. 共用部工事費 …… [7.内訳書の作成]→[3.共用部工事の入力] で作成したシート
2. 共通仮設工事費 … [7.内訳書の作成]→[1.共通費の入力] で作成した共通費シート  
※平成 11 年度基準は、[H11 年共通仮設積上げシート]を指定して下さい。
3. 現場管理費 …… [7.内訳書の作成]→[1.共通費の入力] で作成した共通費シート  
※平成 11 年度基準は使用しません。
4. 一般管理費 …… [7.内訳書の作成]→[1.共通費の入力] で作成した共通費シート  
※平成 11 年度基準は使用しません。

- ◎ 小計シートのプロパティ([直接工事費の合計]シート等に使用します。不要な場合は、シートを削除して下さい。)

- ※**項目名**: 画面表示及び印刷に反映されません。

※ 小計シートについて

- 小計シートまでの小計金額を計上します。

## ◆任意により追加する特殊シート

## ◎ 従工事シートのプロパティ

※**工事区分**:従工事シートの新規作成時に選択された区分を表示しています。(新規作成時以外には変更できません。変更が必要な場合は、従工事シートの新規作成を行い、不要な従工事シートは削除して下さい。)

※**集計項目名(工事名)**:画面表示及び印刷に反映されます。

※**工事グループ**:現在、関係ありません。(メモ情報として使用ください)

※**工事種**:設備積算では使用しません。工事概要の【工事種別】が「3.新営+改修」の時、該当する工事種を選択します。「3.新営+改修」以外の時は自動設定により使用できません。

## ※ 従工事シートについて(平成 22 年度積算基準以降で使用)

建築工事、電気設備工事、機械設備工事、昇降機設備工事のうち複数の工事を、同一工事で一括発注する場合に、「主工事」となる内訳書で使用します。

## 【参考】

平成 14 年度積算基準では、「下請工事」シートを作成し、下請工事の直接工事金額を「下請工事」シートの明細に T 頭コード(任意単価)で入力していました。(平成 22 年度積算基準以降は使用しません。)

## ◎ 率計算に含めない費用シートのプロパティ

※**区分**:「1. 率計算に含めない費用」のみ選択可能です。

※**金額**:率計算に含めない費用の金額を入力して下さい。

※**項目名(工事名)**:画面表示及び印刷に反映されます。

※**グループ**:現在、関係ありません。「9」に設定して下さい)

## ※率計算に含めない費用について

水道分担金など、各種負担金の金額を入力する際に使用します。(入力した金額は共通費計算には含めません。)

## ◎ 記事シートのプロパティ

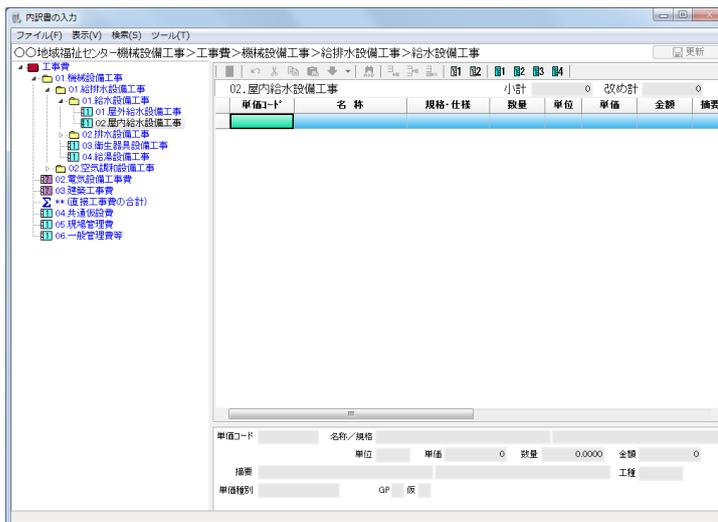
※**項目名**:画面表示及び印刷に反映されます。

## ※ 記事シートについて

内訳書の項目(科目・中科目)の間に記事行(注釈やメモなど)を挿入する際に使用します。

## 4 内訳明細の編集

1) 内訳明細を入力するシートをダブルクリックすると、明細編集表示となります。



2) [単価コード]、[数量]を入力して下さい。

[単価コード]は、登録済みの単価コード及び計算コード(「グループ合計」など)を入力して下さい。計算コードについては、<本書 P29>を参照して下さい。

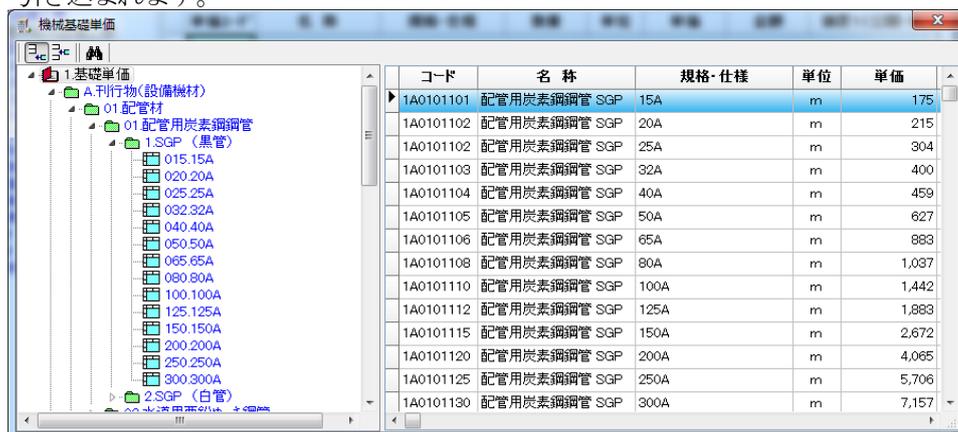
※明細入力時のツールボタンについては、<本書 P27>を参照して下さい。

※単価コードを入力しても名称・金額などが引き込まれない場合...

- ・[2.内訳書の仕様設定]→[1.使用単価ファイルの設定]が、正しく設定されていますか？
- ・配布単価の改定により、コード番号が変更又は、削除されていませんか？
- ・コード番号を間違えずに入力しましたか？

※単価コード選択画面より単価を引き込む。

1. ツールボタンの目的の単価ボタンをクリックすると、単価ウインドウが表示されます。(各単価ボタンに割り当てられている単価の種類については、ツールボタンの上にマウスの矢印をしばらく停止させた時に表示されるヒントテキストにより確認できます。)
2. 作業状況に応じて、行の追加  または行の挿入  ボタンを選択して下さい。
3. 単価の階層を選択して、引き込む単価の行をダブルクリックすると、内訳明細に単価が引き込まれます。



※ 神戸市版環境では、内訳明細入力時の随時計算の際、単価・金額が0円以下または100万円以上となる場合はセルの色が黄色になり、太文字になります(従工事シートを除く)。

| 数量       | 単位 | 単価        | 金額        |
|----------|----|-----------|-----------|
| 1.0000   | 箇所 | 0         | 0         |
| -24.0000 | 式  | 340       | -8,160    |
| 24.0000  | 式  | 580       | 13,920    |
| 1.0000   | 式  | 85,700    | 85,700    |
| 1.0000   | 式  | 12,900    | 12,900    |
| 100.0000 | 式  | 10,200    | 1,020,000 |
| 24.0000  | 式  | 1,240     | 29,760    |
| 24.0000  | 式  | 330       | 7,920     |
| 1.0000   | 人  | 12,000    | 12,000    |
| 1.0000   | 式  | 1,000,000 | 1,000,000 |

3) 必要に応じて[GP](計算コードのグループ番号)を入力します。

| 02. 屋内給水設備工事    |          | 小計   | 35,400    | 改め計 | 0  |
|-----------------|----------|------|-----------|-----|----|
| 摘要1(公開・単価根拠は不可) | 摘要2(非公開) | 工種   | 単価種別      | 専   | GP |
|                 |          | 1.新営 | 1.一般工事(A) | 0   | 1  |

- ・工種: 設備積算では、工事種別により1.新営・2.改修・3.昇降機が自動設定されます。
- ・単価種別: 共通費算出時、集計分類として単価に種別を割り付けます。設備積算では単価データ自身に情報を持たせているため、ここでは変更できません。  
※後述の「仮単価」の注釈の内容に注意して下さい。
- ・GP: 率による計算を行うときに、計算対象となるグループを設定して下さい。  
※[単価コード]欄に計算コードを入力することにより、率による計算することが可能です。入力方法の詳細は、〈本書 P29〉を参照して下さい。
- ・専: 設備積算では使用不可。(現状、住宅建設課の建築積算時、公共住宅建築工事積算基準により共通費を計算する場合のみに設定します。)
- ・仮: 仮単価(計算に含めない単価)扱いとなる行に、自動で「\*」が表示されます。  
※仮単価の行は共通費計算の単価種別毎の集計金額に対する各種率計算に反映されないの注意して下さい。

4) 繰り返し処理を行い、明細を入力して下さい。

| 02. 屋内給水設備工事 |                | 小計             | 174,190 | 改め計 | 0      |        |    |
|--------------|----------------|----------------|---------|-----|--------|--------|----|
| 単価コード        | 名称             | 規格・仕様          | 数量      | 単位  | 単価     | 金額     | 摘要 |
| 21A432020    | 水道用耐衝撃性硬質塩化    | 機械室・便所配管       | 20,000  | m   | 1,770  | 35,400 |    |
| 21A432025    | 水道用耐衝撃性硬質塩化    | 機械室・便所配管       | 23,000  | m   | 2,200  | 50,600 |    |
| 21A432032    | 水道用耐衝撃性硬質塩化    | 機械室・便所配管       | 1,000   | m   | 2,410  | 2,410  |    |
| 21A431020    | 水道用耐衝撃性硬質塩化    | 屋内一般配管 20A     | 26,000  | m   | 1,490  | 38,740 |    |
| 21A431025    | 水道用耐衝撃性硬質塩化    | 屋内一般配管 25A     | 3,000   | m   | 1,840  | 5,520  |    |
| 21B231110300 | 丸キップルジョイントハロス形 | 300L 15A       | 2,000   | 個   | 5,210  | 10,420 |    |
| 6105         | 洗面器            | L250DM(TL605A) | 1,000   | 組   | 31,100 | 31,100 |    |

5) 明細の入力が完了後、[更新]ボタンをクリックすると編集内容が保存れます。

なお、ツリービューの任意の項目をマウスでクリックした場合は、更新確認メッセージが表示されます。

更新

更新されています。保存しますか？

はい(Y)    いいえ(N)    キャンセル

- ・[はい(Y)] をクリックすると編集内容が保存されます。
- ・[いいえ(N)] をクリックすると、編集結果を破棄します。
- ・[キャンセル] をクリックすると、編集作業中の状態を継続します。

- 6) 積上げ計算され、集計情報表示に戻ります。(右側が集計項目画面)  
 ※メインメニューの[システム(S)]→[環境設定(K)]→[基本設定(B)]<本書 P38 参照>により、  
 【内訳書の計算方法】が「手動」に設定されている場合は都度積み上げ計算を行いません。
- 7) 繰り返し、次の工事の明細を入力します。(1)～6)を繰り返す。)
- 8) 従工事明細は、下記のように入力します。

| 単価コード | 名称          | 規格・仕様      | 数量     | 単位 | 単価        | 金額        | 摘要 |
|-------|-------------|------------|--------|----|-----------|-----------|----|
| @FE   | 電気設備工事直接工事費 |            | 1.0000 | 式  | 1,000,000 | 1,000,000 |    |
| @KE   | 電気設備工事共通仮設費 | <小計には含まない> | 1.0000 | 式  | 1,080,000 | 1,080,000 |    |
| @JE   | 電気設備工事現場管理費 | <小計には含まない> | 1.0000 | 式  | 1,250,000 | 1,250,000 |    |

- ・**コード**: 従工事シートのプロパティ設定(工事区分)により、自動設定されます。
  - ・**名称**: 従工事シートのプロパティ設定(集計項目名(工事名))により、自動設定されます。  
 ※但し、設定内容により想定外の文字列が設定される場合がありますので、  
 その際は手作業にて修正して下さい。
  - ・**単価**: 従工事の[直接工事費]・[共通仮設費]・[現場管理費]をそれぞれ入力して下さい。
- 9) 明細の入力後、[再計算]または[共通費の計算]ボタンをクリックして再計算を行って下さい。

| A  | B  | C  | D  | 集計項目名(工事名) | 金額        | 区分              |
|----|----|----|----|------------|-----------|-----------------|
| 00 | 00 | 00 | 00 | 工事費        | 8,436,000 |                 |
| 01 | 00 | 00 | 00 | 機械設備工事     | 6,296,000 |                 |
| 02 | 00 | 00 | 00 | 電気設備工事費    | 1,000,000 | 従工事(1新営)        |
| 03 | 00 | 00 | 00 | 建築工事費      | 1,150,000 | 従工事(1新営)        |
| ** | ** | ** | ** | (直接工事費の合計) | 8,436,000 | 小計              |
| 04 | 00 | 00 | 00 | 共通仮設費      | 0         | 共通仮設費按分(按分GP1)  |
| 05 | 00 | 00 | 00 | 現場管理費      | 0         | 現場管理費按分(按分GP1)  |
| 06 | 00 | 00 | 00 | 一般管理費等     | 0         | 一般管理費等按分(按分GP1) |

- ・**再計算**: 配布単価・当該単価の再引き込み、共通費の計算を行います。
  - ・**共通費の計算**: 共通費を算出し、按分シートの設定(配置)に準じて計上します。  
 ※再計算には、共通費の計算処理も含まれています。
- ※メインメニューの[システム(S)]→[環境設定(K)]→[基本設定(B)]<本書 P38 参照>により、【内訳書の計算方法】が「手動」に設定されている場合は、積み上げ計算が出来ていないので、[共通費の計算]ではなく[再計算]を行って下さい。
- ※ 印刷及び内訳書の確定(設計変更)前には、必ず一括再計算<本書 P125 参照>を実行して下さい。

## 5 内訳明細 直接工事費の合計行の追加

内訳明細の乙表を以下の様式で出力したい場合は、以下の手順で行って下さい。  
 ([直接工事費]項目と[共通仮設費]項目の間に、(直接工事費の合計)行を出力。)

※平成21年1月1日以降の工事予定価格公表工事から(直接工事費の合計)行の出力が必要となり、それ以前に作成した「(直接工事費の合計)」行が無い内訳書は、手作業にて追加が必要です。

設備工事内訳明細

平成 年 月 日

【〇〇地域福祉センター機械設備工事】 乙表

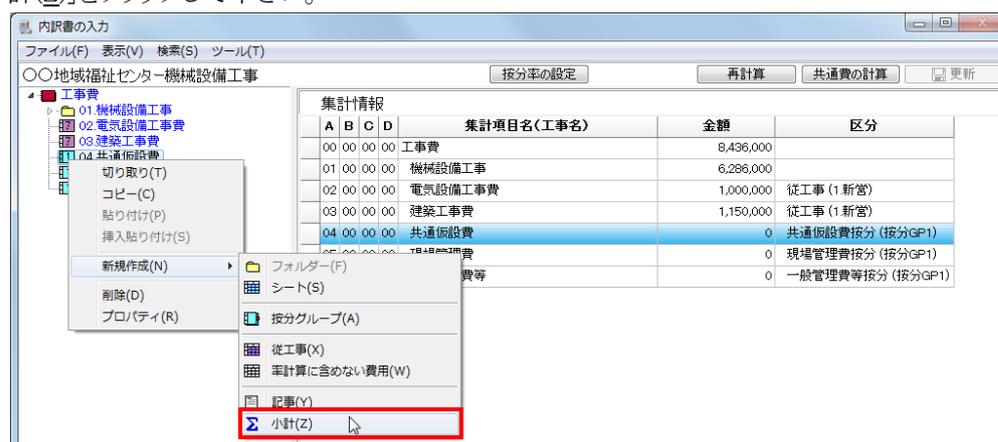
| 施設種別 | 工種 | 種別 | 名称         | 数量     | 単位 | 金額(円)     | 摘要            |
|------|----|----|------------|--------|----|-----------|---------------|
| A01  |    |    | 機械設備工事     | 1.0000 | 式  | 6,286,000 |               |
| A02  |    |    | 電気設備工事費    | 1.0000 | 式  | 1,000,000 |               |
| A03  |    |    | 建築工事費      | 1.0000 | 式  | 1,150,000 |               |
|      |    |    | (直接工事費の合計) |        |    | 8,436,000 | ← (直接工事費の合計)行 |
| A04  |    |    | 共通仮設費      | 1.0000 | 式  | 0         |               |
| A05  |    |    | 現場管理費      | 1.0000 | 式  | 0         |               |
| A06  |    |    | 一般管理費等     | 1.0000 | 式  | 0         |               |
|      |    |    | 合計         |        |    | 8,436,000 | 工事価格          |
|      |    |    | 消費税相当額     | 1.0000 | 式  | 421,800   | 工事価格×消費税率     |
|      |    |    | 工費合計       | 1.0000 | 式  | 8,857,800 |               |

神戸市

(直接工事費の合計)行は、内訳書の入力画面で「小計」シートを設定することで出力されます。

## ◆手順

- 1) メインメニュー[5.内訳書の作成]→[4.内訳書の入力・再計算]をダブルクリックし、内訳書入力画面を表示して下さい。
- 2) 画面左のツリービューの項目で、(直接工事費の合計)行を追加挿入したい場所にあるシート(通常は「共通仮設費」シート)が選択されている状態にし、右クリック→[新規作成(N)]→[小計(Z)]をクリックして下さい。



- 3) [項目名]に(直接工事費の合計)を入力し、[OK]ボタンをクリックすると、追加挿入されます。



## 6 共通費の按分について

※本システムでは、各工事の直接工事費の合計(工事全体の直接工事費)に対する共通費を計算し、それを個別の工事の直接工事費の比率に応じて、共通費の按分計算を行うことが可能です。

◎本機能の手順は、内訳明細の入力まで一連の作業が完了した後、内訳書の一括再計算を行い、按分したい工事毎の直接工事費の合計金額を確定させた状態で行って下さい。

### 1. 共通費の按分を行う場合の内訳書入力例

下図のように、工事毎に「共通仮設費」・「現場管理費」・「一般管理費等」シートを作成し、再計算を行って下さい。

| A  | B  | C  | 集計項目名(工事名) | 金額         | 区分 |
|----|----|----|------------|------------|----|
| 00 | 00 | 00 | 工事費        | 19,408,000 |    |
| 01 | 00 | 00 | A工事費       | 12,939,000 |    |
| 02 | 00 | 00 | B工事費       | 6,469,000  |    |

### 2. 按分率の確認・設定方法

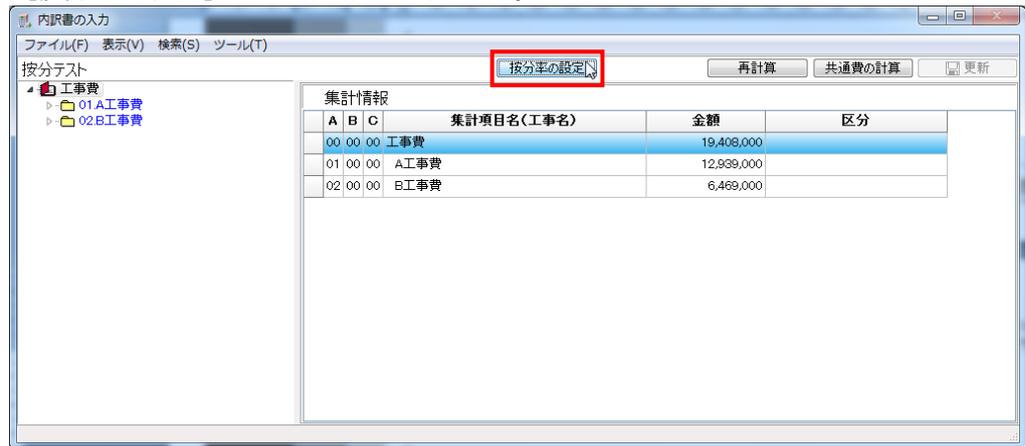
通常の設定では、個別の工事の工事費(直工、純工、工事原価)により按分率を自動計算(小数第3位切り捨て)し、共通費金額の按分処理を行います。

なお、下記の場合においては、次の手順により按分率を確認し、任意入力を行います。

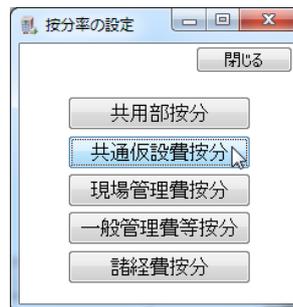
- ・按分率を任意入力したい場合。
- ・按分率の自動計算時の端数処理の結果、按分率の合計が1.00にならない場合。  
(※以下の警告メッセージが表示されるので、按分率を任意入力する必要がある場合。)

| A  | B  | C  | 集計項目名(工事名) | 金額         | 区分 |
|----|----|----|------------|------------|----|
| 00 | 00 | 00 | 工事費        | 19,408,000 |    |
| 01 | 00 | 00 | A工事費       | 12,939,000 |    |
| 02 | 00 | 00 | B工事費       | 6,469,000  |    |

1) [按分率の設定]ボタンをクリックして下さい。



2) 按分率の設定画面にて、目的のボタンをクリックして下さい。



3) 按分計算画面にて直工金額および按分率を確認して下さい。

按分率を任意入力する場合は、[任意]の列にチェックを入れ、[按分率]の列に任意の按分率を入力して下さい。

※任意入力する場合、[任意]の全ての行にチェックを入れて下さい。

※按分率の合計が必ず 1.00 になるようにして下さい。

| 集計項目名(工事名) | 直工金額       | 按分金額    | 按分率  | 任意                       |
|------------|------------|---------|------|--------------------------|
| A工事費       | 10,000,000 | 362,000 | 0.66 | <input type="checkbox"/> |
| B工事費       | 5,000,000  | 181,000 | 0.33 | <input type="checkbox"/> |



| 集計項目名(工事名) | 直工金額       | 按分金額    | 按分率  | 任意                                  |
|------------|------------|---------|------|-------------------------------------|
| A工事費       | 10,000,000 | 362,000 | 0.66 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| B工事費       | 5,000,000  | 181,000 | 0.34 | <input checked="" type="checkbox"/> |

全行チェックを入れること

4) [再計算]ボタンをクリックして下さい(更新ボタンが有効になります)。

| 集計項目名(工事名) | 直工金額       | 按分金額    | 按分率  | 任意                                  |
|------------|------------|---------|------|-------------------------------------|
| A工事費       | 10,000,000 | 362,000 | 0.66 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| B工事費       | 5,000,000  | 181,000 | 0.34 | <input checked="" type="checkbox"/> |

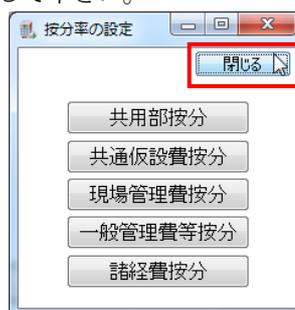
5) [更新]ボタンをクリックして下さい。



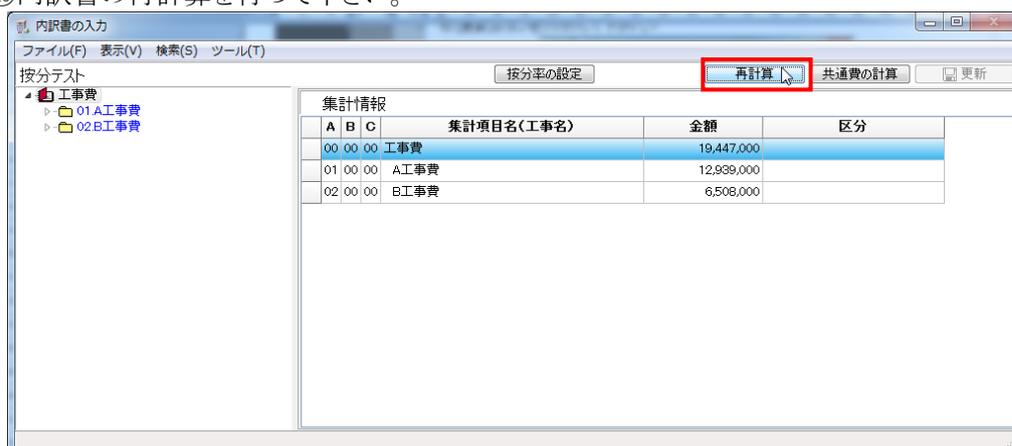
6) 按分計算画面の右上の [閉じる] (閉じる) ボタンをクリックし、按分計算画面を閉じて下さい。

7) 他の共通費項目についても、2)の手順から繰り返し行います。

8) 按分率の設定画面を閉じて下さい。



⑩ 内訳書の再計算を行って下さい。



※ 設計変更の場合は、直接工事費合計の変更に応じて按分率も変更されます。それに伴い、原設計にて 3)の手順で設定した[任意]列のチェックは自動的に外れますので、必要に応じて再設定を行って下さい。

※任意入力した場合、直接工事費を再計算する度に、再入力する必要があります。

※工事毎に共通費を別々に算出したい場合は、それぞれの工事毎に、内訳書ファイルを作成して計算を行い、その計算結果に基づき任意で設計書資料を作成して下さい。

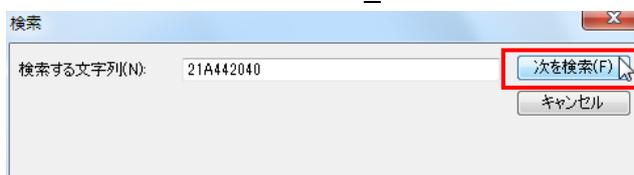
## 7 コード検索

※内訳明細の中で使用されている単価コードを検索します。

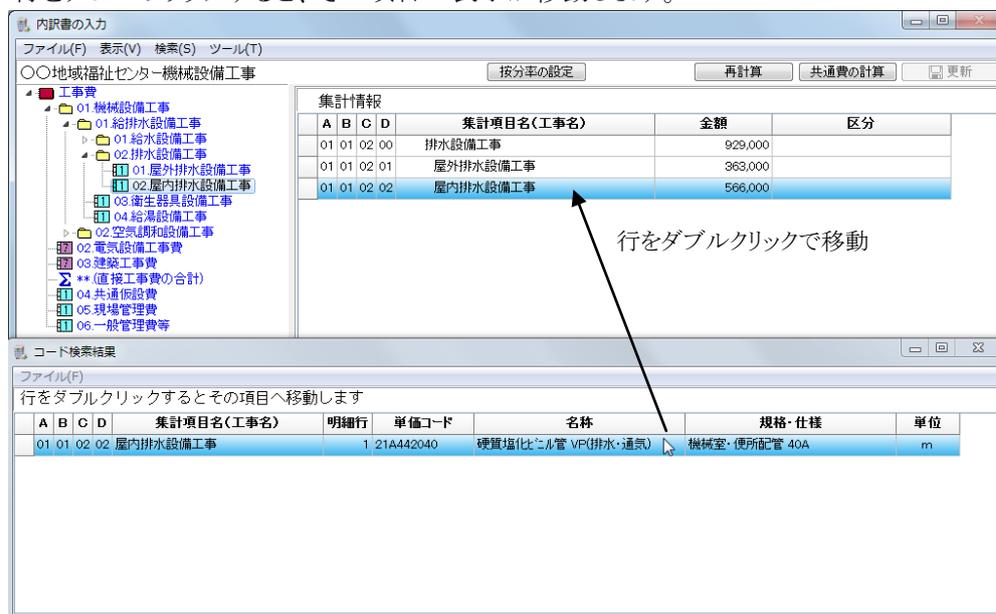
- 1) 集計情報が表示されている状態で、[検索(S)]→[コード検索(C)]をクリックして下さい。  
※ 内訳明細が表示されている状態の時はメニューが使用不可になっています。



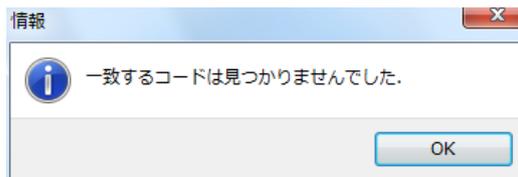
- 2) 検索したい単価コードを入力し、[次を検索(F)]ボタンをクリックして下さい。



- 3) 一致するコードが見つかった場合は、コード検索結果画面に一覧が表示されます。  
行をダブルクリックすると、その項目へ表示が移動します。



一致するコードが見つからなかった場合は、下図のメッセージが表示されます。



## 8 シートに数量を付加

※同じ内容の工事を複数行う場合に使用します。

- 1) 対象のシートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックすると、シートプロパティ画面が表示されます。



- 2) 「このシートに数量を付加する」にチェックを入れ、[OK]ボタンをクリックして閉じて下さい。

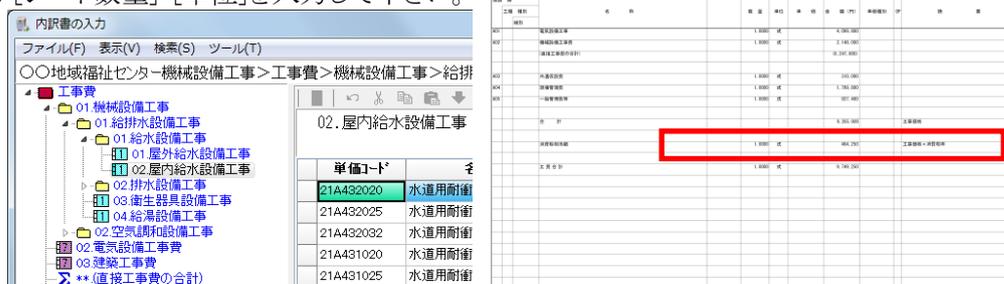


- 3) 対象のシートを選択し、ダブルクリックすると、明細編集表示となります。

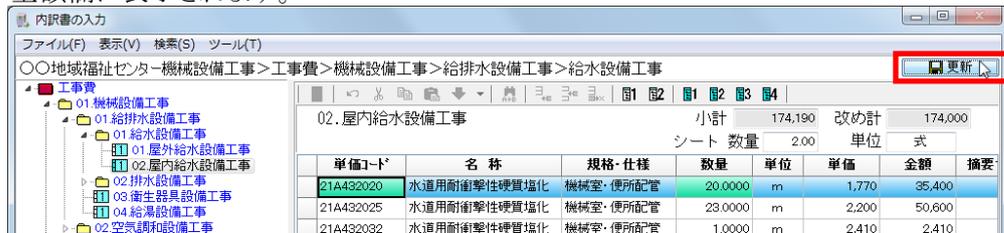
※「区分」欄の表示及び、内訳明細入力部の上部に[シート数量]・[単位]欄が追加表示されます。



- 4) [シート数量]・[単位]を入力して下さい。



- 5) 更新ボタンをクリックすると、明細の合計金額が金額欄に表示されます。

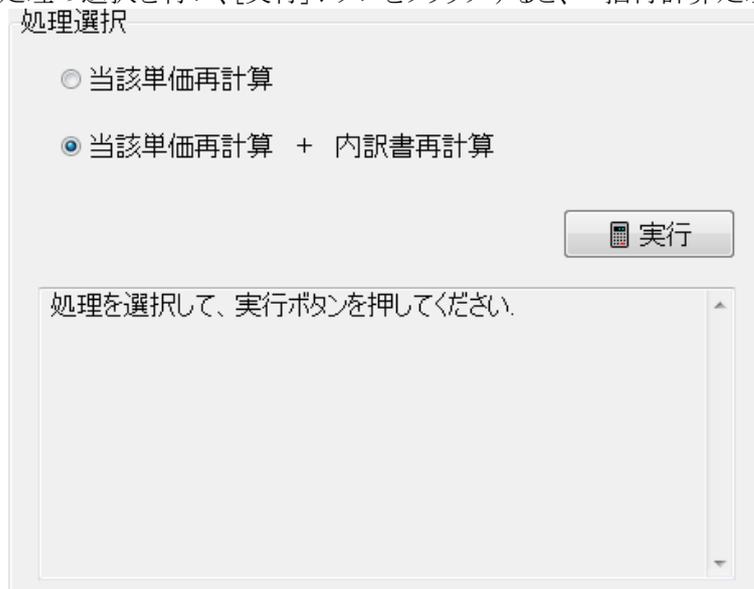


## 一括再計算

- 1) メインメニュー[6.一括再計算]→[1.一括再計算]をダブルクリックすると、一括再計算画面が表示されます。



- 2) 処理の選択を行い、[実行]ボタンをクリックすると、一括再計算処理を実行します。



- 当該単価再計算

当該単価(6 頭コード)、当該単価→複合単価(7 頭コード)、当該標準代価(8 頭コード)、当該標準代価→複合単価(9 頭コード)、までを一括再計算します。

- 当該単価再計算 + 内訳書再計算

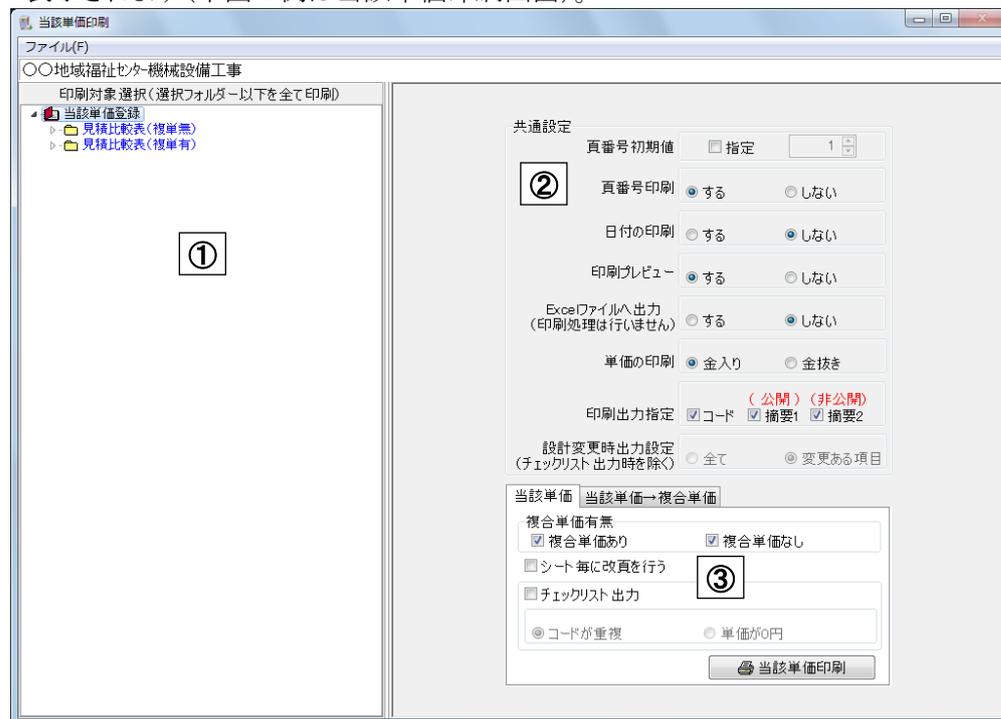
上記に加え、内訳書及び共通費まで、全てを一括再計算します。

- ※ 神戸市環境で金抜き内訳書を読み込んでいる場合は、金入れ処理を行うことを促す警告文を表示します。

## 単価表・内訳明細の印刷

### 1 印刷画面における基本操作(各種印刷画面共通)

- 1) メインメニューの各印刷項目のメニューをダブルクリックすると、それに対応する印刷画面が表示されます(下図の例は当該単価印刷画面)。



- 2) 印刷設定を行って下さい。

- ① 印刷対象となるフォルダー又は、シートをツリービュー上で指定して下さい。

ルートフォルダーを選択すると、全ての項目及び明細が印刷対象となります(通常は、ルートフォルダーを指定します)。

ツリービューの任意のフォルダー又は、シートを選択すると、選択した場所及びその階層下の項目及び明細が印刷対象となります。

- ② [共通設定]を行って下さい。

- ・**頁番号初期値**: [指定]にチェック(☑)を入れると、出力する帳票に対して、ページ番号設定した番号より連番にて印刷します。(次項目の頁番号印刷設定が、「する」の場合に有効です。)
- ・**頁番号印刷**: ページ番号の出力をする場合は、「する」を選択して下さい。
- ・**日付の印刷**: 日付(コンピュータの時計の設定による)の出力をする場合は、「する」を選択します。
- ・**印刷プレビュー**: 印刷イメージを画面に表示する場合は、「する」を選択して下さい。(※「しない」の時、イメージ表示をせず、すぐに印刷実行されます。なお、Excel ファイルへ出力時は、印刷プレビュー処理は行いません。)
- ・**Excel ファイルへ出力**: 「する」を選択すると、印刷帳票と同じ様式を Excel ファイル形式にて出力します(次ページにて解説)。
- ・**単価の印刷(単価・金額の印刷)**: 金入りで印刷するか、金抜きで印刷するかを指定します。(※金抜きで印刷する場合、査定率、乗率、係数、単価・金額は空欄となり、摘要2は出力しません(非公開項目を出力しません))。
- ・**印刷出力設定**: チェックボックスにチェック(☑)が入っている項目を印刷します。(※チェックを外すと、その項目は空欄となります。)
- ・**設計変更時出力設定**: (設計変更時のみ有効となります。)全てを印刷対象とするか、設計変更にて追加変更された部分のみを印刷対象とするかを指定します。

- ③ 印刷画面毎(印刷帳票毎)の個別設定を行って下さい(個別設定は後述)。

- 3) 対応する帳票の[印刷](Excel 出力時は[出力]と表示)ボタンをクリックすると印刷処理を実行します。

## 2 印刷帳票の Excel 出力

※各印刷帳票毎に、Excel ファイル形式の保存が行えます。

帳票を出力後に任意編集したい場合や PDF 化などの用途にご活用下さい。

**重要！金入りで保存できますので、  
データの取扱いは十分ご注意下さい。**

※ 計算式は設定されません。(単価\*数量=金額 など)

### ◆出力手順

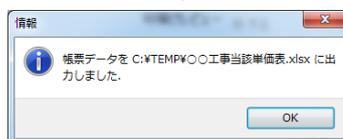
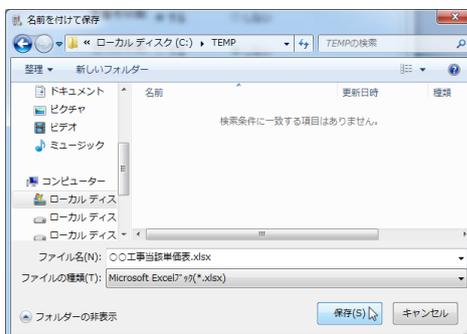
- 1) 各印刷設定画面のメニューをダブルクリックすると、印刷設定画面が表示されます。  
(下図の例は、当該単価印刷画面)

- 2) [Excel ファイルへ出力]を「する」にして下さい。(チェックボックスの場合は、チェック(☑)を入れて下さい。)

※ 帳票の種別により設定画面が若干異なりますが、いずれも「Excel ファイル出力」の設定メニューを選択して下さい。

- 3) [印刷]ボタンが[出力]ボタンに変わりますので、[出力]ボタンをクリックして下さい。

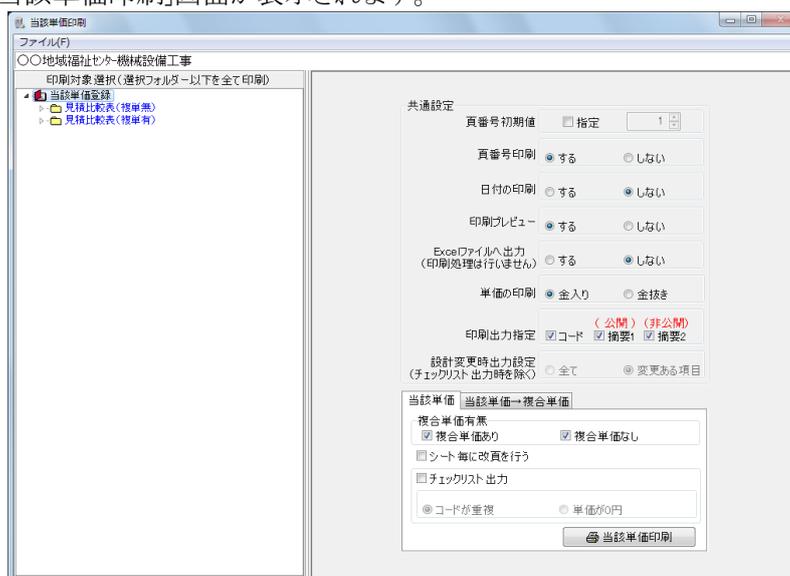
- 4) 「名前をつけて保存」ダイアログが表示されますので、保存先のフォルダー及びファイル名を設定し、[保存]ボタンをクリックすると、帳票ファイルが Excel 形式で出力されます。



※Excel 出力したファイルは任意で編集が可能です。

## 3 当該単価表印刷

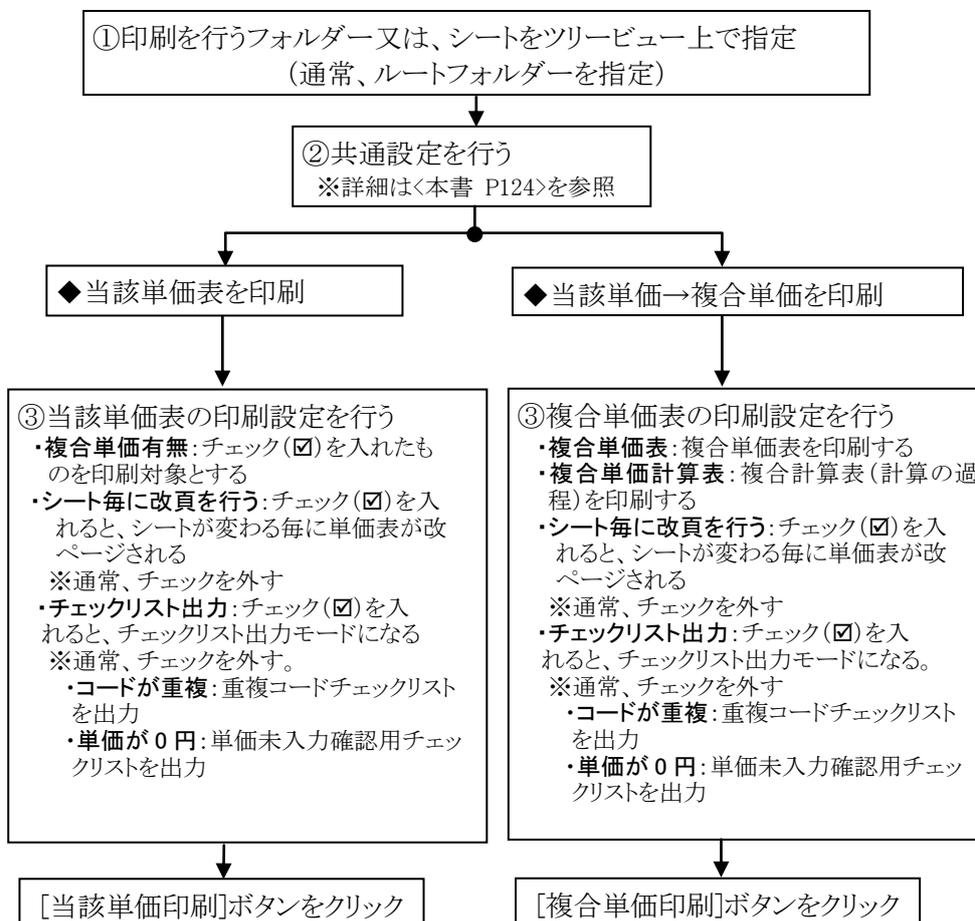
- 1) メインメニュー[3.当該工事単価作成]→[2.印刷]→[1.当該単価表印刷]をダブルクリックすると[当該単価印刷]画面が表示されます。



※[当該単価→複合単価]タブ表示

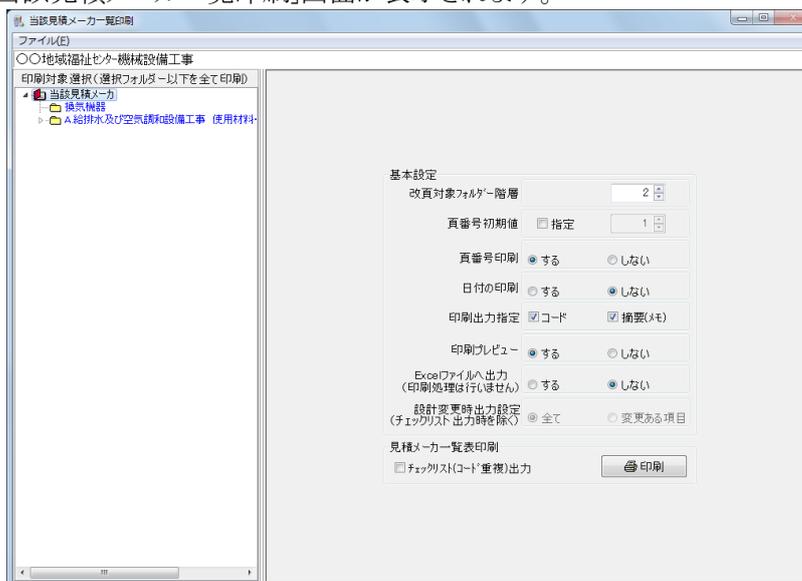


- 2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。



## 4 当該見積メーカー一覧表印刷

- 1) メインメニュー[3.当該工事単価作成]→[2.印刷]→[2.見積メーカー一覧表印刷]をダブルクリックすると[当該見積メーカー一覧印刷]画面が表示されます。



- 2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。

①印刷を行うフォルダ又は、シートをツリービュー上で指定  
(通常、ルートフォルダを指定)

②共通設定を行う  
※詳細は<本書 P124>を参照

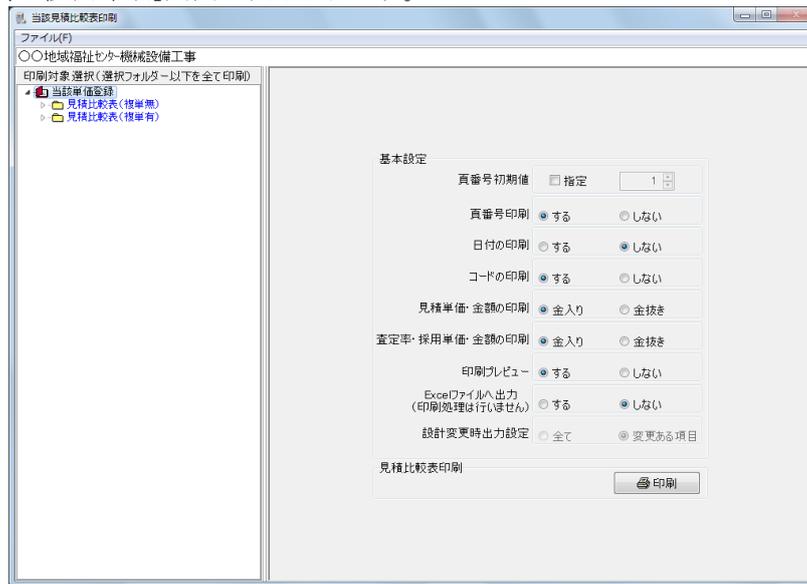
◆見積メーカー一覧表を印刷

③見積メーカー一覧表の印刷設定を行う  
・チェックリスト出力: チェック(☑)を入れると、チェックリスト出力モードになる  
※通常、チェックを外す  
※重複コードチェックリストを出力

[印刷]ボタンをクリック

## 5 当該見積比較表印刷

- 1) メインメニュー[3.当該工事単価作成]→[2.印刷]→[3.見積比較表印刷]をダブルクリックすると[当該見積比較表印刷]画面が表示されます。



- 2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。

①印刷を行うフォルダ又は、シートをツリービュー上で指定  
 (通常は、見積比較による単価が入力されているフォルダを指定)  
 ※見積比較をしている単価シートと見積比較をしていない単価シートが  
 混在している場合は、見積比較をしていない単価についても出力され  
 ます。

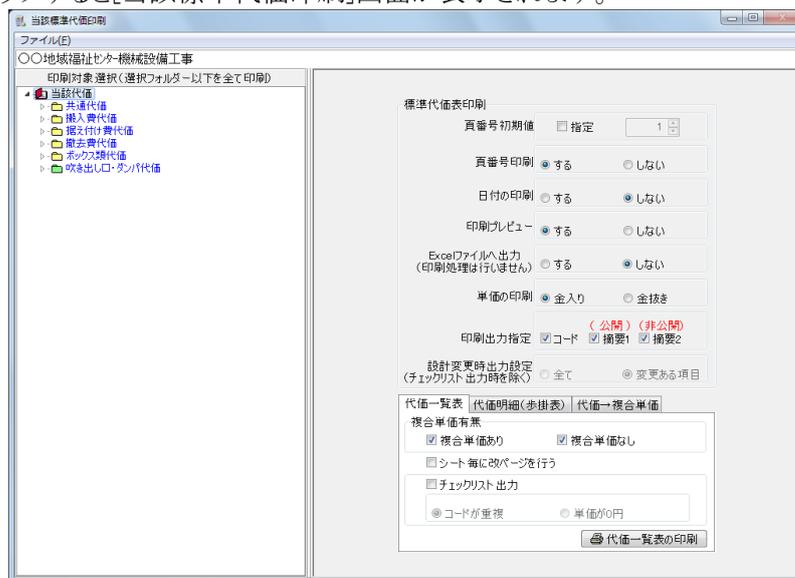
②共通設定を行う  
 ※詳細は<本書 P124>を参照

◆見積比較表を印刷

[印刷]ボタンをクリック

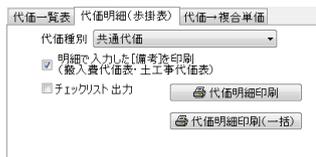
6 当該標準代価表印刷

1) メインメニュー[4.標準代価作成]→[2.印刷]→[1.標準代価・明細(歩掛表)印刷]をダブルクリックすると[当該標準代価印刷]画面が表示されます。

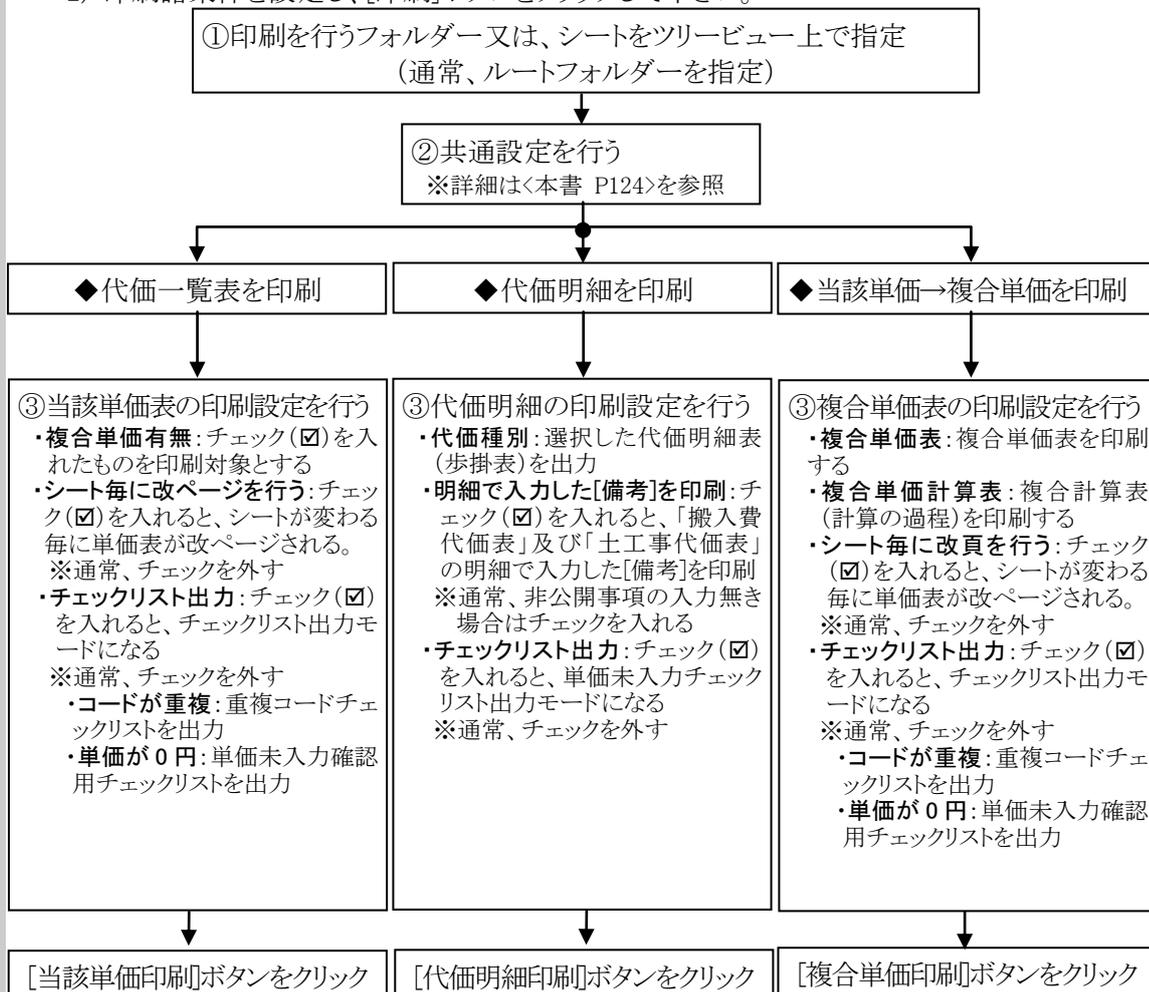


※[代価明細(歩掛表)]タブ表示

※[代価→複合単価]タブ表示



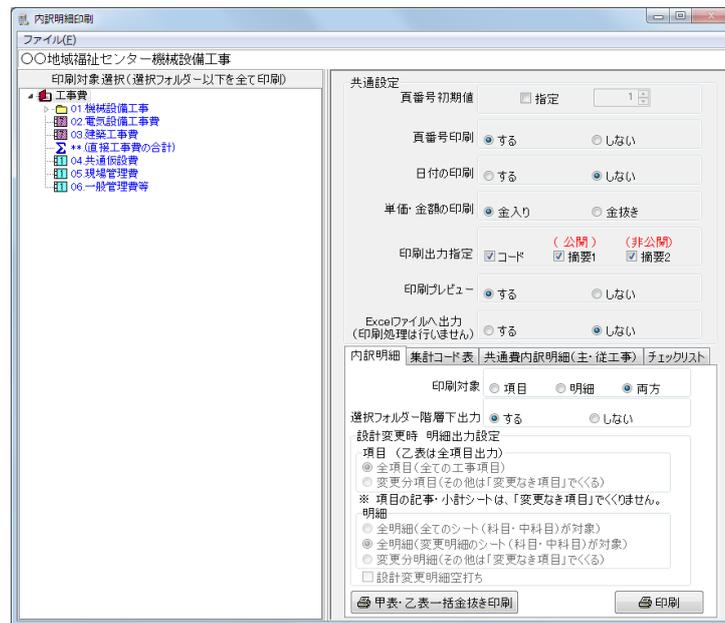
2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。



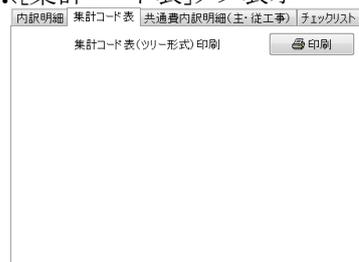
※設備積算時、複数の代価表を一括出力時は[代価明細印刷(一括)]ボタンをクリック。

## 7 内訳明細書の印刷

- 1) メインメニュー[7.内訳書の印刷]→[1.内訳明細の印刷]をダブルクリックすると、内訳明細印刷画面が表示されます。



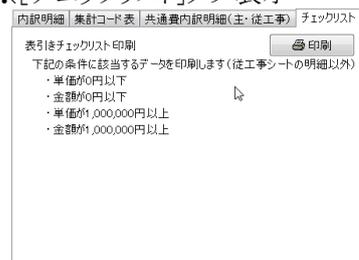
## ※[集計コード表]タブ表示



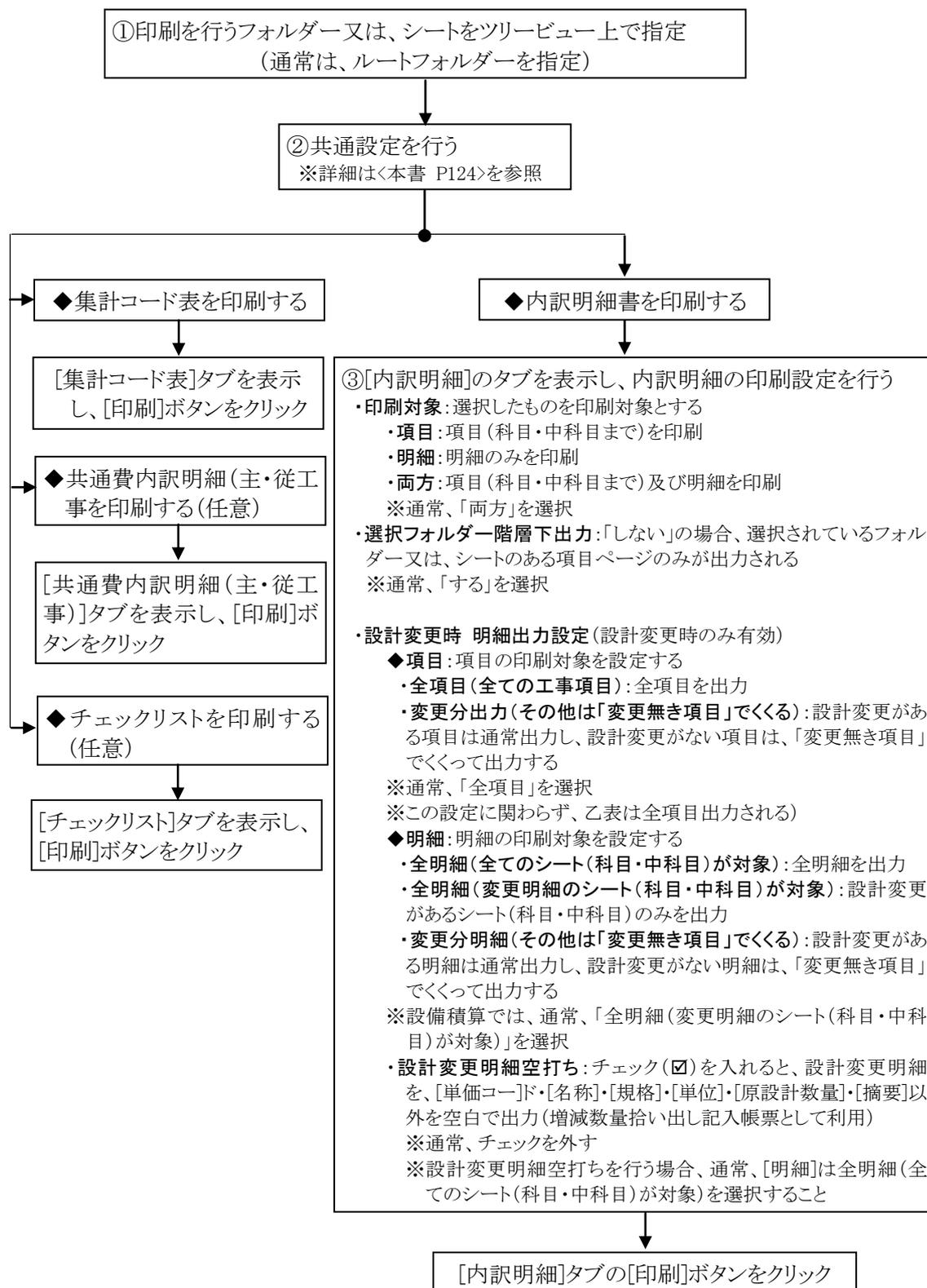
## ※[共通費内訳明細(主・従工事)]タブ表示



## ※[チェックリスト]タブ表示



2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。



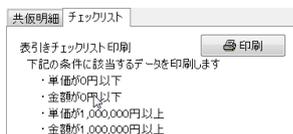
※ 原設計時、設計書(甲表)及び乙表を一括で金抜き印刷(Excel出力)を行う場合は、[甲表・乙表一括金抜き印刷(出力)]ボタンをクリックして下さい。(詳細は<本書 補足 7>を参照。)(設計変更時は[甲表・乙表一括金抜き印刷(出力)]ボタンは表示されません。)

## 8 共通仮設明細の印刷

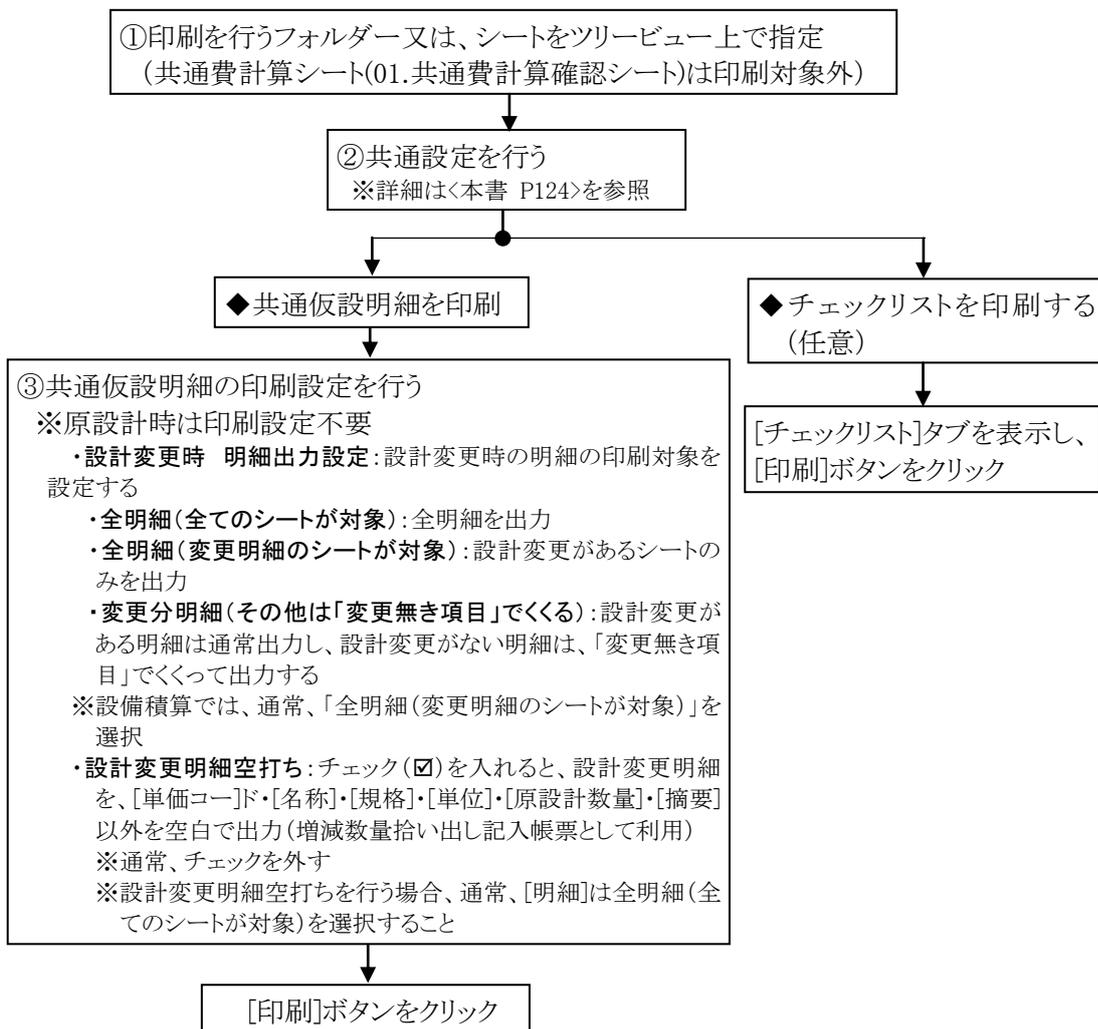
- 1) メインメニュー[7.内訳書の印刷]→[2.共通仮設明細の印刷]をダブルクリックすると、共通仮設明細印刷画面が表示されます。



※[チェックリスト]タブ表示

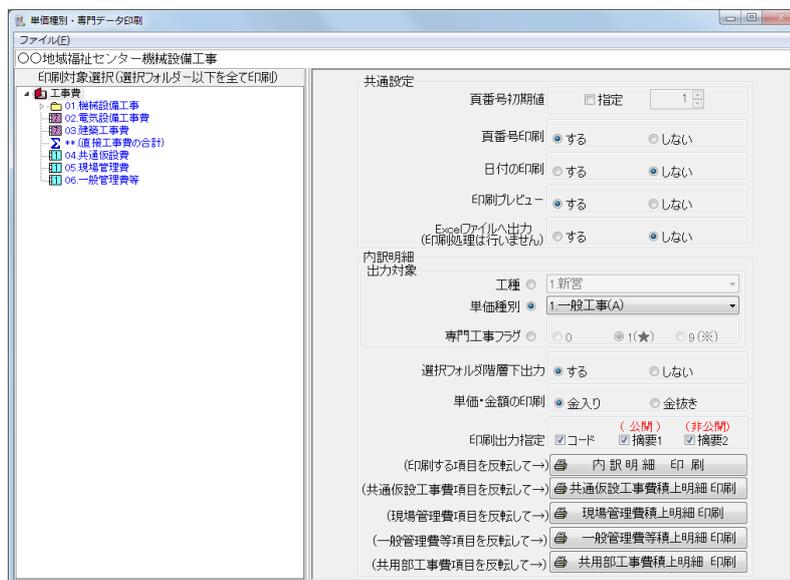


- 2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。



## 9 単価種別・専門データ印刷(オプション印刷)

- 1) メインメニュー[8.内訳オプション印刷]→[1.単価種別・専門データ印刷]をダブルクリックすると[単価種別・専門データ印刷]画面が表示されます。



- 2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。

①印刷を行うフォルダー又は、シートをツリービュー上で指定  
 ※内訳明細出力時は、通常、ルートフォルダーを指定  
 ※内訳明細以外は、それぞれの按分グループシート項目を指定

②共通設定を行う  
 ※詳細はく本書 P124)を参照  
 ※一部項目は、印刷ボタンの上にある

◆単価種別・専門データを印刷

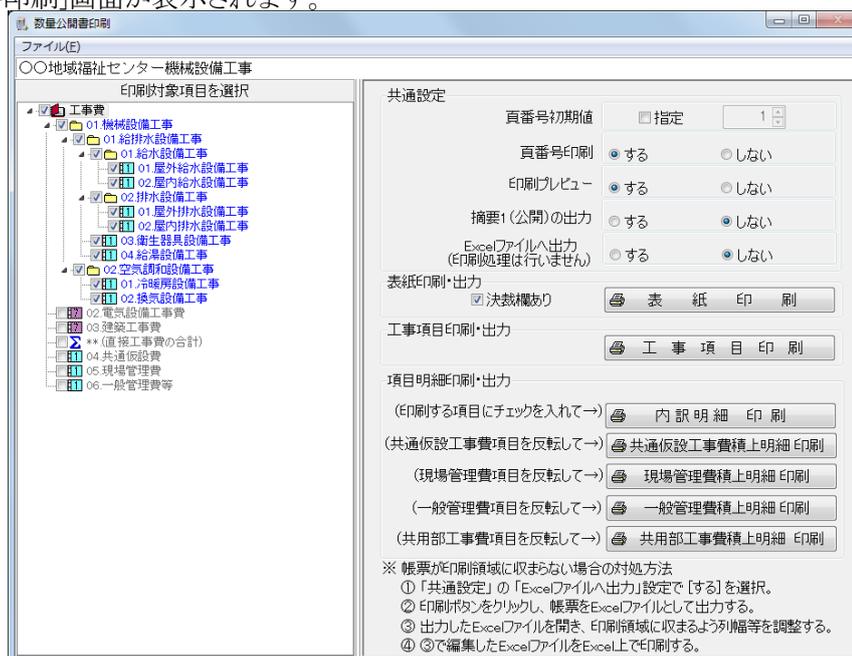
③単価種別・専門データの印刷設定を行う

- ・出力対象: 選択したものを印刷対象とする
- ・工種: (平成 14 年度積算基準以降で使用)内訳明細等で設定した工事種別(工種)について、右のリストで選択した工事種別(工種)を出力対象とする  
 ※設備積算では「新営+改修」は無いため、工事種別は単一のものとなる
- ・単価種別: (平成 14 年度積算基準以降で使用)内訳明細等で設定した単価種別について、右の選択リストで選択した単価種別を出力対象とする
- ・専門工事フラグ: (現状、住宅建設課の建築積算で使用)内訳明細等で設定した専門工事フラグについて、右の選択肢で選択した専門工事フラグを出力対象とする

対象の[印刷]ボタンをクリック

## 10 数量公開書印刷(オプション印刷)

- 1) メインメニュー[8.内訳オプション印刷]→[2.数量公開書印刷]をダブルクリックすると[数量公開書印刷]画面が表示されます。



- 2) 印刷諸条件を設定し、[印刷]ボタンをクリックして下さい。

①印刷を行うフォルダー又は、シートをツリービューの各項目にチェック(☑)を入れて指定  
 ※標準では、「仮設工事」の文字を含む項目はチェックが外れているが、任意でチェックを入れることで出力可能  
 ※ツリービューの文字色が灰色の項目は印刷対象外

②共通設定を行う  
 ※詳細は<本書 P124>を参照  
 ※一部項目は、印刷ボタンの上にある

◆数量公開書を印刷

対象の[印刷]ボタンをクリック

※数量公開書では、単価の摘要欄は「摘要 1」のみ出力が可能です。

※本機能により、標準的な内訳明細書を想定した様式で印刷物が出力されますが、項目のフォルダー階層数や項目文字列の長さの影響等によって、帳票が印刷領域に収まらない場合があります。その際は、下記の手順にて手作業で調整して下さい。

- ① 「共通設定」の「Excel ファイルへ出力」設定で「する」を選択。
- ② 対象の[印刷]ボタンをクリックし、帳票を Excel ファイルとして出力する。
- ③ 出力した Excel ファイルを開き、印刷領域に収まるように列幅などを調整する。  
(フォントのポイント数の変更や、ページ設定変更など、適宜変更して下さい。)
- ④ ③で編集した Excel ファイルを Excel 上で印刷する。

## 8

## 設計変更書作成要領

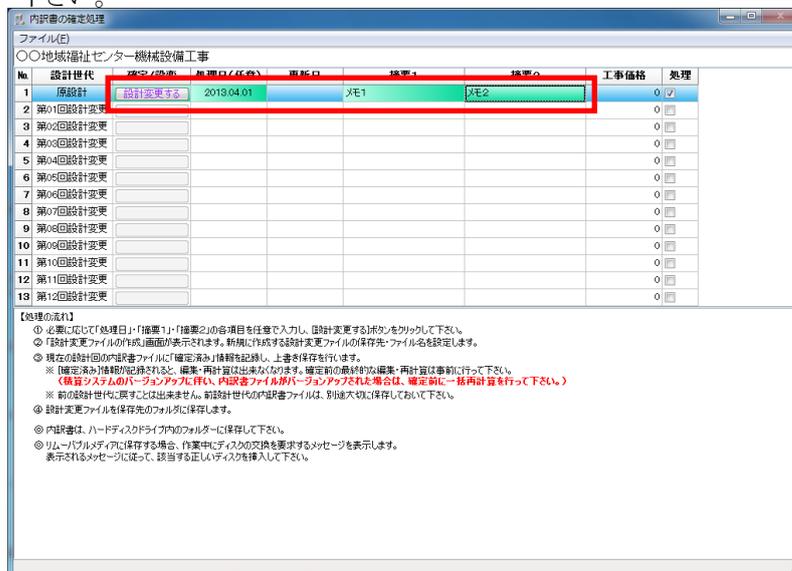
## 1

## 内訳書の確定処理～使用単価ファイルの設定

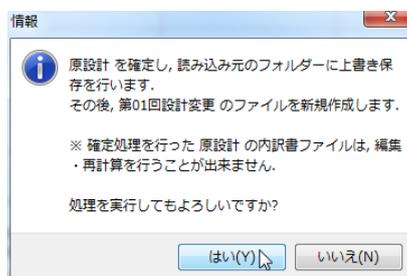
- ※ 設計変更を行うには、設計変更を行う工事(内訳)データを確定する必要があります。  
(1回目の設計変更を行う場合は、原設計を確定します。2回目の設計変更を行う場合は、1回目の設計変更を確定します。このように設計変更を行う場合は、前設計を確定する作業が必要となります。)  
なお、設計変更を行う毎に、設計世代(原設計・第01回設計変更・・・)毎の内訳書ファイルを作成します。
- ※ バージョンアップによる計算の差異等の不都合を予防するため、設計変更の実施の有無に関わらず、各設計の内容が確定次第、内訳書の確定処理を行うことを推奨いたします。
- ※ 設計事務所版の環境では、内訳書の確定処理を実行できません。

## 1 内訳明細書の確定処理

- 1) メインメニューの[1.内訳書の管理]→[4.内訳書の確定処理]→[1.内訳書の確定処理]をダブルクリックすると、内訳書の確定処理画面が表示されます。
- 2) 処理日(任意)、摘要1・2(任意)を入力後、該当する行の[設計変更する]ボタンをクリックして下さい。

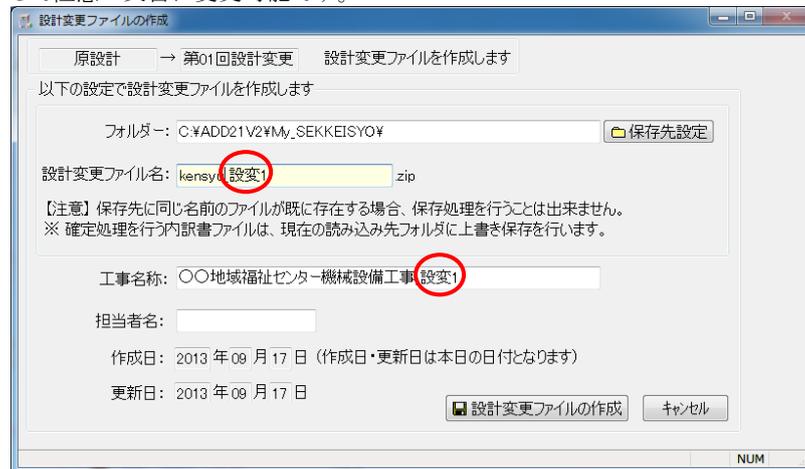


- 3) 確認メッセージが表示されます。よろしければ、[はい(Y)]ボタンをクリックしてすると、設計変更ファイル作成画面が表示されます。(「いいえ(N)」ボタンをクリックすると処理を中止します。)



- 4) 保存先フォルダー、保存ファイル名(設計変更名)を入力し、[設計変更ファイルの作成]ボタンをクリックすると、内訳書の確定処理及び設計変更ファイル作成処理が実行されます。  
([キャンセル]ボタンで処理を中止します。)

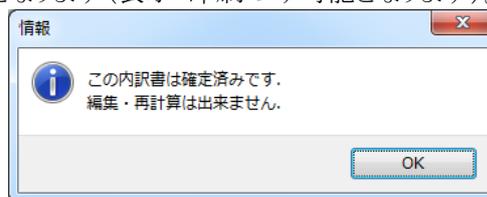
※ 初期値として、設定していた[ファイル名]・[工事名称]の末尾に「\_設変n」が付加されますが、必要に応じて任意の文言に変更可能です。



- 5) 処理が完了すると、設計変更ファイルの作成画面が自動的に終了し、メインメニューに戻ります。

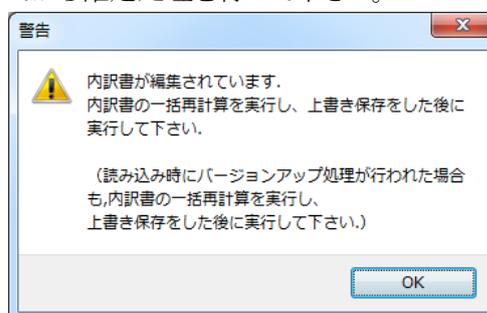
※ このとき、処理対象の内訳書ファイルは、作成された設計変更内訳書ファイルに変更されます。  
(作成した設計変更内訳書ファイルを読み込んだ状態となります。)

- ※ 確定済の内訳書ファイルを読み込むと下記のメッセージが表示され、編集及び再計算は出来ない状態となります(表示・印刷のみ可能となります)。



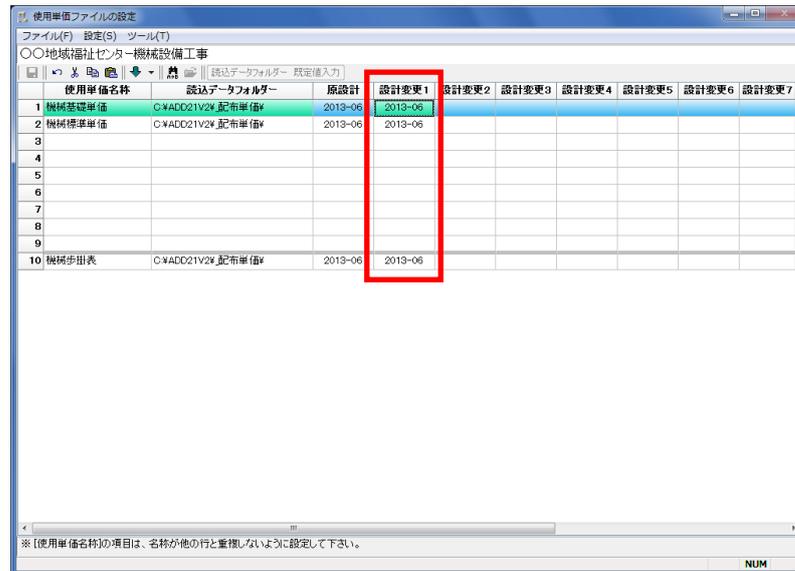
- ※ 誤って確定処理を行ってしまった場合や確定済の内訳書の再編集を行いたい場合など確定情報を解除したい時は、確定した内訳書ファイルを読み込み後、「名前を付けて保存」にて別ファイル名で保存処理を行って下さい。(別ファイル名にて保存した側の内訳書ファイルは確定情報が解除され、編集・再計算が可能となります。)

- ※ 内訳書を編集・再計算後、保存していない場合は下記のメッセージが表示され、内訳書の確定処理は実行できません。下記のメッセージの指示通り、必ず一括再計算を行い、上書き保存を行ってから確定処理を行って下さい。



## 2 設計変更時の使用単価ファイルの設定

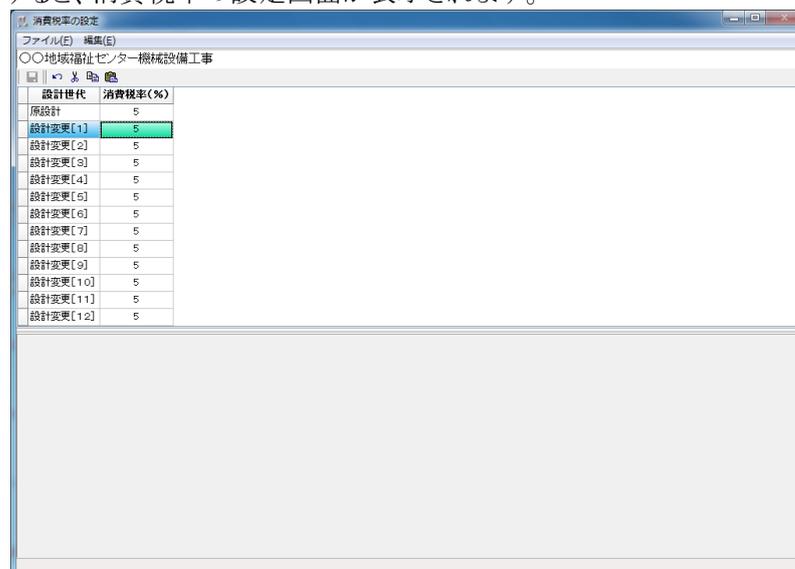
- 1) メインメニュー[2.内訳書の仕様設定]→[1.使用単価ファイルの設定]をダブルクリックすると[使用単価ファイルの設定]画面が表示されます。



- 2) 設計変更の内訳書ファイルを作成時点にて、今回設計の欄に前設計(設計変更1の場合は原設計)時と同じ単価の年度(西暦)、月が自動設定されます。変更する場合は、該当設計回の列の使用する単価の年度(西暦)、月(1桁の月は0を補って下さい)を入力して下さい。
- 3) [保存]ボタン(または[ファイル(F)]→[保存(S)])をクリックして保存を行って下さい。

## 3 設計変更時の消費税率の設定

- 1) メインメニュー[2.内訳書の仕様設定]→[4.消費税率の設定]をダブルクリックすると、消費税率の設定画面が表示されます。



- 2) 設計変更時に消費税率が変更となる場合、その税率を設定して下さい。  
※現設計世代よりも前の税率は変更出来ません。
- 3) [保存]ボタン(または[ファイル(F)]→[保存(S)])をクリックして保存を行って下さい。

## 2 請負金額の入力～落札率の算出

### 1 請負金額の入力及び落札率の算出方法の設定

- 1) メインメニュー[2.内訳書の仕様設定]→[2.設計書(甲表)入力・印刷]をダブルクリックすると、設計書(甲表)入力・印刷の画面が表示されます。

【設計変更時設定】

|             |           |
|-------------|-----------|
| 前設計工事費(税込)¥ | 8,867,565 |
| 請負金額(税込)¥   | 0         |
| 落札率         | 0.0000 %  |

落札率を自動計算する  
 ※ 率計算に含めない費用は除外して自動計算します

請負金額算出根拠表  
 印刷出力指定  日付  頁番号  
 プレビュー

- 2) 請負金額(税抜き額)を入力し、落札率の算出方法を設定して下さい。

【設計変更時設定】

|             |           |
|-------------|-----------|
| 前設計工事費(税込)¥ | 8,867,565 |
| 請負金額(税込)¥   | 8,085,000 |
| 落札率         | 91.1749 % |

落札率を自動計算する  
 ※ 率計算に含めない費用は除外して自動計算します

請負金額算出根拠表  
 印刷出力指定  日付  頁番号  
 プレビュー

[落札率を自動計算する]にチェック(☑)が入っているときは、入力された請負金額にて落札率を算出します。落札率を任意設定する場合は、チェックを外して、落札率を%で入力して下さい。(落札率は「率に含めない費用」を含まない金額で算出します)

※第1回設計変更の内訳書ファイル作成時点における既定値は、チェックが入った状態となっています。

※第2回設計変更以降の内訳書ファイル作成時点では、落札率は手計算した値を入力による変更のみ可能となります(変更しない限り、前設計の落札率となります)。

【設計変更時設定】

|             |           |
|-------------|-----------|
| 前設計工事費(税込)¥ | 8,867,565 |
| 請負金額(税込)¥   | 8,085,000 |
| 落札率         | 91.1749 % |

請負金額算出根拠表  
 印刷出力指定  日付  頁番号  
 プレビュー

3) [保存]ボタンをクリックし、データを保存して下さい。

※第1回設計変更以降は、設計書(甲表)の「工期」及び「担保期間」は「既決通り」と印刷されます。  
変更を要する場合は Excel 編集にて変更して下さい。

## 2 【参考】請負金額算出根拠表の印刷

※ 現在、設備積算では本機能は使用しません。

※ 落札率を乗じない「新単価」フラグ指定のある単価(内訳明細の[新]の列に「1」を設定した単価コード)の一覧表及び、請負増減額の算出根拠式を示す帳票を出力します。

※設計変更の内訳書の入力及び請負金額を入力完了後に実行して下さい。

1) 印刷設定を行って下さい。

- Excel ファイル出力:チェック(☑)を入れると、印刷帳票と同じ様式を Excel ファイル形式にて出力します。
  - 日付:チェック(☑)を入れると、日付(コンピュータの時計の設定による)を出力します。
  - 頁番号:チェック(☑)を入れると、ページ番号を出力します。
  - プレビュー:チェック(☑)を入れると、印刷イメージを画面に表示します。(※チェックを入れない場合は、イメージ表示をせず、すぐに印刷実行されます。なお、Excel ファイルへ出力時は、印刷プレビュー処理は行いません。)
- ※ 請負金額算出根拠表は、金抜き印刷は行わない仕様となっています。金入りで出力されるため、取扱には十分ご注意ください。

2) [請負金額算出根拠表印刷]をクリックすると、請負金額算出根拠表印刷処理を開始します。

【設計変更時設定】

|               |           |    |
|---------------|-----------|----|
| 前設計工事費 (税込) ¥ | 8,867,565 |    |
| 請負金額 (税込) ¥   | 8,085,000 |    |
| 落札率           | 91.1749 % | 計算 |

落札率を自動計算する

**※ 率計算に含めない費用は除外して自動計算します**

請負金額算出根拠表

印刷出力指定  日付  頁番号

プレビュー

## 3

## 当該単価(6頭コート)・複合単価(7頭コート)登録・再計算【設計変更】

## 1 設計変更時の当該単価・複合単価登録

1) メインメニュー[3.当該工事単価作成]→[1.当該単価]→[1.当該単価登録]をダブルクリックすると[当該単価登録]画面が表示されます。

2) 該当する階層下に、設計変更単価登録用のシートを作成し、単価を登録して下さい。

※ここでの操作は、原設計時の単価作成方法と同様です。

※原設計(前設計)時に作成したフォルダー・シートの名称の変更・削除はできません。

※原設計(前設計)時に作成したシートに単価コードの追加登録は出来ません。別のシートを新規作成し、作成したシートに単価コードの追加を行う運用とします。

| コード     | 名称             | 規格・仕様         | 単位 | 単価     | 摘要1 | 摘要2 | 複算有無 | 複単コード     | 複合単価   | 設計回   |
|---------|----------------|---------------|----|--------|-----|-----|------|-----------|--------|-------|
| 622101  | 混合水栓           | TKG31UGP      | 個  | 23,500 |     |     | 有    | 722101    | 25,400 | 【原設計】 |
| 622102  | アングル止水水栓       | TL511C1U      | 個  | 3,350  |     |     | 有    | 722102    | 7,650  | 【原設計】 |
| 622103  | 泡沫自在水栓         | T136S13       | 個  | 5,500  |     |     | 有    | 722103    | 10,040 | 【原設計】 |
| 622104  | 逆止弁付止水水栓       | RHA1103-S     | 個  | 2,000  |     |     | 有    | 722104    | 6,120  | 【原設計】 |
| 622105  | 横水栓            | TW30S1UR      | 個  | 3,400  |     |     | 有    | 722105    | 7,680  | 【原設計】 |
| 622111  | 洗面化粧台          | LDB903ML      | 組  | 58,300 |     |     | 有    | 722111    | 69,100 | 【原設計】 |
| 622201  | G-1 差圧式給気口     | 150φ用 300m3/h | 個  | 7,500  |     |     | 有    | 722201    | 14,200 | 【原設計】 |
| 622202  | 差圧式給気口用予備フィルター |               | 個  | 800    |     |     | 無    |           |        | 【原設計】 |
| 622301  | 防音型パイプフード      | 焼付塗装FD付150φ   | 個  | 25,900 |     |     | 有    | 722301    | 33,300 | 【原設計】 |
| 6224000 | 身体障害者用洗面鏡      | T205NRC       | 個  | 23,200 |     |     | 有    | 722400001 | 23,600 | 【設計1】 |
| 6224000 | 身体障害者用鏡箱鏡      | LMS30         | 個  | 12,600 |     |     | 有    | 722400002 | 12,800 | 【設計1】 |

※上画面は、当該単価登録で、設計変更用単価シートとして「見積比較表(複算有)」内に新しく「622A」の固定コードの単価シートを作成し、単価を登録した状態です。  
単価の登録方法は原設計時と同じです(本書 P71 参照)。

※ 単価一覧表示部の右端(枠囲み部分)に、作成された原設計・変更回が表示されます。

※ 現在の設計変更よりも前の設計回に登録された単価の再編集や複合単価の歩掛りや塗装費の変更は出来ません。但し、フォルダー・シートのコピーは可能です。

※コード番号が重複しないように、ご注意ください。

## 2 【参考】設計変更時の見積単価変更処理

※ 現在、機械積算では本機能は使用しません

※ 現在の設計変更よりも前の設計回に登録された単価に対して設定します。

1) 見積単価変更処理を行う単価が登録されているシートを開き、該当する単価の行を選択して下さい。

| コード    | 名称       | 規格・仕様     | 数量    | 単価     | 金額     | 採用単価   | 採用金額   |
|--------|----------|-----------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 622 01 | 混合水栓     | TKG31UGP  | 4,000 | 23,500 | 94,000 | 23,500 | 94,000 |
| 622 02 | アングル止水水栓 | TL511C1U  | 8,000 | 3,350  | 26,800 | 3,350  | 26,800 |
| 622 03 | 泡沫自在水栓   | T136S13   | 1,000 | 5,500  | 5,500  | 5,500  | 5,500  |
| 622 04 | 逆止弁付止水水栓 | RHA1103-S | 2,000 | 2,000  | 4,000  | 2,000  | 4,000  |
| 622 05 | 横水栓      | TW30S1UR  | 1,000 | 3,400  | 3,400  | 3,400  | 3,400  |
| 622 11 | 洗面化粧台    | LDB903ML  | 1,000 | 58,300 | 58,300 | 58,300 | 58,300 |

## 2) [変更前見積]・[変更後見積]に金額を入力して下さい。

| コード    | 名称       | 規格・仕様     | 数量    | 単価     | 金額     | 採用単価   | 採用金額   |
|--------|----------|-----------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 622101 | 混合水栓     | TKG31UGP  | 4,000 | 23,500 | 94,000 | 23,500 | 94,000 |
| 622102 | アングル形止水栓 | TL511C1U  | 8,000 | 3,350  | 26,800 | 3,350  | 26,800 |
| 622103 | 泡沫自在水栓   | T136S13   | 1,000 | 5,500  | 5,500  | 5,500  | 5,500  |
| 622104 | 逆止弁付止水栓  | RHA1103-S | 2,000 | 2,000  | 4,000  | 2,000  | 4,000  |
| 622105 | 横水栓      | TW30S1UR  | 1,000 | 3,400  | 3,400  | 3,400  | 3,400  |
| 622111 | 洗面化粧台    | LDE609ML  | 1,000 | 58,300 | 58,300 | 58,300 | 58,300 |

|             |             |       |        |       |           |
|-------------|-------------|-------|--------|-------|-----------|
| 基礎単価コード     | 622101      | 複単有無  | 有      | 単価種別  | 1-一般工事(A) |
| 名称          | 混合水栓        |       |        |       |           |
| 規格・仕様       | TKG31 UGP   |       |        |       |           |
| 単位          | 個           | 数量    | 4,000  | 率     | 1,0000    |
| 単価          | 23,500 1円止め |       |        |       |           |
| (公開)摘要(1)   |             |       |        |       |           |
| (非公開)摘要(2)  |             |       |        |       |           |
| 複合単価(Chr+H) | 722101      | 複合単価  | 25,400 |       |           |
| 当初見積単価      | 23,500      | 変更前見積 | 25,400 | 変更後見積 | 27,800    |

※ 1シート内の複数の単価に対して変更見積金額を入力する場合は、表部分で右クリック→[変更見積一括編集]をクリックすると表示される変更見積一括編集画面での入力が便利です。変更見積一括編集画面で入力後、画面を閉じると変更見積金額が設定された状態となります。

| コード | 名称   | 規格・仕様    | 数量    | 単価     | 金額     | 採用単価   | 採用金額   |
|-----|------|----------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 01  | 混合水  | 編集の方向(H) | 4,000 | 23,500 | 94,000 | 23,500 | 94,000 |
| 02  | アングル | 行の追加(A)  | 8,000 | 3,350  | 26,800 | 3,350  | 26,800 |
| 03  | 泡沫自  | 行の追加(A)  | 1,000 | 5,500  | 5,500  | 5,500  | 5,500  |
| 04  | 逆止弁  | 行の挿入(I)  | 2,000 | 2,000  | 4,000  | 2,000  | 4,000  |
| 05  | 横水栓  | 行の削除(D)  | 1,000 | 3,400  | 3,400  | 3,400  | 3,400  |
| 11  | 洗面台  | 行のコピー(Y) | 1,000 | 58,300 | 58,300 | 58,300 | 58,300 |

|             |             |       |        |       |           |
|-------------|-------------|-------|--------|-------|-----------|
| 基礎単価コード     | 622101      | 複単有無  | 有      | 単価種別  | 1-一般工事(A) |
| 名称          | 混合水栓        |       |        |       |           |
| 規格・仕様       | TKG31 UGP   |       |        |       |           |
| 単位          | 個           | 数量    | 4,000  | 率     | 1,0000    |
| 単価          | 23,500 1円止め |       |        |       |           |
| (公開)摘要(1)   |             |       |        |       |           |
| (非公開)摘要(2)  |             |       |        |       |           |
| 複合単価(Chr+H) | 722101      | 複合単価  | 25,400 |       |           |
| 当初見積単価      | 23,500      | 変更前見積 | 25,400 | 変更後見積 | 27,800    |



| 単価コード  | 名称       | 規格・仕様     | 数量    | 単位 | 率      | 当初単価   | 変更前    | 変更後    |
|--------|----------|-----------|-------|----|--------|--------|--------|--------|
| 622101 | 混合水栓     | TKG31UGP  | 4,000 | 個  | 1,0000 | 23,500 | 25,400 | 27,800 |
| 622102 | アングル形止水栓 | TL511C1U  | 8,000 | 個  | 1,0000 | 3,350  | 0      | 0      |
| 622103 | 泡沫自在水栓   | T136S13   | 1,000 | 個  | 1,0000 | 5,500  | 0      | 0      |
| 622104 | 逆止弁付止水栓  | RHA1103-S | 2,000 | 個  | 1,0000 | 2,000  | 0      | 0      |
| 622105 | 横水栓      | TW30S1UR  | 1,000 | 個  | 1,0000 | 3,400  | 0      | 0      |
| 622111 | 洗面化粧台    | LDE609ML  | 1,000 | 組  | 1,0000 | 58,300 | 0      | 0      |

- 3) [再計算]ボタンをクリックすると、[単価]に結果が反映されます。  
(複合単価を登録している場合は、[複合単価]にも反映されます。)

| コード | 名称      | 規格・仕様     | 数量    | 単価     | 金額     | 採用単価   | 採用金額   |
|-----|---------|-----------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 01  | 混合水栓    | TKG31UGP  | 4,000 | 23,500 | 94,000 | 23,500 | 94,000 |
| 02  | フック形止水栓 | TL511C1U  | 8,000 | 3,350  | 26,800 | 3,350  | 26,800 |
| 03  | 泡沫自在水栓  | TI36S13   | 1,000 | 5,500  | 5,500  | 5,500  | 5,500  |
| 04  | 逆止弁止水栓  | RHA1103-S | 2,000 | 2,000  | 4,000  | 2,000  | 4,000  |
| 05  | 横水栓     | TW30S1UR  | 1,000 | 3,400  | 3,400  | 3,400  | 3,400  |
| 11  | 洗面化粧台   | LDB603ML  | 1,000 | 58,300 | 58,300 | 58,300 | 58,300 |

基礎単価コード: 622101 複合有無: 有 単価種別: 1-一般工事(A)

名称: 混合水栓  
規格・仕様: TKG31 UGP  
単位: 個 数量: 4,000 率: 1,0000  
単価: 23,500 1.円止め

複合単価(Ctrl+H): 722101 複合単価: 25,400  
当初見積単価: 23,500 変更前見積: 25,400 変更後見積: 27,800



| コード | 名称      | 規格・仕様     | 数量    | 単価     | 金額      | 採用単価   | 採用金額    |
|-----|---------|-----------|-------|--------|---------|--------|---------|
| 01  | 混合水栓    | TKG31UGP  | 4,000 | 25,720 | 102,880 | 27,800 | 111,200 |
| 02  | フック形止水栓 | TL511C1U  | 8,000 | 3,350  | 26,800  | 3,350  | 26,800  |
| 03  | 泡沫自在水栓  | TI36S13   | 1,000 | 5,500  | 5,500   | 5,500  | 5,500   |
| 04  | 逆止弁止水栓  | RHA1103-S | 2,000 | 2,000  | 4,000   | 2,000  | 4,000   |
| 05  | 横水栓     | TW30S1UR  | 1,000 | 3,400  | 3,400   | 3,400  | 3,400   |
| 11  | 洗面化粧台   | LDB603ML  | 1,000 | 58,300 | 58,300  | 58,300 | 58,300  |

基礎単価コード: 622101 複合有無: 有 単価種別: 1-一般工事(A)

名称: 混合水栓  
規格・仕様: TKG31 UGP  
単位: 個 数量: 4,000 率: 1,0000  
単価: 25,720 円止め

複合単価(Ctrl+H): 722101 複合単価: 27,600  
当初見積単価: 23,500 変更前見積: 25,400 変更後見積: 27,800

### 【計算】

当初見積単価をA、変更前見積をB1、変更後見積をB2、率(査定率)をKとすると、  
変更後の単価 =  $(B2 - B1) \times K \times A / B1 + A \times K$   
※上記下線部のA/B1の値が1を超える場合は1として計算する。

- 3) [更新(計算)]ボタンをクリックするとデータに反映されます。

| 数量    | 単位 | 率      | 摘要1(公開・単価上限は不可) | 単価     | 金額     | 採用単価   | 採用金額   |
|-------|----|--------|-----------------|--------|--------|--------|--------|
| 4,000 | 個  | 1,0000 |                 | 23,500 | 94,000 | 23,500 | 94,000 |
| 8,000 | 個  | 1,0000 |                 | 3,350  | 26,800 | 3,350  | 26,800 |
| 1,000 | 個  | 1,0000 |                 | 5,500  | 5,500  | 5,500  | 5,500  |
| 2,000 | 個  | 1,0000 |                 | 2,000  | 4,000  | 2,000  | 4,000  |
| 1,000 | 個  | 1,0000 |                 | 3,400  | 3,400  | 3,400  | 3,400  |
| 1,000 | 組  | 1,0000 |                 | 58,300 | 58,300 | 58,300 | 58,300 |

基礎単価コード: 622101 複合有無: 有 単価種別: 1-一般工事(A)

名称: 混合水栓  
規格・仕様: TKG31 UGP  
単位: 個 数量: 4,000 率: 1,0000

## 4

## 標準代価(8 頭コート)・複合単価 (9 頭コート) 登録・再計算【設計変更】

## 1 設計変更時の標準代価登録

- 1) メインメニューの[4.標準代価作成]→[1.標準代価登録・再計算]をダブルクリックすると、当該標準代価登録画面が表示されます。
- 2) 該当する階層下に、設計変更単価登録用のシートを作成して下さい。  
 ※ここでの操作は、原設計時の代価作成方法と同様です。  
 ※原設計(前設計)時に作成したフォルダー・シートの名称の変更・削除はできません。  
 ※原設計(前設計)時に作成したシートに単価コードの追加登録は出来ません。別のシートを新規作成し、作成したシートに単価コードの追加を行う運用とします。

| コード      | 名称             | 規格・仕様            | 単位 | 単価      | 摘要1 | 摘要2 | 複単有無 | 複単コード    | 複合単価   | 設計回     |
|----------|----------------|------------------|----|---------|-----|-----|------|----------|--------|---------|
| B1101    | 水エチレン管継手       |                  | 式  | 265,000 |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1102    | 防露塗装費(PEP)     |                  | 式  | 25,900  |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1103    | 路面復旧費(引込部 土工事) |                  | 式  | 159,000 |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1104    | 土工事(屋外給水管)     |                  | 式  | 171,000 |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1105    | 防露塗装費(屋内給水管)   |                  | 式  | 96,400  |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1106    | 防露塗装費(屋内排水管)   |                  | 式  | 45,000  |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1107    | 防露塗装費(給湯管)     |                  | 式  | 27,400  |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1108    | 室外機用コンクリート基礎   |                  | 式  | 26,500  |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1109    | 予備み(小〜(仮70用))  |                  | 式  | 0       |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1110    | 防露塗装費(給湯管)     |                  | 式  | 20,600  |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1111    | 差圧式給気口用予備み(小)  |                  | 式  | 0       |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1112    | ファンボックス        |                  | 式  | 10,000  |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1113    | 断熱工事(外)        |                  | 式  | 17,800  |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1114    | 洋風大便器          | CS90EX(SH91BA)   | 組  | 55,600  |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1115    | 身障者用便器         | C48ASU(TS740BRX) | 組  | 46,800  |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1116    | 和風大便器          | C735VUIS(S70B)   | 組  | 43,500  |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1117    | 小便器            | U807QU(T80FQX)   | 組  | 28,800  |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1118    | 洗面器            | L250DM(TL605A)   | 組  | 18,200  |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1119    | 身障者用洗手器        | L593             | 組  | 51,100  |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1120    | 化粧鏡            | TS119FAVR13      | 面  | 22,200  |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1121    | 化粧鏡            | TS119FERAV3      | 面  | 21,400  |     |     | 無    |          |        | 【原設計】   |
| B1221001 | 保溫工事費          |                  |    | 8,690   |     |     | 有    | 91221001 | 20,000 | 【原設計】   |
| B12A001  | 排水樹設置費         | 樹口径200A          | 式  | 49,770  |     |     | 有    | 9A001    | 52,700 | 【設計変更1】 |

※上画面は、標準代価登録で、設計変更用単価シートとして「共通代価」フォルダー内に新しく812Aの固定コードの単価シートを作成し、単価を登録した状態です。

※ 単価一覧表示部の右端(枠囲み部分)に、作成された原設計・変更回が表示されます。

※ 現在の設計変更よりも前の設計回に登録された代価は名称などの変更は出来ませんが、代価の明細は変更出来ます(次項の「代価の設定」を参照)。なお、フォルダー・シートのコピーは可能です

※ コード番号が重複しないように、ご注意ください。

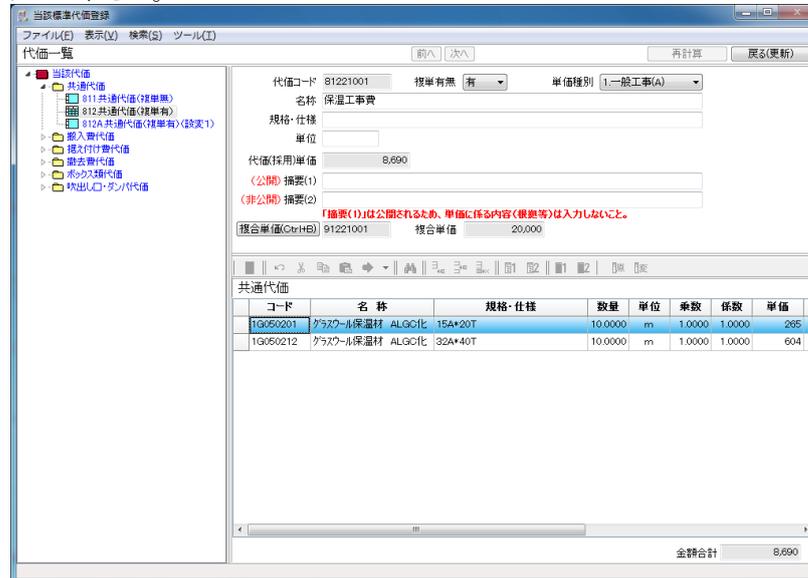
※ 現設計で追加または代価の設定をした代価については、代価一覧登録表示の単価コードの左のグレーの固定表示部分に「※」が表示されます。

| コード       | 単価種別     | 名称     | 規格・仕様   | 単位 | 金額     | 摘要1 |
|-----------|----------|--------|---------|----|--------|-----|
| ※ B12A001 | 1-般工事(A) | 排水樹設置費 | 樹口径200A | 式  | 49,770 |     |

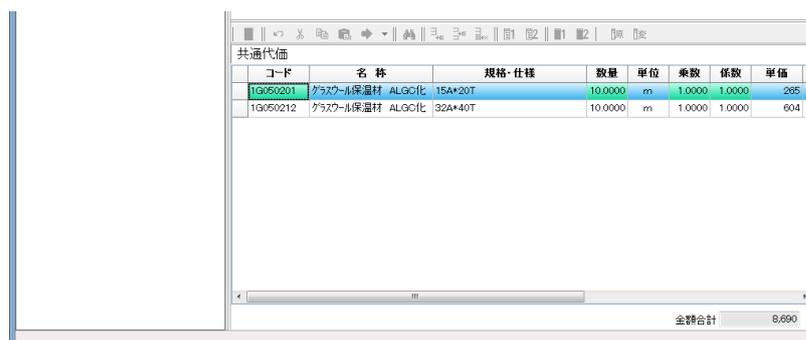
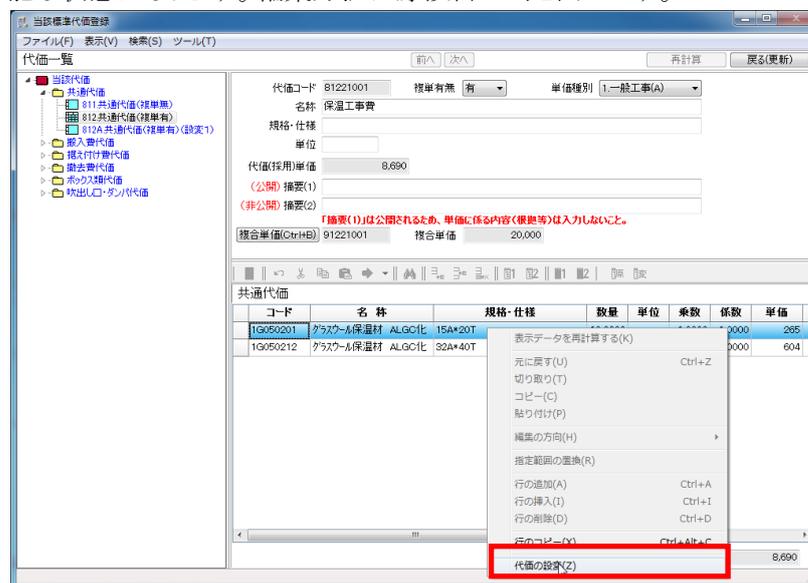
## 2 代価の設変

代価の設変とは、現在の設計変更よりも前の設計回に登録された代価の積み上げ明細情報を編集する機能です。本項では共通代価表で解説しますが、他の代価表も操作方法は同様です。

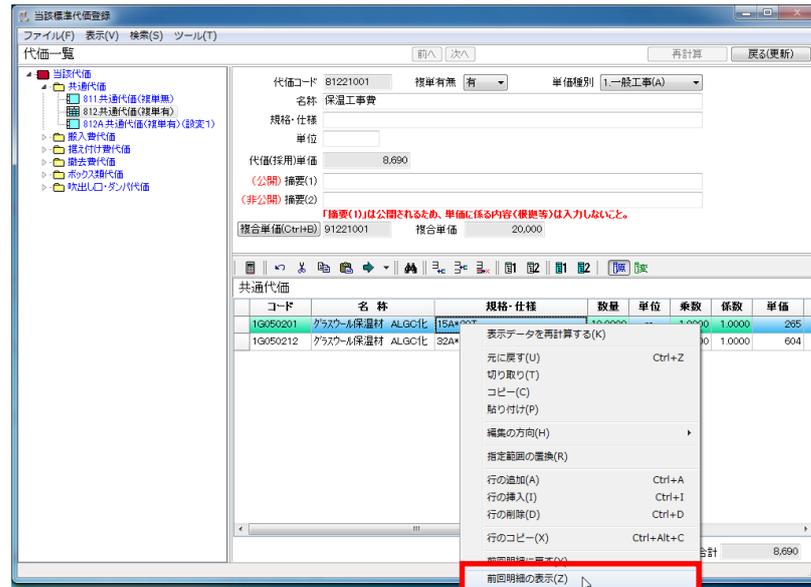
- 1) 現在の設計変更よりも前の設計回に登録済みの編集対象の代価の積み上げ明細情報を表示して下さい。



- 2) 表部分で右クリック→[代価の設変(Z)]をクリックすると、代価の積み上げ明細情報が編集可能な状態になります。編集方法は原設計の時と同じです。



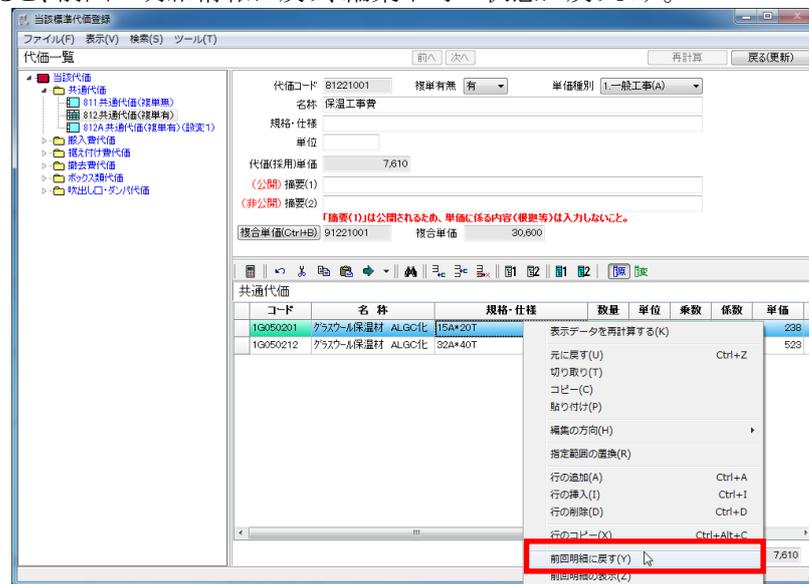
※ 前回の明細情報を表示したい場合は、表部分で右クリック→[前回明細の表示(Z)]をクリックすると、前回の明細情報が別画面で表示されます。



前回明細表示画面

| コード      | 名称              | 規格・仕様   | 数量      | 単位 | 乗数     | 係数     | 単価  | 金額   | 摘要1(公開・単価根拠は) | 摘要 |
|----------|-----------------|---------|---------|----|--------|--------|-----|------|---------------|----|
| 1G050201 | ガラスウール保温材 ALGC化 | 15A*20T | 10.0000 | m  | 1.0000 | 1.0000 | 238 | 2380 | 建設物価該当あり      |    |
| 1G050212 | ガラスウール保温材 ALGC化 | 32A*40T | 10.0000 | m  | 1.0000 | 1.0000 | 523 | 5230 | 建設物価該当あり      |    |

※ 前回の明細情報に戻りたい場合は、表部分で右クリック→[前回明細に戻す(Y)]をクリックすると、前回の明細情報に戻り、編集不可の状態に戻ります。



| コード      | 名称              | 規格・仕様   | 数量      | 単位 | 乗数     | 係数     | 単価  |
|----------|-----------------|---------|---------|----|--------|--------|-----|
| 1G050201 | ガラスウール保温材 ALGC化 | 15A*20T | 10.0000 | m  | 1.0000 | 1.0000 | 265 |
| 1G050212 | ガラスウール保温材 ALGC化 | 32A*40T | 10.0000 | m  | 1.0000 | 1.0000 | 604 |

金額合計 8,690

## 5 共通費～内訳明細入力

## 1 設計変更時の共通費の入力

1) メインメニューの[5.内訳書の作成]→[1.共通費の入力]をダブルクリックすると、共通費の入力画面が表示されます。

※ここでの操作は、原設計時の共通費の入力と同様です。操作方法については、共通費の入力〈本書P106〜〉を参照して下さい。

2) 必要に応じて、[02.共通仮設費(積上げ入力)]・[03.現場管理費(積上げ入力)]・[04.一般管理費(積上げ入力)]シートを開き、単価の追加及び数量の増減を行って下さい。

該当するシートをダブルクリックすると、積上げ明細編集表示となります。

|       |          | 原設計   |              | 増減  |         | 設計変更(1) |           |
|-------|----------|-------|--------------|-----|---------|---------|-----------|
| 単価コード | 名称       | 規格・仕様 | 単位           | 単価  | 数量      | 金額      | 数量        |
| 0     | LB000810 | 警備員費  | 月極め契約 昼間     | 人/月 | 217,350 | 5,000   | 1,086,750 |
| 1     | LB040130 | 単管本足場 | 高さ10m未満 かけ払  | 掛m2 | 120,000 | 141,120 | 1,176     |
| 1     | LB040131 | 単管本足場 | 高さ10m未満 100日 | 掛m2 | 120,000 | 54,120  | 451       |
| 1     | LB040300 | 安全てすり | 枠組本足場用 かけ    | 掛m  | 50,000  | 15,750  | 315       |
| 1     | LB040301 | 安全てすり | 枠組本足場用 100   | 掛m  | 50,000  | 10,500  | 210       |

・原設計時の単価:0  
・設計変更にて追加された単価:1～12

※増減数量 又は、変更後数量に 該当数量を入力してください。

※ 神戸市版環境では、共通仮設工事費積上げによる明細、現場・一般管理費積上げによる明細入力時の随時計算の際、各明細行の設計変更後の単価・金額が0円以下または100万円以上となる場合はセルの色が黄色になり、太文字になります。

| 設計変更(1) |        |         | 増減      |           | 設計変更(2)   |        |           |
|---------|--------|---------|---------|-----------|-----------|--------|-----------|
| 単価      | 数量     | 金額      | 数量      | 金額        | 単価        | 数量     | 金額        |
| 380     | 30,000 | 11,400  | -30,000 | -11,400   | 380       | 0,000  | 0         |
| 1,410   | 25,000 | 35,250  | 0       | 0         | 1,410     | 25,000 | 35,250    |
| 74,600  | 5,000  | 373,000 | 0       | 0         | 74,600    | 5,000  | 373,000   |
| 600     | 24,000 | 14,400  | 0       | 0         | 600       | 24,000 | 14,400    |
| 12,000  | 1,000  | 12,000  | 0       | 0         | 12,000    | 1,000  | 12,000    |
|         |        |         | 0       | 0         | 0         | 0      | 0         |
|         |        |         | 1,000   | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000  | 1,000,000 |

※【参考】設備積算では使用しない設計変更時の項目

※ 項目は、行の右末尾にあります。

| 増減 |         | 設計変更(1) |         | 摘要1(公開・単価根拠は) | 摘要2(非公開)  | 工種               | 単価種別 | 専 任       | 仮 設 | 新 % |   |
|----|---------|---------|---------|---------------|-----------|------------------|------|-----------|-----|-----|---|
| 数量 | 金額      | 単価      | 数量      | 金額            |           |                  |      |           |     |     |   |
| 0  | 0.1000  | 21,735  | 217,350 | 5,100         | 1,108,485 | 25日勤務            | 1新営  | 1-一般工事(A) | 0   | 1   | 0 |
| 1  | 120,000 | 141,120 | 1,176   | 120,000       | 141,120   | 1-2F建            | 1新営  | 1-一般工事(A) | 0   | 1   | 0 |
| 1  | 120,000 | 54,120  | 451     | 120,000       | 54,120    | 1-3F建 日割積料は1/100 | 1新営  | 1-一般工事(A) | 0   | 1   | 0 |
| 1  | 50,000  | 15,750  | 315     | 50,000        | 15,750    |                  | 1新営  | 1-一般工事(A) | 0   | 1   | 0 |
| 1  | 50,000  | 10,500  | 210     | 50,000        | 10,500    | 日割積料は1/100とすること  | 1新営  | 1-一般工事(A) | 0   | 1   | 0 |

※【新】：新単価フラグ(0:落札率を乗じる、1:乗じない)

- ・設計変更時に追加された単価の初期値は「0」(落札率を乗じる)となります。
- ・落札率を乗じない単価に設定した行がある場合の請負増減額の算出根拠の確認が必要な場合は、請負金額算出根拠表(〈本書:P140 参照〉)を出力の上確認します。

※【%】：%単位単価の再計算の有無(1:する、0:しない)

- ・1回目設計変更の初期値を「1」(%単位単価の再計算をする)となります。
- ・%単位以外の単価は空白表示となります。

## 2 設計変更時の内訳明細入力

- 1) メインメニュー[5.内訳書の作成]→[4.内訳書入力・再計算]をダブルクリックし、内訳書の入力・再計算画面を表示して下さい。  
※ ここでの操作は、原設計時と同様です。操作方法については、内訳書の入力・再計算〈本書 P111〉を参照して下さい。
- 2) 必要に応じて、フォルダー及びシートを追加して下さい。
- 3) 必要に応じて、各項目(科目・中科目)シートを開き、単価の追加及び数量の増減を行って下さい。

該当する項目(科目・中科目)シートをダブルクリックすると、内訳明細編集画面になります。

| 原設計 |        | 増減    |        | 設計変更(1) |         |
|-----|--------|-------|--------|---------|---------|
| 単価  | 数量     | 数量    | 金額     | 単価      | 金額      |
| 0   | 36,000 | 4,000 | 17,120 | 4,280   | 171,200 |
| 0   | 1,000  | 0     | 0      | 2,041   | 2,041   |
| 0   | 1,000  | 0     | 0      | 995     | 995     |
| 0   | 1,000  | 0     | 0      | 6,040   | 6,040   |
| 0   | 4,000  | 0     | 0      | 6,790   | 27,160  |
| 0   | 1,000  | 0     | 0      | 6,910   | 6,910   |
| 0   | 1,000  | 0     | 0      | 7,660   | 7,660   |
| 0   | 7,000  | 0     | 0      | 1,700   | 11,900  |
| 0   | 1,000  | 0     | 0      | 147,000 | 147,000 |
| 1   | 0      | 1,000 | 52,700 | 52,700  | 52,700  |

- ・原設計時の単価:0
- ・設計変更にて追加された単価:1~12

※増減数量 又は、変更後数量に 該当数量を入力してください。

※ [従工事]シートについては、[変更後単価]項目に設計変更後の金額をを入力し、増減を行って下さい。

※ 神戸市版環境では、内訳明細入力時の随時計算の際、設計変更後の単価・金額が0円以下または100万円以上となる場合はセルの色が黄色になり、太文字になります(従工事シートを除く)。

| 設計変更(1) |        |         | 増減      |           | 設計変更(2)   |        |           |
|---------|--------|---------|---------|-----------|-----------|--------|-----------|
| 単価      | 数量     | 金額      | 数量      | 金額        | 単価        | 数量     | 金額        |
| 380     | 30,000 | 11,400  | -30,000 | -11,400   | 380       | 0.0000 | 0         |
| 1,410   | 25,000 | 35,250  | 0.0000  | 0         | 1,410     | 25,000 | 35,250    |
| 74,600  | 5,000  | 373,000 | 0.0000  | 0         | 74,600    | 5,000  | 373,000   |
| 600     | 24,000 | 14,400  | 0.0000  | 0         | 600       | 24,000 | 14,400    |
| 12,000  | 1,000  | 12,000  | 0.0000  | 0         | 12,000    | 1,000  | 12,000    |
|         |        |         | 0.0000  | 0         | 0         | 0.0000 | 0         |
|         |        |         | 1,000   | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000  | 1,000,000 |

※【参考】設備積算では使用しない設計変更時の項目

※ 項目は、行の右末尾にあります。

| 設計変更(1) |         |        |         | 摘要1(公開・単価根拠は不可) | 摘要2(非公開) | 工種   | 単価種別   | GP | 仮 | 新% |
|---------|---------|--------|---------|-----------------|----------|------|--------|----|---|----|
| 金額      | 単価      | 数量     | 金額      |                 |          |      |        |    |   |    |
| 17,120  | 4,280   | 40,000 | 171,200 |                 |          | 1.新宮 | 1.一般工事 | 1  | 0 | 0  |
| 0       | 2,041   | 1,000  | 2,041   |                 |          | 1.新宮 | 1.一般工事 | 1  | 0 | 0  |
| 0       | 995     | 1,000  | 995     |                 |          | 1.新宮 | 1.一般工事 | 1  | 0 | 0  |
| 0       | 6,040   | 1,000  | 6,040   |                 |          | 1.新宮 | 1.一般工事 | 1  | 0 | 0  |
| 0       | 6,790   | 4,000  | 27,160  |                 |          | 1.新宮 | 1.一般工事 | 1  | 0 | 0  |
| 0       | 6,910   | 1,000  | 6,910   |                 |          | 1.新宮 | 1.一般工事 | 1  | 0 | 0  |
| 0       | 7,660   | 1,000  | 7,660   |                 |          | 1.新宮 | 1.一般工事 | 1  | 0 | 0  |
| 0       | 1,700   | 7,000  | 11,900  |                 |          | 1.新宮 | 1.一般工事 | 1  | 0 | 0  |
| 0       | 147,000 | 1,000  | 147,000 |                 |          | 1.新宮 | 1.一般工事 | 1  | 0 | 0  |
| 1       | 52,700  | 52,700 | 1,000   | 52,700          |          | 1.新宮 | 1.一般工事 | 1  | 0 | 0  |

※【新】: 新単価フラグ(0: 落札率を乗じる、1: 乗じない)

- ・設計変更時に追加された単価の初期値は「0」(落札率を乗じる)となります。
- ・落札率を乗じない単価に設定した行がある場合の請負増減額の算出根拠の確認が必要な場合は、請負金額算出根拠表(〈本書 P140 参照〉)を出力の上確認します。

※【%】: 単位が%の引き込み単価及び計算コードの「直接仮設工事費」の再計算の有無(1: する、0: しない)  
・それ以外の単価は空白表示となります。

## 9

## FAQ(よくある質問と回答)

## 1

## 本取扱説明書について

- Q1** 本取扱説明書は金入りで表示されていますが、設計事務所等にそのままの状態ですぐ貸し出しても問題無いか？
- A** 擬似単価を使用して計算し、非公開事項は省略していますので、設計事務所等にそのままの状態ですぐ貸し出しが可能です。なお、同じ設計事務所等に入力を委託する場合でも、積算システムを初めて利用される方が入力作業をされる場合もありますので、必ず貸し出して下さい。
- Q2** 本取扱説明書を複数部頂きたい(設計事務所等に貸し出し頂きたい)。
- A** 技術管理委員会事務局(設計事務所等の方は神戸市設計担当者)へ御相談下さい。

## 2

## セットアップ・アンインストールについて

- Q3** 設計事務所等にセットアップ CD-ROM を貸し出すが枚数が不足している。各所属で複製してもよいのか？
- A** 作業方法により正常に複製が出来ない場合がありますので、必ず技術管理委員会事務局から配布されたものを使用して下さい。枚数が不足する場合は、技術管理委員会事務局にご相談下さい。
- Q4** セットアップ CD-ROM をドライブに挿入したが、積算システムインストールメニューが起動しない。
- A** リムーバブルメディア(CDドライブ含む)の自動再生機能が無効になっている場合、インストールメニューは自動的に表示されません。その場合は、エクスプローラーで CD ドライブを開き、「SETADD21.exe」をダブルクリックして実行して下さい。〈本書 P2 参照〉。
- Q5** セットアップ CD-ROM が正しく読み込めない。または、セットアップ中にデータが読み込めない旨のエラーメッセージが表示される。
- A** 信号面に汚れがある場合は傷の付きにくい柔らかい布等で拭き取って下さい。なお、大きな傷が付いたものは正常に使用できません。また、まれに正常にデータが記録できていないセットアップ CD-ROM が混在していた可能性もあります。その際は、技術管理委員会事務局にご相談下さい。  
**※セットアップ CD-ROM は、信号面に傷や指紋等の汚れを付けないよう丁寧に取り扱いして下さい。**
- Q6** 本システムのバージョンアップ方法は？
- A** 新バージョンのセットアップ CD-ROM にて上書きインストールして下さい。
- Q7** バージョンアップや上書きインストールすると、既存の内訳書ファイルは消えないか？
- A** 消えません。そのままの状態が残ります。
- Q8** 本書の削除の手順〈本書 P12 参照〉に従い、コントロールパネルの項目から本システムをアンインストール(削除)したのみの場合は、既存の内訳書ファイルは消えないか？
- A** 消えません。完全削除が必要な場合は、本システムのインストール先フォルダーを削除して下さい。〈本書 P13 参照〉。

**Q9** 神戸市認証版で運用するつもりだが、誤って「設計事務所版で運用」ボタンをクリックしてしまったため、設計事務所版となってしまった。上書きインストールしても変わらない。

**A** 本書の削除の手順<本書 P12 参照>に従い、コントロールパネルの項目から本システムをアンインストール(削除)し、本システムを再インストールして下さい。

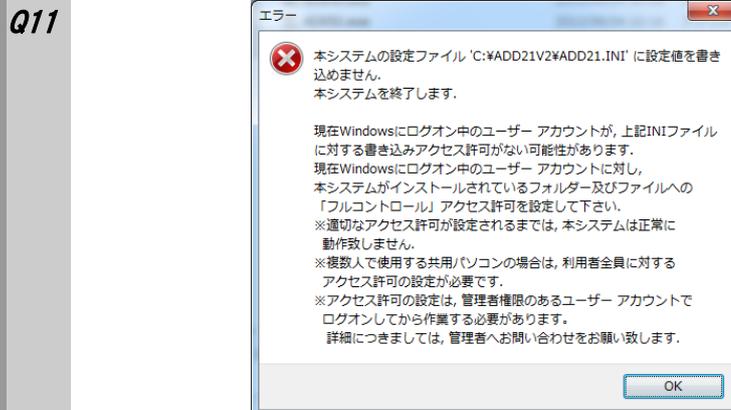
### 3 セットアップ後、正常起動しない場合について

**Q10** 下のようなエラーメッセージが表示され、正常に起動しない。



Microsoft Access データベースエンジンのインストールを行って下さい<本書 P10 参照>。

**A** 下記のようなエラーメッセージが表示され、正常に動作しない。



**A** 本システムのインストール先フォルダーまたは本システムで使用するファイルに対して書き込み(更新)を行うアクセス権限がない可能性が考えられます。(統合管理システムによる影響や標準ユーザーに対するアクセス制限が設定されている可能性があります。)本システムのインストール先は、本システムを利用される(Windows 側の)ユーザーに対してフルコントロールのアクセス許可が必要です。詳細につきましては、システム管理者の方にお問い合わせ下さい。

**Q12** 64ビット版の Windows 7 環境で動作しているのに、64ビット版の Microsoft Office には対応していないのはなぜか？

**A** 本システム自体が 32ビット版であるため、64ビット版の Microsoft Office とはビット数の違いにより命令や動作の相互連携ができないためです。  
※動作環境について<本書 P1 参照>

**Q13** Microsoft Virtual PC・VMware・Apple Boot Camp 等の仮想マシン環境にインストールしてで実行したが、若干動作が不安定なように思われる。また、Macintosh 用マウスに右クリックボタンがないため、右クリック操作が出来ない。

**A** 動作確認を実施していないため、動作は保証しません。なお、現状、仮想マシン環境への対応予定はありません。

動作が不安定である。

**Q14** **A** 何らかの原因で一時的に動作が不安定になっている可能性があります。一旦積算システムを終了後、コンピュータを再起動して動作確認をお願いします。なお、それでもなお不安定な場合は、本システムを上書きインストールして、動作確認をお願いします。

4 **本システムの操作に関する内容について**

**Q15** 複数人で別々の内訳書ファイルで入力したデータを1つの内訳書ファイルに併合することは可能か？

**A** 複数人で入力完了後、パターンコピー機能<本書 P32 参照>を使用し、代表となる内訳書ファイルにデータをパターンコピーして下さい。

**Q16** 既存の内訳書ファイルの内容を利用して、他の工事の内訳書を入力したい。

**A** 方法1:名前をつけて保存<本書 P42 参照>により別ファイル名で保存し、新たに作成されたファイルを変更して下さい。  
方法2:パターンコピー機能<本書 P32 参照>を使用し、既存の内訳書ファイルの内容をパターンコピーして下さい。

**Q17** 本システムは設計数量拾い出し機能はあるか？

**A** ありません。別途 Excel や手作業にて数量拾い出し作業を行い、その結果を本システムに入力して下さい。

**Q17** フォルダーまたはシートを新規作成すると、その階層の最下の位置に作成されたので、並びを修正したい。

**A** 「フォルダー、シートの移動」の手順により並びを修正して下さい<本書 P24 参照>。

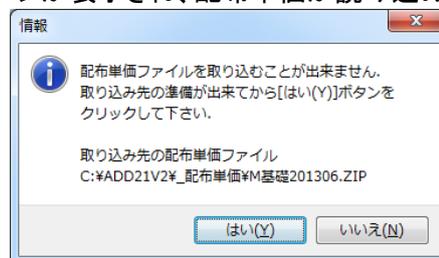
**Q18** 「端数処理」項目の設定値とその結果について知りたい。  
※「2.有効3桁」・「3.有効3桁(0)」・「6.有効3桁(6)」の処理の違いは？

**A** 「端数処理について」<本書 P30 参照>を確認して下さい。

**Q19** 単価コードのルールや配布単価のファイル名について知りたい。

**A** 「単価コードについて」<本書 P28 参照>を確認して下さい。

**Q20** 下記のメッセージが表示され、配布単価が読み込めない。



**A** 使用単価ファイルの設定及び配布単価ファイルの読み込み先フォルダーを確認して下さい<本書 P58～参照>。

**Q21** 代価や内訳書で、「上行の〇%」・「あるグループの合計の〇%」というような計算をしたい。

**A** 「内訳明細・代価の計算コードについて」<本書 P29 参照>を確認して下さい。

- Q22** 印刷帳票のフッターに印字される部課名を変更したい。
- A** 「環境設定(基本設定)」<本書 P38 参照>にて変更して下さい。
- Q23** 本システムのインストール先・内訳書の保存先・使用単価の設定値で、「:」「¥」記号やフォルダ名などの文字列は何を意味しているか？(例 C:¥ADD21V2¥ 配布単価¥M 標準 201306.zip)
- A** 上記例の場合、「:」記号の前の“C”はドライブ名、「¥」記号はフォルダの階層の区切りを意味します。なお、最後の「¥」記号の後はファイル名になります。つまり、Cドライブ内の“ADD21V2”フォルダ内の“\_配布単価”フォルダに格納されている“A 標準 201306.zip”というファイルという意味になります。このような表現を、フォルダやファイルが存在する場所までの「パス文字列」と称されます。
- Q24** 設計書(甲表)の査印欄及びその他の項目を所属独自の様式に変更したい。
- A** Excel 編集にて変更して下さい(シートの保護を解除しないと操作できない部分もあります)。なお、計算式が設定されているセルは変更すると元に戻すことができませんので注意して下さい。
- Q25** (神戸市環境のみ)金抜きフラグ情報を消したい(不要なのに「金抜き内訳書です。…」と表示される)。
- A** 名前をつけて保存<本書 P42 参照>により同じファイル名で保存すると金抜きフラグ情報が解除されます。  
※誤って金入れ処理が必要な内訳書ファイルに対して上記処理を行わないように注意して下さい。
- Q26** 確定処理済の内訳書を編集したい。
- A** 名前をつけて保存<本書 P42 参照>により別ファイル名で保存すると確定処理済情報が解除されます。別ファイル名で保存した側のファイルを編集して下さい。  
※誤って同じファイル名で上書き保存を行わないように注意して下さい。
- Q27** 単価・代価登録画面や内訳明細の入力画面等、表形式の入力部で、同じ値で数量等を入力したい。
- A** コピー(Ctrl+C)→貼り付け(Ctrl+V)で入力して下さい<本書 P27 参照>。
- Q28** 内訳書の項目及び明細が多い大規模な工事を作業する際、内訳明細の入力を終えた後に項目へ戻る際、動きが非常に遅い。
- A** その内訳書ファイルを作業時のみ、「環境設定(基本設定)」<本書 P38 参照>にて、一時的に【内訳書の計算方法】を[手動]に設定して下さい(作業後、[自動]に戻して下さい)。
- Q29** 内訳明細を変更後、内訳書の再計算を未実施の状態でご共通費の入力画面を開くと、表示される金額が正しくないように思われる。
- A** 内訳書の再計算を行わないと正しい金額が表示されません。

## 補足

1

## 補足事項

## 平成 22 年度積算基準改定に伴う積算システム変更点 (Ver.β 1.50 以降)

## 《変更概要》

平成 22 年 6 月に、神戸市建築・設備工事の積算基準が改定され、これに伴い本システムの更新を行う。

(建築工事、電気設備工事、機械設備工事、昇降機設備工事のうち複数の工事を、同一工事で一括発注する場合の共通費計算方法が変更された。)

## 【バージョン 2.10 以降に対応する積算基準について】(補足 1~補足 3 を併せて参照)

(1) 新規に内訳書を作成する。

この場合、全て平成 29 年度以降の積算基準を適用したものとなる。

※ バージョン 2.10 以降は平成 29 年度以降積算基準を適用したものとなる。

→【新規作成時におけるバージョン 2.10 以前との変更部分】(補 3-1 参照)

(2) β 1.46 以前(積算基準 H21 年以前版)に作成された内訳書ファイルを、従来通りのまま β 1.46 以前の基準で編集・計算する。 ※ (3) の作業をしない限り、基準更新はしない。(設計変更する場合は、確定処理された原設計の基準にて継続して適用される。)

→【H21 以前積算基準を継続適用する場合の表示追加】(補 1-4 参照)

(3) β 1.46 以前(積算基準 H21 年以前版)にて作成された内訳書ファイルを、平成 22~23 年度以降の積算基準に適用するため、更新する。

→【H22~23 年度積算基準へ更新する手順】(補 1-5 参照)

## 【新規作成時における β 1.46 以前との変更部分】

(1) 建築工事、電気設備工事、機械設備工事、昇降機設備工事のうち複数の工事を、同一工事で一括発注する場合における、各工事の呼称を下記の通りとする。

| 平成 21 年度積算基準以前 (β 1.46 以前) |   | 平成 22 年度積算基準以降 (β 1.50 以降) |
|----------------------------|---|----------------------------|
| 主体工事 (元請工事)                | → | 主工事 (主たる工事)<br>※発注時の工事種別   |
| 下請工事                       | → | 従工事                        |

これに伴い、工事概要の入力画面(「【工事】」項目)は下図の通り変更となる。

(入力手順は変更なし。)

β 1.50 以降にて、新規作成する場合の「2. 内訳書の仕様設定」>「3. 工事概要の入力・印刷」画面

※【工事】を「2. 従工事」に設定した場合は、共通費の「一般管理費等」の金額は計算されません。

## (2) 従工事の入力方法の変更 (β 1.46 までの、下請け工事の入力に該当)

平成 22 年度以降積算基準では、従工事ごとの、「直接工事費」「共通仮設費」「現場管理費」をそれぞれ任意入力する。(従来の下請け工事費では、「直接工事費+経費」の入力のみ行っていた。)

## ～従工事の入力方法～

## ① 内訳書の入力」画面にて、「従工事」シートを作成する。

左側に表示されるツリービューで、追加(挿入)したい場所を選択し、右クリック→「新規作成(N)」→「従工事(X)」をクリックして下さい。

平成 22 年度以降の積算基準では、「従工事」の金額は「従工事」シートで入力する。

② 「工事区分」・「集計項目名(工事名)」を設定し、「OK」ボタンをクリックして下さい。  
※建築工事の「新営+改修」工事の場合は、「工種」も選択して下さい。

## ③ 追加した従工事シート(または右側の「集計情報」該当する行)をダブルクリックして下さい。

④ 従工事の担当者から提示された「直接工事費」・「共通仮設費」・「現場管理費」を該当する行の「単価」欄に入力し、「更新」ボタンをクリックして下さい。

※上から、従工事の「直接工事費」・「共通仮設費」・「現場管理費」の行が自動設定されます（行の追加・挿入・削除は出来ない）。

※「単価コード」・「規格・仕様」・「数量」・「単位」・「金額」は自動設定されるので編集出来ない。

※「名称」は前頁②のシートプロパティ「集計項目名（工事名）」に入力した設定値により自動設定されるが、任意の文字列に変更することも可能。

（シートプロパティの設定値により、想定外の文字列が自動設定される場合もある。）

※摘要1・摘要2は必要に応じて入力可能。

※小計は、従工事の「直接工事費」のみが計上される。



※設計変更時は、「単価」欄に設計変更金額を入力して下さい。



⑤ 「再計算」または「共通費の再計算」ボタンをクリックすると、従工事の内容を含む正しい計算結果が反映される。



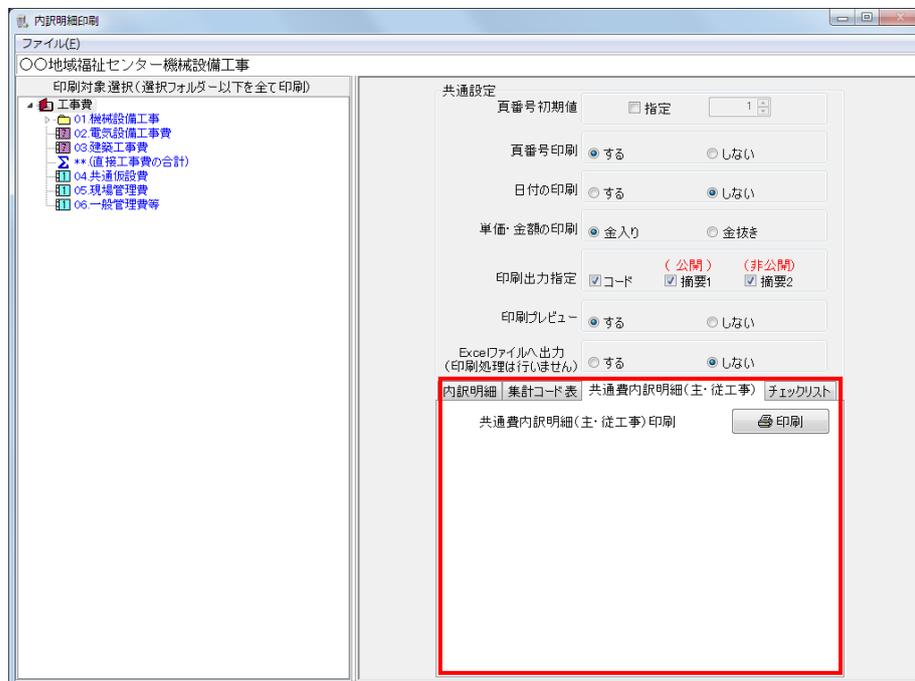
(3) 内訳書の印刷画面に共通費内訳明細（主・従工事）印刷機能を追加。

※平成 21 年度以前積算基準（β 1.46 以前）の内訳書では印刷ボタンは使用不可。

- ① 「共通費内訳明細（主・従工事）」タブを選択し、「印刷」ボタンをクリックすると、共通費内訳明細が出力されます。

[注意]

内訳書を再計算していない場合は正しい金額が出力されないため、事前に内訳書の再計算を行って下さい。

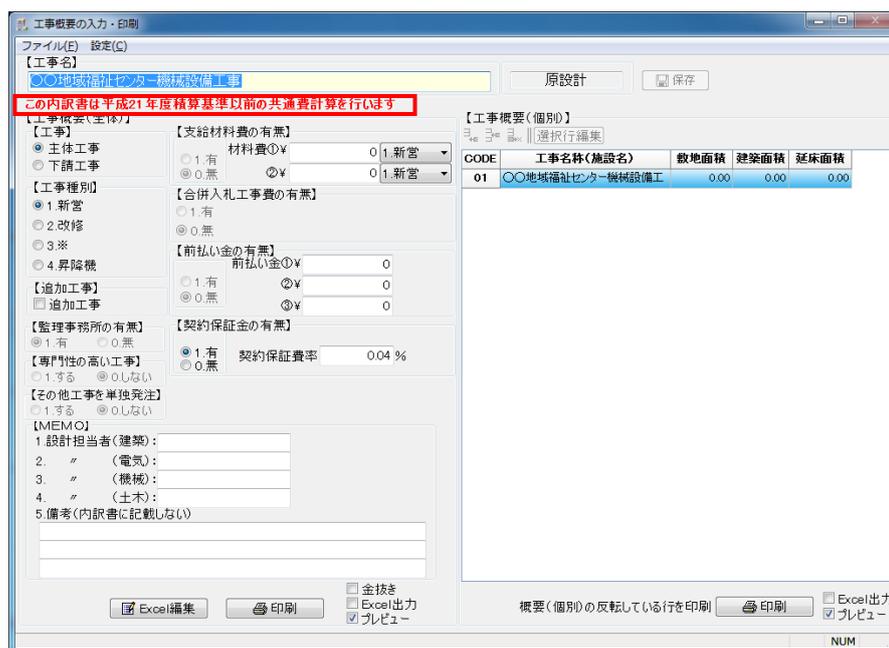


### 【H21 以前積算基準を継続適用する場合の表示追加】

バージョン更新による操作上の変更はなし。但し、下記について表示が追加される。(画面上の表示追加であり、印刷には影響しない。)

- ① 「2. 内訳書の仕様設定」 > 「3. 工事概要の入力・印刷」画面で、工事名称の下欄に“この内訳書は平成 21 年度積算基準以前の共通費計算を行います”と表示される。

※注意喚起のための表示。



- ② 「7. 内訳書の作成」 > 「4. 内訳書の入力・再計算」画面で、工事名称の左欄に“【平成21年度基準以前】”と表示される。

※注意喚起のための表示。印刷には反映しない。

| A  | B  | C  | D  | 金額        | 区分            |
|----|----|----|----|-----------|---------------|
| 00 | 00 | 00 | 00 | 8,445,300 | 工事費           |
| 01 | 00 | 00 | 00 | 6,295,300 | 機械設備工事        |
| 02 | 00 | 00 | 00 | 1,000,000 | 電気設備工事費       |
| 03 | 00 | 00 | 00 | 1,150,000 | 建築工事費         |
| ** | ** | ** | ** | 8,445,300 | (直接工事費の合計) 小計 |
| 04 | 00 | 00 | 00 | 0         | 共通仮設費         |
| 05 | 00 | 00 | 00 | 0         | 現場管理費         |
| 06 | 00 | 00 | 00 | 0         | 一般管理費等        |

### 【H22～23 年度積算基準へ更新する手順】

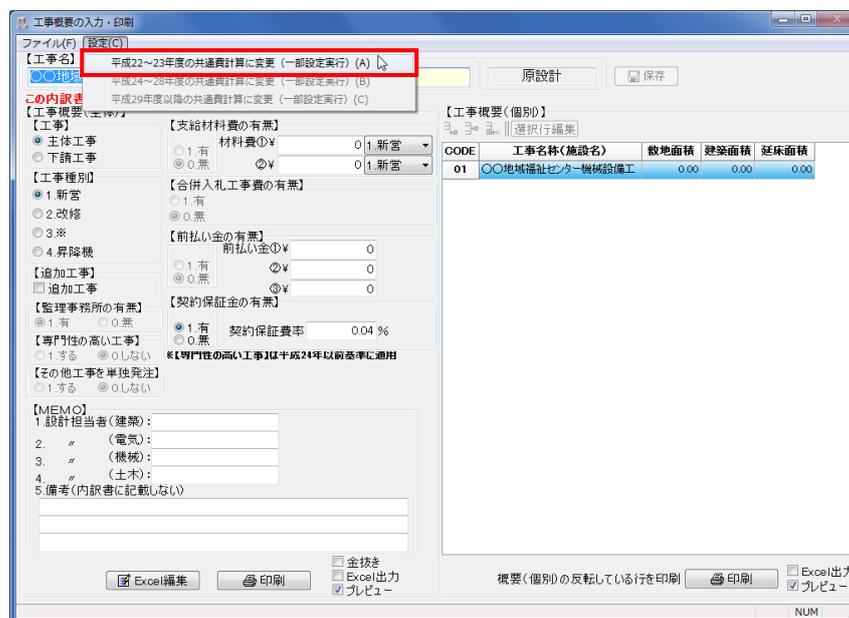
- β 1.46 以前で作成した、原設計確定前の内訳書ファイルのみ、変換が可能です。
- H22～23 年度積算基準よりも新しい積算基準への更新は、事前に H22～23 年度積算基準へ更新後に可能となります。
- 複数の工事種別を一括して発注しない場合（「下請工事」や「従工事」が無い場合）は、更新にかかわらず、数値に影響はありません（共通費計算の基準変更がないため）。但し、更新作業を行わない限り、前項【H21 以前積算基準を継続適用する場合の表示追加】①②の表示が出るようになります。

#### ～更新の設定方法～

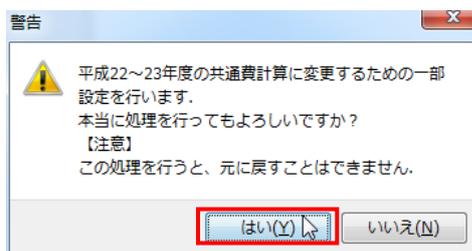
- ① 平成 21 年度以前の積算基準（β 1.46 以前）で作成している、更新したい対象の内訳書を読み込む。  
「1. 内訳書の管理」 > 「1. 内訳書の新規作成・読み込み」 > 「2. 読み込み」をクリックし、【内訳書の読み込み】画面より、対象の内訳書を選定する。
- ② 「2. 内訳書の仕様設定」 > 「3. 工事概要の入力・印刷」をクリックし、画面を開く。  
この画面では、工事名称の下欄に“この内訳書は平成 21 年度積算基準以前の共通費計算を行います”と表示される。

| CODE | 工事名称(施設名)        | 敷地面積 | 建築面積 | 延床面積 |
|------|------------------|------|------|------|
| 01   | 〇〇地域福祉センター-機械設備工 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |

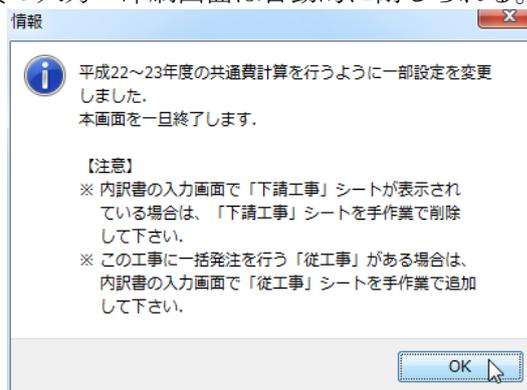
- ③ 画面左上にある、「設定」をクリックすると、「平成 22～23 年度の共通費計算に変更（一部設定実行）(A)」メニューが表示されるので、これをクリック。



- ④ 下図メッセージの「はい(Y)」ボタンをクリックすると、変換処理を行います。（中止する場合は、「いいえ(N)」ボタンをクリックして下さい。）



- ⑤ 下図メッセージが表示されたら、変換が完了し、一部の設定が変更されています。（工事概要の入力・印刷画面は自動的に閉じられる。）

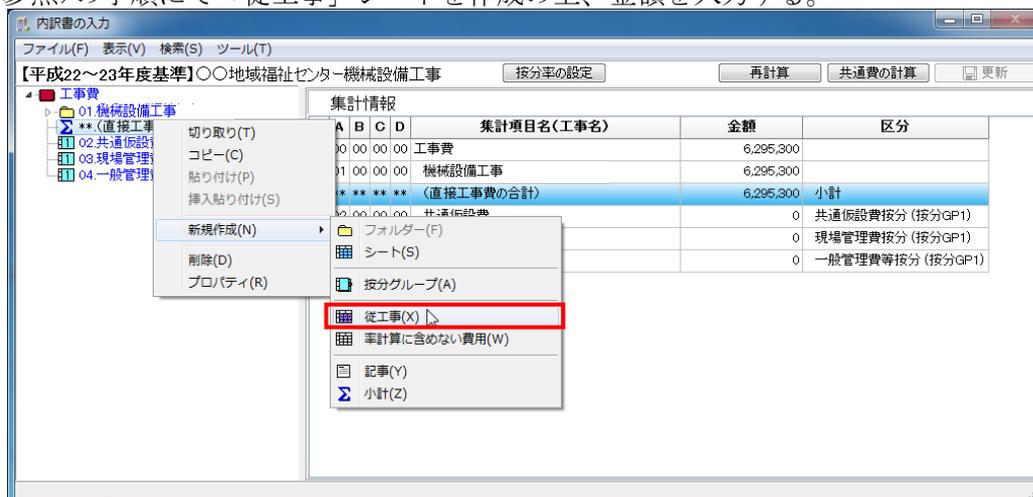


- ⑥ 以上で、内訳書ファイルの更新は終了しました。但し、⑤画面表示の【注意】にもあるように、「下請け工事」シートは「従工事」シートに自動では更新しません（従工事の「直接工事費」「共通仮設費」「現場管理費」の3種類の金額を任意入力する必要があるため）。この設定を行うため、引き続き以下⑦～⑨の作業を行ってください。

- ⑦「7. 内訳書の作成」 > 「4. 内訳書の入力・再計算」をクリックし、【内訳書の入力】画面で、「下請工事」シートがある場合は、手作業で削除する。



- ⑧従工事がある場合は、【新規作成時におけるβ1.46以前との変更部分】(2) <補 1-2 参照>の手順にて「従工事」シートを作成の上、金額を入力する。



- ⑨「再計算」または「共通費の再計算」ボタンをクリックすると、従工事の内容を含む正しい計算結果が反映される。



- ⑩以上で更新作業は終了しました。

2

平成 24 年度積算基準改定に伴う積算システム変更点 (Ver.β 1.60 以降)

《変更概要》

平成 24 年 6 月に、神戸市建築・設備工事の積算基準が改定され、これに伴い本システムの更新を行う。主として下記の内容が変更された。なお、詳細は積算基準を参照。

- ・ 共通仮設費率、現場管理費率を計算する際に、「工期」を反映した計算を行う。  
(工期延長のみの設計変更でも、共通費計算の金額が変更となる場合がある。)
- ・ 共通仮設費率を算定する直接工事費には、発生材処分費を含まない。
- ・ 現場管理費率を算定する純工事費には、発生材処分費を含まない。
- ・ その他、共通費計算時の一部率計算の変更。

【バージョン 2.10 以降に対応する積算基準について】(補足 1~補足 3 を併せて参照)

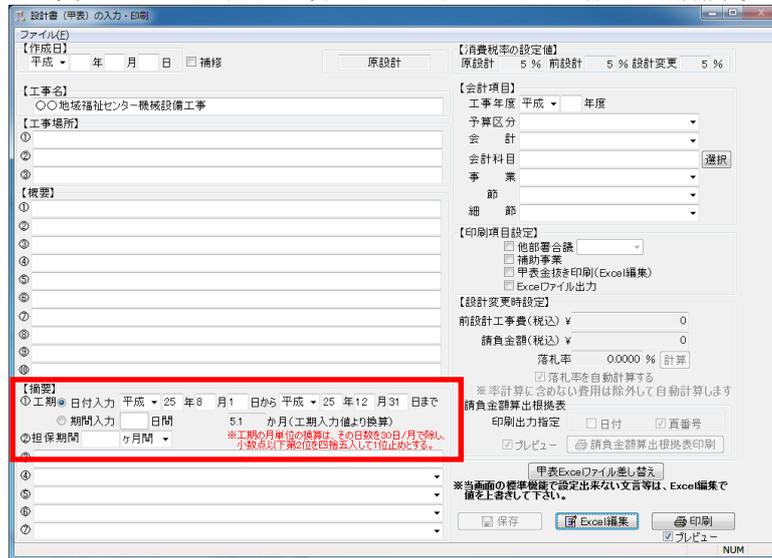
- (1) 新規に内訳書を作成する。  
この場合、全て平成 29 年度以降の積算基準を適用したものとなる。  
※ バージョン 2.10 以降は平成 29 年度以降積算基準を適用したものとなる。
- (2) β 1.56 以前 (積算基準 H23 年以前版) に作成された内訳書ファイルを、従来通りのまま β 1.56 以前の基準で編集・計算する。 ※ (3) の作業をしない限り、基準更新はしない。  
(設計変更する場合は、確定処理された原設計の基準にて継続して適用される。)  
→ 【H22~23 年度積算基準を継続適用する場合の表示追加】(補 2-2 参照)
- (3) β 1.56 以前 (積算基準 H23 年以前版) にて作成された内訳書ファイルを、平成 24~28 年度の積算基準に適用するため、更新する。  
→ 【H24~28 年度積算基準へ更新する手順】(補 2-3 参照)

1 工期の設定

設計書 (甲表) の入力・印刷画面<本書 P63~>にて日付入力または期間 (日間) の入力を行う。自動計算により求められた「工期 (か月)」の値を共通費計算に反映する。日付入力する場合は、原則として想定される契約予定日の翌日および契約上の工期末日の日付を入力する。工期延長による設計変更時は、工期末日の日付または期間を再設定する。

【注意】

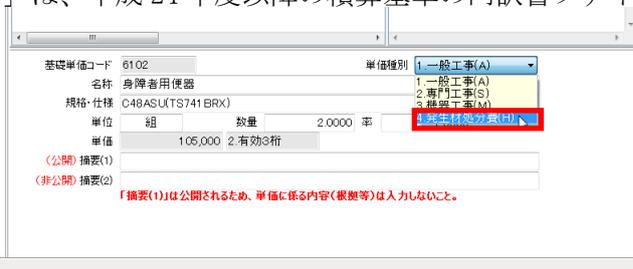
平成 24 年度以降積算基準を適用する内訳書ファイルにて工期が未入力の場合、内訳書及び共通費の入力や一括再計算処理が出来ません (設計事務所版を除く)。



2 発生材処分費の設定

当該単価・標準代価及び複合単価の入力時に指定する。

(「発生材処分費」は、平成 24 年度以降の積算基準の内訳書ファイルで表示される。)



## 【H22～23 年度積算基準を継続適用する場合の表示追加】

バージョン更新による操作上の変更はなし。但し、下記について表示が追加される。  
(画面上の表示追加であり、印刷には影響しない。)

- ① 「2. 内訳書の仕様設定」 > 「3. 工事概要の入力・印刷」画面で、工事名称の下欄に  
“この内訳書は平成 22～23 年度積算基準の共通費計算を行います” と表示される。

※注意喚起のための表示。

工事概要の入力・印刷

ファイル(F) 設定(C)

【工事名】

〇〇地域福祉センター機械設備工事

原設計 保存

この内訳書は平成22～23年度積算基準の共通費計算を行います

【工事概要(全体)】

【工事】

●主工事

○従工事

【工事種別】

●1.新営

○2.改修

○3.\*

○4.昇降機

【追加工事】

追加工事

【監理事務所の有無】

○1.有 ○0.無

【専門性の高い工事】

○1.する ○0.しない

【その他工事を単独発注】

○1.する ○0.しない

【MEMO】

1.設計担当者(建築):

2. " (電気):

3. " (機械):

4. " (土木):

5.備考(内訳書に記載しない)

【支給材料費の有無】

○1.有 材料費①¥ 0 | 新営

○0.無 ②¥ 0 | 新営

【合併入札工事費の有無】

○1.有

○0.無

【前払い金の有無】

○1.有 前払い金①¥ 0

○0.無 ②¥ 0

③¥ 0

【契約保証金の有無】

●1.有 契約保証费率 0.04 %

○0.無

【工事概要(個別)】

選択行編集

| CODE | 工事名称(施設名)       | 敷地面積 | 建築面積 | 延床面積 |
|------|-----------------|------|------|------|
| 01   | 〇〇地域福祉センター機械設備工 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |

Excel編集 印刷 金抜き Excel出力 プレビュー

概要(個別)の反転している行を印刷 印刷 Excel出力 プレビュー

NUM

- ② 「7. 内訳書の作成」 > 「4. 内訳書の入力・再計算」画面で、工事名称の左欄に“【平成 22～23 年度基準】” と表示される。

※注意喚起のための表示。印刷には反映しない。

内訳書の入力

ファイル(F) 表示(V) 検索(S) ツール(T)

平成22～23年度基準 〇〇地域福祉センター機械設備工事

按分率の設定 再計算 共通費の計算 更新

01 〇〇地域福祉センター

● \*\* 直接工事費の合計

02 共通仮設費

03 現場管理費

04 一般管理費等

集計情報

| A  | B  | C  | D  | 集計項目名(工事名) | 金額        | 区分              |
|----|----|----|----|------------|-----------|-----------------|
| 00 | 00 | 00 | 00 | 工事費        | 8,610,000 |                 |
| 01 | 00 | 00 | 00 | 機械設備工事     | 8,610,000 |                 |
| ** | ** | ** | ** | (直接工事費の合計) | 8,610,000 | 小計              |
| 02 | 00 | 00 | 00 | 共通仮設費      | 0         | 共通仮設費按分(按分GP1)  |
| 03 | 00 | 00 | 00 | 現場管理費      | 0         | 現場管理費按分(按分GP1)  |
| 04 | 00 | 00 | 00 | 一般管理費等     | 0         | 一般管理費等按分(按分GP1) |

## 【H24～28 年度積算基準へ更新する手順】

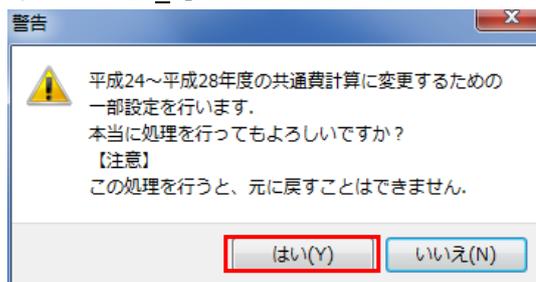
- β 1.56 以前で作成した、原設計確定前の内訳書ファイルのみ、変換が可能です。
- H21 以前積算基準の内訳書は、事前に平成 22～23 年度以前の積算基準に更新作業後に H24～28 年度積算基準へ更新可能となります。〈本書 補 1-5 参照〉。
- H24～28 年度積算基準よりも新しい積算基準への更新は、事前に H24～28 年度積算基準へ更新後に可能となります。

## ～更新の設定方法～

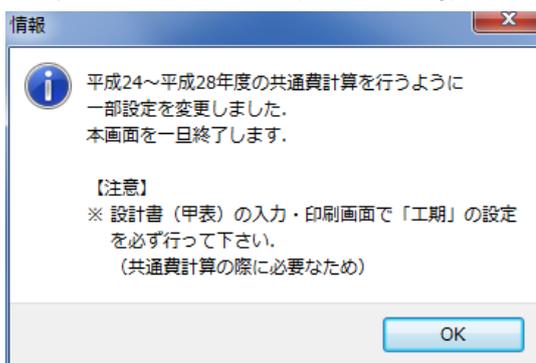
- ① 平成 22～23 年度以前の積算基準（β 1.56 以前）で作成している、更新したい対象の内訳書を読み込む。  
「1. 内訳書の管理」 > 「1. 内訳書の新規作成・読み込み」 > 「2. 読み込み」をクリックし、【内訳書の読み込み】画面より、対象の内訳書を選定する。
- ② 「2. 内訳書の仕様設定」 > 「3. 工事概要の入力・印刷」をクリックし、画面を開く。  
この画面では、工事名称の下欄に“この内訳書は平成 22～23 年度積算基準の共通費計算を行います”と表示される。

- ③ 画面左上にある、「設定」をクリックすると、「平成 24～28 年度の共通費計算に変更（一部設定実行）(B)」メニューが表示されるので、これをクリック。

- ④下図メッセージの「はい(Y)」ボタンをクリックすると、変換処理を行います。  
(中止する場合は、「いいえ(N)」ボタンをクリックして下さい。)



- ⑤下図メッセージが表示されたら、変換が完了し、一部の設定が変更されています。  
(工事概要の入力・印刷画面は自動的に閉じられる。)



- ⑥以上で、内訳書ファイルの更新は終了しました。  
但し、共通費計算に必要な「工期 (か月)」の設定が必要なため、設計書 (甲表) の入力・印刷画面<本書 P63～>にて入力する。

## 3

## 平成 29 年度積算基準改定に伴う積算システム変更点 (Ver.2.10 以降)

## 《変更概要》

平成 29 年 4 月に一般管理費率の計算の変更による神戸市建築・設備工事の積算基準が改定されたことに伴い、本システムの更新を行う。

## 【バージョン 2.10 以降に対応する積算基準について】(補足 1～補足 3 を併せて参照)

(1) 新規に内訳書を作成する。

この場合、全て平成 29 年度以降の積算基準を適用したものとなる。

※ バージョン 2.10 以降は平成 29 年度以降積算基準を適用したものとなる。

(2) バージョン 2.07 以前 (積算基準 H28 年以前版) に作成された内訳書ファイルを、従来通りのままの基準で編集・計算する。 ※ (3) の作業をしない限り、基準更新はしない。

(設計変更する場合は、確定処理された原設計の基準にて継続して適用される。)

→ 【H24～28 年度積算基準を継続適用する場合の表示追加】(補 3-1 参照)

(3) バージョン 2.07 以前 (積算基準 H28 年以前版) にて作成された内訳書ファイルを、平成 29 年度以降の積算基準に適用するため、更新する。

→ 【H29 年度以降積算基準へ更新する手順】(補 3-2 参照)

## 【H24～28 年度積算基準を継続適用する場合の表示追加】

バージョン更新による操作上の変更はなし。但し、下記について表示が追加される。(画面上の表示追加であり、印刷には影響しない。)

③ 「2. 内訳書の仕様設定」 > 「3. 工事概要の入力・印刷」画面で、工事名称の下欄に“この内訳書は平成 24～28 年度積算基準の共通費計算を行います”と表示される。

※注意喚起のための表示。

工事概要の入力・印刷

ファイル(F) 設定(C)

【工事名】 ○○地域福祉センター機械設備工事

原設計 保存

この内訳書は平成24～28年度積算基準の共通費計算を行います

【工事】

○ 1 新営

○ 2 改修

○ 3 \*

○ 4 昇降機

【追加工事】

追加工事

【監理事務所の有無】

○ 1 有 ○ 0 無

【専門性の高い工事】

○ 1 する ○ 0 ししない

【その他工事を単発発注】

○ 1 する ○ 0 ししない

【MEMO】

1 設計担当者(建築):

2. " (電気):

3. " (機械):

4. " (土木):

5 備考(内訳書に記載しない)

【支給材料費の有無】

○ 1 有 ○ 0 無

② ¥ 0 1 新営

【合併入札工事費の有無】

○ 1 有 ○ 0 無

【前払い金の有無】

前払い金 ¥ 0

○ 1 有 ○ 0 無

② ¥ 0

【契約保証金の有無】

○ 1 有 ○ 0 無

契約保証金 ¥ 0

契約保証金率 0.04 %

※【専門性の高い工事】は平成24年以前基準に適用

【工事概要(個別)】

| CODE | 工事名称(施設名)       | 敷地面積 | 建築面積 | 延床面積 |
|------|-----------------|------|------|------|
| 01   | ○○地域福祉センター機械設備工 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |

Excel出力 プレビュー

Excel出力 プレビュー

NUM

④ 「7. 内訳書の作成」 > 「4. 内訳書の入力・再計算」画面で、工事名称の左欄に“【平成 24～28 年度基準】”と表示される。

※注意喚起のための表示。印刷には反映しない。

内訳書の入力

ファイル(F) 表示(V) 検索(S) ツール(T)

平成24～28年度基準 ○○地域福祉センター機械設備工事 按分率の設定

再計算 共通費の計算 更新

【工事費】

- 01 機械設備工事
- 02 電気設備工事費
- 03 建築工事費
- \*\* (直接工事費の合計)
- 04 共通仮設費
- 05 現場管理費
- 06 一般管理費等

集計情報

| A  | B  | C  | D  | 集計項目名(工事名) | 金額        | 区分              |
|----|----|----|----|------------|-----------|-----------------|
| 00 | 00 | 00 | 00 | 工事費        | 8,436,000 |                 |
| 01 | 00 | 00 | 00 | 機械設備工事     | 6,286,000 |                 |
| 02 | 00 | 00 | 00 | 電気設備工事費    | 1,000,000 | 従工事(1新営)        |
| 03 | 00 | 00 | 00 | 建築工事費      | 1,150,000 | 従工事(1新営)        |
| ** | ** | ** | ** | (直接工事費の合計) | 8,436,000 | 小計              |
| 04 | 00 | 00 | 00 | 共通仮設費      | 0         | 共通仮設費按分(按分GP1)  |
| 05 | 00 | 00 | 00 | 現場管理費      | 0         | 現場管理費按分(按分GP1)  |
| 06 | 00 | 00 | 00 | 一般管理費等     | 0         | 一般管理費等按分(按分GP1) |

## 【H29 年度積算基準へ更新する手順】

○バージョン 2.07 以前で作成した、原設計確定前の内訳書ファイルのみ、変換が可能です。

○H24～28 年度以前の積算基準の内訳書は、事前に平成 24～28 年度の積算基準に更新作業を行うことにより H29 年度積算基準へ更新可能となります。〈本書 補 2-3 参照〉。

## ～更新の設定方法～

④ 平成 24～28 年度の積算基準（バージョン 2.07 以前）で作成している、更新したい対象の内訳書を読み込む。

「1. 内訳書の管理」 > 「1. 内訳書の新規作成・読み込み」 > 「2. 読み込み」をクリックし、【内訳書の読み込み】画面より、対象の内訳書を選定する。

※共通費計算に必要な「工期（か月）」が未設定の場合は、内訳書の読み込み後、⑤の処理を行う前に設計書（甲表）の入力・印刷画面〈本書 P63～〉にて入力する。

⑤ 「2. 内訳書の仕様設定」 > 「3. 工事概要の入力・印刷」をクリックし、画面を開く。この画面では、工事名称の下欄に“この内訳書は平成 24～28 年度積算基準の共通費計算を行います”と表示される。

工事概要の入力・印刷

ファイル(F) 設定(C)

【工事名】  
○○地域福祉センター機械設備工事

原設計

保存

この内訳書は平成24～28年度積算基準の共通費計算を行います

【工事概要(全体)】

【工事】

● 主工事

○ 従工事

【工事種別】

● 1. 新営

○ 2. 改修

○ 3. ※

○ 4. 昇降機

【追加工事】

追加工事

【監理事務所の有無】

● 1. 有 ○ 0. 無

【専門性の高い工事】

○ 1. する ● 0. しない

【その他工事を単独発注】

○ 1. する ● 0. しない

【MEMO】

1. 設計担当者(建築):

2. " (電気):

3. " (機械):

4. " (土木):

5. 備考(内訳書に記載しない)

【支給材料費の有無】

○ 1. 有 材料費①¥ 0 | 1. 新営

● 0. 無 ②¥ 0 | 1. 新営

【合併入札工事費の有無】

○ 1. 有

● 0. 無

【前払い金の有無】

○ 1. 有 前払い金①¥ 0

● 0. 無 ②¥ 0

③¥ 0

【保証金の有無】

● 1. 有 契約保証金率 0.04 %

○ 0. 無

※【専門性の高い工事】は平成24年以前基準に適用

【工事概要(個別)】

選択行編集

| CODE | 工事名称(施設名)       | 敷地面積 | 建築面積 | 延床面積 |
|------|-----------------|------|------|------|
| 01   | ○○地域福祉センター機械設備工 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |

Excel編集

印刷

金抜き

Excel出力

プレビュー

概要(個別)の反転している行を印刷

印刷

Excel出力

プレビュー

NUM

⑥ 画面左上にある、「設定」をクリックすると、「平成 29 年度以降の共通費計算に変更（一部設定実行）(C)」メニューが表示されるので、これをクリック。

工事概要の入力・印刷

ファイル(F) 設定(C)

【工事名】平成22～23年度の共通費計算に変更(一部設定実行)(A)

○○地域 平成24～28年度の共通費計算に変更(一部設定実行)(B)

原設計

保存

この内訳書は平成29年度以降の共通費計算に変更(一部設定実行)(C)

【工事概要(全体)】

【工事】

● 主工事

○ 従工事

【工事種別】

● 1. 新営

○ 2. 改修

○ 3. ※

○ 4. 昇降機

【追加工事】

追加工事

【監理事務所の有無】

● 1. 有 ○ 0. 無

【専門性の高い工事】

○ 1. する ● 0. しない

【その他工事を単独発注】

○ 1. する ● 0. しない

【MEMO】

1. 設計担当者(建築):

2. " (電気):

3. " (機械):

4. " (土木):

5. 備考(内訳書に記載しない)

【支給材料費の有無】

○ 1. 有 材料費①¥ 0 | 1. 新営

● 0. 無 ②¥ 0 | 1. 新営

【合併入札工事費の有無】

○ 1. 有

● 0. 無

【前払い金の有無】

○ 1. 有 前払い金①¥ 0

● 0. 無 ②¥ 0

③¥ 0

【保証金の有無】

● 1. 有 契約保証金率 0.04 %

○ 0. 無

※【専門性の高い工事】は平成24年以前基準に適用

【工事概要(個別)】

選択行編集

| CODE | 工事名称(施設名)       | 敷地面積 | 建築面積 | 延床面積 |
|------|-----------------|------|------|------|
| 01   | ○○地域福祉センター機械設備工 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |

Excel編集

印刷

金抜き

Excel出力

プレビュー

概要(個別)の反転している行を印刷

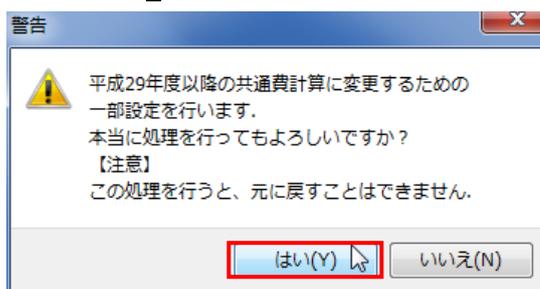
印刷

Excel出力

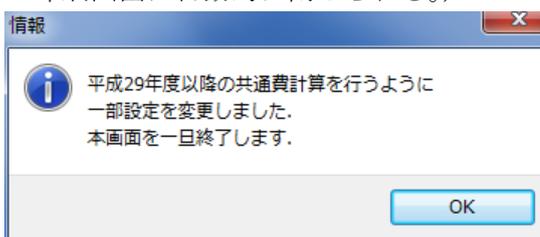
プレビュー

NUM

- ④下図メッセージの「はい(Y)」ボタンをクリックすると、変換処理を行います。  
(中止する場合は、「いいえ(N)」ボタンをクリックして下さい。)



- ⑤下図メッセージが表示されたら、変換が完了し、一部の設定が変更されています。  
(工事概要の入力・印刷画面は自動的に閉じられる。)



- ⑥以上で、内訳書ファイルの更新は終了しました。

## 4

## 見積比較に関する補足事項

※ 見積比較の入力手順は、当該単価(6 頭コード)・複合単価(7 頭コード)登録・再計算<本書 P71 ~>を参照。

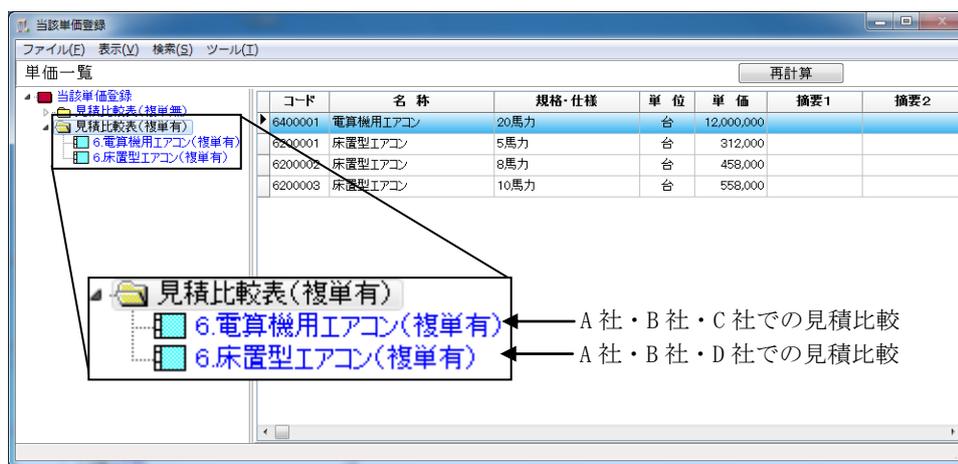
複数の見積メーカーで見積比較を行う場合は、以降に述べる点に留意して入力作業を行って下さい。なお、入力例はあくまでも一例であり、積算業務の事情により適宜判断して入力作業を行って下さい。

## 1 資材毎に見積メーカーの組み合わせが異なる場合

(例) 空気調和設備工事の見積を行う際、電算機用エアコンを A 社・B 社・C 社に、床置型エアコンを A 社・B 社・D 社に見積依頼をした場合。(C 社は電算機用エアコンの取り扱いが無く、D 社は床置型エアコンの取り扱いが無いとする場合。)

## 【入力例】

見積グループ(見積メーカーの組み合わせ)毎に、シートを分けて入力して下さい。



※ 上記の例の場合、1 シートで見積比較を行う(4 社比較とする)場合、C 社と D 社で一部入力不可能な見積単価があるため、本項の 3(次ページ)の処理が発生します。

## 2 一部のメーカーで条件の異なる見積回答がある場合

(例 1) A 社・B 社は材工共(材料費と工事費がセット)の金額を提示し、C 社は材料費と工事費を別々に提示した場合。

(例 2) A 社・B 社は製品一式の金額を提示し、C 社は製品の主資材と副資材の金額を別々に提示した場合。

(例 3) A 社・B 社は製品の主資材と副資材の金額をそれぞれ 1 円以上の金額を提示し、C 社は製品の主資材では 1 円以上の金額を提示したが副資材ではサービスとして 0 円を提示した。

## 【入力例】

可能な限り、各社で条件が揃うように、適宜調整して入力して下さい。

・例 1 の場合 →

方法 1 : C 社の見積を、材工共の金額となるように、材料費と工事費の金額を合計した金額を入力する。

方法 2 : A 社と B 社に、材料費と工事費の金額を分けるよう、再見積をした上で入力する。

・例 2 の場合 →

方法 1 : C 社の見積を、製品一式の金額となるように、主資材と副資材の金額を合計した金額を入力する。

方法 2 : A 社と B 社に、主資材と副資材の金額を分けるよう、再見積をした上で入力する。

・例 3 の場合 →

方法 1 : A 社・B 社・C 社とも、主資材と副資材の金額を合計した金額を入力する。

方法 2 : C 社の見積を、主資材と副資材の正味金額を再見積をした上で入力する。

※ 例 3 で C 社の副資材の金額を 0 円を入力した場合、本項の 3(次ページ)の処理が発生します。

### 3 一部のメーカーの見積資材に金額を入力しない場合の処理

複数の見積メーカーで見積比較を行う際、1社または複数のメーカーで一部の資材の取扱いが無い等の理由で見積回答が得られず、金額を入力しない場合（または0円を入力する場合は、本システムではその資材は他のメーカーの最下の単価が引用され、その行の「単価」欄の左の列に「\*」が表示される仕様となっています。

（0円のままにしたり、見積比較対象から除外したりする処理は出来ません。）

#### 【理由】

見積比較は、比較しようとする見積グループのすべての資材に対し各メーカーが見積回答しているのが一般的ですが、メーカーによっては取扱いが無い等の理由で必ずしもすべての資材に対し見積回答されない場合もあり、そのメーカーのその項目は「空欄」又は「0円」を入力することになります。

この見積グループを単価合計や金額合計によりそのまま見積比較すると、見積回答をしなかった資材を含むメーカーのほうが他のメーカーより安価となり、適正な見積比較とならない可能性があるため、この処理を行っています。

| コード      | 名称      | 規格・仕様 | 数量    | * 単価    | 金額      | 採用単価    | 採用金額    |
|----------|---------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|
| 6 200001 | 床置型エアコン | 5馬力   | 1.000 | 314,000 | 314,000 | 312,000 | 312,000 |
| 6 200002 | 床置型エアコン | 8馬力   | 1.000 | 0       | 0       | 0       | 0       |
| 6 200003 | 床置型エアコン | 10馬力  | 1.000 | 565,000 | 565,000 | 558,000 | 558,000 |

基礎単価コード: 6200002 複単有無: 有 単価種別: 1.一般工事(A)

名称: 床置型エアコン

規格・仕様: 8馬力

単位: 台 数量: 1.0000 率: 1.0000

単価: 0 2.有効3桁

複合単価(Ctrl+B): 7200002 複合単価: 0

↓ 計算後

| コード      | 名称      | 規格・仕様 | 数量    | * 単価    | 金額      | 採用単価    | 採用金額    |
|----------|---------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|
| 6 200001 | 床置型エアコン | 5馬力   | 1.000 | 314,000 | 314,000 | 312,000 | 312,000 |
| 6 200002 | 床置型エアコン | 8馬力   | 1.000 | 458,000 | 458,000 | 458,000 | 458,000 |
| 6 200003 | 床置型エアコン | 10馬力  | 1.000 | 565,000 | 565,000 | 558,000 | 558,000 |

基礎単価コード: 6200002 複単有無: 有 単価種別: 1.一般工事(A)

名称: 床置型エアコン

規格・仕様: 8馬力

単位: 台 数量: 1.0000 率: 1.0000

単価: 458,000 2.有効3桁

複合単価(Ctrl+B): 7200002 複合単価: 0

※見積比較表印刷時

他のメーカーの最下の単価が引用された単価の右上に「\*」が表示されます。  
 また、採用されたメーカーの単価・金額は網掛けされます。

機械 ○○地域福祉センター機械設備工事

見 積 比 較 表

平成 年 月 日

階 層: 見積比較表(複単有) > 6. 床置型エアコン(複単有)

区分コード: 6 採用単価決定方法: 1. 金額合計

| No. | CODE    | 名 称     | 規格・仕様 | 数量     | 単位 | 製 作 所 名   |           |           |           |           |           | 採用決定 |           |           |
|-----|---------|---------|-------|--------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|-----------|-----------|
|     |         |         |       |        |    | ダイキン      |           | 三菱電機      |           | 東芝        |           | 査定   | ダイキン      |           |
|     |         |         |       |        |    | 単価        | 金額        | 単価        | 金額        | 単価        | 金額        |      |           | 単価        |
| 1   | 6200001 | 床置型エアコン | 5馬力   | 1.0000 | 台  | 312,000   | 312,000   | 314,000   | 314,000   | 333,000   | 333,000   | 1.00 | 312,000   | 312,000   |
| 2   | 6200002 | 床置型エアコン | 8馬力   | 1.0000 | 台  | 458,000   | 458,000   | 458,000*  | 458,000*  | 498,000   | 498,000   | 1.00 | 458,000   | 458,000   |
| 3   | 6200003 | 床置型エアコン | 10馬力  | 1.0000 | 台  | 558,000   | 558,000   | 565,000   | 565,000   | 588,000   | 588,000   | 1.00 | 558,000   | 558,000   |
| 計   |         |         |       |        |    | 1,328,000 | 1,328,000 | 1,337,000 | 1,337,000 | 1,399,000 | 1,399,000 |      | 1,328,000 | 1,328,000 |

神戸市

仮に見積提出のないメーカー（上記例ではB社）が採用となった場合は下記のような運用が必要です。

- 方法 1：この見積比較結果を採用し、見積提出の無い資材については見積単価が最下となったメーカーの見積を採用として扱う。
- 方法 2：見積提出の無い資材のみ、別のシートで見積グループを作成して見積比較を行う。（上記例の場合、2行目の資材を削除の上、別シートでA社とC社の組み合わせで2行目の資材の見積比較を行う。）

## 5 内訳書ファイルの変換(バージョン1形式からバージョン2形式へ)

### 1 内訳書ファイルの変換

#### 【注意】

**Windows 8.1 以降の環境の場合は、正常に変換できない場合がありますので、Windows 7 環境が存在するうちに変換処理を行って下さい。**

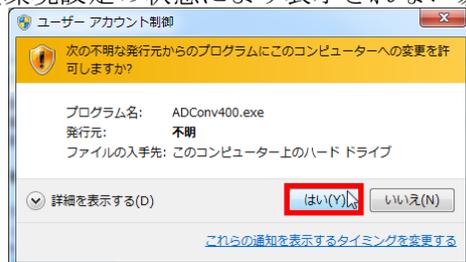
積算システムバージョン 1.XX 形式の内訳書ファイルは、バージョン 2 ではそのままの状態を開くことは出来ないため、変換プログラムにて変換を行います。

※ 配布単価のバージョン 1 形式のファイルは変換できません。配布単価のバージョン 2 形式のファイルは管理者から別途入手して下さい。

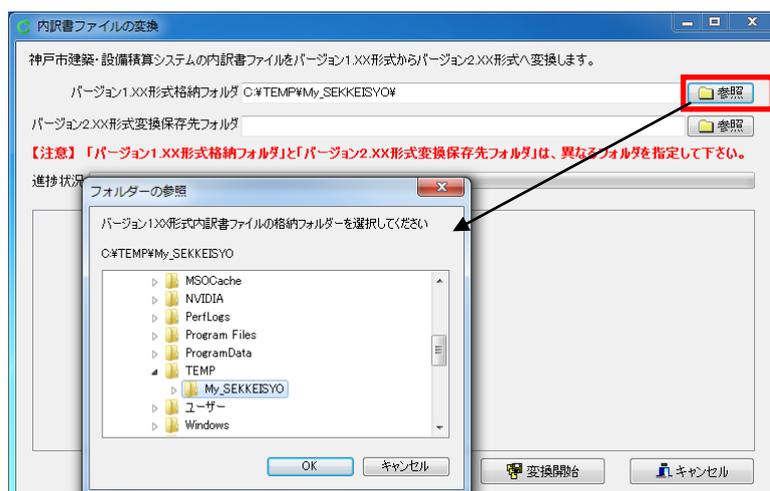
- 1) 積算システムを起動している場合は、終了して下さい。
- 2) バージョン 1.XX 形式の内訳書ファイルを、変換先とは異なる場所の任意のフォルダに予め格納しておいて下さい。  
(本解説では、バージョン 1.XX 形式の内訳書ファイルは C ドライブ内の「TEMP」フォルダ内の「My\_SEKKEISYO」フォルダ内に格納しているものとします。なお、CD-R 等に記録してあっても問題ありません。)
- 3) 「内訳書ファイルの変換」ショートカットアイコンをダブルクリックして下さい。  
(ショートカットアイコンは、デスクトップまたはスタートメニュー→すべてのプログラム→神戸市建築・設備積算システム Ver.2 にあります。)  
※Windows Vista 以降の動作環境の場合、「内訳書ファイルの変換プログラム」のショートカットアイコンに「互換モードの設定」が必要です。〈本書 P6〜〉を参照して下さい。



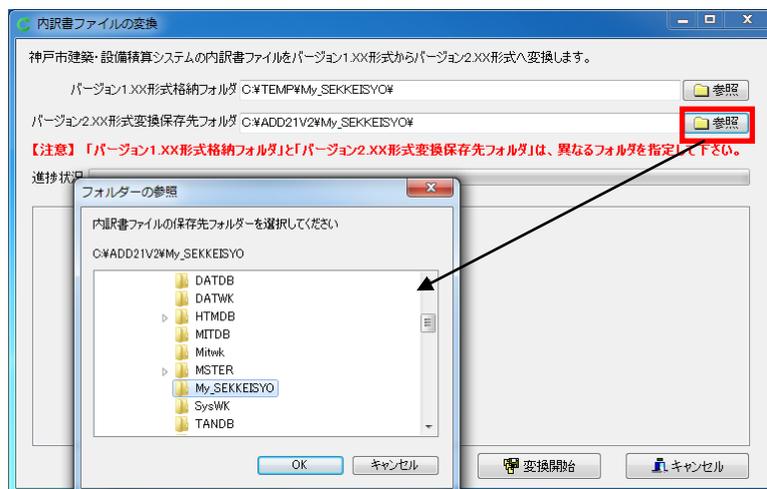
- 4) Windows Vista 以降の OS 環境の場合、互換性設定を行っているため、ユーザー アカウント制御画面が表示されますので、「はい(Y)」ボタンをクリックして下さい。  
(環境設定の状態により表示されない場合もあります。)



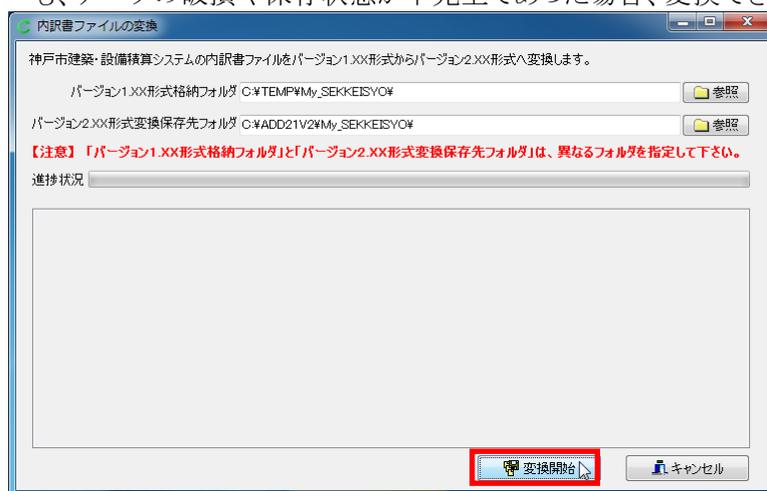
- 5) バージョン 1.XX 形式内訳書ファイルが格納されているフォルダを選択して下さい。  
参照ボタンをクリックすると、フォルダの参照ボタンが表示されます。



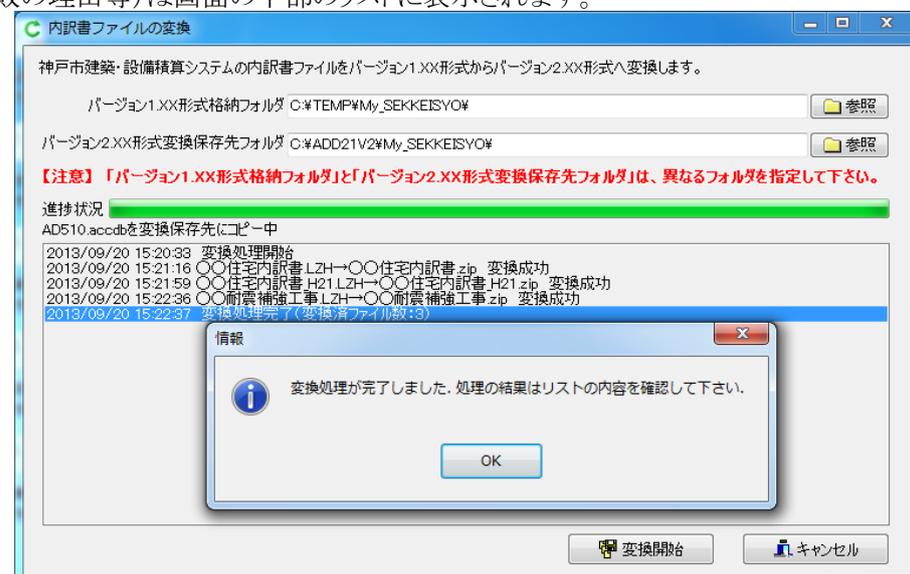
- 6) バージョン 2.XX 形式内訳書ファイル変換保存先フォルダを選択して下さい。  
 (本解説では、バージョン 2.XX 形式変換保存先フォルダは、本システムの内訳書ファイルの保存先の既定値である C ドライブ内の「ADD21V2」フォルダ内の「My\_SEKKEISYO」フォルダ内へ変換保存するものとします。)



- 7) [変換開始]ボタンをクリックすると、変換処理を開始します。  
 進捗状況や変換結果が画面下部に表示されますので終了するまでしばらくお待ち下さい。  
 ※ バージョン 1.XX 形式の内訳書ファイルが複数ある場合、一括変換できます。  
 ※ バージョン 1.13 以前のデータは変換できません。また、それ以上のバージョンのデータでも、データの破損や保存状態が不完全であった場合、変換できない場合があります。



- 8) 変換処理が完了すると、メッセージが表示されます。変換処理結果の詳細(変換成功・変換失敗の理由等)は画面の下部のリストに表示されます。

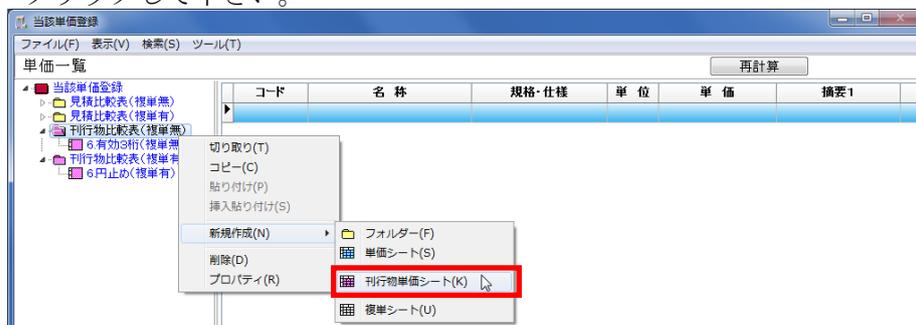


## 6 刊行物単価入力に関する補足事項(バージョン 2.01 以降)

### 1 刊行物単価の登録について

当該単価登録の際、刊行物単価（建設物価・積算資料）の採用単価について、平均値または最下値を自動的に計算するようにする場合は、下記の手順で登録して下さい。

- 1) ツリービューで刊行物単価シートを登録したい場所を選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[刊行物単価シート(K)]をクリックして下さい。  
 ※既存の刊行物単価シートの設定を変更する場合は、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



- 2) シートプロパティの各種設定値を設定して[OK]ボタンをクリックして下さい。



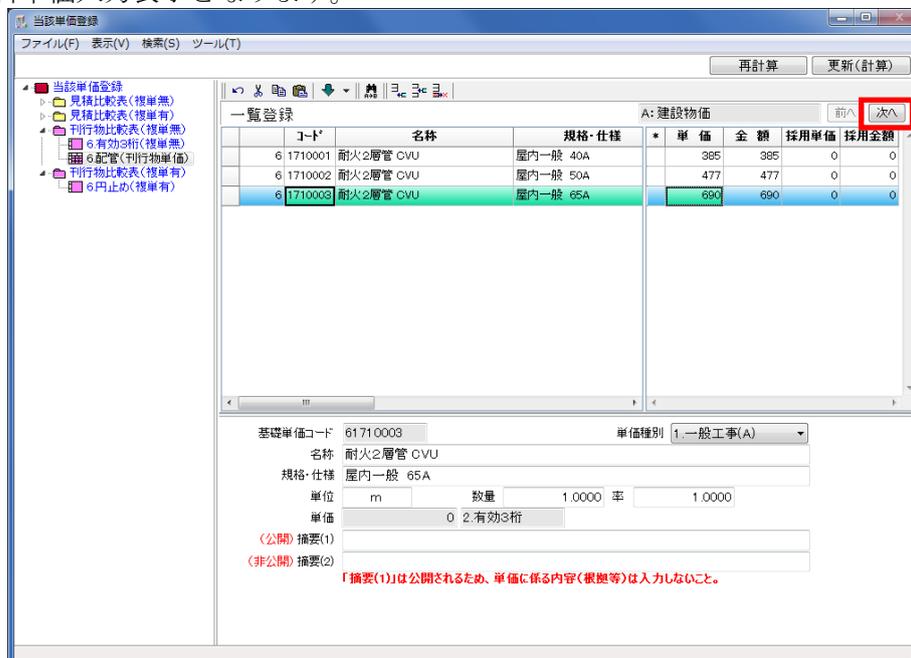
※区分: 通常の単価と同じく、単価コードの頭コードを「6」となるように設定する。

※刊行物単価の採用基準:

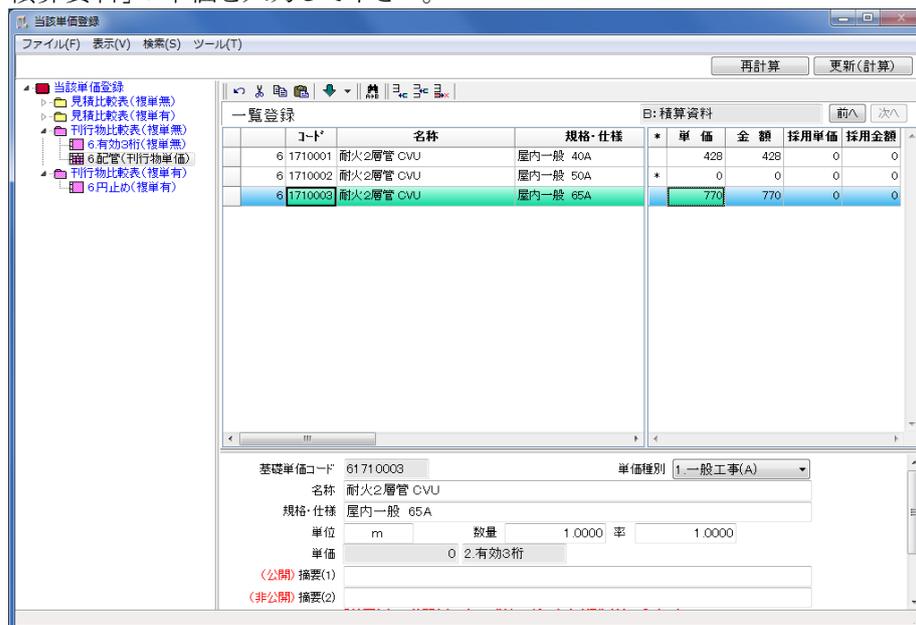
- ・最下値: 建設物価または積算資料の入力単価のうち、安い方を採用単価とする（採用基準が「単品比較」の時と同等の処理）。
- ・平均値: 建設物価と積算資料の入力単価の平均値を採用単価とする。

※バージョン 2.04 以降、端数処理シートの初期値は、ルートプロパティの設定には依存せず「1.円止め」となります。

- 3) [コード]・[名称]・[規格・仕様]・[単位]など各項目を入力の上、まず、「建設物価」の単価を入力して下さい。  
 「建設物価」の単価の入力が完了しましたら、[次へ]ボタンをクリックすると、積算資料単価入力表示となります。



## 4) 「積算資料」の単価を入力して下さい。



※ 1列目(A)は「建設物価」、2列目(B)は「積算資料」の入力となります。刊行物の名称は変更できない仕様となっています。

## 5) 画面上部の[再計算]ボタンをクリックして下さい。

※ シートプロパティで設定した採用基準に基づき、採用単価を算出します。

※ 「建設物価」または「積算資料」のうちいずれかの単価しか入力していない場合は、他方の単価は入力した方の単価と同じものが設定され、その行の「単価」欄の左の列に「\*」が表示される仕様となっています。(見積比較表の入力時の処理と同じ。)



## 【参考】

平均値の場合の採用単価・採用金額は下記のように計算します。

- ・「建設物価」入力単価×率=A
- ・「積算資料」入力単価×率=B
- ・採用単価=(A+B)/2
- ・採用金額=採用単価×数量

但し、「建設物価」のみ入力した場合は「建設物価」の入力単価、「積算資料」のみ入力した場合は「積算資料」の入力単価が採用単価となります。

## 6) 画面上部の[更新(計算)]ボタンをクリックすると、データが保存されます。



※建設物価と積算資料の掲載単価の比較を行わない場合は、従来通り、通常の単価シートにそれぞれの掲載単価を単独で登録する方法で登録することも可能です。

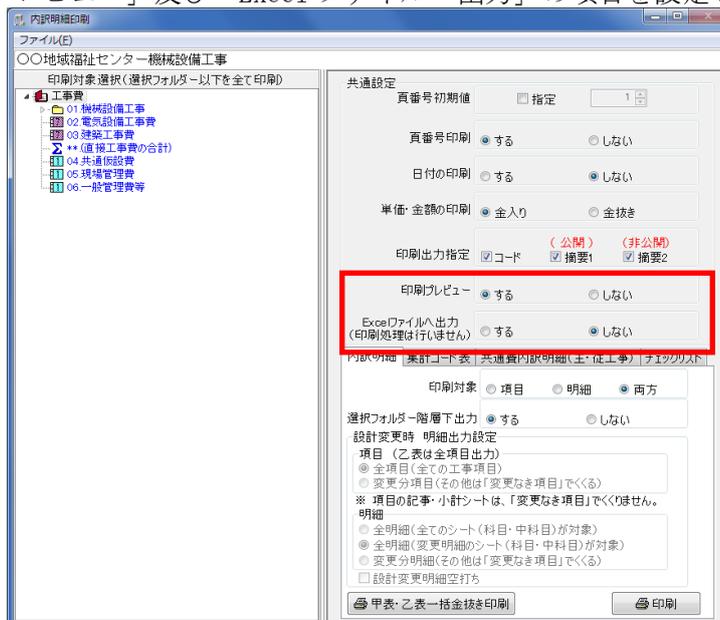
※平均値の場合、当該単価の印刷帳票の「生単価」欄は「—」で出力されます。

## 7 甲表・乙表一括金抜き印刷(出力)(バージョン 2.05 以降)

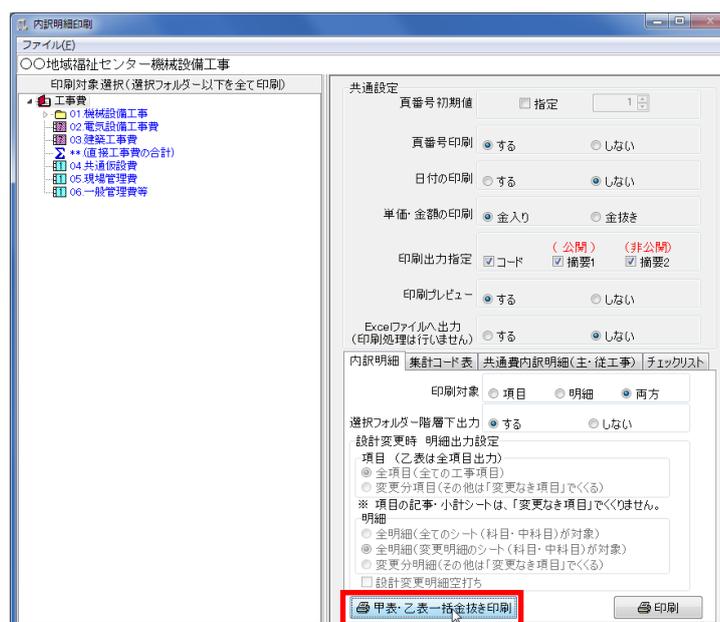
### 1 印刷または Excel ファイルへの出力手順

- ※ 基本的な設定方法及び操作方法は通常の印刷及び Excel 出力と同様です。
- ※ 設計変更時は[甲表・乙表一括金抜き印刷]ボタンは非表示になります。
- ※ PDF ファイルへの変換は、Excel ファイルへ出力後に Excel の機能または Adobe Acrobat 等の PDF ファイル作成ソフトを使用して行って下さい。

- 1) メインメニュー[7.内訳書の印刷]→[1.内訳明細の印刷]をダブルクリックし、内訳明細印刷画面を表示して下さい。
- 2) 「印刷プレビュー」及び「Excel ファイルへ出力」の項目を設定して下さい。



- 3) [甲表・乙表一括金抜き印刷] (「Excel ファイルへ出力」を「する」に設定した場合は[甲表・乙表一括金抜き出力]と表示される) ボタンをクリックして下さい。

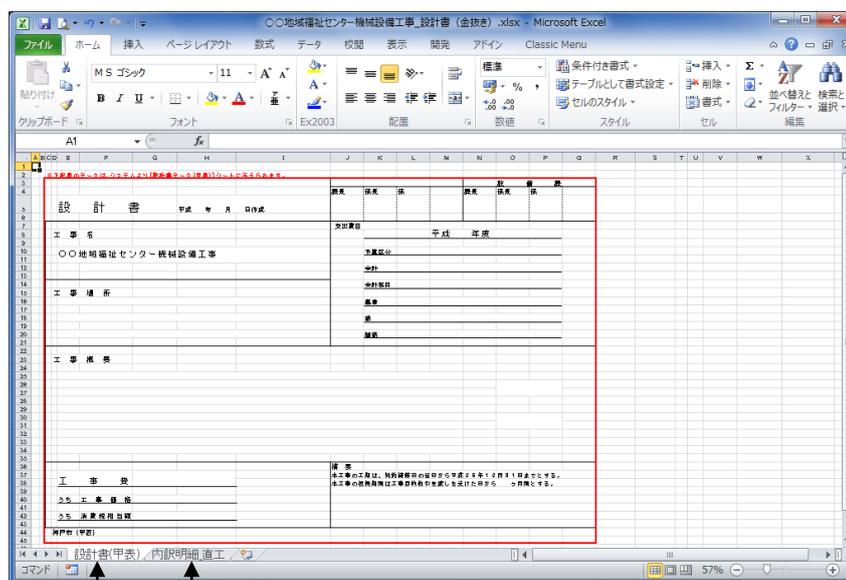
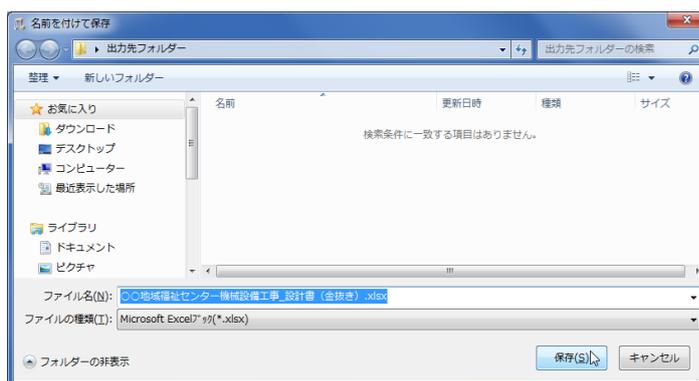


- 4) 「印刷プレビュー」を「する」に設定した場合は、甲表・乙表の順に印刷プレビュー画面が表示されますので、内容を確認してそれぞれ印刷を行って下さい。

「印刷プレビュー」を「しない」に設定した場合は、甲表・乙表の帳票が直接プリンターに出力されます。

「Excel ファイルへ出力」を「する」に設定した場合は、「名前をつけて保存」ダイアログが表示されますので、保存先のフォルダー及びファイル名を設定し、[保存]ボタンをクリックすると、甲表シートと乙表シートが1つのファイルにまとめられた Excel ファイルが出力されます。

※ ファイル名の初期値は「[工事名]\_設計書(金抜き).xlsx」となりますが、任意のファイル名に変更することも可能です。

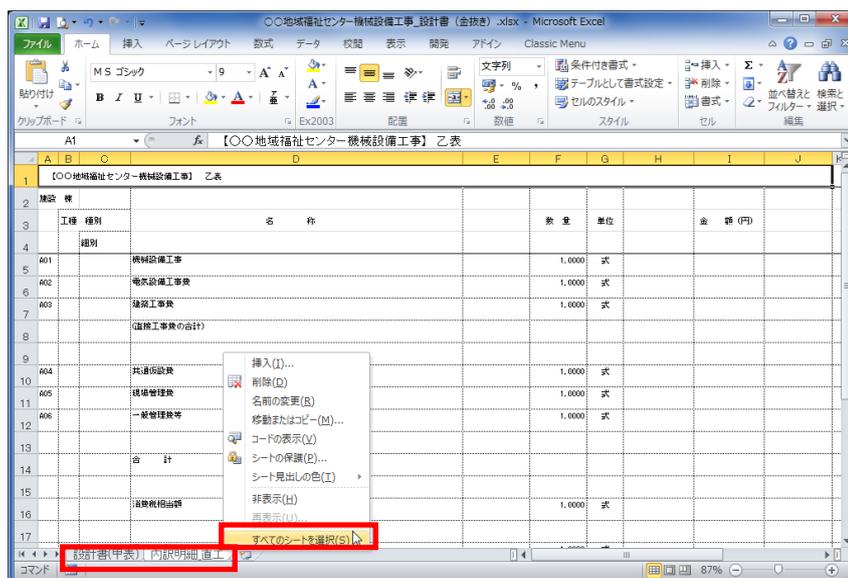


甲表 乙表

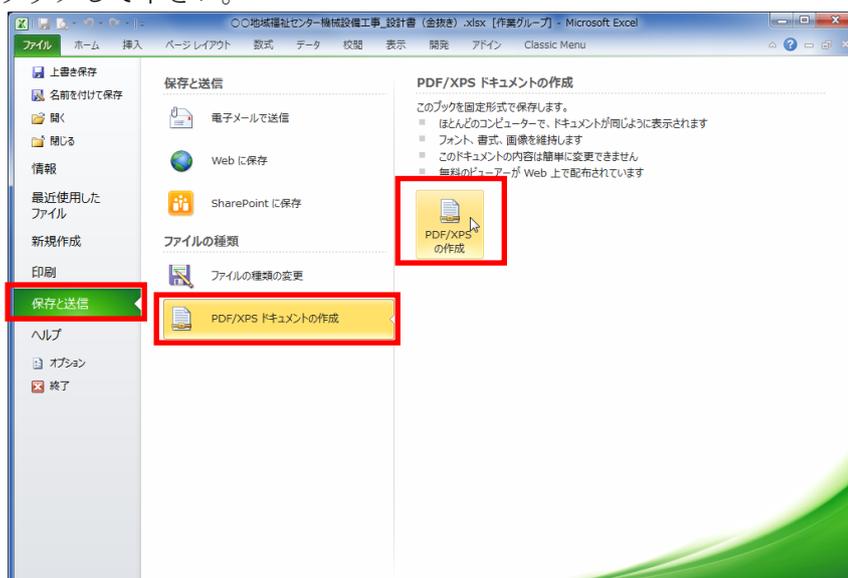
- 5) Excel 出力後、必要に応じて各項目を編集し、上書き保存して下さい。

※ 次ページの 6) 以降、甲表・乙表の帳票が 1 つのファイルにまとめて収録された PDF ファイルを作成する手順を解説します。

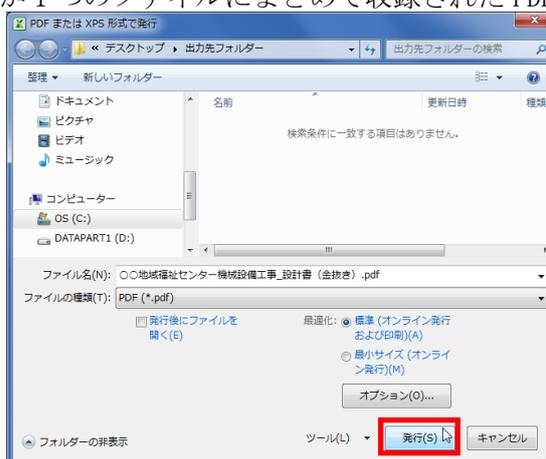
- 6) シートタブ上で右クリック→「すべてのシートを選択(S)」をクリックし、甲表・乙表両方のシートが選択されている状態にして下さい。



- 7) 「ファイル」→「保存と送信」→「PDF/XPS ドキュメントの作成」→「PDF/XPS の作成」をクリックして下さい。



- 8) PDF ファイルの出力先及びファイル名を選択する画面が表示されます。保存先のフォルダー及びファイル名を設定して[発行(S)]ボタンをクリックすると、甲表・乙表の帳票が1つのファイルにまとめて収録されたPDFファイルが出力されます。



## 契約保証金の計上に伴う積算システム変更点(バージョン 2.11 以降)

平成 30 年 6 月以降に積算する工事については、一般管理費等に「契約保証費」を原則計上するよう神戸市建築・設備工事の積算基準が改定されたことに伴い、本システムの更新を行う。

### 《計上条件》

- ◆ 平成 28 年度以前の積算基準を継続適用している内訳書ファイルの場合  
⇒いかなる場合も契約保証金は計上されません。
- ◆ 平成 29 年度以降の積算基準を適用している内訳書ファイルの場合  
使用単価ファイルの設定画面<本書 P58~参照>の「機械歩掛表」の年月の設定により、契約保証金の計上の可・不可が判断されます。

| 使用単価名称   | 設定データフォルダ                | 原設計     | 設計変更1 | 設計変更2 | 設計変更3 | 設計変更4 | 設計変更5 | 設計変更6 |
|----------|--------------------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 機械基礎単価 | C:\10_data\ADD21V2\配布単価¥ | 2018-06 |       |       |       |       |       |       |
| 2 機械標準単価 | C:\10_data\ADD21V2\配布単価¥ | 2018-06 |       |       |       |       |       |       |
| 3        |                          |         |       |       |       |       |       |       |
| 4        |                          |         |       |       |       |       |       |       |
| 5        |                          |         |       |       |       |       |       |       |
| 6        |                          |         |       |       |       |       |       |       |
| 7        |                          |         |       |       |       |       |       |       |
| 8        |                          |         |       |       |       |       |       |       |
| 9        |                          |         |       |       |       |       |       |       |
| 10 機械歩掛表 | C:\10_data\ADD21V2\配布単価¥ | 2018-06 |       |       |       |       |       |       |

- ・平成 30 年 6 月機械歩掛表 (2018-06) 以降 ⇒ 計上可能
- ・上記よりも古い年月の機械歩掛表 ⇒ 計上不可

※ 以前に作成した内訳書ファイルの内容を別工事で流用するため別名保存した内訳書ファイルで作業する場合は、前述の各状況が契約保証金の計上の可・不可の条件となるため確認すること。

### 《契約保証金の計上設定》

工事概要の入力・印刷画面<本書 P67~参照>を表示し、【契約保証金の有無】を設定して下さい

【契約保証金の有無】

1.有 契約保証費率 0.04%

0.無

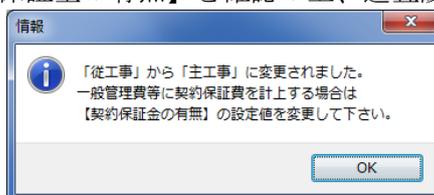
※【専門性の高い工事】は平成24年以前基準に適用

※ 前述の《計上条件》を満たさない場合は、【契約保証金の有無】の設定値にかかわらず計上されません。

※ 原設計作業時のみ変更可能（設計変更時は項目がロックされます）。

※ 【工事】が「従工事」の場合は変更不可。  
（強制的に「無」に設定され、「契約保証费率」は「0.00」になります）。

※ 【工事】を「従工事」から「主工事」に変更した場合は下記のメッセージが表示されますので、【契約保証金の有無】を確認の上、適宜設定して下さい。



※ 内訳書の新規作成時及び旧バージョンからのバージョンアップ時は、【契約保証金の有無】は「有」となり、契約保証费率は0.04が初期値として設定されます。

※ 「設計書記載の工事費が1,000万円未満の場合」または「工期が30日以内の場合」等、一般管理費等に「契約保証費」を計上しない時は、契約保証费率を「無」に手動にて設定して下さい。  
（これらの条件は自動的に判断されません。）

※ 設定変更後、一括再計算を実行することにより金額が反映されます。

# 神戸市建築・設備積算システム研修資料

## 機械設備工事

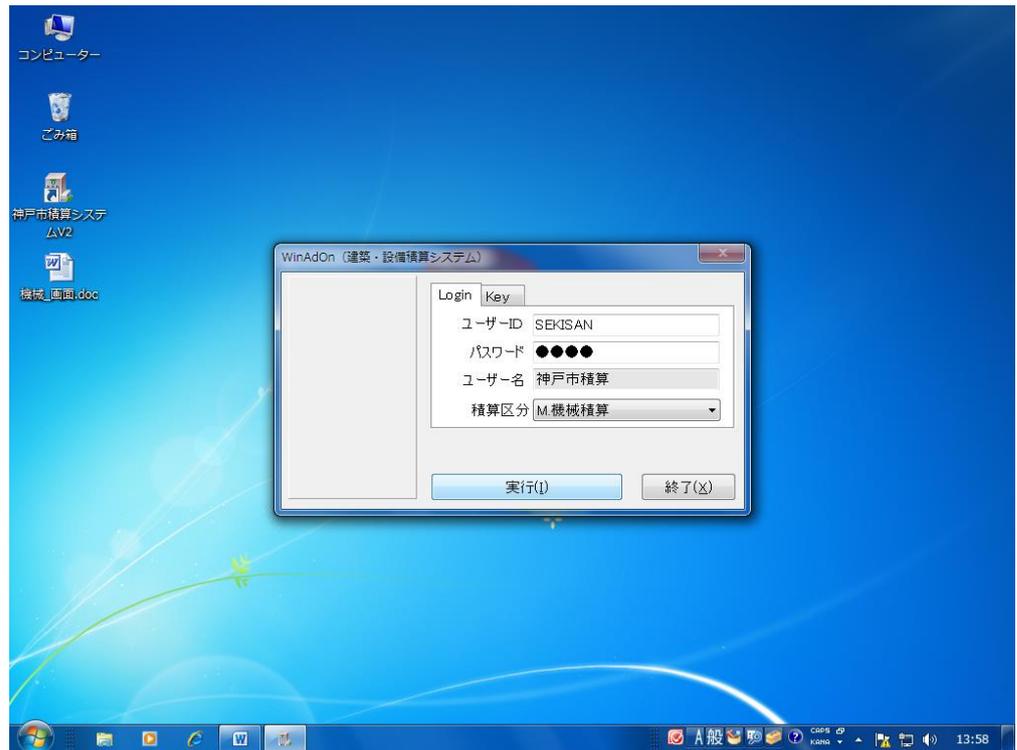
＜新規作成から保存まで 練習編＞

地域福祉センターモデル

## 参考

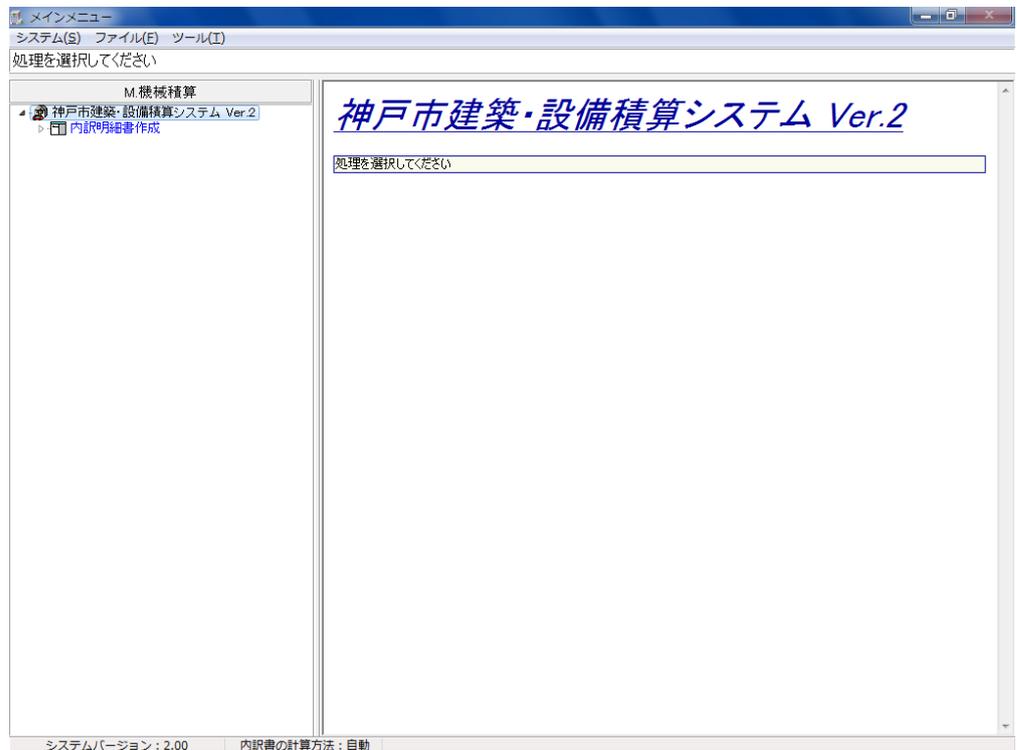
## 新規作成から保存まで(モデル工事による練習編)

## 1 立ち上げ(パスワード入力)



- 1) 指定の[ユーザ ID][パスワード]を入力して、積算区分を「M.機械積算」にします。
- 2) [実行]ボタンを押します。

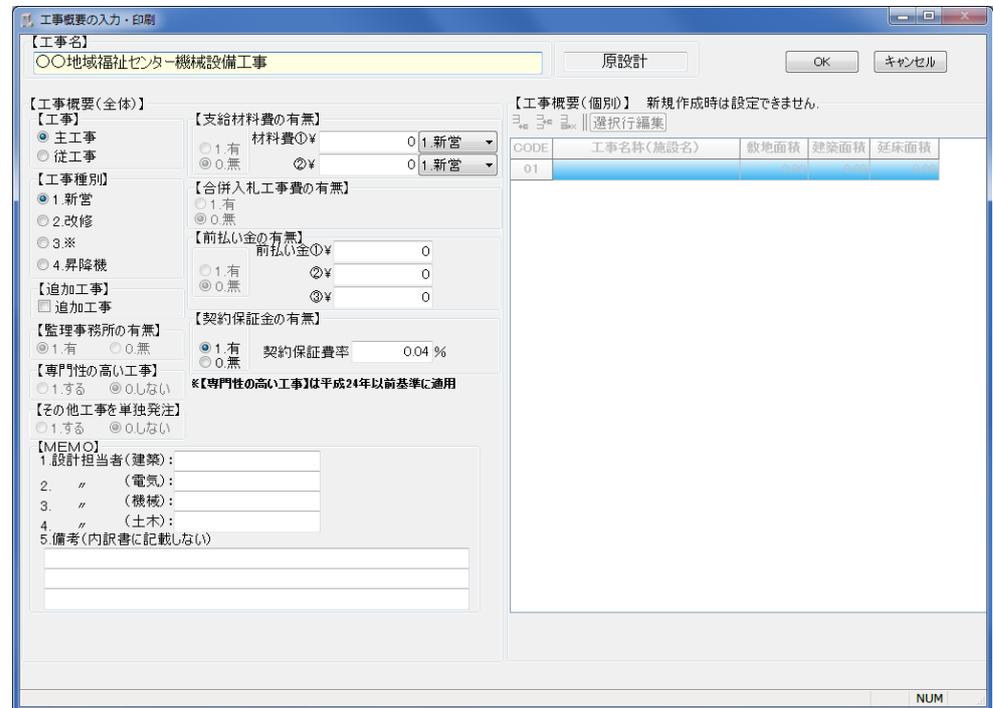
## 2 起動時の画面



### 3 内訳書の新規作成



### 4 工事概要の入力



## 5 使用単価ファイルの設定



## 6 使用単価設定

| 使用単価名称   | 読込データフォルダ        | 原設計     | 設計変更1 | 設計変更2 | 設計変更3 | 設計変更4 | 設計変更5 | 設計変更6 | 設計変更7 | 設 |
|----------|------------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|
| 1 機械基礎単価 | C:\ADD21V2\配布単価\ | 2013-06 |       |       |       |       |       |       |       |   |
| 2 機械標準単価 | C:\ADD21V2\配布単価\ | 2013-06 |       |       |       |       |       |       |       |   |
| 3        |                  |         |       |       |       |       |       |       |       |   |
| 4        |                  |         |       |       |       |       |       |       |       |   |
| 5        |                  |         |       |       |       |       |       |       |       |   |
| 6        |                  |         |       |       |       |       |       |       |       |   |
| 7        |                  |         |       |       |       |       |       |       |       |   |
| 8        |                  |         |       |       |       |       |       |       |       |   |
| 9        |                  |         |       |       |       |       |       |       |       |   |
| 10 機械歩掛表 | C:\ADD21V2\配布単価\ | 2013-06 |       |       |       |       |       |       |       |   |

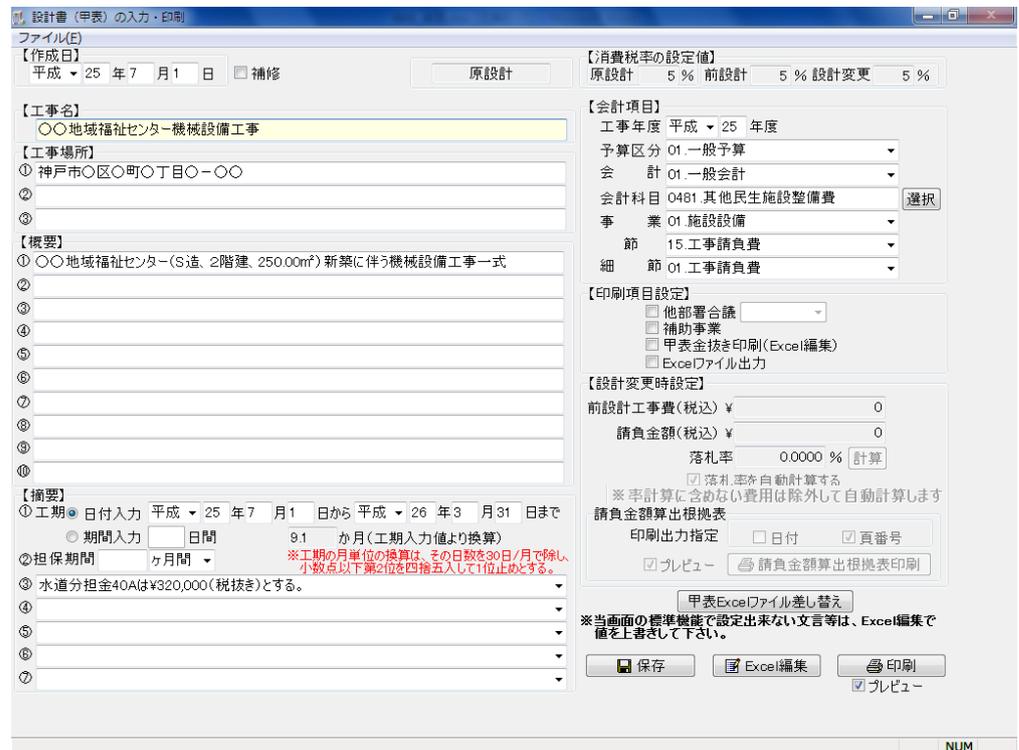
※ [(使用単価名称)の項目は、名称が他の行と重複しないように設定して下さい。]

- 1) 原設計の箇所使用単価年月を入力して下さい。平成 25 年 6 月単価 → 2013-06
  - 2) メニュー>ファイル>保存 を行い、メニューへ戻ります。
  - 3) 内訳書の保存を行います。 < 参照 P65 [97.内訳書の保存] で解説 >
- ※作業中のデータは、保存(上書き保存)を行わないと保存されませんので、随時保存することをお勧めします。

## 7 設計書(甲表)作成



## 8 設計書(甲表)の入力



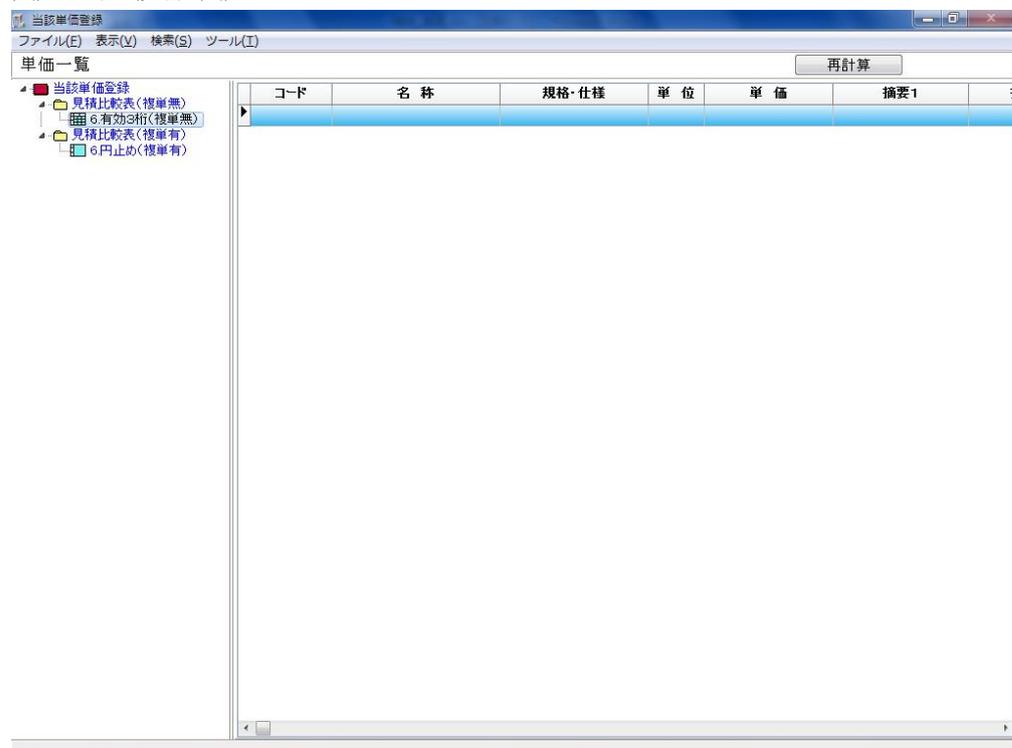
※各項目に上記例等を参考に入力して下さい。

## 9 当該単価登録



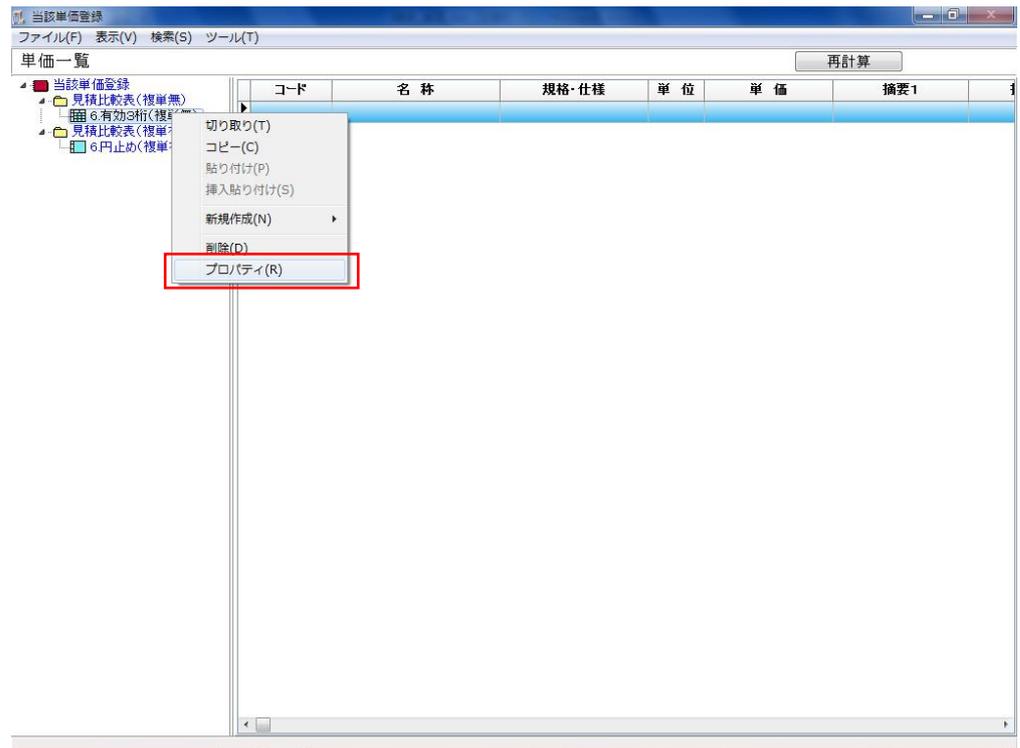
※当該単価登録では、刊行物単価・カタログ記載単価・見積比較単価を入力します。

## 10 当該単価登録 複合単価なし



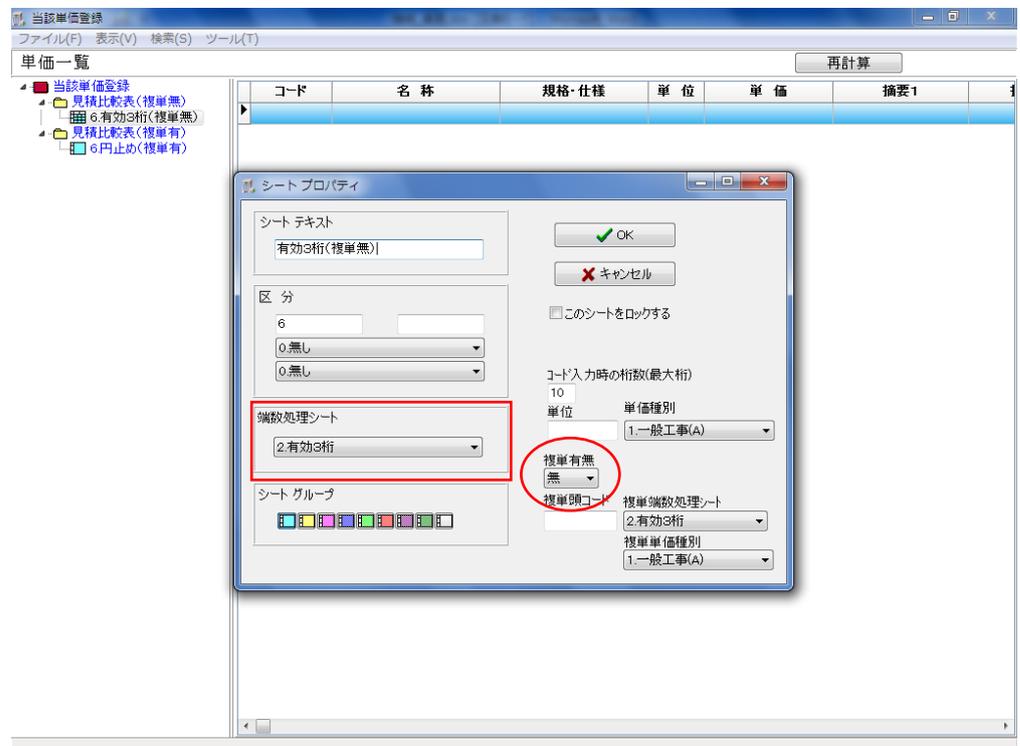
※入力した当該単価からさらに複合単価を作るシート(掛率を乗じた後円止め)と作らないシート(掛率を乗じた後3桁処理)を用意しています。

## 11 当該単価シート名称の変更



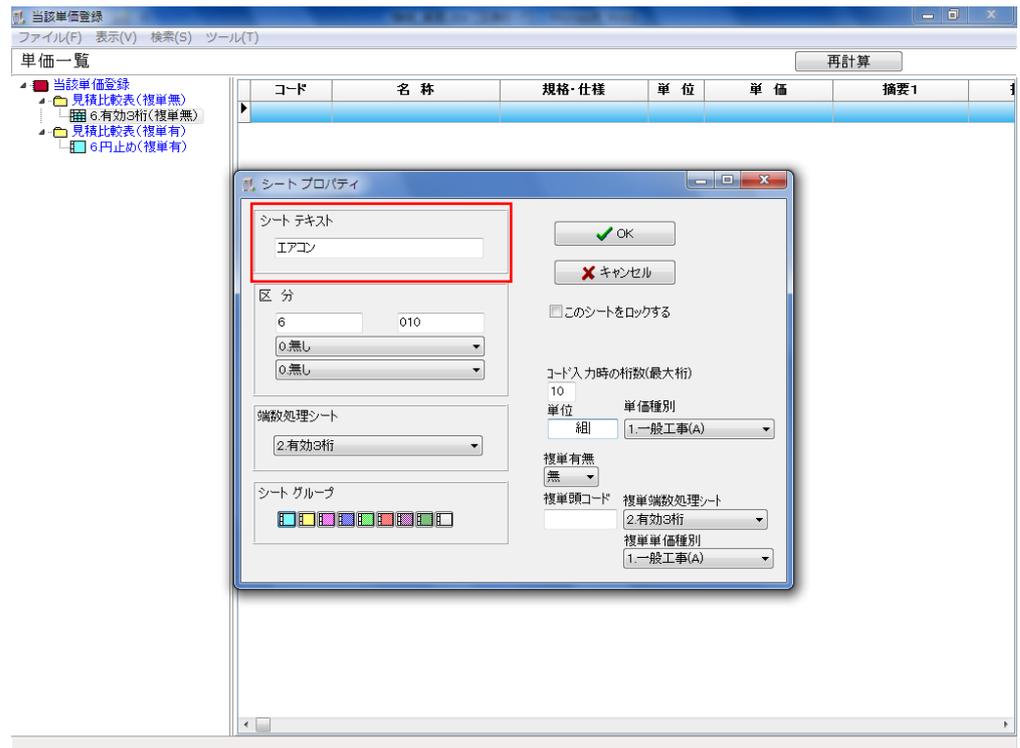
※有効3桁(複単無)シートを右クリックしてプロパティを選択して下さい。

## 12 当該単価シートプロパティ

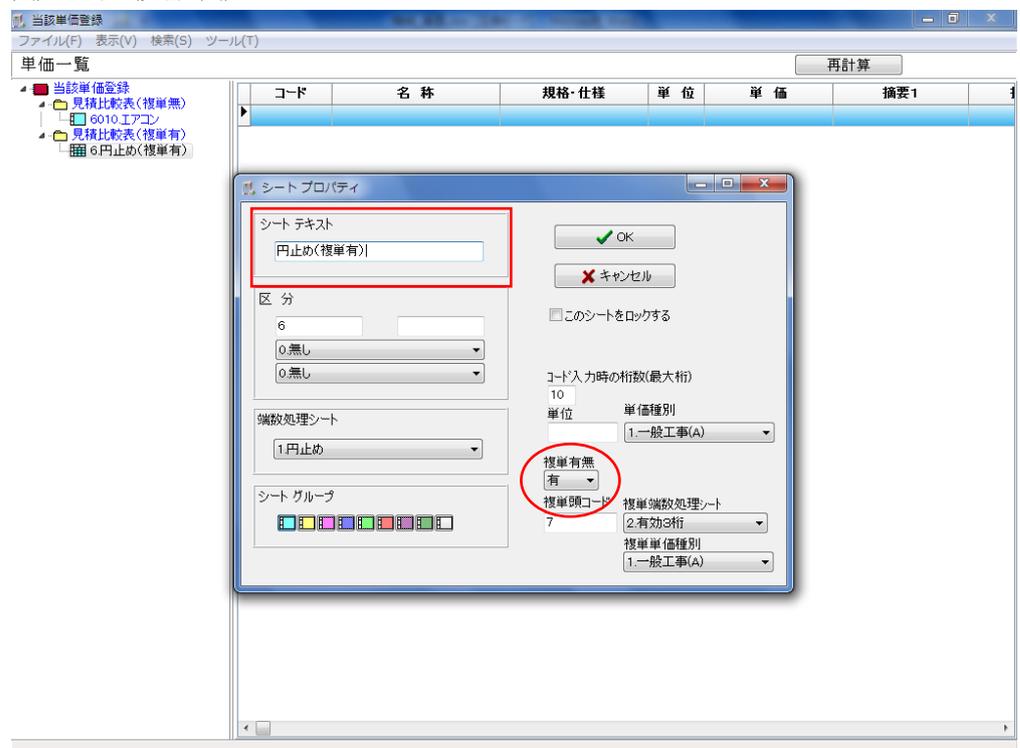


※シートテキストが名称です。このシートは複単無用(いわゆる機器見積比較表)として端数処理は「有効3桁」、複単有無「無」が初期設定されています。

13 当該単価シートプロパティ(名称を変えたところ)

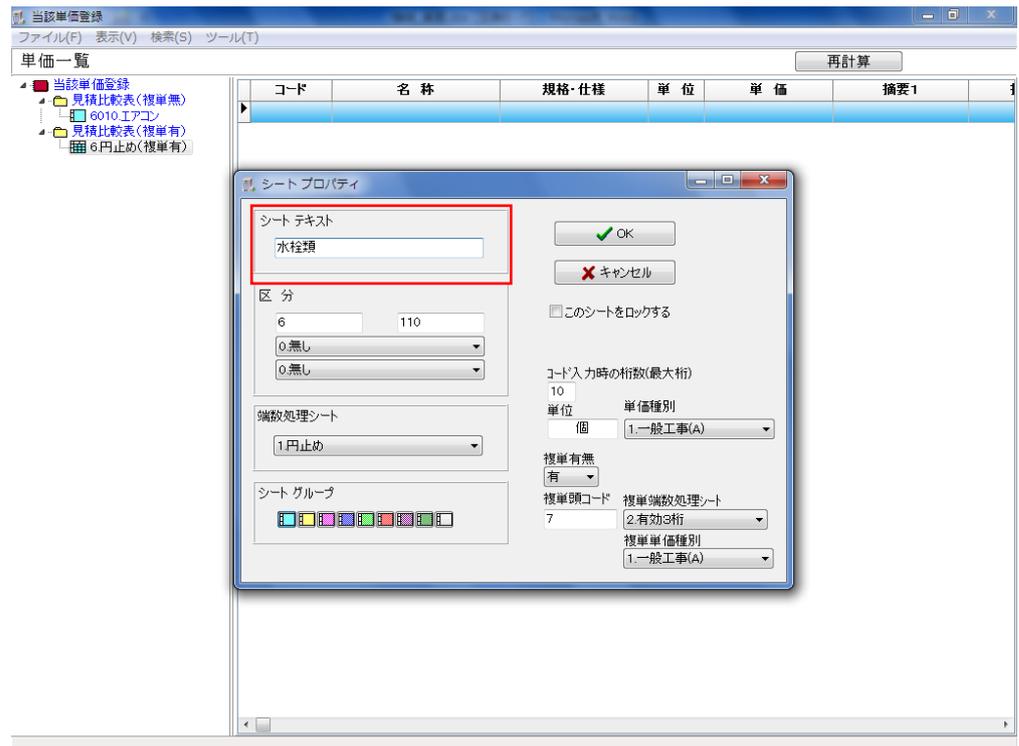


14 当該単価登録 複合単価あり

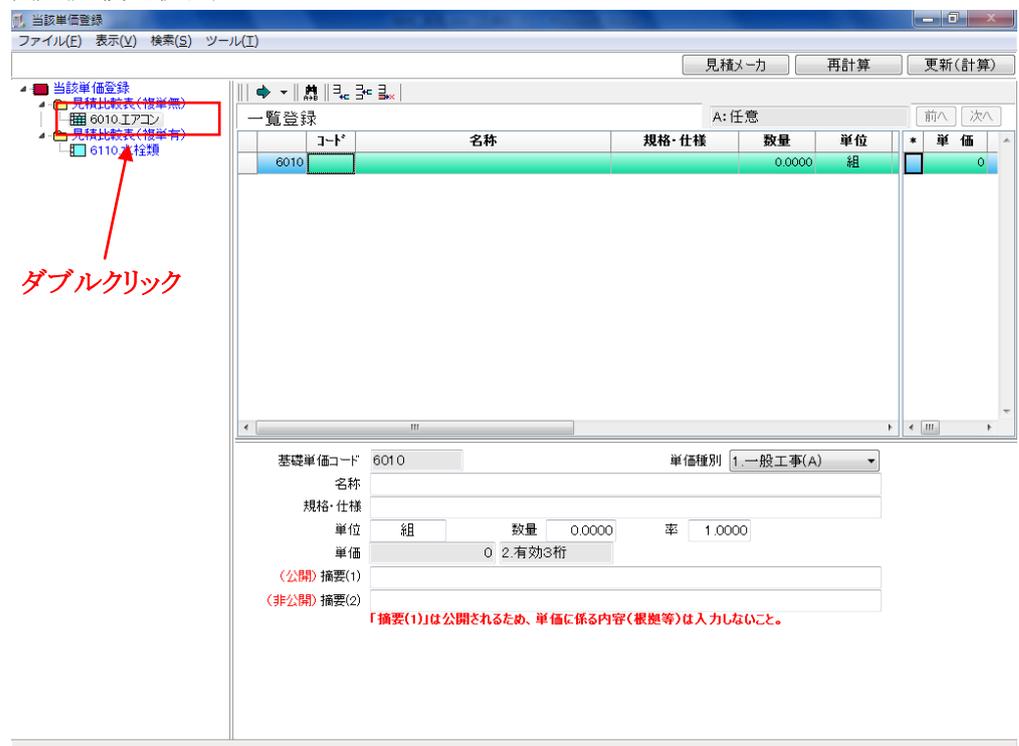


※入力した当該単価からさらに複合単価を作るためのシート(掛率を乗じた後円止め)です。  
 当該単価(材料費)は6頭コードでこれを基に複合単価を作ると7頭コード(以下は同じコード)になります。このシートは複単有用として端数処理は「円止め」、複単有無「有」が初期設定されています。

15 当該単価シート(複単有)プロパティ(名称を変えたところ)

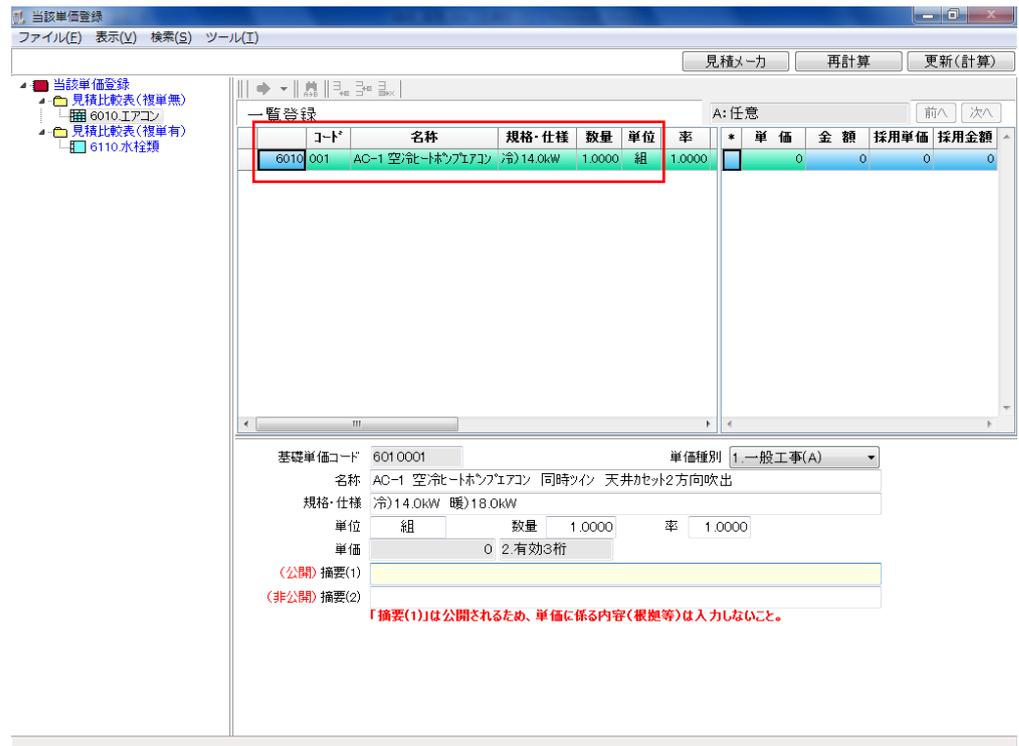


16 当該単価(見積比較表)の入力



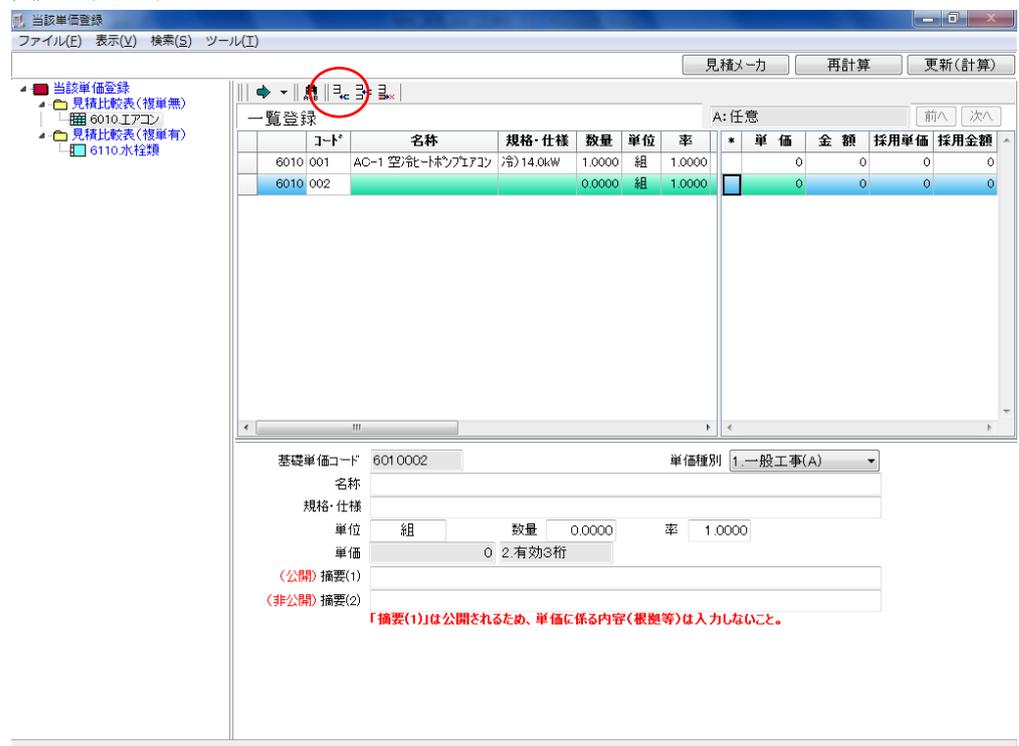
※[6010.エアコン]シートをダブルクリックすると上記画面になります。

### 17 当該単価の名称等入力



※この画面の状態です、まずコードを入力して下さい(コードは任意です)。それから、名称、仕様、数量等入力して下さい。入力は上側の表でも、下側の帳票側のどちらからでも入力できます。

### 18 当該単価の名称等入力



1) [行追加]ボタンを押してから同様にコードを入力し、各項目を入力して下さい。

## 19 査定率の入力

当該単価登録

ファイル(E) 表示(V) 検索(S) ツール(I)

見積メーカ 再計算 更新(計算)

当該単価登録

- 見積比較表(複単無)
- 6010.エアコン
- 見積比較表(複単有)
- 6110.水栓類

一覧登録

| コード      | 名称                | 規格・仕様       | 数量     | 単位 | 率      | 単価 | 金額 | 採用単価 | 採用金額 |
|----------|-------------------|-------------|--------|----|--------|----|----|------|------|
| 6010 001 | AC-1 空冷ヒートポンプエアコン | 冷)14.0kW    | 1.0000 | 組  | 1.0000 | 0  | 0  | 0    | 0    |
| 6010 002 | RC-1 ルームエアコン      | 壁掛型 冷)4.0kW | 1.0000 | 組  | 1.0000 | 0  | 0  | 0    | 0    |
| 6010 003 | RC-1 ルームエアコン      | 壁掛型 冷)4.0kW | 1.0000 | 組  | 1.0000 | 0  | 0  | 0    | 0    |

基礎単価コード 6010001 単価種別 1.一般工事(A)

名称 AC-1 空冷ヒートポンプエアコン 同時ツイン 天井から2方向吹出

規格・仕様 冷)14.0kW 暖)18.0kW

単位 組 数量 1.0000 率 1.0000

単価 0 2.有効3桁

(公開) 摘要(1)

(非公開) 摘要(2)

「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。

※査定率の初期値は1です。

※入力の上側の表でも、下側の帳票側のどちらからでも入力できます。

## 20 査定率の入力(コピー&ペースト機能)

当該単価登録

ファイル(F) 表示(V) 検索(S) ツール(T)

見積メーカ 再計算 更新(計算)

当該単価登録

- 見積比較表(複単無)
- 6010.エアコン
- 見積比較表(複単有)
- 6110.水栓類

一覧登録

| コード      | 名称                | 規格・仕様       | 数量     | 単位 | 率      | 単価 | 金額 | 採用単価 | 採用金額 |
|----------|-------------------|-------------|--------|----|--------|----|----|------|------|
| 6010 001 | AC-1 空冷ヒートポンプエアコン | 冷)14.0kW    | 1.0000 | 組  | 0.7000 | 0  | 0  | 0    | 0    |
| 6010 002 | RC-1 ルームエアコン      | 壁掛型 冷)4.0kW | 1.0000 | 組  | 0.7000 | 0  | 0  | 0    | 0    |
| 6010 003 | RC-1 ルームエアコン      | 壁掛型 冷)4.0kW | 1.0000 | 組  | 0.7000 | 0  | 0  | 0    | 0    |

基礎単価コード 6010003 単価種別 1.一般工事(A)

名称 RC-1 ルームエアコン 壁掛型(インター)

規格・仕様 冷)4.0kW 暖)6.0kW

単位 組 数量 1.0000 率 0.7000

単価 0 2.有効3桁

(公開) 摘要(1)

(非公開) 摘要(2)

「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。

1) 1行目に査定率を入力し、[Ctrl]+[c] を押し、記憶させます。

2) 同じ値にしたいセルを選択して、[Ctrl]+[v] を押すことで上記画面のようになります。

## 21 当該単価(見積比較表)の見積メーカー入力

The screenshot shows the '当該単価登録' (Unit Price Registration) window. The '見積メーカー' (Manufacturer) button is circled in red. The main table lists items with columns: コード (Code), 名称 (Name), 規格・仕様 (Specifications), 数量 (Quantity), 単位 (Unit), 率 (Rate), \* 単価 (Unit Price), 金額 (Amount), 採用単価 (Adopted Unit Price), and 採用金額 (Adopted Amount). The '見積メーカー' dialog box is open, showing a table for entering manufacturer details.

| メーカーコード | メーカー名 | 略称   | メーカー単価合計 | メーカー金額合計 |
|---------|-------|------|----------|----------|
| A社      | T     | 任意   | 0        | 0        |
| B社      |       |      | 0        | 0        |
| C社      |       |      | 0        | 0        |
| 採用      | T 他   | 任意 他 | 0        | 0        |

規格・仕様: (冷)14.0kW (暖)18.0kW  
 単位: 組 数量: 1.0000 率: 0.7000  
 単価: 0 2.有効3桁  
 (公開) 摘要(1)  
 (非公開) 摘要(2)  
 「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。

- 1) 右上の[見積メーカー]ボタンを押すと上記の画面になります。  
 ※メーカーコードは頭に T を入力すれば任意入力できます。

## 22 当該単価(見積比較表)の採用基準

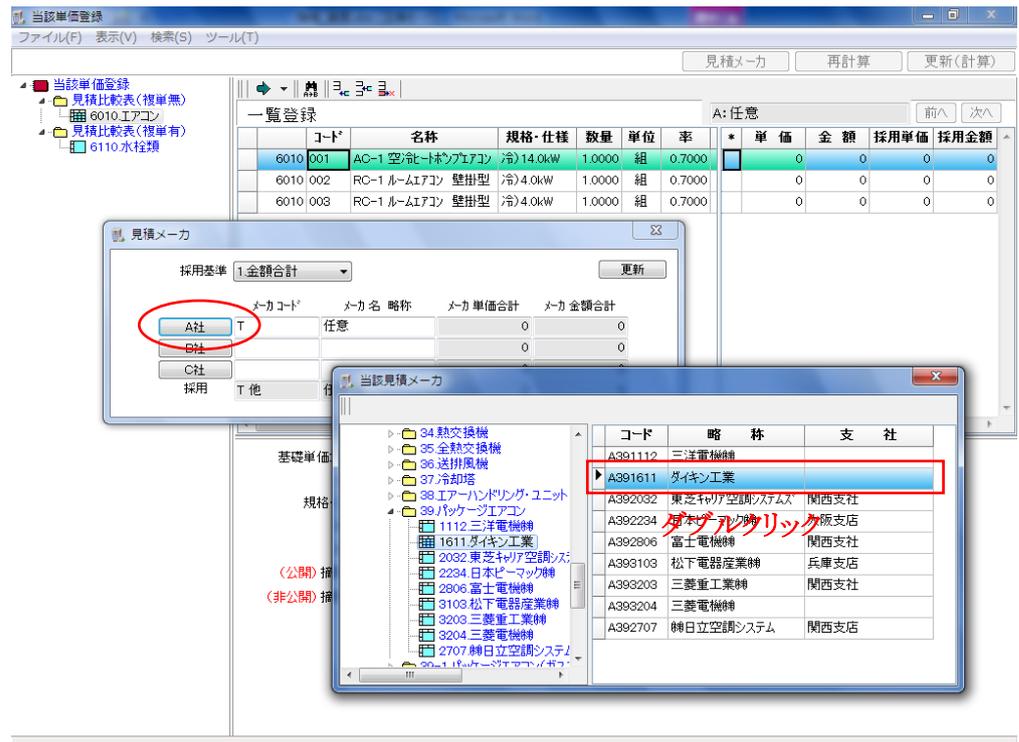
The screenshot shows the '当該単価登録' (Unit Price Registration) window. The '見積メーカー' (Manufacturer) button is highlighted in red. The main table lists items with columns: コード (Code), 名称 (Name), 規格・仕様 (Specifications), 数量 (Quantity), 単位 (Unit), 率 (Rate), \* 単価 (Unit Price), 金額 (Amount), 採用単価 (Adopted Unit Price), and 採用金額 (Adopted Amount). The '見積メーカー' dialog box is open, showing a table for entering manufacturer details. The '採用基準' (Adoption Criteria) dropdown menu is highlighted with a red box.

| メーカーコード | メーカー名 | 略称   | メーカー単価合計 | メーカー金額合計 |
|---------|-------|------|----------|----------|
| A社      | T     | 任意   | 0        | 0        |
| B社      |       |      | 0        | 0        |
| C社      |       |      | 0        | 0        |
| 採用      | T 他   | 任意 他 | 0        | 0        |

規格・仕様: (冷)14.0kW (暖)18.0kW  
 単位: 組 数量: 1.0000 率: 0.7000  
 単価: 0 2.有効3桁  
 (公開) 摘要(1)  
 (非公開) 摘要(2)  
 「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。

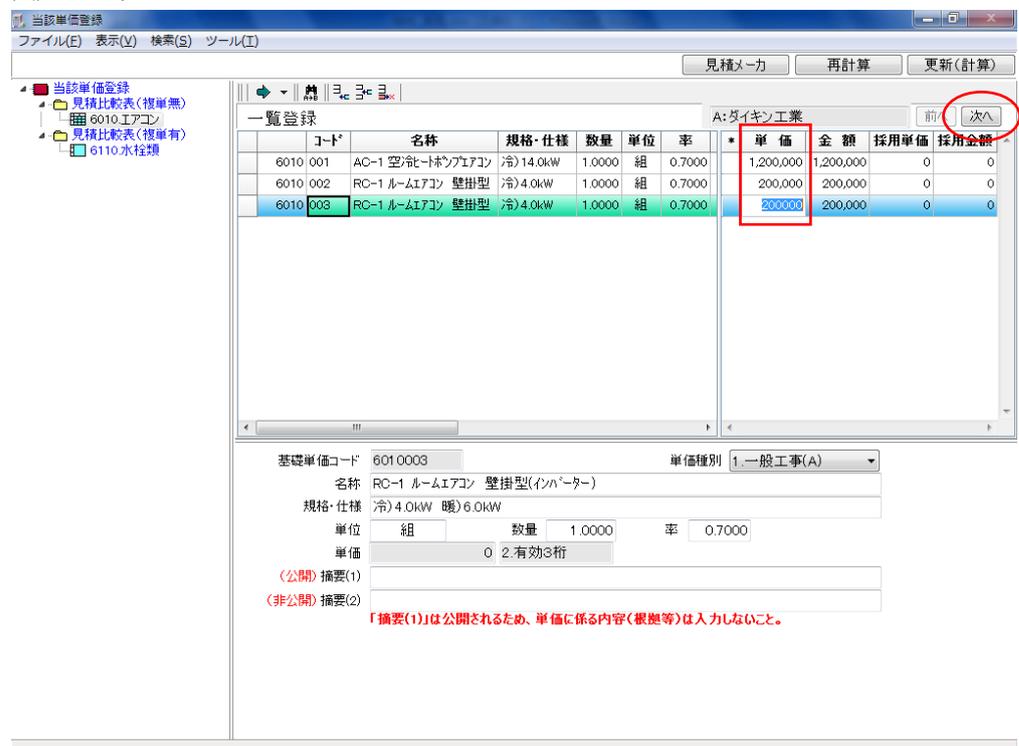
- 1) 採用基準をプルダウンにより選択します。

## 23 見積メーカーを設定する



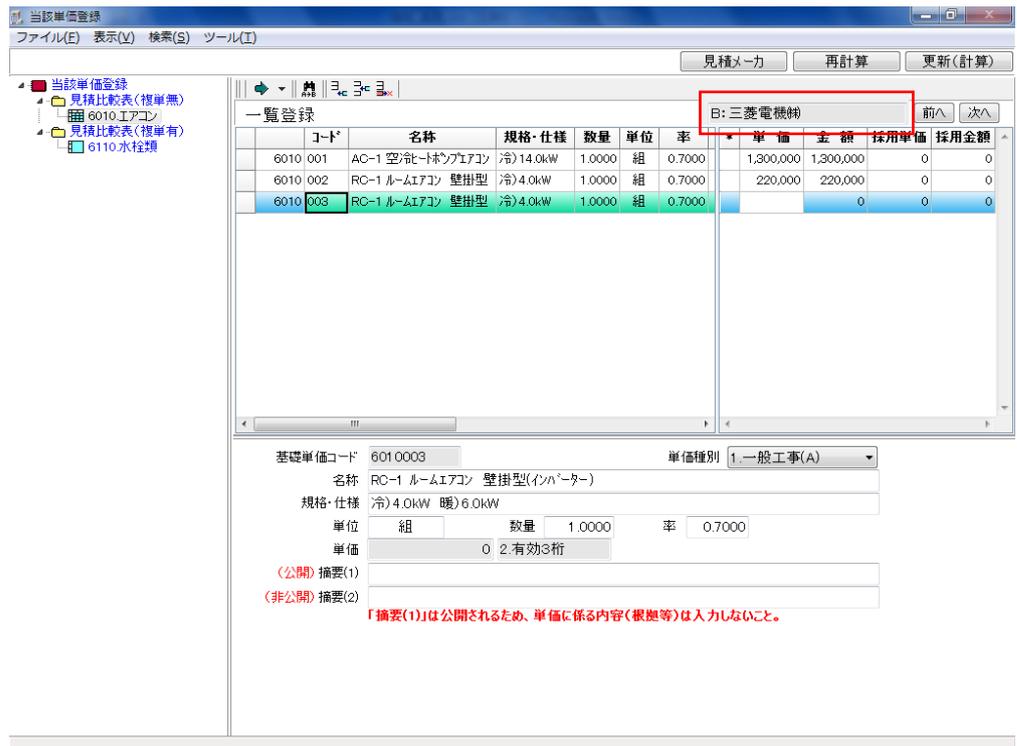
- 1) 見積メーカーを設定します。[A社]のボタンを押すことで、見積メーカーの Window が出てきます。
- 2) 該当するメーカーをダブルクリックで選択します。

## 24 当該単価の金額入力1



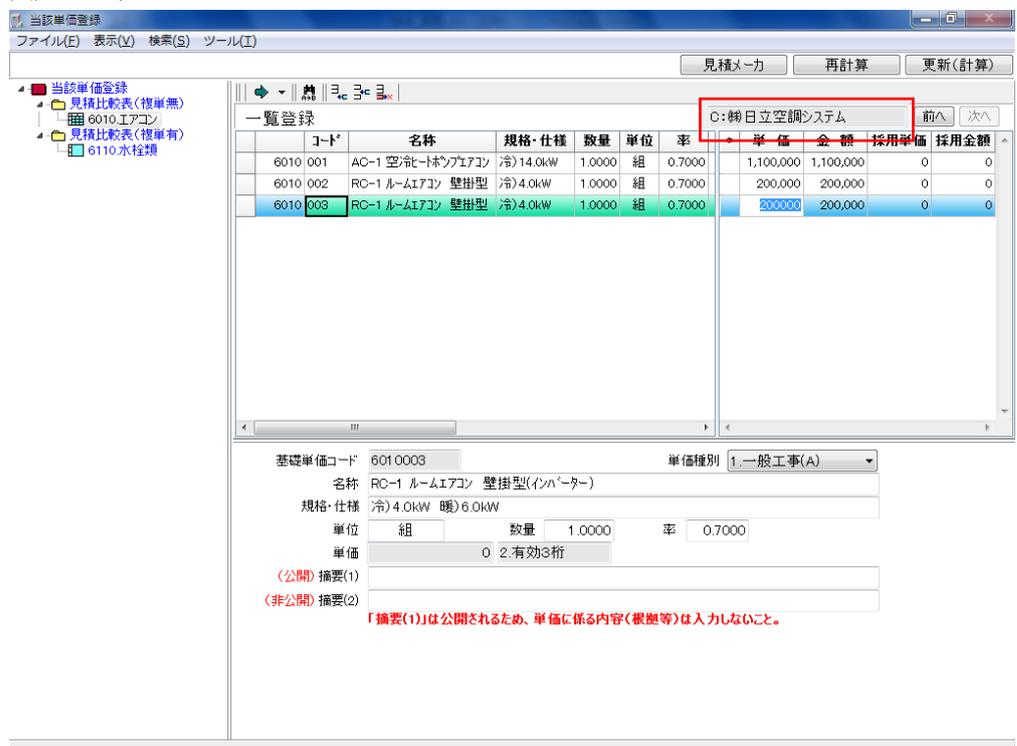
- 1) 単価の欄に金額を入力して下さい。
- 2) 入力したら右上の[次へ]ボタンを押して下さい。

25 当該単価の金額入力2



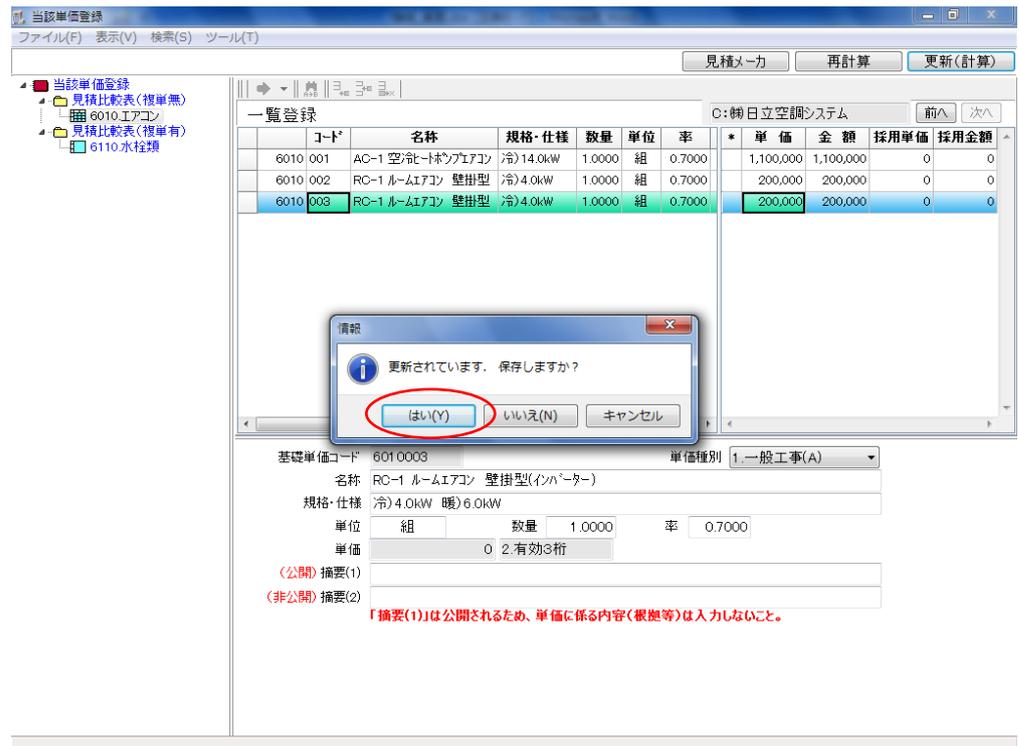
- 1) [次へ]を押すと、見積メーカーの時に入力した B 社金額入力画面になります。
- 2) 金額を入力して下さい。

26 当該単価の金額入力3



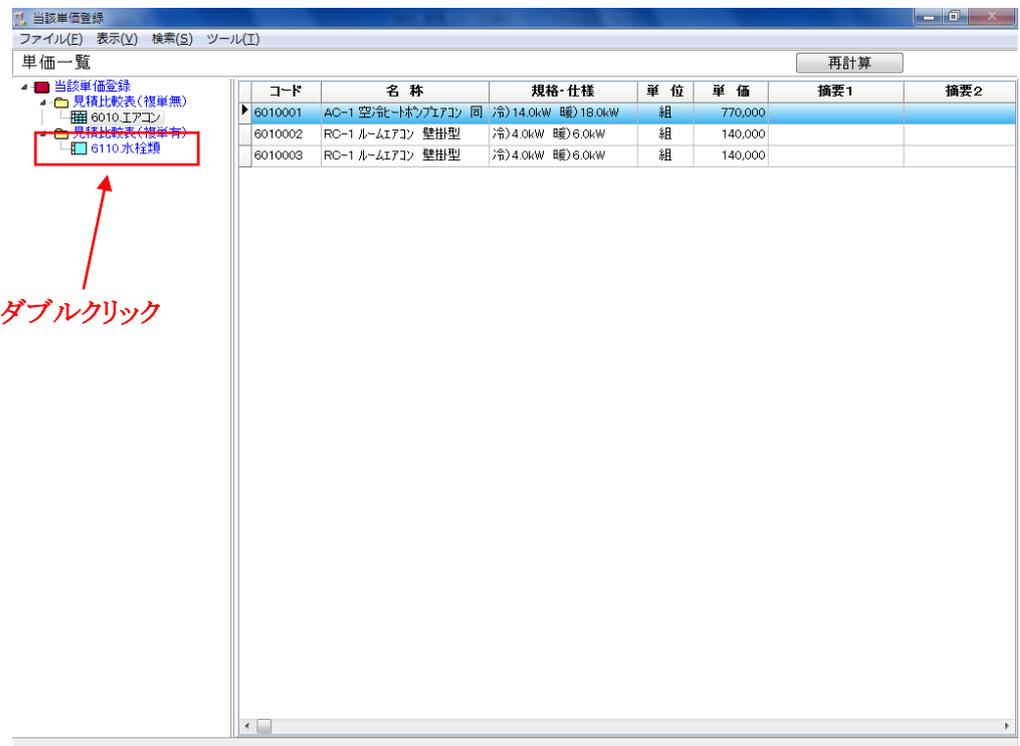
- 1) [次へ]を押すと、見積メーカーの時に入力した C 社金額入力画面になります。
- 2) 金額を入力して下さい。

## 27 当該単価の計算



- 1) 右上の[更新(計算)]ボタンを押すと、更新確認画面が表示されますので[はい]を押します。

## 28 当該単価一覧



※入力したコード、名称、査定計算した単価が表示されます。

- 1) 次に[6110.水栓類]シートをダブルクリックします。

## 29 当該単価(複単有り)入力

当該単価登録

ファイル(E) 表示(V) 検索(S) ツール(I)

見積メーカ 再計算 更新(計算)

当該単価登録

- 見積比較表(複単無)
- 6010.エアコン
- 見積比較表(複単有)
- 6110.水栓類

一覧登録

A: 東陶機器物

| コード      | 名称             | 規格・仕様 | 数量     | 単位 | 率      | * 単価   | 金額     | 採用単価 | 採用金額 |
|----------|----------------|-------|--------|----|--------|--------|--------|------|------|
| 6110 010 | 混合水栓 TKG31UGP  |       | 1.0000 | 個  | 0.7000 | 15,000 | 15,000 | 0    | 0    |
| 6110 011 | アンクル形水栓 TL511C |       | 1.0000 | 個  | 0.7000 | 3,000  | 3,000  | 0    | 0    |
| 6110 012 | 泡沫自在水栓 T136S13 |       | 1.0000 | 個  | 0.7000 | 2,500  | 2,500  | 0    | 0    |

基礎単価コード: 6110010 複単有無: 有 単価種別: 1.一般工事(A)

名称: 混合水栓 TKG31 UGP

規格・仕様

単位: 個 数量: 1.0000 率: 0.7000

単価: 0 1.円止め

(公開) 摘要(1)

(非公開) 摘要(2)

複合単価(Ctrl+B) 7110010 複合単価: 0

【摘要(1)は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。

1) 同様に名称、金額等を入力して下さい。

※下側の帳票の左下に[複合単価(Ctrl+B)]というボタンがあります。登録した当該単価(材料費)に対して歩掛を設定するものです。これを押すと複単カードというWindowが出てきます。

## 30 複単カード

当該単価登録

ファイル(F) 表示(V) 検索(S) ツール(T)

見積メーカ 再計算 更新(計算)

当該単価登録

- 見積比較表(複単無)
- 6010.エアコン
- 見積比較表(複単有)
- 6110.水栓類

一覧登録

A: 東陶機器物

| コード      | 名称             | 規格・仕様 | 数量     | 単位 | 率      | * 単価   | 金額     | 採用単価   | 採用金額   |
|----------|----------------|-------|--------|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 6110 010 | 混合水栓 TKG31UGP  |       | 1.0000 | 個  | 0.7000 | 15,000 | 15,000 | 10,500 | 10,500 |
| 6110 011 | アンクル形水栓 TL511C |       | 1.0000 | 個  | 0.7000 | 3,000  | 3,000  | 2,100  | 2,100  |
| 6110 012 | 泡沫自在水栓 T136S13 |       | 1.0000 | 個  | 0.7000 | 2,500  | 2,500  | 1,750  | 1,750  |

複合単価コード: 7110010 端数処理シート: 2有効3桁

複合単価: 0 単価種別: 1.一般工事(A)

歩掛コード

コード: 名称: 規格・仕様: 単位: 計算式: 01.電気(配線)

労務単価(R1) 単位: 労務乗率: 1.00 本数: 1.000

労務単価(R2) 乗率: 1.000

労務単価(R3)

0.0000 0.0000 0.0000 0.0000 0.0000 0.0000 0.0000 0.0000 0.0000

塗装費コード

コード: 名称: 規格・仕様: 単位: 単価: 0

(公開) 摘要(1)

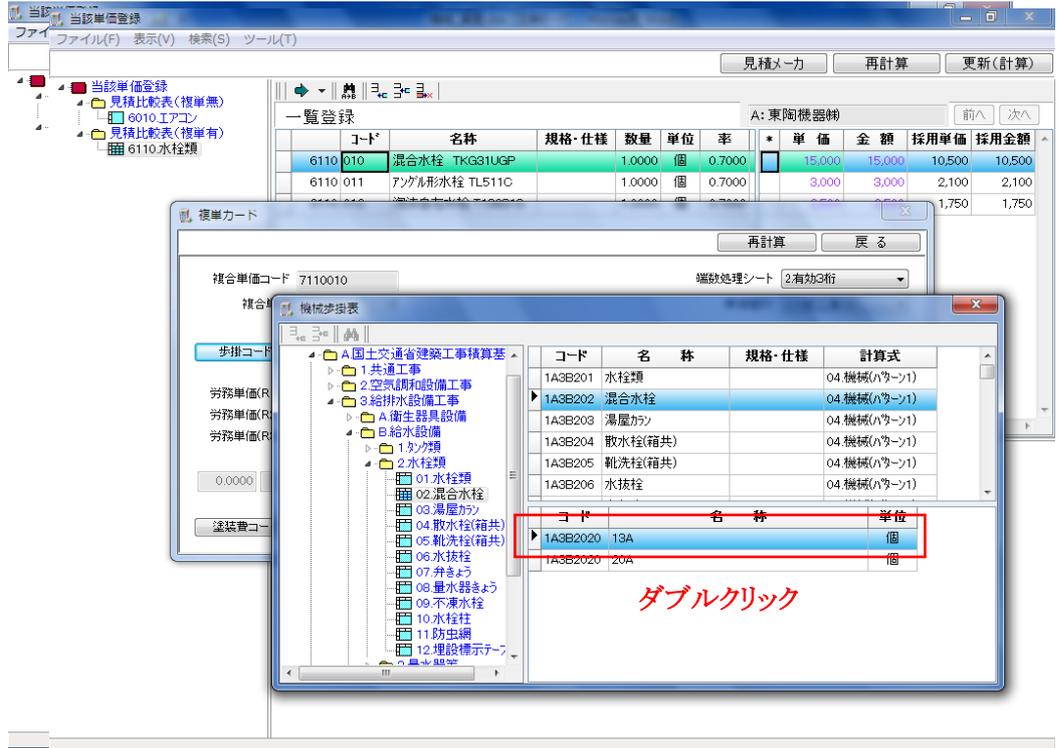
(非公開) 摘要(2)

複合単価(Ctrl+B) 7110010 複合単価: 0

【摘要(1)は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。

1) [歩掛コード]ボタンを押します。

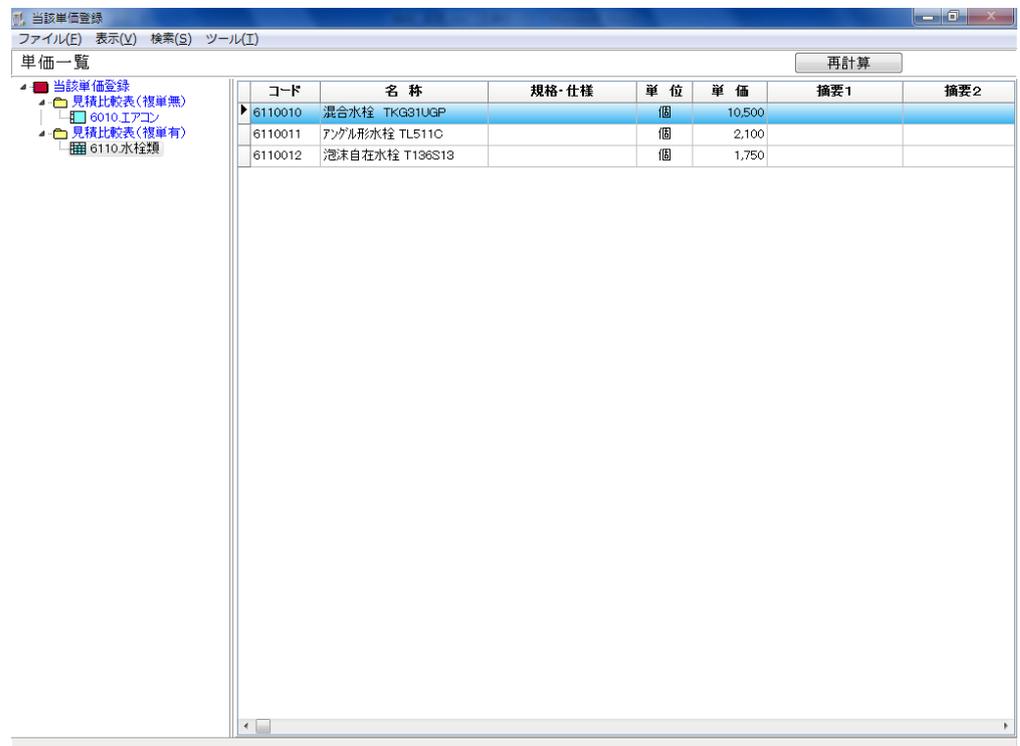
### 31 標準歩掛表



※別ウィンドウで標準歩掛表が出てきます。

- 1) 適応したい歩掛を選択して下さい。  
(最終的には右の下側に表示される名称をダブルクリックして下さい)
- この作業で複合単価が作成されます。

### 32 当該単価一覧(複単あり)



※画面を戻ると一覧画面になります。

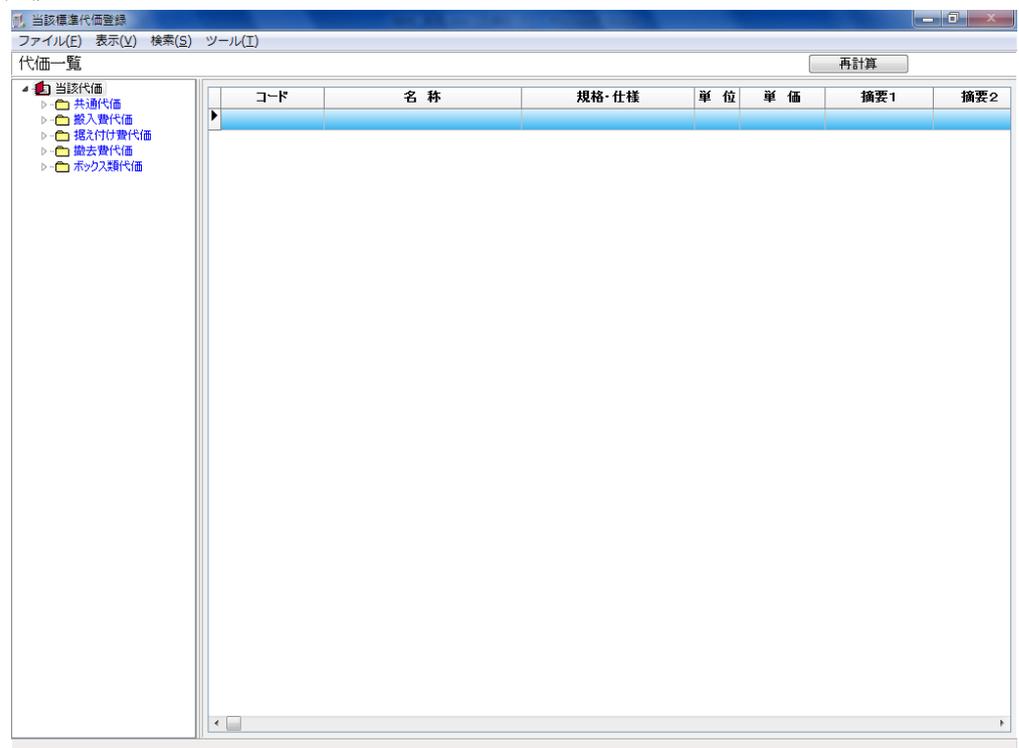
(現在この画面での表示は見積金額の方が表示されています。複合単価金額は、右へスクロールさせると表示されます。)

### 33 標準代価作成



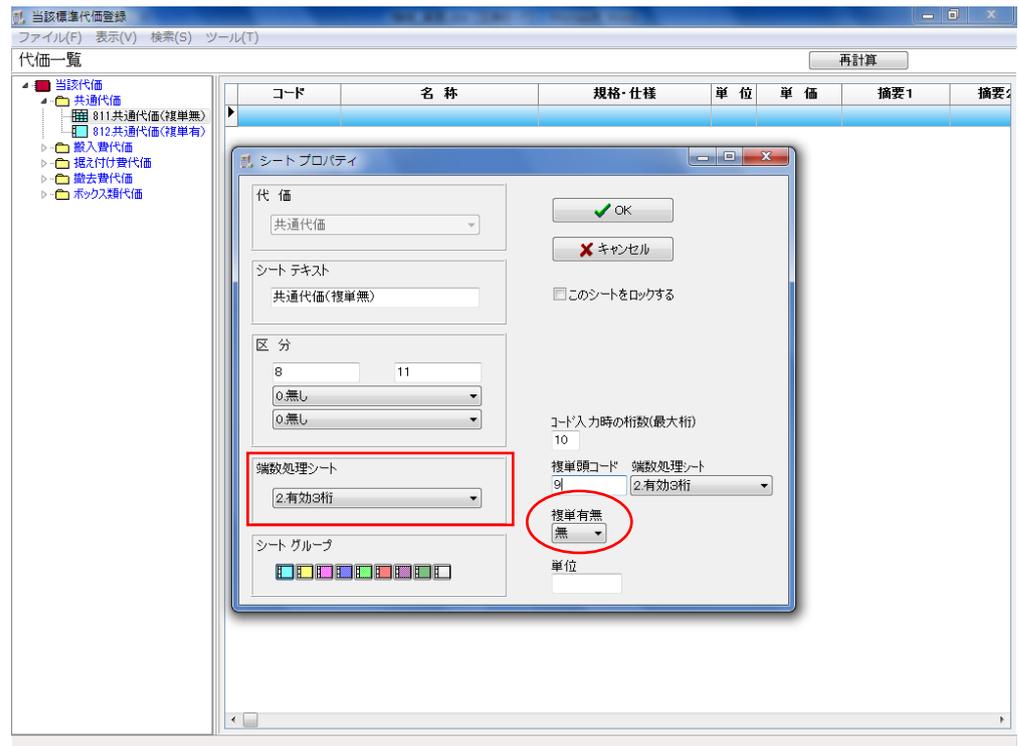
※代価には「共通代価」、「搬入費代価」、「撤去費代価」、「据え付け費代価」、「ボックス類代価」の5種類があります。

### 34 共通代価



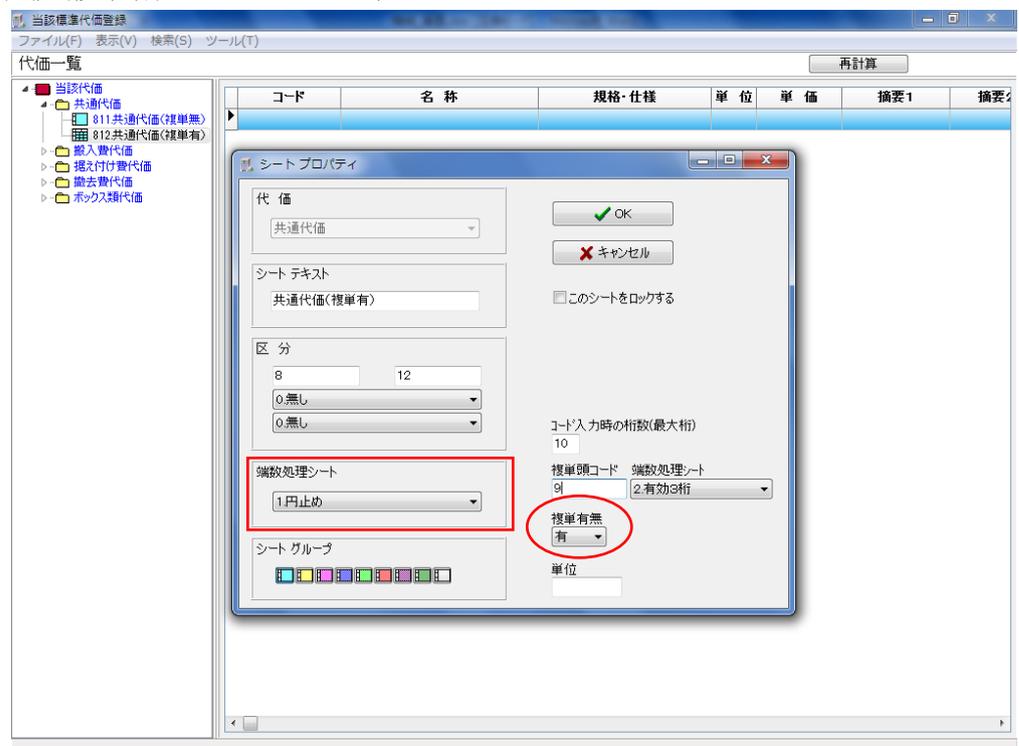
※共通代価は基礎単価・標準単価・当該単価・当該複合単価の各単価から入力できる代価表シートで、単純に足し算をして合計を3桁処理するものです。

### 35 共通代価(複単無)のシートプロパティ



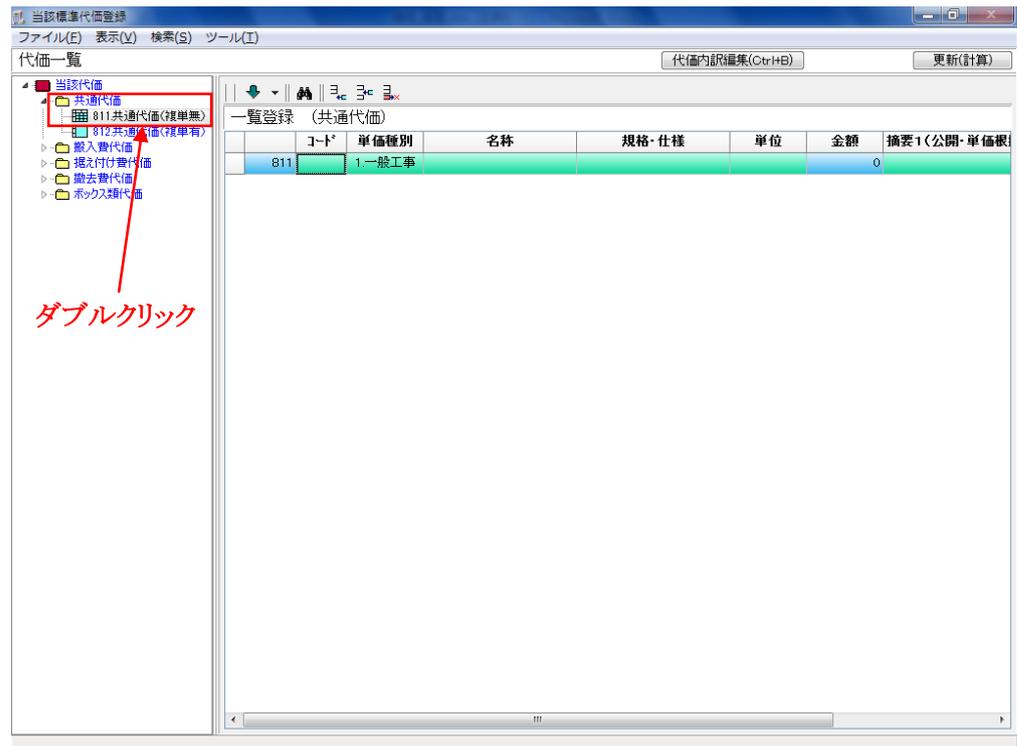
※共通代価(複単無)とは単純に足し算して合計を3桁処理するものです。プロパティを開くと設定がそのようになっています。

### 36 共通代価(複単有)のシートプロパティ



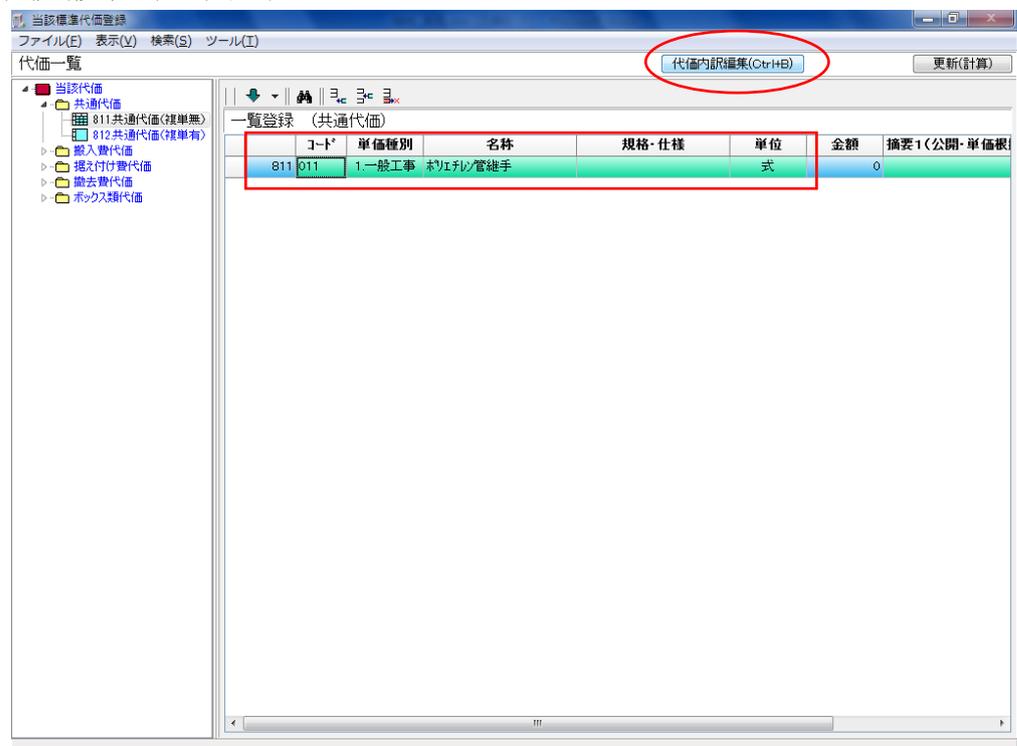
※共通代価(複単有)とは足し算した合計に歩掛を足すことができる代価シートです。プロパティを開くと設定がそのようになっています。当該基礎→当該複合と同じ考え方で、共通代価→共通代価複合となるものです。

### 37 共通代価(複単無)の入力



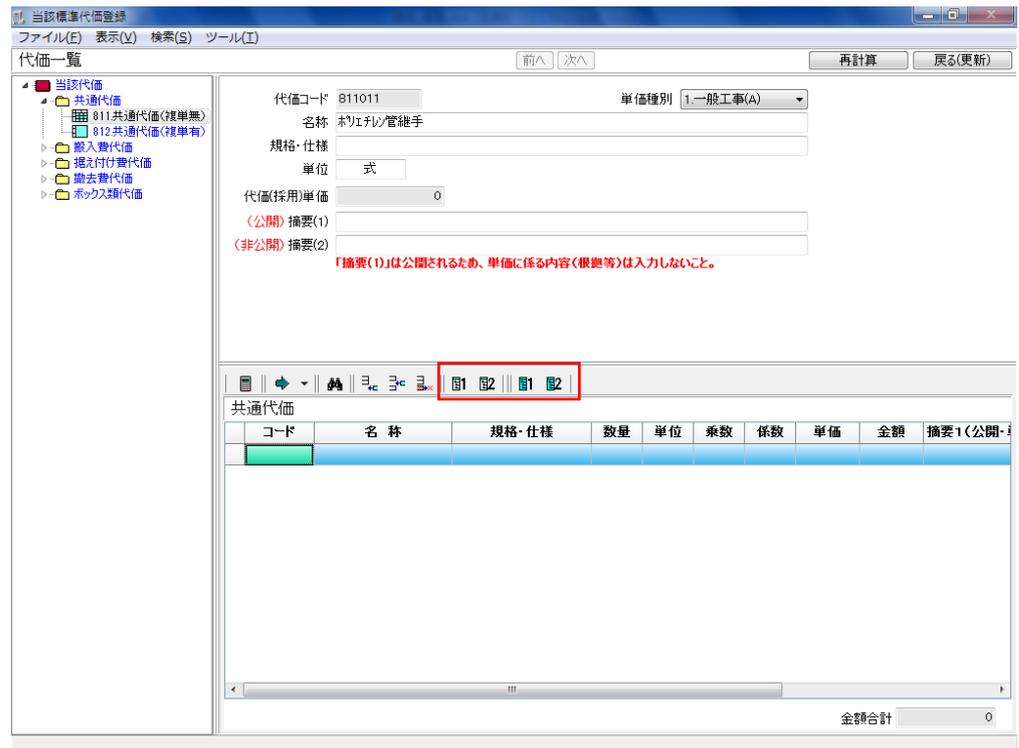
- 1) [011.共通代価(複単無)]シートをダブルクリックします。

### 38 共通代価(複単無)の名称等入力



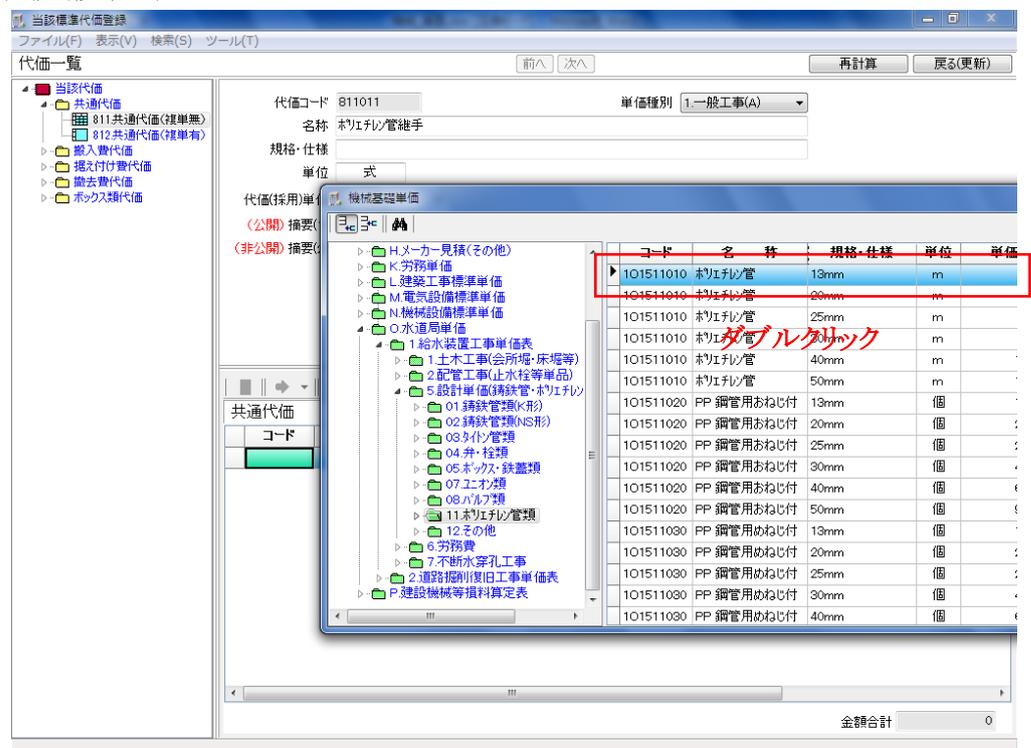
- 1) コード(任意番号)と名称、単位を入力して下さい。
- 2) [代価内訳編集 (Ctrl+B)]ボタンを押してください。

### 39 共通代価(複単無)の入力1



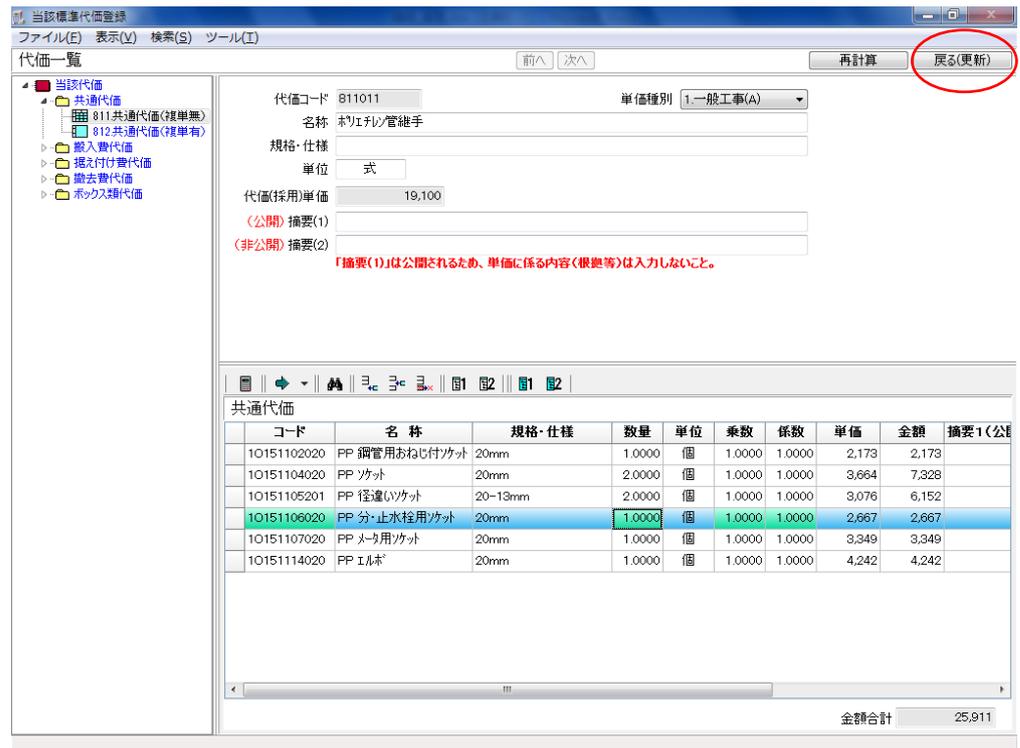
※四角の白いボタン[1]は基礎単価、[2]は標準単価、四角の青いボタン[1]は当該基礎単価、[2]は当該複合単価をそれぞれ開くためのものです。

### 40 共通代価(複単無)の入力2



- 1) 四角の白いボタン[1]を押し、基礎単価の Window を表示させます。
- 2) 該当する単価を探し、ダブルクリックにより選択します。

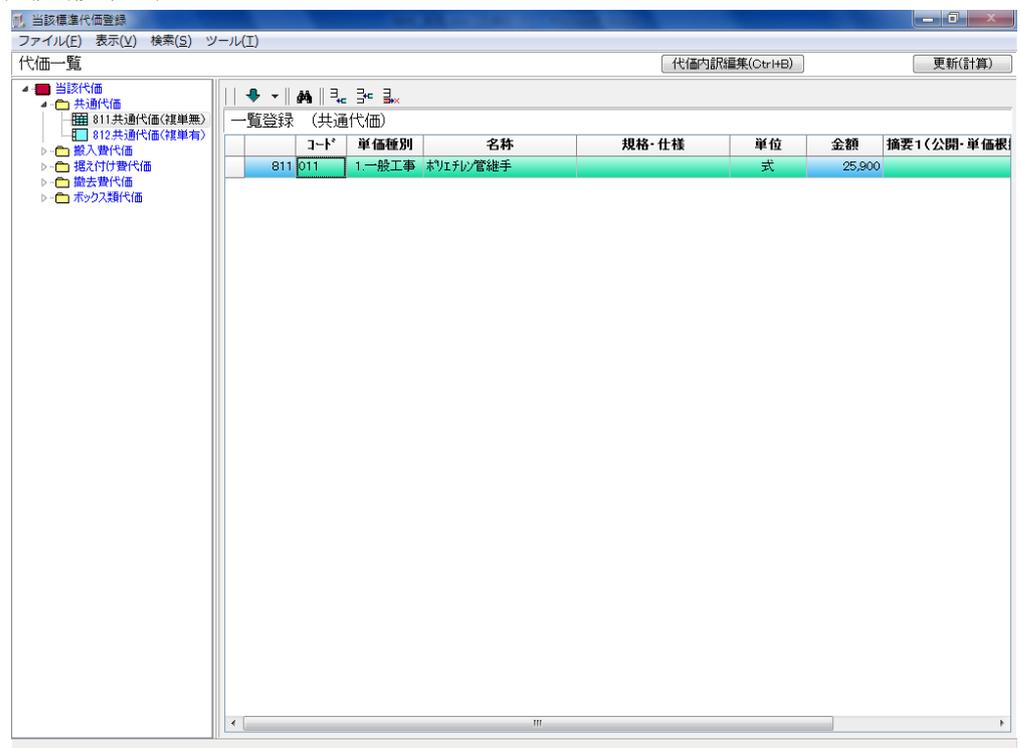
#### 41 共通代価(複単無)の入力3



※共通代価に入力した例です。例ではポリエチレン管継手を入力しています。

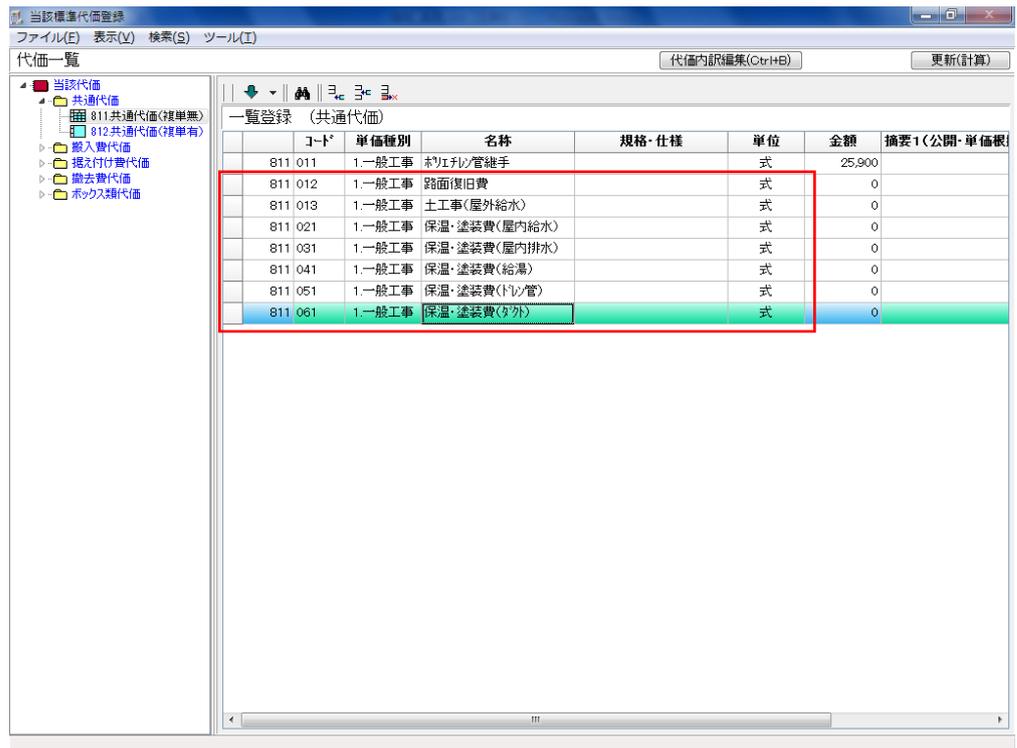
1) [戻る(更新)]ボタンを押します。

#### 42 共通代価(複単無)の入力4



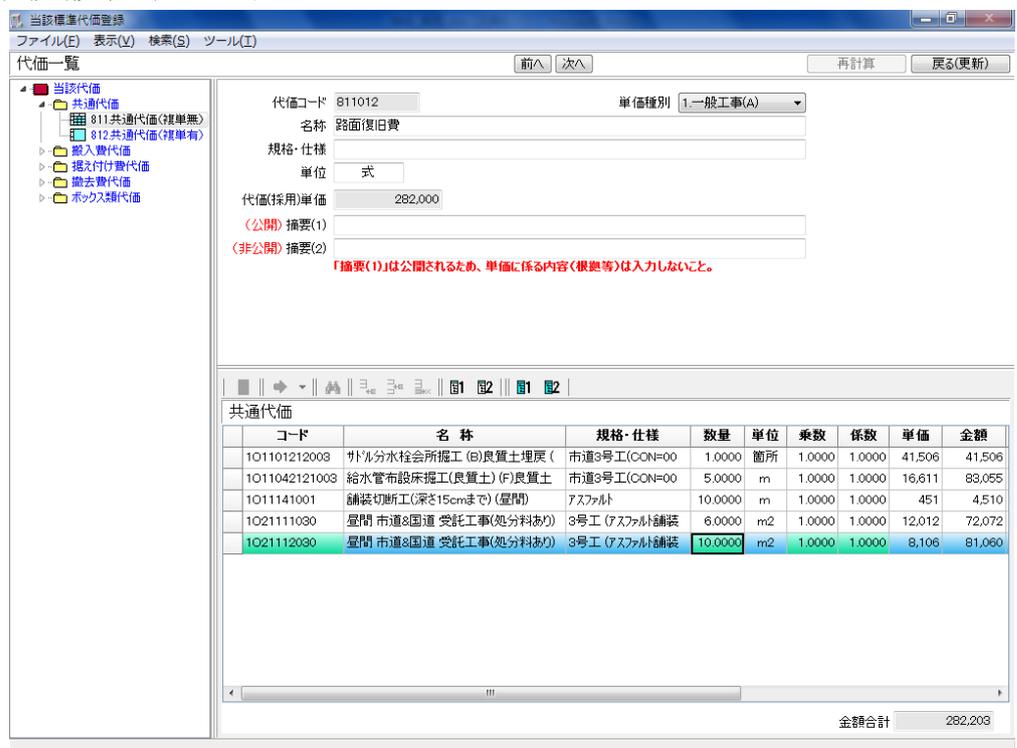
※共通代価シートの一覧登録画面に戻ります。

#### 43 共通代価(複単無)の名称等入力(先に入力)



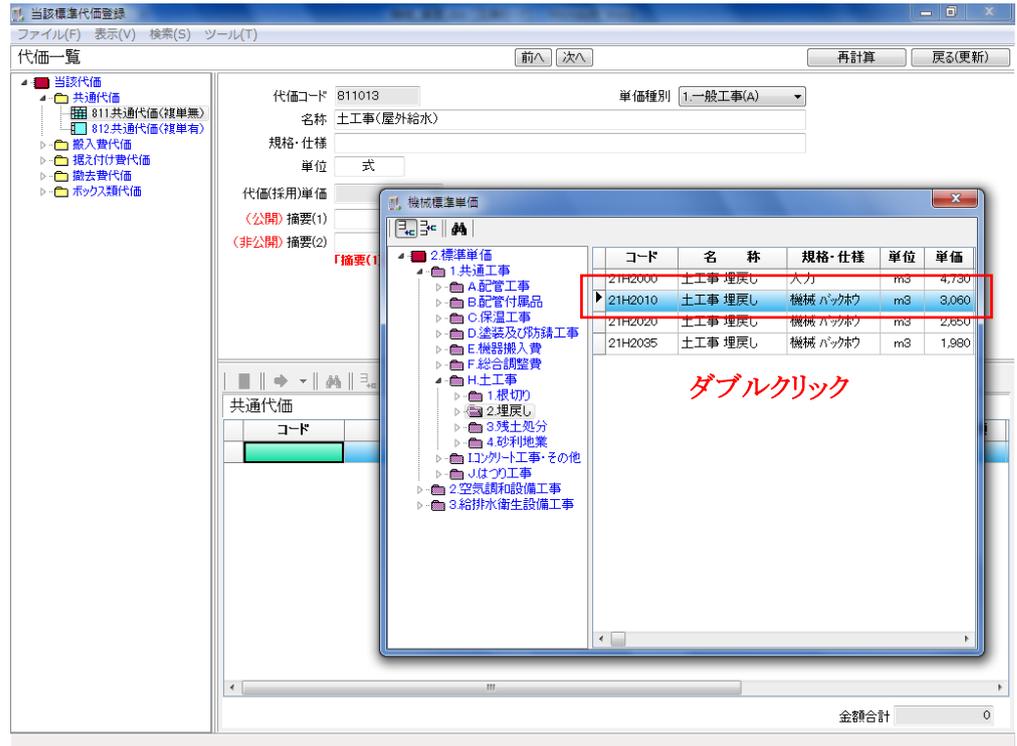
※代価のコードと名称、単位を先に入力した例です。

#### 44 共通代価(複単無)の入力例1



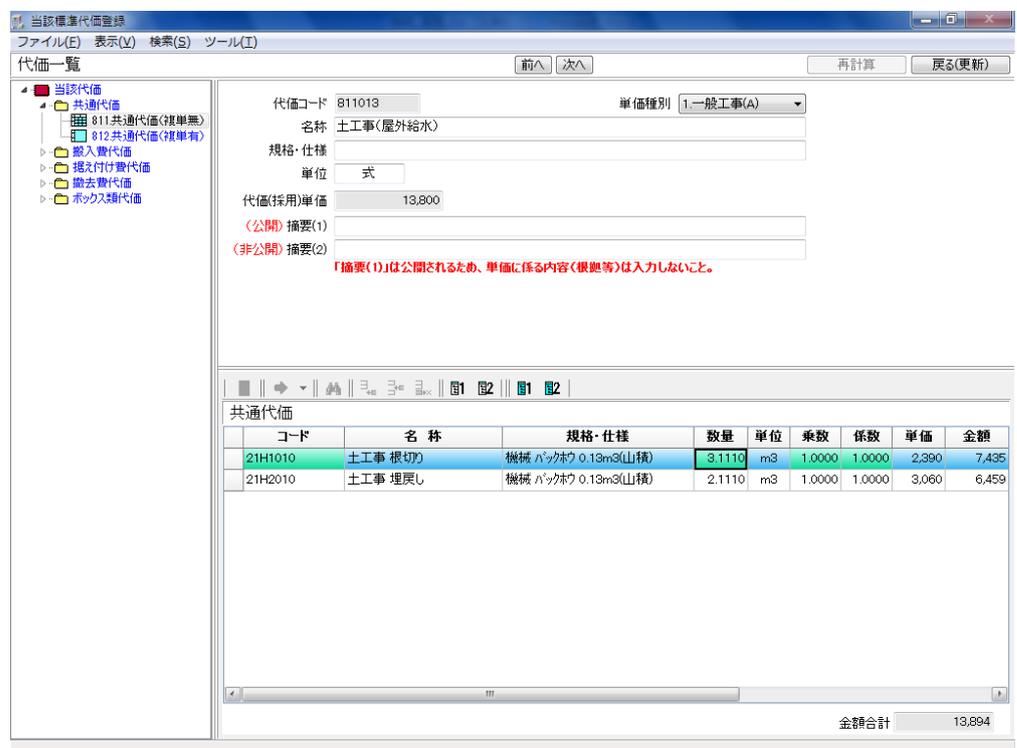
※路面復旧費の入力例です。

45 共通代価(複単無)の入力例2



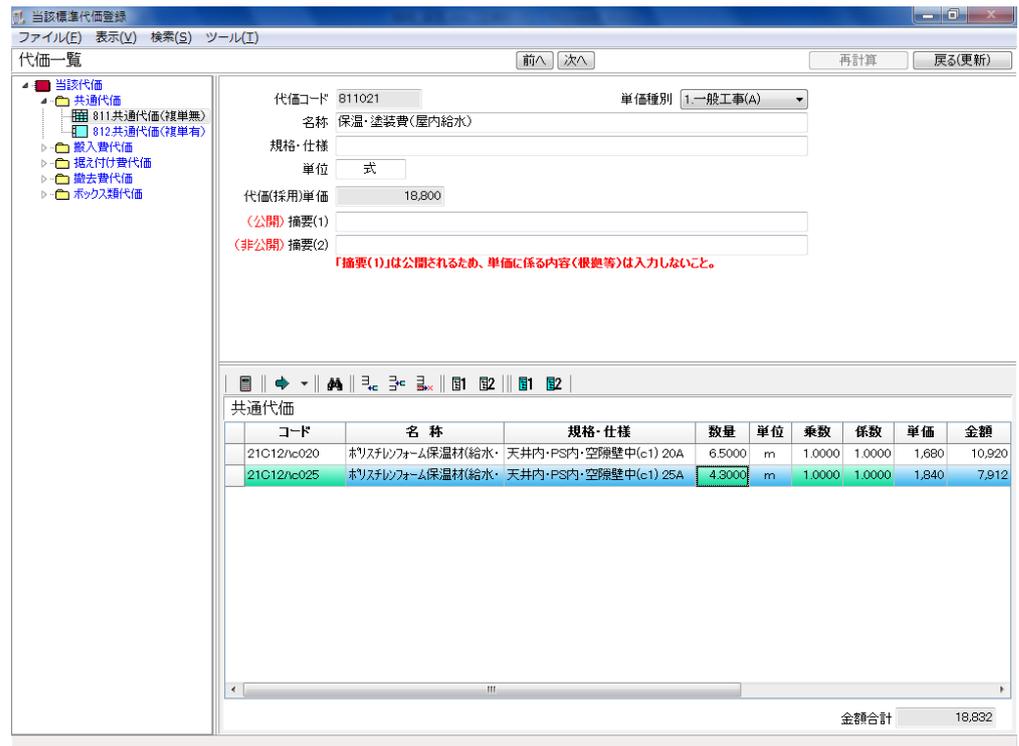
※土工事単価を入力するために、白いボタン[2]の標準単価を開いたところです。

46 共通代価(複単無)の入力例3



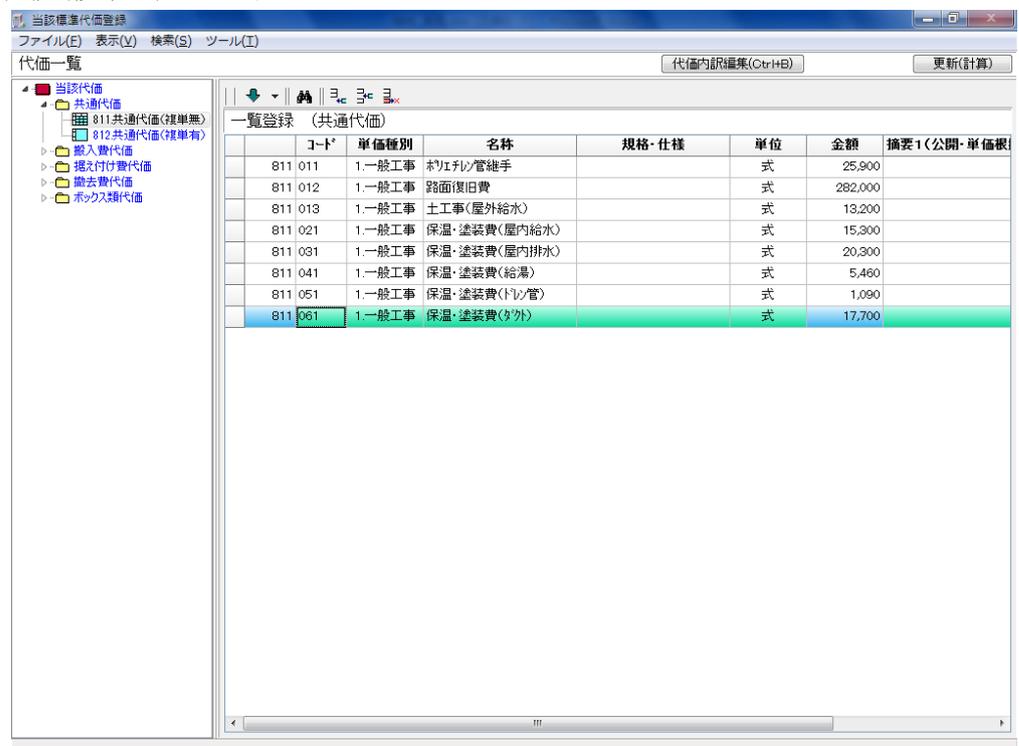
※土工事の代価入力例です。

47 共通代価(複単無)の入力例4



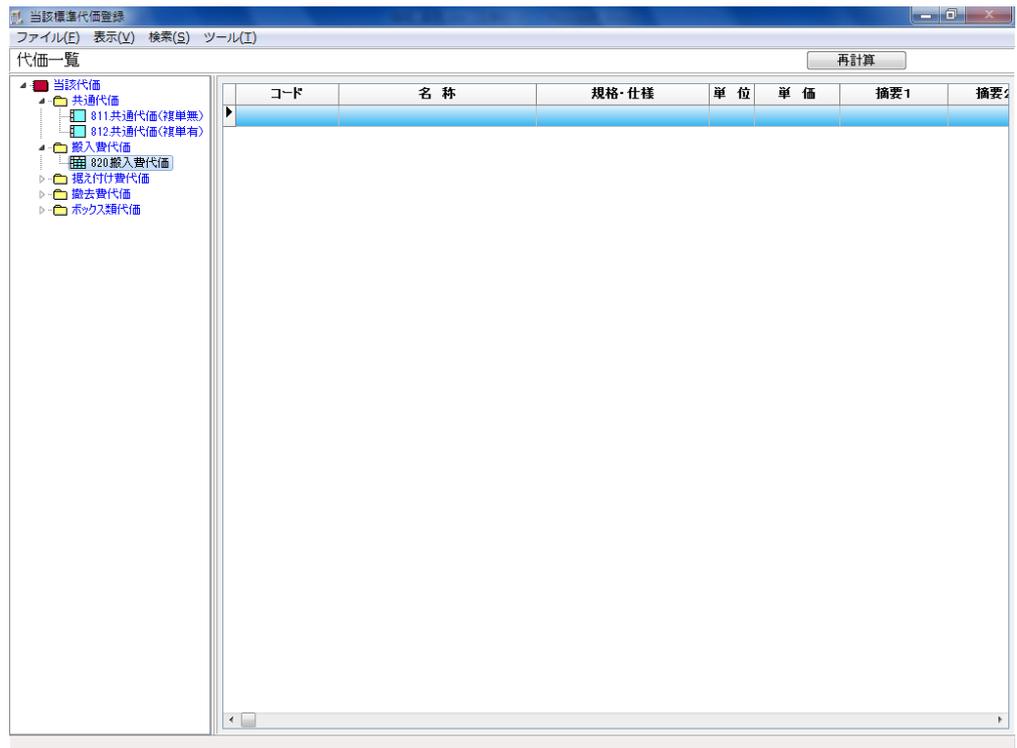
※保温の代価入力例です。

48 共通代価(複単無)の入力例5



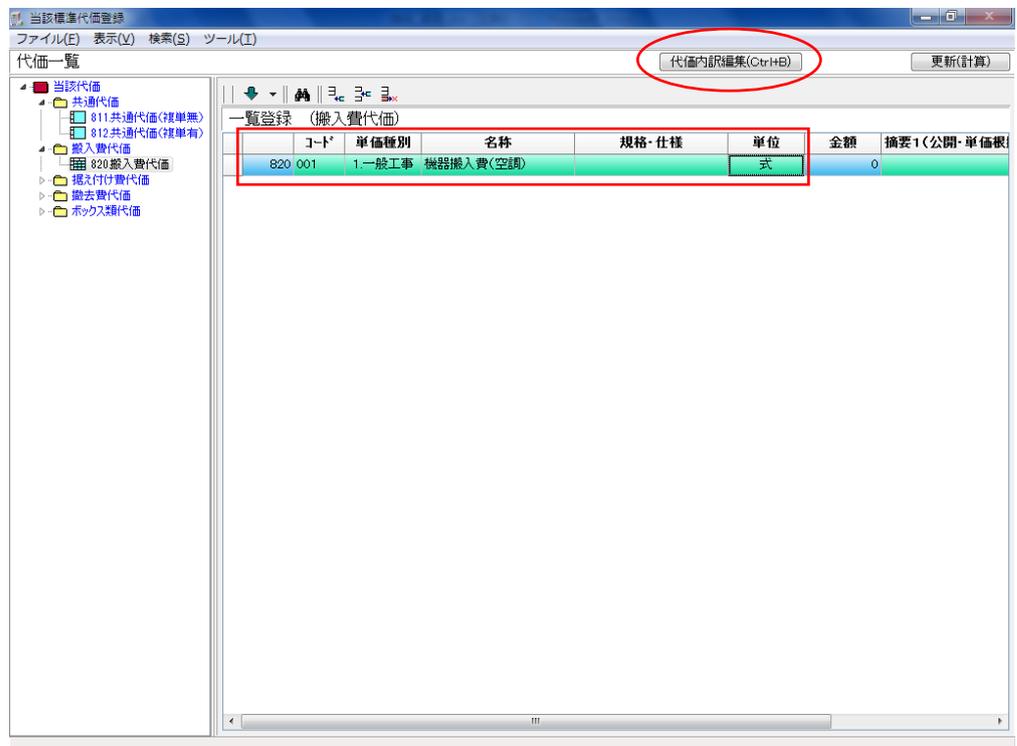
※共通代価の入力一覧です。

#### 49 搬入費代価の入力



※搬入費の入力です。

#### 50 搬入費代価の名称等入力



- 1) コードと名称、単位を入力して下さい。
- 2) 入力したら[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンを押して下さい。

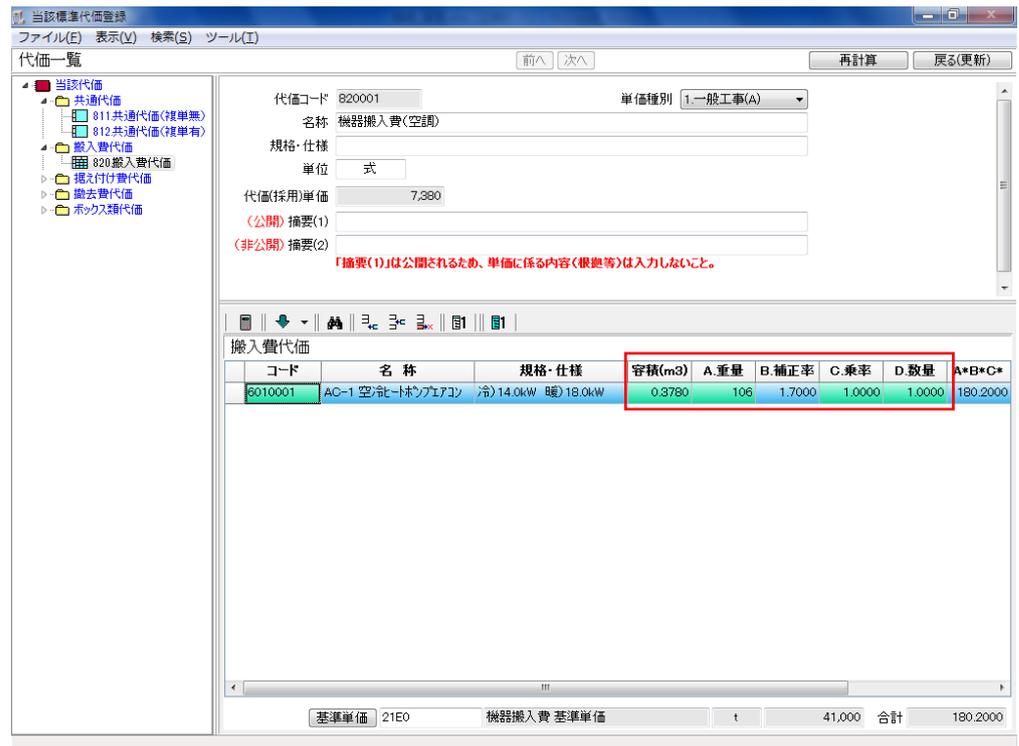
## 51 搬入費代価の入力画面

※搬入費の入力画面です。

## 52 搬入費代価の対象機器名称入力

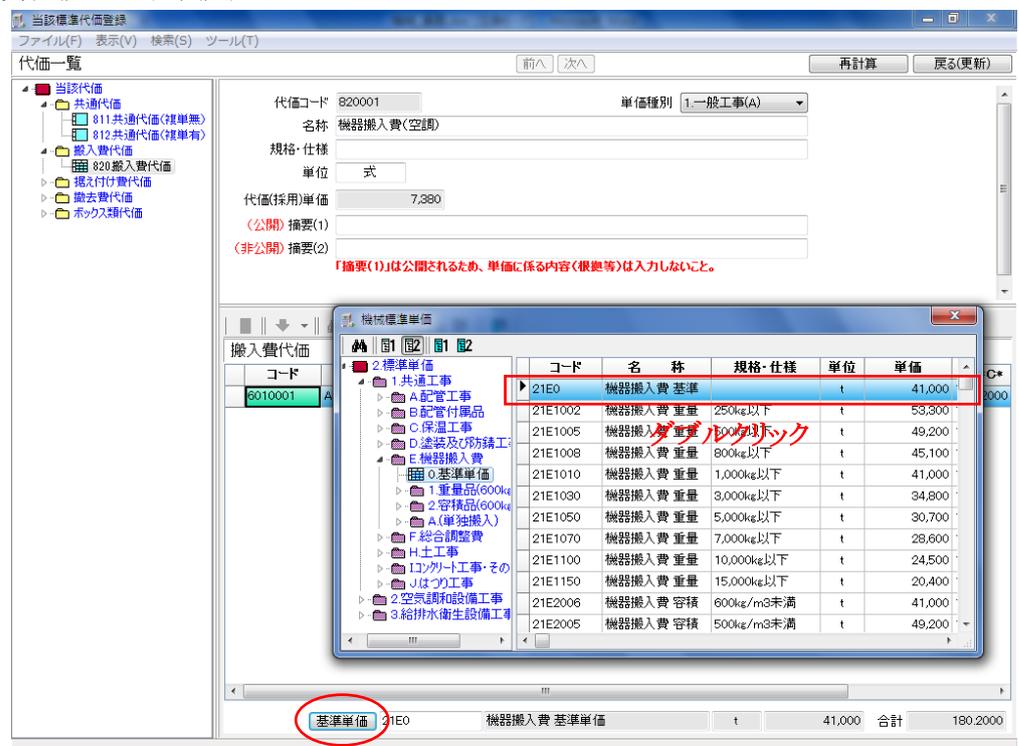
- 1) 四角の青ボタン[1]を押して、先ほど入力した当該基準単価の Window を表示させます。
- 2) 搬入費算定対象の機器を選択します。(ダブルクリックで入力されます。)

### 53 搬入費代価 容積、重量等入力



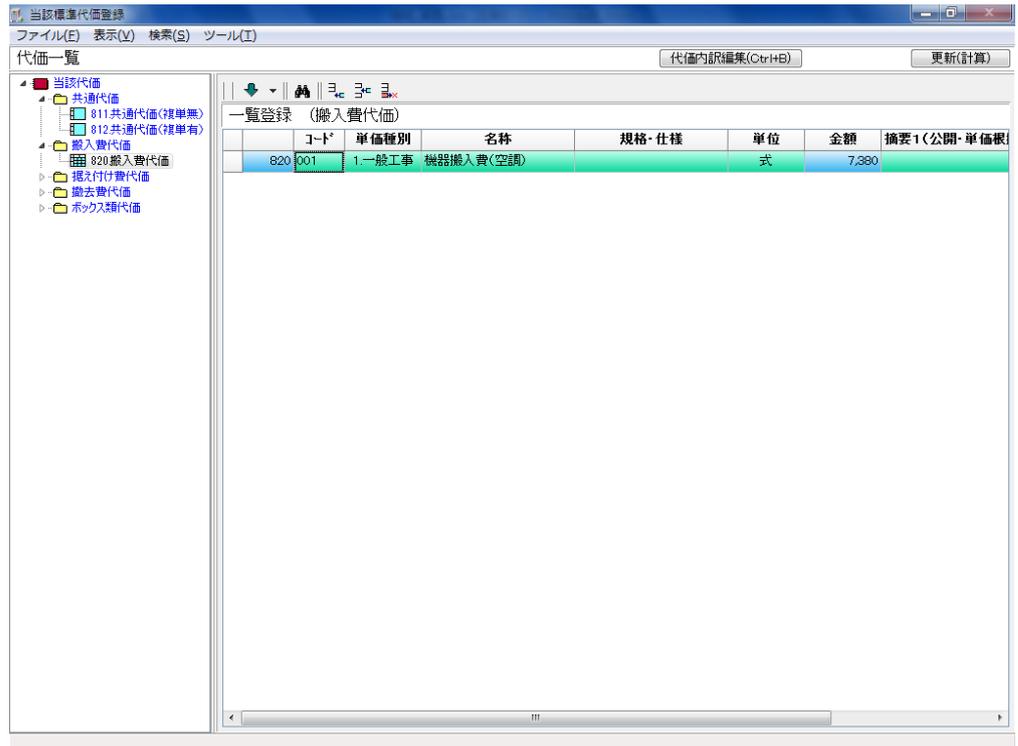
- 1) 容積と重量を入力します。補正率が自動で入力されます。
- 2) 乗率が0なら1にして、数量を入力します。

### 54 搬入費代価の基準単価設定



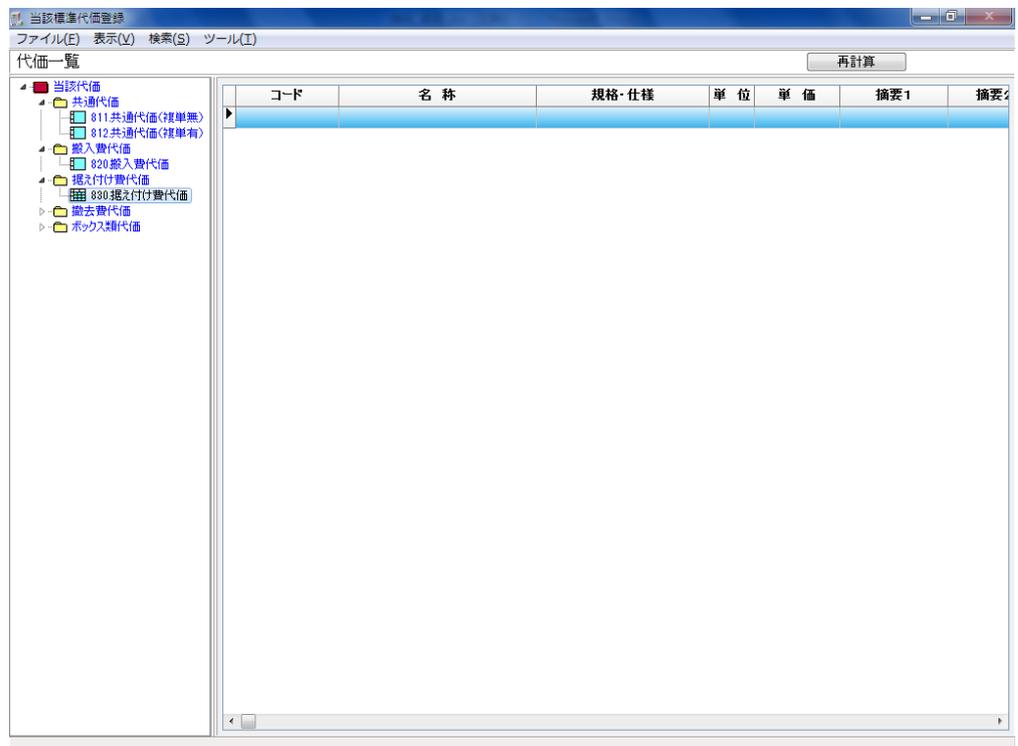
- 1) [基準単価]ボタンを押して搬入費算定用の基準単価を標準単価より指定します。画面はボタンを押して単価入力 Window が出たところです。
- 2) 「1. 共通工事>E.機器搬入費>基準単価」を指定して下さい。

### 55 搬入費代価 リスト表示



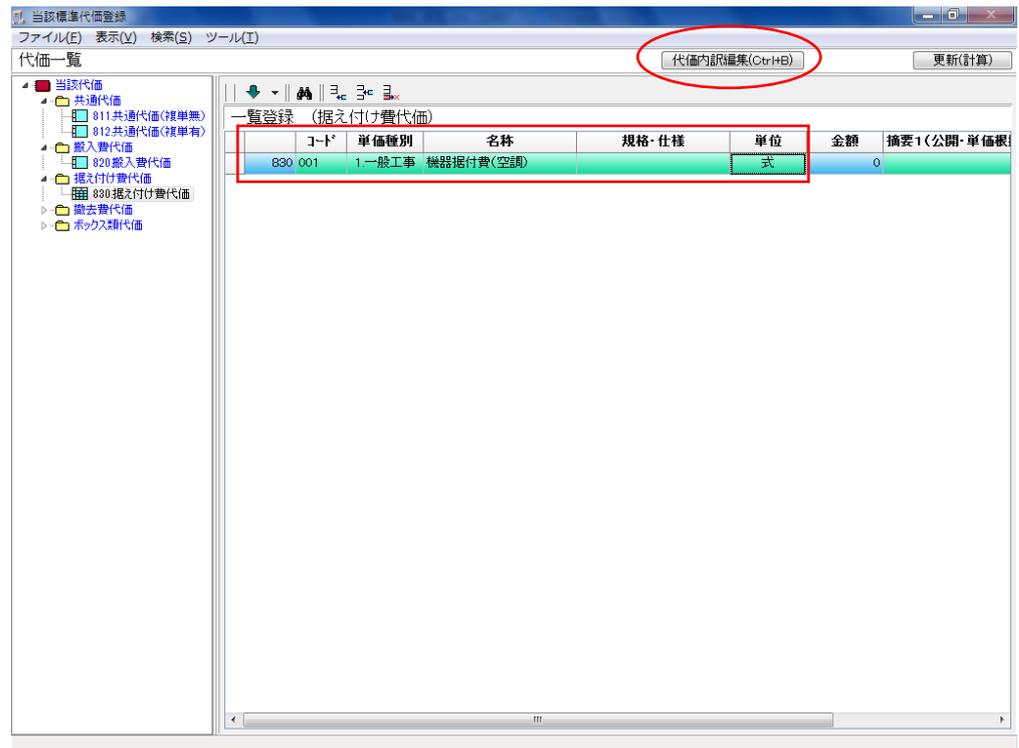
※一覧登録画面に戻ったところです。

### 56 機器据付費代価の入力



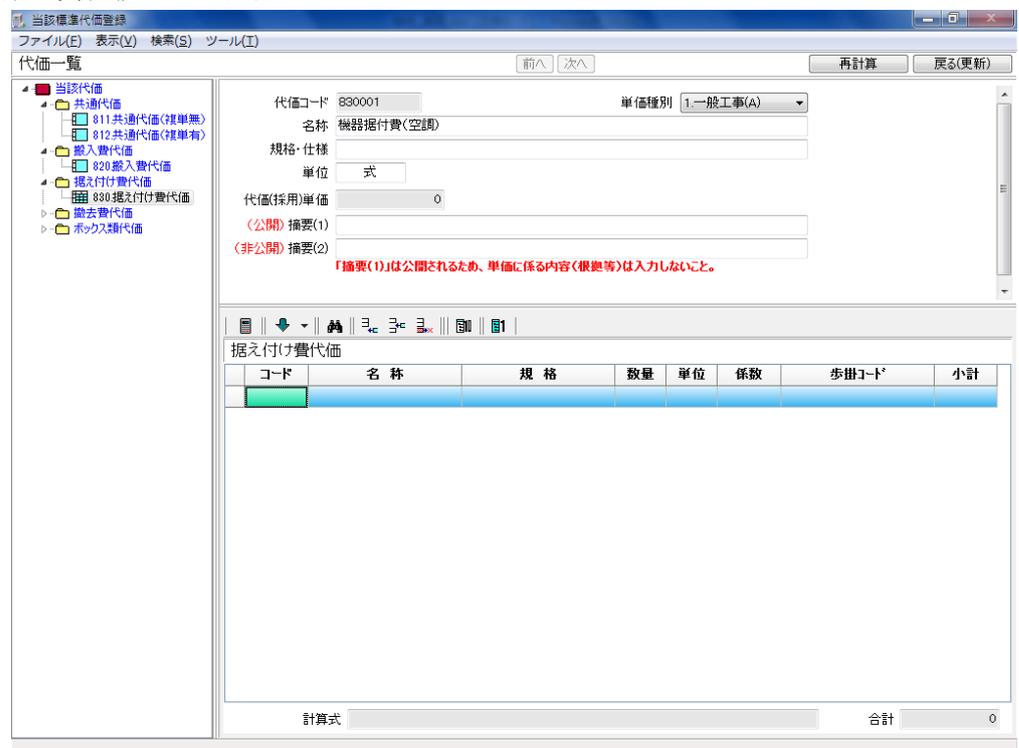
※機器据付費の入力です。

### 57 機器据付費代価の名称等入力



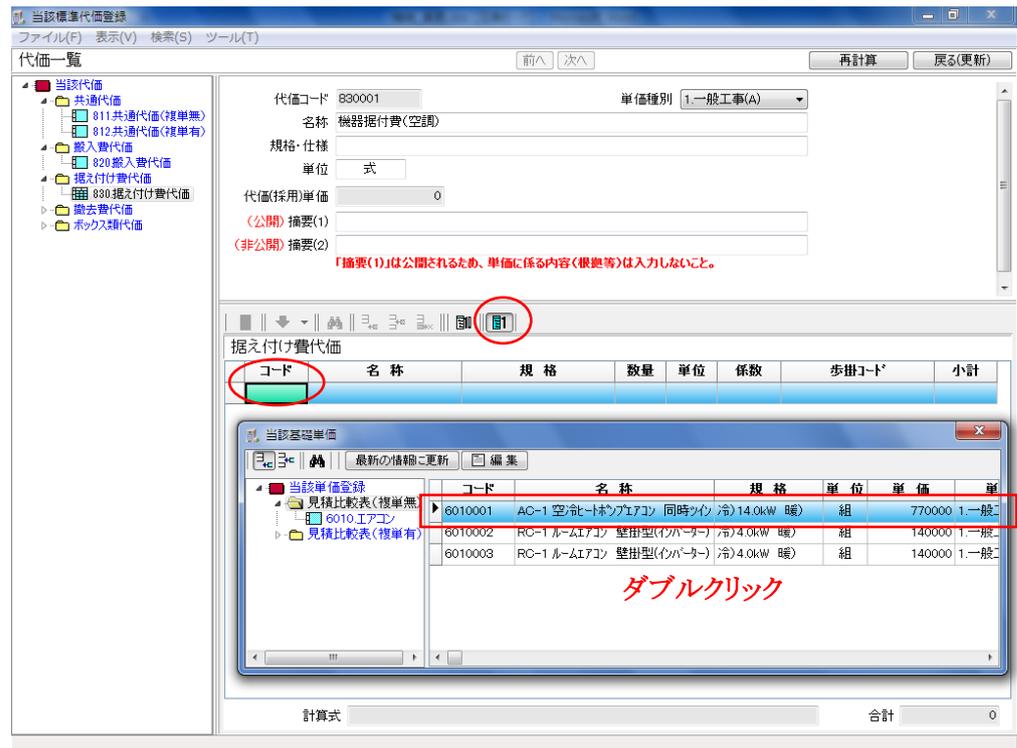
- 1) コードと名称、単位を入力して下さい。
- 2) 入力したら[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンを押して下さい。

### 58 機器据付費代価の入力画面



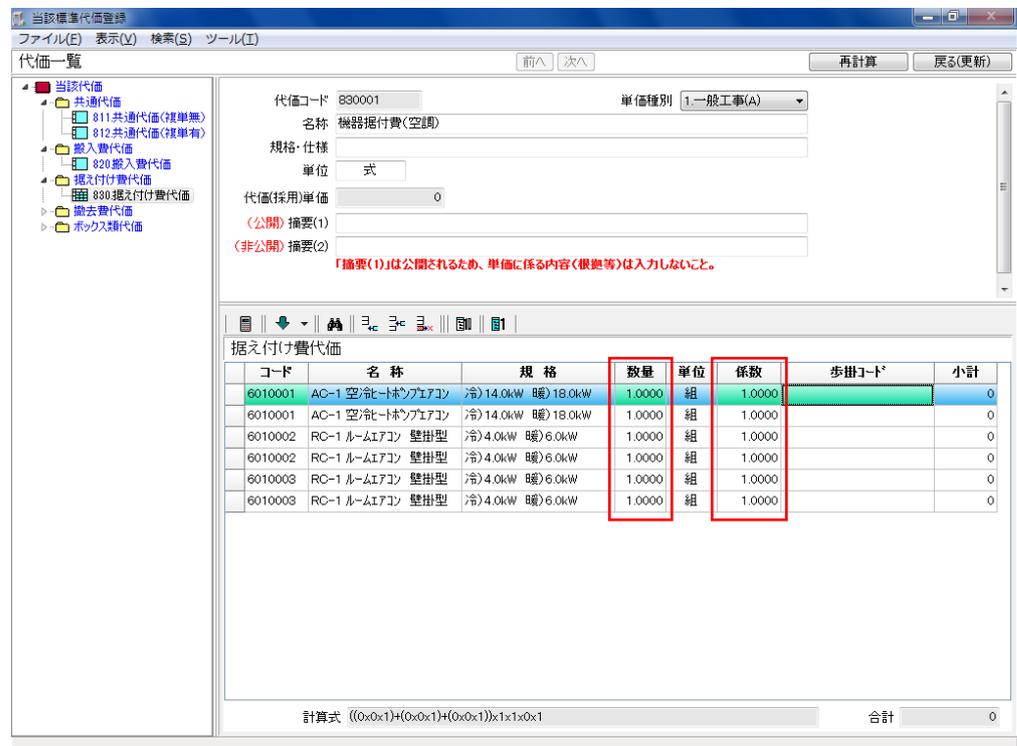
- ※機器据付費の内訳を入力する画面です。  
 ここでは、据付費算定機器名称の入力～数量・単位の入力→歩掛の選択をします。

### 59 機器据付費代価の入力(機器名称入力)



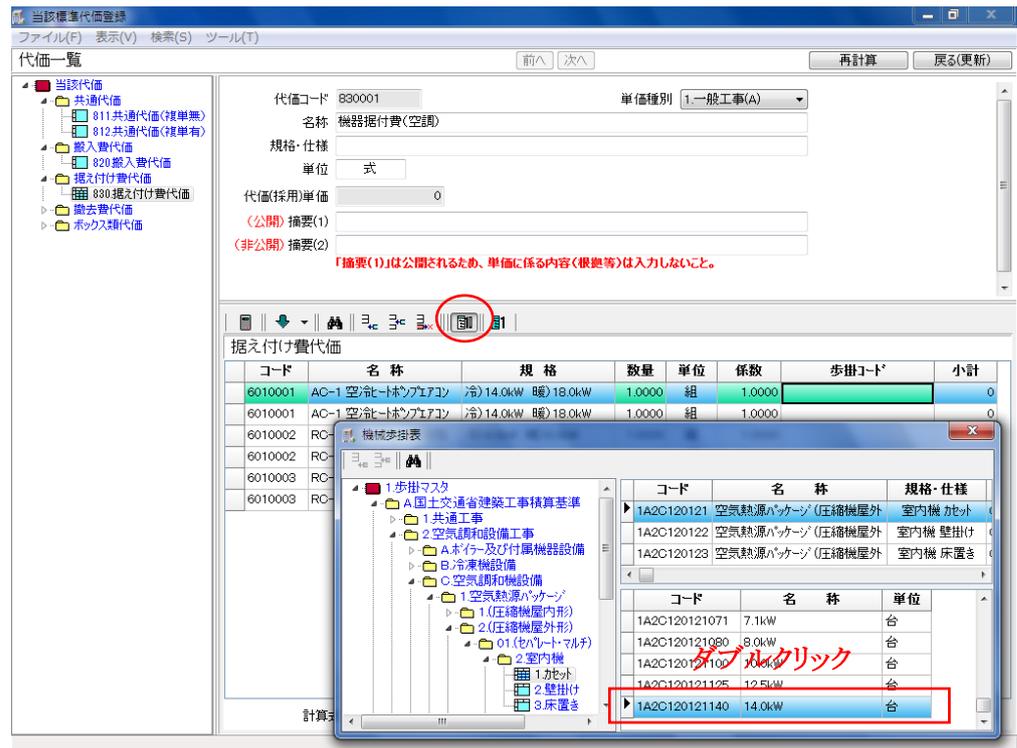
- 据付費算定対象の機器名称を入力します。  
カーソルをコードにクリックした後、対象機器のコード(先ほど入力した当該基礎単価)を四角の青ボタン[1]を押して Window から選択して下さい。選択はダブルクリックで入力されます。

### 60 機器据付費代価の入力(機器名称入力例)



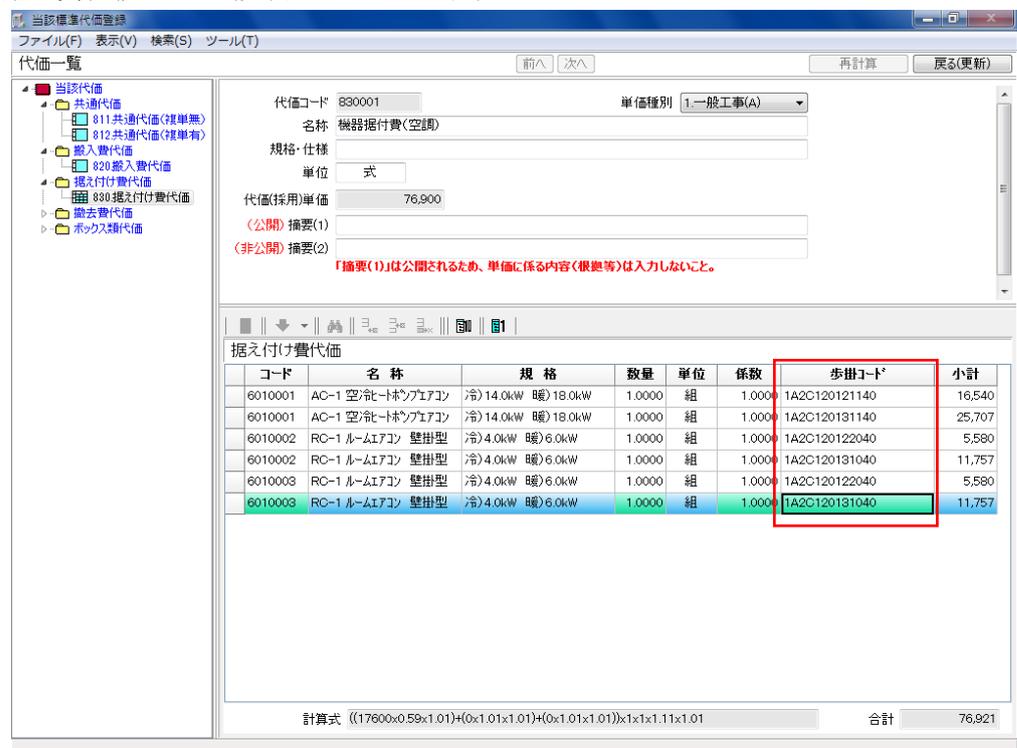
- 数量・係数を入力します。

## 61 機器据付費代価の入力(歩掛コードの入力)



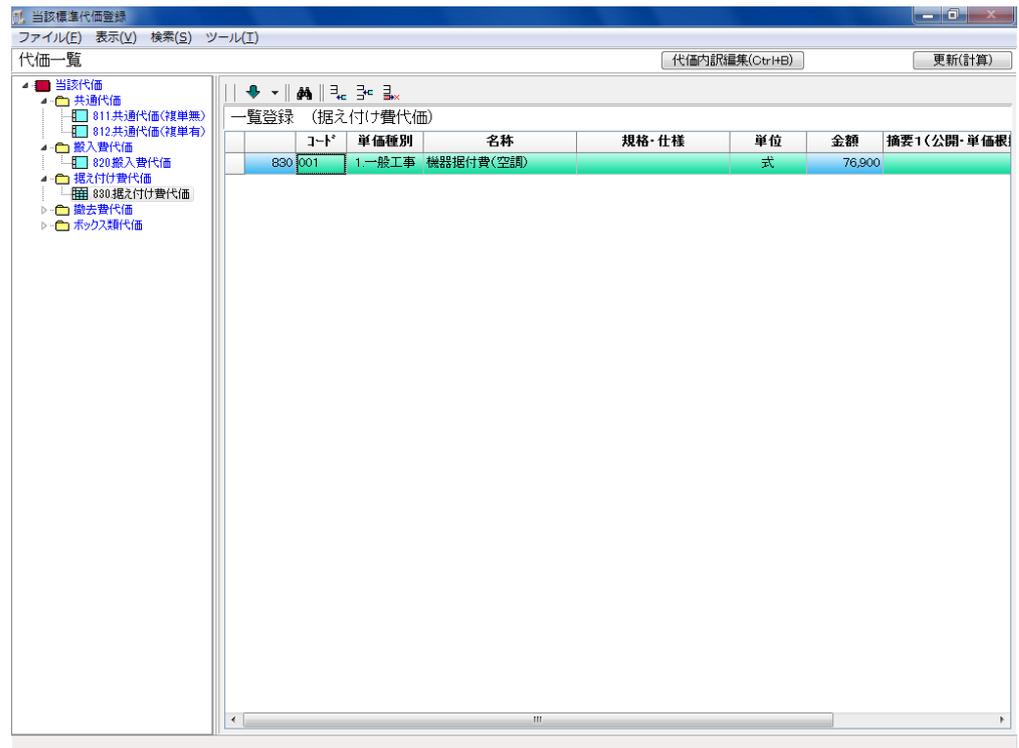
- 1) 歩掛を選択します。四角の白[1]ボタンを押すと歩掛表の Window が表示されます。
- 2) 該当する歩掛を選択します。  
(選択は最終的に右下側のコードが表示されている箇所をダブルクリックして下さい。)

## 62 機器据付費代価の入力(歩掛コードの入力例)



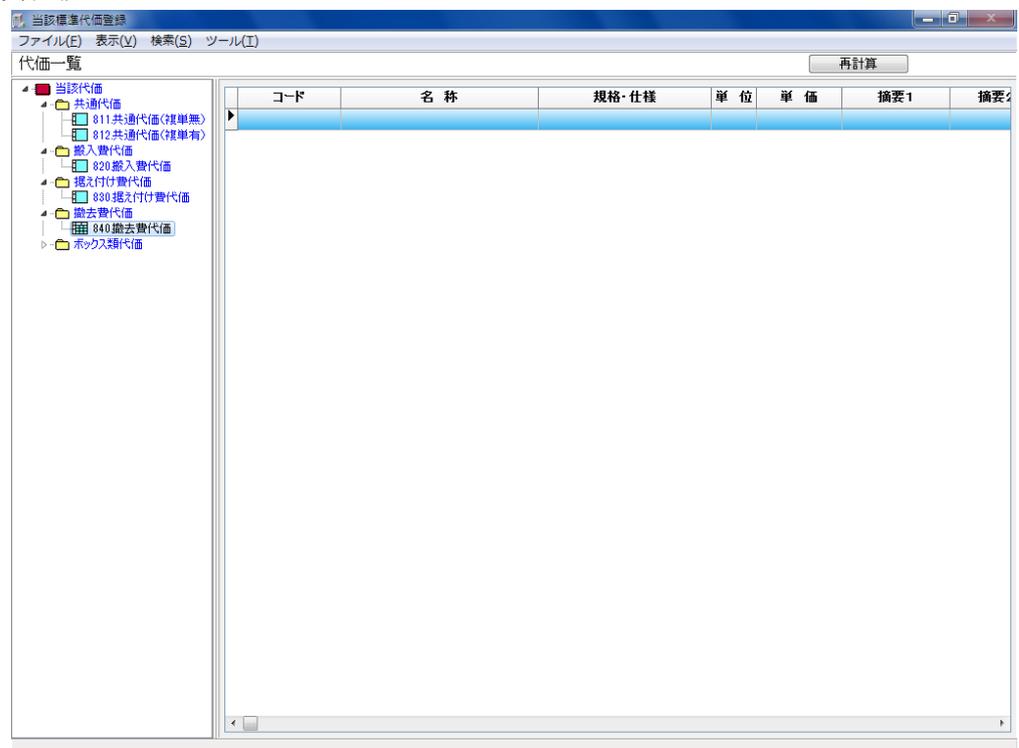
※歩掛を入力したところです。  
(これまででは歩掛集計して最後に労務を乗じる方法としていましたが、各労務歩掛を使用できるようにするため各項目で計算して金額を合計する方法に変更しています。)

### 63 機器据付費代価の一覧表示



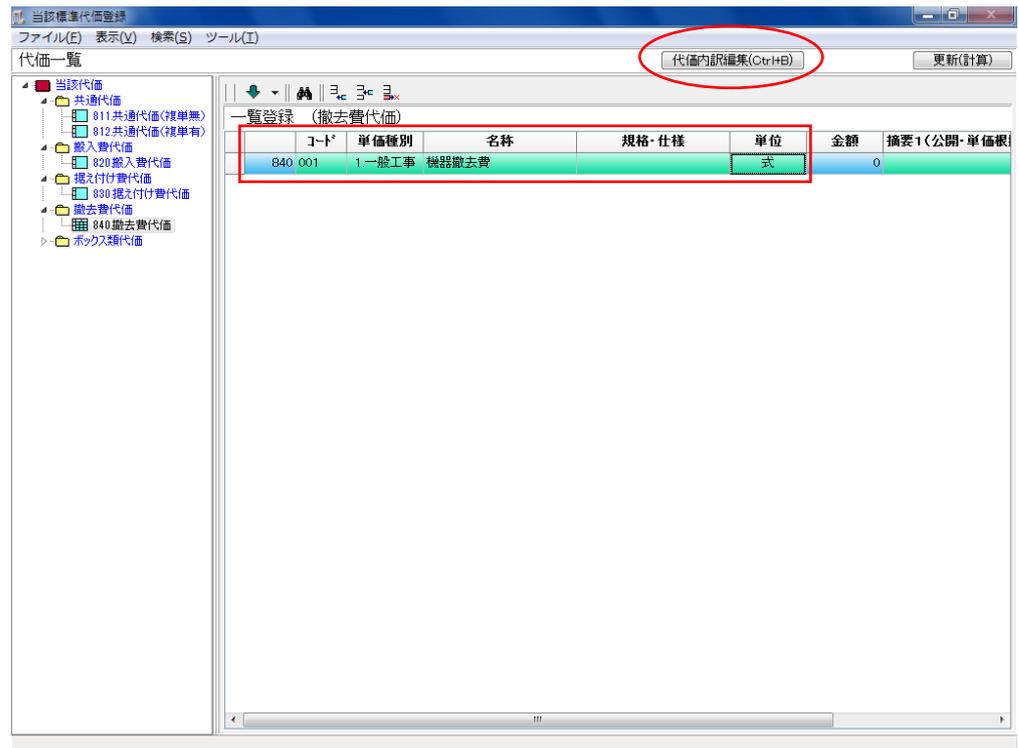
※名称入力画面に戻ったところです。

### 64 撤去費代価の入力



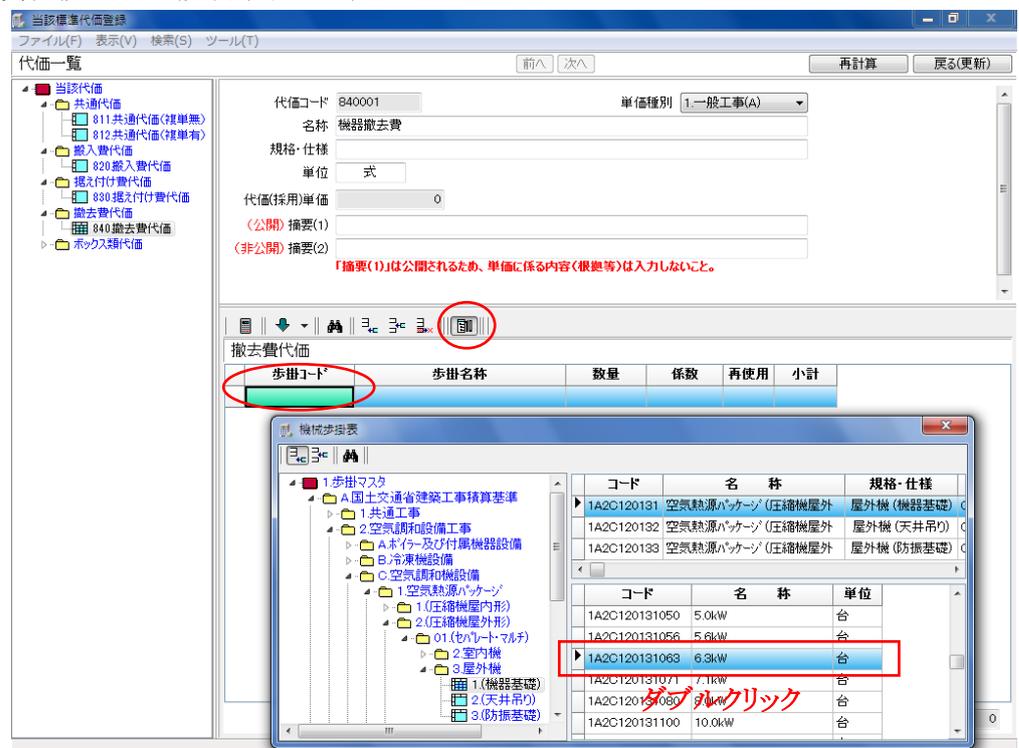
※撤去費代価の入力です。

## 65 撤去費代価の名称等入力



- 1) コードと名称、単位を入力して下さい。
- 2) 入力したら[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンを押して下さい。

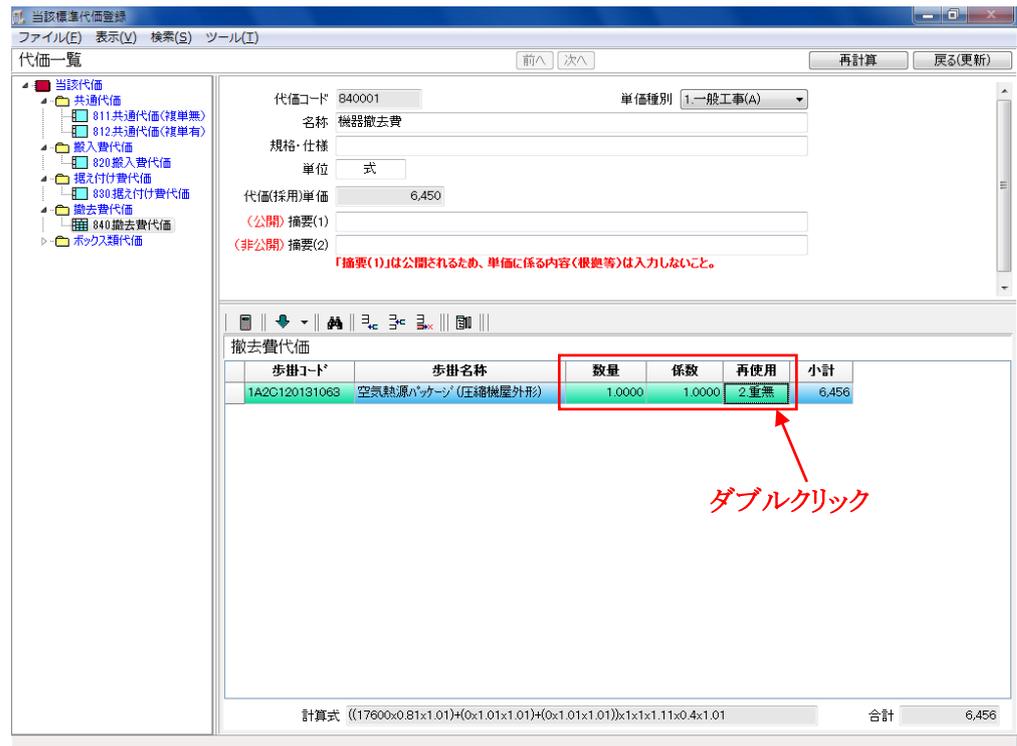
## 66 撤去費代価の入力(歩掛名称入力)



※撤去費代価の入力画面です。

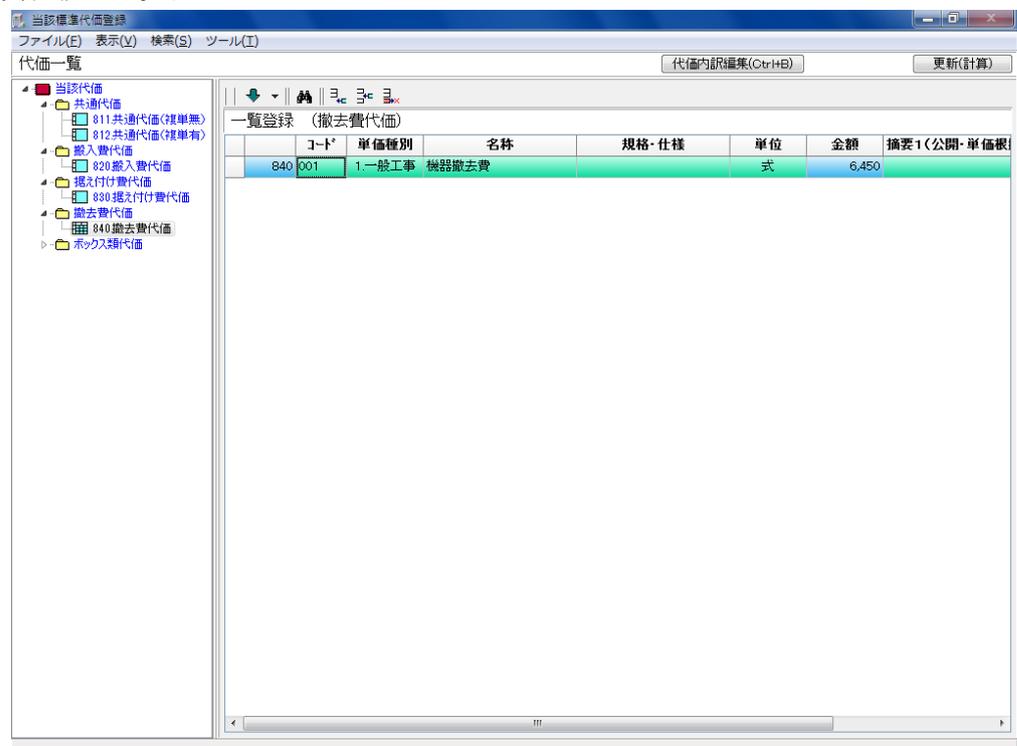
- 1) 歩掛コードにカーソルを合わせて、四角の白[1]ボタンを押すと歩掛表 Window が出てきます。
- 2) 撤去に該当する歩掛を選択して下さい。  
(選択は最終的に右下側のコードが表示されている箇所をダブルクリックします。)

### 67 撤去費代価の入力(再使用入力)



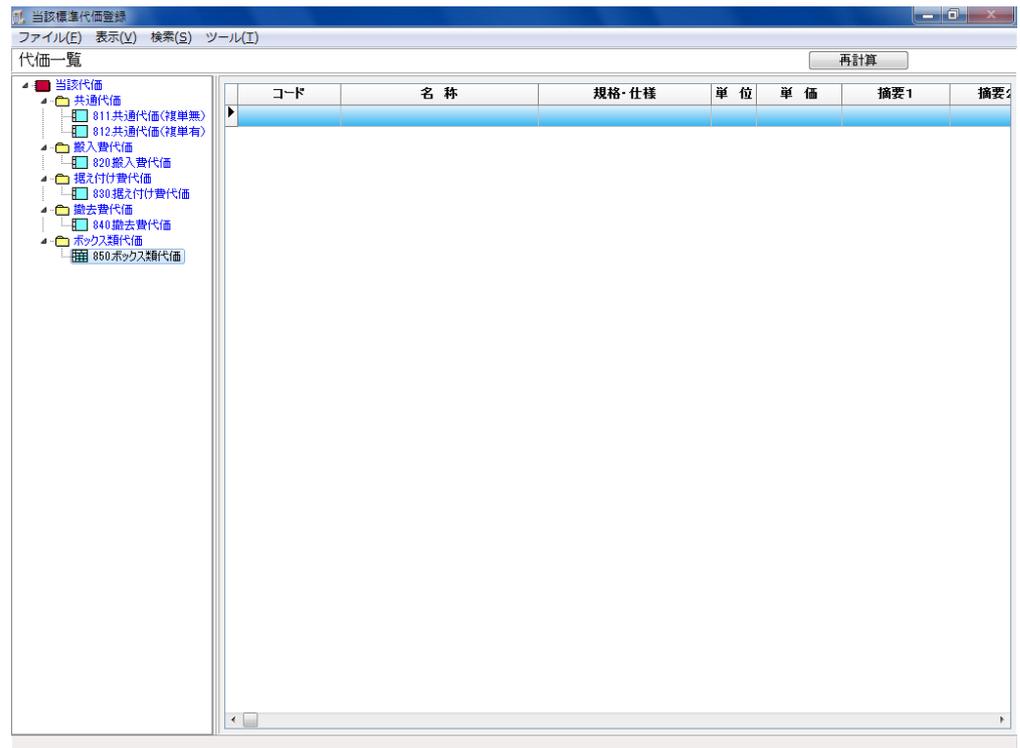
- 1) 数量を入力します。係数が0なら1にしてください。
- 2) 再使用のセルをダブルクリックすると(重量物・軽量物 再使用なし・あり)を選択できます。
- 3) 入力が終われば[戻る(更新)]ボタンを押します。

### 68 撤去費代価の一覧表示



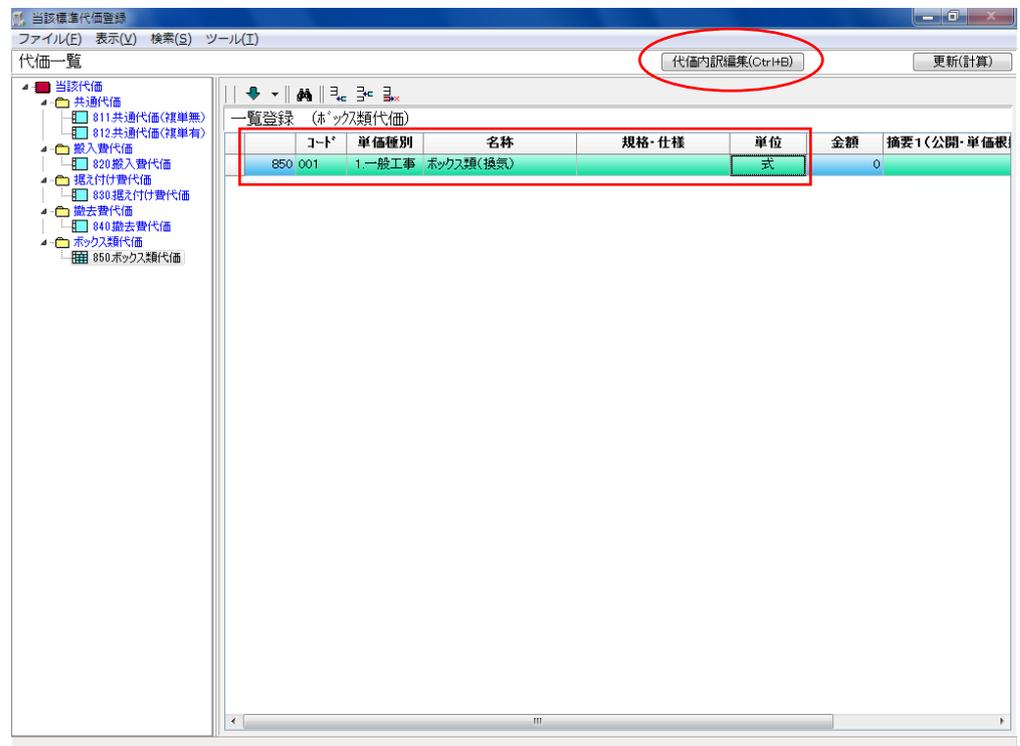
※一覧登録画面に戻ったところです。  
 (撤去費はこれまで歩掛集計して最後に労務を乗じる方法としていましたが、各労務歩掛を使用できるようにするため各項目で計算して金額を合計する方法に変更しています。)

## 69 ボックス類代価の入力



※ボックス類代価の入力です。

## 70 ボックス類代価の名称等の入力



- 1) コードと名称、単位を入力して下さい。
- 2) 入力したら[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンを押して下さい。

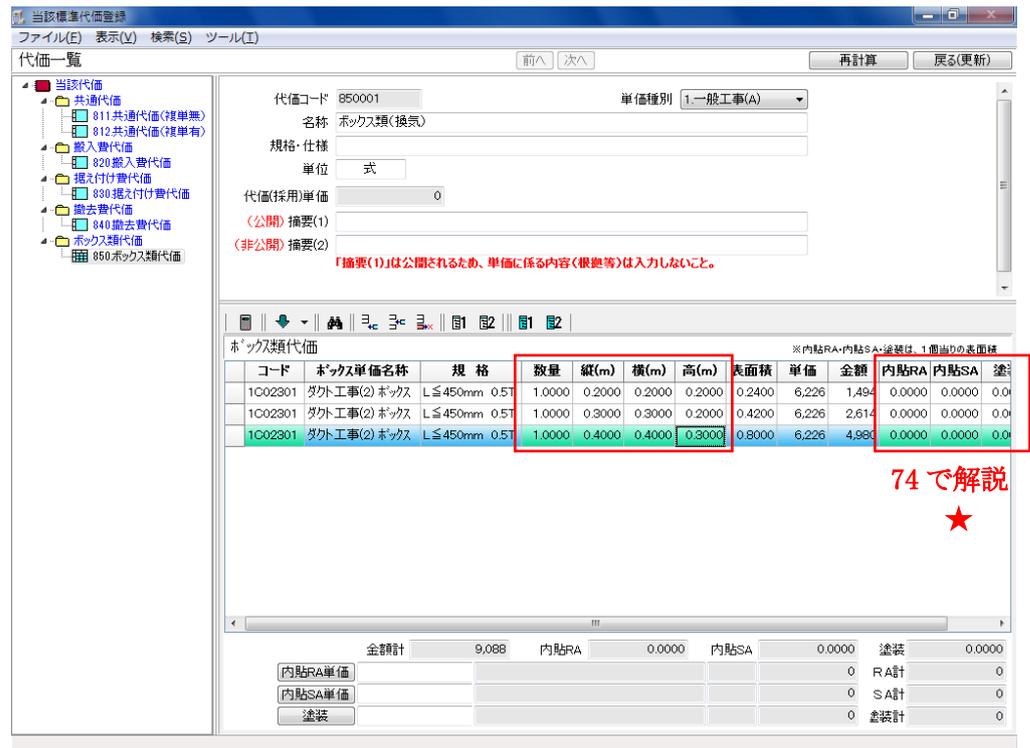
## 71 ボックス類代価の入力画面

※ボックス類代価の内訳入力画面です。コードには該当するボックスの単価を入力します。  
内貼 RA・SA・塗装も該当する仕様の単価を指定します。

## 72 ボックス類代価の入力(ボックス単価の入力)

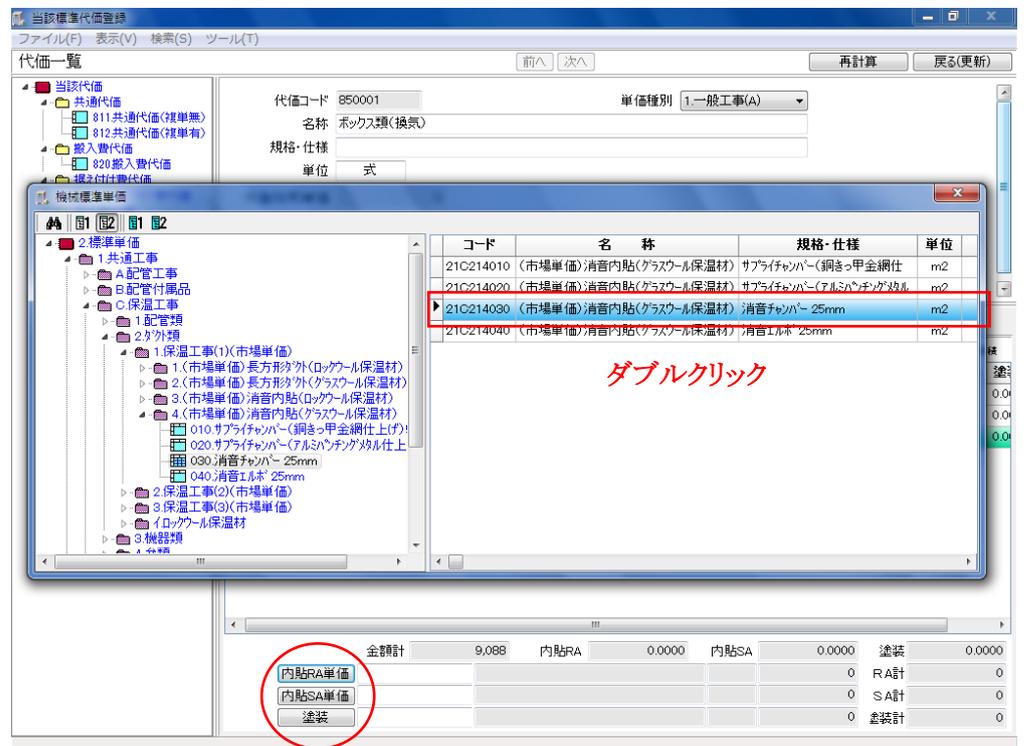
- 1) コードにカーソルを合わせて、四角の白[1]ボタンを押すと 基礎単価 Window が出てきます。
  - 2) 該当するコードを選択して下さい。
- ※上記例では、基礎単価>市場単価>ダクト工事(2)>ボックス>の単価を選択しています。

### 73 ボックス類代価の入力(寸法等入力例)



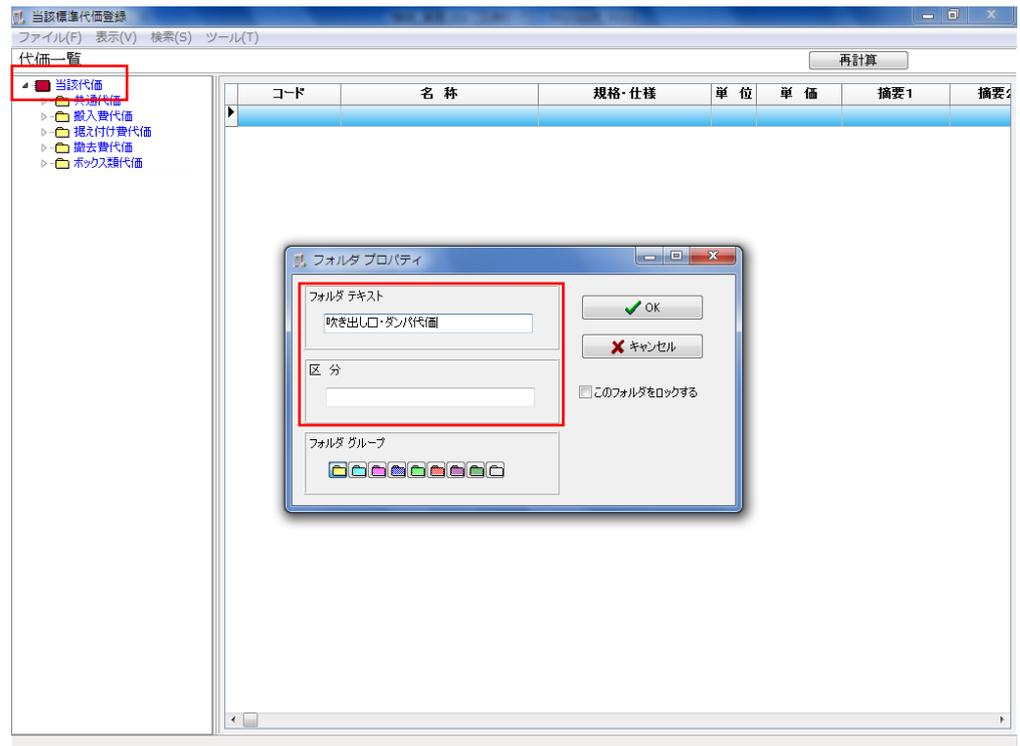
1) 数量・縦横高の寸法を入力します。 ※単位は m です。

### 74 ボックス類代価の入力(内貼単価の設定)



- 1) [内貼 RA][内貼 SA][塗装]ボタンを押すと単価選択の Window が出てきます。
- 2) 該当する単価を選択して下さい。
- 3) 該当する項目に面積を入力して下さい。(73 画面の★部)

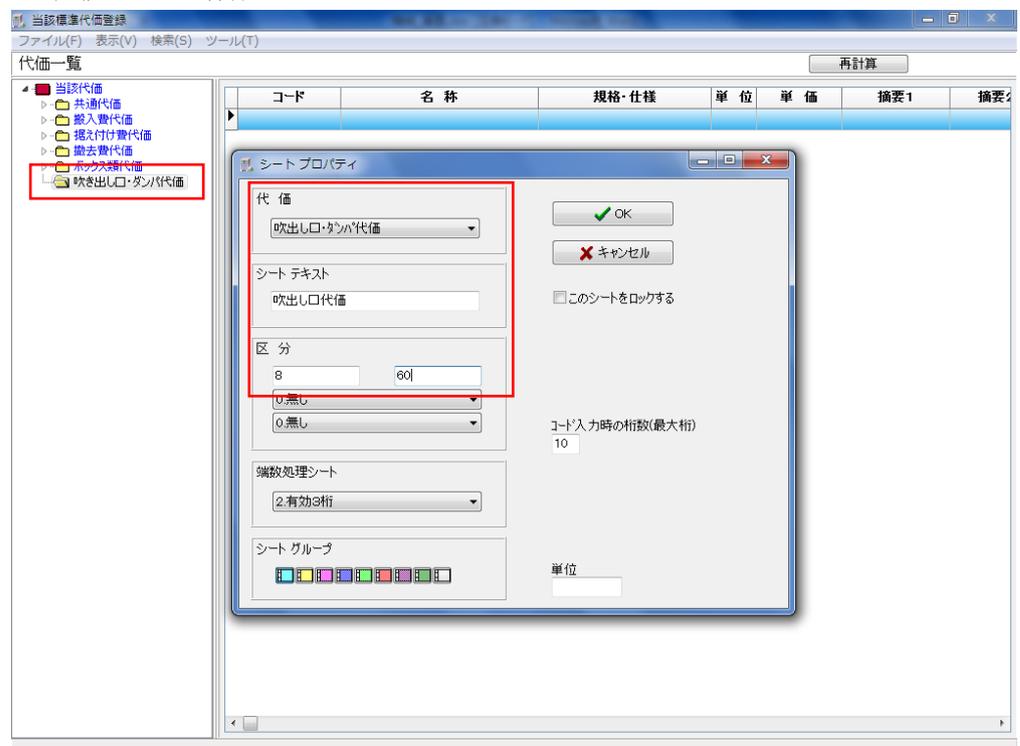
## 75 吹出し口・ダンパ代価の入力



※吹出し口・ダンパ代価が必要な場合は、新たにフォルダ、シートを作成します。

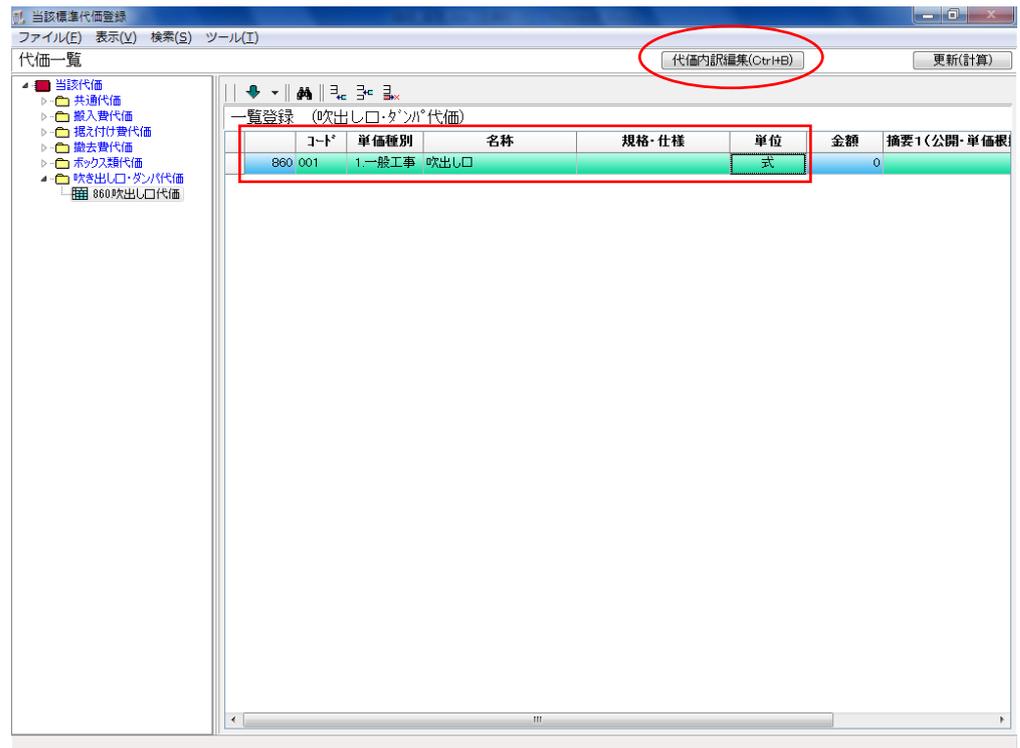
- 1) 最上位の[当該代価]を選び、右クリック>新規作成>フォルダ を選びます。
- 2) フォルダプロパティのフォルダテキストを「吹出し口・ダンパ代価」とし、区分を空白にします。

## 76 吹出し口代価シートの作成



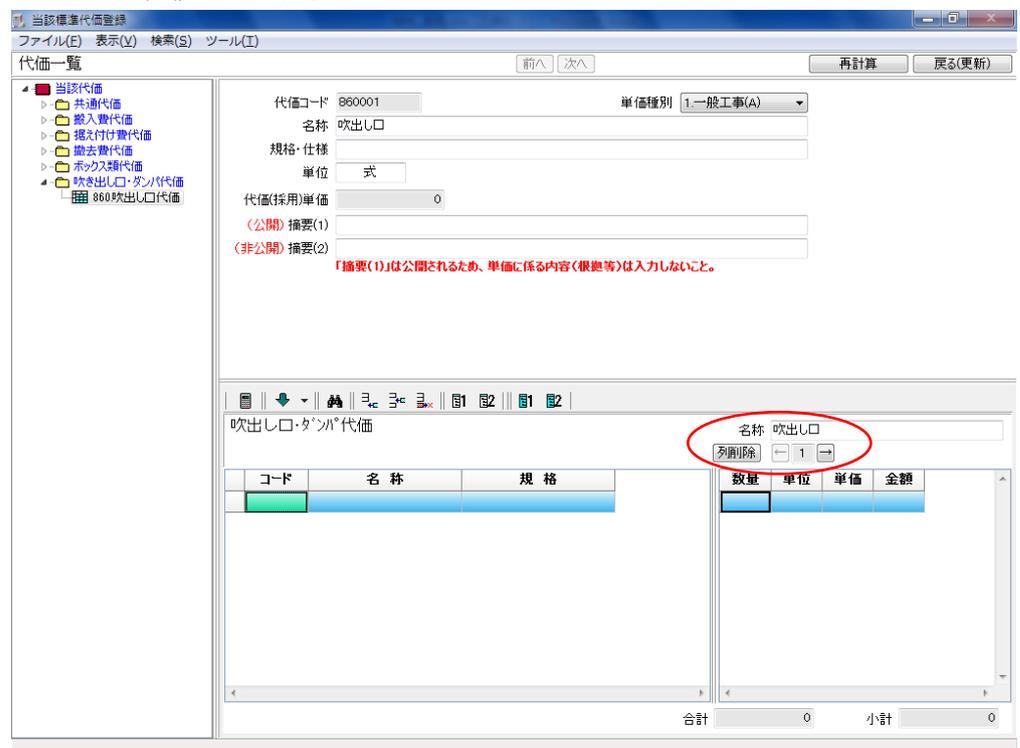
- 1) 作成した[吹出し口・ダンパ代価]フォルダを選び、右クリック>新規作成>シート を選びます。
- 2) 代価の種別を「吹出し口・ダンパ代価」とし、シートテキストを「吹出し口代価」、区分を「8」「60」とします。

## 77 吹出し口・ダンパ代価の名称等の入力



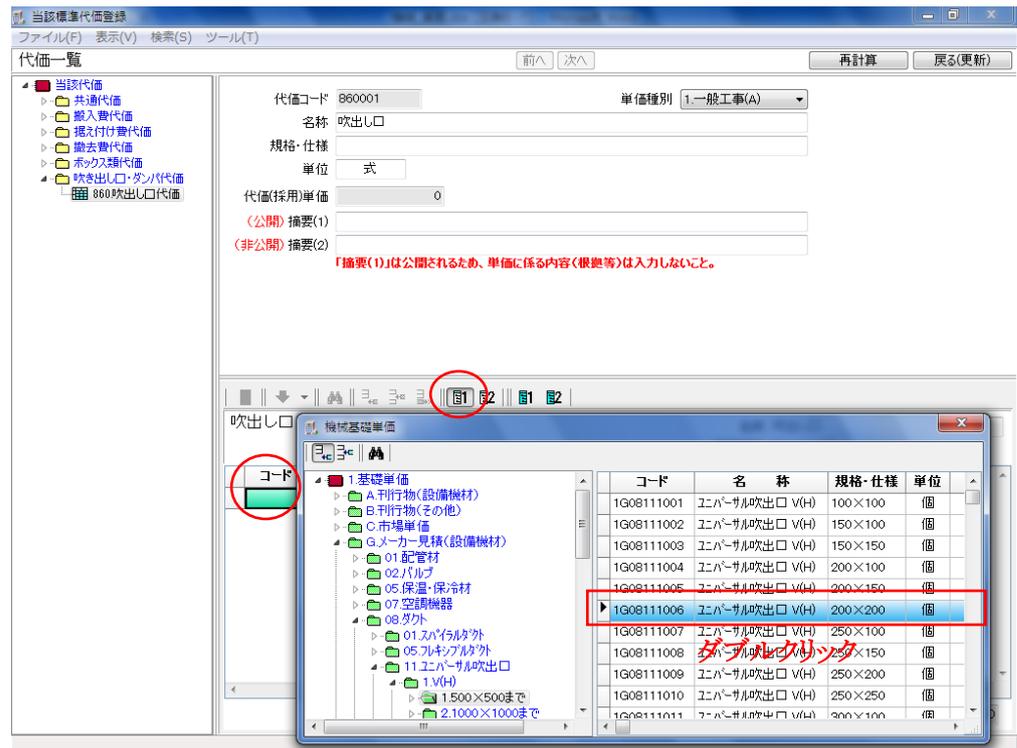
- 1) コードと名称、単位を入力して下さい。
- 2) 入力したら[代価内訳編集(Ctrl+B)]ボタンを押して下さい。

## 78 吹出し口・ダンパ代価の入力画面



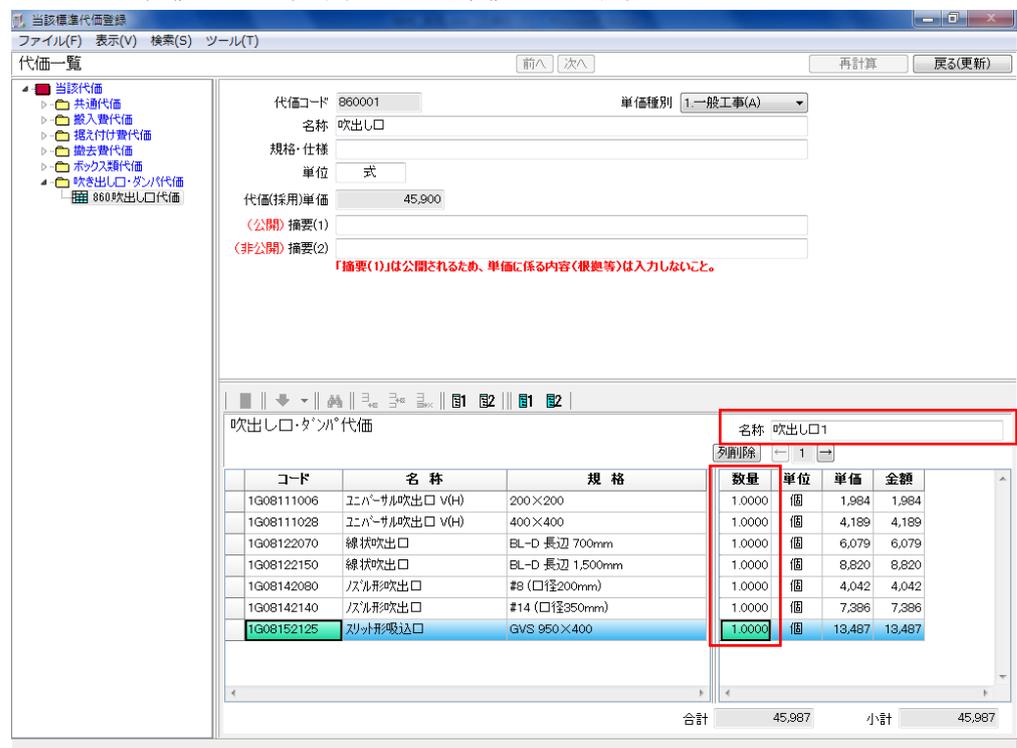
- ※吹出し口・ダンパ代価の入力画面です。  
 画面下部左のコードには、該当する吹出し口・ダンパ単価を入力します。  
 画面下部右には、吹出し口・ダンパの名称と数量を吹出し口・ダンパ毎に入力します。  
 [←][→]ボタンで、複数の吹出し口・ダンパを入力できます。

79 吹き出し口・ダンパ代価の入力(吹き出し口単価の入力)



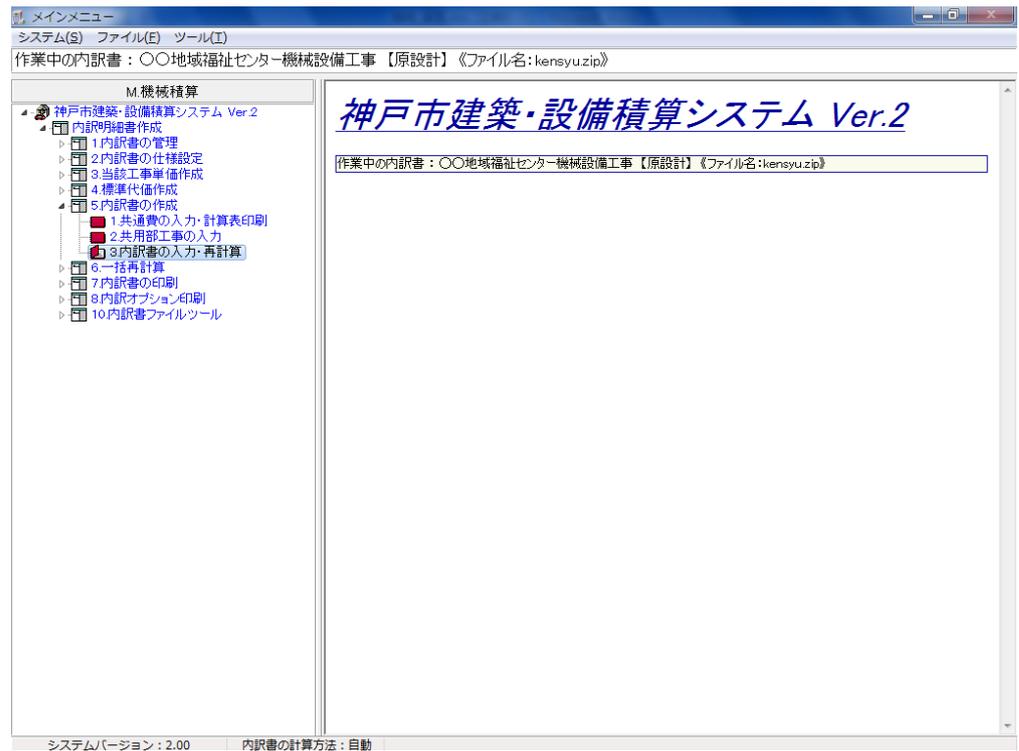
- 1) コードにカーソルを合わせて、四角の白[1]ボタンを押すと 基礎単価 Window が出てきます。
  - 2) 該当するコードを選択して下さい。
- ※上記例では、基礎単価>メーカー見積>ダクト>の単価を選択しています。

80 吹き出し口・ダンパ代価の入力(吹き出し口基礎単価の入力例)



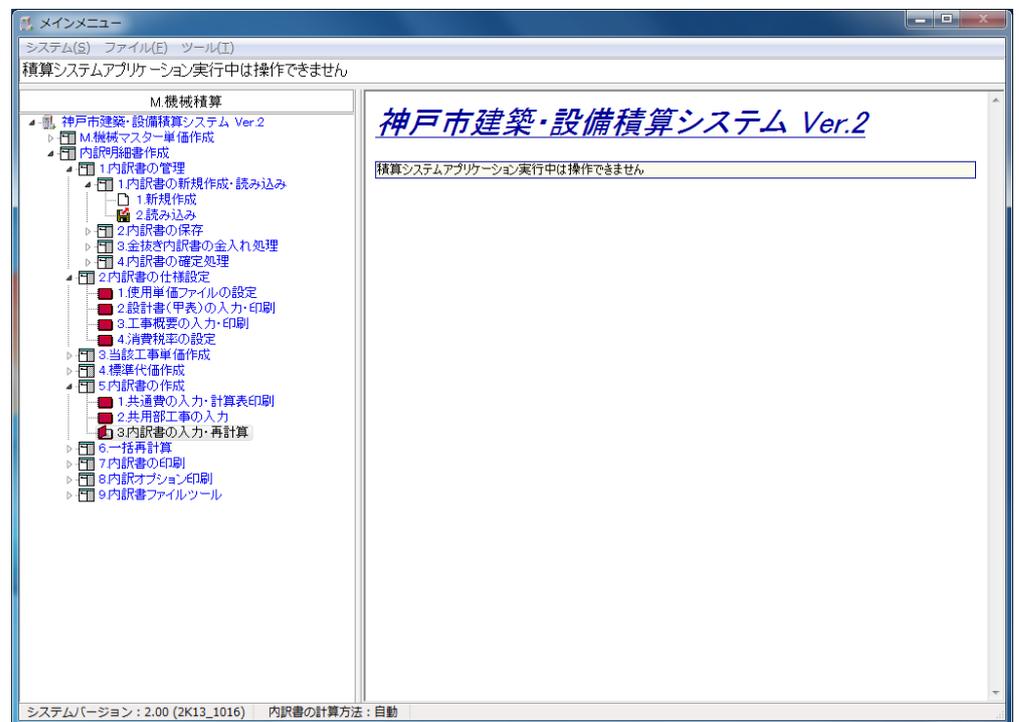
- ※基礎単価を入力したところです。
- 1) 画面下部右の名称と数量を入力します。

## 81 内訳書の入力・再計算



※内訳書の入力です。

## 82 内訳書の入力



※内訳書の入力を開いたところです。

83 内訳書の構成

| A  | B  | C  | D  | 集計項目名(工事名) | 金額 | 区分              |
|----|----|----|----|------------|----|-----------------|
| 00 | 00 | 00 | 00 | 工事費        | 0  |                 |
| 01 | 00 | 00 | 00 | 機械設備工事     | 0  |                 |
| ** | ** | ** | ** | (直接工事費の合計) | 0  | 小計              |
| 02 | 00 | 00 | 00 | 共通仮設費      | 0  | 共通仮設費按分(按分GP1)  |
| 03 | 00 | 00 | 00 | 現場管理費      | 0  | 現場管理費按分(按分GP1)  |
| 04 | 00 | 00 | 00 | 一般管理費等     | 0  | 一般管理費等按分(按分GP1) |

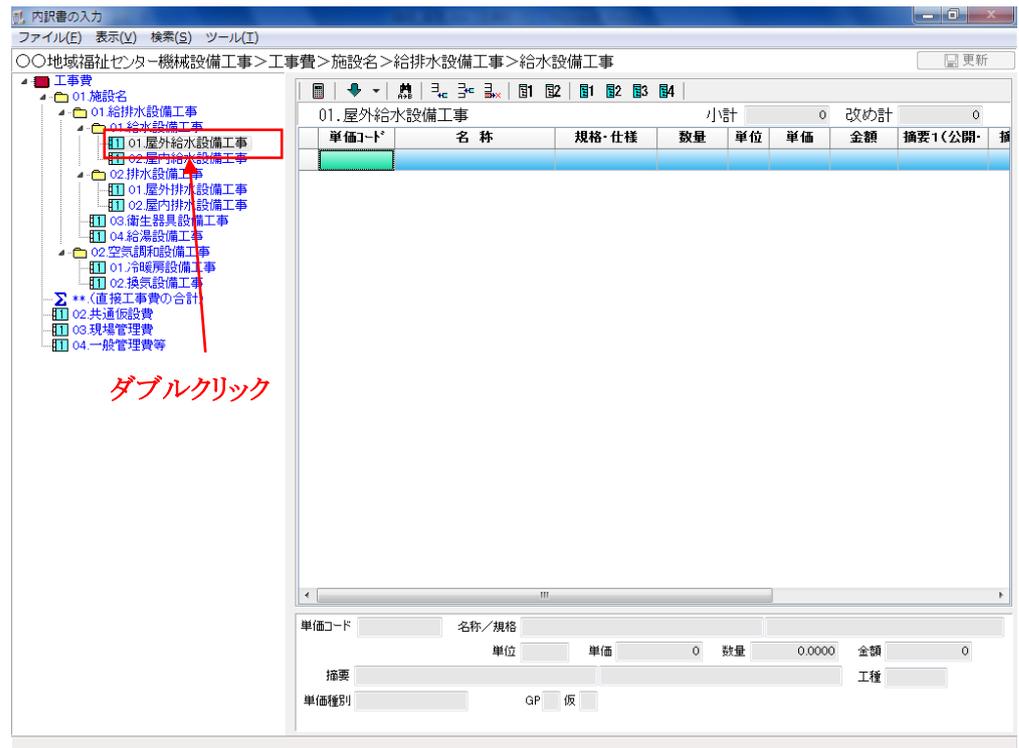
※最初の構成はフルセットの内訳内容(ひな壇)になっています。工事内容にあわせて構成を変更して下さい。フォルダー・シートを右クリックして新規作成(フォルダー・シート)、削除、名称の変更(プロパティにて)等を行います。

84 内訳書の構成を本工事に修正したもの

| A  | B  | C  | D  | 集計項目名(工事名) | 金額 | 区分              |
|----|----|----|----|------------|----|-----------------|
| 00 | 00 | 00 | 00 | 工事費        | 0  |                 |
| 01 | 00 | 00 | 00 | 機械設備工事     | 0  |                 |
| ** | ** | ** | ** | (直接工事費の合計) | 0  | 小計              |
| 02 | 00 | 00 | 00 | 共通仮設費      | 0  | 共通仮設費按分(按分GP1)  |
| 03 | 00 | 00 | 00 | 現場管理費      | 0  | 現場管理費按分(按分GP1)  |
| 04 | 00 | 00 | 00 | 一般管理費等     | 0  | 一般管理費等按分(按分GP1) |

※これは給排水から消火・厨房を削除し、空気調和は冷暖房設備工事と換気設備工事の2つのシートとし、自動制御設備工事を削除した例です。

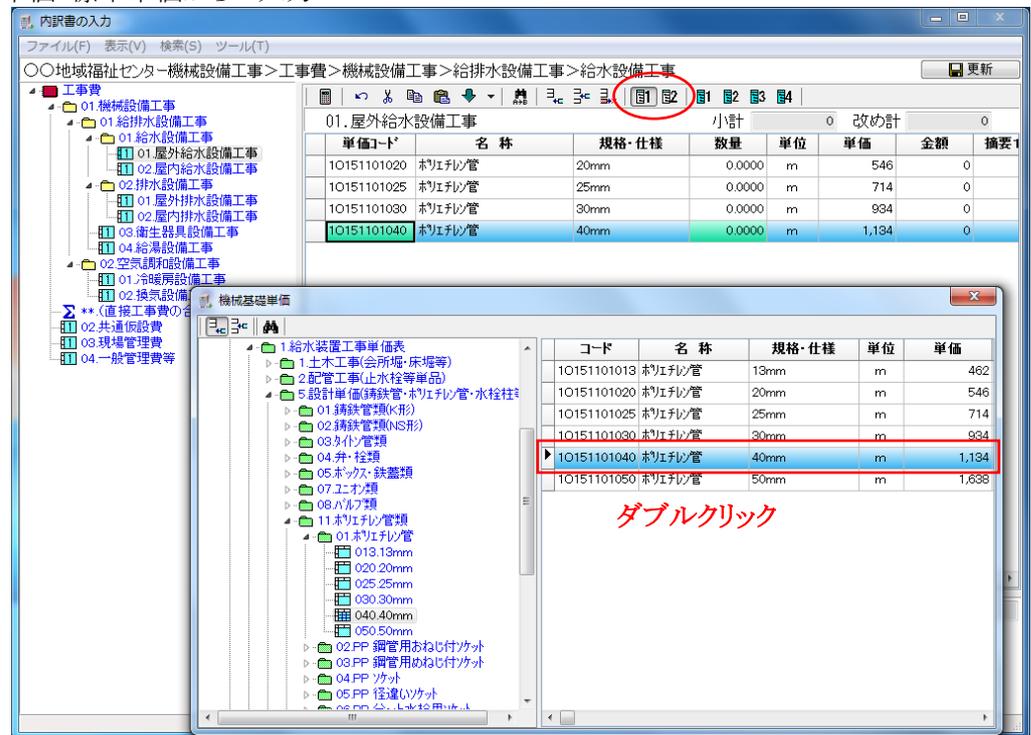
### 85 内訳書シートへの入力



※屋外給水設備工事の明細を入力します。

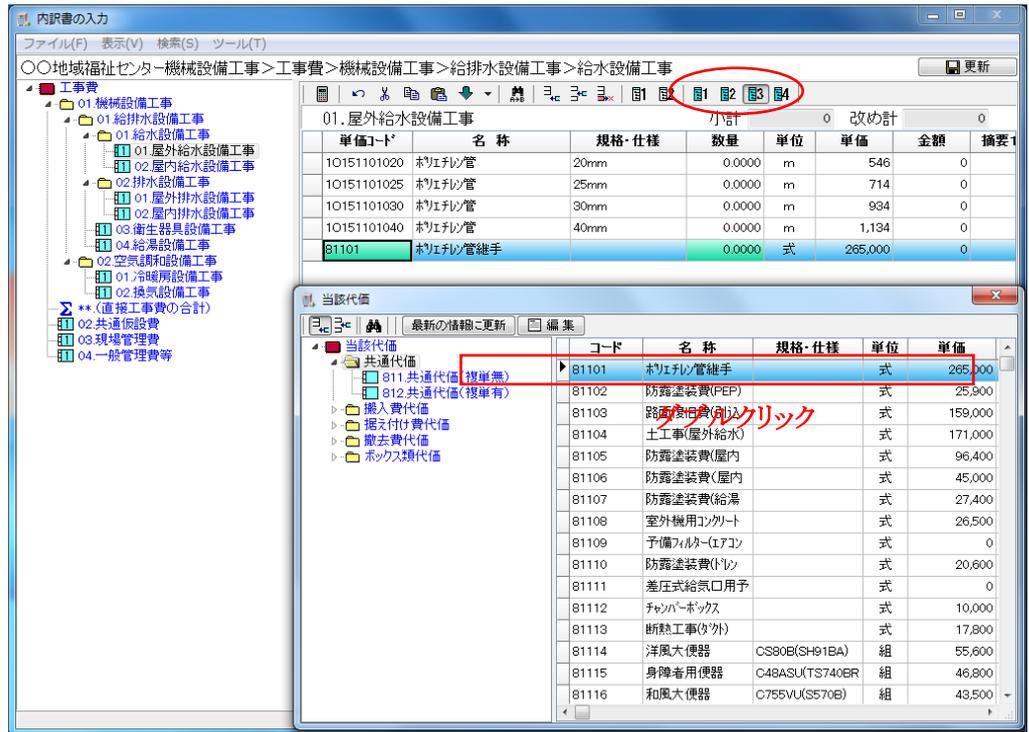
- 1) [屋外給水設備工事]シートをダブルクリックします。
- 2) 屋外給水設備工事の明細入力画面になります。

### 86 基礎単価・標準単価からの入力



※四角の白いボタン[1]は「基礎単価」、[2]は「標準単価」に割り当てられています。  
(システムが持っている単価)

87 当該単価、当該複合単価、共通代価等の入力



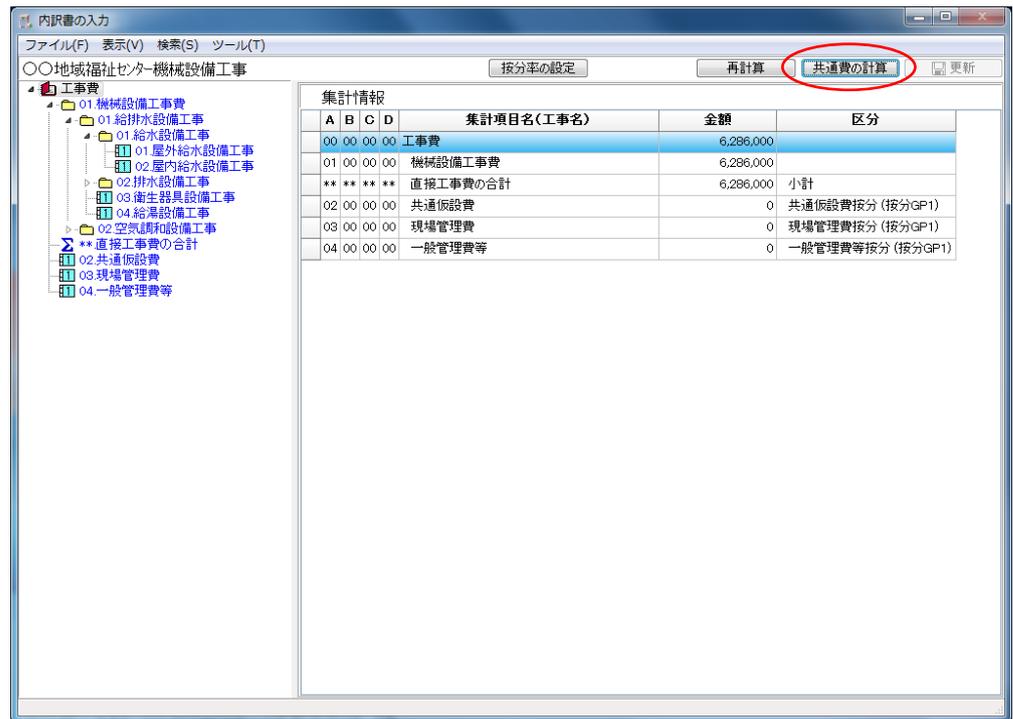
※四角の青いボタン[1]は「当該基礎単価」、[2]は「当該複合単価」、[3]は「共通代価」、  
[4]は「代価複合単価」(代価で積み上げた合計に補掛りを足したものに割り当てられています)。

88 内訳書の入力例



※内訳書の入力例

## 89 共通費の計算



- 1) 右上の[共通費の計算]ボタンを押すと共通費計算が実行されます。
- 2) 入力・再計算が終わったら、メニュー ファイル>メニューへ戻る で、メインメニューに戻ります。

## 90 共通費の入力



※共通費を直接入力する機能です。

## 91 共通費の入力画面



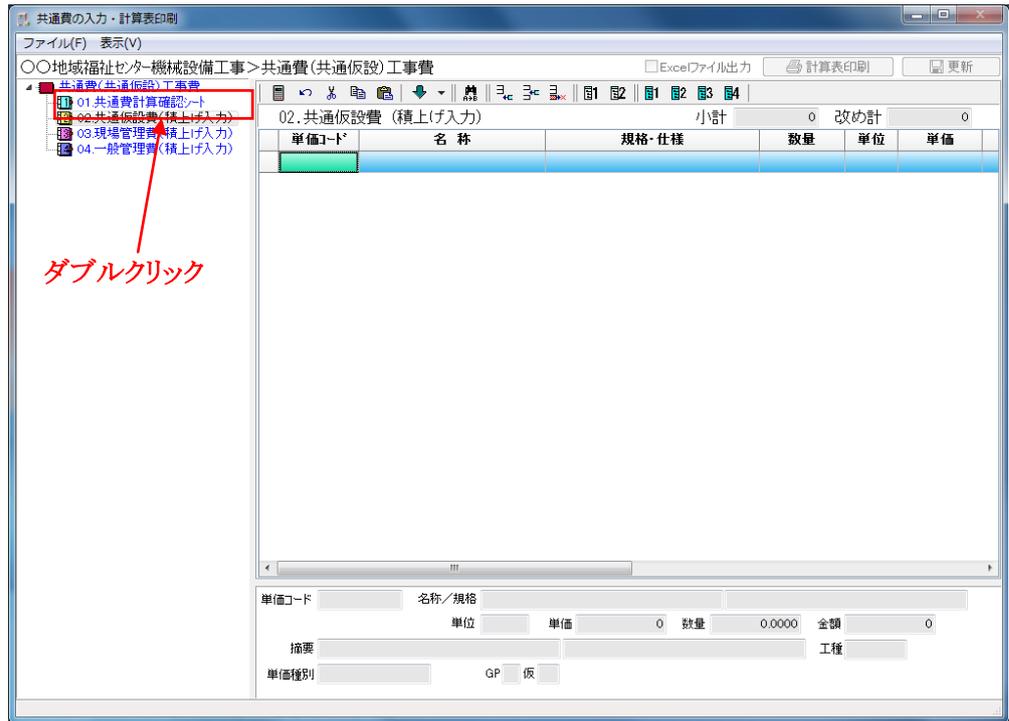
- ※01.共通費は積算基準の式で計算したパラメータ内容の確認と計算シートの編集ができます。
- 02.共通仮設費(積上げ)は共通仮設費について積上げ積算できます。
- 03. 04.はそれぞれ直接入力できます。

## 92 共通費集計内容の一覧



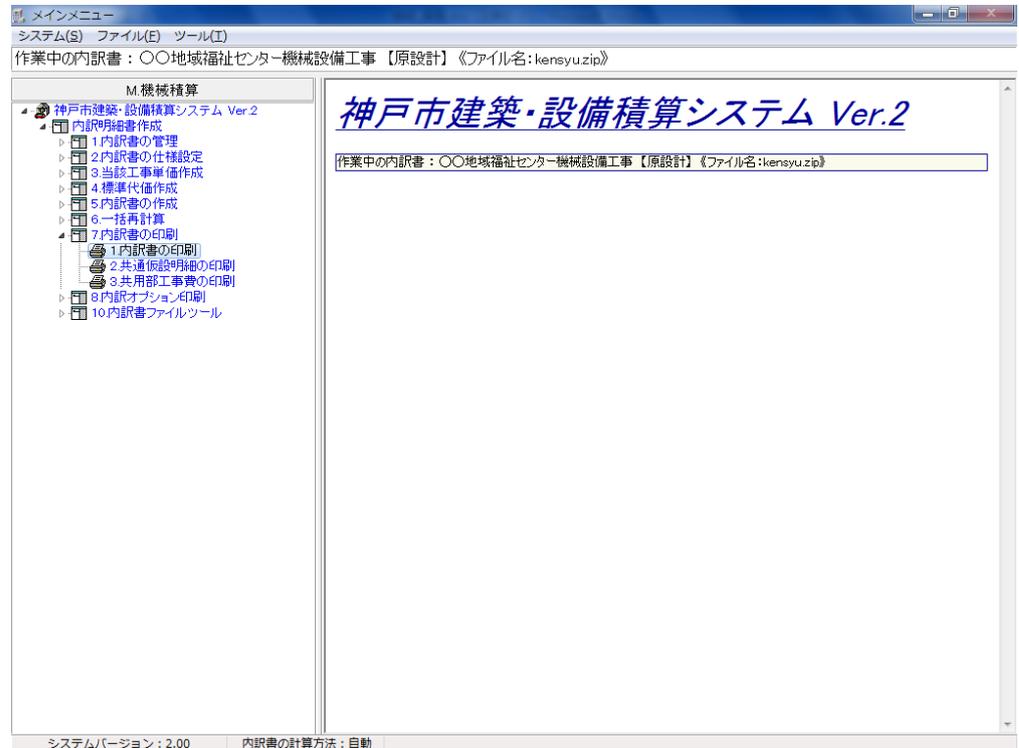
- ※共通費計算のパラメータ内容です。
- ※[Excel 編集]ボタンを押すと Excel 画面で共通費計算シートを編集できます。
- ※共通費計算シートの Excel 編集では、直接仮設費率等(赤字部分)を編集可能です。
- ※上書き保存後、Excel を閉じるときは、右上の[×]ボタンを押します。

93 共通費(積上げ入力画面)



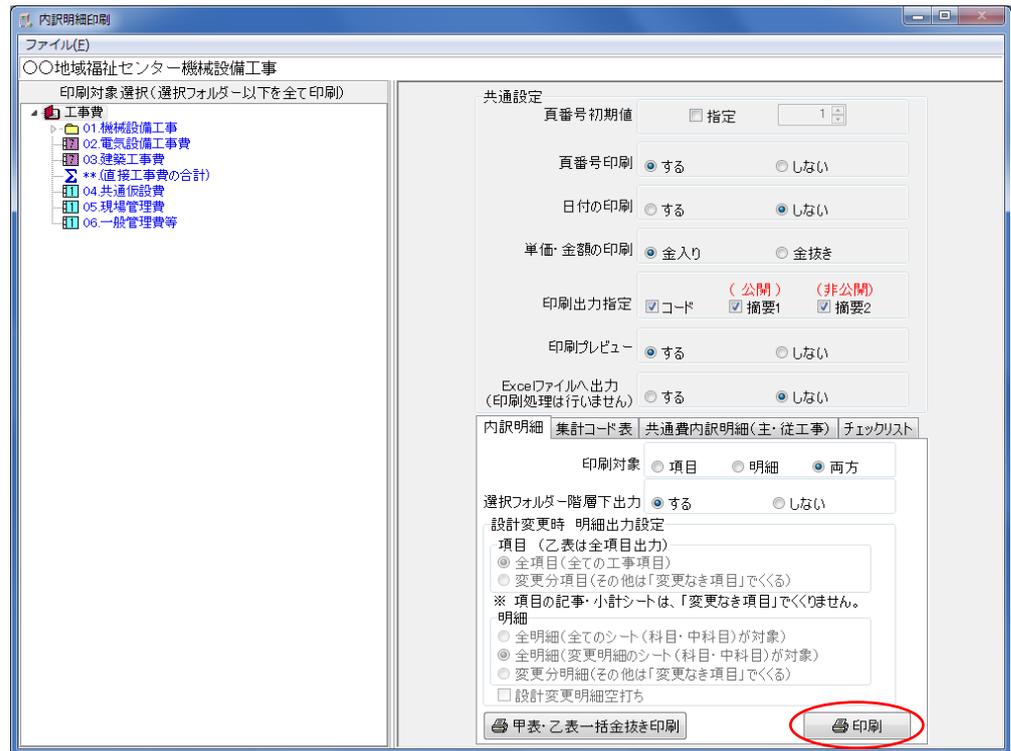
※共通仮設費(積上げ)の入力画面です。内訳書と操作方法是同じです。

94 内訳書の印刷



※内訳書の印刷を行います。

95 内訳書の印刷設定画面



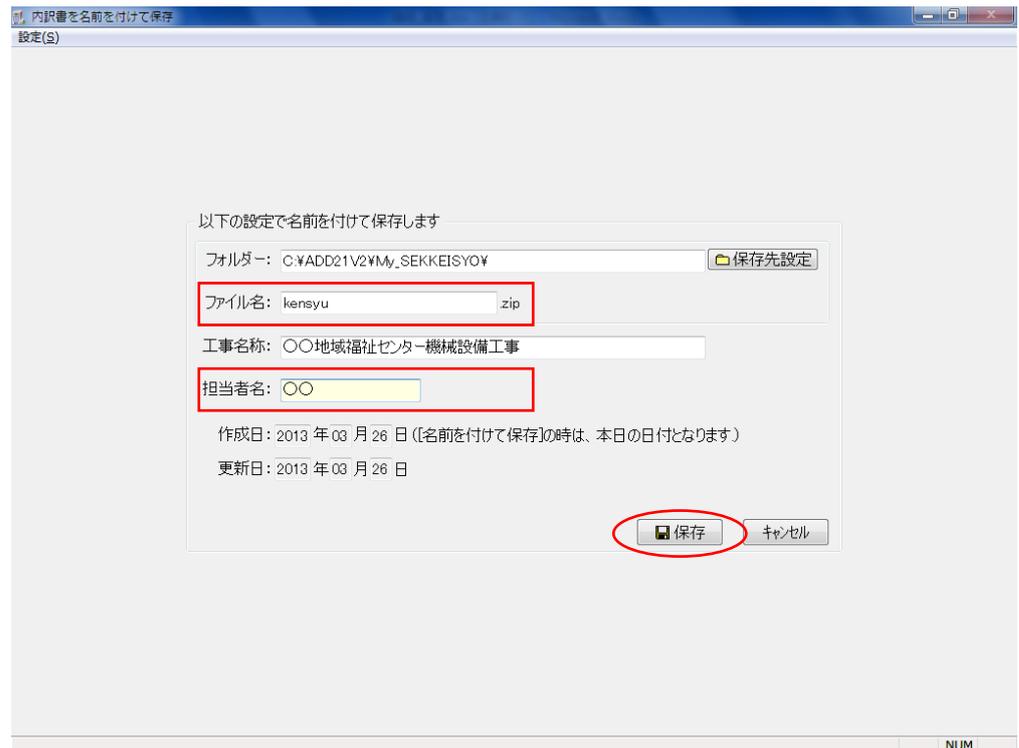
1) 右のパラメータを設定して、[印刷]ボタンを押します。

96 内訳書の保存



※初めて保存する時は、[名前を付けて保存]を選びます。  
以降は、[上書き保存]を選んで下さい。

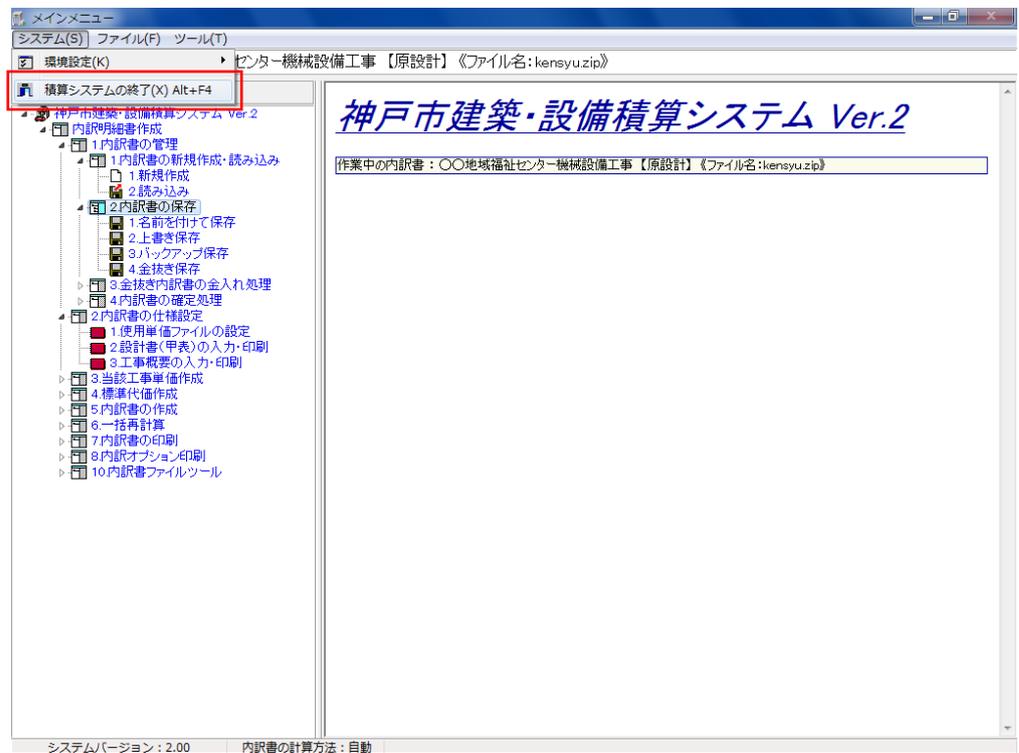
## 97 保存設定画面



- 1) ファイル名、担当者名を入力します。
- 2) [保存]ボタンを押します。

※[上書き保存]時は、保存フォルダ名、ファイル名の変更は出来ません。

## 98 積算システムの終了



※メニュー システム>積算システムの終了 を選びます。

# 神戸市建築・設備単価作成システム Ver.2

<取扱説明書>

機械設備編

平成25年 3月作成  
平成26年 1月改訂1  
平成26年10月改訂2  
平成27年 3月改訂3  
平成27年 8月改訂4

神戸市住宅都市局 建築技術部

設 備 課



## § 1. 神戸市建築・設備単価作成システムのセットアップ 1

|               |   |
|---------------|---|
| 1. セットアップのご注意 | 1 |
| 2. セットアップの手順  | 1 |
| 3. 削除の手順      | 8 |

## § 2. 機械設備単価マスタ作成作業の概要 10

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 1. ツリービュー表示・画面表示について       | 10 |
| 2. 作成する配布単価の種類及び単価コードについて  | 10 |
| 3. 一覧入力時のツールボタン            | 11 |
| 4. 端数処理について                | 12 |
| 5. コードの検索機能                | 12 |
| 6. 最新の情報に更新（[表示(V)]メニュー）   | 12 |
| 7. フォルダーのコピー（[ツール(T)]メニュー） | 13 |
| 8. 作業手順概要                  | 14 |
| 9. 単価マスタの構造概要              | 16 |

## § 3. 神戸市建築・設備単価作成システムへのログイン 17

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 1. ログイン時の[ユーザーID]と[パスワード]について | 17 |
| 2. ログインの手順                    | 17 |

## § 4. 作業単価マスタの設定 19

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 1. 作業単価マスタ選択              | 19 |
| （1）単価マスタ選択画面の表示           | 19 |
| （2）新規単価マスタの作成             | 20 |
| （3）単価マスタの選択               | 21 |
| （4）単価マスタ用引き込み単価の設定（未使用機能） | 22 |

## § 5. 基礎単価 23

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| A. 基礎単価登録                          | 23 |
| 1. 基礎単価登録画面の表示                     | 23 |
| 2. 新規基礎単価の登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定 | 24 |
| （1）フォルダーの新規作成                      | 24 |
| （2）単価シートの新規作成（新たな単価シートを作成）         | 25 |
| （3）単価シートの新規作成（既存の単価シートの情報を流用する場合）  | 26 |
| （4）フォルダー・シートプロパティの設定               | 27 |

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| (5) フォルダー・シートの削除                      | 28 |
| 3. 単価コードの検索                           | 29 |
| 4. 基礎単価の各種項目の編集                       | 30 |
| 5. 基礎単価登録画面 その他の機能について                | 34 |
| (1) ルートプロパティ                          | 34 |
| (2) フォルダーのコピー ([ツール(T)]メニュー)          | 35 |
| (3) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)            | 36 |
| (4) フォルダープロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー) | 37 |
| (5) シートプロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)   | 38 |
| (6) マスタデータ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)     | 39 |
| (7) 単価更新フラグ編集 (ツリービューの右クリックメニュー)      | 40 |
| B. 基礎単価再計算                            | 41 |
| C. 基礎単価表印刷                            | 42 |
| D. 刊行物データ引き込み単価表印刷                    | 47 |

## § 6. 見積比較表作成

50

|   |    |
|---|----|
| A. 見積メーカー登録                             | 50 |
| 1. 見積メーカー登録画面の表示                        | 50 |
| 2. 新規見積メーカーの登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定    | 51 |
| (1) フォルダーの新規作成                          | 51 |
| (2) メーカーシートの新規作成 (新たなメーカーシートを作成)        | 52 |
| (3) メーカーシートの新規作成 (既存のメーカーシートの情報を流用する場合) | 53 |
| (4) フォルダー・シートプロパティの設定                   | 54 |
| (5) フォルダー・シートの削除                        | 55 |
| 3. メーカーコードの検索                           | 56 |
| 4. 見積メーカー情報の各種項目の編集                     | 57 |
| 5. 見積メーカー登録画面 その他の機能について                | 58 |
| (1) ルートプロパティ                            | 58 |
| (2) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)              | 58 |
| (3) フォルダープロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)   | 59 |
| (4) シートプロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)     | 60 |
| (5) マスタデータ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)       | 61 |
| B. 見積メーカー再計算                            | 62 |

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| C. 見積比較表入力（見積グループ登録）                 | 63 |
| 1. 見積グループ登録画面の表示                     | 63 |
| 2. 新規見積グループの登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定 | 64 |
| (1) フォルダーの新規作成                       | 64 |
| (2) 見積グループシートの新規作成（新たなグループシートを作成）    | 65 |
| (3) フォルダー・シートプロパティの設定                | 66 |
| (4) フォルダー・シートの削除                     | 67 |
| 3. 見積グループコードの検索                      | 68 |
| 4. 見積グループ情報の各種項目の編集                  | 69 |
| 5. 見積グループ登録画面 その他の機能について             | 71 |
| (1) ルートプロパティ                         | 71 |
| (2) 最新の情報に更新（[表示(V)]メニュー）            | 71 |
| (3) フォルダープロパティ一括編集（ツリービューの右クリックメニュー） | 72 |
| (4) シートプロパティ一括編集（ツリービューの右クリックメニュー）   | 73 |
| D. 見積比較表再計算                          | 74 |
| E. 見積メーカー一覧表印刷                       | 75 |
| (1) 見積メーカー一覧印刷画面の表示                  | 75 |
| (2) 見積メーカー一覧表印刷（タックシール印刷）            | 76 |
| F. 見積グループ（資材）一覧表・見積比較表印刷             | 80 |
| (1) 見積資材・比較表印刷画面の表示                  | 80 |
| (2) 見積資材一覧表・見積比較表印刷                  | 81 |
| G. 見積依頼データ入出力方法                      | 84 |
| (1) 見積依頼データ入出力画面の表示                  | 84 |
| (2) 見積依頼雛形ファイルの編集                    | 85 |
| (3) 見積依頼データの出力（エクスポート）               | 86 |
| (4) 見積依頼データの取り込み（インポート）              | 89 |

## § 7. 刊行物マスタ

92

|                      |    |
|----------------------|----|
| A. データ移行             | 92 |
| B. 刊行物マスタ更新（基礎単価を更新） | 95 |

## § 8. 歩掛マスタ

96

|                 |    |
|-----------------|----|
| A. 歩掛マスタ登録      | 96 |
| 1. 歩掛マスタ登録画面の表示 | 96 |

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| 2. 新規歩掛の登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定    | 97  |
| (1) フォルダーの新規作成                      | 97  |
| (2) 歩掛シートの新規作成 (新たな歩掛シートを作成)        | 98  |
| (3) 歩掛シートの新規作成 (既存の歩掛シートの情報を流用する場合) | 99  |
| (4) フォルダー・シートプロパティの設定               | 100 |
| (5) フォルダー・シートの削除                    | 101 |
| 3. 歩掛コードの検索                         | 102 |
| 4. 歩掛の各種項目の編集                       | 103 |
| 5. 歩掛マスタ登録画面 その他の機能について             | 105 |
| (1) ルートプロパティ                        | 105 |
| (2) フォルダーのコピー ([ツール(T)]メニュー)        | 106 |
| (3) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)          | 107 |
| B. 歩掛マスタ再計算                         | 108 |
| C. 歩掛マスタ印刷                          | 109 |

## § 9. 補足単価

113

|            |     |
|------------|-----|
| A. 補足単価登録  | 113 |
| B. 補足単価再計算 | 114 |
| C. 補足単価表印刷 | 115 |

## § 10. 標準単価マスタ

116

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| A. 標準単価登録                           | 116 |
| 1. 標準単価登録画面の表示                      | 116 |
| 2. 新規標準単価の登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定  | 117 |
| (1) フォルダーの新規作成                      | 117 |
| (2) 単価シートの新規作成 (新たな単価シートを作成)        | 118 |
| (3) 単価シートの新規作成 (既存の単価シートの情報を流用する場合) | 119 |
| (4) フォルダー・シートプロパティの設定               | 120 |
| (5) フォルダー・シートの削除                    | 121 |
| 3. 単価コードの検索                         | 122 |
| 4. 標準単価の各種項目の編集                     | 123 |
| 5. 標準単価登録画面 その他の機能について              | 127 |
| (1) ルートプロパティ                        | 127 |
| (2) フォルダーのコピー ([ツール(T)]メニュー)        | 128 |
| (3) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)          | 129 |



## § 1. 神戸市建築・設備単価作成システムのセットアップ

### 1. セットアップのご注意

※セットアップ中にコンピューターウイルス対策ソフトが原因でエラーが発生する場合は、セットアップを実行する前にコンピューターウイルス対策ソフトを終了または常駐保護を一時的に無効にしてから実行して下さい。(セキュリティ保護のため、セットアップ終了後は常駐保護を有効にすることを忘れないで下さい。)

※本システムのセットアップを始める前に実行中のすべてのアプリケーションを終了して下さい。

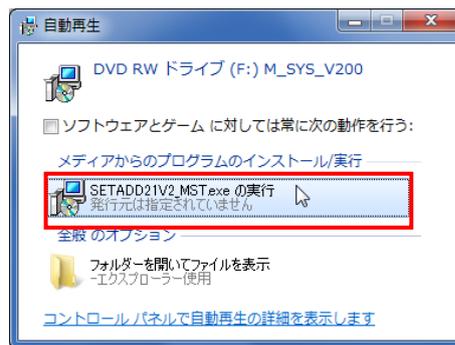
### 2. セットアップの手順

本システムをセットアップするには以下の操作を行います。

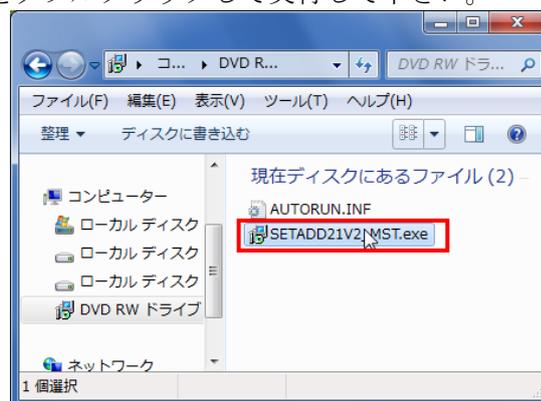
※予め神戸市建築・設備積算システムが神戸市認証版でインストールされている状態で、本システムを追加インストールして下さい。神戸市建築・設備積算システムが神戸市認証版でインストールされていない場合、本システムは動作しません。

①本システムの追加インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入すると、セットアップメニューが自動起動します。

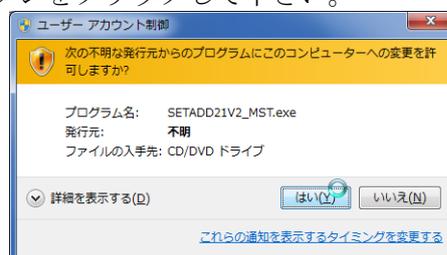
※下図のような画面が表示された場合は、「SETADD21V2\_MST.exe の実行」をクリックして下さい。



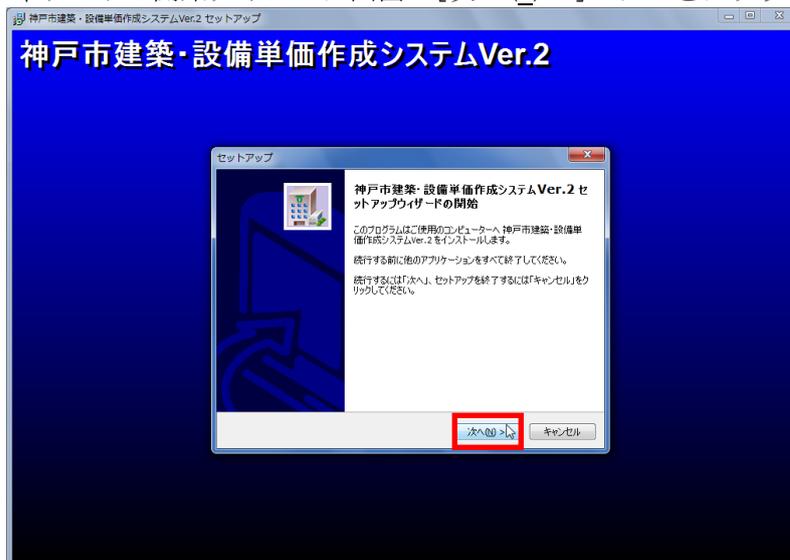
※ リムーバブルメディア (CD ドライブ含む) の自動再生機能が無効になっている場合、インストールメニューは自動的に表示されません。その場合は、エクスプローラーで CD ドライブを開き、「SETADD21V2\_MST.exe」をダブルクリックして実行して下さい。



②OS が Windows Vista 以降の動作環境の場合、ユーザーアカウント制御画面が表示される場合がありますので、[はい(Y)] ボタンをクリックして下さい。



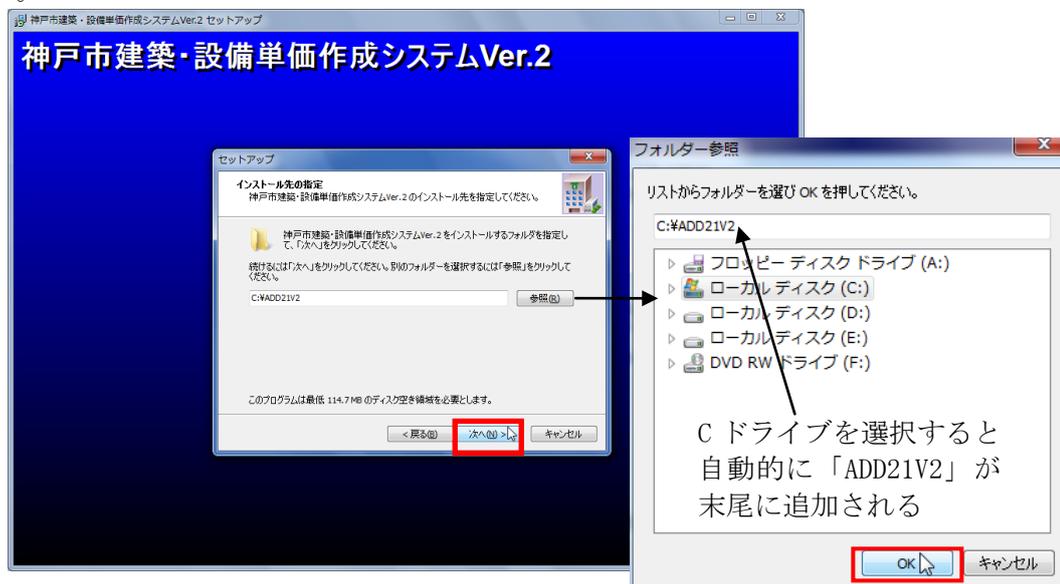
③セットアップウィザードの開始ダイアログ画面の[次へ(N) >]ボタンをクリックして下さい。



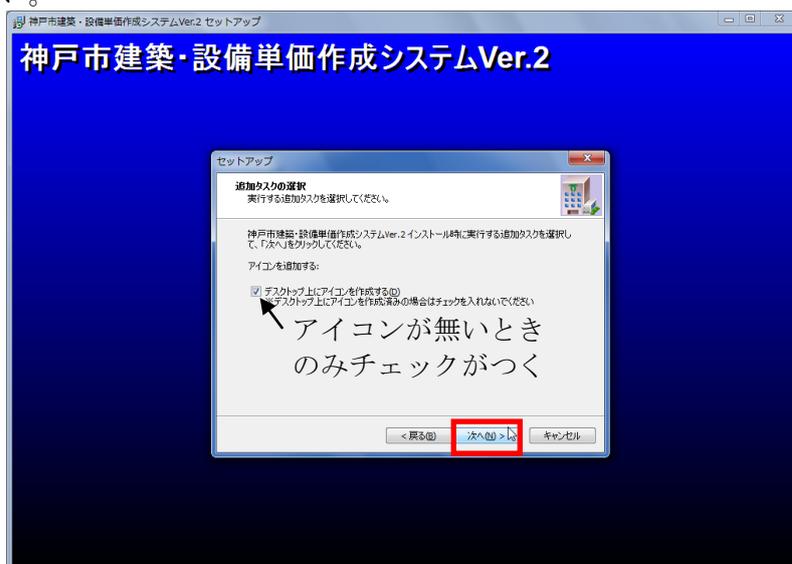
④[インストール先の指定]ダイアログ画面が表示されます。

インストール先フォルダーを設定し、[次へ(N) >]ボタンをクリックして下さい。  
本製品は、既定の設定では主に以下のフォルダーに本製品に必要なファイルがコピーされます。  
C:¥ADD21V2¥ (C:¥ は 通常、Windows がセットアップされているドライブです。)  
なお、本製品は、既定のフォルダーにセットアップすることをお勧めします。

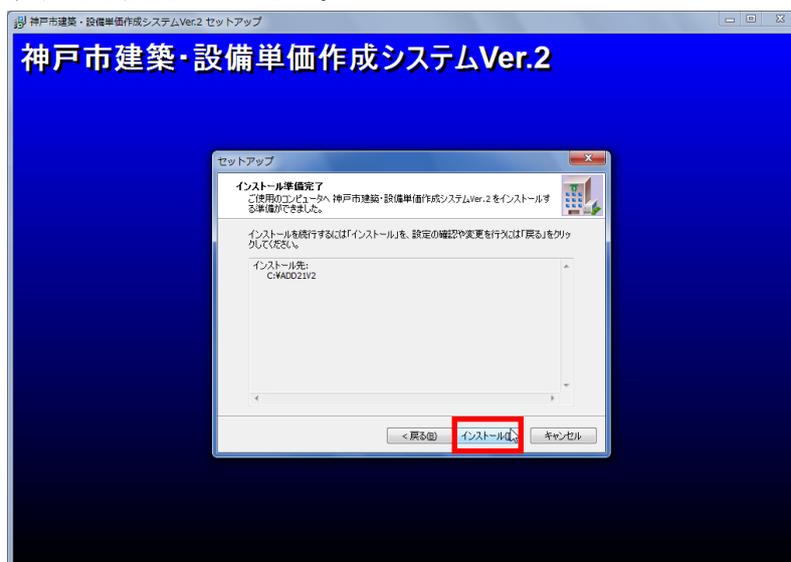
(権限による制限やディスクの空き容量の都合などにより、他のフォルダーに設定する場合は、[参照(R)]ボタンをクリックし、インストール先を任意の場所に変更して下さい。フォルダー参照画面で設定する場合、ドライブやフォルダー選ぶと自動的に末尾に「ADD21V2」が追加される仕様となっていますので、注意して下さい。)



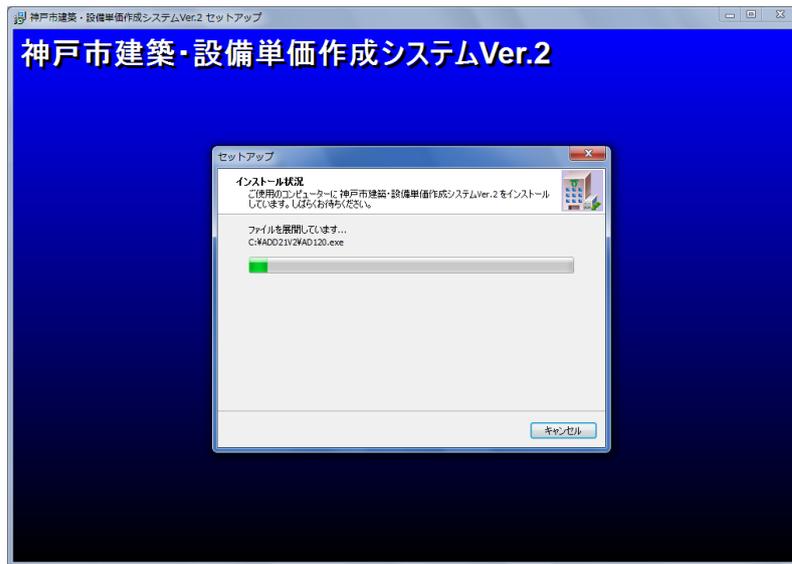
- ⑤ [追加タスクの選択] ダイアログ画面で、デスクトップにアイコンを作成するかどうかを選択し、[次へ(N)] ボタンをクリックして下さい。
- ※ 「デスクトップ上にアイコンを作成する(D)」にチェックを入れるとデスクトップ上に本システムのショートカットアイコンが作成されます。
  - ※ デスクトップ上に本システムのショートカットアイコンが無い時は自動的にチェックが入ります。
  - ※ デスクトップ上に既に本システムのショートカットアイコンがある時にチェックを入れると、環境によっては本システムのショートカットアイコンが複数登録される場合がありますのでご注意ください。



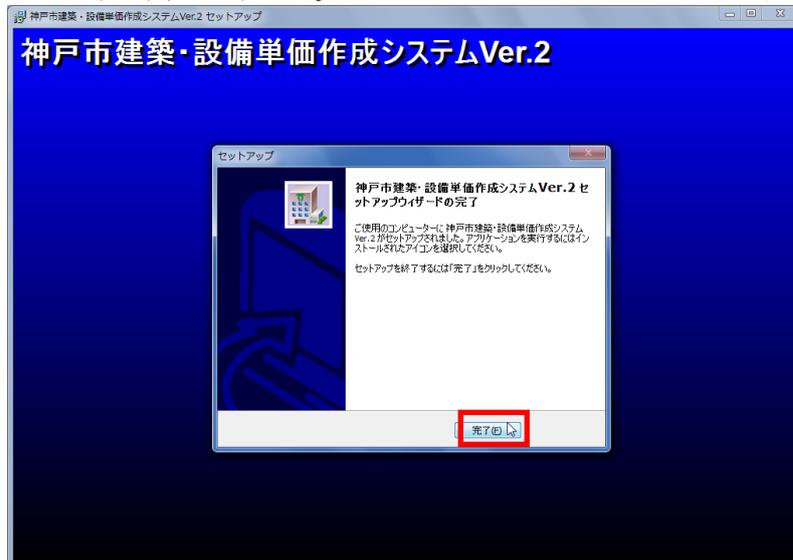
- ⑥ インストール準備完了ダイアログ画面でインストールの条件を画面で確認し、[インストール(I)] ボタンをクリックして下さい。設定変更が必要な場合は[戻る(B)] ボタンをクリックして前の手順に戻り、設定を変更して下さい。



⑦セットアップが開始されます。セットアップの完了までしばらくお待ち下さい。



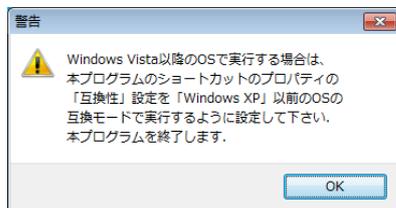
⑧[セットアップの完了]ダイアログ画面が表示されたら、セットアップは完了です。  
[完了(F)]ボタンをクリックし、セットアップウィザード画面が閉じた後、本製品の CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出して下さい。



⑨デスクトップ上に次のショートカットアイコンが作成されています。  
配布単価ファイルの変換プログラム(バージョン 1 形式からバージョン 2 形式への変換)の起動は、この「配布単価ファイルの変換」のショートカットアイコンをダブルクリックして下さい。  
なお、Windows Vista 以降の動作環境の場合、「配布単価ファイルの変換」のショートカットアイコンに「互換モードの設定」が必要です。「互換性の設定」がまだの場合は、次の手順⑩へ進んで下さい。過去のセットアップ時に互換モードの設定を済ませている場合は、セットアップ作業はこれで終了です。



※ Windows Vista 以降の動作環境で、配布単価ファイルファイルの変換プログラムのショートカットアイコンに「互換モードの設定」をしていない場合、起動時に下記のメッセージが表示されて起動しません。その場合は、次の手順で互換モードの設定を行って下さい。

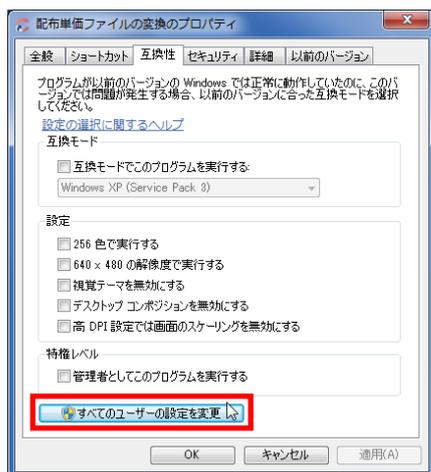


⑩ 「配布単価ファイルの変換」ショートカットを右クリックし、「プロパティ(R)」をクリックして下さい。

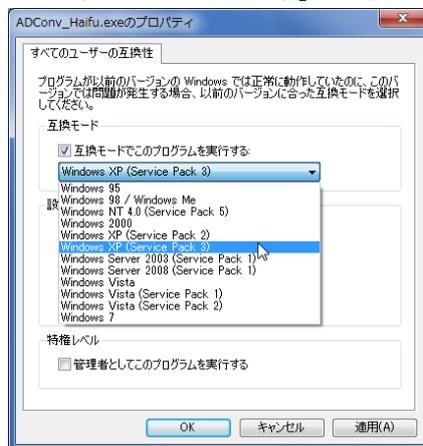


⑪ 「互換性」タブを選択し、「すべてのユーザーの設定を変更」ボタンをクリックして下さい。

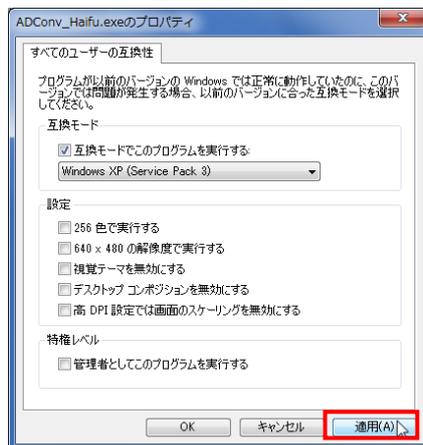
※ 管理者権限が無い場合は「すべてのユーザーの設定を変更」ボタンが無効になっている場合があります。その場合は、この「互換性」タブ上の互換モードの部分⑩以降の手順で設定して下さい。



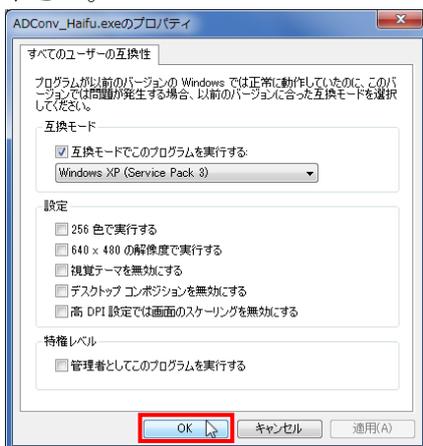
- ⑫ 「互換モードでこのプログラムを実行する」にチェックを入れ、「Windows XP」等を選択して下さい。（Windows 7上で実行している場合は「Windows XP (Service Pack 3)」・Windows Vista上で実行している場合は「Windows XP (Service Pack 2)」を選択して下さい。）



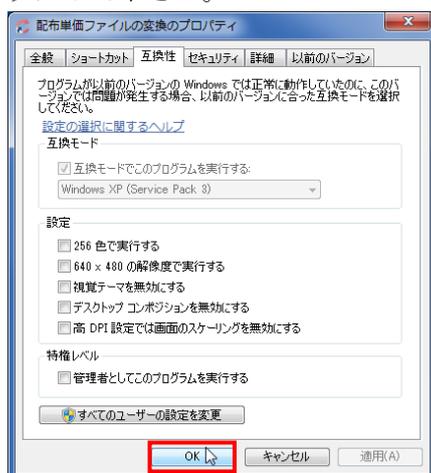
- ⑬ 前の手順⑫で設定した内容を確認し、「適用(A)」ボタンをクリックして下さい。



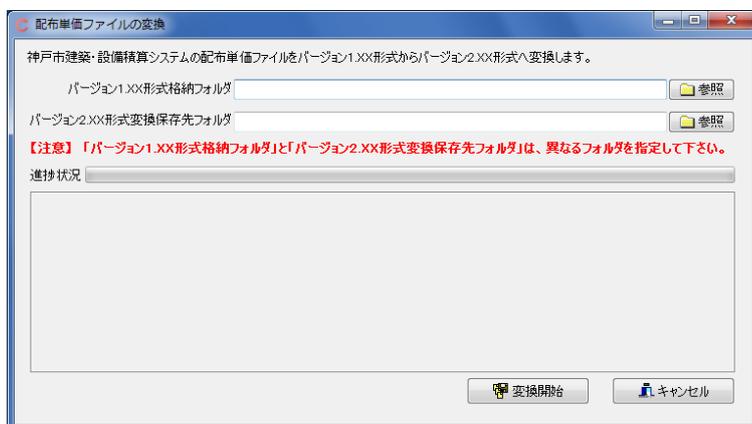
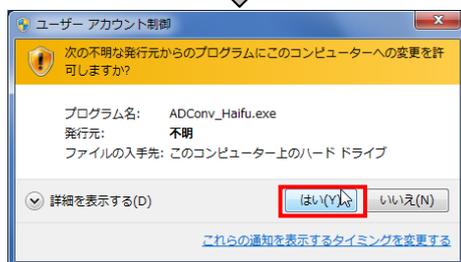
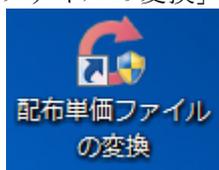
- ⑭ 「OK」ボタンをクリックして下さい。



⑮ 「OK」 ボタンをクリックして下さい。



⑯ 互換モードの設定が完了すると、ショートカットアイコンに盾のマークが付加されます（動作環境によっては付加されない場合もあります）。ショートカットアイコンをダブルクリックしてプログラムを起動すると、ユーザーアカウント制御画面が毎回表示されます。「はい(Y)」ボタンをクリックすると、「内訳書ファイルの変換」プログラムが起動します。

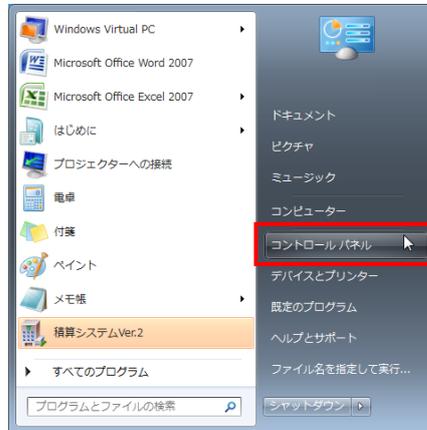


### 3. 削除の手順

本システムをセットアップ後、お使いのシステムから削除するには、以下の操作を行います。

①実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。

②[スタート]メニューから、[コントロール パネル(C)] をクリックして下さい。

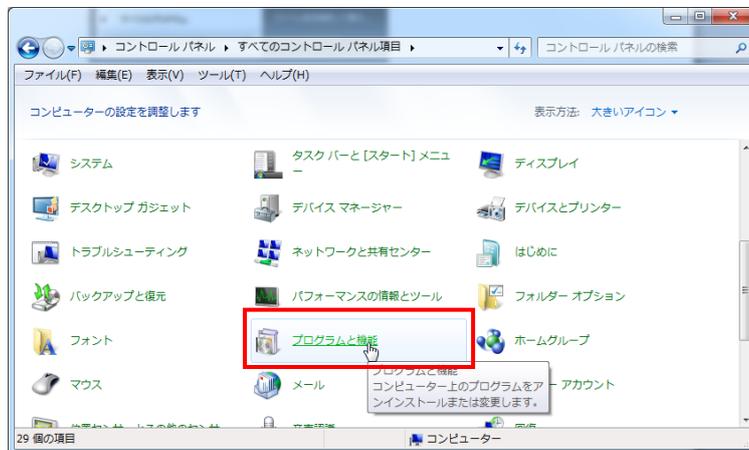


※Windows のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

③コントロールパネルの「プログラム」→「プログラムのアンインストール」または「プログラムと機能」をクリックして下さい。



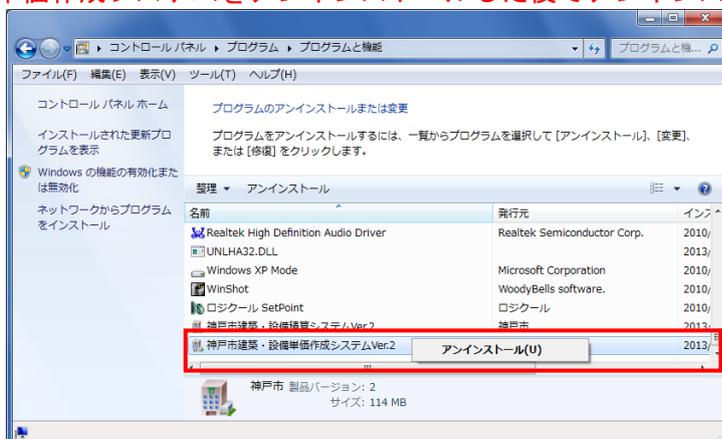
または



※Windows のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

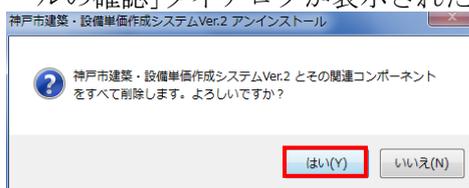
- ④一覧から「神戸市建築・設備単価作成システム Ver. 2」をクリックして選択し、右クリック→[アンインストール(U)]をクリックして下さい。

※誤って「神戸市建築・設備積算システム Ver. 2」をアンインストールしないで下さい。積算システムは単価作成システムをアンインストールした後でアンインストールして下さい。

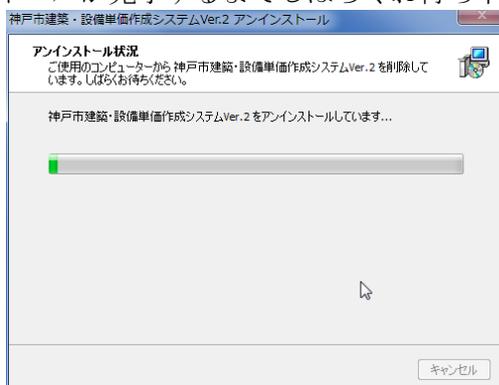


※Windows のバージョンにより、表示方法が異なります。

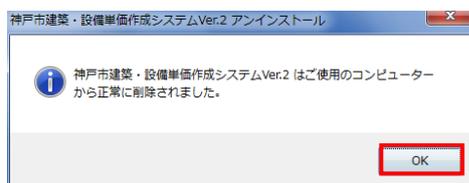
- ⑤[アンインストールの確認]ダイアログが表示されたら、[はい(Y)]ボタンをクリックして下さい。



- ⑥アンインストールが完了するまでしばらくお待ち下さい。



- ⑦アンインストール処理の完了メッセージが表示されましたら、[OK]ボタンをクリックして下さい。



※アンインストールを行っても、下記のフォルダー及びその中に保存されているファイルは残ります。

- ・「MSTER」フォルダー
- ・上記以外で、インストール先の ADD21V2 フォルダー内に保存されているファイルのうち、セットアッププログラム以外が作成したファイル（本システム利用者が作成したファイル等）それらのフォルダーやファイルについても不要な場合は、手作業で削除して下さい。

## § 2. 機械設備単価マスタ作成作業の概要

### 1. ツリービュー表示・画面表示について

神戸市・設備単価作成システムでは、メインメニュー及び各種マスタ作成処理などにおいて、階層に管理できるものは、全てツリービュー方式を採用しています。



神戸市建築・設備単価作成システムでは1シート・1単価コードとなっています。

(神戸市建築・設備積算システムでは、1シートに複数の単価コードを格納可能です。)

それ以外の概念や操作方法は、神戸市建築・設備積算システムと基本的に同じです。従いまして、下記の操作方法につきましては、神戸市建築・設備積算システム Ver. 2 <機械設備工事編> 取扱説明書の該当箇所を参照して下さい。

- ・フォルダー・シートの新規作成
- ・フォルダー・シートの複写 (コピー)
- ・フォルダー・シートのプロパティ設定 (各マスタ個別の設定内容は本書の各項で解説します)
- ・フォルダー・シートの移動
- ・フォルダー・シートの削除

#### 【注意】

各マスタのコードは重複しないように設定して下さい。

### 2. 作成する配布単価の種類及び単価コードについて

神戸市建築・設備積算システムにおいて機械設備積算で使用する配布単価には以下のものがあります。

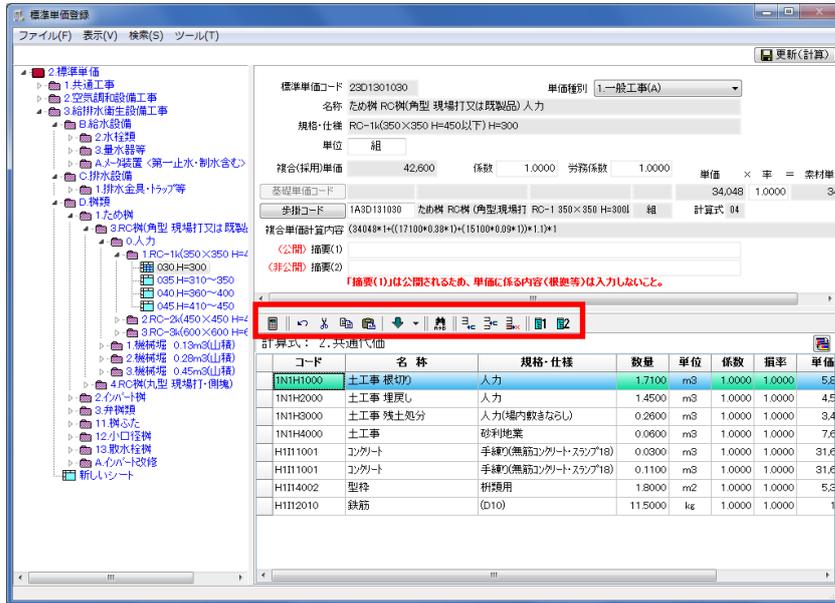
- ・基礎単価 (1 頭コード) (配布単価名 M 基礎 20XXXX. zip)
- ・標準単価 (2 頭コード) (配布単価名 M 標準 20XXXX. zip)
- ・住宅整備課単価 (J 頭コード) (配布単価名 M 住整 20XXXX. zip)
- ・歩掛 (種別毎に異なる頭コード) (配布単価名 M 歩掛 20XXXX. zip)

上記の 20XXXX は西暦年・月を示します。

(例) 平成 25 年 (2013 年) 6 月建築標準単価の場合⇒M 標準 201306. zip

### 3. 一覧入力時のツールボタン

※ データの入力時、入力エリア上部にツールボタンが表示されます。



#### ◆ 表示されるボタンと機能

| ツールボタン | 機能説明                          |
|--------|-------------------------------|
|        | 表示データの編集結果を保存します。             |
|        | 表示データを再計算します。                 |
|        | 編集内容を元に戻します。 ※削除した行の復活はできません。 |
|        | セルの値を切り取りします。                 |
|        | セルの値をコピーします。                  |
|        | 選択しているセルに値を貼り付けします。           |
|        | [Enter]キー入力後のカーソルの移動方向を指定します。 |
|        | 置換ウィンドウを表示し、選択領域の置換作業を行います。   |
|        | 最終行に、行を追加します。                 |
|        | カーソル行の上に、行を挿入します。             |
|        | 選択行の削除を行います。 ※削除した行の復活はできません。 |
|        | 単価選択画面を表示します(基礎単価選択・補足単価選択)   |

※ [右クリック]により、次のポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューの選択を行っても、同様に処理されます。

|  |                     |
|--|---------------------|
|  | 表示データを再計算する(K)      |
|  | 元に戻す(U)             |
|  | 切り取り(T)             |
|  | コピー(C)              |
|  | 貼り付け(P)             |
|  | 編集の方向(H) ▶          |
|  | 指定範囲の置換(R)          |
|  | 行の追加(A)      Ctrl+A |
|  | 行の挿入(I)      Ctrl+I |
|  | 行の削除(D)      Ctrl+D |
|  | 基礎単価ウィンド(X)         |
|  | 補足単価ウィンド(Y)         |
|  | 入力モード(Z)      F2    |

#### 4. 端数処理について

端数処理の概念及び処理方法は神戸市建築・設備積算システムと同じです。詳細内容は神戸市建築・設備積算システム Ver. 2〈機械設備工事編〉取扱説明書の該当箇所を参照して下さい。

なお、各マスタの端数処理は、ルートプロパティの設定で設定します。

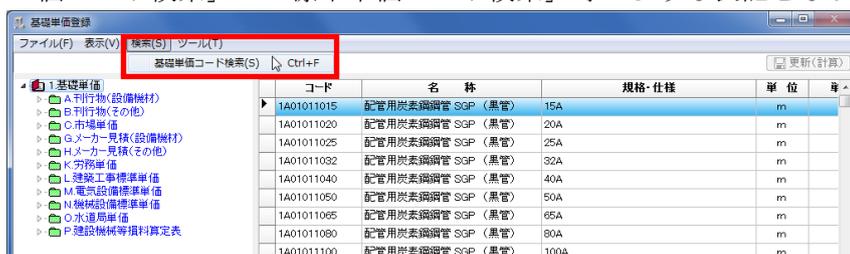
#### 5. コードの検索機能

※操作方法は各マスタにおいて共通です。

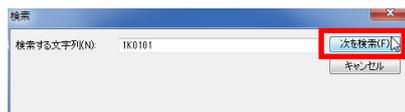
※本項では、基礎単価マスタ登録画面で解説します。

①[検索(S)]→[基礎単価コード検索(Ctrl+F)]をクリックして下さい。

※「基礎単価コード検索」の部分は各マスタ登録画面において、「コード検索」・「補足単価コード検索」・「標準単価コード検索」等のような表記となります。



②検索したい単価コードを入力し、[次を検索(F)]ボタンをクリックして下さい。単価マスタに単価コードが存在する場合はその単価コードの単価シートに移動します。



見つからなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



#### 6. 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)

各マスタデータベースの内容を再読込します (特に使用することはありません)。

※本項では、基礎単価マスタ登録画面で解説します。

①[表示(V)]→[最新の情報に更新(R)]をクリックして下さい。



## 7. フォルダのコピー ([ツール(T)]メニュー)

他の単価マスタのフォルダ階層構造（そのフォルダ階層下に含まれるフォルダを全て）をコピーする機能です（フォルダ階層の中の単価シートはコピーされません）。

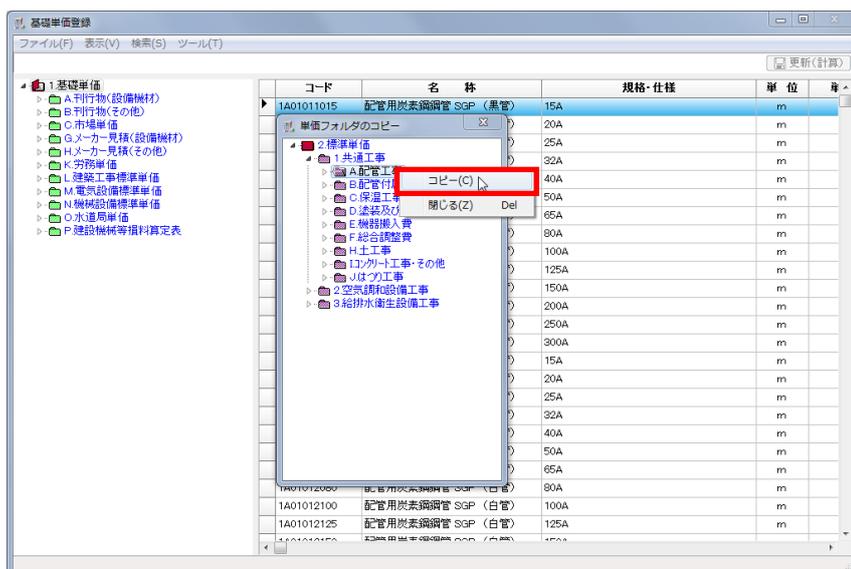
※本項では、基礎単価マスタ登録画面で解説します。

- ① [ツール(T)] → 「フォルダのコピー(F)」 → [フォルダ階層をコピーしたい単価マスタ名] をクリックすると、フォルダ選択画面が表示されます。

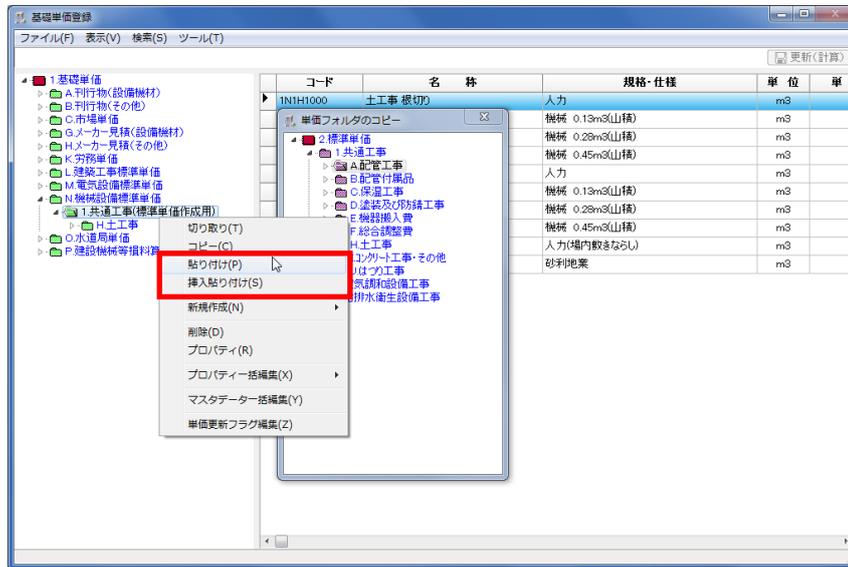


- ② コピーしたいフォルダを選択し、右クリック → [コピー(C)] をクリックして下さい。（コピーしたフォルダ情報が記憶されます）

※フォルダ選択画面は貼り付け操作を行うまで閉じないで下さい。



- ③貼り付けを行いたいフォルダー階層を選択し、右クリック→[貼り付け(P)]または[挿入貼り付け(S)]をクリックすると、フォルダー階層の貼り付けが行われます。



## 8. 作業手順概要

各マスタのデータは、下記の手順で作業を実施して下さい。

①新規単価マスタを作成(前回作成した単価を元に追加作成)

### ②基礎(素材)単価登録

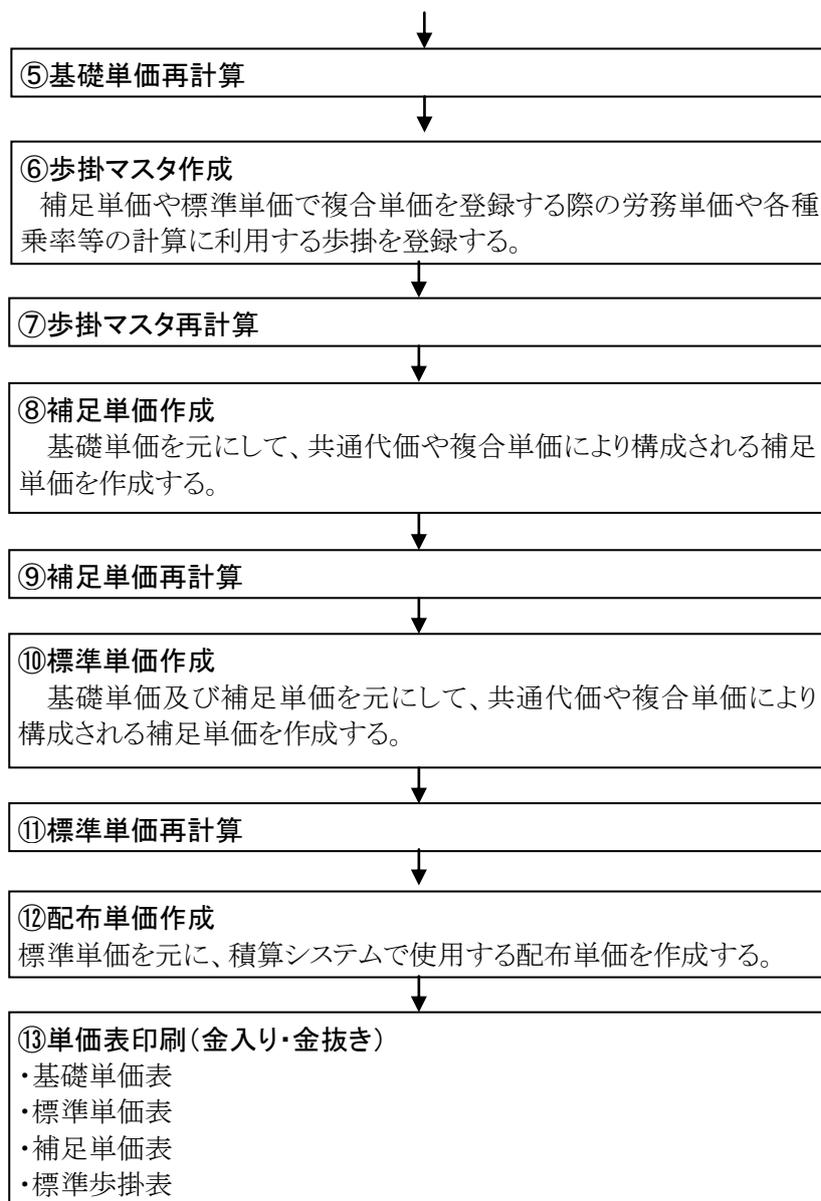
- ・単価コードの(フォルダー・シート)追加、変更、削除を行う
- ・単価コード、規格・仕様、単位、摘要などの変更を行う
- ・任意入力単価の入力単価及び乗率などの変更を行う
- ・刊行物単価コードの変更及び係数などの変更を行う
- ・見積グループ及び採用基準の変更を行う
- ・単価根拠(任意・刊行物・見積)の変更を行う

### ②見積比較表作成

- ・見積メーカー登録  
(見積を行うメーカーの追加・変更・削除を行う)
- ・見積比較表作成  
(見積を行う資材毎に見積グループを作成し、見積を行うメーカー及び見積対象の基礎単価コードを登録し、見積比較表を作成する)
- ・見積依頼データ入出力  
(見積比較表に登録した見積基礎単価を、見積メーカー毎に Excel ファイルに出力し、メーカーと授受することにより見積作業を行う)

### ④刊行物マスタ作成

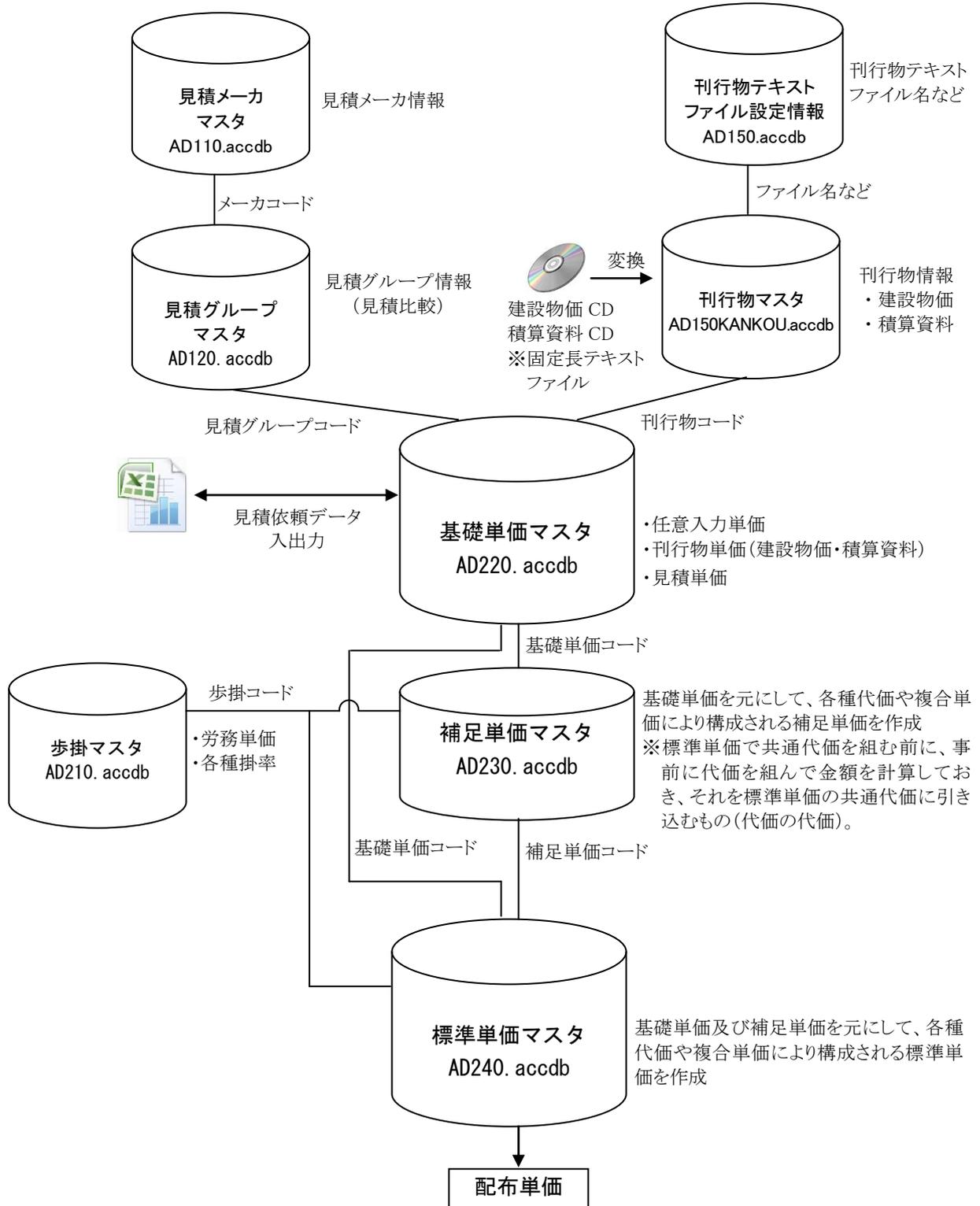
- 建設物価・積算資料のCDに収録されている固定長テキストファイルを変換し、システム基礎単価データに反映する
- ・データ移行(固定長テキストファイルからシステムデータ形式に変換)
- ・刊行物マスタ更新(基礎単価を更新)



※前工程での変更を要する場合は、必要に応じて前工程に遡って作業を行って下さい。なお、前工程に遡って変更を行った場合は、必ずその段階の工程から順に再計算を行って下さい。

## 6. 単価マスタの構造概要

単価マスタは以下のような構造となっています。



### § 3. 神戸市建築・設備単価作成システムへのログイン

#### 1. ログイン時の[ユーザーID]と[パスワード]について

神戸市建築・設備単価作成システムは、あらかじめ登録されたユーザー(使用者)しか、起動させることができません。また、起動にはパスワードが必要です。

#### 2. ログインの手順

基本的に神戸市建築・設備積算システムと同じ手順でログインして下さい。単価作成システム用のユーザーID・パスワードを入力し、認証されると、メインメニューに単価作成システム用の項目が追加表示されます。

①神戸市建築・設備積算システム Ver. 2 のショートカットアイコンをダブルクリックして下さい。



②ログインのための、ウィンドウが起動します。



※神戸市建築・設備積算システムの既定(C:\¥ADD21V2¥DATDB¥)以外のフォルダーにセットアップした場合や、インストール先のドライブやフォルダーが異なる場合、または、新たに LOGIN Key ファイルフォルダーを設定する場合には、LOGIN Key ファイルの保存先フォルダーを設定する必要があります。

なお一度設定をするとシステム設定ファイルに記憶されますので、再度設定する必要はありません。(設定が不要な場合は⑥へ)

③ログインウィンドウの[Key]タブをクリックして下さい。

現在設定されている LOGIN Key ファイル の保存先が表示されます。



④[参照(B)]をクリックして下さい。

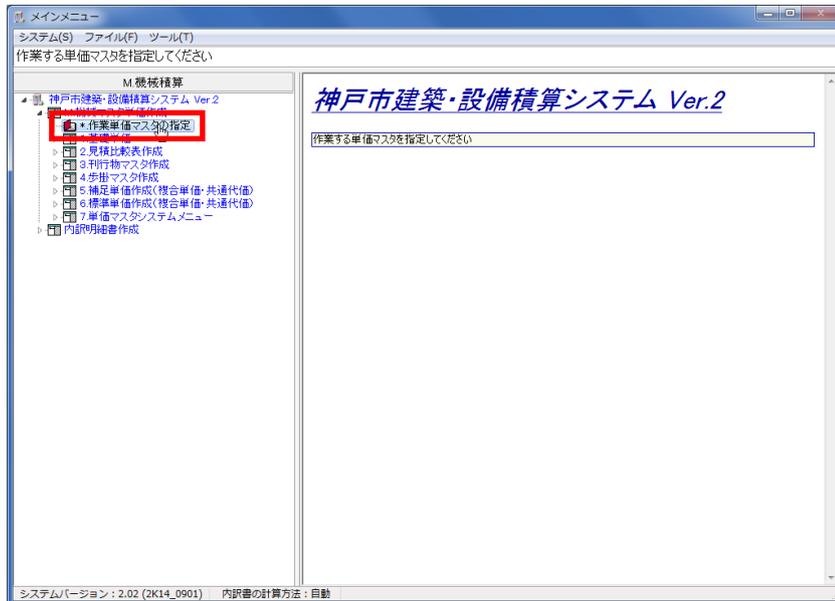


## § 4. 作業単価マスタの設定

### 1. 作業単価マスタ選択

#### (1) 単価マスタ選択画面の表示

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[作業単価マスタの指定] (既に単価マスタを選択している場合は「平成〇年〇月単価」(摘要に設定している内容)と表示されています)をダブルクリックすると、単価マスタ選択画面が表示されます。

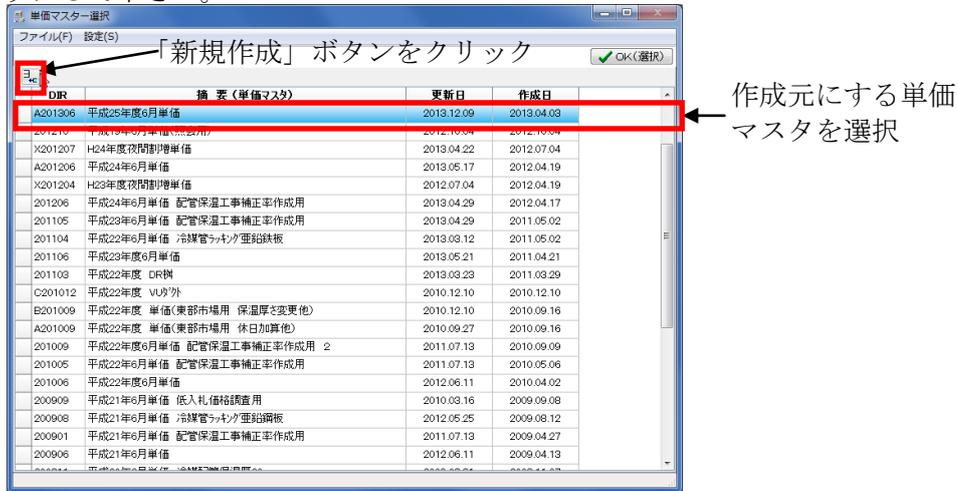


The screenshot shows the '単価マスタ選択' dialog box. It contains a table with the following columns: 'DIR', '摘要 (単価マスタ)', '更新日', and '作成日'. The first row is selected.

| DIR     | 摘要 (単価マスタ)                | 更新日        | 作成日        |
|---------|---------------------------|------------|------------|
| A201206 | 平成25年度6月単価                | 2013.12.09 | 2013.04.03 |
| 201210  | 平成19年6月単価(照会用)            | 2012.10.04 | 2012.10.04 |
| X201207 | H24年度夜間割増単価               | 2013.04.22 | 2012.07.04 |
| A201206 | 平成24年6月単価                 | 2013.05.17 | 2012.04.19 |
| X201204 | H23年度夜間割増単価               | 2012.07.04 | 2012.04.19 |
| 201206  | 平成24年6月単価 配管保温工事補正率作成用    | 2013.04.29 | 2012.04.17 |
| 201105  | 平成23年6月単価 配管保温工事補正率作成用    | 2013.04.29 | 2011.05.02 |
| 201104  | 平成22年6月単価 冷媒管ラック垂起鉄板      | 2013.03.12 | 2011.05.02 |
| 201106  | 平成23年度6月単価                | 2013.05.21 | 2011.04.21 |
| 201103  | 平成22年度 DR鋼                | 2013.03.23 | 2011.03.29 |
| C201012 | 平成22年度 VU外                | 2010.12.10 | 2010.12.10 |
| B201009 | 平成22年度 単価(東部市場用 保温厚変更他)   | 2010.12.10 | 2010.09.16 |
| A201009 | 平成22年度 単価(東部市場用 休日加算他)    | 2010.09.27 | 2010.09.16 |
| 201009  | 平成22年度6月単価 配管保温工事補正率作成用 2 | 2011.07.13 | 2010.09.09 |
| 201005  | 平成22年6月単価 配管保温工事補正率作成用    | 2011.07.13 | 2010.05.06 |
| 201006  | 平成22年度6月単価                | 2012.06.11 | 2010.04.02 |
| 200909  | 平成21年6月単価 低入札価格調査用        | 2010.03.16 | 2009.09.08 |
| 200908  | 平成21年6月単価 冷媒管ラック垂起鉄板      | 2012.05.25 | 2009.08.12 |
| 200901  | 平成21年6月単価 配管保温工事補正率作成用    | 2011.07.13 | 2009.04.27 |
| 200906  | 平成21年6月単価                 | 2012.06.11 | 2009.04.13 |

## (2) 新規単価マスタの作成

- ①単価マスタ選択画面で、作成元にする単価マスタの行を選択してから、新規作成ボタンをクリックして下さい。



- ②各種項目を設定し、[OK]ボタンをクリックすると、作成元の単価を元として新規単価マスタが作成されます。

**【注意】**一度作成すると設定内容は変更できないため、慎重に行ってください。

- 「頭文字」の入力は任意（空白でも可能）。
- ※住宅整備課単価作成時は“J”を入力。
- ※単価の試作等で同年月のものを複数作成する場合にA~Zの任意の文字を入力。
- ※既存のものと重複しないように注意して下さい。



### (3) 単価マスタの選択

- ① 単価マスタ選択画面の該当する行を選択し、[OK]ボタンを[クリック]して下さい。  
または、該当する行を[ダブルクリック]して下さい。

| DIR     | 摘要 (単価マスタ)                | 更新日        | 作成日        |
|---------|---------------------------|------------|------------|
| A201306 | 平成25年度6月単価                | 2013.12.09 | 2013.04.03 |
| 201210  | 平成19年6月単価(照会用)            | 2012.10.04 | 2012.10.04 |
| X201207 | H24年度夜間割増単価               | 2013.04.22 | 2012.07.04 |
| A201206 | 平成24年6月単価                 | 2013.05.17 | 2012.04.19 |
| X201204 | H23年度夜間割増単価               | 2012.07.04 | 2012.04.19 |
| 201206  | 平成24年6月単価 配管保温工事補正率作成用    | 2013.04.29 | 2012.04.17 |
| 201105  | 平成23年6月単価 配管保温工事補正率作成用    | 2013.04.29 | 2011.05.02 |
| 201104  | 平成22年6月単価 冷媒管ラックの霊柩板      | 2013.03.12 | 2011.05.02 |
| 201106  | 平成23年度6月単価                | 2013.05.21 | 2011.04.21 |
| 201103  | 平成22年度 DIR例               | 2013.03.23 | 2011.03.29 |
| C201012 | 平成22年度 VU外                | 2010.12.10 | 2010.12.10 |
| B201009 | 平成22年度 単価(東部市場用 保温厚変更他)   | 2010.12.10 | 2010.09.16 |
| A201009 | 平成22年度 単価(東部市場用 休日加算他)    | 2010.09.27 | 2010.09.16 |
| 201009  | 平成22年度6月単価 配管保温工事補正率作成用 2 | 2011.07.13 | 2010.09.09 |
| 201005  | 平成22年6月単価 配管保温工事補正率作成用    | 2011.07.13 | 2010.05.06 |
| 201006  | 平成22年度6月単価                | 2012.06.11 | 2010.04.02 |
| 200909  | 平成21年6月単価 低入札価格検証用        | 2010.03.16 | 2009.09.08 |
| 200908  | 平成21年6月単価 冷媒管ラックの霊柩板      | 2012.05.25 | 2009.08.12 |
| 200901  | 平成21年6月単価 配管保温工事補正率作成用    | 2011.07.13 | 2009.04.27 |
| 200906  | 平成21年6月単価                 | 2012.06.11 | 2009.04.13 |

- ② 選択した行の単価マスタが読み込まれていることを確認して下さい。

単価マスタ: 平成25年度6月単価

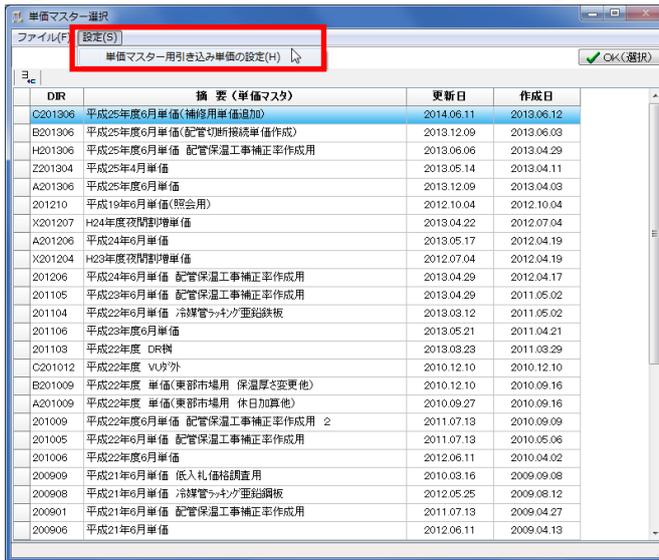
#### (4) 単価マスタ用引き込み単価の設定 (未使用機能)

※機械単価マスタ作成時はこの機能は使用しないで下さい。

※以前、建築の単価マスタ作成の際に労務単価を単独で作成していた時に本画面で設定した単価を標準単価作成時にコードを入力して引き込みをしていました。

※この機能で設定を行った場合、基礎単価と引き込み単価双方に同じ単価コードの単価が存在する場合は、引き込み単価の方の単価が優先されて計算されますのでご注意ください。

①[設定(S)]→[単価マスタ用引き込み単価の設定(H)]をクリックして下さい。



②この画面の設定項目は全て空白の状態です。[設定]ボタンをクリックして下さい。



[参考] (機械単価マスタ作成時は設定しないで下さい。)

平成19年(2007年)6月労務単価(Rコード)を補足単価・代価で引き込む場合の設定です。

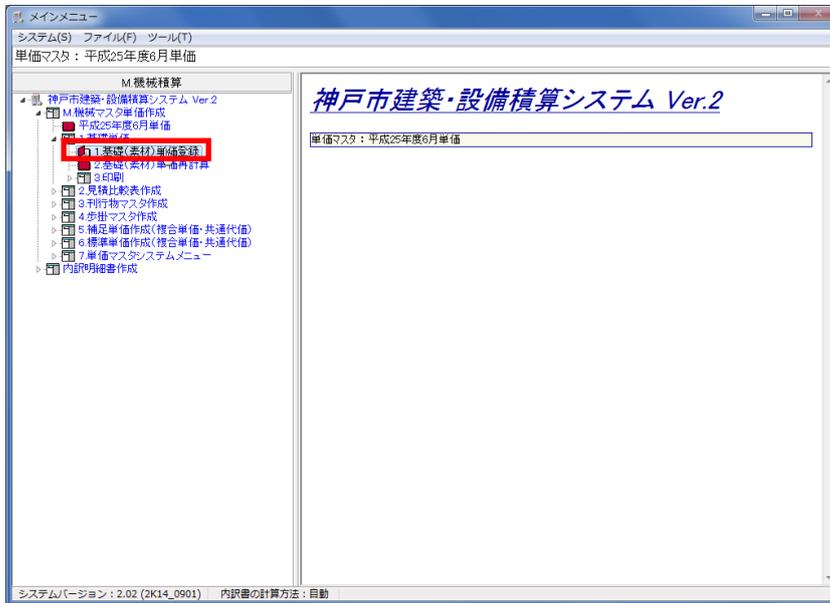


## § 5. 基礎単価

### A. 基礎単価登録

#### 1. 基礎単価登録画面の表示

①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[1. 基礎単価]→[1. 基礎（素材）単価登録]をダブルクリックすると、基礎単価登録画面が表示されます。

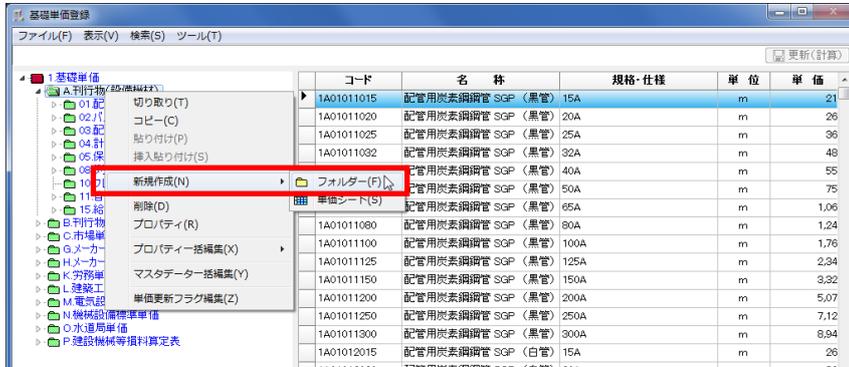


| コード        | 名称                     | 規格・仕様 | 単位 | 単価    | 単価   |
|------------|------------------------|-------|----|-------|------|
| 1A01011015 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 15A  |       | m  | 214   | 2.刊行 |
| 1A01011020 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 20A  |       | m  | 261   | 2.刊行 |
| 1A01011025 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 25A  |       | m  | 367   | 2.刊行 |
| 1A01011032 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 32A  |       | m  | 481   | 2.刊行 |
| 1A01011040 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 40A  |       | m  | 552   | 2.刊行 |
| 1A01011050 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 50A  |       | m  | 756   | 2.刊行 |
| 1A01011065 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 65A  |       | m  | 1,063 | 2.刊行 |
| 1A01011080 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 80A  |       | m  | 1,248 | 2.刊行 |
| 1A01011100 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 100A |       | m  | 1,769 | 2.刊行 |
| 1A01011125 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 125A |       | m  | 2,345 | 2.刊行 |
| 1A01011150 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 150A |       | m  | 3,326 | 2.刊行 |
| 1A01011200 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 200A |       | m  | 5,072 | 2.刊行 |
| 1A01011250 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 250A |       | m  | 7,126 | 2.刊行 |
| 1A01011300 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 300A |       | m  | 8,944 | 2.刊行 |
| 1A01012015 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 15A  |       | m  | 282   | 2.刊行 |
| 1A01012020 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 20A  |       | m  | 322   | 2.刊行 |
| 1A01012025 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 25A  |       | m  | 452   | 2.刊行 |
| 1A01012032 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 32A  |       | m  | 597   | 2.刊行 |
| 1A01012040 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 40A  |       | m  | 685   | 2.刊行 |
| 1A01012050 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 50A  |       | m  | 935   | 2.刊行 |
| 1A01012065 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 65A  |       | m  | 1,315 | 2.刊行 |
| 1A01012080 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 80A  |       | m  | 1,545 | 2.刊行 |
| 1A01012100 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 100A |       | m  | 2,145 | 2.刊行 |
| 1A01012125 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 125A |       | m  | 2,926 | 2.刊行 |
| 1A01012150 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 150A |       | m  | 3,999 | 2.刊行 |

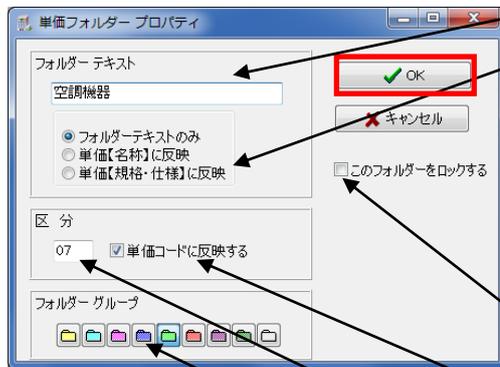
## 2. 新規基礎単価の登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定

### (1) フォルダーの新規作成

①フォルダーを追加したいフォルダーを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[フォルダー(F)]をクリックして下さい。



②各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、「OK」ボタンをクリックして下さい。



入力した文字列をツリービューに表示する。

- ・フォルダーテキストのみ

フォルダーテキストのみに反映する。

- ・単価【名称】に反映

シートのプロパティで連動するように設定した場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【名称】にも反映する。

- ・単価【規格・仕様】に反映

シートのプロパティで連動するように設定した場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【規格・仕様】にも反映する。

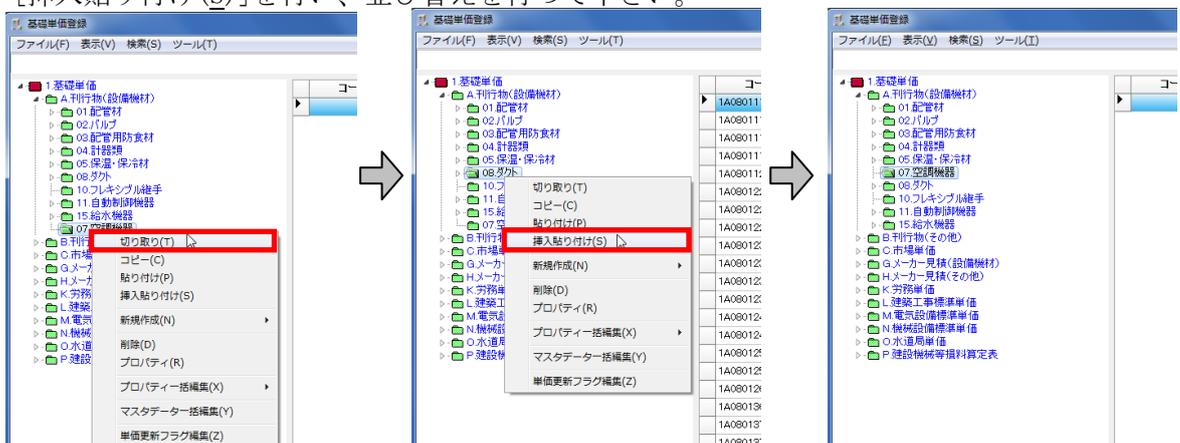
フォルダーの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の単価コードに反映する場合はチェックを入れる。

フォルダーテキストの前に付くコードを設定する。

フォルダーの表示色を選択。

新規作成時は必ず階層中の並びの一番下に作成されますので、順番を並び替える必要があれば、右クリック→[切り取り(T)]→挿入後に一つ下にしたいフォルダーを選択→右クリック→[挿入貼り付け(S)]を行い、並び替えを行って下さい。

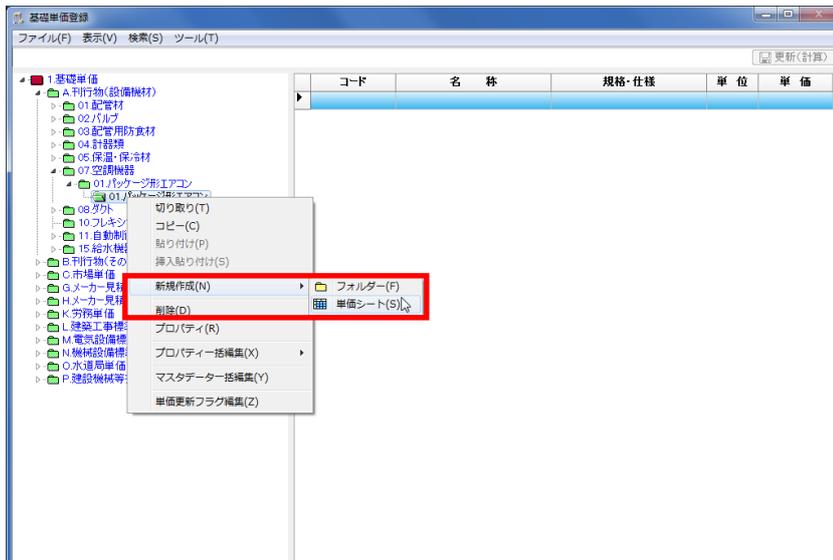


## (2) 単価シートの新規作成 (新たな単価シートを作成)

①新規作成したい場所のフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[単価シート(S)]をクリックして下さい。

※右クリック時にフォルダーを選択している場合、そのフォルダー階層の一番下に新規単価シートが作成されます。

※右クリック時に単価シートを選択している場合、その単価シートの一つ前の並びに新規単価シートが作成されます。



②各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。  
シートの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

入力した文字列をツリービューに表示する。

「施工条件の付加」はチェックを入れない。(基礎単価は施工条件を選択できないため)

任意コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

シートテキストの前に付くコードを設定する。

施工条件コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。  
施工条件を選択。  
※基礎単価は「0.条件なし」のみ。

フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格・仕様に自動的に設定する。

採用単価の根拠を最安値に基づいてシステムで自動判断したい場合はチェックを入れる。

標準単価(複合単価)の印刷時、市場単価の基礎単価を“-”表示で印刷する場合にチェックを入れる。

- ・シートテキストのみ  
シートテキストのみに反映する。
- ・単価【名称】に反映  
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【名称】にも反映する。
- ・単価【規格・仕様】に反映  
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【規格・仕様】にも反映する。

③単価の各種項目を編集して下さい (P30~参照)。

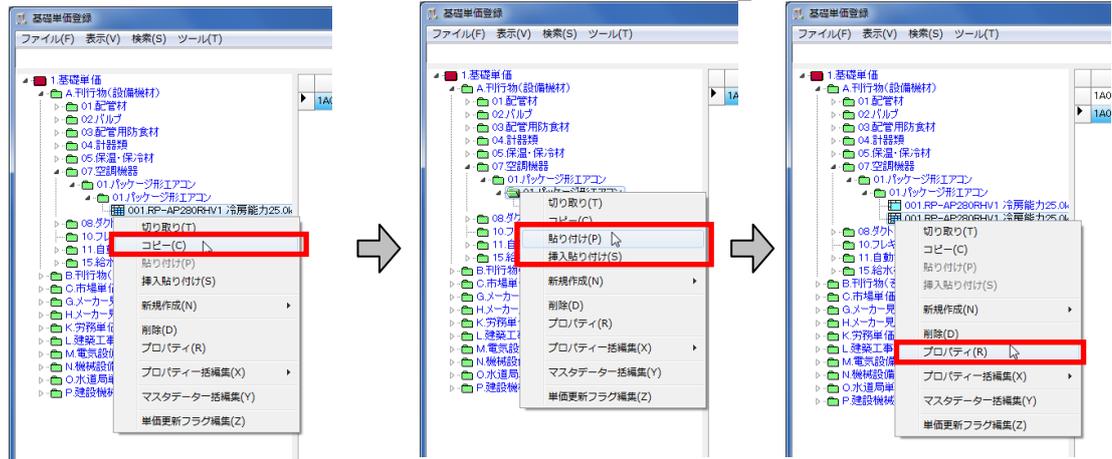
(3) 単価シートの新規作成 (既存の単価シートの情報を流用する場合)

①情報を流用したいシートを選択し、右クリック→[コピー(C)]→新規作成したい場所のフォルダーを選択し、[貼り付け(P)]をクリックして下さい。

※既存の単価シートの中に新規単価シートを挿入したい場合は、右クリック→[コピー(C)]→挿入後に下にしたいシートを選択→右クリック[挿入貼り付け(S)]をクリックして下さい。

このままでは単価コードが重複するため、シートプロパティを変更します。

②追加した単価シートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



③任意コードを変更し、各種項目を設定して下さい。

(任意コードは、必ず、重複しないコードを設定して下さい。)

設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。

入力した文字列をツリービューに表示する。

「施工条件の付加」はチェックを入れない。(基礎単価は施工条件を選択できないため)

任意コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

シートテキストの前に付くコードを設定する。

施工条件コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。施工条件を選択。※基礎単価は「0.条件なし」のみ。

シートの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格・仕様に自動的に設定する。

採用単価の根拠を最安値に基づいてシステムで自動判断したい場合はチェックを入れる。

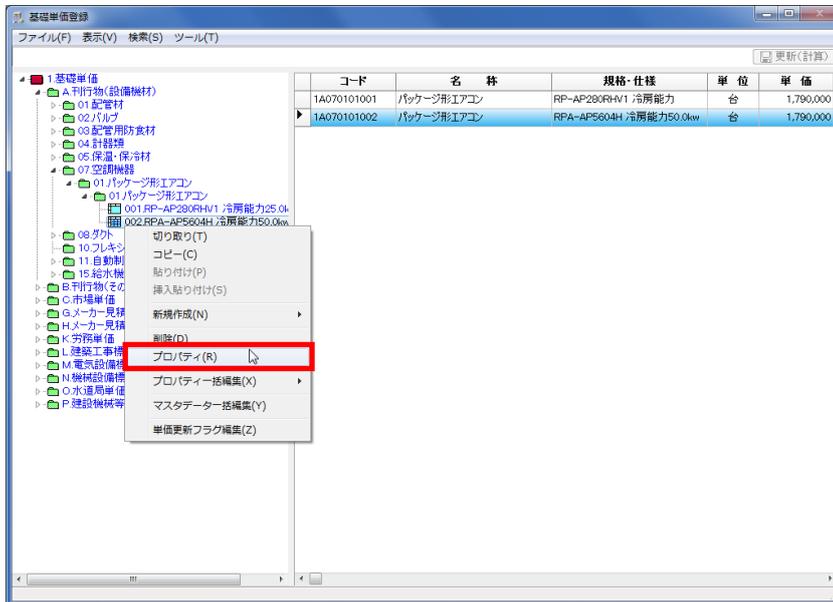
標準単価(複合単価)の印刷時、市場単価の基礎単価を“-”表示で印刷する場合にチェックを入れる。

- ・シートテキストのみ  
シートテキストのみに反映する。
- ・単価【名称】に反映  
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダ以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【名称】にも反映する。
- ・単価【規格・仕様】に反映  
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダ以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【規格・仕様】にも反映する。

④単価の各種項目を編集して下さい (P30~参照)。

#### (4) フォルダー・シートプロパティの設定

- ①プロパティを設定したいフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



- ②フォルダープロパティ・シートプロパティを設定し、[OK]ボタンをクリックして下さい。  
※注意点は、本項の「(1) フォルダーの新規作成 (P24)」・「(2) 単価シートの新規作成 (P25)」を参照して下さい。

フォルダープロパティ



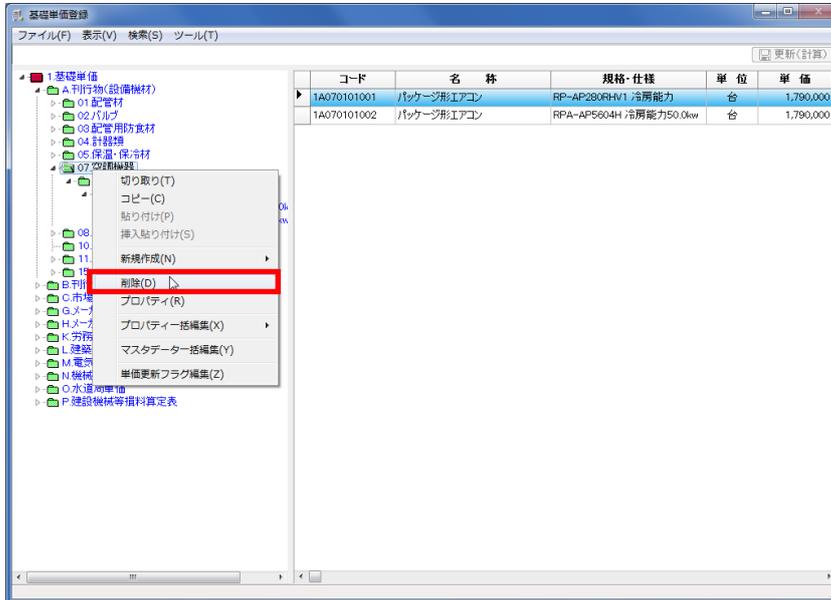
シートプロパティ



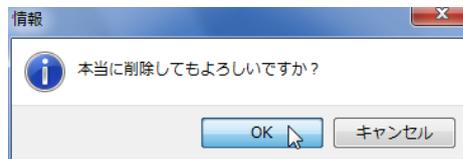
## (5) フォルダー・シートの削除

※削除を行うと、元に戻すことはできません。また、補足単価や標準単価（複合単価）に使用している場合は、基礎単価に関する情報が消えますので慎重に行ってください。

①削除したいフォルダー・シートを選択し、右クリック→[削除(D)]をクリックして下さい。

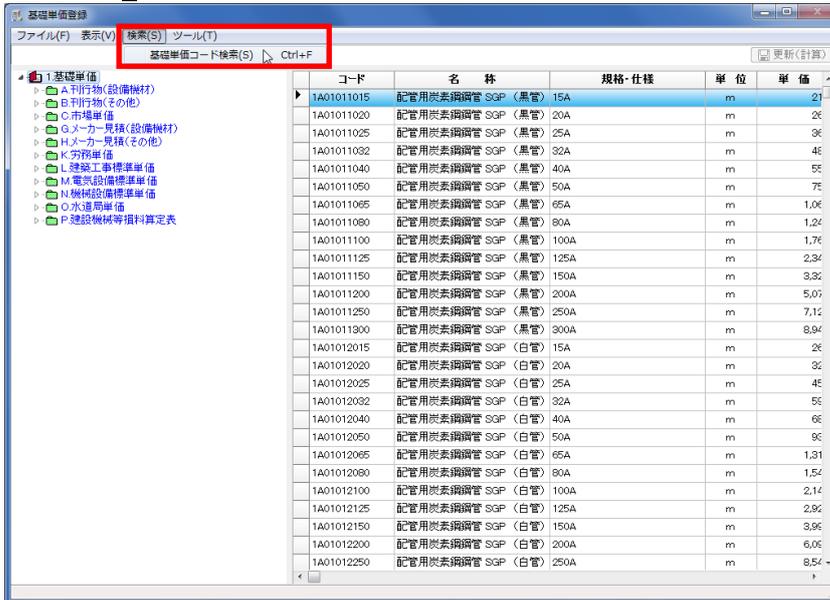


②[OK]ボタンをクリックすると、削除処理が行われます。[キャンセル]ボタンをクリックすると中止します。

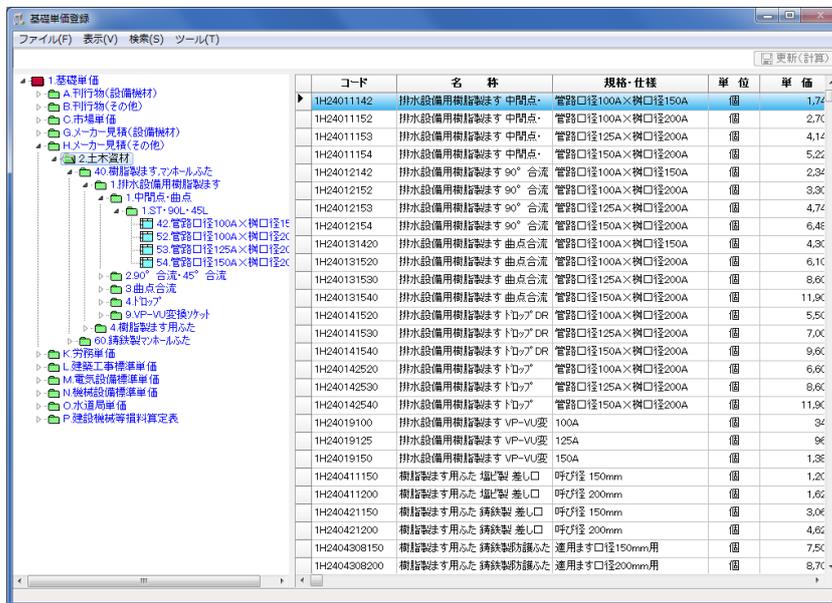


### 3. 単価コードの検索

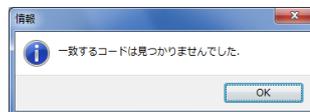
①[検索(S)]→[基礎単価コード検索(Ctrl+F)]をクリックして下さい。



②検索したい単価コードを入力し、[次を検索(F)]ボタンをクリックして下さい。単価マスターに単価コードが存在する場合はその単価コードの単価シートに移動します。



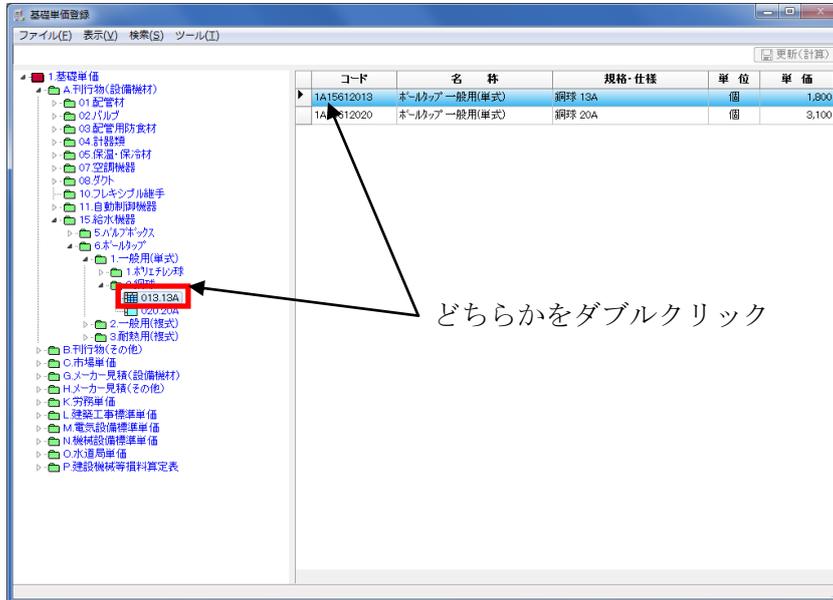
見つからなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



#### 4. 基礎単価の各種項目の編集

①編集を行いたい単価シートを選択し、ダブルクリックすると、画面右側の単価リスト表示部が基礎単価編集表示に切り替わります。

(単価リスト表示部の、編集を行いたい行をダブルクリックしても同様の処理となります)



②各種項目を設定し、[更新(計算)]ボタンをクリックして下さい。



※2015年度(平成27年度)以降、単価根拠が「2.刊行物」の場合は、ルートプロパティの[端数処理シート]の設定に関わらず、強制的に「1.円止め」の端数処理になります。

◆基本項目及び「一覧」表示  
単価の基本情報を入力・設定します。



摘要(1)～(5)について

摘要(1)：公開項目(単価表に掲載)

摘要(2)：守秘項目(単価表に掲載しない(印刷設定により掲載も可))

摘要(3)～(5)メモで使用(単価表に掲載しない(印刷設定により掲載も可))

◆ 「任意」表示

刊行物コードが無い単価（刊行物コードを入力しても情報を引き込まれない単価）や、見積依頼を行わない単価について、任意の値を手入力します。

※建設物価・積算資料・コスト情報等の刊行物単価を手入力する際は、平均値または安い方の単価を入力し、入力コメントに刊行物名・ページ番号などを入力します。



◆ 「刊行物」表示

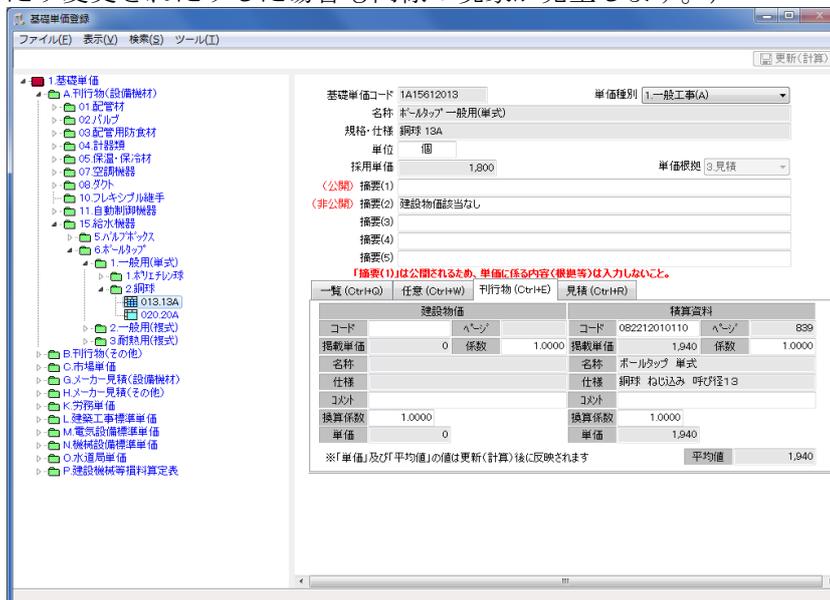
刊行物単価コード（建設物価・積算資料）があるものについて、そのコードを入力します。

採用単価はそれぞれ、[単価]×[係数]×[換算係数]にて計算を行います。

ルートプロパティの設定（P34 参照）が「最下値」の場合は[建設物価]または[積算資料]のうち、安い方が採用され、「平均値」の場合はそれぞれの単価（[掲載単価]×[係数]×[換算係数]）の平均値が採用されます。

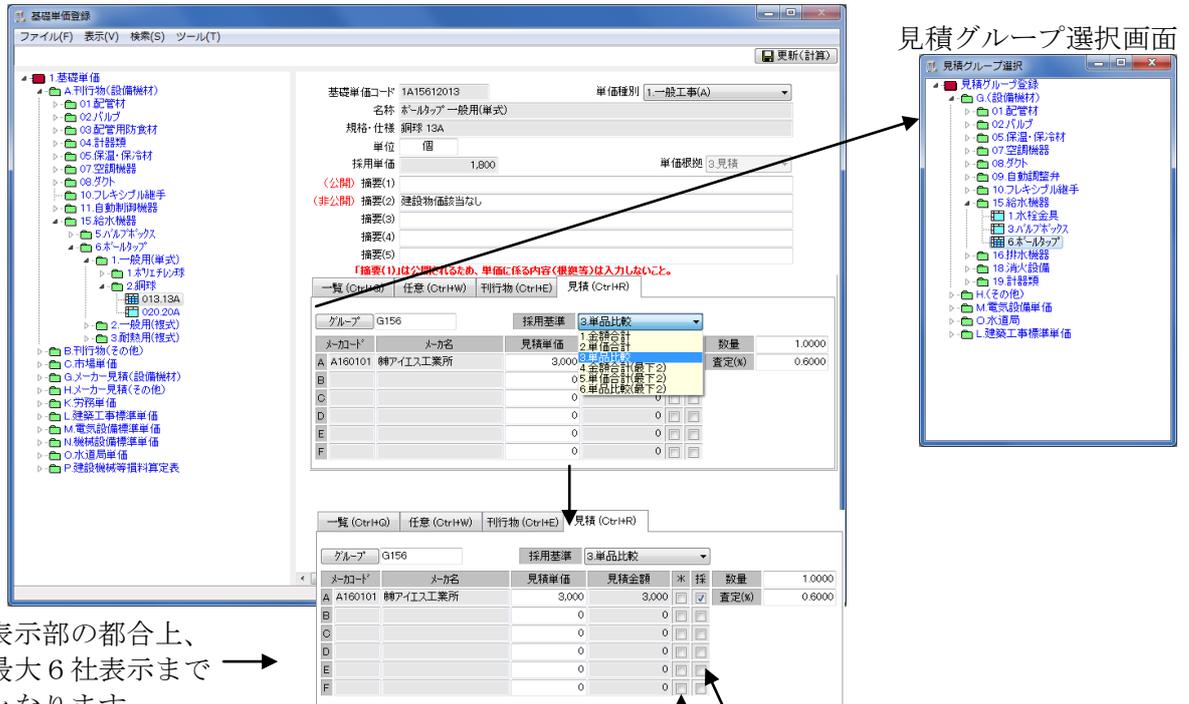
※刊行物単価コードを入力しているにもかかわらず、刊行物マスタから情報を引き込まれないものは、その刊行物単価コードが刊行物マスタに無いものです。

（[建設物価]・[積算資料]固定長テキストファイルの情報更新により、コードが廃止されたり変更されたりした場合も同様の現象が発生します。）



◆ 「見積」表示

見積比較に関する情報を設定します（見積グループ登録画面の設定と連動）。



表示部の都合上、  
最大6社表示まで  
となります。  
7社以上は、  
見積グループ登録  
画面で登録・確認  
して下さい。

採用メーカーにチェックが入る  
[※]…メーカーの見積単価が0円フラグ  
(見積金額は最安値が表示されます)

見積グループ登録画面



採用基準について

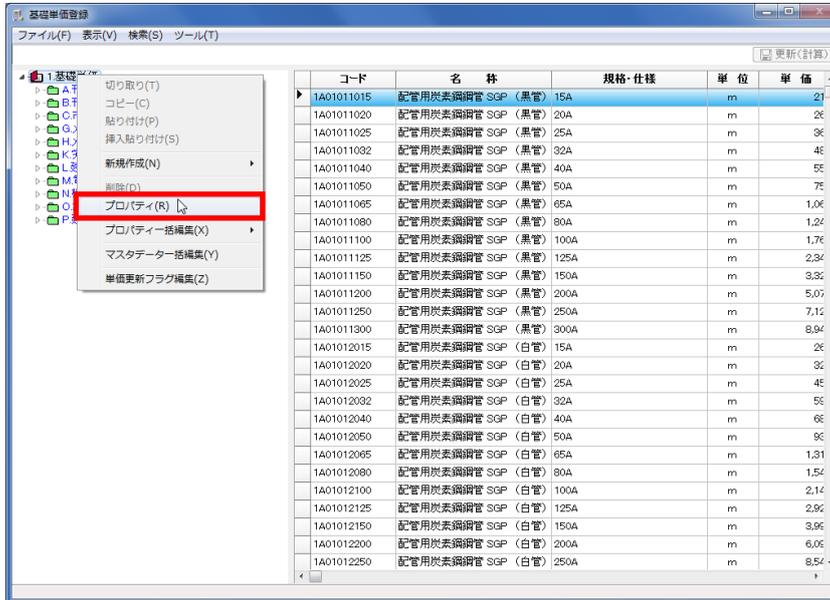
- ・金額合計：見積グループ内で、単価×数量により金額を求め、その金額の合計が最安値となるメーカーを採用する。
- ・単価合計：見積グループ内で単価の合計が最安値となるメーカーを採用する。
- ・単品比較：見積単価（行毎）で最安値となるメーカーの単価を採用する（いい所取り）。
- ・金額合計（最下2）：見積グループ内での金額合計の計算結果、2番目に安い金額合計となるメーカーを採用する
- ・単価合計（最下2）：見積グループ内での単価合計の計算結果、2番目に安い単価合計となるメーカーを採用する
- ・単品比較（最下2）：見積単価（行毎）で2番目に安いメーカーの単価を採用する（2番目のいい所取り）。

## 5. 基礎単価登録画面 その他の機能について

### (1) ルートプロパティ

基礎単価マスタの基本設定を行います。

- ① ツリービューの一番上にある赤色のフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。

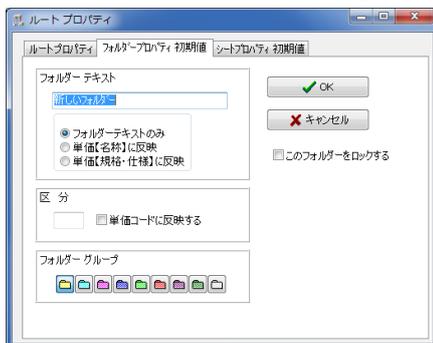


- ② 各種項目を設定の上、[OK] ボタンをクリックして下さい。

- ◆ ルートプロパティ (ルートフォルダーのプロパティ及び端数処理方法及び刊行物単価の採用単価の計算の設定を行う)



- ◆ フォルダープロパティ (新規作成時) 初期値



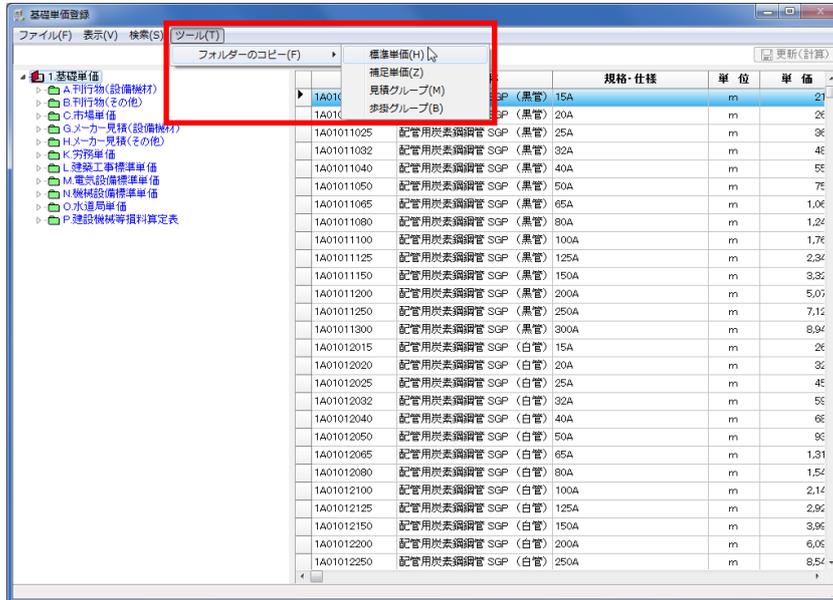
- ◆ シートプロパティ (新規作成時) 初期値



## (2) フォルダのコピー ([ツール(T)]メニュー)

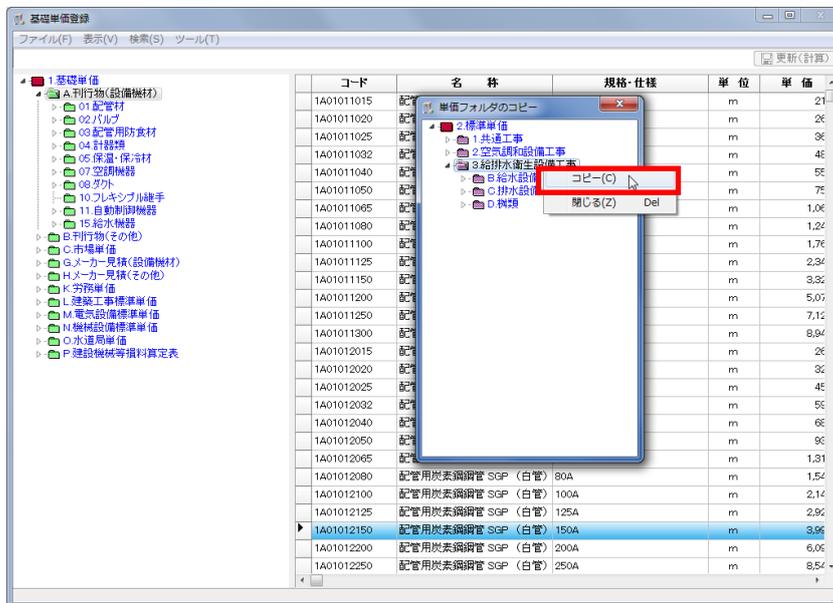
他の単価マスタのフォルダ階層構造 (そのフォルダ階層下に含まれるフォルダを全て) をコピーする機能です (フォルダ階層の中の単価シートはコピーされません)。

- ① [ツール(T)] → 「フォルダのコピー(F)」 → [フォルダ階層をコピーしたい単価マスタ名] をクリックすると、フォルダ選択画面が表示されます。

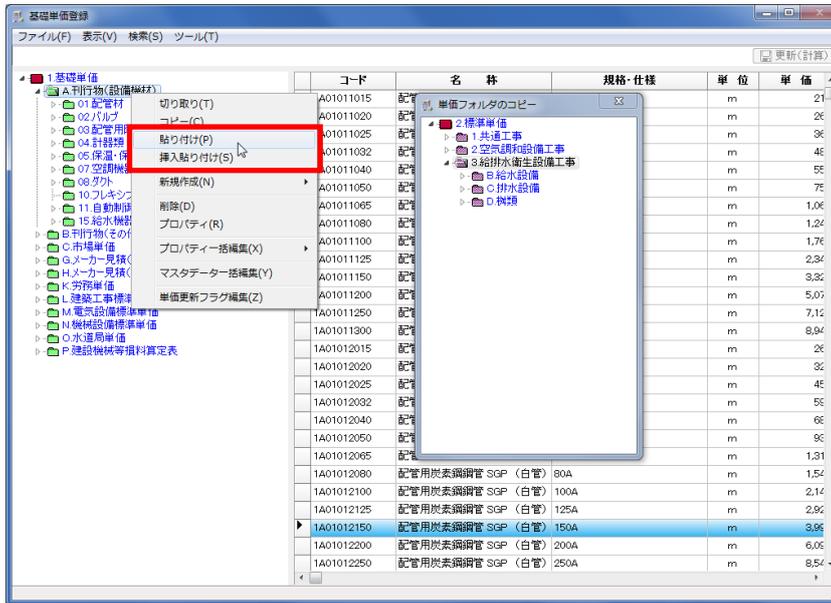


- ② コピーしたいフォルダを選択し、右クリック → [コピー(C)] をクリックして下さい。  
(コピーしたフォルダ情報が記憶されます)

※フォルダ選択画面は貼り付け操作を行うまで閉じないで下さい。



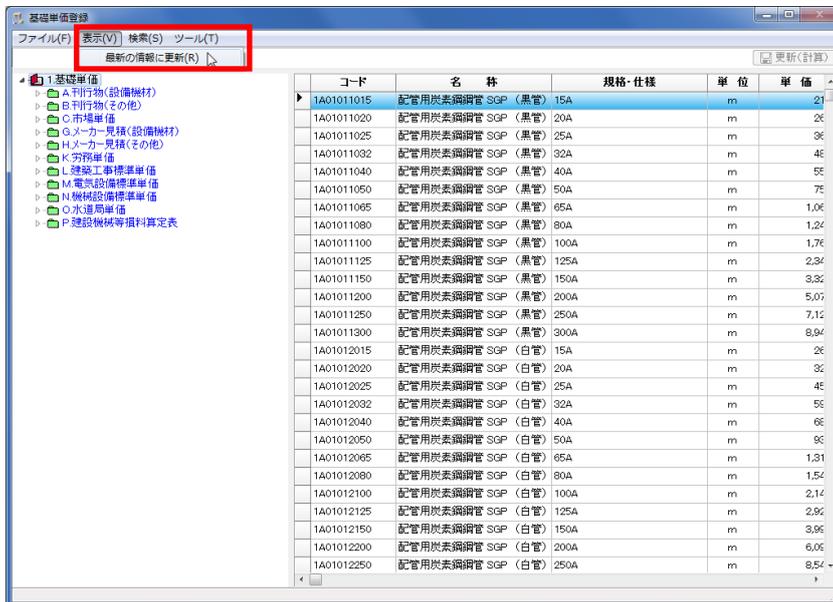
③貼り付けを行いたいフォルダー階層を選択し、右クリック→[貼り付け(P)]または[挿入貼り付け(S)]をクリックすると、フォルダー階層の貼り付けが行われます。



### (3) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)

マスタデータベースの内容を再読み込みします (特に使用することはありません)。

①[表示(V)]→[最新の情報に更新(R)]をクリックして下さい。

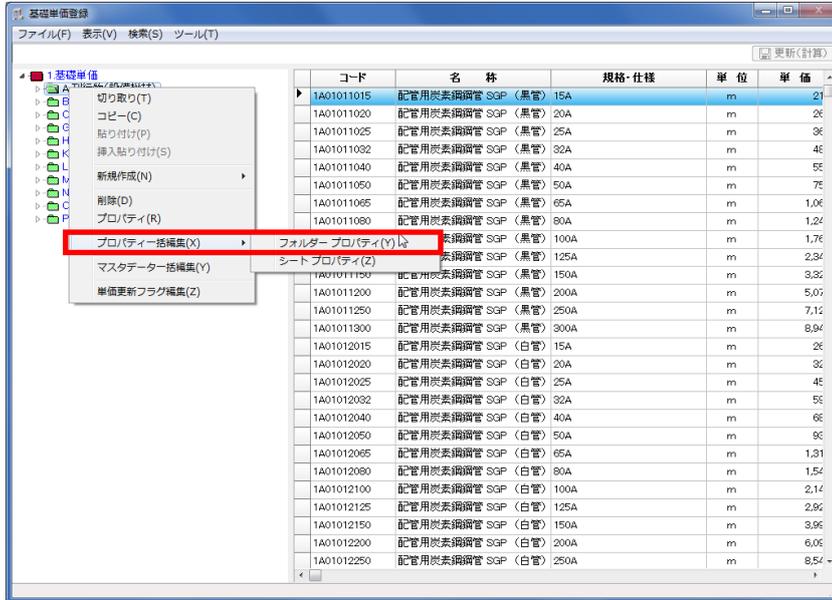


(4) フォルダープロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

選択したフォルダーの配下にあるフォルダーのプロパティを一括編集します。

※大量のフォルダーが含まれるフォルダーを一度に処理しようとすると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

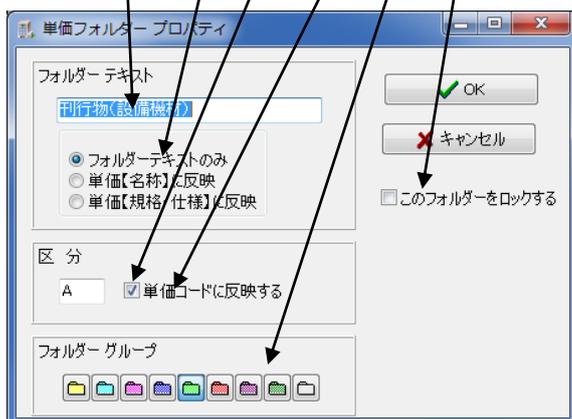
①一括編集したいフォルダーを配下に含むフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ一括編集(X)]→[フォルダープロパティ(Y)]をクリックして下さい。



②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



対応項目

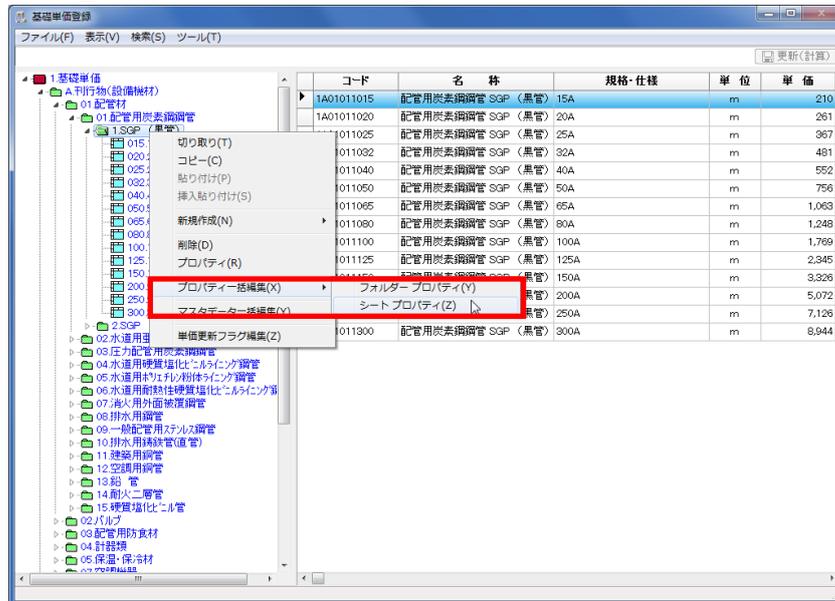


(5) シートプロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

選択したフォルダーの配下にあるシートのプロパティを一括編集します。

※大量のシートが含まれるフォルダーを一度に処理しようとするると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

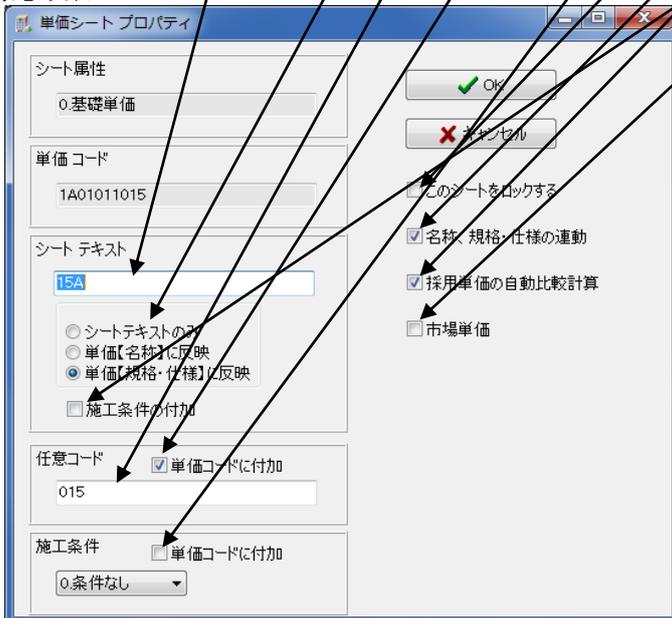
- ①一括編集したいシートを配下を含むフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ一括編集(X)]→[シートプロパティ(Z)]をクリックして下さい。



- ②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



対応項目

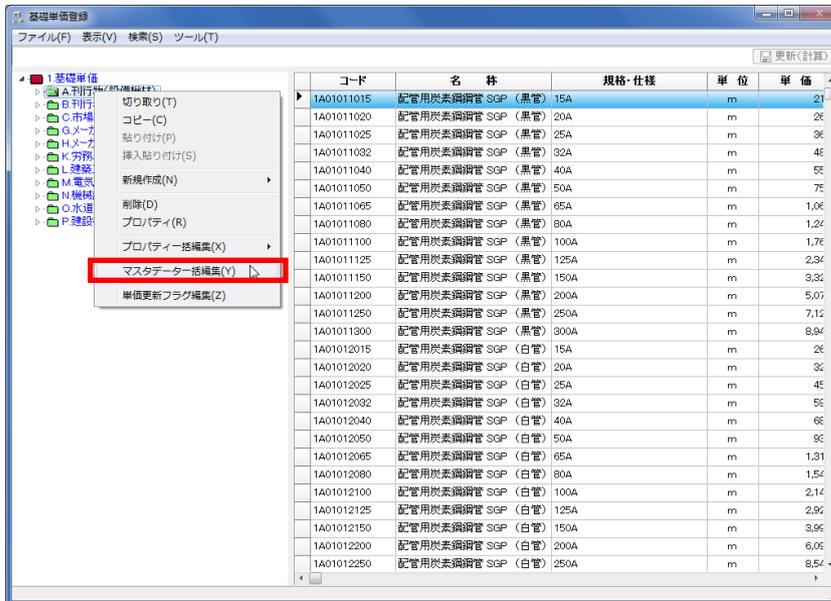


(6) マスタデータ一括編集（ツリービューの右クリックメニュー）

選択したフォルダーの配下にある単価を一括編集します。

※大量のシートが含まれるフォルダーを一度に処理しようとするると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

①一括編集したいシートを配下を含むフォルダーを選択し、右クリック→[マスタデータ一括編集(Y)]をクリックして下さい。



②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



※マスタデータ一括編集で編集後、正確な計算結果を反映させるために、基礎単価の再計算を行って下さい (P41 参照)。

(7) 単価更新フラグ編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

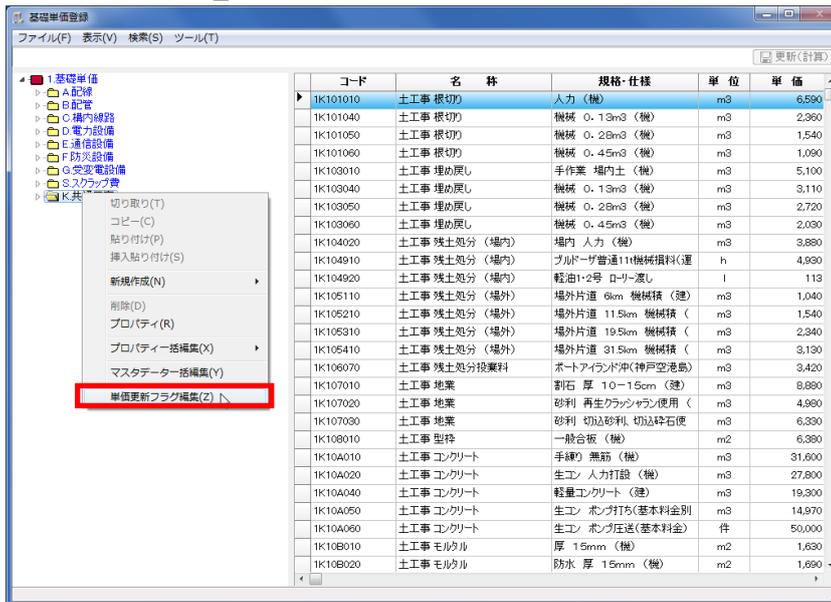
任意単価を更新したか (刊行物・見積単価などが更新されているか) フラグを編集したり確認したりする為の機能です。

※使用しなくても計算結果に支障ありません。

※単価マスタ新規作成時、全ての更新フラグが「0」(更新されていない) の状態になります。

※大量のシートが含まれるフォルダーを一度に処理しようとするると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

①単価更新フラグを編集したいシートを配下を含むフォルダーを選択し、右クリック→[単価更新フラグ編集(Z)]をクリックして下さい。



②表示内容を画面で確認して下さい。

任意入力単価は、更新した単価については、作業者が更新フラグをたてて (-1 に変更して)、[保存] ボタンをクリックして保存して下さい。

フラグ OFF (0) : 単価が更新されていない。

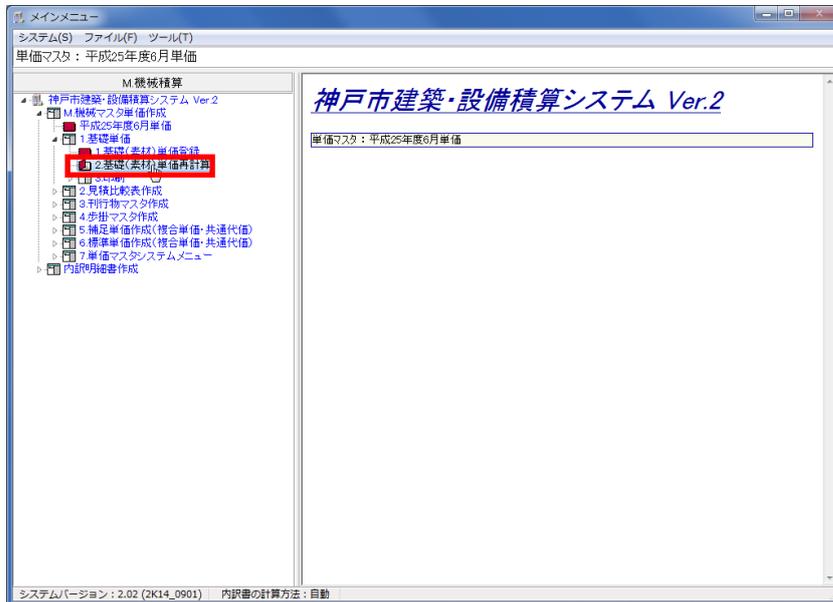
フラグ ON (-1) : 単価が更新されている。



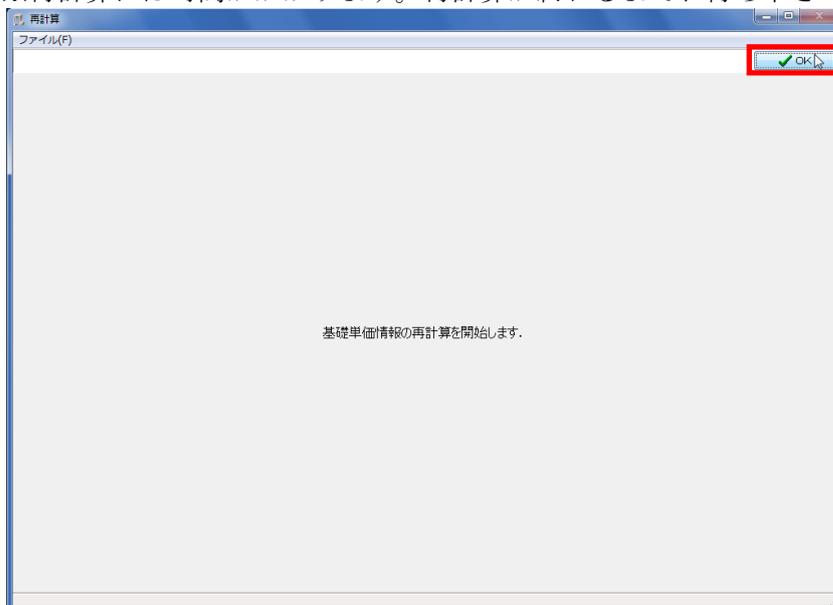
表示切り替えボタン  
(条件により絞り込み表示を行う)

## B. 基礎単価再計算

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[1. 基礎単価]→[2. 基礎（素材）単価再計算]をダブルクリックすると、基礎単価再計算画面が表示されます。

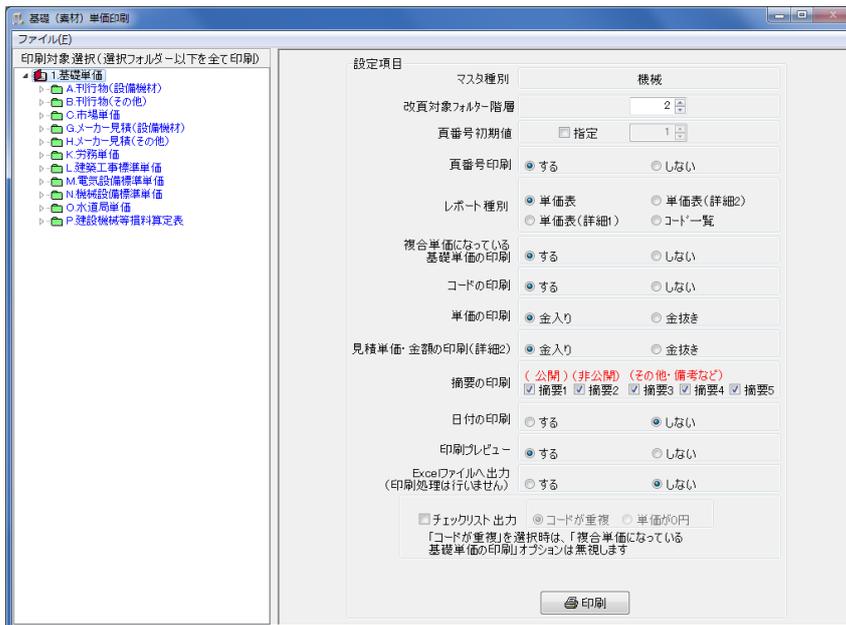


- ②[OK]ボタンをクリックすると、基礎単価情報の再計算を開始します。  
※再計算には時間がかかります。再計算が終わるまでお待ち下さい。

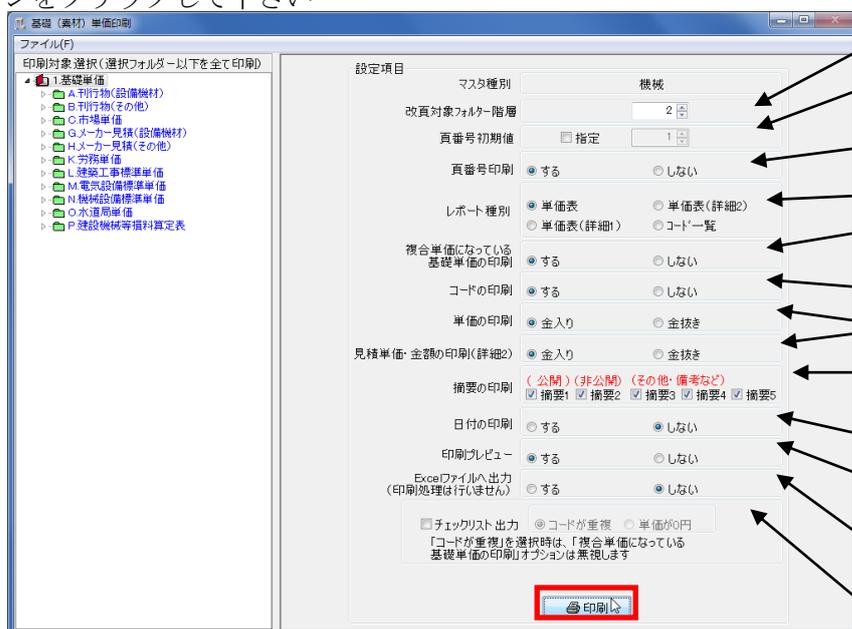


### C. 基礎単価表印刷

①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[1. 基礎単価]→[3. 印刷]→[1. 基礎（素材）単価印刷]をダブルクリックすると、基礎単価印刷画面が表示されます。



②各種項目を設定し、[印刷]（「Excel ファイルへ出力」を「する」にしている場合は[出力]）ボタンをクリックして下さい



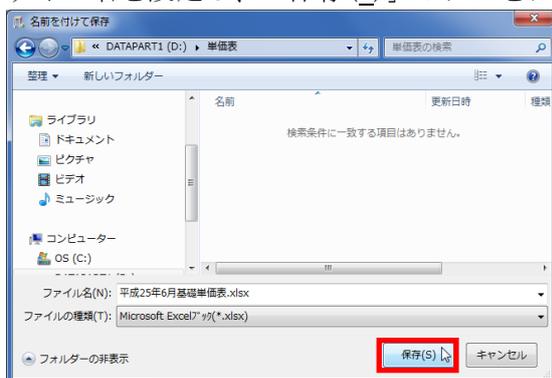
- 改ページを行うフォルダ階層番号を設定
- ページ番号の開始番号を変更する場合の設定
- ページ番号を印刷するか
- 出力したい帳票様式を選択
- 複合単価になっている基礎単価を印刷するか
- コードの印刷をするか
- 「金入り」・「金抜き」の設定
- チェックを入れたものを摘要欄に出力する
- 日付の印刷をするかしないか
- 印刷プレビューをするかしないか (Excel 出力時は無効)
- 帳票を Excel 出力するかしないか
- チェックリストを出力する場合の設定

※ルートフォルダ以外を選択すると、部分出力が可能です。

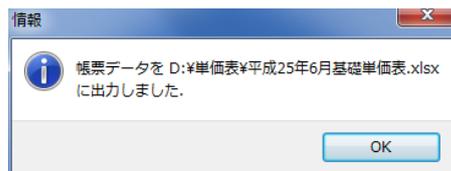
※思い通りの出力結果になるように、設定項目を適宜変更して下さい。

③「印刷プレビュー」を「する」にした場合は、Excel の画面で印刷プレビュー画面が表示されます。Excel の印刷プレビューからの印刷操作方法で印刷を行って下さい。

「Excel 出力」を「する」に設定した場合は、以下の画面が表示されます。保存先及びファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



帳票の Excel 出力が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



※Excel で開く際は、上図のメッセージを閉じてから開いて下さい。

帳票イメージ

基礎単価表（単価表）

機械 平成25年度6月単価

基礎単価表

平成 年 月 日  
1頁

A. 刊行物（設備機材）>01. 配管材

| 単価コード      | 名称・仕様                  | 単位 | 単価     |
|------------|------------------------|----|--------|
| 1A01011015 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 15A  | m  | 210    |
| 1A01011020 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 20A  | m  | 261    |
| 1A01011025 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 25A  | m  | 367    |
| 1A01011032 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 32A  | m  | 481    |
| 1A01011040 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 40A  | m  | 552    |
| 1A01011050 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 50A  | m  | 756    |
| 1A01011065 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 65A  | m  | 1,063  |
| 1A01011080 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 80A  | m  | 1,248  |
| 1A01011100 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 100A | m  | 1,769  |
| 1A01011125 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 125A | m  | 2,345  |
| 1A01011150 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 150A | m  | 3,326  |
| 1A01011200 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 200A | m  | 5,072  |
| 1A01011250 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 250A | m  | 7,126  |
| 1A01011300 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 300A | m  | 8,944  |
| 1A01012015 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 15A  | m  | 262    |
| 1A01012020 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 20A  | m  | 322    |
| 1A01012025 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 25A  | m  | 452    |
| 1A01012032 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 32A  | m  | 597    |
| 1A01012040 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 40A  | m  | 688    |
| 1A01012050 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 50A  | m  | 935    |
| 1A01012065 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 65A  | m  | 1,315  |
| 1A01012080 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 80A  | m  | 1,545  |
| 1A01012100 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 100A | m  | 2,145  |
| 1A01012125 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 125A | m  | 2,926  |
| 1A01012150 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 150A | m  | 3,999  |
| 1A01012200 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 200A | m  | 6,090  |
| 1A01012250 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 250A | m  | 8,544  |
| 1A01012300 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 300A | m  | 10,708 |
| 1A01021015 | 水道用亜鉛めっき鋼管 SGPW 15A    | m  | 348    |
| 1A01021020 | 水道用亜鉛めっき鋼管 SGPW 20A    | m  | 420    |
| 1A01021025 | 水道用亜鉛めっき鋼管 SGPW 25A    | m  | 585    |

神戸市

基礎単価表（詳細1）

機械 平成25年度6月単価

基礎単価表

平成 年 月 日  
1頁

A. 刊行物（設備機材）>01. 配管材

| 種別         | 単価コード      | 名称・仕様                  | 単位 | 単価     | 種別                | 根拠 | 建設単価コード    | 資料単価コード      | 摘要 |
|------------|------------|------------------------|----|--------|-------------------|----|------------|--------------|----|
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011015 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 15A  | m  | 210    | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001011152 | 081011500015 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011020 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 20A  | m  | 261    | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001011154 | 081011500020 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011025 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 25A  | m  | 367    | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001011156 | 081011500025 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011032 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 32A  | m  | 481    | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001011158 | 081011500032 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011040 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 40A  | m  | 552    | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001011160 | 081011500040 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011050 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 50A  | m  | 756    | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001011162 | 081011500050 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011065 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 65A  | m  | 1,063  | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001011164 | 081011500065 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011080 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 80A  | m  | 1,248  | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001011166 | 081011500080 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011100 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 100A | m  | 1,769  | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001011168 | 081011500100 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011125 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 125A | m  | 2,345  | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001081052 | 081030020125 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011150 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 150A | m  | 3,326  | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001081054 | 081030020150 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011200 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 200A | m  | 5,072  | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001081056 | 081030020200 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011250 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 250A | m  | 7,126  | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001081058 | 081030020250 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011300 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 300A | m  | 8,944  | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001081060 | 081030020300 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012015 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 15A  | m  | 262    | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001015202 | 081012900015 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012020 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 20A  | m  | 322    | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001015204 | 081012900020 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012025 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 25A  | m  | 452    | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001015206 | 081012900025 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012032 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 32A  | m  | 597    | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001015208 | 081012900032 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012040 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 40A  | m  | 688    | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001015210 | 081012900040 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012050 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 50A  | m  | 935    | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001015212 | 081012900050 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012065 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 65A  | m  | 1,315  | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001015214 | 081012900065 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012080 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 80A  | m  | 1,545  | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001015216 | 081012900080 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012100 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 100A | m  | 2,145  | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001015218 | 081012900100 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012125 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 125A | m  | 2,926  | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001082002 | 081030040125 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012150 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 150A | m  | 3,999  | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001082004 | 081030040150 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012200 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 200A | m  | 6,090  | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001082006 | 081030040200 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012250 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 250A | m  | 8,544  | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001082008 | 081030040250 |    |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012300 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 300A | m  | 10,708 | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001082010 | 081030040300 |    |
| 水道用垂鉛めっき鋼管 | 1A01021015 | 水道用垂鉛めっき鋼管 SGFW 15A    | m  | 348    | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001021102 | 081021900015 |    |
| 水道用垂鉛めっき鋼管 | 1A01021020 | 水道用垂鉛めっき鋼管 SGFW 20A    | m  | 420    | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001021104 | 081021900020 |    |
| 水道用垂鉛めっき鋼管 | 1A01021025 | 水道用垂鉛めっき鋼管 SGFW 25A    | m  | 585    | 1. 一般工事(A) 2. 刊行物 |    | 5001021106 | 081021900025 |    |

神戸市

基礎単価表（詳細2）

機械 平成25年度6月単価

基礎単価表

平成 年 月 日  
1頁

A. 刊行物（設備機材）>01. 配管材

| 基本内容   |                       | 任意入力単価 | 刊行物単価 |        | 見積り単価        | 見積り単価  | 見積り単価  | 見積り単価  | 見積り単価  |
|--|-----------------------|--------|-------|--------|--------------|--------|--------|--------|--------|
| 単価コード  | 名称                    | 単位     | 単価    | 単価     | 見積り単価        | 見積り単価  | 見積り単価  | 見積り単価  | 見積り単価  |
| 1A01011015   | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 15A | m      | 210   | 210.00 | 081011500015 | 210.00 | 210.00 | 210.00 | 210.00 |
| 単価種類: 1. 一般工事(A) 単価根拠: 2. 刊行物<br>摘要 1: 摘要 2: 摘要 3: 摘要 4: 摘要 5: |                       |        |       |        |              |        |        |        |        |
| 1A01011020   | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 20A | m      | 261   | 261.00 | 081011500020 | 261.00 | 261.00 | 261.00 | 261.00 |
| 単価種類: 1. 一般工事(A) 単価根拠: 2. 刊行物<br>摘要 1: 摘要 2: 摘要 3: 摘要 4: 摘要 5: |                       |        |       |        |              |        |        |        |        |
| 1A01011025   | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 25A | m      | 367   | 367.00 | 081011500025 | 367.00 | 367.00 | 367.00 | 367.00 |
| 単価種類: 1. 一般工事(A) 単価根拠: 2. 刊行物<br>摘要 1: 摘要 2: 摘要 3: 摘要 4: 摘要 5: |                       |        |       |        |              |        |        |        |        |
| 1A01011032   | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 32A | m      | 481   | 481.00 | 081011500032 | 481.00 | 481.00 | 481.00 | 481.00 |
| 単価種類: 1. 一般工事(A) 単価根拠: 2. 刊行物<br>摘要 1: 摘要 2: 摘要 3: 摘要 4: 摘要 5: |                       |        |       |        |              |        |        |        |        |

神戸市

基礎単価マスタ コード一覧表

機械 平成25年度6月単価

基礎単価マスタ コード一覧表

平成 年 月 日  
1頁

| 階層             | コード        | 名称                | 規格   | 施工条件 | シート属性   |
|----------------|------------|-------------------|------|------|---------|
| 1. 基礎単価        |            |                   |      |      |         |
| A. 刊行物 (設備機材)  |            |                   |      |      |         |
| 01. 配管材        |            |                   |      |      |         |
| 01. 配管用炭素鋼鋼管   |            |                   |      |      |         |
| 1. SGP (黒管)    |            |                   |      |      |         |
| 015. 15A       | 1A01011015 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) | 15A  |      | 0. 基礎単価 |
| 020. 20A       | 1A01011020 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) | 20A  |      | 0. 基礎単価 |
| 025. 25A       | 1A01011025 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) | 25A  |      | 0. 基礎単価 |
| 032. 32A       | 1A01011032 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) | 32A  |      | 0. 基礎単価 |
| 040. 40A       | 1A01011040 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) | 40A  |      | 0. 基礎単価 |
| 050. 50A       | 1A01011050 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) | 50A  |      | 0. 基礎単価 |
| 065. 65A       | 1A01011065 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) | 65A  |      | 0. 基礎単価 |
| 080. 80A       | 1A01011080 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) | 80A  |      | 0. 基礎単価 |
| 100. 100A      | 1A01011100 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) | 100A |      | 0. 基礎単価 |
| 125. 125A      | 1A01011125 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) | 125A |      | 0. 基礎単価 |
| 150. 150A      | 1A01011150 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) | 150A |      | 0. 基礎単価 |
| 200. 200A      | 1A01011200 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) | 200A |      | 0. 基礎単価 |
| 250. 250A      | 1A01011250 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) | 250A |      | 0. 基礎単価 |
| 300. 300A      | 1A01011300 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) | 300A |      | 0. 基礎単価 |
| 2. SGP (白管)    |            |                   |      |      |         |
| 015. 15A       | 1A01012015 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) | 15A  |      | 0. 基礎単価 |
| 020. 20A       | 1A01012020 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) | 20A  |      | 0. 基礎単価 |
| 025. 25A       | 1A01012025 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) | 25A  |      | 0. 基礎単価 |
| 032. 32A       | 1A01012032 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) | 32A  |      | 0. 基礎単価 |
| 040. 40A       | 1A01012040 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) | 40A  |      | 0. 基礎単価 |
| 050. 50A       | 1A01012050 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) | 50A  |      | 0. 基礎単価 |
| 065. 65A       | 1A01012065 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) | 65A  |      | 0. 基礎単価 |
| 080. 80A       | 1A01012080 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) | 80A  |      | 0. 基礎単価 |
| 100. 100A      | 1A01012100 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) | 100A |      | 0. 基礎単価 |
| 125. 125A      | 1A01012125 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) | 125A |      | 0. 基礎単価 |
| 150. 150A      | 1A01012150 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) | 150A |      | 0. 基礎単価 |
| 200. 200A      | 1A01012200 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) | 200A |      | 0. 基礎単価 |
| 250. 250A      | 1A01012250 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) | 250A |      | 0. 基礎単価 |
| 300. 300A      | 1A01012300 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) | 300A |      | 0. 基礎単価 |
| 02. 水道用亜鉛めっき鋼管 |            |                   |      |      |         |
| 1. SGPW        |            |                   |      |      |         |
| 015. 15A       | 1A01021015 | 水道用亜鉛めっき鋼管 SGPW   | 15A  |      | 0. 基礎単価 |
| 020. 20A       | 1A01021020 | 水道用亜鉛めっき鋼管 SGPW   | 20A  |      | 0. 基礎単価 |
| 025. 25A       | 1A01021025 | 水道用亜鉛めっき鋼管 SGPW   | 25A  |      | 0. 基礎単価 |
| 032. 32A       | 1A01021032 | 水道用亜鉛めっき鋼管 SGPW   | 32A  |      | 0. 基礎単価 |
| 040. 40A       | 1A01021040 | 水道用亜鉛めっき鋼管 SGPW   | 40A  |      | 0. 基礎単価 |
| 050. 50A       | 1A01021050 | 水道用亜鉛めっき鋼管 SGPW   | 50A  |      | 0. 基礎単価 |
| 065. 65A       | 1A01021065 | 水道用亜鉛めっき鋼管 SGPW   | 65A  |      | 0. 基礎単価 |
| 080. 80A       | 1A01021080 | 水道用亜鉛めっき鋼管 SGPW   | 80A  |      | 0. 基礎単価 |

神戸市

基礎単価チェックリスト

※「コードが重複」の場合も同じ様式です

機械 平成25年度6月単価

基礎単価チェックリスト(金額が0円)

平成 年 月 日  
1頁

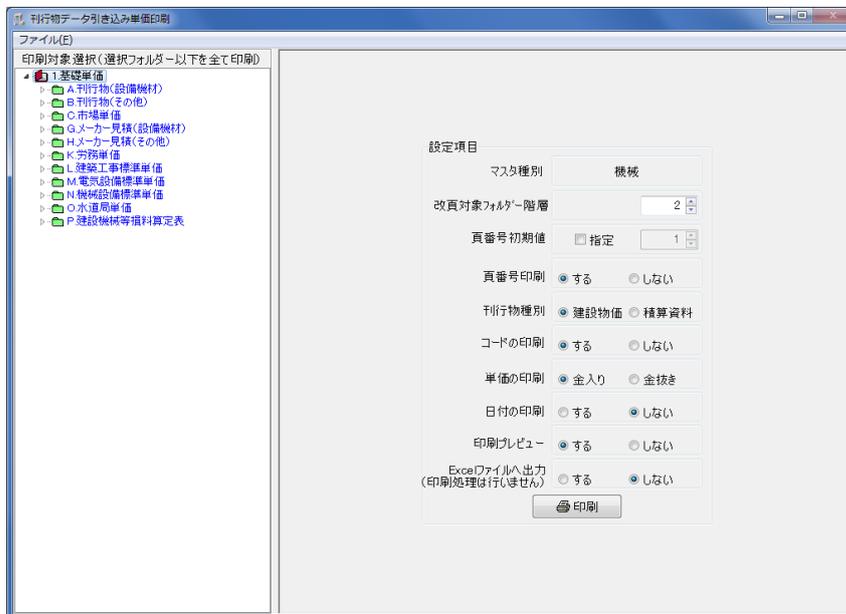
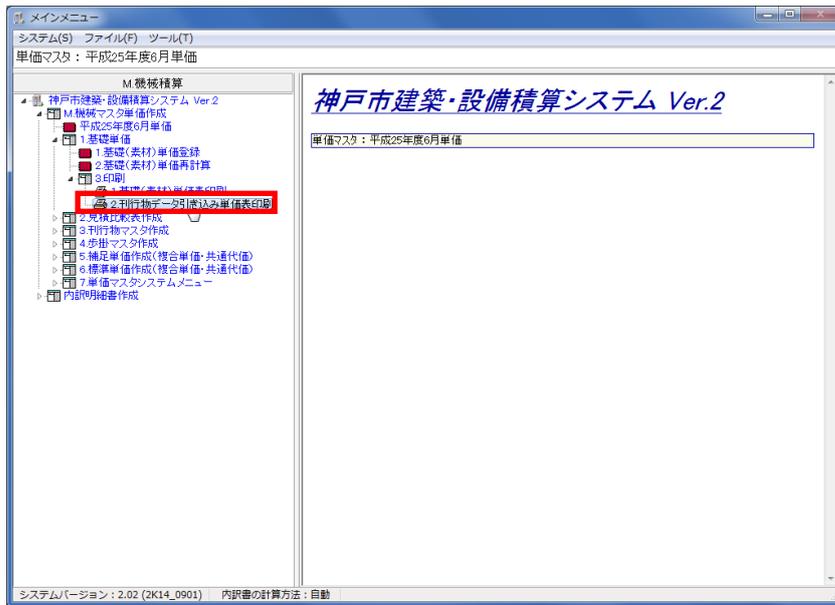
| フォルダ  | 基礎単価コード     | 名称                                    | 仕様       | 単位 | 素材単価 | 単価種別       | 単価根拠   |
|---|-------------|---------------------------------------|----------|----|------|------------|--------|
| A. 刊行物 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 08. 保温保冷用外装材・補助材 > 02. 織布テープ             | 1A050802075 | 保温・保冷材 保温保冷用外装材・補助材 織布テープ             | 幅75mm    | m  |      | 0. 一般工事(A) | 2. 刊行物 |
| A. 刊行物 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 08. 保温保冷用外装材・補助材 > 02. 織布テープ             | 1A050802100 | 保温・保冷材 保温保冷用外装材・補助材 織布テープ             | 幅100mm   | m  |      | 0. 一般工事(A) | 2. 刊行物 |
| A. 刊行物 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 08. 保温保冷用外装材・補助材 > 02. 織布テープ             | 1A050802125 | 保温・保冷材 保温保冷用外装材・補助材 織布テープ             | 幅125mm   | m  |      | 0. 一般工事(A) | 2. 刊行物 |
| A. 刊行物 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 08. 保温保冷用外装材・補助材 > 02. 織布テープ             | 1A050802150 | 保温・保冷材 保温保冷用外装材・補助材 織布テープ             | 幅150mm   | m  |      | 0. 一般工事(A) | 2. 刊行物 |
| A. 刊行物 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 08. 保温保冷用外装材・補助材 > 09. エッジテープ (※リフレフォーム) | 1A050809075 | 保温・保冷材 保温保冷用外装材・補助材 エッジテープ (※リフレフォーム) | 幅75mm    | m  |      | 0. 一般工事(A) | 2. 刊行物 |
| G. メーカー見積 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 03. ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒             | 16050303    | ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒                 | 15A*30T  | m  |      | 0. 一般工事(A) | 3. 見積  |
| G. メーカー見積 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 03. ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒             | 16050309    | ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒                 | 20A*30T  | m  |      | 0. 一般工事(A) | 3. 見積  |
| G. メーカー見積 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 03. ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒             | 16050315    | ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒                 | 25A*30T  | m  |      | 0. 一般工事(A) | 3. 見積  |
| G. メーカー見積 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 03. ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒             | 16050322    | ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒                 | 32A*40T  | m  |      | 0. 一般工事(A) | 3. 見積  |
| G. メーカー見積 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 03. ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒             | 16050328    | ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒                 | 40A*40T  | m  |      | 0. 一般工事(A) | 3. 見積  |
| G. メーカー見積 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 03. ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒             | 16050334    | ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒                 | 50A*40T  | m  |      | 0. 一般工事(A) | 3. 見積  |
| G. メーカー見積 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 03. ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒             | 16050340    | ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒                 | 65A*40T  | m  |      | 0. 一般工事(A) | 3. 見積  |
| G. メーカー見積 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 03. ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒             | 16050346    | ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒                 | 80A*40T  | m  |      | 0. 一般工事(A) | 3. 見積  |
| G. メーカー見積 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 03. ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒             | 16050352    | ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒                 | 100A*40T | m  |      | 0. 一般工事(A) | 3. 見積  |
| G. メーカー見積 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 03. ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒             | 16050358    | ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒                 | 125A*40T | m  |      | 0. 一般工事(A) | 3. 見積  |
| G. メーカー見積 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 03. ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒             | 16050365    | ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒                 | 150A*40T | m  |      | 0. 一般工事(A) | 3. 見積  |
| G. メーカー見積 (設備機材) > 05. 保温・保冷材 > 03. ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒             | 16050372    | ※リフレフォーム保温材 ALGC化粧保温筒                 | 200A*40T | m  |      | 0. 一般工事(A) | 3. 見積  |

神戸市

#### D. 刊行物データ引き込み単価表印刷

※建設物価コードまたは積算資料コードを入力し、刊行物単価マスターデータを引き込んでいる基礎単価データの確認用帳票を印刷します。

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[1. 基礎単価]→[3. 印刷]→[2. 刊行物データ引き込み単価表印刷]をダブルクリックすると、刊行物データ引き込み単価表印刷画面が表示されます。



②各種項目を設定し、[印刷]（「Excel ファイルへ出力」を「する」にしている場合は[出力]）ボタンをクリックして下さい

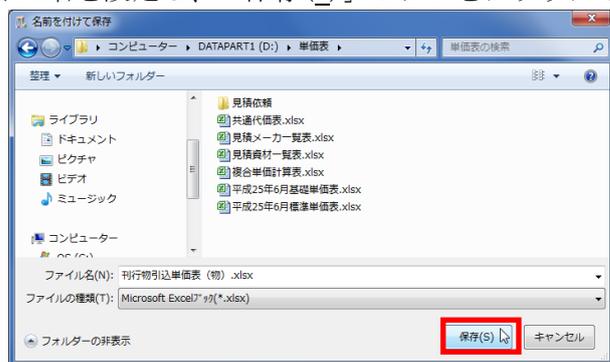
改ページを行うフォルダ階層番号を設定  
 ページ番号の開始番号を変更する場合の設定  
 ページ番号を印刷するか  
 どちらの刊行物単価が対象か  
 コードの印刷をするか  
 「金入り」・「金抜き」の設定  
 日付の印刷をするかしないか  
 印刷プレビューをするかしないか（Excel 出力時は無効）  
 帳票を Excel 出力するかしないか

※ルートフォルダー以外を選択すると、部分出力が可能です。

※思い通りの出力結果になるように、設定項目を適宜変更して下さい。

③「印刷プレビュー」を「する」にした場合は、Excel の画面で印刷プレビュー画面が表示されます。Excel の印刷プレビューからの印刷操作方法で印刷を行って下さい。

「Excel 出力」を「する」に設定した場合は、以下の画面が表示されます。保存先及びファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



帳票の Excel 出力が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



※Excel で開く際は、上図のメッセージを閉じてから開いて下さい。

# 帳票イメージ

## 建設物価

機械 平成25年度6月単価

### 建設物価調査会引き込み単価一覧

平成 年 月 日  
1頁

#### A. 刊行物（設備機材）>01. 配管材

| 種別         | 神戸市単価コード   | 神戸市名称・仕様               | 単位 | 神戸市単価             | 建設物価単価コード | 建設物価名称・仕様                       | ページ | 建設物価単価    | 係数     | 換算係数   | コメント |
|------------|------------|------------------------|----|-------------------|-----------|---------------------------------|-----|-----------|--------|--------|------|
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011015 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 15A  | m  | 210 5001011152    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 15A 定尺5.5m     | 633 | 1,160.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011020 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 20A  | m  | 261 5001011154    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 20A 定尺5.5m     | 633 | 1,440.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011025 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 25A  | m  | 367 5001011156    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 25A 定尺5.5m     | 633 | 2,020.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011032 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 32A  | m  | 481 5001011158    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 32A 定尺5.5m     | 633 | 2,650.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011040 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 40A  | m  | 552 5001011160    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 40A 定尺5.5m     | 633 | 3,040.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011050 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 50A  | m  | 756 5001011162    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 50A 定尺5.5m     | 633 | 4,160.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011065 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 65A  | m  | 1,063 5001011164  |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 65A 定尺5.5m     | 633 | 5,850.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011080 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 80A  | m  | 1,248 5001011166  |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 80A 定尺5.5m     | 633 | 6,870.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011100 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 100A | m  | 1,738 5001011168  |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 100A 定尺5.5m    | 633 | 9,560.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011125 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 125A | m  | 2,363 5001081052  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 黒色仕業 125A定尺5.5m | 636 | 13,000.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011150 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 150A | m  | 3,381 5001081054  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 黒色仕業 150A定尺5.5m | 636 | 18,600.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011200 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 200A | m  | 5,144 5001081056  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 黒色仕業 200A定尺5.5m | 636 | 28,300.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011250 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 250A | m  | 7,217 5001081058  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 黒色仕業 250A定尺5.5m | 636 | 39,700.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011300 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 300A | m  | 9,053 5001081060  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 黒色仕業 300A定尺5.5m | 636 | 49,800.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012015 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 15A  | m  | 262 5001015202    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 15A 定尺4m       | 633 | 1,050.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012020 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 20A  | m  | 320 5001015204    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 20A 定尺4m       | 633 | 1,280.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012025 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 25A  | m  | 452 5001015206    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 25A 定尺4m       | 633 | 1,810.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012032 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 32A  | m  | 597 5001015208    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 32A 定尺4m       | 633 | 2,390.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012040 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 40A  | m  | 685 5001015210    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 40A 定尺4m       | 633 | 2,740.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012050 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 50A  | m  | 935 5001015212    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 50A 定尺4m       | 633 | 3,740.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012065 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 65A  | m  | 1,315 5001015214  |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 65A 定尺4m       | 633 | 5,260.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012080 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 80A  | m  | 1,545 5001015216  |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 80A 定尺4m       | 633 | 6,180.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012100 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 100A | m  | 2,145 5001015218  |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 100A 定尺4m      | 633 | 8,580.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012125 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 125A | m  | 2,926 5001082002  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 白色仕業 125A定尺5.5m | 636 | 16,100.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012150 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 150A | m  | 3,999 5001082004  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 白色仕業 150A定尺5.5m | 636 | 22,000.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012200 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 200A | m  | 6,090 5001082006  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 白色仕業 200A定尺5.5m | 636 | 33,500.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012250 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 250A | m  | 8,544 5001082008  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 白色仕業 250A定尺5.5m | 636 | 47,000.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012300 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 300A | m  | 10,708 5001082010 |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 白色仕業 300A定尺5.5m | 636 | 58,900.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 水道用差船めっき鋼管 | 1A01021015 | 水道用差船めっき鋼管 SGPW 15A    | m  | 340 5001021102    |           | 水道用差船めっき鋼管SGPW 船付付 15A 定尺4m     | 636 | 1,360.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 水道用差船めっき鋼管 | 1A01021020 | 水道用差船めっき鋼管 SGPW 20A    | m  | 420 5001021104    |           | 水道用差船めっき鋼管SGPW 船付付 20A 定尺4m     | 636 | 1,680.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 水道用差船めっき鋼管 | 1A01021025 | 水道用差船めっき鋼管 SGPW 25A    | m  | 585 5001021106    |           | 水道用差船めっき鋼管SGPW 船付付 25A 定尺4m     | 636 | 2,340.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |

神戸市

# 積算資料

機械 平成25年度6月単価

### 積算資料引き込み単価一覧

平成 年 月 日  
1頁

#### A. 刊行物（設備機材）>01. 配管材

| 種別         | 神戸市単価コード   | 神戸市名称・仕様               | 単位 | 神戸市単価               | 積算資料単価コード | 積算資料名称・仕様                       | ページ | 積算資料単価    | 係数     | 換算係数   | コメント |
|------------|------------|------------------------|----|---------------------|-----------|---------------------------------|-----|-----------|--------|--------|------|
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011015 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 15A  | m  | 218 081011500015    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 15A 定尺5.5m     | 740 | 1,200.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011020 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 20A  | m  | 270 081011500020    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 20A 定尺5.5m     | 740 | 1,490.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011025 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 25A  | m  | 379 081011500025    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 25A 定尺5.5m     | 740 | 2,090.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011032 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 32A  | m  | 499 081011500032    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 32A 定尺5.5m     | 740 | 2,750.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011040 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 40A  | m  | 574 081011500040    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 40A 定尺5.5m     | 740 | 3,160.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011050 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 50A  | m  | 783 081011500050    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 50A 定尺5.5m     | 740 | 4,310.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011065 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 65A  | m  | 1,103 081011500065  |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 65A 定尺5.5m     | 740 | 6,070.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011080 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 80A  | m  | 1,296 081011500080  |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 80A 定尺5.5m     | 740 | 7,130.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011100 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 100A | m  | 1,801 081011500100  |           | 配管用炭素鋼管 SGP 黒色仕業 100A 定尺5.5m    | 740 | 9,910.00  | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011125 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 125A | m  | 2,345 081030020125  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 黒色仕業 125A定尺5.5m | 740 | 12,900.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011150 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 150A | m  | 3,326 081030020150  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 黒色仕業 150A定尺5.5m | 740 | 18,300.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011200 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 200A | m  | 5,072 081030020200  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 黒色仕業 200A定尺5.5m | 740 | 27,900.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011250 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 250A | m  | 7,126 081030020250  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 黒色仕業 250A定尺5.5m | 740 | 39,200.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01011300 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (黒管) 300A | m  | 8,944 081030020300  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 黒色仕業 300A定尺5.5m | 740 | 49,200.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012015 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 15A  | m  | 265 081012900015    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 15A 定尺4m       | 740 | 1,060.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012020 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 20A  | m  | 325 081012900020    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 20A 定尺4m       | 740 | 1,300.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012025 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 25A  | m  | 457 081012900025    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 25A 定尺4m       | 740 | 1,830.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012032 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 32A  | m  | 602 081012900032    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 32A 定尺4m       | 740 | 2,410.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012040 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 40A  | m  | 692 081012900040    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 40A 定尺4m       | 740 | 2,770.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012050 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 50A  | m  | 945 081012900050    |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 50A 定尺4m       | 740 | 3,780.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012065 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 65A  | m  | 1,330 081012900065  |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 65A 定尺4m       | 740 | 5,320.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012080 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 80A  | m  | 1,562 081012900080  |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 80A 定尺4m       | 740 | 6,250.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012100 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 100A | m  | 2,167 081012900100  |           | 配管用炭素鋼管 SGP 白色仕業 100A 定尺4m      | 740 | 8,670.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012125 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 125A | m  | 3,054 081030040125  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 白色仕業 125A定尺5.5m | 740 | 16,800.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012150 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 150A | m  | 4,181 081030040150  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 白色仕業 150A定尺5.5m | 740 | 23,000.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012200 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 200A | m  | 6,263 081030040200  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 白色仕業 200A定尺5.5m | 740 | 35,000.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012250 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 250A | m  | 8,944 081030040250  |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 白色仕業 250A定尺5.5m | 740 | 49,200.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 配管用炭素鋼鋼管   | 1A01012300 | 配管用炭素鋼鋼管 SGP (白管) 300A | m  | 11,217 081030040300 |           | 経済林産物電線鋼管SGP-MN 白色仕業 300A定尺5.5m | 740 | 61,700.00 | 1.0000 | 0.1818 |      |
| 水道用差船めっき鋼管 | 1A01021015 | 水道用差船めっき鋼管 SGPW 15A    | m  | 357 081021900015    |           | 水道用差船めっき鋼管 SGPW 船付付 15A 定尺4m    | 742 | 1,430.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 水道用差船めっき鋼管 | 1A01021020 | 水道用差船めっき鋼管 SGPW 20A    | m  | 440 081021900020    |           | 水道用差船めっき鋼管 SGPW 船付付 20A 定尺4m    | 742 | 1,760.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |
| 水道用差船めっき鋼管 | 1A01021025 | 水道用差船めっき鋼管 SGPW 25A    | m  | 612 081021900025    |           | 水道用差船めっき鋼管 SGPW 船付付 25A 定尺4m    | 742 | 2,450.00  | 1.0000 | 0.2500 |      |

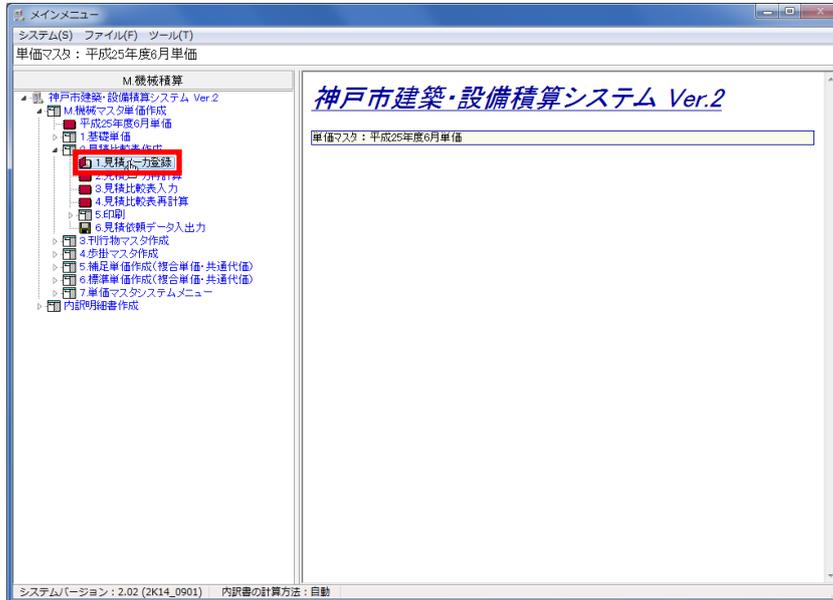
神戸市

## § 6. 見積比較表作成

### A. 見積メーカー登録

#### 1. 見積メーカー登録画面の表示

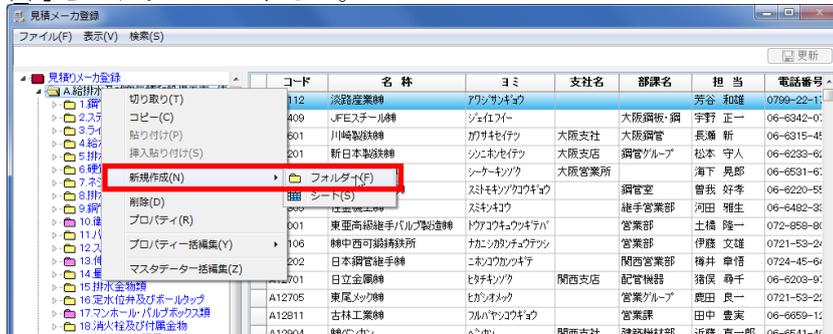
①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[1. 基礎単価]→[2. 見積比較表作成] →[1. 見積メーカー登録]をダブルクリックすると、見積メーカー登録画面が表示されます。



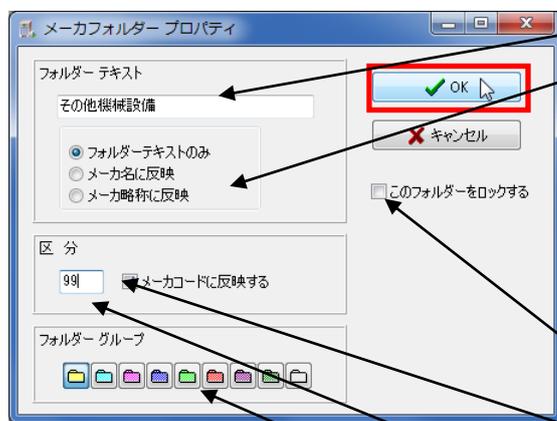
## 2. 新規見積メーカの登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定

### (1) フォルダーの新規作成

①フォルダーを追加したいフォルダーを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[フォルダー(F)]をクリックして下さい。



②各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、「OK」ボタンをクリックして下さい。



入力した文字列をツリービューに表示する。

- ・フォルダーテキストのみ  
フォルダーテキストのみに反映する。
- ・単価【名称】に反映  
シートのプロパティで連動するように設定した場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【名称】にも反映する。
- ・単価【規格・仕様】に反映  
シートのプロパティで連動するように設定した場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【規格・仕様】にも反映する。

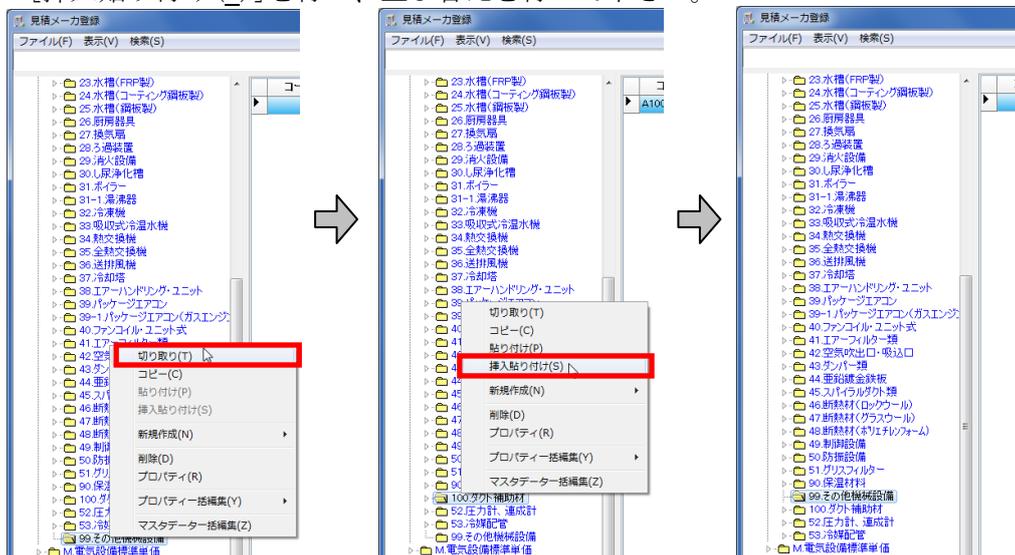
フォルダーの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の単価コードに反映する場合はチェックを入れる。

フォルダーテキストの前に付くコードを設定する。

フォルダーの表示色を選択。

③新規作成時は必ず階層中の並びの一番下に作成されるので、順番を並び替える必要があれば、右クリック→[切り取り(I)]→挿入後に一つ下にしたいフォルダーを選択→右クリック→[挿入貼り付け(S)]を行い、並び替えを行って下さい。

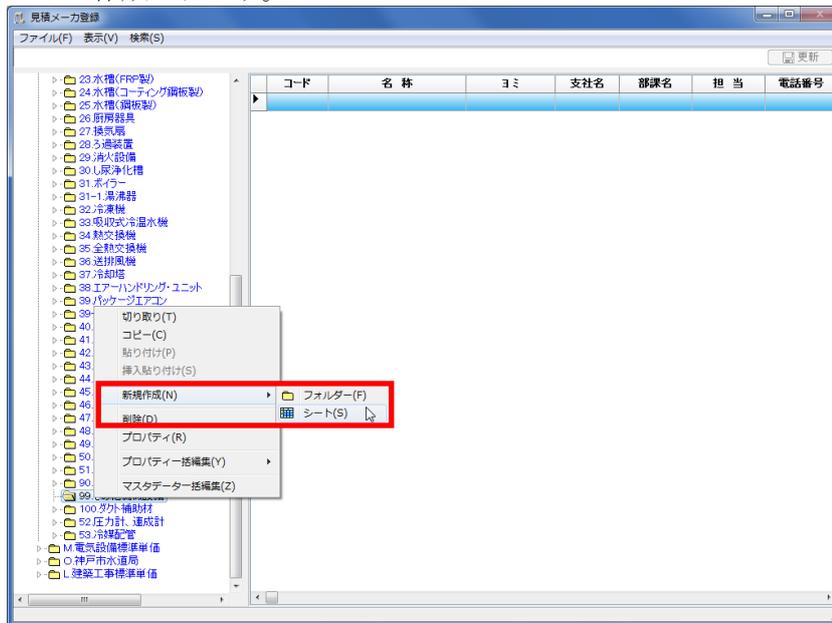


## (2) メーカーシートの新規作成 (新たなメーカーシートを作成)

①新規作成したい場所のフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[シート(S)]をクリックして下さい。

※右クリック時にフォルダーを選択している場合、そのフォルダー階層の一番下に新規シートが作成されます。

※右クリック時に単価シートを選択している場合、そのシートの一つ前の並びに新規シートが作成されます。



②各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。

入力した文字列をツリービューに表示する。

任意コードをメーカーコードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

シートテキストの前に付くコードを設定する。

任意の色のシートを選択

シートの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格・仕様に自動的に設定する。

- シートテキストのみ  
シートテキストのみに反映する。
- メーカー名に反映  
名称、略称の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録されたメーカーの【メーカー名】にも反映する。
- メーカー略称に反映  
名称、略称の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録されたメーカーの【略称】にも反映する。

③見積メーカーの各種項目を編集して下さい (P57~参照)。

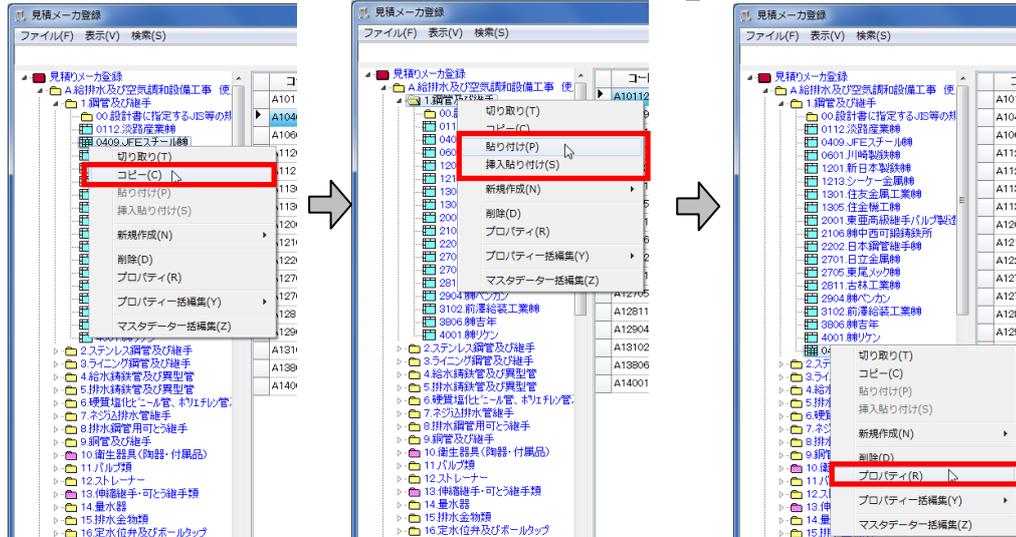
(3) メーカーシートの新規作成 (既存のメーカーシートの情報を流用する場合)

①情報を流用したいシートを選択し、右クリック→[コピー(C)]→新規作成したい場所のフォルダーを選択し、[貼り付け(P)]をクリックして下さい。

※既存の単価シートの中に新規単価シートを挿入したい場合は、右クリック→[コピー(C)]→挿入後に下にしたいシートを選択→右クリック[挿入貼り付け(S)]をクリックして下さい。

このままでは単価コードが重複するため、シートプロパティを変更します。

②追加したシートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



③任意コードを変更し、各項目設定して下さい。

(任意コードは、必ず、重複しないコードを設定して下さい。)

設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。

シートノリ取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格・仕様自動的に設定する。

- ・シートテキストのみ  
シートテキストのみに反映する。
- ・メーカー名に反映  
名称、略称の連動にチェックを入れた場合、このフォルダ以下に階層に含まれるシートで登録されたメーカーの【メーカー名】にも反映する。
- ・メーカー略称に反映  
名称、略称の連動にチェックを入れた場合、このフォルダ以下に階層に含まれるシートで登録されたメーカーの【略称】にも反映する。

任意コードをメーカーコードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

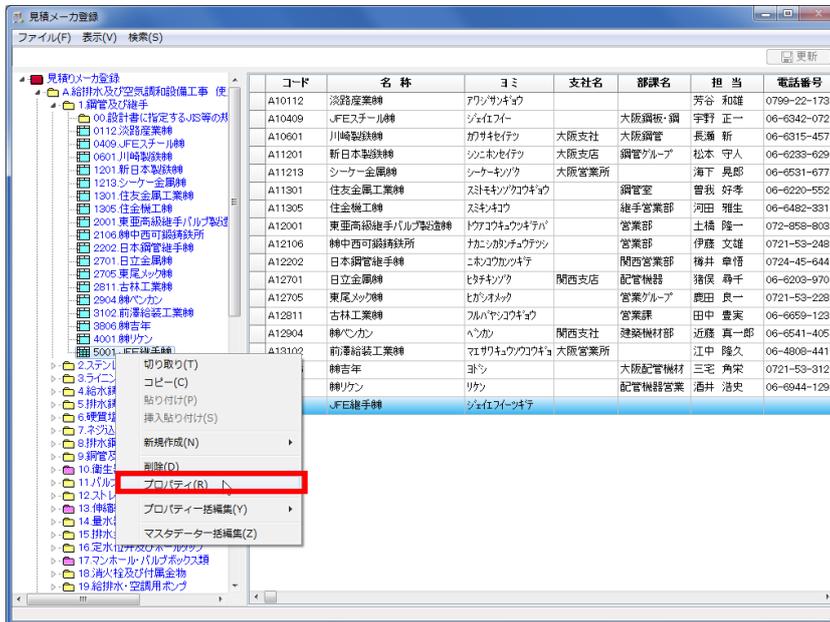
シートテキストの前に付くコードを設定する。

任意の色のシートを選択

④見積メーカーの各種項目を編集して下さい (P57~参照)。

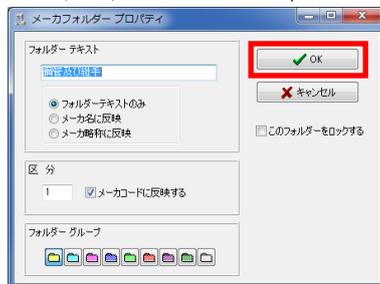
#### (4) フォルダー・シートプロパティの設定

- ①プロパティを設定したいフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。

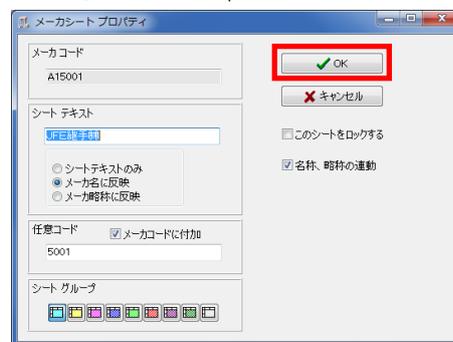


- ②フォルダープロパティ・シートプロパティを設定し、[OK]ボタンをクリックして下さい。  
 ※注意点は、本項の「(1) フォルダーの新規作成 (P51)」・「(2) メーカーシートの新規作成 (P52)」を参照して下さい。

#### フォルダープロパティ



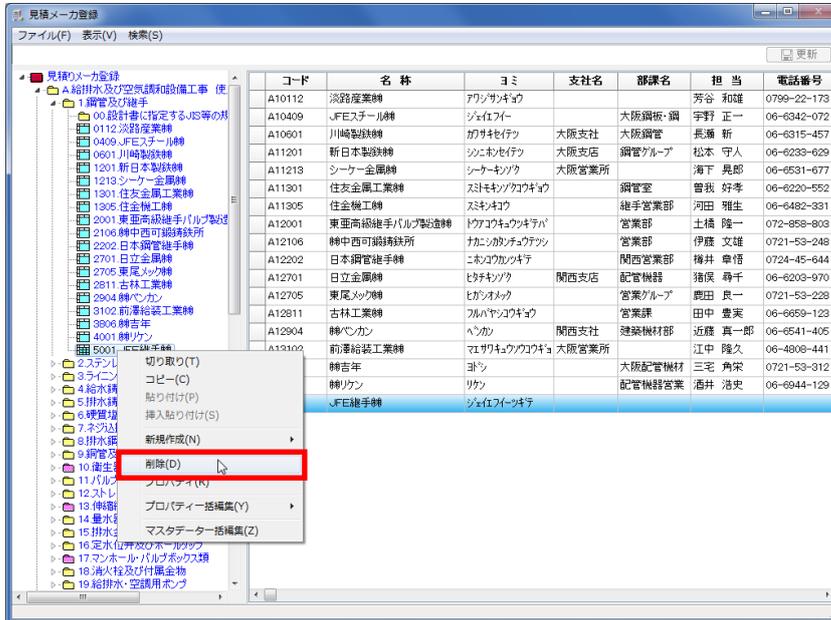
#### シートプロパティ



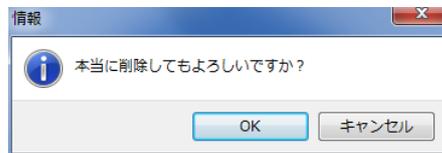
## (5) フォルダー・シートの削除

※削除を行うと、元に戻すことはできません。また、見積グループに使用している場合はメーカー情報だけでなく、そのメーカーに関する見積情報も消えますので慎重に行ってください。

①削除したいフォルダー・シートを選択し、右クリック→[削除(D)]をクリックして下さい。

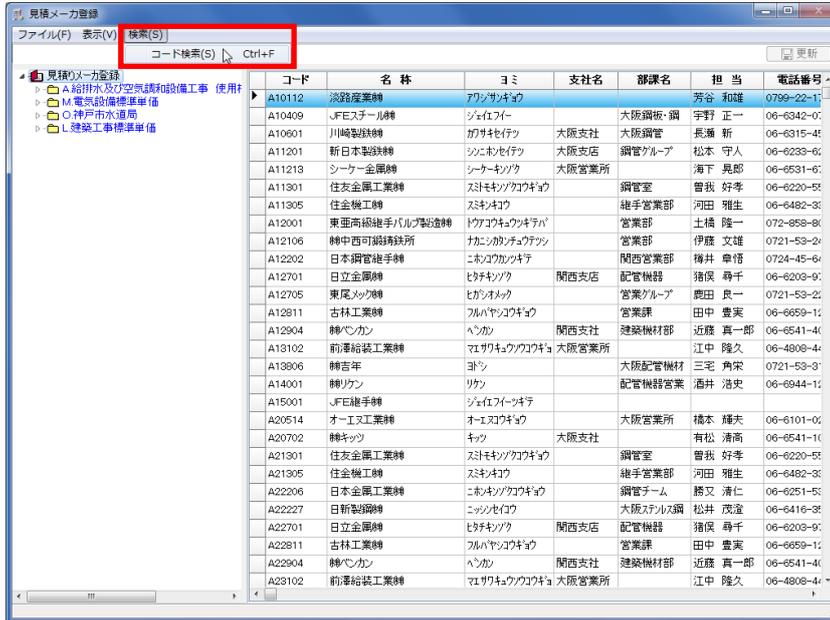


②[OK]ボタンをクリックすると、削除処理が行われます。[キャンセル]ボタンをクリックすると中止します。

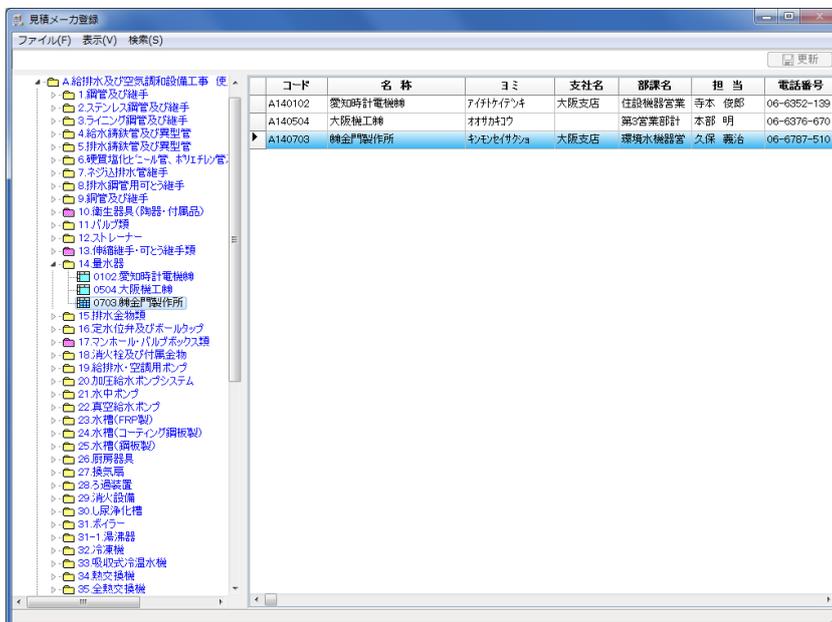


### 3. メーカーコードの検索

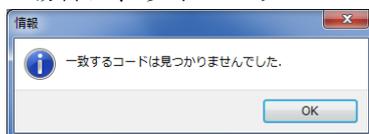
① [検索(S)] → [コード検索(Ctrl+F)] をクリックして下さい。



② 検索したいメーカーコードを入力し、[次を検索(F)] ボタンをクリックして下さい。見積メーカーマスタにコードが存在する場合はそのコードのシートに移動します。



見つからなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



#### 4. 見積メーカ情報の各種項目の編集

①編集を行いたいメーカシートを選択し、ダブルクリックすると、画面右側のメーカリスト表示部がメーカ情報編集表示に切り替わります。

(メーカリスト表示部の編集を行いたい行をダブルクリックしても同様の処理となります)



②各種項目を設定し、[更新]ボタンをクリックして下さい。

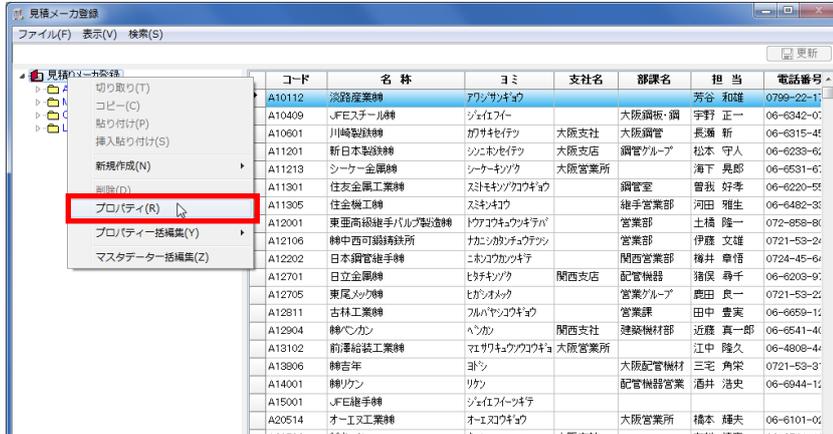


## 5. 見積メーカ登録画面 その他の機能について

### (1) ルートプロパティ

見積メーカマスタの基本設定を行います。

- ① ツリービューの一番上にある赤色のフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



- ② 各種項目を設定の上、[OK]ボタンをクリックして下さい。

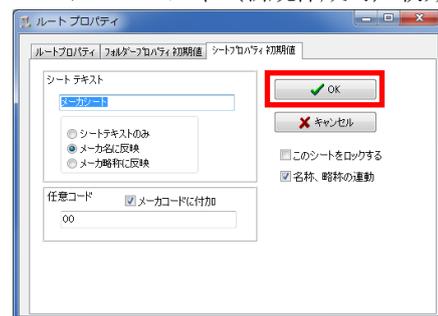
- ◆ ルートプロパティ (ルートフォルダーのプロパティの設定を行う)



- ◆ フォルダープロパティ (新規作成時) 初期値



- ◆ シートプロパティ (新規作成時) 初期値



### (2) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)

マスターデータベースの内容を再読み込みします (特に使用することはありません)。

- ① [表示(V)]→[最新の情報に更新(R)]をクリックして下さい。

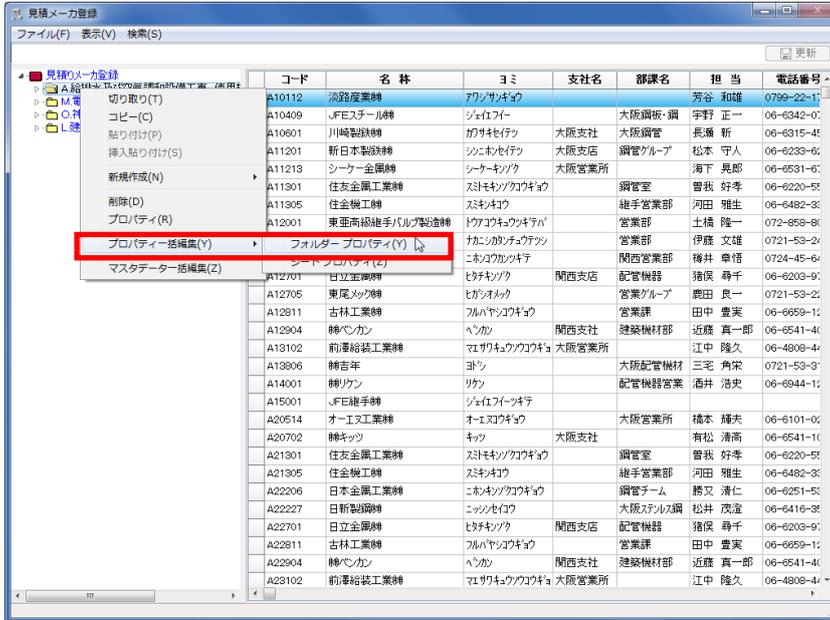


(3) フォルダープロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

選択したフォルダーの配下にあるフォルダーのプロパティを一括編集します。

※大量のフォルダーが含まれるフォルダーを一度に処理しようとすると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

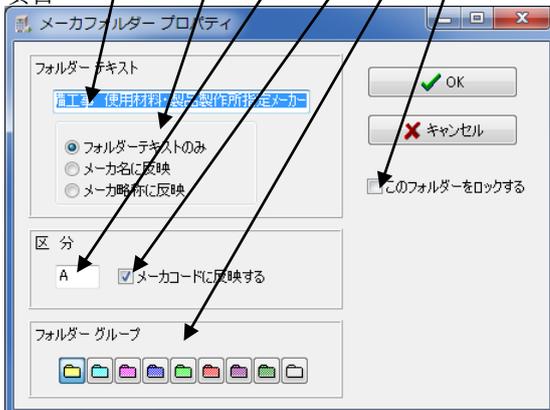
- ①一括編集したいフォルダーを配下に含むフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ一括編集(Y)]→[フォルダープロパティ(Y)]をクリックして下さい。



- ②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



対応項目

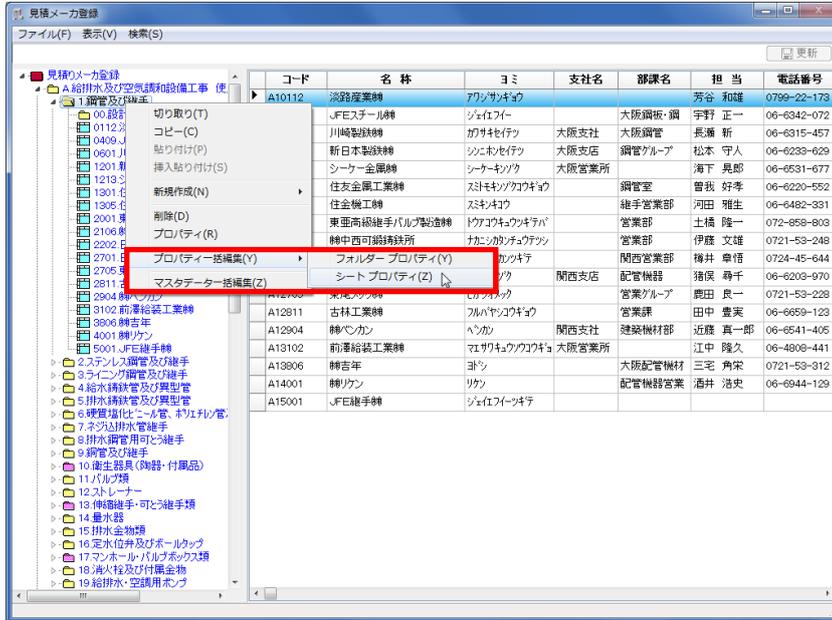


(4) シートプロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

選択したフォルダーの配下にあるシートのプロパティを一括編集します。

※大量のシートが含まれるフォルダーを一度に処理しようとするると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

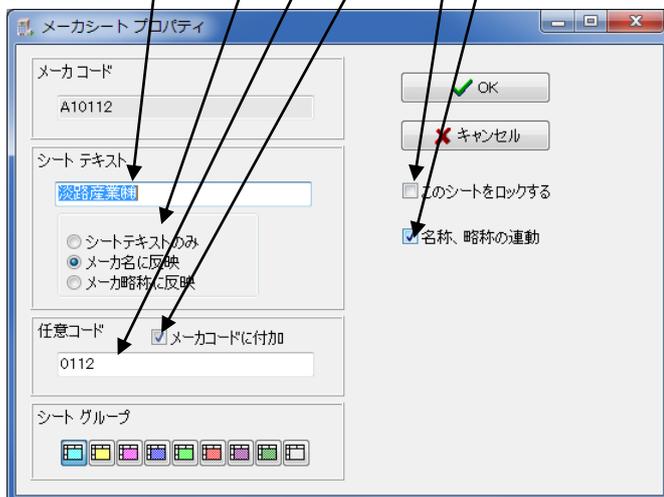
- ①一括編集したいシートを配下に含むフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ一括編集(X)]→[シートプロパティ(Z)]をクリックして下さい。



- ②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



対応項目

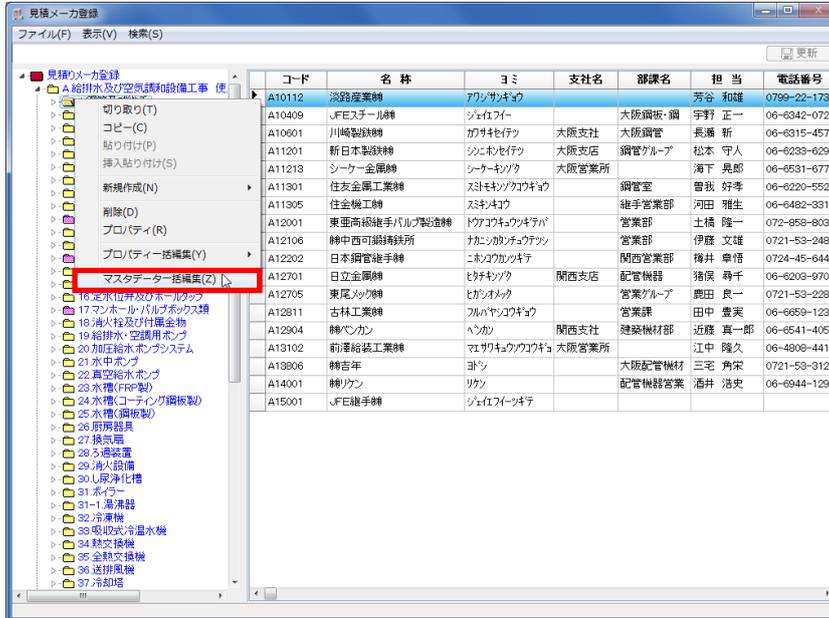


(5) マスタデータ一括編集（ツリービューの右クリックメニュー）

選択したフォルダーの配下にある単価を一括編集します。

※大量のシートが含まれるフォルダーを一度に処理しようとするると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

- ①一括編集したいシートを配下を含むフォルダーを選択し、右クリック→[マスタデータ一括編集(Y)]をクリックして下さい。

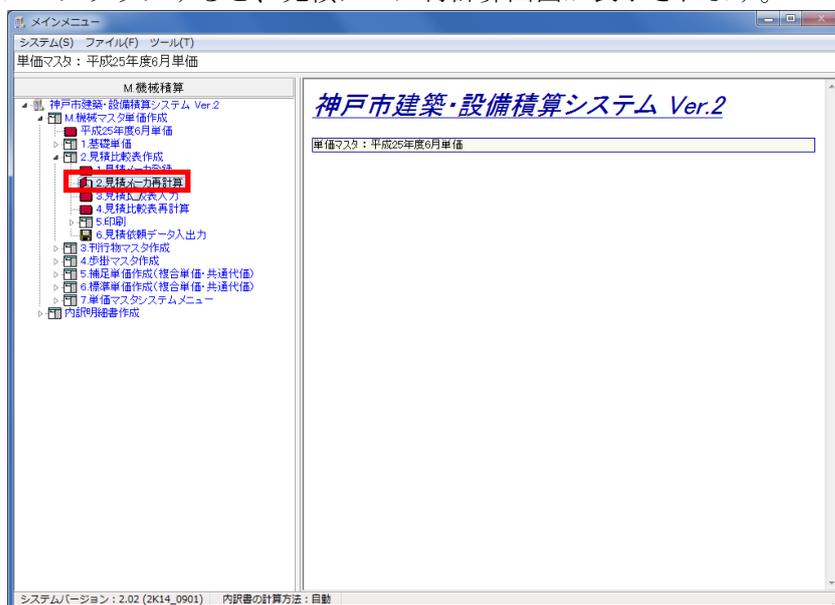


- ②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。

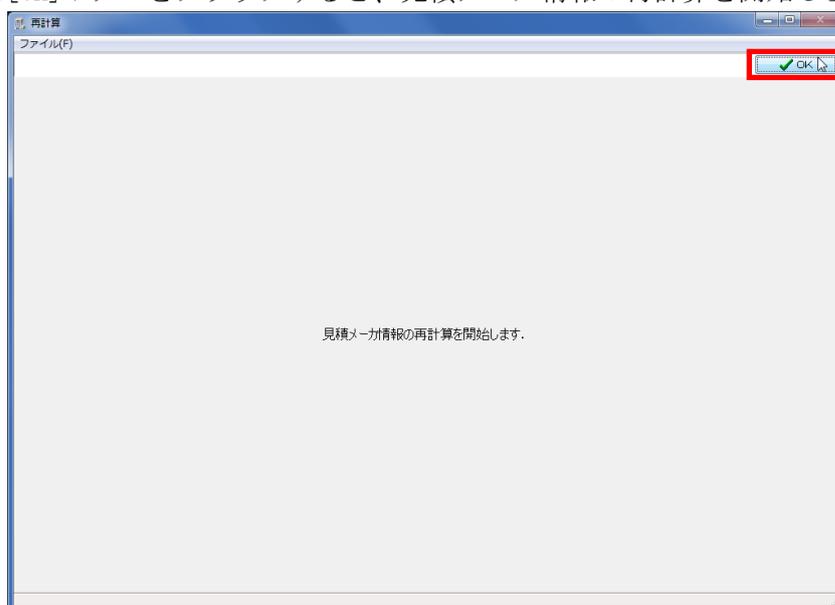


## B. 見積メーカー再計算

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[2. 見積比較表作成]→[2. 見積メーカー再計算]をダブルクリックすると、見積メーカー再計算画面が表示されます。



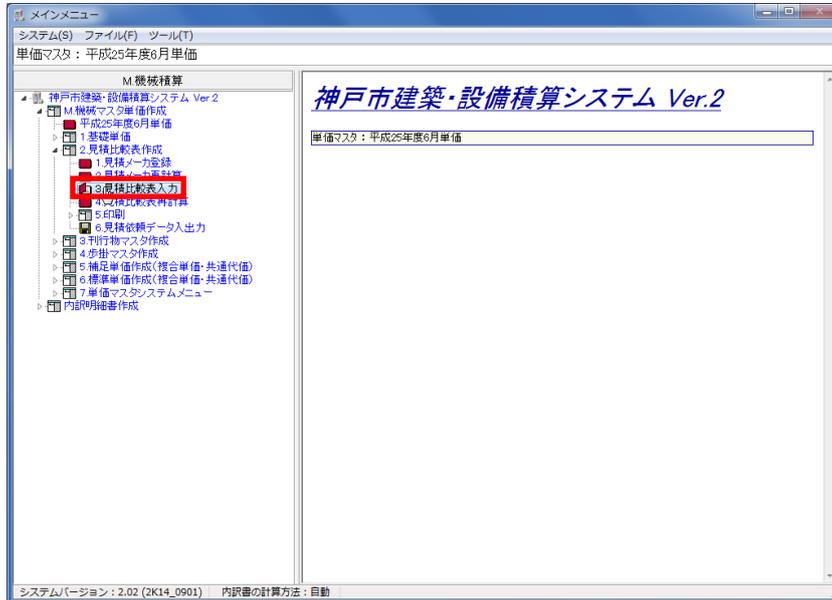
- ②[OK]ボタンをクリックすると、見積メーカー情報の再計算を開始します。



## C. 見積比較表入力（見積グループ登録）

### 1. 見積グループ登録画面の表示

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→ [2. 見積比較表作成] →[3. 見積比較表入力]をダブルクリックすると、見積グループ登録画面が表示されます。



| コード    | グループ名称                 | A社            | B社        | C社      |
|--------|------------------------|---------------|-----------|---------|
| G0111  | 建築用銅管                  | 神戸A130マテリアル銅管 | 住友軽金属工業株  |         |
| G01156 | カー-VFW                 | 旭有機材工業株       |           |         |
| G01157 | カー-VF                  | 神戸ボタシーアイ      | 積水化学工業株   |         |
| G0140  | 排水管用継手                 | 神戸ボタシーアイ      | 前澤化成工業株   |         |
| G0120  | 冷媒用配管                  | 団権電工株         | タカ電工株     |         |
| G0201  | 青銅製バルブ                 | 勝キッツ          | 東洋バルブ株    | 勝大和バルブ  |
| G0202  | 錫鉄製バルブ                 | 勝キッツ          | 東洋バルブ株    | 勝大和バルブ  |
| G0205  | バルブアプスバルブ              | 勝キッツ          | 東洋バルブ株    | 勝大和バルブ  |
| G0211  | 鉛バルブ                   | 勝キッツ          | 東洋バルブ株    | 勝大和バルブ  |
| G0503  | ポリスチレンフォーム保温材 ALGC化粧保温 | アデア株          | ダイヤウミカル株  |         |
| G0790  | 空調機器 ヘッドキャップ・パイフード     | 松下エンスティテュ株    | 三菱電機住環境シス | エニックス   |
| G0801  | スライダタテ                 | 深川機械販売株       | サンエス工業株   | フジモリ産業株 |
| G0805  | フキアタテ                  | 深川機械販売株       | サンエス工業株   | フジモリ産業株 |
| G08111 | エバーナル吹出口 V(H)          | 協立アテック株       | 空研工業株     |         |
| G08112 | エバーナル吹出口 VS(HS)        | 協立アテック株       | 空研工業株     |         |
| G08113 | エバーナル吹出口 V(H+V)        | 協立アテック株       | 空研工業株     |         |
| G08114 | エバーナル吹出口 V(HS+V/S)     | 協立アテック株       | 空研工業株     |         |
| G0812  | 線状吹出口                  | 協立アテック株       | 空研工業株     |         |
| G0813  | シノクティフェーサー吹出口          | 協立アテック株       | 空研工業株     |         |
| G0814  | スリノ吹出口                 | 協立アテック株       | 空研工業株     | 深川機械販売株 |
| G08151 | スリノ形吸込口 GV             | 協立アテック株       | 空研工業株     | 深川機械販売株 |
| G08152 | スリノ形吸込口 GVS            | 協立アテック株       | 空研工業株     | 深川機械販売株 |
| G0821  | 風量調整ツバ(VD)             | 協立アテック株       | 空研工業株     | 深川機械販売株 |
| G0822  | 防火ツバ(FD)               | 協立アテック株       | 空研工業株     | 深川機械販売株 |
| G0823  | 風量調整兼用防火ツバ(FVD)        | 協立アテック株       | 空研工業株     | 深川機械販売株 |
| G0824  | 丸型風量調整ツバ(VD)           | 協立アテック株       | 空研工業株     | 深川機械販売株 |
| G0825  | 丸型防火ツバ(FD)             | 協立アテック株       | 空研工業株     | 深川機械販売株 |

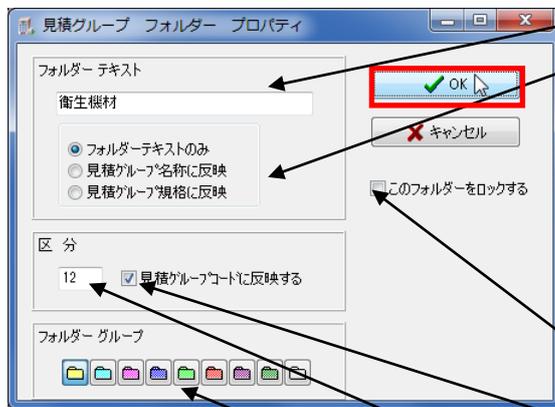
## 2. 新規見積グループの登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定

### (1) フォルダーの新規作成

- ①フォルダーを追加したいフォルダーを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[フォルダー(F)]をクリックして下さい。



- ②各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、「OK」ボタンをクリックして下さい。



入力した文字列をツリービューに表示する。

- ・フォルダーテキストのみ

フォルダーテキストのみに反映する。

- ・単価【名称】に反映

シートのプロパティで連動するように設定した場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【名称】にも反映する。

- ・単価【規格・仕様】に反映

シートのプロパティで連動するように設定した場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【規格・仕様】にも反映する。

フォルダーの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の単価コードに反映する場合はチェックを入れる。

フォルダーテキストの前に付くコードを設定する。

フォルダーの表示色を選択。

- ③新規作成時は必ず階層中の並びの一番下に作成されるので、順番を並び替える必要があれば右クリック→[切り取り(T)]→挿入後に一つ下にしたいフォルダーを選択→右クリック→[挿入貼り付け(S)]を行い、並び替えを行って下さい。



(2) 見積グループシートの新規作成 (新たなグループシートを作成)

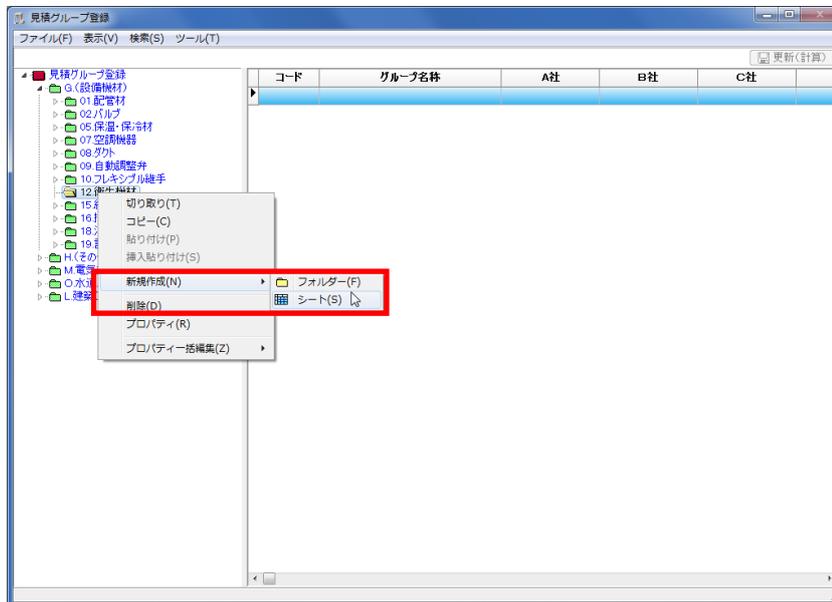
**【注意】**

既存のグループシートの情報を流用して作成する方法 (シートのコピー→貼り付け) は絶対に行わないで下さい。複数の見積グループに同じ基礎単価コードが登録されている状態で保存して見積グループ登録画面を終了してしまった場合、見積比較情報が意図せぬ見積グループに割り当てされてしまうという不都合が発生します。

① 新規作成したい場所のフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[シート(S)]をクリックして下さい。

※右クリック時にフォルダーを選択している場合、そのフォルダー階層の一番下に新規シートが作成されます。

※右クリック時に単価シートを選択している場合、そのシートの一つ前の並びに新規シートが作成されます。



② 各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。

入力した文字列をツリービューに表示する。

衛生器具(便器類)

任意コード  見積グループコードに付加

01

シートテキストの前に付くコードを設定する。

シートの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格・仕様に自動的に設定する。

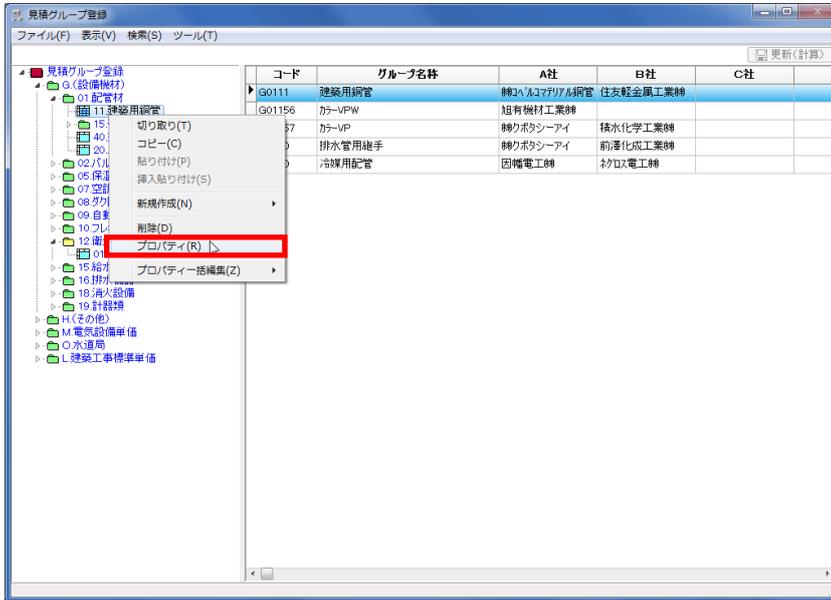
- ・シートテキストのみ  
シートテキストのみに反映する。
- ・見積グループ名称に反映  
名称、規格の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された見積グループの【名称】にも反映する。
- ・見積グループ規格に反映  
名称、規格の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された見積グループの【規格】にも反映する。

任意コードをメーカーコードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

③ 見積グループの各種項目を編集して下さい (P69~参照)。

### (3) フォルダー・シートプロパティの設定

- ①プロパティを設定したいフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



- ②フォルダープロパティ・シートプロパティを設定し、[OK]ボタンをクリックして下さい。  
※注意点は、本項の「(1) フォルダーの新規作成 (P64)」・「(2) 見積グループシートの新規作成 (P65)」を参照して下さい。

#### フォルダープロパティ



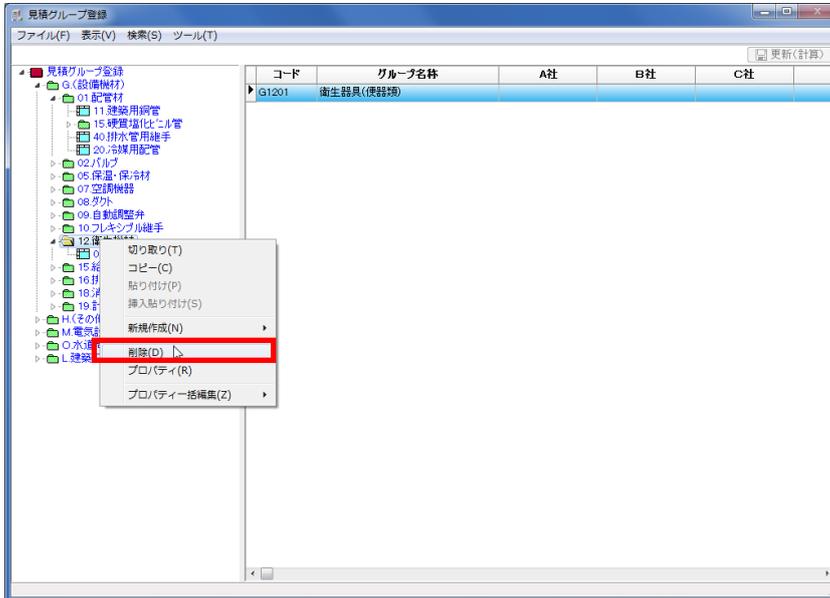
#### シートプロパティ



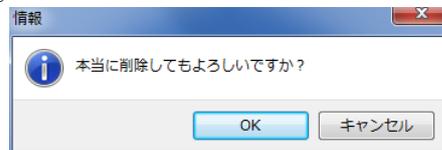
#### (4) フォルダー・シートの削除

※削除を行うと、元に戻すことはできません。また、基礎単価の見積に関する情報も消えますので慎重に行ってください。

①削除したいフォルダー・シートを選択し、右クリック→[削除(D)]をクリックして下さい。

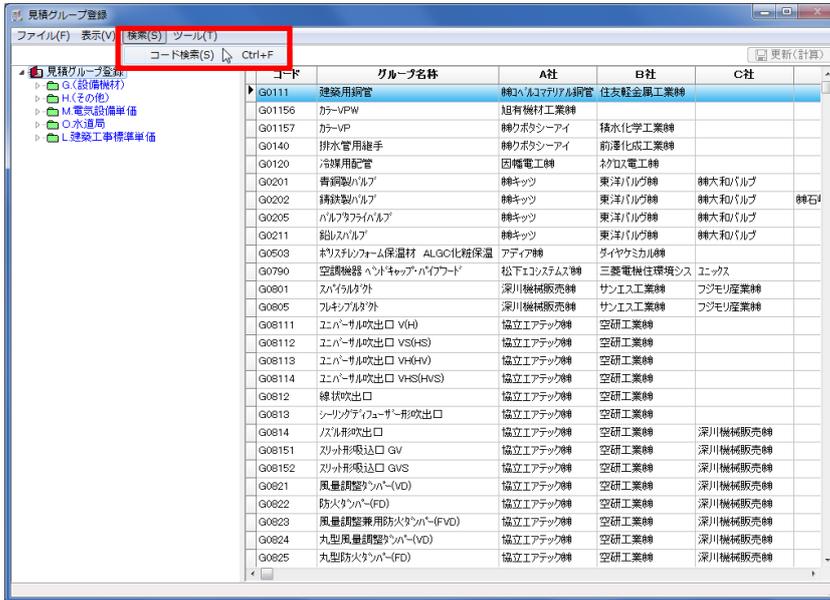


②[OK]ボタンをクリックすると、削除処理が行われます。[キャンセル]ボタンをクリックすると中止します。

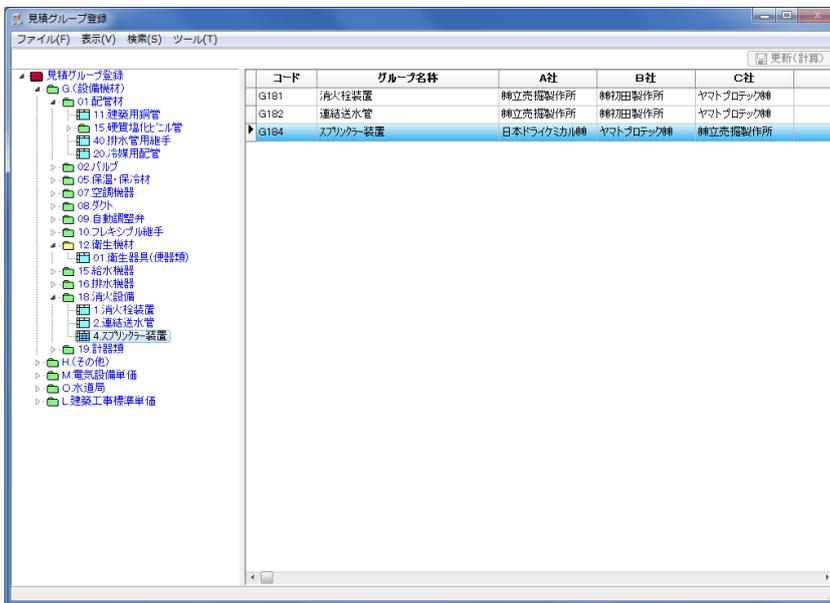
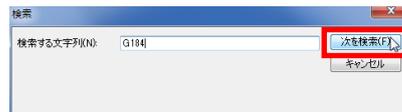


### 3. 見積グループコードの検索

①[検索(S)]→[コード検索(Ctrl+F)]をクリックして下さい。



②検索したい見積グループコードを入力し、[次を検索(F)]ボタンをクリックして下さい。見積グループマスタにコードが存在する場合はそのコードのグループシートに移動します。



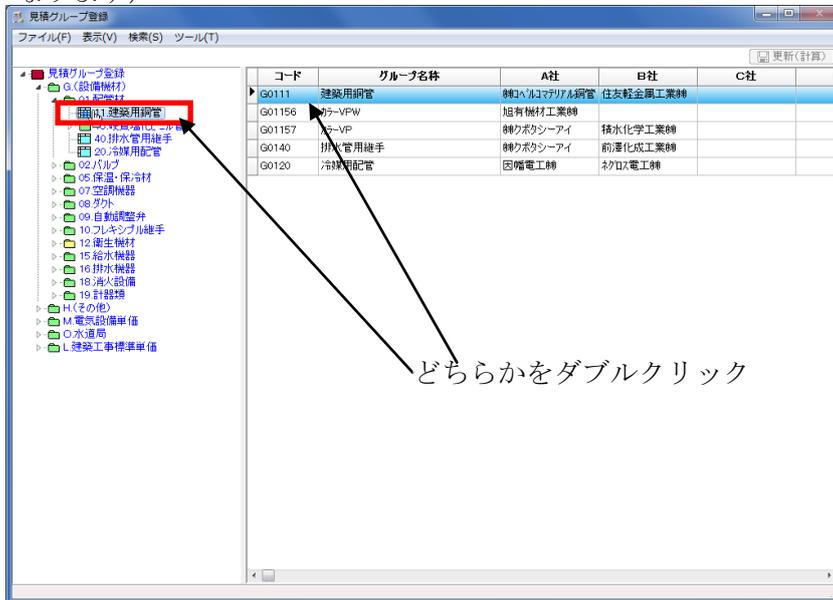
見つからなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



#### 4. 見積グループ情報の各種項目の編集

①編集を行いたい見積グループシートを選択し、ダブルクリックすると、画面右側のグループリスト表示部がグループ情報編集表示に切り替わります。

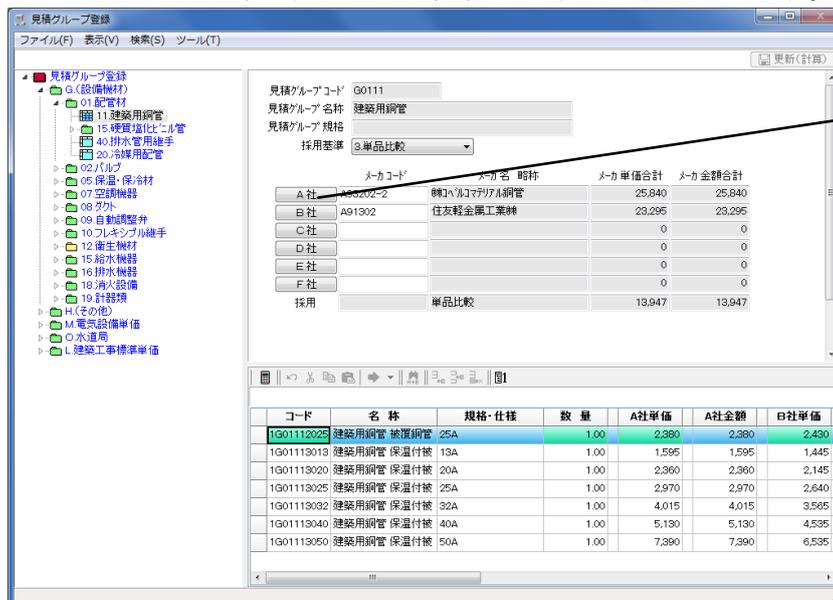
(見積グループリスト表示部の、編集を行いたい行をダブルクリックしても同様の処理となります)



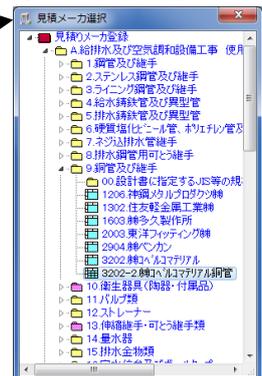
②見積メーカを設定して下さい。

[A社]・[B社]…と表示されたボタンをクリックすると、見積メーカ選択画面が表示されますので、登録されている見積メーカをダブルクリックして選択するとメーカ情報が設定されます。(メーカコードを直接入力しても設定可能です。)

※ルートプロパティの設定により、最大12社まで設定可能です。



見積メーカ選択画面  
(ダブルクリックで選択)



- ③現在表示中の見積グループで見積を行う基礎単価を選択し、下部のリストに登録して下さい。

基礎単価コードは、基礎単価選択画面での選択でも基礎単価コードを直接手入力でも設定可能です。

また、右端の方にある見積数量・査定率も入力して下さい。

※見積メーカー各社の見積単価も本画面で入力することも可能です。

**【注意】**

他の見積グループに割り当てている基礎単価を誤って登録しないで下さい（基礎単価は、複数の見積グループに登録しないで下さい）。意図せぬ見積グループで見積比較を行ってしまうという不都合が生じます。

基礎単価選択画面  
(ダブルクリックで選択)

| コード        | 名称         | 規格・仕様 | 数量   | A社単価  | A社金額  | B社単価  |
|------------|------------|-------|------|-------|-------|-------|
| 1G01112025 | 建築用鋼管 被覆鋼管 | 25A   | 1.00 | 2,380 | 2,380 | 2,430 |
| 1G01113013 | 建築用鋼管 保温付被 | 13A   | 1.00 | 1,595 | 1,595 | 1,445 |
| 1G01113020 | 建築用鋼管 保温付被 | 20A   | 1.00 | 2,360 | 2,360 | 2,145 |
| 1G01113025 | 建築用鋼管 保温付被 | 25A   | 1.00 | 2,970 | 2,970 | 2,640 |
| 1G01113032 | 建築用鋼管 保温付被 | 32A   | 1.00 | 4,015 | 4,015 | 3,565 |
| 1G01113040 | 建築用鋼管 保温付被 | 40A   | 1.00 | 5,130 | 5,130 | 4,535 |
| 1G01113050 | 建築用鋼管 保温付被 | 50A   | 1.00 | 7,390 | 7,390 | 6,535 |

| D社金額 | E社単価 | E社金額 | F社単価 | F社金額 | 査定率  | 採用単価  | 採用金額  |
|------|------|------|------|------|------|-------|-------|
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.60 | 1,428 | 1,428 |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.60 | 867   | 867   |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.60 | 1,287 | 1,287 |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.60 | 1,584 | 1,584 |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.60 | 2,139 | 2,139 |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.60 | 2,721 | 2,721 |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.60 | 3,921 | 3,921 |

- ④入力が完了しましたら、[更新 (計算)] ボタンをクリックし、値を保存して下さい。

| メーカーコード | メーカー名    | メーカー名       | 単価合計   | 単価合計   |
|---------|----------|-------------|--------|--------|
| A社      | A93202-2 | 株式会社マテリアル钢管 | 25,840 | 25,840 |
| B社      | A91302   | 住友軽金属工業株式会社 | 23,295 | 23,295 |
| C社      |          |             | 0      | 0      |
| D社      |          |             | 0      | 0      |
| E社      |          |             | 0      | 0      |
| F社      |          |             | 0      | 0      |
| 採用      |          | 単品比較        | 13,947 | 13,947 |

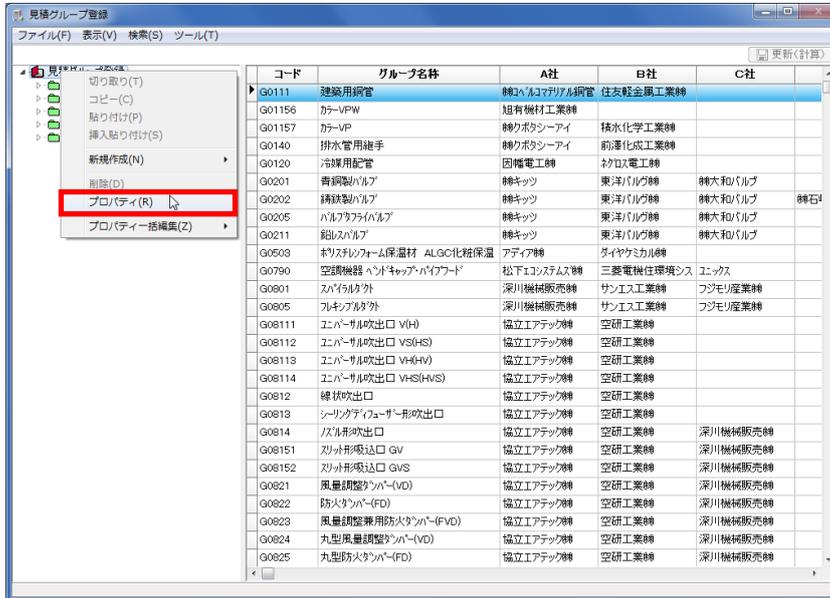
| コード        | 名称         | 規格・仕様 | 数量   | A社単価  | A社金額  | B社単価  |
|------------|------------|-------|------|-------|-------|-------|
| 1G01112025 | 建築用鋼管 被覆鋼管 | 25A   | 1.00 | 2,380 | 2,380 | 2,430 |
| 1G01113013 | 建築用鋼管 保温付被 | 13A   | 1.00 | 1,595 | 1,595 | 1,445 |
| 1G01113020 | 建築用鋼管 保温付被 | 20A   | 1.00 | 2,360 | 2,360 | 2,145 |
| 1G01113025 | 建築用鋼管 保温付被 | 25A   | 1.00 | 2,970 | 2,970 | 2,640 |
| 1G01113032 | 建築用鋼管 保温付被 | 32A   | 1.00 | 4,015 | 4,015 | 3,565 |
| 1G01113040 | 建築用鋼管 保温付被 | 40A   | 1.00 | 5,130 | 5,130 | 4,535 |
| 1G01113050 | 建築用鋼管 保温付被 | 50A   | 1.00 | 7,390 | 7,390 | 6,535 |

## 5. 見積グループ登録画面 その他の機能について

### (1) ルートプロパティ

見積グループマスタの基本設定を行います。

- ① ツリービューの一番上にある赤色のフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



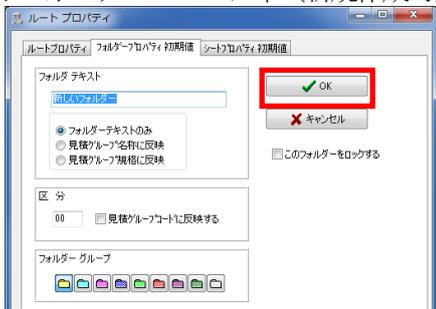
- ② 各種項目を設定の上、[OK] ボタンをクリックして下さい。

◆ ルートプロパティ (ルートフォルダーのプロパティの設定を行う)

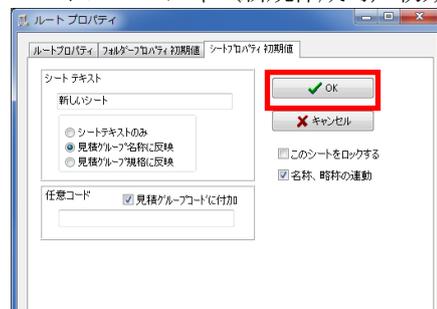


見積メーカーの最大数は、マスタ全体での設定となります (見積グループ毎の設定は出来ません)。

◆ フォルダプロパティ (新規作成時) 初期値



◆ シートプロパティ (新規作成時) 初期値



### (2) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)

マスタデータベースの内容を再読み込みします (特に使用することはありません)。

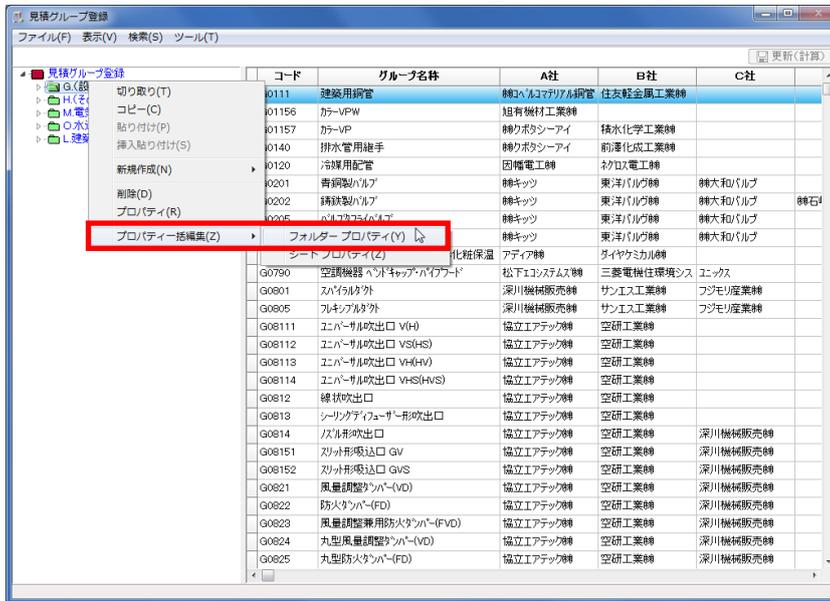


### (3) フォルダープロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

選択したフォルダーの配下にあるフォルダーのプロパティを一括編集します。

※大量のフォルダーが含まれるフォルダーを一度に処理しようとすると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

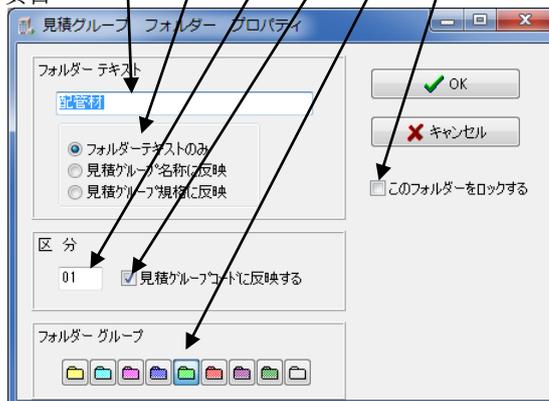
①一括編集したいフォルダーを配下に含むフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ一括編集(Y)]→[フォルダープロパティ(Y)]をクリックして下さい。



②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



対応項目

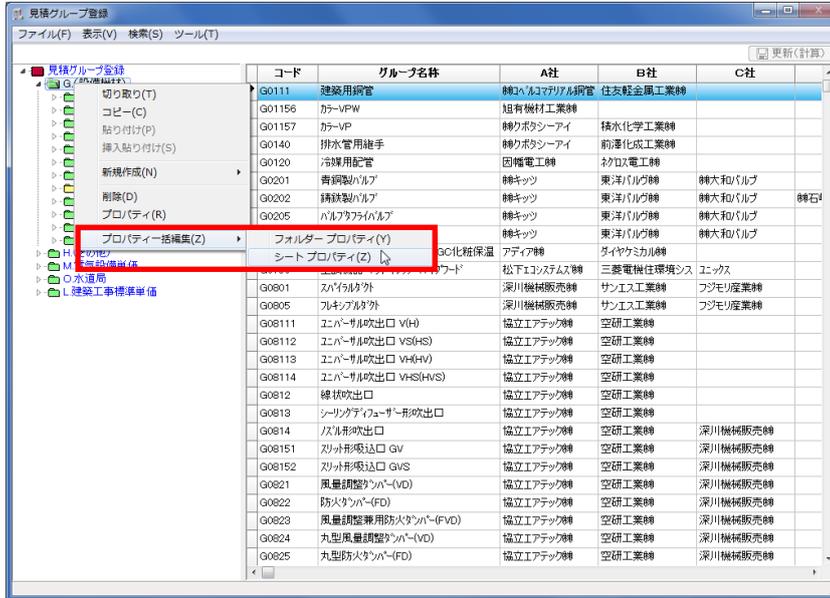


(4) シートプロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

選択したフォルダーの配下にあるシートのプロパティを一括編集します。

※大量のシートが含まれるフォルダーを一度に処理しようとするると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

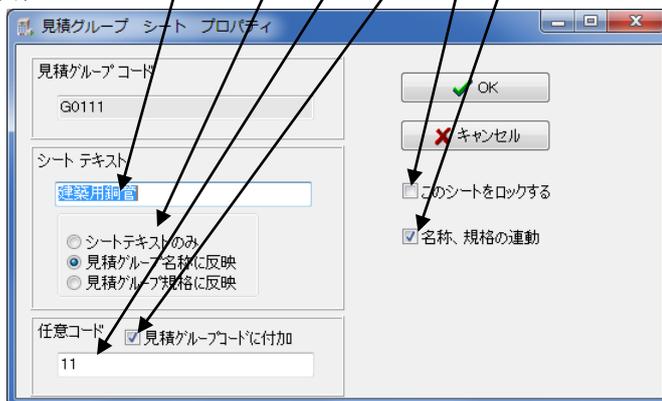
- ①一括編集したいシートを配下を含むフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ一括編集(X)]→[シートプロパティ(Z)]をクリックして下さい。



- ②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



対応項目



#### D. 見積比較表再計算

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[2. 見積比較表作成]→[4. 見積メーカー再計算]をダブルクリックすると、見積比較表再計算画面が表示されます。



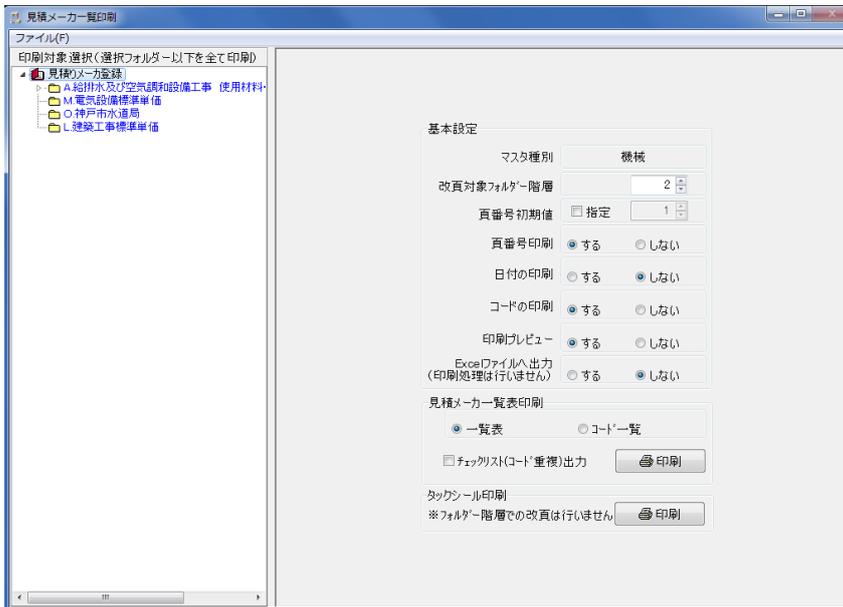
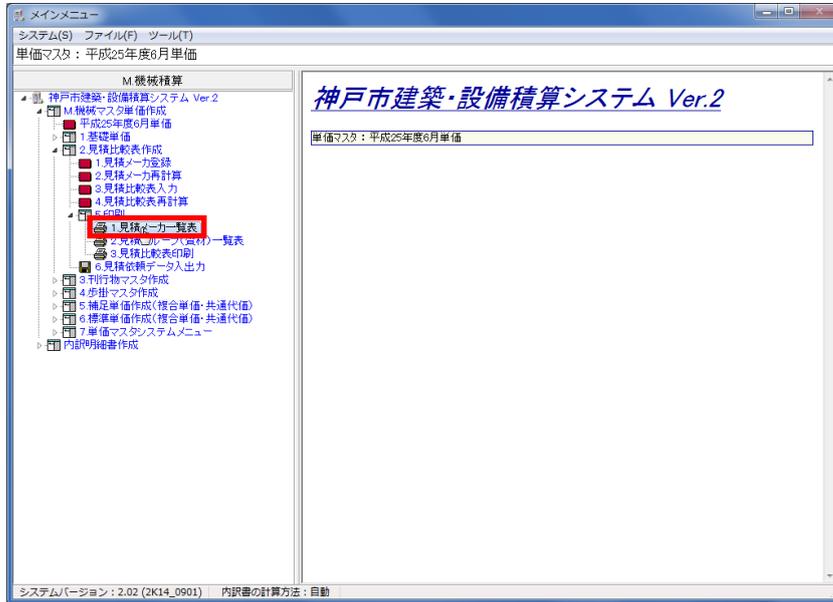
- ②[OK]ボタンをクリックすると、見積比較表（見積グループ）情報の再計算を開始します。



## E. 見積メーカー一覧表印刷

### (1) 見積メーカー一覧印刷画面の表示

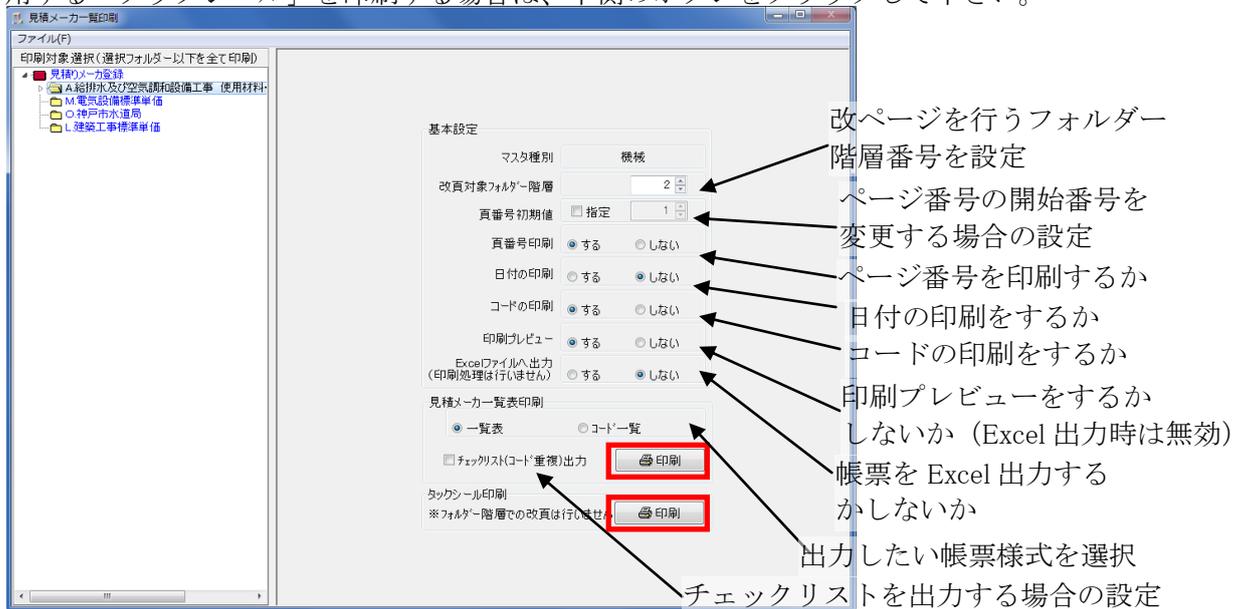
- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[2. 見積比較表作成]→[5. 印刷]→[1. 見積メーカー一覧表]をダブルクリックすると、見積メーカー一覧印刷画面が表示されます。



## (2) 見積メーカー一覧表印刷（タックシール印刷）

①各種項目を設定し、[印刷]（「Excel ファイルへ出力」を「する」にしている場合は[出力]）ボタンをクリックして下さい。

※「見積メーカー一覧表」関連を印刷する場合は、上側のボタンを、業者見積の際に郵送時等に使用する「タックシール」を印刷する場合は、下側のボタンをクリックして下さい。



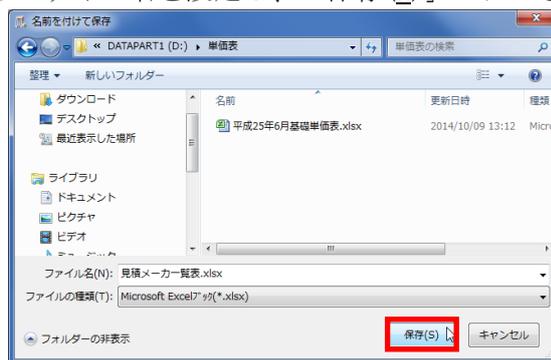
※ルートフォルダ以外を選択すると、部分出力が可能です。

※思い通りの出力結果になるように、設定項目を適宜変更して下さい。

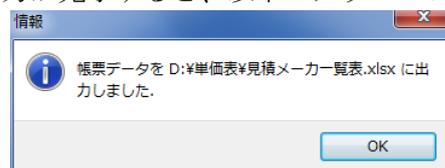
②「印刷プレビュー」を「する」にした場合は、Excel の画面で印刷プレビュー画面が表示されます。Excel の印刷プレビューからの印刷操作方法で印刷を行って下さい。

「Excel 出力」を「する」に設定した場合は、以下の画面が表示されます。

保存先及びファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



帳票の Excel 出力が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



※Excel で開く際は、上図のメッセージを閉じてから開いて下さい。

※見積を依頼していないメーカーのフォルダ以下にある見積メーカーなど、不要なものがありましたら Excel で開いて削除の上、保存・印刷して下さい。

※タックシールは、市販品の A4 ラベル用紙 12 面シート（エーワン 28362・28382 及び相当品）

に対応しています。（通常の A4 用紙に印刷の上、カットしてのり付けしていただいても可。）

## 帳票イメージ

### 見積メーカー一覧表（見積メーカーリスト）

機械 平成25年度6月単価

### 見積メーカーリスト

平成 年 月 日  
1頁

A. 給排水及び空調設備工事 使用材料・製品製作所指定メーカー1. 鋼管及び継手

| 種 別 | CODE   | メーカー名/ヨミ                                | 支社名/部署名 | TEL/FAX                      | 住 所                            | 担当/略称                | 備 考 |
|-----|--------|---|---------|------------------------------|--------------------------------|----------------------|-----|
|     | A10112 | 淡路産業株式会社<br>アワジ 産業                      |         | 0799-22-1731<br>0799-22-1730 | 656-0015 洲本市上加茂4-2             | 芳谷 和雄<br>淡路産業        |     |
|     | A10409 | J F E スチール株式会社<br>ジェイエフイー 大阪鋼板・鋼管営業部鋼管室 |         | 06-6342-0723<br>06-6342-0726 | 530-8353 大阪市北区堂島1-6-20         | 宇野 正一<br>JFEスチール     |     |
|     | A10601 | 川崎製鉄株式会社<br>カワサキ 大阪支店 大阪鋼管グループ          |         | 06-6315-4576<br>06-6315-4895 | 530-8353 大阪市北区芝田1-1-4          | 長瀬 新<br>川崎製鉄         |     |
|     | A11201 | 新日本製鉄株式会社<br>シンニッポウ 大阪支店                |         | 06-6233-6297<br>06-6233-1005 | 530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 朝日新聞ビル  | 松本 守人<br>新日本製鉄       |     |
|     | A11213 | シーケー金属株式会社<br>シーケー 大阪営業所                |         | 06-6531-6776<br>06-6531-6724 | 550-0014 大阪市西区北堀江1-20-15       | 海下 晃郎<br>シーケー金属      |     |
|     | A11301 | 住友金属工業株式会社<br>スミトモ 鋼管室                  |         | 06-6220-5528<br>06-6220-5919 | 541-0041 大阪市中央区北浜4-5-33        | 曾我 好孝<br>住友金属工業      |     |
|     | A11305 | 住金機工株式会社<br>スミキン 継手営業部 大阪継手チーム          |         | 06-6402-3313<br>06-6402-6212 | 660-0891 尼崎市扶桑町1-1             | 河田 雅生<br>住金機工        |     |
|     | A12001 | 東亜高級継手バルブ製造株式会社<br>トウア 営業部              |         | 072-858-8031<br>072-859-2245 | 573-0132 大阪府枚方市野村元町1番37号       | 土橋 隆一<br>東亜高級継手バルブ製造 |     |
|     | A12106 | 株式会社中西可鍛鉄所<br>ナカニシ 営業部                  |         | 0721-53-2481<br>0721-53-2484 | 586-0012 大阪府河内長野市水町6-5         | 伊藤 文雄<br>株式会社中西可鍛鉄所  |     |
|     | A12202 | 日本鋼管継手株式会社<br>ニッポウ 関西営業部                |         | 0724-45-6441<br>0724-45-6013 | 596-8558 大阪府岸和田市田治米町153-1      | 榎井 寛信<br>日本鋼管継手      |     |
|     | A12701 | 日立金属株式会社<br>日立 配管機器グループ                 |         | 06-6203-9705<br>06-6222-3414 | 541-0041 大阪市中央区北浜3-5-29        | 猪俣 卓平<br>日立金属        |     |
|     | A12705 | 東尾メック株式会社<br>ヒシメック 営業グループ               |         | 0721-53-2281<br>0721-53-2279 | 586-0012 大阪府河内長野市菊水町8-22       | 鹿田 良一<br>東尾メック       |     |
|     | A12811 | 古林工業株式会社<br>フルイ 営業課                     |         | 06-6659-1234<br>06-6658-8500 | 557-0062 大阪市西成区津守3丁目3-17       | 田中 豊実<br>古林工業        |     |
|     | A12904 | 株式会社ベカン<br>ベカン 建築機材部                    |         | 06-6541-4051<br>06-6533-6549 | 550-0012 大阪市西区立売堀4-1-20        | 近藤 真一郎<br>株式会社ベカン    |     |
|     | A13102 | 前澤給装工業株式会社<br>マエザワ 大阪営業所                |         | 06-4808-4411<br>06-4808-4422 | 555-0012 大阪市西淀川区御幣島1-9-4       | 江中 隆久<br>前澤給装工業      |     |
|     | A13806 | 株式会社吉年<br>ヨシトシ 大阪配管機材課                  |         | 0721-53-2121<br>0721-54-1814 | 586-8528 大阪府河内長野市上原西町16-1      | 三宅 角栄<br>株式会社吉年      |     |
|     | A14001 | 株式会社リケン<br>リケン 配管機器営業部大阪営業課             |         | 06-6944-1291<br>16-6944-1339 | 540-0012 大阪市中央区谷町2-9-3 近鉄大手前ビル | 瀧井 浩史<br>株式会社リケン     |     |
|     | A15001 | J F E 継手株式会社<br>ジェイエフイー                 |         |                              |                                | JFE継手                |     |

神戸市

### 見積メーカーコードマスタコード一覧表

機械 平成25年度6月単価

### 見積メーカーマスタコード一覧表

平成 年 月 日  
1頁

| 階 層                             | コード    | メーカー名           | 支社名   | 部署名           |
|---------------------------------|--------|-----------------|-------|---------------|
| 見積りメーカー登録                       |        |                 |       |               |
| A. 給排水及び空調設備工事 使用材料・製品製作所指定メーカー |        |                 |       |               |
| 1. 鋼管及び継手                       |        |                 |       |               |
| 00. 設計書に指定するJIS等の規格による          |        |                 |       |               |
| 0112. 淡路産業株式会社                  | A10112 | 淡路産業株式会社        |       |               |
| 0409. J F E スチール株式会社            | A10409 | J F E スチール株式会社  |       |               |
| 0601. 川崎製鉄株式会社                  | A10601 | 川崎製鉄株式会社        | 大阪支社  | 大阪鋼板・鋼管営業部鋼管室 |
| 1201. 新日本製鉄株式会社                 | A11201 | 新日本製鉄株式会社       | 大阪支店  | 鋼管グループ        |
| 1213. シーケー金属株式会社                | A11213 | シーケー金属株式会社      | 大阪営業所 |               |
| 1301. 住友金属工業株式会社                | A11301 | 住友金属工業株式会社      |       | 鋼管室           |
| 1305. 住金機工株式会社                  | A11305 | 住金機工株式会社        |       | 継手営業部 大阪継手チーム |
| 2001. 東亜高級継手バルブ製造株式会社           | A12001 | 東亜高級継手バルブ製造株式会社 |       | 営業部           |
| 2106. 株式会社中西可鍛鉄所                | A12106 | 株式会社中西可鍛鉄所      |       | 営業部           |
| 2202. 日本鋼管継手株式会社                | A12202 | 日本鋼管継手株式会社      | 関西支店  | 関西営業部         |
| 2701. 日立金属株式会社                  | A12701 | 日立金属株式会社        |       | 配管機器グループ      |
| 2705. 東尾メック株式会社                 | A12705 | 東尾メック株式会社       |       | 営業グループ        |
| 2811. 古林工業株式会社                  | A12811 | 古林工業株式会社        |       | 営業課           |
| 2904. 株式会社ベカン                   | A12904 | 株式会社ベカン         | 関西支社  | 建築機材部         |
| 3102. 前澤給装工業株式会社                | A13102 | 前澤給装工業株式会社      | 大阪営業所 |               |
| 3806. 株式会社吉年                    | A13806 | 株式会社吉年          |       | 大阪配管機材課       |
| 4001. 株式会社リケン                   | A14001 | 株式会社リケン         |       | 配管機器営業部大阪営業課  |
| 5001. J F E 継手株式会社              | A15001 | J F E 継手株式会社    |       |               |
| 2. ステンレス鋼管及び継手                  |        |                 |       |               |
| 00. 設計書に指定するJIS等の規格による          |        |                 |       |               |
| 0514. オーエス工業株式会社                | A20514 | オーエス工業株式会社      |       | 大阪営業所         |
| 0702. 株式会社リケン                   | A20702 | 株式会社リケン         | 大阪支社  |               |
| 1301. 住友金属工業株式会社                | A21301 | 住友金属工業株式会社      |       | 鋼管室           |
| 1305. 住金機工株式会社                  | A21305 | 住金機工株式会社        |       | 継手営業部 大阪継手チーム |
| 2206. 日本金属工業株式会社                | A22206 | 日本金属工業株式会社      |       | 鋼管チーム         |
| 2227. 日新製鋼株式会社                  | A2227  | 日新製鋼株式会社        |       | 大阪スチール鋼管チーム   |
| 2701. 日立金属株式会社                  | A22701 | 日立金属株式会社        | 関西支店  | 配管機器グループ      |
| 2811. 古林工業株式会社                  | A22811 | 古林工業株式会社        |       | 営業課           |
| 2904. 株式会社ベカン                   | A22904 | 株式会社ベカン         | 関西支社  | 建築機材部         |
| 3102. 前澤給装工業株式会社                | A23102 | 前澤給装工業株式会社      | 大阪営業所 |               |
| 4001. 株式会社リケン                   | A24001 | 株式会社リケン         |       | 配管機器営業部大阪営業課  |
| 3. ライニング鋼管及び継手                  |        |                 |       |               |
| 00. 設計書に指定するJIS等の規格による          |        |                 |       |               |
| 0409. NKK                       | A30409 | NKK             | 大阪支社  | 鋼材部           |
| 0601. 川崎製鉄株式会社                  | A30601 | 川崎製鉄株式会社        | 大阪支社  | 大阪鋼管グループ      |
| 0712. 株式会社リケン                   | A30712 | 株式会社リケン         | 神戸営業所 |               |
| 0801. 株式会社シーアイ                  | A30801 | 株式会社シーアイ        | 神戸営業所 |               |
| 1201. 新日本製鉄株式会社                 | A31201 | 新日本製鉄株式会社       | 大阪支店  | 鋼管グループ        |
| 1202. シーアイ化成株式会社                | A31202 | シーアイ化成株式会社      | 大阪支店  | 管工機材部         |
| 1213. シーケー金属株式会社                | A31213 | シーケー金属株式会社      | 大阪営業所 |               |

神戸市



タックシール印刷

〒656-0015  
洲本市上加茂4-2

淡路産業(株)

芳谷 和雄 様

A10112

〒530-8353  
大阪市北区堂島1-6-20

JFEスチール(株)

大阪鋼板・鋼管営業部鋼管室  
宇野 正一 様

A10409

〒530-8353  
大阪市北区芝田1-1-4

川崎製鉄(株)

大阪支社 大阪鋼管グループ  
長瀬 新 様

A10601

〒530-0005  
大阪市北区中之島3-2-4 朝日新聞ビル

新日本製鉄(株)

大阪支店 鋼管グループ  
松本 守人 様

A11201

〒550-0014  
大阪市西区北堀江1-20-15

シーケー金属(株)

大阪営業所  
海下 晃郎 様

A11213

〒541-0041  
大阪市中央区北浜4-5-33

住友金属工業(株)

鋼管室  
曾我 好孝 様

A11301

〒660-0891  
尼崎市扶桑町1-1

住金機工(株)

継手営業部 大阪継手チーム  
河田 雅生 様

A11305

〒573-0132  
大阪府枚方市野村元町1番37号

東亜高級継手バルブ製造(株)

営業部  
土橋 隆一 様

A12001

〒586-0012  
大阪府河内長野市菊水町6-5

(株)中西可鍛鑄鉄所  
営業部

伊藤 文雄 様

A12106

〒596-8558  
大阪府岸和田市田治米町153-1

日本鋼管継手(株)

関西営業部  
樽井 章悟 様

A12202

〒541-0041  
大阪市中央区北浜3-5-29

日立金属(株)

関西支店 配管機器グループ  
猪俣 尋千 様

A12701

〒586-0012  
大阪府河内長野市菊水町8-22

東尾メック(株)

営業グループ  
鹿田 良一 様

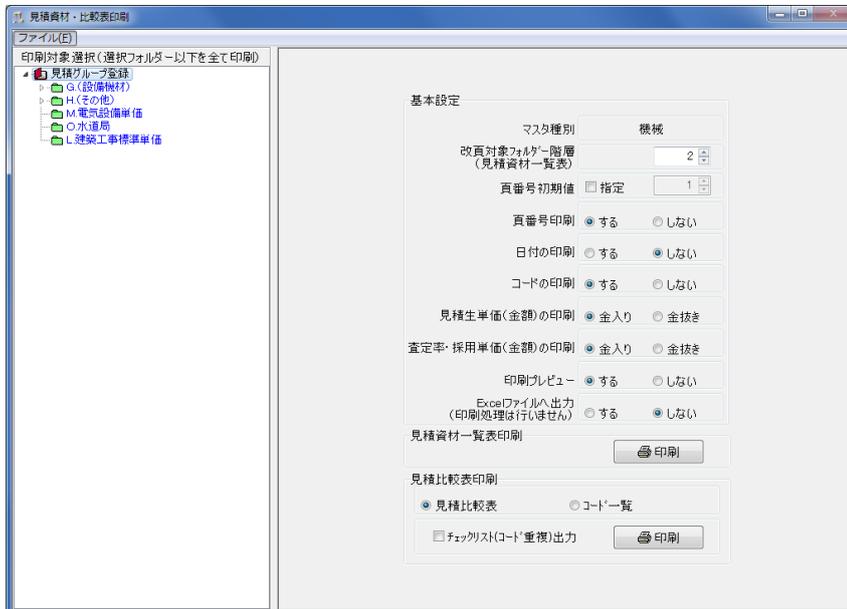
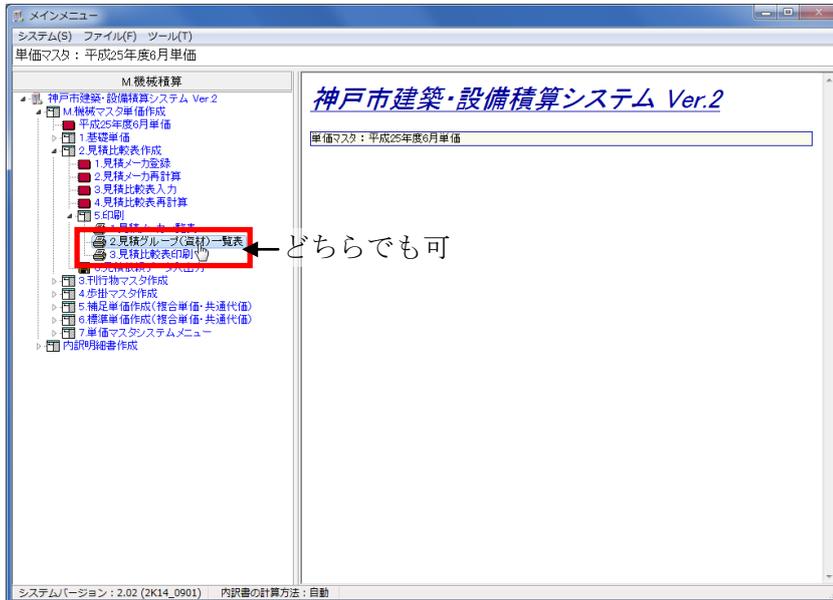
A12705

## F. 見積グループ（資材）一覧表・見積比較表印刷

### (1) 見積資材・比較表印刷画面の表示

①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[2. 見積比較表作成]→[5. 印刷]→[2. 見積グループ（資材）一覧表]または[3. 見積比較表]をダブルクリックすると、見積メーカー一覧印刷画面が表示されます。

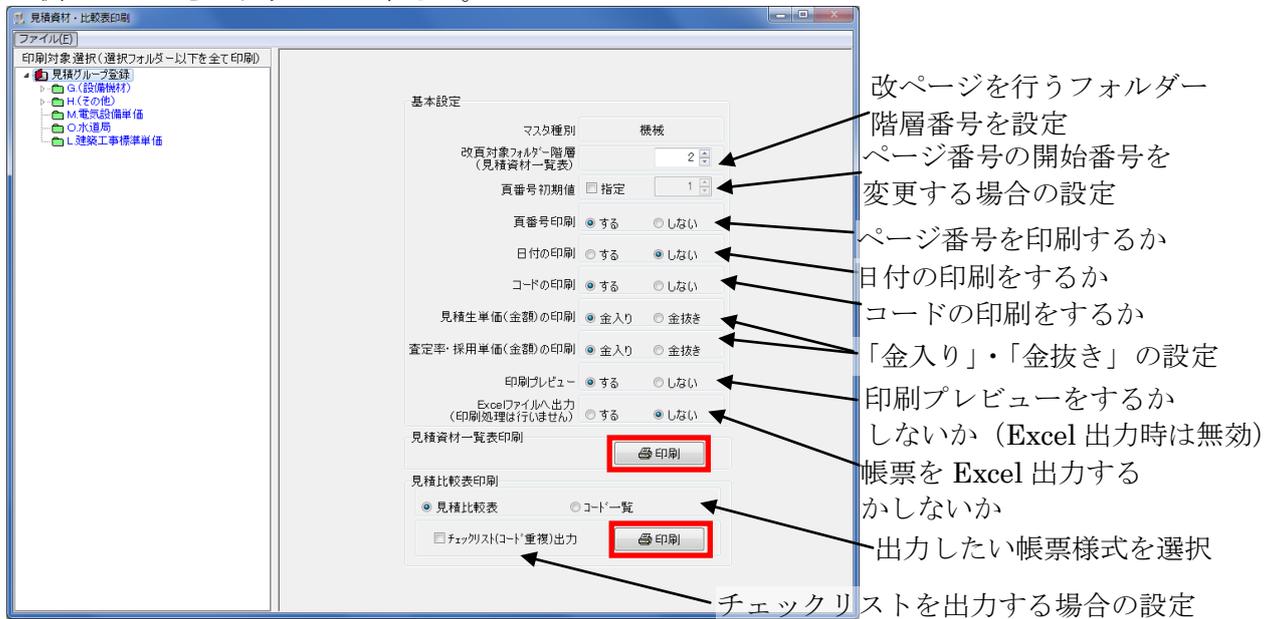
(どちらのメニューをダブルクリックしていただいても同じ画面が表示されます。)



## (2) 見積資材一覧表・見積比較表印刷

①各種項目を設定し、[印刷]（「Excel ファイルへ出力」を「する」にしている場合は[出力]）ボタンをクリックして下さい。

※「見積資材一覧表」を印刷する場合は上側のボタンを、「見積比較表」を印刷する場合は下側のボタンをクリックして下さい。

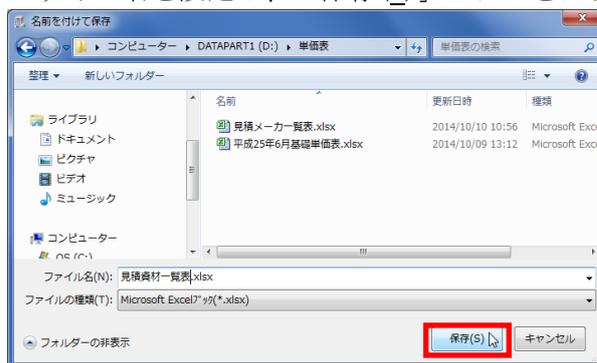


※ルートフォルダー以外を選択すると、部分出力が可能です。

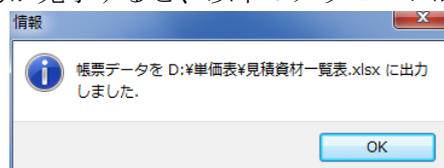
※思い通りの出力結果になるように、設定項目を適宜変更して下さい。

②「印刷プレビュー」を「する」にした場合は、Excel の画面で印刷プレビュー画面が表示されます。Excel の印刷プレビューからの印刷操作方法で印刷を行って下さい。

「Excel 出力」を「する」に設定した場合は、以下の画面が表示されます。保存先及びファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



帳票の Excel 出力が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



※Excel で開く際は、上図のメッセージを閉じてから開いて下さい。

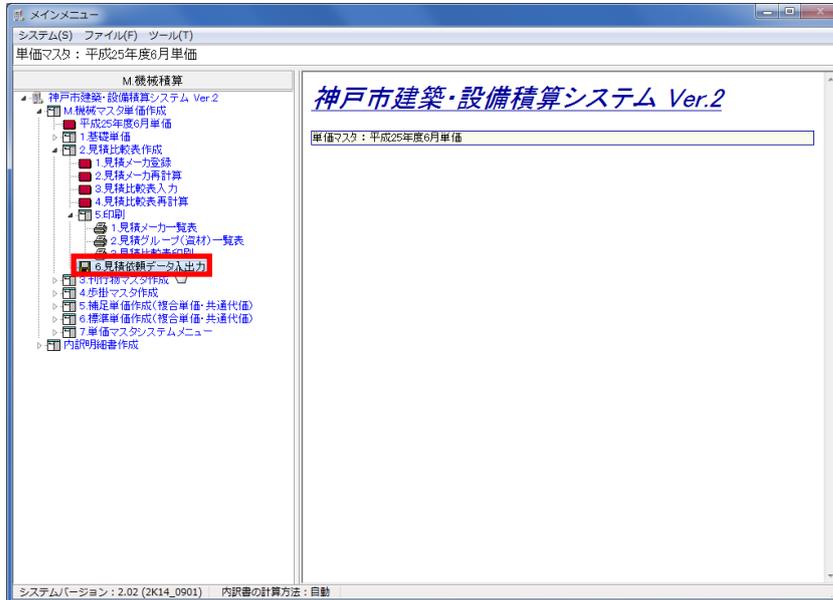




## G. 見積依頼データ入出力方法

### (1) 見積依頼データ入出力画面の表示

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[2. 見積比較表作成]→[6. 見積依頼データ入出力]をダブルクリックすると、見積依頼データ入出力画面が表示されます。



| コード    | 名称           | ヨミ          | 支社名   | 部署名         | 担当     | 電     |
|--------|--------------|-------------|-------|-------------|--------|-------|
| A10112 | 淡路産業機        | アワシヤキョウ     |       |             | 芳谷 和雄  | 0799- |
| A10409 | JFEスチール機     | ジェイエフイー     |       | 大阪鋼板・鋼管営業   | 宇野 正一  | 06-6- |
| A10601 | 川崎製鉄機        | カワサキテツ      | 大阪支社  | 鋼管グループ      | 長瀬 新   | 06-6- |
| A11201 | 新日本製鉄機       | シンニッポテツ     | 大阪支店  | 鋼管グループ      | 松本 守人  | 06-6- |
| A11213 | シーケー金属機      | シーケーコウゾク    | 大阪営業所 |             | 海下 見郎  | 06-6- |
| A11301 | 住友金属工業機      | スミモツコウギョウ   |       | 鋼管室         | 曾我 好孝  | 06-6- |
| A11305 | 住友機工機        | スミモツキコウ     |       | 継手営業部 大阪機   | 河田 雅生  | 06-6- |
| A12001 | 東亜高級継手バルブ製造機 | トウアコウキョウキョウ |       | 営業部         | 土橋 隆一  | 072-  |
| A12106 | 韓中西可鍛鉄所      | カンシヨウカウコウソ  |       | 営業部         | 伊藤 文雄  | 0721- |
| A12202 | 日本鋼管継手機      | ニッポコウカンテ    |       | 関西営業部       | 梅井 幸悟  | 0724- |
| A12701 | 日立金属機        | ヒタチコウゾク     | 関西支店  | 配管機組グループ    | 猪俣 尋千  | 06-6- |
| A12705 | 東尾メック機       | ヒガシオメック     |       | 営業グループ      | 鹿田 良一  | 0721- |
| A12811 | 古林工業機        | フルバヤコウギョウ   |       | 営業課         | 田中 豊実  | 06-6- |
| A12904 | 韓ベカン         | ヘンカン        | 関西支社  | 建築機材部       | 近藤 真一郎 | 06-6- |
| A13102 | 前澤裕装工業機      | マエザキョウコウギョウ | 大阪営業所 |             | 江中 隆久  | 06-4- |
| A13806 | 韓吉年          | ホンキョウ       |       | 大阪配管機材課     | 三宅 角栄  | 0721- |
| A14001 | 韓ソカン         | ソカン         |       | 配管機組営業部大阪   | 酒井 浩史  | 06-6- |
| A15001 | JFE継手機       | ジェイエフイーテツテ  |       |             |        |       |
| A20514 | オーエヌ工業機      | オーエヌコウギョウ   |       | 大阪営業所       | 橋本 謙夫  | 06-6- |
| A20702 | 韓キョツ         | キョツ         | 大阪支社  |             | 有松 清尚  | 06-6- |
| A21301 | 住友金属工業機      | スミモツコウギョウ   |       | 鋼管室         | 曾我 好孝  | 06-6- |
| A21305 | 住友機工機        | スミモツキコウ     |       | 継手営業部 大阪機   | 河田 雅生  | 06-6- |
| A22206 | 日本金属工業機      | ニッポコウギョウ    |       | 鋼管チーム       | 藤又 清仁  | 06-6- |
| A22227 | 日新製鋼機        | ニッシンコウ      |       | 大阪スチール鋼管チーム | 松井 茂澄  | 06-6- |
| A22701 | 日立金属機        | ヒタチコウゾク     | 関西支店  | 配管機組グループ    | 猪俣 尋千  | 06-6- |
| A22811 | 古林工業機        | フルバヤコウギョウ   |       | 営業課         | 田中 豊実  | 06-6- |
| A22904 | 韓ベカン         | ヘンカン        | 関西支社  | 建築機材部       | 近藤 真一郎 | 06-6- |

## (2) 見積依頼雛形ファイルの編集

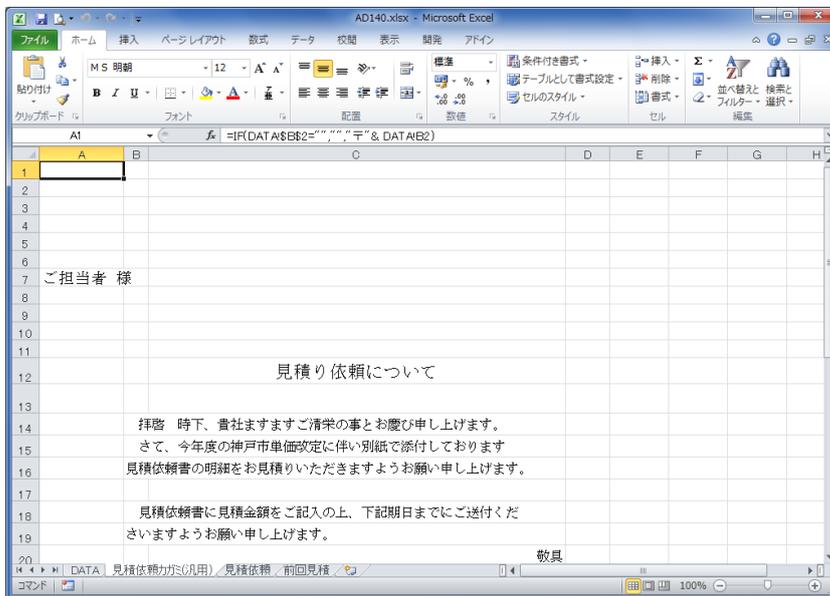
① [見積依頼雛型(M)] → 「見積依頼雛形ファイル編集(E)」をクリックして下さい。



② 起動した Excel 画面で、見積依頼雛形ファイルを編集して下さい。

※編集時は見積依頼データ入出力画面を操作できません。

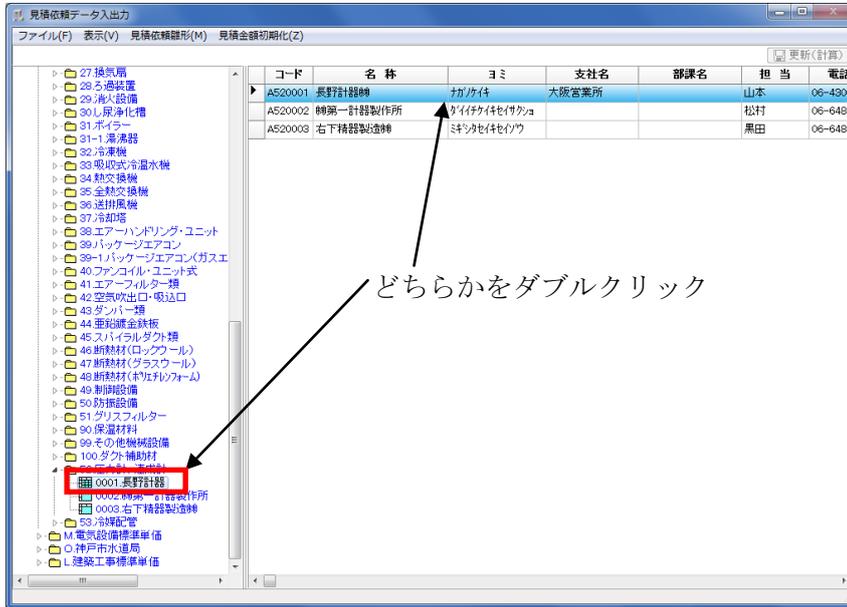
※[DATA]シートの値を参照する数式が入力されているセルがありますので、誤って変更をしないように注意して下さい。



### (3) 見積依頼データの出力（エクスポート）

①出力を行いたい見積グループのシートを選択し、ダブルクリックすると、画面右側の見積グループ一覧リスト表示部が見積依頼データ入出力表示に切り替わります。

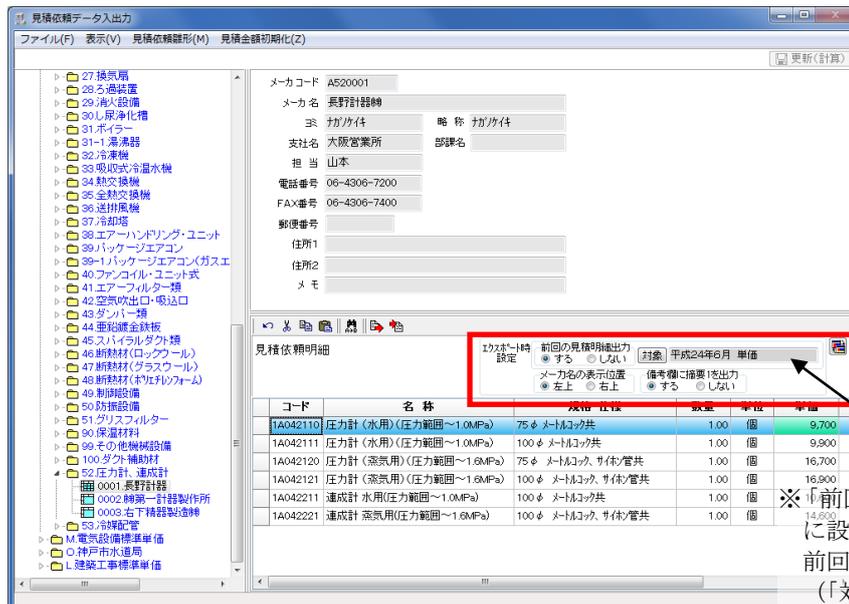
（見積グループ一覧リスト表示部の、編集を行いたい行をダブルクリックしても同様の処理となります）



②エクスポート時設定の各種項目を設定して下さい。

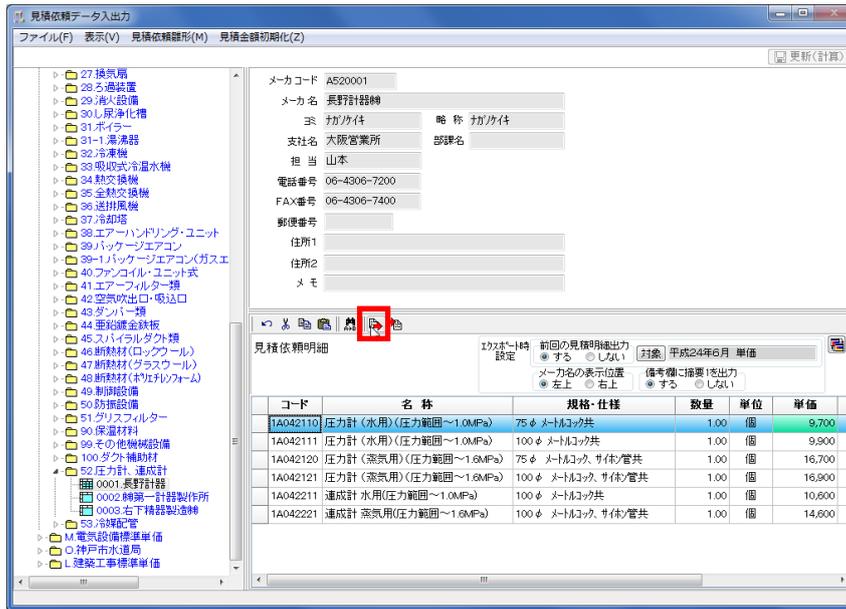
- ・「前回の見積明細出力」を「する」に設定した場合、「前回見積」シートに前回見積結果を出力します。
- ・「メーカー名の表示位置」は、印刷時のメーカー名の表示位置を設定します。
- ・「備考欄に摘要1を出力する」を「する」に設定した場合、摘要1に入力されている内容が備考欄に出力されます。

※一度設定すると、前回の設定値を記憶しています。



※「前回の見積明細出力」を「する」に設定した時に出力対象とする前回単価を表示する項目（「対象」ボタンで選択する）

③ 「エクスポート」 ボタンをクリックして下さい。

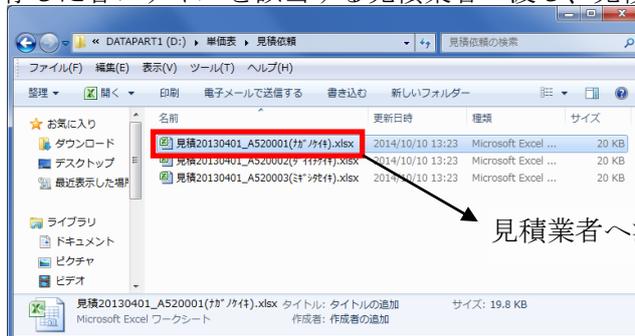


④ 保存先、ファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



※リムーバブルメディア等にデータをコピーする際は、必ず一旦ハードディスク上に保存してからリムーバブルメディア等にコピーして下さい。

⑤ ④で保存した各ファイルを該当する見積業者へ渡し、見積単価の入力を依頼して下さい。

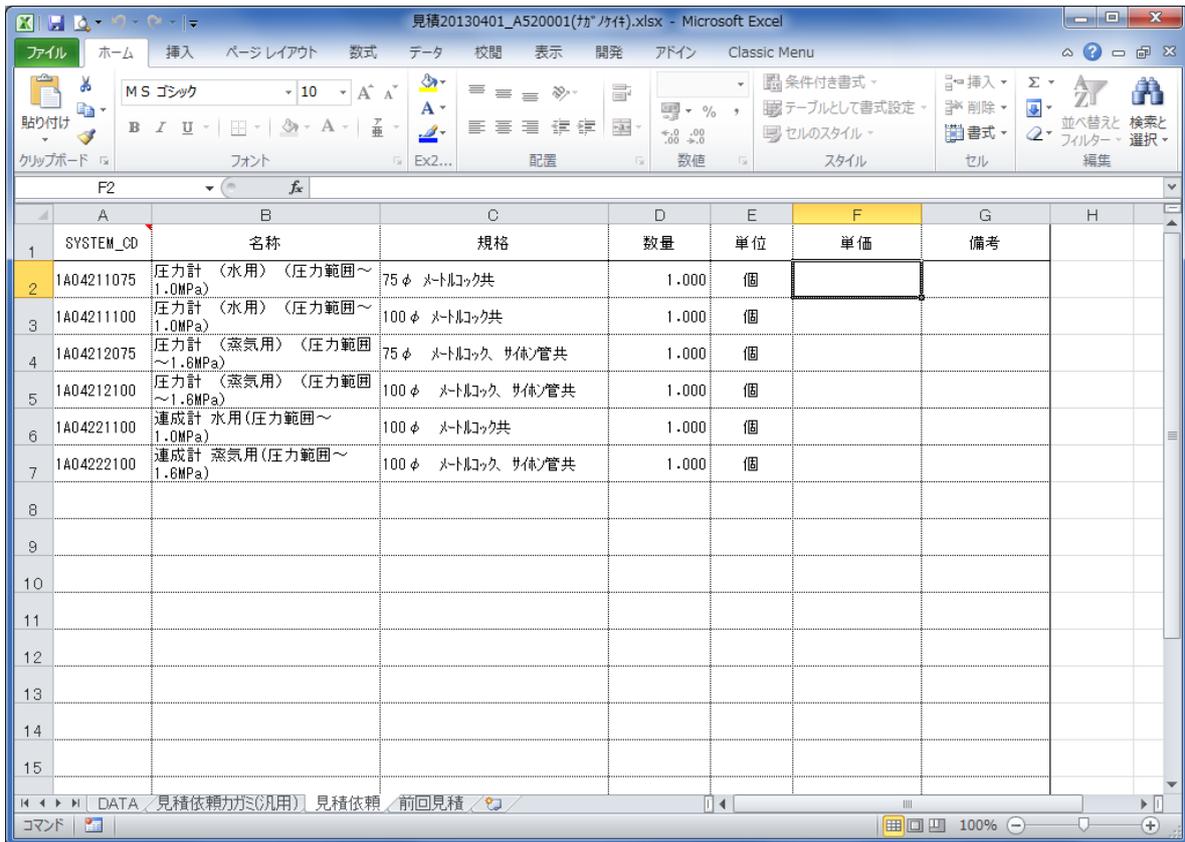


※保存先のフォルダーは、前回保存したフォルダーを記憶しています。

(初回は昨年度保存したフォルダーを記憶していますので、変更が必要な場合は変更して下さい。)

※ファイル名の規定値は、「見積[本日の日付]\_[グループコード(グループ名)].xlsx」となります。

### 見積依頼 Excel データ



|    | A          | B                       | C                  | D     | E  | F  | G  | H |
|----|------------|-------------------------|--------------------|-------|----|----|----|---|
|    | SYSTEM_CD  | 名称                      | 規格                 | 数量    | 単位 | 単価 | 備考 |   |
| 1  |            |                         |                    |       |    |    |    |   |
| 2  | 1A04211075 | 圧力計 (水用) (圧力範囲~1.0MPa)  | 75 φ メートルック共       | 1.000 | 個  |    |    |   |
| 3  | 1A04211100 | 圧力計 (水用) (圧力範囲~1.0MPa)  | 100 φ メートルック共      | 1.000 | 個  |    |    |   |
| 4  | 1A04212075 | 圧力計 (蒸気用) (圧力範囲~1.6MPa) | 75 φ メートルック、サ体ノ管共  | 1.000 | 個  |    |    |   |
| 5  | 1A04212100 | 圧力計 (蒸気用) (圧力範囲~1.6MPa) | 100 φ メートルック、サ体ノ管共 | 1.000 | 個  |    |    |   |
| 6  | 1A04221100 | 運成計 水用(圧力範囲~1.0MPa)     | 100 φ メートルック共      | 1.000 | 個  |    |    |   |
| 7  | 1A04222100 | 運成計 蒸気用(圧力範囲~1.6MPa)    | 100 φ メートルック、サ体ノ管共 | 1.000 | 個  |    |    |   |
| 8  |            |                         |                    |       |    |    |    |   |
| 9  |            |                         |                    |       |    |    |    |   |
| 10 |            |                         |                    |       |    |    |    |   |
| 11 |            |                         |                    |       |    |    |    |   |
| 12 |            |                         |                    |       |    |    |    |   |
| 13 |            |                         |                    |       |    |    |    |   |
| 14 |            |                         |                    |       |    |    |    |   |
| 15 |            |                         |                    |       |    |    |    |   |

※Excelにて行を追加・削除したり、SYSTEM\_CD(基礎単価コード)欄を変更したりしないで下さい。

#### (4) 見積依頼データの取り込み（インポート）

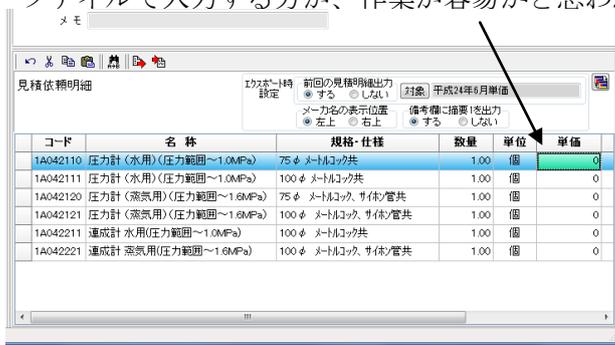
①今年度の見積依頼データ1社目を取り込む前に、一回だけ「見積金額初期化(Z)」→「見積金額初期化（全データを0円にする）」をクリックして下さい。

※忘れた場合、昨年度の見積単価が残るので注意が必要です。

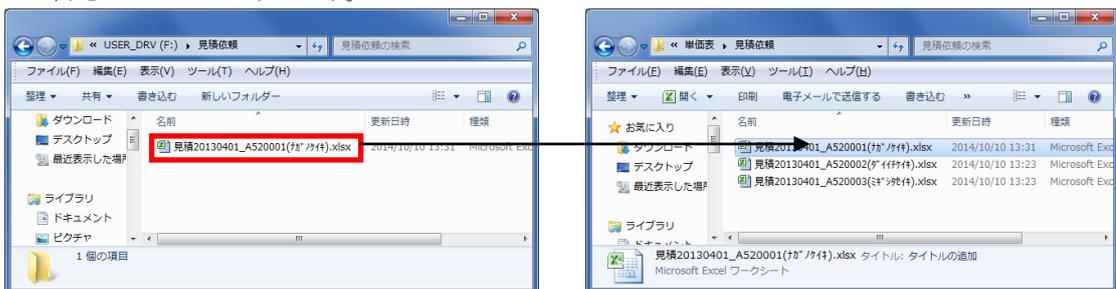


②見積結果がデータ入力されていないメーカ（見積書を書面で提出された場合等）は、見積依頼データをエクスポートした Excel ファイルに見積結果を予め入力しておいて下さい。

※見積依頼データ入出力画面の「単価」欄に直接入力して保存することも可能ですが、Excel ファイルで入力する方が、作業が容易かと思われます。

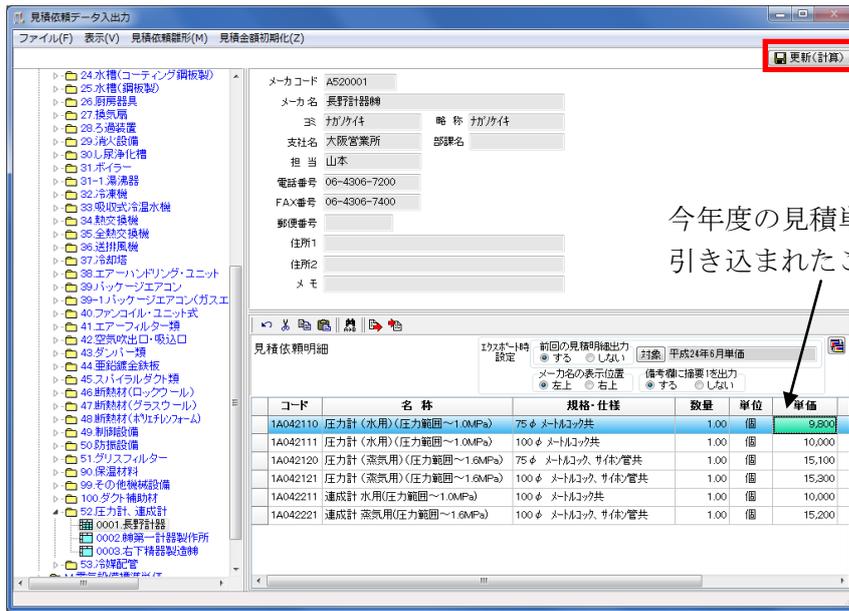


③見積依頼単価情報が保存された Excel データがリムーバブルメディア等にある場合は、予めハードディスクの所定のフォルダーにコピーして下さい（エクスポートしたファイル（P87 参照）に上書きコピーして下さい）。

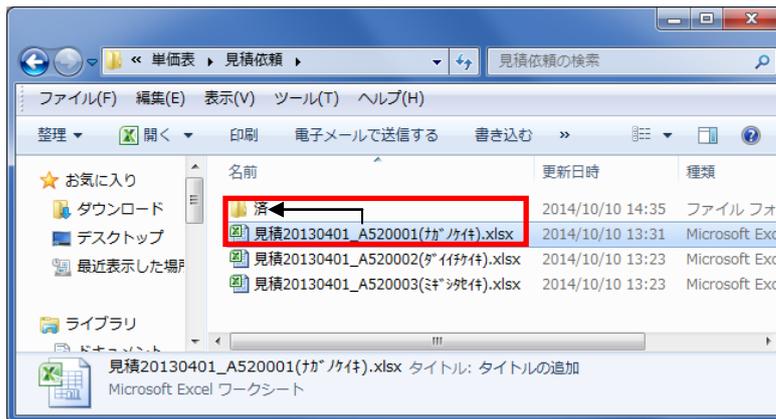




⑦今年度の見積単価が引き込まれたことを確認し、「更新（計算）」ボタンをクリックして下さい。



⑧取り込み漏れを防ぐため、取り込み済みのデータは、「済」フォルダーに移動して下さい。



⑨全てのメーカーの見積依頼データを取り込むまで、③の手順から繰り返して下さい。

⑩基礎単価を再計算して下さい (P41 参照)。

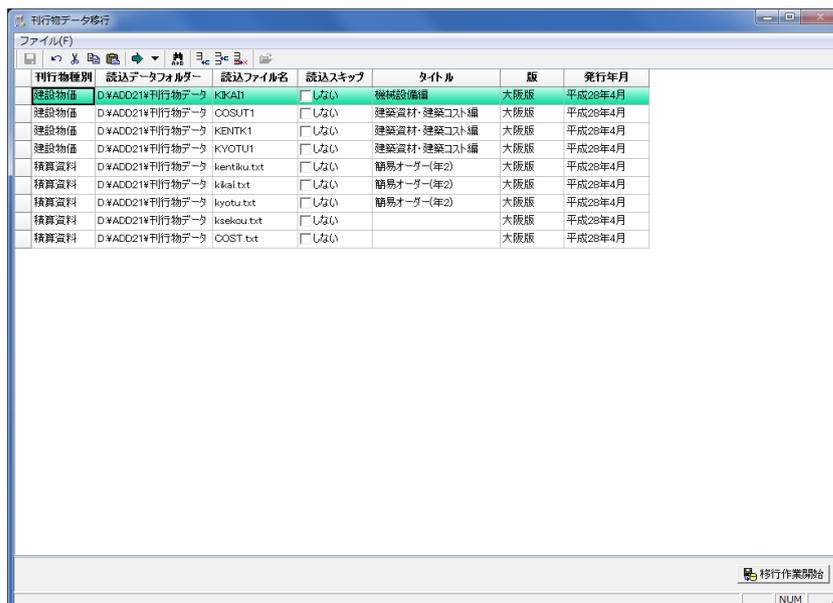
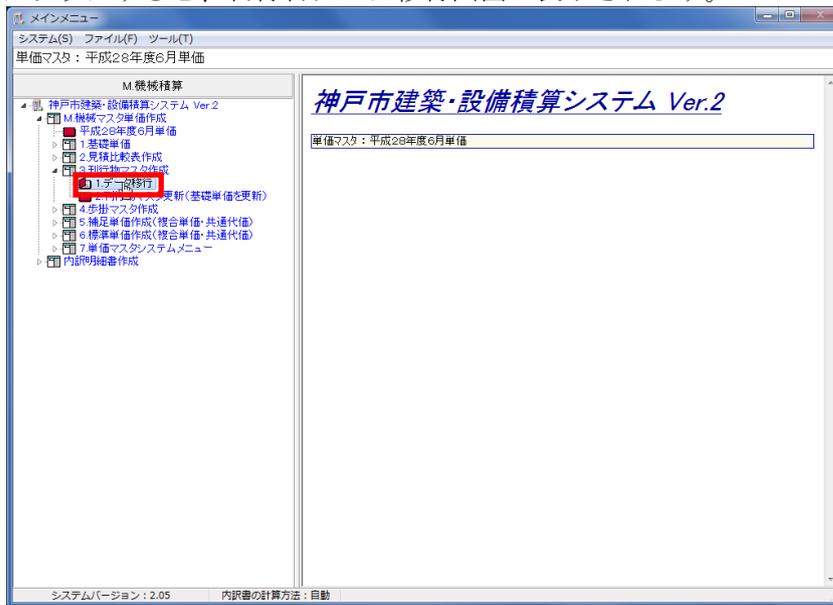
## § 7. 刊行物マスタ

### A. データ移行

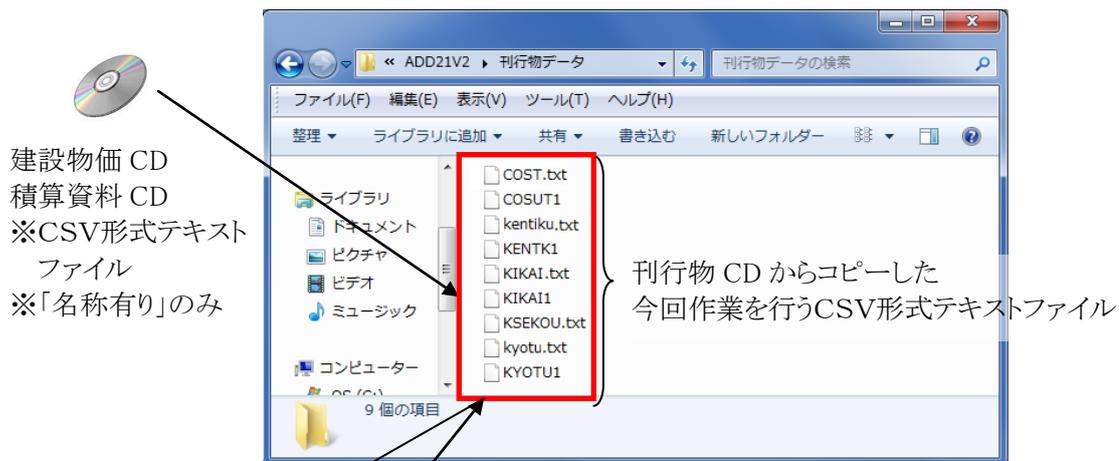
※刊行物データ（「建設物価」及び「積算資料」CSV形式テキストファイル（名称有りのみ））を当システムに読み込みできる形式に変換処理を行います。

（ファイルレイアウト変更前の平成27年（2015年）9月単価作成分までは、固定長テキストファイル（名称有り・無し）にて変換処理をしていましたが、平成27年（2015年）10月単価以降はCSV形式テキストファイル（名称有りのみ）にて変換処理する仕様に変更となりました。）

①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[3. 刊行物マスタ作成]→[1. データ移行]をダブルクリックすると、刊行物データ移行画面が表示されます。

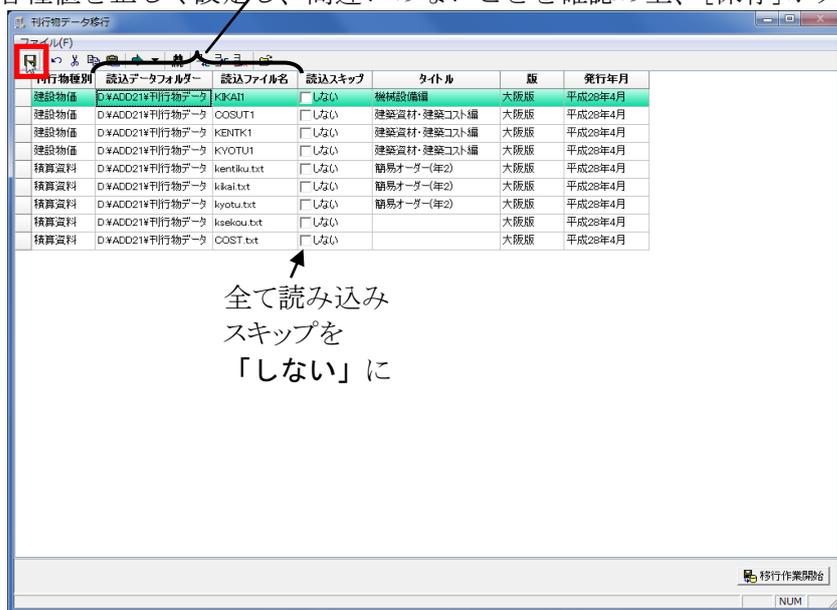


②刊行物データ CD から、読込データフォルダーにコピーして下さい。



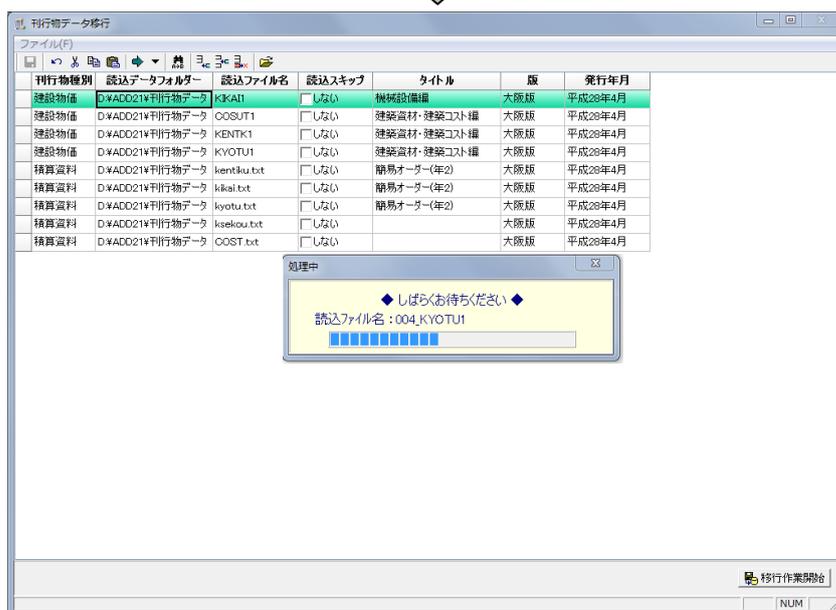
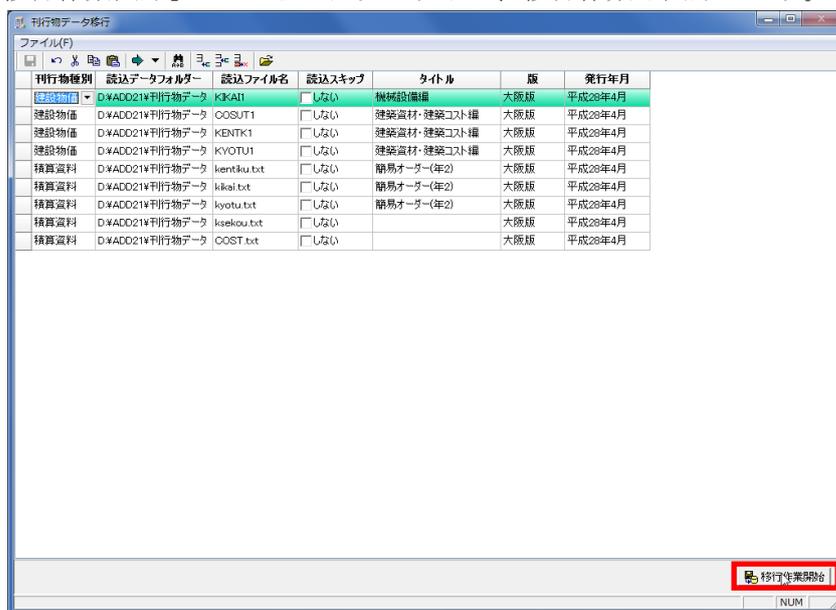
このフォルダーに保存  
してあるCSV形式  
テキストファイルを  
刊行物マスタに移行する

③各種値を正しく設定し、間違いのないことを確認の上、[保存]ボタンをクリックして下さい。



※ファイル数の増減やファイル名が変更されることがありますので、変更があった際はその都度適切な値を設定して下さい。

④ [移行作業開始] ボタンをクリックすると、移行作業を開始します。

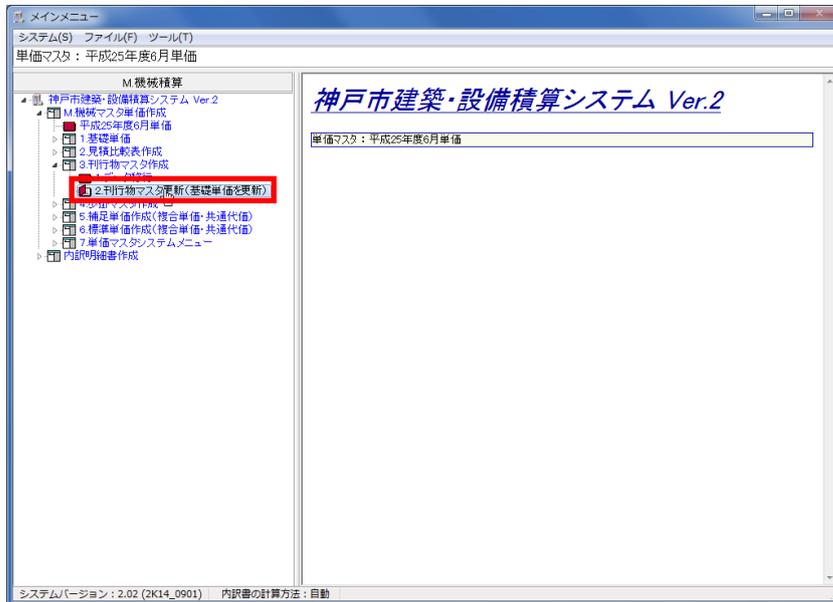


⑤ 移行作業が完了すると、刊行物データ移行画面が自動的に閉じ、メインメニューが表示されます。

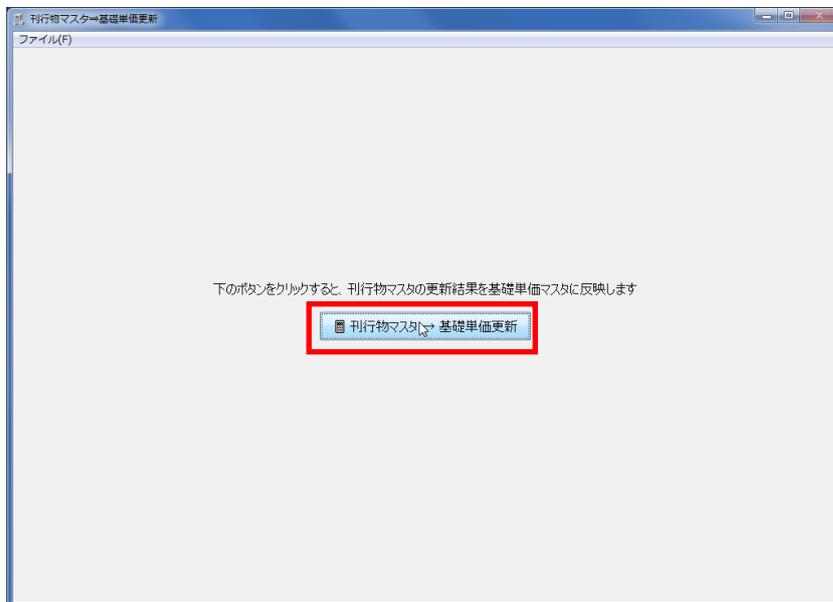
## B. 刊行物マスタ更新（基礎単価を更新）

※刊行物マスタの刊行物単価コードが入力されている基礎単価に対して、更新処理を行います。

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[3. 刊行物マスタ作成]→[2. 刊行物マスタ更新（基礎単価を更新）]をダブルクリックすると、刊行物マスタ→基礎単価更新画面が表示されます。

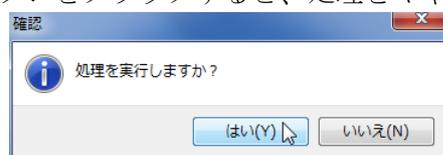


- ②[刊行物マスタ→基礎単価更新]ボタンをクリックして下さい。



- ③[はい(Y)]ボタンをクリックすると、基礎単価マスタに値が反映されます。

[いいえ(N)]ボタンをクリックすると、処理をキャンセルします。



- ④作業が完了すると、刊行物データ移行画面が自動的に閉じ、メインメニューが表示されます。

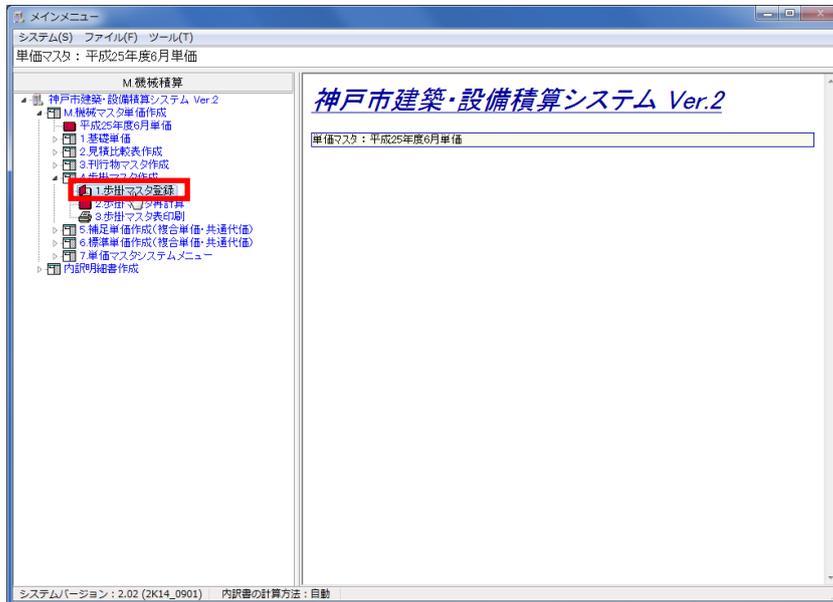
- ⑤基礎単価を再計算して下さい（P41 参照）。

## § 8. 歩掛マスタ

### A. 歩掛マスタ登録

#### 1. 歩掛マスタ登録画面の表示

①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[4. 歩掛マスタ作成]→[1. 歩掛マスタ登録]をダブルクリックすると、歩掛マスタ登録画面が表示されます。

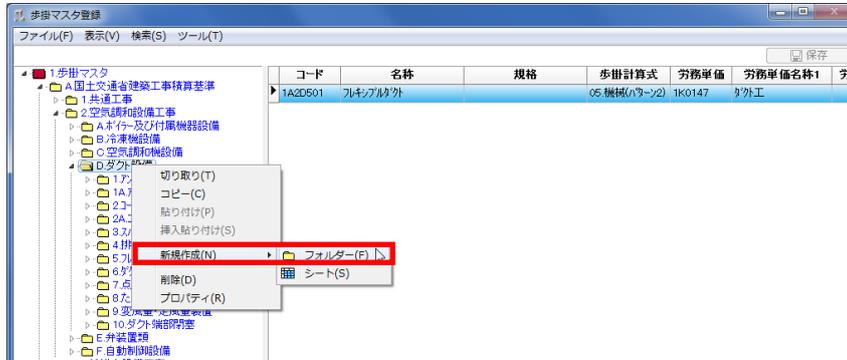


| コード      | 名称                 | 規格           | 歩掛計算式        | 労務単価   | 労務単価名称1 |
|----------|--------------------|--------------|--------------|--------|---------|
| 1A1A011  | (1) SGP-PA(給水・冷却)  | 屋内一般配管       | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A011a | (1) SGP-PA(給水・冷却)  | 屋内一般配管(撤去代価) | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A012  | (1) SGP-PA(給水・冷却)  | 機械室・便所配管     | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A012a | (1) SGP-PA(給水・冷却)  | 機械室・便所配管(撤去) | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A013  | (1) SGP-PA(給水・冷却)  | 屋外配管         | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A014  | (1) SGP-PA(給水・冷却)  | 地中配管         | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A021  | (2) SGP-FBI(給水・冷却) | 屋内一般配管       | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A021a | (2) SGP-FBI(給水・冷却) | 屋内一般配管(撤去代価) | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A022  | (2) SGP-FBI(給水・冷却) | 機械室・便所配管     | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A022a | (2) SGP-FBI(給水・冷却) | 機械室・便所配管(撤去) | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A023  | (2) SGP-FBI(給水・冷却) | 屋外配管         | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A024  | (2) SGP-FBI(給水・冷却) | 地中配管         | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A034  | (3) SGP-FDI(給水・冷却) | 地中配管         | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A041  | (4) SGP-FPA(給水・冷却) | 屋内一般配管       | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A041a | (4) SGP-FPA(給水・冷却) | 屋内一般配管(撤去代価) | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A042  | (4) SGP-FPA(給水・冷却) | 機械室・便所配管     | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A042a | (4) SGP-FPA(給水・冷却) | 機械室・便所配管(撤去) | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A043  | (4) SGP-FPA(給水・冷却) | 屋外配管         | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A044  | (4) SGP-FPA(給水・冷却) | 地中配管         | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A051  | (5) SGP-FPB(給水・冷却) | 屋内一般配管       | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A051a | (5) SGP-FPB(給水・冷却) | 屋内一般配管(撤去代価) | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A052  | (5) SGP-FPB(給水・冷却) | 機械室・便所配管     | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A052a | (5) SGP-FPB(給水・冷却) | 機械室・便所配管(撤去) | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A053  | (5) SGP-FPB(給水・冷却) | 屋外配管         | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A054  | (5) SGP-FPB(給水・冷却) | 地中配管         | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A064  | (6) SGP-FPD(給水・冷却) | 地中配管         | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |
| 1A1A071  | (7) SGP-VA(給水・冷却)  | 屋内一般配管       | 04.機械(170→1) | 1K0136 | 配管工     |

## 2. 新規歩掛の登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定

### (1) フォルダーの新規作成

①フォルダーを追加したいフォルダーを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[フォルダー(F)]をクリックして下さい。



②各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、「OK」ボタンをクリックして下さい。

入力した文字列をツリービューに表示する。

- ・フォルダーテキストのみ  
フォルダーテキストのみに反映する。
- ・歩掛コードグループ【名称】に反映  
シートのプロパティで連動するように設定した場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された歩掛コードグループの【名称】にも反映する。
- ・歩掛コードグループ【規格】に反映  
シートのプロパティで連動するように設定した場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された歩掛コードグループの【規格】にも反映する。

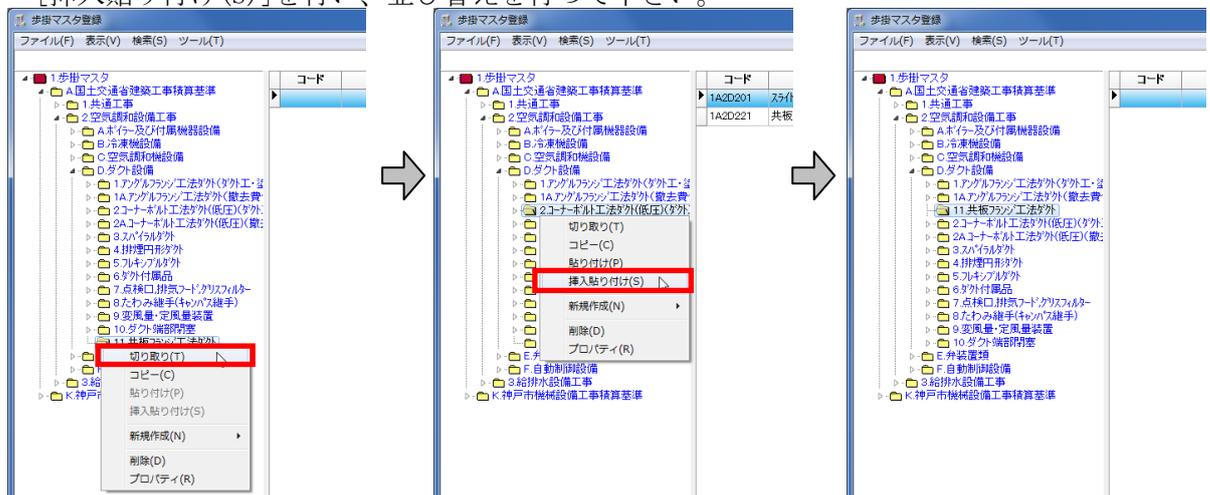
フォルダーの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された歩掛の歩掛コードに反映する場合はチェックを入れる。

フォルダーテキストの前に付くコードを設定する。

フォルダーの表示色を選択。

新規作成時は必ず階層中の並びの一番下に作成されますので、順番を並び替える必要があれば、右クリック→[切り取り(T)]→挿入後に一つ下にしたいフォルダーを選択→右クリック→[挿入貼り付け(S)]を行い、並び替えを行って下さい。

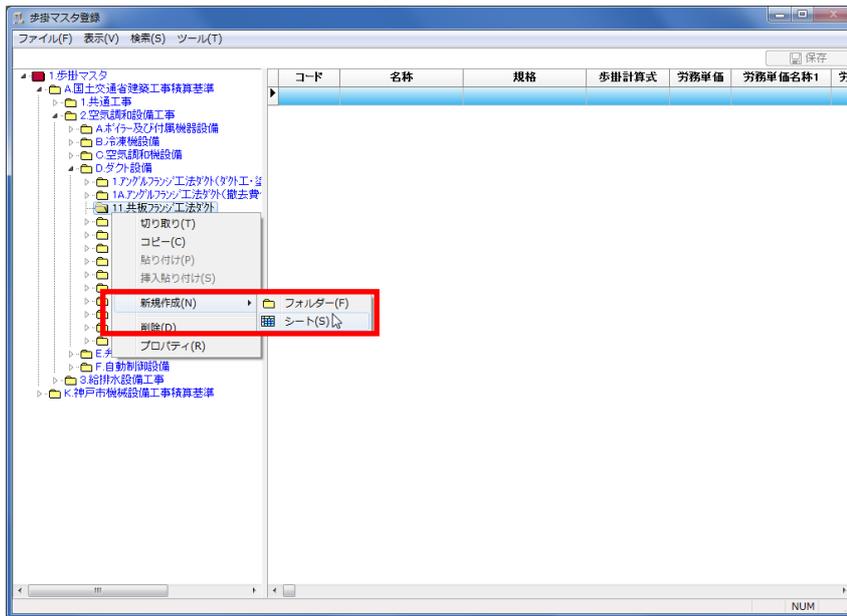


## (2) 歩掛シートの新規作成 (新たな歩掛シートを作成)

①新規作成したい場所のフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[シート(S)]をクリックして下さい。

※右クリック時にフォルダーを選択している場合、そのフォルダー階層の一番下に新規歩掛シートが作成されます。

※右クリック時に歩掛シートを選択している場合、その歩掛シートの一つ前の並びに新規歩掛シートが作成されます。



②各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。

入力した文字列をツリービューに表示する。

任意コードを歩掛グループコードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

シートテキストの前に付くコードを設定する。

シートテキストのみに反映する。

フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格に自動的に設定する。

名称、規格の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された歩掛コードグループの【名称】にも反映する。

名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された歩掛コードグループの【規格・仕様】にも反映する。

③歩掛の各種項目を編集して下さい (P103～参照)。

(3) 歩掛シートの新規作成 (既存の歩掛シートの情報を流用する場合)

①情報を流用したいシートを選択し、右クリック→[コピー(C)]→新規作成したい場所のフォルダを選択し、[貼り付け(P)]をクリックして下さい。

※既存のシートの中に新規シートを挿入したい場合は、右クリック→[コピー(C)]→挿入後に下にしたいシートを選択→右クリック[挿入貼り付け(S)]をクリックして下さい。  
このままでは歩掛コードが重複するため、シートプロパティを変更します。

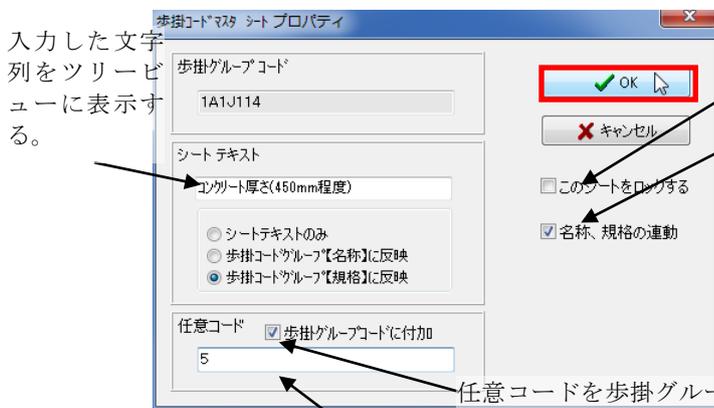
②追加した歩掛シートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



③任意コードを変更し、各種項目を設定して下さい。

(任意コードは、必ず、重複しないコードを設定して下さい。)

設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。



入力した文字列をツリービューに表示する。

任意コードを歩掛グループコードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

シートテキストの前に付くコードを設定する。

シートの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格に自動的に設定する。

・シートテキストのみ

シートテキストのみに反映する。

・歩掛コードグループ【名称】に反映

名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダ以下の階層に含まれるシートで登録された歩掛コードグループの【名称】にも反映する。

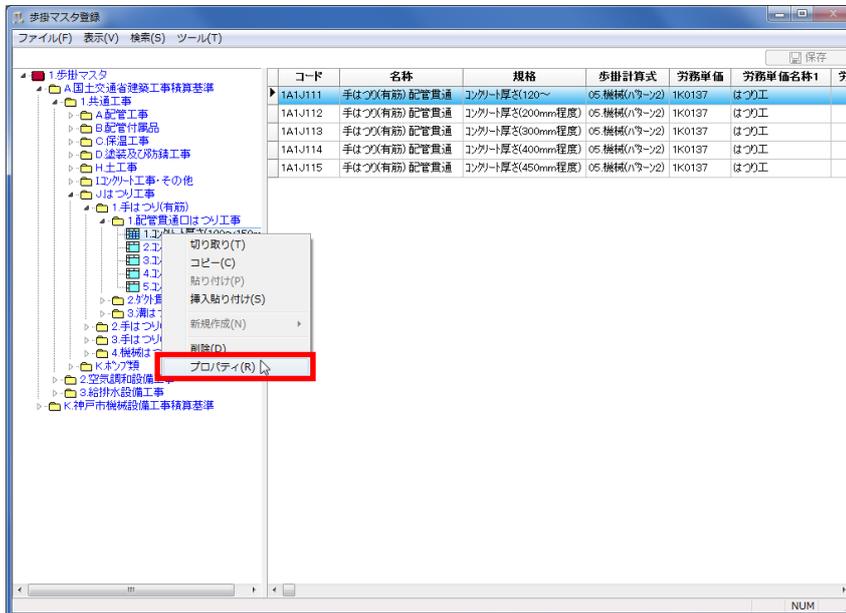
・歩掛コードグループ【規格・仕様】に反映

名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダ以下の階層に含まれるシートで登録された歩掛コードグループの【規格・仕様】にも反映する。

④歩掛の各種項目を編集して下さい (P103~参照)。

#### (4) フォルダー・シートプロパティの設定

- ① プロパティを設定したいフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



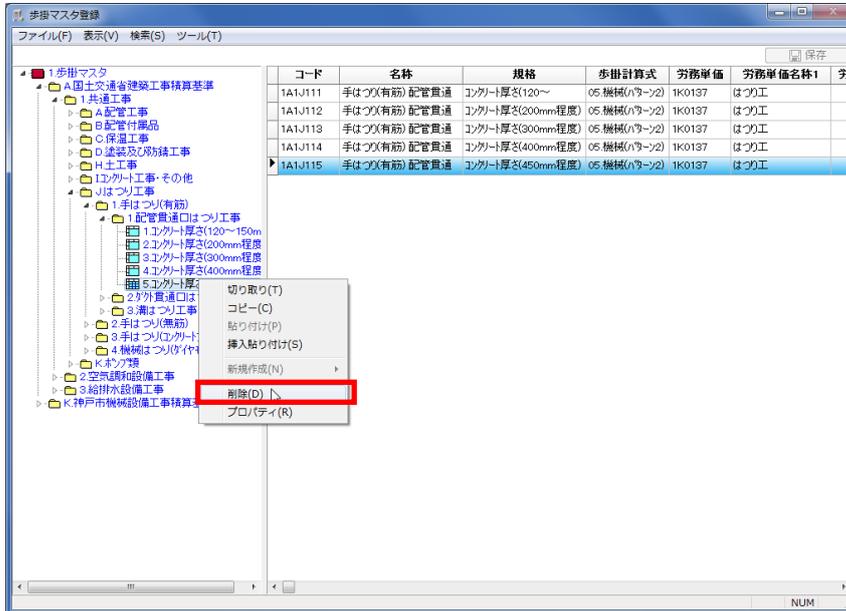
- ② フォルダープロパティ・シートプロパティを設定し、[OK]ボタンをクリックして下さい。  
 ※注意点は、本項の「(1) フォルダーの新規作成 (P97)」・「(2) 歩掛シートの新規作成 (P98)」を参照して下さい。



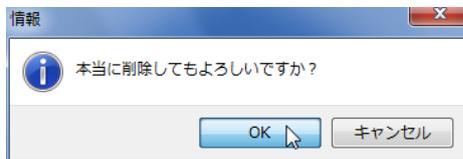
### (5) フォルダー・シートの削除

※削除を行うと、元に戻すことはできません。また、補足単価や標準単価（複合単価）に使用している場合は、基礎単価に関する情報が消えますので慎重に行ってください。

①削除したいフォルダー・シートを選択し、右クリック→[削除(D)]をクリックして下さい。

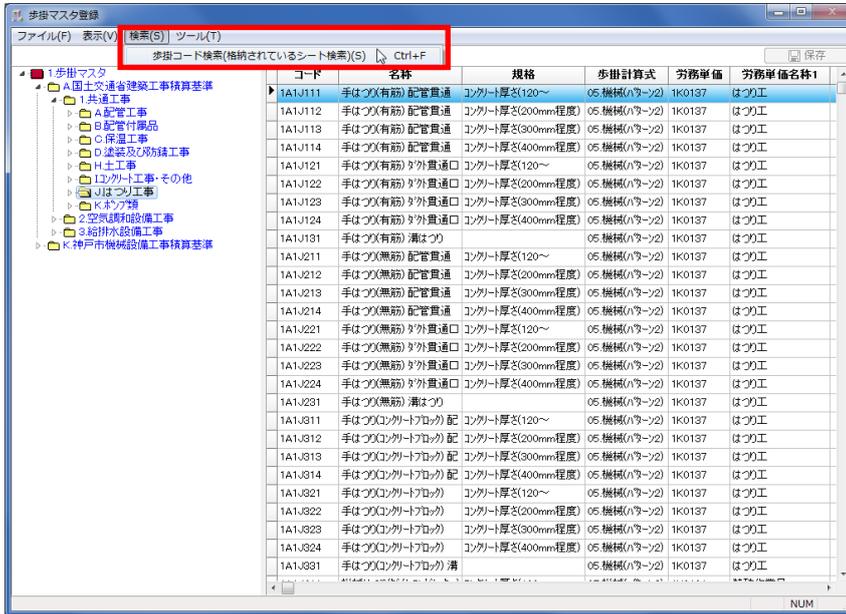


②[OK]ボタンをクリックすると、削除処理が行われます。[キャンセル]ボタンをクリックすると中止します。

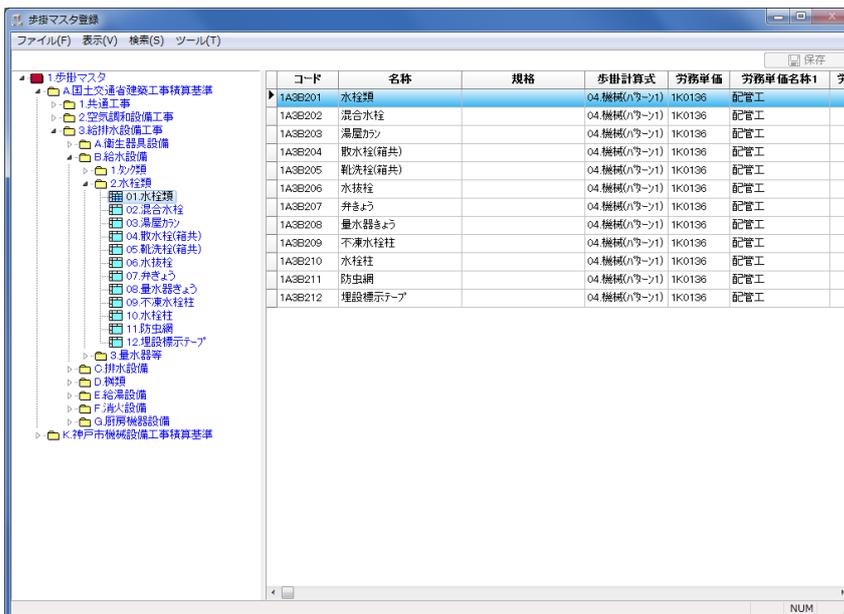
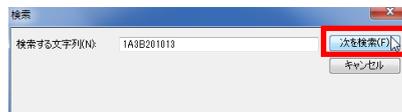


### 3. 歩掛コードの検索

- ① [検索(S)] → [歩掛コード検索 (格納されているシートを検索) (Ctrl+F)] をクリックして下さい。



- ② 検索したい単価コードを入力し、[次を検索(F)] ボタンをクリックして下さい。歩掛マスタに歩掛コードが存在する場合はその歩掛コードを格納されている歩掛シートに移動します。



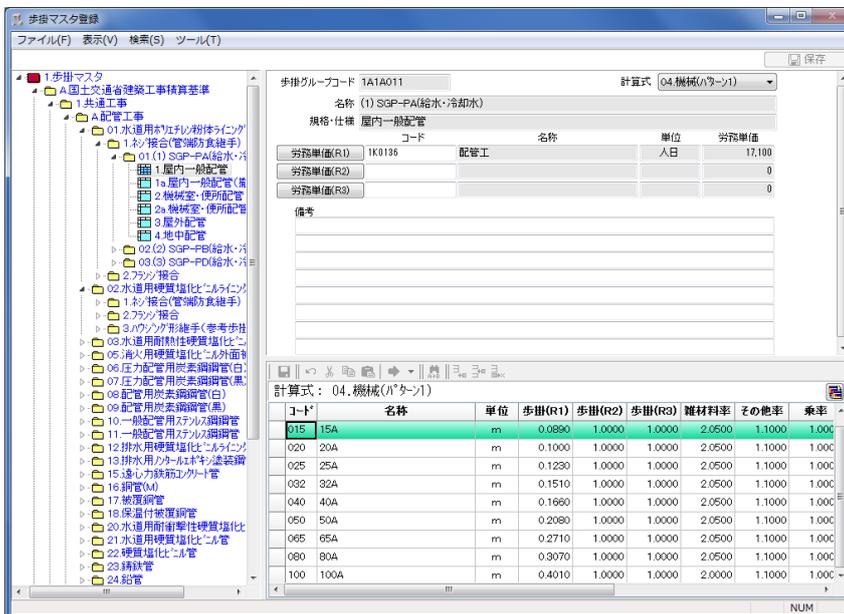
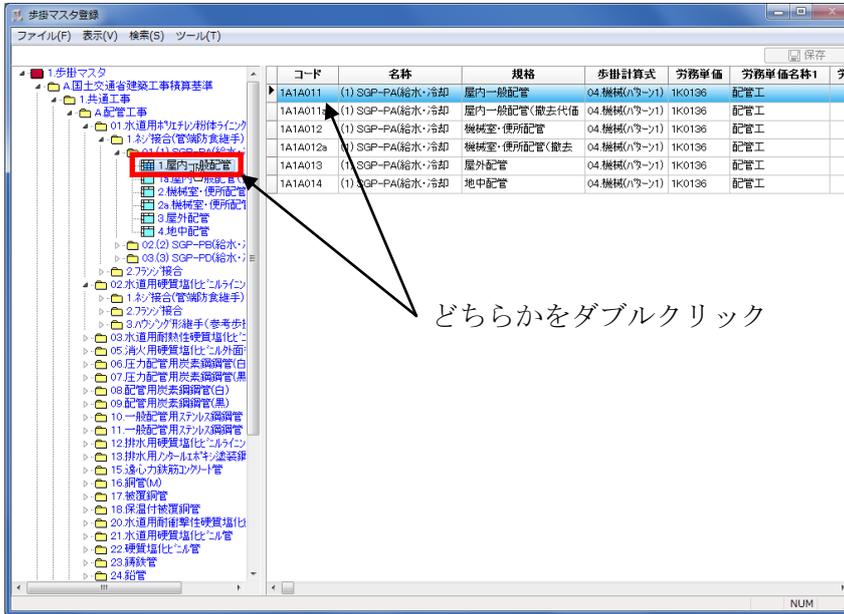
見つからなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



#### 4. 歩掛の各種項目の編集

①編集を行いたい歩掛シートを選択し、ダブルクリックすると、画面右側の歩掛グループリスト表示部が歩掛編集表示に切り替わります。

(歩掛グループリスト表示部の、編集を行いたい行をダブルクリックしても同様の処理となります)



②各種項目を設定し、[更新(計算)]ボタンをクリックして下さい。

The screenshot displays the '歩掛マスタ登録' (Step Rate Master Registration) software. The main window shows a tree view of work items on the left, a detailed view of a selected item '1A1A011' in the center, and a '労働単価選択' (Labor Unit Selection) dialog box on the right. The dialog box lists various labor units with their codes, names, specifications, units, and unit prices. A red box highlights the '保存' (Save) button in the top right of the main window.

労働単価選択 (Labor Unit Selection) Dialog Box Data:

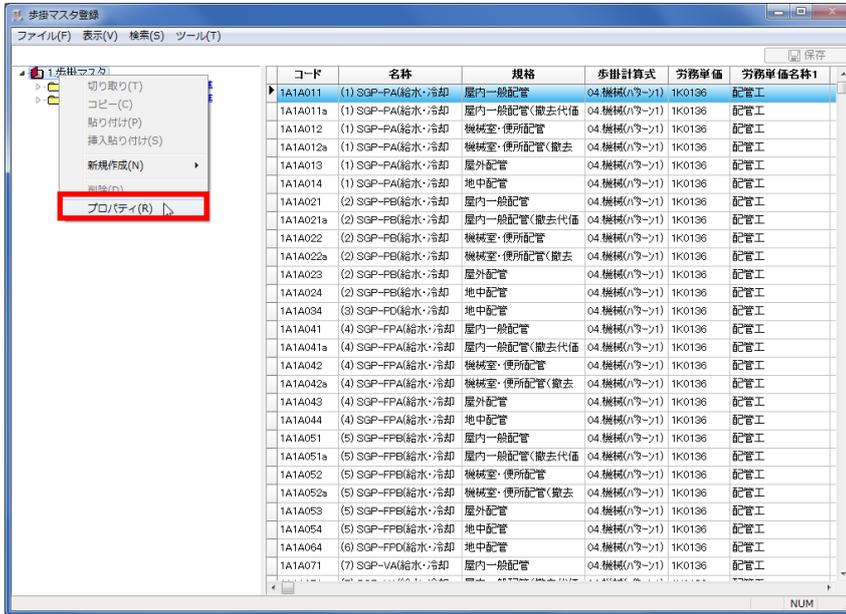
| コード    | 名称      | 規格・仕様 | 単位 | 単価     |
|--------|---------|-------|----|--------|
| 1K0101 | 特殊作業員   |       | 人日 | 17,100 |
| 1K0102 | 普通作業員   |       | 人日 | 15,100 |
| 1K0106 | とび工     |       | 人日 | 18,400 |
| 1K0109 | 電工      |       | 人日 | 17,900 |
| 1K0110 | 鉄筋工     |       | 人日 | 17,400 |
| 1K0111 | 溶接工     |       | 人日 | 17,100 |
| 1K0112 | 塗装工     |       | 人日 | 18,300 |
| 1K0113 | 溶接工     |       | 人日 | 19,600 |
| 1K0114 | 運転手(特殊) |       | 人日 | 17,300 |
| 1K0115 | 運転手(一般) |       | 人日 | 15,600 |
| 1K0133 | 型枠工     |       | 人日 | 18,900 |
| 1K0135 | 左官      |       | 人日 | 17,900 |
| 1K0136 | 配管工     |       | 人日 | 17,100 |
| 1K0137 | はつ工     |       | 人日 | 18,700 |

## 5. 歩掛マスタ登録画面 その他の機能について

### (1) ルートプロパティ

歩掛マスタの基本設定を行います。

- ① ツリービューの一番上にある赤色のフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



- ② 各種項目を設定の上、[OK] ボタンをクリックして下さい。

- ◆ ルートプロパティ (ルートフォルダーのプロパティ及び労務単価の表示設定を行う)



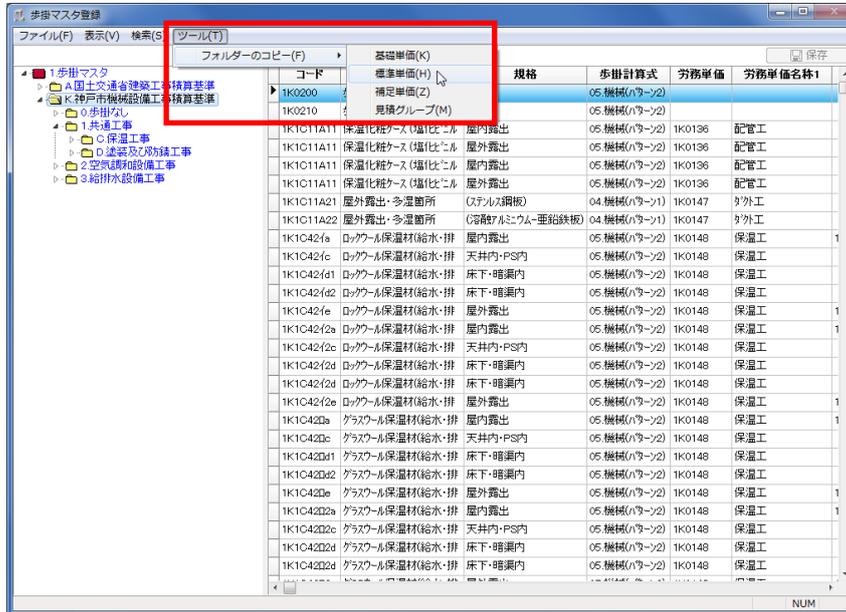
- ◆ フォルダプロパティ (新規作成時) 初期値 ◆ シートプロパティ (新規作成時) 初期値



## (2) フォルダのコピー ([ツール(T)]メニュー)

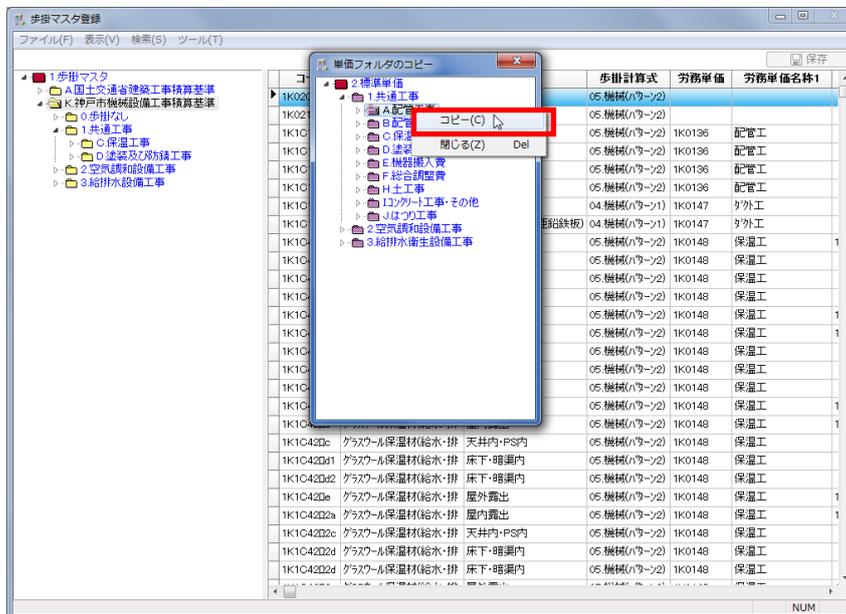
他の単価マスタのフォルダ階層構造 (そのフォルダ階層下に含まれるフォルダを全て) をコピーする機能です (フォルダ階層の中のシートはコピーされません)。

- ① [ツール(T)] → 「フォルダのコピー(F)」 → [フォルダ階層をコピーしたい単価マスタ名] をクリックすると、フォルダ選択画面が表示されます。

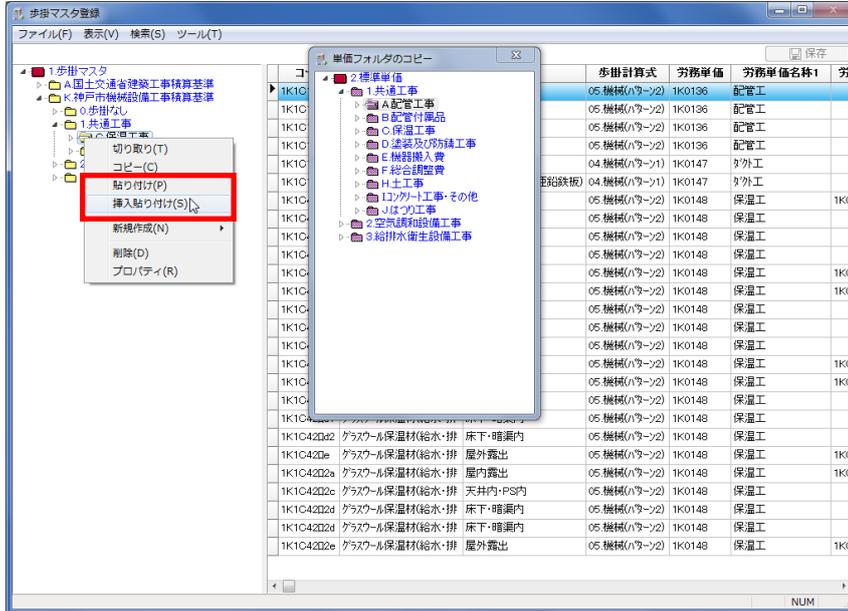


- ② コピーしたいフォルダを選択し、右クリック → [コピー(C)] をクリックして下さい。  
(コピーしたフォルダ情報が記憶されます)

※フォルダ選択画面は貼り付け操作を行うまで閉じないで下さい。



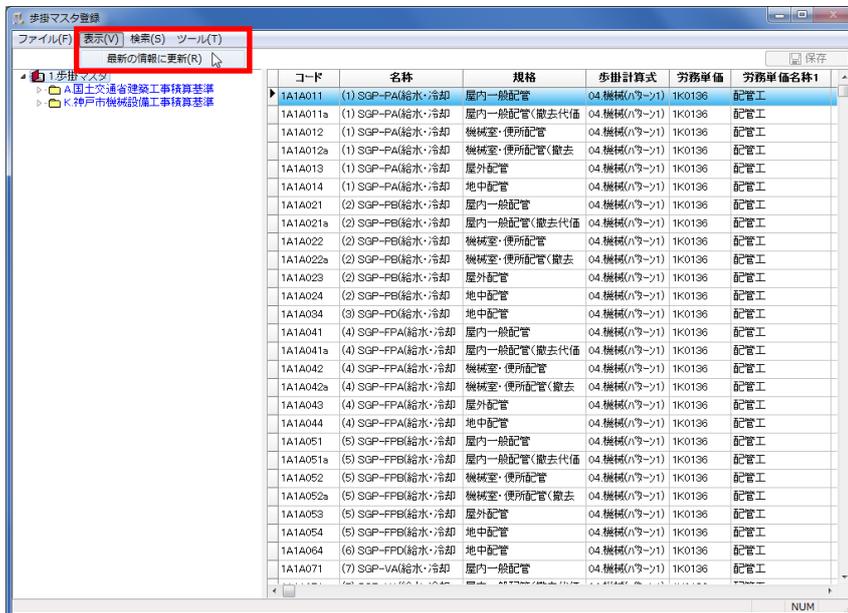
- ③貼り付けを行いたいフォルダー階層を選択し、右クリック→[貼り付け(P)]または[挿入貼り付け(S)]をクリックすると、フォルダー階層の貼り付けが行われます。



### (3) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)

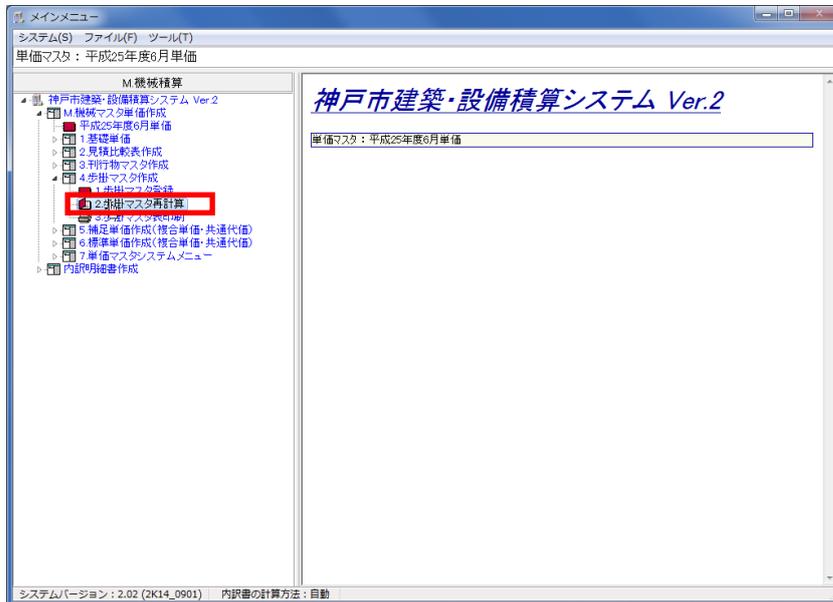
マスターデータベースの内容を再読み込みします (特に使用することはありません)。

- ①[表示(V)]→[最新の情報に更新(R)]をクリックして下さい。

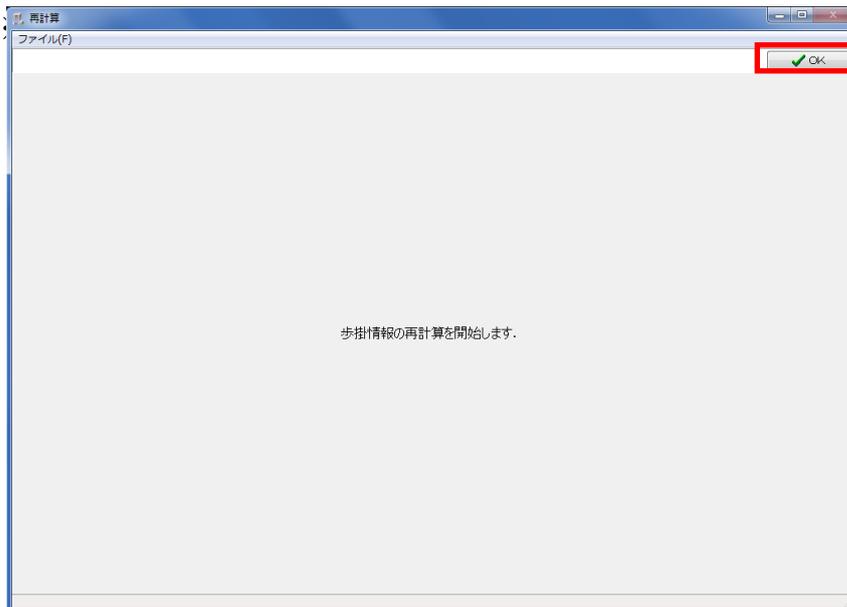


## B. 歩掛マスタ再計算

①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[4. 歩掛マスタ作成]→[2. 歩掛マスタ再計算]をダブルクリックすると、歩掛マスタ再計算画面が表示されます。

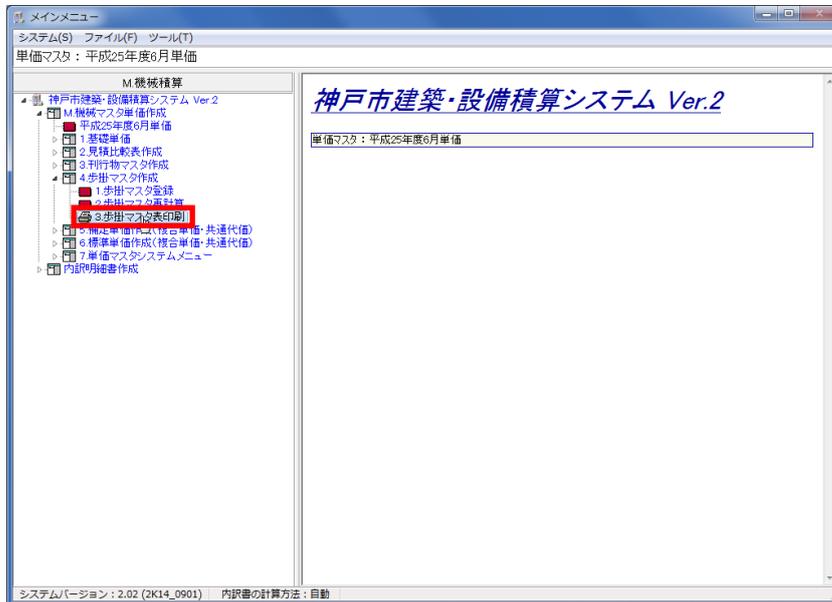


②[OK]ボタンをクリックすると、歩掛情報の再計算を開始します。



### C. 歩掛マスタ印刷

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[4. 歩掛マスタ作成]→[3. 歩掛マスタ印刷]をダブルクリックすると、歩掛マスタ印刷画面が表示されます。



②各種項目を設定し、[印刷]（「Excel ファイルへ出力」を「する」にしている場合は[出力]）ボタンをクリックして下さい

The screenshot shows the 'Step Print Settings' dialog box. On the left, there is a file selection tree. The main area contains the following settings:

- 基本設定
  - マスタ種別: 機械
  - 頁番号初期値: 指定
  - 頁番号印刷:  する  しない
  - コードの印刷:  する  しない
  - 単価の印刷:  金入り  金抜き
  - 日付の印刷:  する  しない
  - 印刷プレビュー:  する  しない
  - Excelファイルへ出力 (印刷処理は行いません):  する  しない
  - 標準単価表印刷:  歩掛表  コード一覧
  - チェックリスト出力(コードの重複)

Arrows point from the following text to the corresponding settings in the dialog:

- ページ番号の開始番号を変更する場合の設定
- ページ番号を印刷するか
- コードの印刷をするか
- 「金入り」・「金抜き」の設定
- 日付の印刷をするかしないか
- 印刷プレビューをするかしないか (Excel 出力時は無効)
- 帳票を Excel 出力するかしないか
- 出力したい帳票様式を選択
- チェックリストを出力する場合の設定

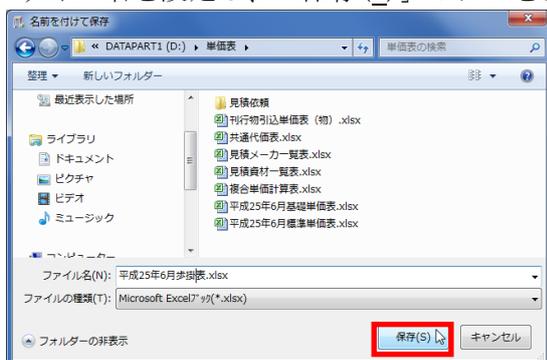
The '印刷' button is highlighted with a red box.

※ルートフォルダー以外を選択すると、部分出力が可能です。

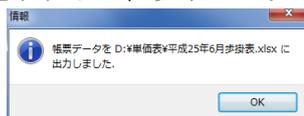
※思い通りの出力結果になるように、設定項目を適宜変更して下さい。

③「印刷プレビュー」を「する」にした場合は、Excel の画面で印刷プレビュー画面が表示されます。Excel の印刷プレビューからの印刷操作方法で印刷を行って下さい。

「Excel 出力」を「する」に設定した場合は、以下の画面が表示されます。保存先及びファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



帳票の Excel 出力が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



※Excel で開く際は、上図のメッセージを閉じてから開いて下さい。

帳票イメージ  
標準歩掛表

機械 平成25年度6月単価

標準歩掛表

平成 年 月 日  
1頁

フォルダ: A 国土交通省建築工事積算基準 > 1.共通工事 > A.配管工事 > 01.水道用(ポリエチレン)鋼管 > 1.3) 接合(管端防食継手) > 01.(1) SGP-PA(給水・冷却水)

歩掛グループコード: 1A1A011

名称: (1) SGP-PA(給水・冷却水)

規格: 屋内一般配管

計算式: 04.機械(バタン)

| コード      | 名称         | 単位 | 単価     |
|----------|------------|----|--------|
| 労務単価(R1) | IK0136 配管工 | 人日 | 17.100 |
| 労務単価(R2) |            |    |        |
| 労務単価(R3) |            |    |        |

1ページ

| 歩掛コード      | 名称   | 単位 | 歩掛(R1) | 歩掛(R2) | 歩掛(R3) | 雑材料率   | その他率   | 乗率     | 歩掛乗率1  | 歩掛乗率2  | 歩掛乗率3  | 摘要 |
|------------|------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 1A1A011015 | 15A  | m  | 0.0890 | 1.0000 | 1.0000 | 2.0500 | 1.1000 | 1.0000 | 1.0800 | 1.0000 | 1.0000 |    |
| 1A1A011020 | 20A  | m  | 0.1000 | 1.0000 | 1.0000 | 2.0500 | 1.1000 | 1.0000 | 1.0800 | 1.0000 | 1.0000 |    |
| 1A1A011025 | 25A  | m  | 0.1230 | 1.0000 | 1.0000 | 2.0500 | 1.1000 | 1.0000 | 1.0800 | 1.0000 | 1.0000 |    |
| 1A1A011032 | 32A  | m  | 0.1510 | 1.0000 | 1.0000 | 2.0500 | 1.1000 | 1.0000 | 1.0800 | 1.0000 | 1.0000 |    |
| 1A1A011040 | 40A  | m  | 0.1660 | 1.0000 | 1.0000 | 2.0500 | 1.1000 | 1.0000 | 1.0800 | 1.0000 | 1.0000 |    |
| 1A1A011050 | 50A  | m  | 0.2080 | 1.0000 | 1.0000 | 2.0500 | 1.1000 | 1.0000 | 1.0800 | 1.0000 | 1.0000 |    |
| 1A1A011065 | 65A  | m  | 0.2710 | 1.0000 | 1.0000 | 2.0500 | 1.1000 | 1.0000 | 1.0800 | 1.0000 | 1.0000 |    |
| 1A1A011080 | 80A  | m  | 0.3070 | 1.0000 | 1.0000 | 2.0500 | 1.1000 | 1.0000 | 1.0800 | 1.0000 | 1.0000 |    |
| 1A1A011100 | 100A | m  | 0.4010 | 1.0000 | 1.0000 | 2.0000 | 1.1000 | 1.0000 | 1.0800 | 1.0000 | 1.0000 |    |
| 摘要:        |      |    |        |        |        |        |        |        |        |        |        |    |

神戸市

歩掛コード一覧表

機械 平成25年度6月単価

歩掛マスタ グループコード一覧表

平成 年 月 日  
1頁

| 階層                     | グループコード  | 名称                  | 規格              | 計算式        |
|------------------------|----------|---------------------|-----------------|------------|
| 1.歩掛マスタ                |          |                     |                 |            |
| A.国土交通省建築工事積算基準        |          |                     |                 |            |
| 1.共通工事                 |          |                     |                 |            |
| A.配管工事                 |          |                     |                 |            |
| 01.水道用(ポリエチレン)鋼管       |          |                     |                 |            |
| 1.3) 接合(管端防食継手)        |          |                     |                 |            |
| 01.(1) SGP-PA(給水・冷却水)  |          |                     |                 |            |
| 1.屋内一般配管               | 1A1A011  | (1) SGP-PA(給水・冷却水)  | 屋内一般配管          | 04.機械(バタン) |
| 1a.屋内一般配管(撤去代価用)       | 1A1A011a | (1) SGP-PA(給水・冷却水)  | 屋内一般配管(撤去代価用)   | 04.機械(バタン) |
| 2.機械室・便所配管             | 1A1A012  | (1) SGP-PA(給水・冷却水)  | 機械室・便所配管        | 04.機械(バタン) |
| 2a.機械室・便所配管(撤去代価用)     | 1A1A012a | (1) SGP-PA(給水・冷却水)  | 機械室・便所配管(撤去代価用) | 04.機械(バタン) |
| 3.屋外配管                 | 1A1A013  | (1) SGP-PA(給水・冷却水)  | 屋外配管            | 04.機械(バタン) |
| 4.地中配管                 | 1A1A014  | (1) SGP-PA(給水・冷却水)  | 地中配管            | 04.機械(バタン) |
| 02.(2) SGP-PB(給水・冷却水)  |          |                     |                 |            |
| 1.屋内一般配管               | 1A1A021  | (2) SGP-PB(給水・冷却水)  | 屋内一般配管          | 04.機械(バタン) |
| 1a.屋内一般配管(撤去代価用)       | 1A1A021a | (2) SGP-PB(給水・冷却水)  | 屋内一般配管(撤去代価用)   | 04.機械(バタン) |
| 2.機械室・便所配管             | 1A1A022  | (2) SGP-PB(給水・冷却水)  | 機械室・便所配管        | 04.機械(バタン) |
| 2a.機械室・便所配管(撤去代価用)     | 1A1A022a | (2) SGP-PB(給水・冷却水)  | 機械室・便所配管(撤去代価用) | 04.機械(バタン) |
| 3.屋外配管                 | 1A1A023  | (2) SGP-PB(給水・冷却水)  | 屋外配管            | 04.機械(バタン) |
| 4.地中配管                 | 1A1A024  | (2) SGP-PB(給水・冷却水)  | 地中配管            | 04.機械(バタン) |
| 03.(3) SGP-PD(給水・冷却水)  |          |                     |                 |            |
| 4.地中配管                 | 1A1A034  | (3) SGP-PD(給水・冷却水)  | 地中配管            | 04.機械(バタン) |
| 2.フランジ接合               |          |                     |                 |            |
| 04.(4) SGP-FPA(給水・冷却水) |          |                     |                 |            |
| 1.屋内一般配管               | 1A1A041  | (4) SGP-FPA(給水・冷却水) | 屋内一般配管          | 04.機械(バタン) |
| 1a.屋内一般配管(撤去代価用)       | 1A1A041a | (4) SGP-FPA(給水・冷却水) | 屋内一般配管(撤去代価用)   | 04.機械(バタン) |
| 2.機械室・便所配管             | 1A1A042  | (4) SGP-FPA(給水・冷却水) | 機械室・便所配管        | 04.機械(バタン) |
| 2a.機械室・便所配管(撤去代価用)     | 1A1A042a | (4) SGP-FPA(給水・冷却水) | 機械室・便所配管(撤去代価用) | 04.機械(バタン) |
| 3.屋外配管                 | 1A1A043  | (4) SGP-FPA(給水・冷却水) | 屋外配管            | 04.機械(バタン) |
| 4.地中配管                 | 1A1A044  | (4) SGP-FPA(給水・冷却水) | 地中配管            | 04.機械(バタン) |
| 05.(5) SGP-FPB(給水・冷却水) |          |                     |                 |            |
| 1.屋内一般配管               | 1A1A051  | (5) SGP-FPB(給水・冷却水) | 屋内一般配管          | 04.機械(バタン) |
| 1a.屋内一般配管(撤去代価用)       | 1A1A051a | (5) SGP-FPB(給水・冷却水) | 屋内一般配管(撤去代価用)   | 04.機械(バタン) |
| 2.機械室・便所配管             | 1A1A052  | (5) SGP-FPB(給水・冷却水) | 機械室・便所配管        | 04.機械(バタン) |
| 2a.機械室・便所配管(撤去代価用)     | 1A1A052a | (5) SGP-FPB(給水・冷却水) | 機械室・便所配管(撤去代価用) | 04.機械(バタン) |
| 3.屋外配管                 | 1A1A053  | (5) SGP-FPB(給水・冷却水) | 屋外配管            | 04.機械(バタン) |
| 4.地中配管                 | 1A1A054  | (5) SGP-FPB(給水・冷却水) | 地中配管            | 04.機械(バタン) |
| 06.(6) SGP-FPD(給水・冷却水) |          |                     |                 |            |
| 4.地中配管                 | 1A1A064  | (6) SGP-FPD(給水・冷却水) | 地中配管            | 04.機械(バタン) |
| 02.水道用硬質塩化ビニル鋼管        |          |                     |                 |            |
| 1.3) 接合(管端防食継手)        |          |                     |                 |            |
| 07.(7) SGP-VA(給水・冷却水)  |          |                     |                 |            |
| 1.屋内一般配管               | 1A1A071  | (7) SGP-VA(給水・冷却水)  | 屋内一般配管          | 04.機械(バタン) |
| 1a.屋内一般配管(撤去代価用)       | 1A1A071a | (7) SGP-VA(給水・冷却水)  | 屋内一般配管(撤去代価用)   | 04.機械(バタン) |

神戸市



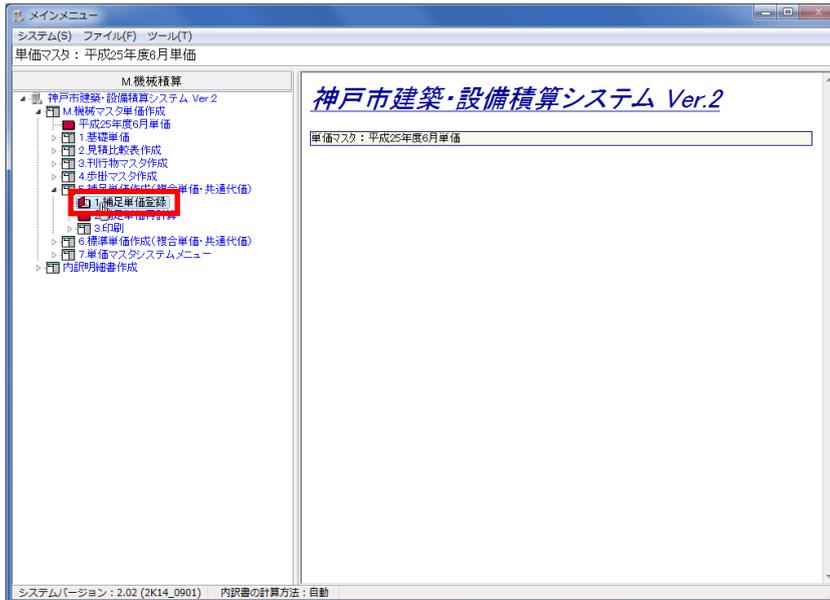
## § 9. 補足単価

- ※「補足単価マスタ」関連画面の操作方法は、「標準単価マスタ」関連画面の操作方法と同じです。
- ※「補足単価マスタ」で登録したコードは、標準単価マスタの共通代価表の積み上げ明細で使用可能です（代価の代価を作成できます）。

### A. 補足単価登録

#### 1. 補足単価登録画面の表示

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[5. 補足単価作成（複合単価・共通代価）]→[1. 補足単価登録]をダブルクリックすると、補足単価登録画面が表示されます。



| コード       | 名 称          | 規格・仕様                            | 単 位 | 単 価    |
|-----------|--------------|----------------------------------|-----|--------|
| H1A094050 | 水道用標準塩化ビニル管  | 地中配管 50A                         | m   | 5,040  |
| H1A414200 | 遠心力鉄筋コンクリート管 | H(排水)                            | m   | 9,900  |
| H1A26064  | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 6.4mm (肉厚0.8mm)  | m   | 1,200  |
| H1A26095  | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 9.5mm (肉厚0.8mm)  | m   | 1,640  |
| H1A26127  | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 12.7mm (肉厚0.8mm) | m   | 2,080  |
| H1A26159  | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 15.9mm (肉厚1.0mm) | m   | 2,660  |
| H1A26191  | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 19.1mm (肉厚1.0mm) | m   | 3,440  |
| H1A26222  | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 22.2mm (肉厚1.2mm) | m   | 3,910  |
| H1A26254  | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 25.4mm (肉厚1.3mm) | m   | 4,250  |
| H1A26286  | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 28.6mm (肉厚1.4mm) | m   | 5,000  |
| H1A26318  | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 31.8mm (肉厚1.5mm) | m   | 5,800  |
| H1A26349  | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 34.9mm (肉厚1.7mm) | m   | 6,520  |
| H1A26381  | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 38.1mm (肉厚1.8mm) | m   | 7,600  |
| H1A26445  | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 44.5mm (肉厚1.8mm) | m   | 9,000  |
| H1A26508  | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 50.8mm (肉厚2.1mm) | m   | 11,600 |
| H1A262064 | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 6.4mm (肉厚0.8mm)  | m   | 378    |
| H1A262095 | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 9.5mm (肉厚0.8mm)  | m   | 518    |
| H1A262127 | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 12.7mm (肉厚0.8mm) | m   | 697    |
| H1A262159 | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 15.9mm (肉厚1.0mm) | m   | 976    |
| H1A262191 | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 19.1mm (肉厚1.0mm) | m   | 1,480  |
| H1A262222 | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 22.2mm (肉厚1.2mm) | m   | 1,670  |
| H1A262254 | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 25.4mm (肉厚1.3mm) | m   | 1,710  |
| H1A262286 | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 28.6mm (肉厚1.4mm) | m   | 2,180  |
| H1A262318 | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 31.8mm (肉厚1.5mm) | m   | 2,640  |
| H1A262349 | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 34.9mm (肉厚1.7mm) | m   | 6,520  |
| H1A262445 | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 44.5mm (肉厚1.8mm) | m   | 4,980  |
| H1A262508 | 冷媒用被覆銅管      | Cupl断熱材付冷媒用) 外径 50.8mm (肉厚2.1mm) | m   | 6,930  |

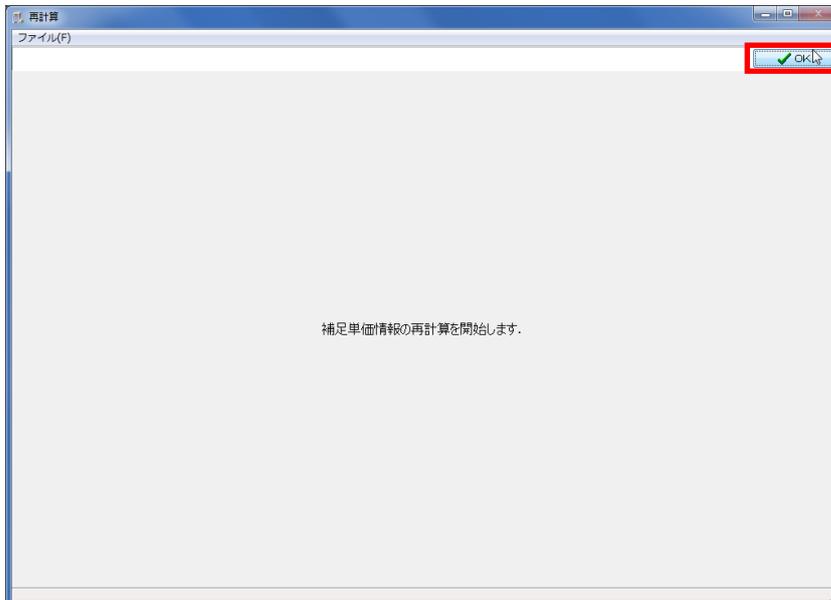
以降の解説は、次項の「§ 10. 標準単価」の「A. 標準単価登録」を参照し、「標準単価」を「補足単価」に読み替えて下さい（P116～参照）。

## B. 補足単価再計算

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[5. 補足単価]→[2. 補足単価再計算]をダブルクリックすると、補足単価再計算画面が表示されます。



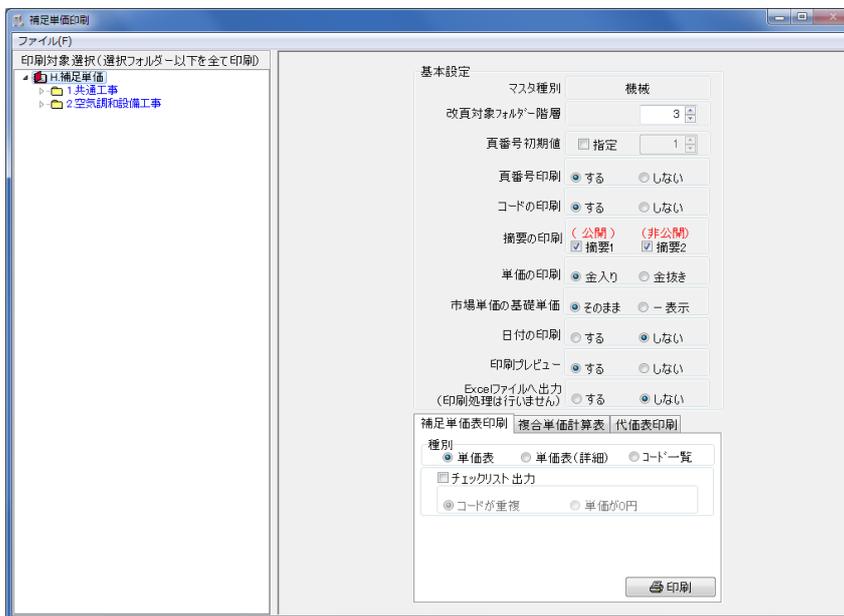
- ②[OK]ボタンをクリックすると、補足単価情報の再計算を開始します。  
※再計算には時間がかかります。再計算が終わるまでお待ち下さい。



## C. 補足単価表印刷

### (1) 補足単価印刷画面の表示

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[5. 補足単価]→[3. 印刷]→[1. 補足単価表印刷]をダブルクリックすると、補足単価印刷画面が表示されます。



以降の解説は、次項の「§ 10. 標準単価」の「C. 標準単価表印刷」を参照し、標準単価を補足単価に読み替えて下さい (P134～参照)。

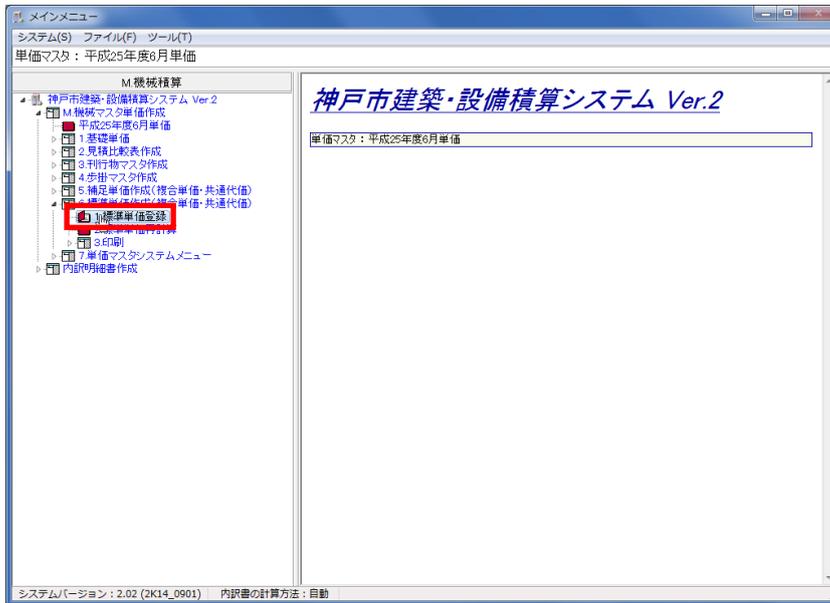
## § 10. 標準単価

※「標準単価マスタ」関連画面の操作方法は、「補足単価マスタ」関連画面の操作方法と同じです。

### A. 標準単価登録

#### 1. 標準単価登録画面の表示

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[6. 標準単価作成（複合単価・共通代価）]→[1. 標準単価登録]をダブルクリックすると、標準単価登録画面が表示されます。

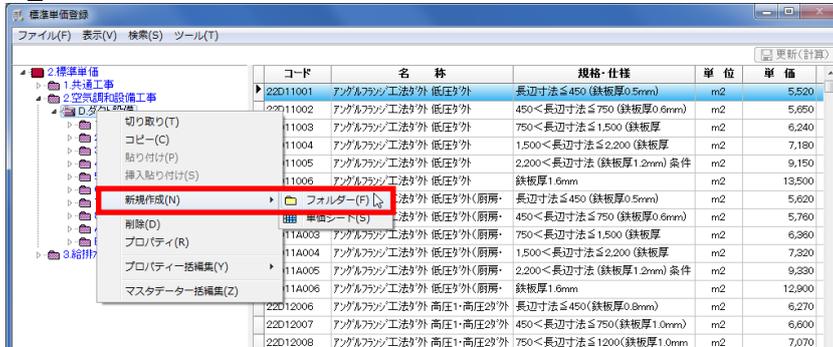


| コード       | 名称                    | 規格・仕様             | 単位 | 単価     |
|-----------|-----------------------|-------------------|----|--------|
| 21A011015 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋内一般配管 15A        | m  | 2,610  |
| 21A011020 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋内一般配管 20A        | m  | 2,920  |
| 21A011025 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋内一般配管 25A        | m  | 3,720  |
| 21A011032 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋内一般配管 32A        | m  | 4,720  |
| 21A011040 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋内一般配管 40A        | m  | 5,270  |
| 21A011050 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋内一般配管 50A        | m  | 6,800  |
| 21A011065 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋内一般配管 65A        | m  | 9,110  |
| 21A011080 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋内一般配管 80A        | m  | 10,400 |
| 21A011100 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋内一般配管 100A       | m  | 13,800 |
| 21A012015 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 機械室・便所配管 15A      | m  | 3,110  |
| 21A012020 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 機械室・便所配管 20A      | m  | 3,480  |
| 21A012025 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 機械室・便所配管 25A      | m  | 4,440  |
| 21A012032 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 機械室・便所配管 32A      | m  | 5,610  |
| 21A012040 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 機械室・便所配管 40A      | m  | 6,270  |
| 21A012050 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 機械室・便所配管 50A      | m  | 8,090  |
| 21A012065 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 機械室・便所配管 65A      | m  | 10,800 |
| 21A012080 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 機械室・便所配管 80A      | m  | 12,400 |
| 21A012100 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 機械室・便所配管 100A     | m  | 16,400 |
| 21A013015 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) | m  | 2,140  |
| 21A013020 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) | m  | 2,400  |
| 21A013025 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) | m  | 3,070  |
| 21A013032 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) | m  | 3,890  |
| 21A013040 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) | m  | 4,330  |
| 21A013050 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) | m  | 5,600  |
| 21A013065 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) | m  | 7,520  |
| 21A013080 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) | m  | 8,640  |
| 21A013100 | 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管 杉接 | 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) | m  | 11,500 |

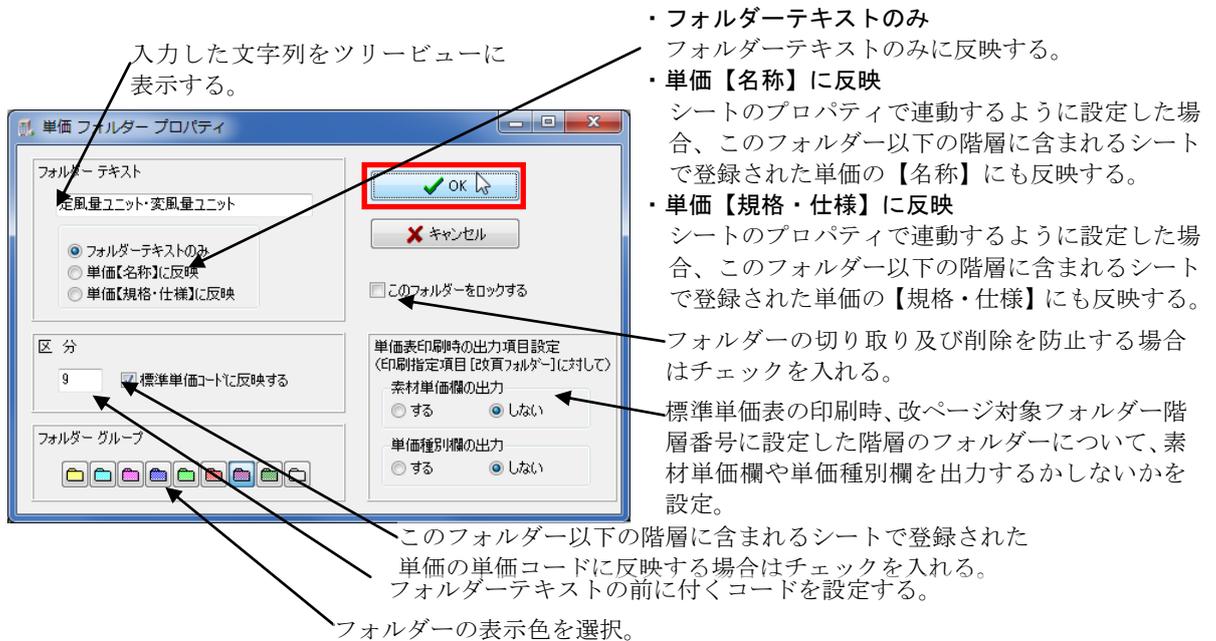
## 2. 新規標準単価の登録・削除及びフォルダー・シートプロパティの設定

### (1) フォルダーの新規作成

①フォルダーを追加したいフォルダーを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[フォルダー(F)]をクリックして下さい。



②各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、「OK」ボタンをクリックして下さい。



③新規作成時は必ず階層中の並びの一番下に作成されるので、順番を並び替える必要があれば、右クリック→[切り取り(T)]→挿入後に一つ下にしたいフォルダーを選択→右クリック→[挿入貼り付け(S)]を行い、並び替えを行って下さい。

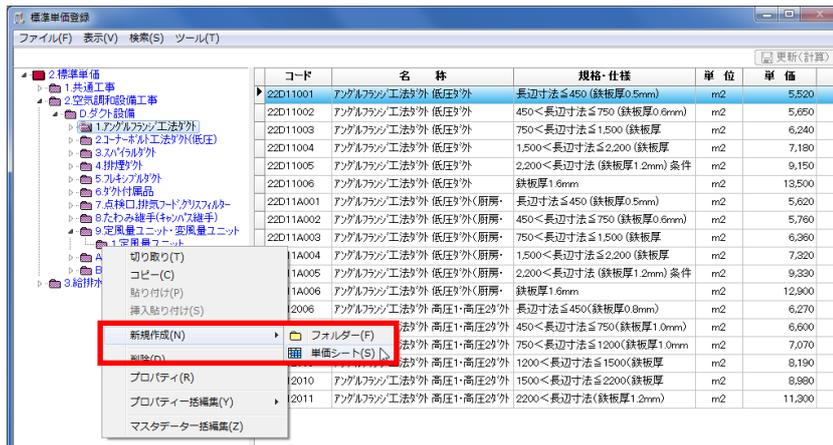


## (2) シートの新規作成 (新たなシートを作成)

①新規作成したい場所のフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[新規作成(N)]→[単価シート(S)]をクリックして下さい。

※右クリック時にフォルダーを選択している場合、そのフォルダー階層の一番下に新規シートが作成されます。

※右クリック時にシートを選択している場合、そのシートの一つ前の並びに新規シートが作成されます。



②各種項目を設定して下さい。設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。

複合単価または各種代価を選択する。  
(新規作成後は変更不可)

シート属性を「1. 複合単価」に設定時、標準単価コード(2)の上1桁を基礎単価コード(1)に置き換えたものを基礎単価の項目に自動設定する場合はチェックを入れる。

シートの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。  
フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格・仕様に自動的に設定する。

シート属性が「1. 複合単価」で基礎単価に連動するようにしている場合、市場単価の基礎単価を「-」表示で印刷するチェックが入っている場合、チェックが入る(参照のみ)。

シートテキストのみ  
シートテキストのみに反映する。

単価【名称】に反映  
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【名称】にも反映する。

単価【規格・仕様】に反映  
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【規格・仕様】にも反映する。

任意コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

コード体系の設定(複合単価計算用)  
単価コードのコード体系に関するフォルダー・シート階層を指定する。  
※単価コード体系に依存。現状、電気設備のみで運用。

施工条件コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。  
施工条件を選択。  
※単価コード体系に依存。現状、電気設備のみで運用。

入力した文字列をツリービューに表示する。

名称、規格・仕様の連動をする場合、施工条件が「0. 条件なし」以外の場合の施工条件の文字列を名称、規格・仕様の文字列の後ろに付加する場合はチェックを入れる。

シートテキストの前に付くコードを設定する。

施工条件コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

施工条件を選択。  
※単価コード体系に依存。現状、電気設備のみで運用。

③単価の各項目を編集して下さい (P123~参照)。

(3) シートの新規作成 (既存のシート of 情報を流用する場合)

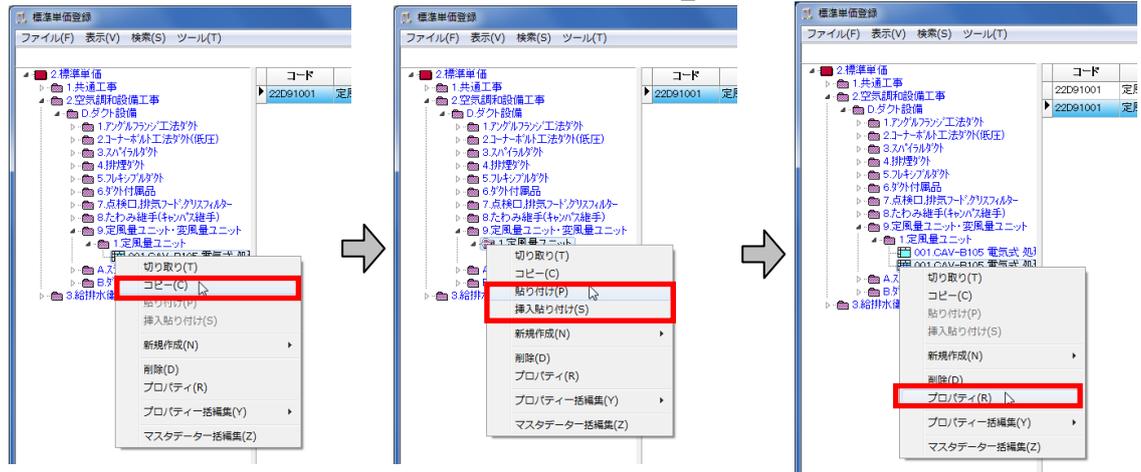
※複合単価や代価明細を含む全ての情報がコピーされます。

①情報を流用したいはシートを選択し、右クリック→[コピー(C)]→新規作成したい場所のフォルダーを選択し、[貼り付け(P)]をクリックして下さい。

※既存のシートの中に新規シートを挿入したい場合は、右クリック→[コピー(C)]→挿入後に下にしたいシートを選択→右クリック[挿入貼り付け(S)]をクリックして下さい。

このままでは単価コードが重複するため、シートプロパティを変更します。

②追加したシートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



③任意コードを変更し、各種項目を設定して下さい。

(任意コードは、必ず、重複しないコードを設定して下さい。)

設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして下さい。

使用不可 (既存情報)

入力した文字列をツリービューに表示する。

名称、規格・仕様の連動をする場合、施工条件が「0.条件なし」以外の場合の施工条件の文字列を名称、規格・仕様の文字列の後ろに付加する場合はチェックを入れる。

任意コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

シートテキストの前に付くコードを設定する。

施工条件コードを単価コードの末尾に付加する場合はチェックを入れる。

施工条件を選択。  
※単価コード体系に依存。現状、電気設備のみで運用。

シートの切り取り及び削除を防止する場合はチェックを入れる。

フォルダテキスト・シートテキストの値を、親の階層から順に、名称または規格・仕様に自動的に設定する。

シート属性が「1.複合単価」で基礎単価に連動するようにしている場合、市場単価の基礎単価を“-”表示で印刷するチェックが入っている場合、チェックが入る (参照のみ)。

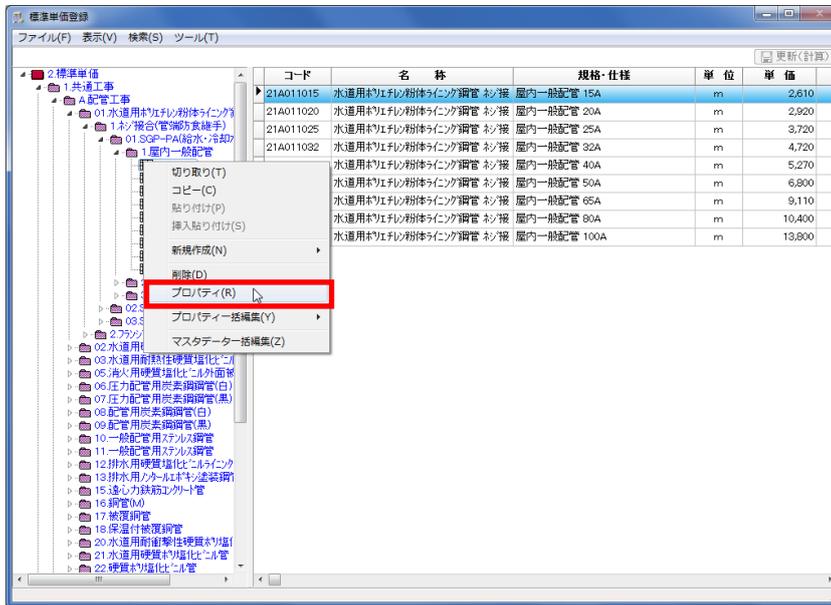
- シートテキストのみ  
シートテキストのみに反映する。
- 単価【名称】に反映  
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【名称】にも反映する。
- 単価【規格・仕様】に反映  
名称、規格・仕様の連動にチェックを入れた場合、このフォルダー以下の階層に含まれるシートで登録された単価の【規格・仕様】にも反映する。

単価コードのコード体系に関するフォルダー・シート階層を指定する。  
※単価コード体系に依存。現状、電気設備のみで運用。

④単価の各種項目を編集して下さい (P123~参照)。

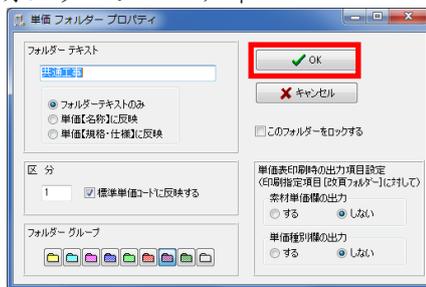
#### (4) フォルダー・シートプロパティの設定

- ①プロパティを設定したいフォルダー又はシートを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。

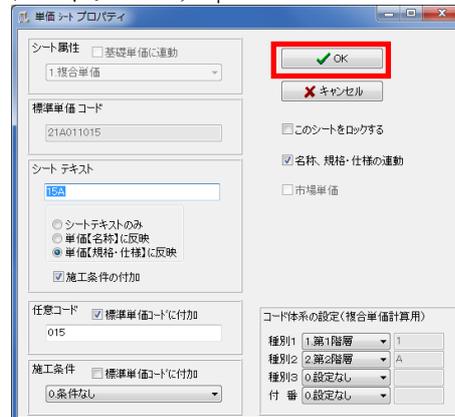


- ②フォルダープロパティ・シートプロパティを設定し、[OK]ボタンをクリックして下さい。  
 ※注意点は、本項の「(1) フォルダーの新規作成 (P117)」・「(2) シートの新規作成 (P118)」を参照して下さい。

#### フォルダープロパティ



#### シートプロパティ

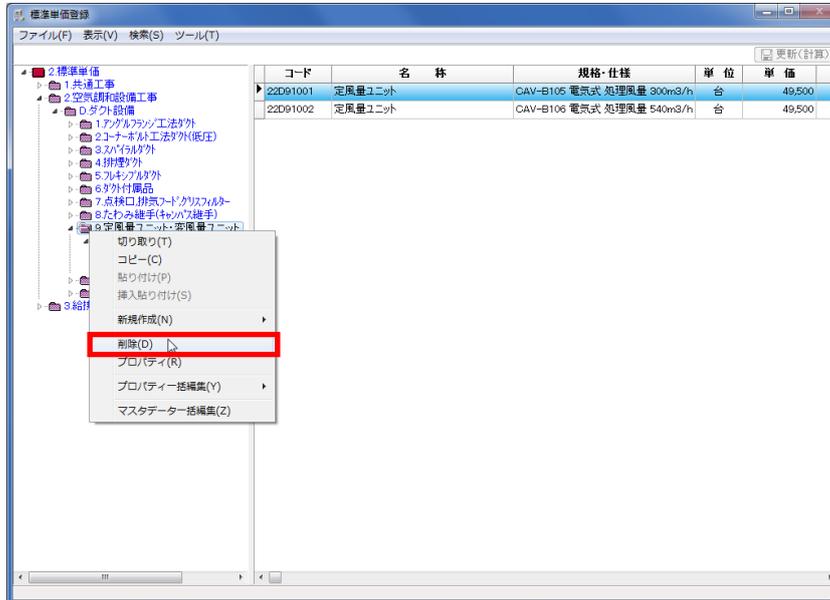


## (5) フォルダー・シートの削除

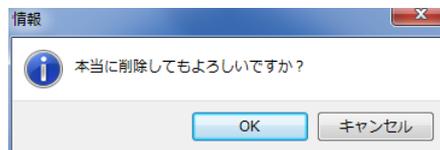
※削除を行うと、元に戻すことはできませんので慎重に行ってください。

※補足単価で削除処理を行った場合、標準単価の共通代価表で補足単価のコードを引き込んでいる場合は、補足単価の情報が消えますので注意して下さい。

①削除したいフォルダー・シートを選択し、右クリック→[削除(D)]をクリックして下さい。

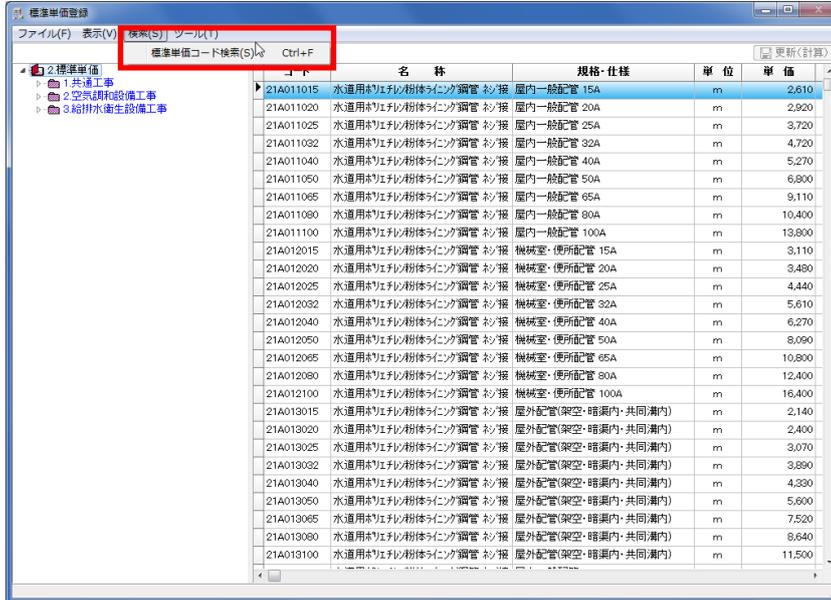


②[OK] ボタンをクリックすると、削除処理が行われます。[キャンセル] ボタンをクリックすると中止します。

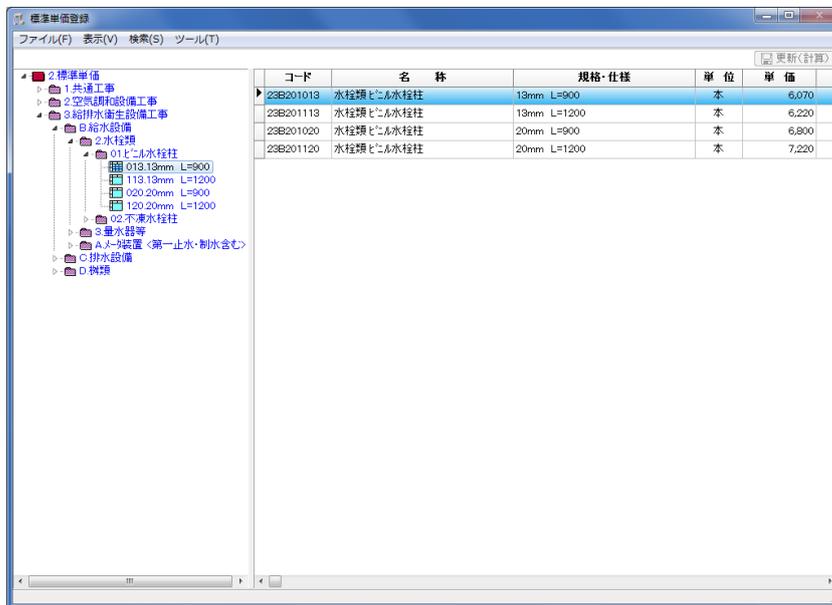


### 3. 単価コードの検索

① [検索(S)] → [標準単価コード検索(Ctrl+F)] をクリックして下さい。



② 検索したい単価コードを入力し、[次を検索(F)] ボタンをクリックして下さい。単価マスタに単価コードが存在する場合はその単価コードのシートに移動します。



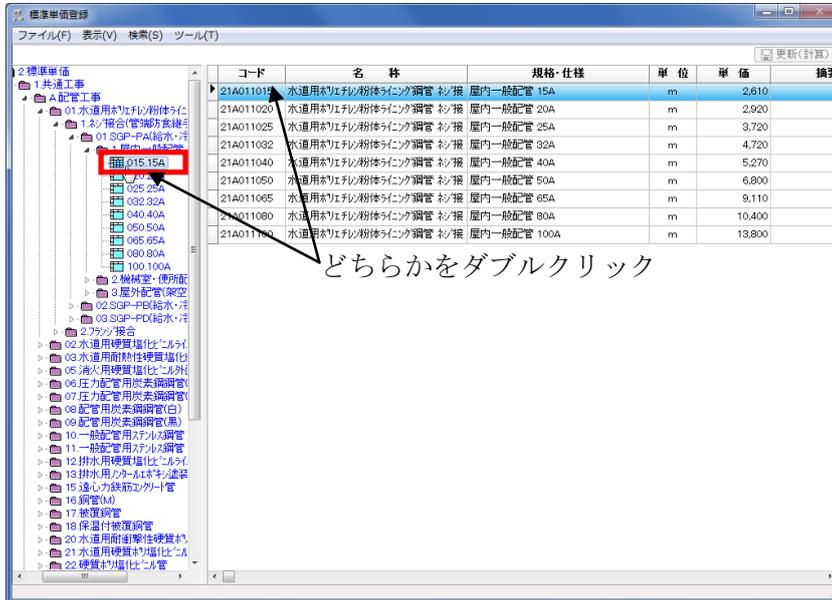
見つからなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



#### 4. 標準単価の各種項目の編集

①編集を行いたいシートを選択し、ダブルクリックすると、画面右側の単価リスト表示部が標準単価項目編集表示に切り替わります。

(単価リスト表示部の、編集を行いたい行をダブルクリックしても同様の処理となります)



②各種項目を設定し、[更新(計算)]ボタンをクリックして下さい。

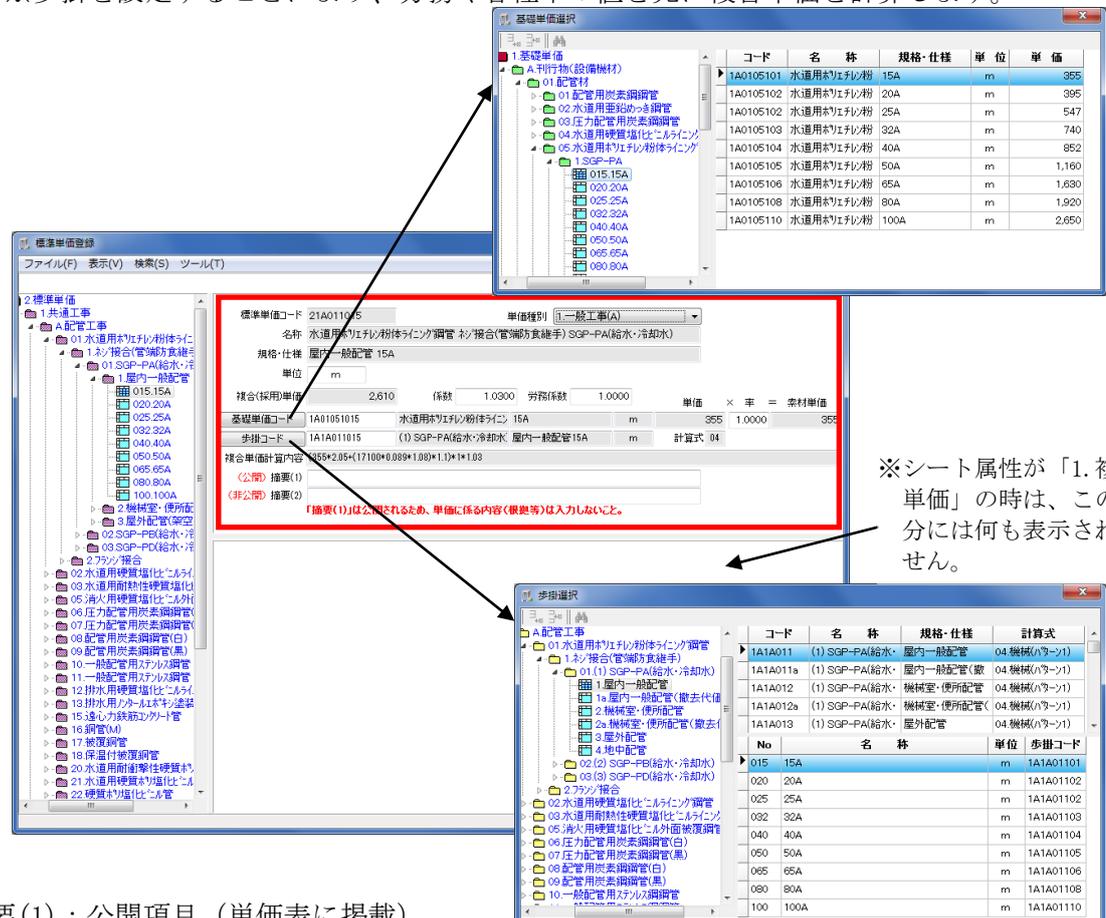


◆基本項目

単価の基本情報を設定します。

※シート属性が「1. 複合単価」の時は、基礎単価コードを設定します。(基礎単価に連動している時は自動設定されます。)シート属性が「1. 複合単価」以外の時は、基礎単価の項目は設定できません。

※歩掛を設定することにより、労務や各種率の値を元に複合単価を計算します。



※シート属性が「1. 複合単価」の時は、この部分には何も表示されません。

摘要(1) : 公開項目 (単価表に掲載)

摘要(2) : 守秘項目 (単価表に掲載しない (印刷設定により掲載も可))

◆ 共通代価入力項目

※シート属性が「2. 共通代価」の時

基礎単価選択画面

(ダブルクリックで選択)

補足単価選択画面

(ダブルクリックで選択)

The screenshot displays the '基礎単価選択' (Basic Unit Price Selection) window. On the left is a tree view of unit categories. The main area shows a table of selected items:

| コード     | 名称      | 規格・仕様        | 単位 | 単価    |
|---------|---------|--------------|----|-------|
| 1NH1000 | 土工事 根切り | 人力           | m3 | 5,850 |
| 1NH1010 | 土工事 根切り | 機械 0.13m3(山) | m3 | 2,290 |
| 1NH1020 | 土工事 根切り | 機械 0.28m3(山) | m3 | 1,490 |
| 1NH1035 | 土工事 根切り | 機械 0.45m3(山) | m3 | 1,070 |

Below this is a calculation summary table:

| コード        | 名称           | 規格・仕様              | 数量      | 単位 | 係数     | 損率     | 単価     | 金額 |
|------------|--------------|--------------------|---------|----|--------|--------|--------|----|
| 1NH1000    | 土工事 根切り      | 人力                 | 13.6200 | m3 | 1.0000 | 1.0000 | 5,850  | 79 |
| 1NH12000   | 土工事 埋戻し      | 人力                 | 11.7200 | m3 | 1.0000 | 1.0000 | 4,550  | 53 |
| 1NH13000   | 土工事 残土処分     | 人力(場内敷きならし)        | 1.9000  | m3 | 1.0000 | 1.0000 | 3,450  | 6  |
| 1NH14000   | 土工事          | 砂利地業               | 0.2900  | m3 | 1.0000 | 1.0000 | 7,690  | 2  |
| H1111001   | コンクリート       | 手練り無筋コンクリート(スラブ18) | 0.1200  | m3 | 1.0000 | 1.0000 | 31,600 | 3  |
| H1111001   | コンクリート       | 手練り無筋コンクリート(スラブ18) | 0.5900  | m3 | 1.0000 | 1.0000 | 31,600 | 19 |
| H1114002   | 型枠           | 樹膠用                | 6.1700  | m2 | 1.0000 | 1.0000 | 5,370  | 33 |
| H1112010   | 鉄筋           | (D10)              | 34.5000 | kg | 1.0000 | 1.0000 | 174    | 6  |
| H1123001   | 足掛け          | 22φ鋼製              | 1.0000  | か所 | 1.0000 | 1.0000 | 3,490  | 3  |
| 1B25833063 | 下水用マホ-ル開塊 片面 | 600c(上径60×下径90×高)  | 1.0000  | 個  | 1.0000 | 1.0000 | 17,700 | 17 |

① コード（引込単価コード）を入力して下さい。

基礎単価（1頭コード）・補足単価（H頭コード）のコード番号を入力して下さい。  
 該当単価の名称、規格・仕様、単位、単価等の情報が引き込まれます。

※ツールボタンにより各単価選択画面からコード選択による入力も可能です。

※共通代価は[コード]欄に計算コードを入力することにより計算することが可能です。入力方法の詳細は次ページを参照して下さい。

② 数量、係数・損率を入力して下さい。

③ [更新（計算）]ボタンをクリックすると、データが保存されます。

【計算】

$$[\text{金額}] = [\text{数量}] \times [\text{係数}] \times [\text{損率}] \times [\text{単価}]$$

$$[(\text{素材}) \text{単価}] = [\text{金額}] \text{の合計}$$

◆共通代価の計算コードについて

コード入力部に入力できるコードは、登録済みの単価コード以外に次にあげるものがあります。

標準単価コード 2121A99999 単価種別 1.一般工事(A)

名称  
規格・仕様  
単位

複合(採用)単価 70,700 係数 1.0000 労務係数 1.0000 単価 × 率 = 素材単価

基礎単価コード 64,341 1.0000 64,341

歩掛コード 1K0210010 歩掛なし(材+労)×その他 その他率10% 式 計算式 05

複合単価計算内容 (64341\*1+)\*1.1\*1

(公開) 摘要(1)  
(非公開) 摘要(2)

「摘要(1)」は公開されるため、単価に係る内容(根拠等)は入力しないこと。

計算式: 2.共通代価

| コード       | 名称            | 規格・仕様                | 数量      | 単位 | 係数     | 損率     | 単価     | 金額     | 仮 | GP |
|-----------|---------------|----------------------|---------|----|--------|--------|--------|--------|---|----|
| /         | コメント行         | メモ                   |         |    |        |        |        |        |   | *  |
| 1A1551150 | ハルボックス 止水弁ます用 | B-1                  | 1.0000  | 個  | 1.0000 | 1.0000 | 2,350  | 2,350  | * | 1  |
| 1A1552001 | ハルボックス 散水栓用   | B-3                  | 1.0000  | 個  | 1.0000 | 1.0000 | 6,900  | 6,900  | * |    |
| #         | 小計(直前合計)      |                      |         |    |        |        |        | 9,250  |   |    |
| 1N1H1000  | 土工事 根切り       | 人力                   | 0.0500  | m3 | 1.0000 | 1.0000 | 5,850  | 292    |   | 2  |
| 1N1H3000  | 土工事 残土処分      | 人力(場内敷きならし)          | 0.0200  | m3 | 1.0000 | 1.0000 | 3,450  | 69     |   | 2  |
| 1N1H4000  | 土工事           | 砂利地業                 | 0.0000  | m3 | 1.0000 | 1.0000 | 7,680  | 0      |   | 2  |
| #2%10     | 諸雑費           |                      | 10.0000 | %  | 1.0000 | 1.0000 | 361    | 36     |   | 2  |
| H1I11001  | コンクリート        | 手練り(無筋コンクリート・スラング18) | 0.0300  | m3 | 1.0000 | 1.0000 | 31,600 | 948    |   | 3  |
| H1I14002  | 型枠            | 桁類用                  | 0.0580  | m2 | 1.0000 | 1.0000 | 5,370  | 311    |   | 3  |
| %12       | 諸雑費           |                      | 12.0000 | %  | 1.0000 | 1.0000 | 311    | 37     |   |    |
| 1G1533001 | 散水栓ボックス(SUS製) | B-3タイプ 土間埋設用         | 1.0000  | 個  | 1.0000 | 1.0000 | 24,600 | 24,600 |   | 4  |
| %4%5      | 雑材料           |                      | 0.2000  | %  | 1.0000 | 1.0000 | 24,600 | 49     |   |    |
| T         | 任意入力単価        | マスタに無い単価             | 1.0000  | 式  | 1.0000 | 1.0000 | 5,000  | 5,000  |   | 5  |
| 1G1533013 | 散水栓ボックス(SUS製) | WB-13 壁埋込形           | 1.0000  | 個  | 1.0000 | 1.0000 | 22,380 | 22,380 |   | 5  |
| #5        | 小計(グループ合計)    |                      |         |    |        |        |        | 27,380 | * | 5  |
| %%5       | その他           |                      | 5.0000  | %  | 1.0000 | 1.0000 | 27,380 | 1,369  |   |    |

| 種別        | 入力例  | 入力例による結果  |
|-----------|------|---|
| 直前行掛率     | %12  | 直前行*0.12  |
| 直前行掛率     | %5%7 | 直前行*0.05*0.07                                       |
| 直前行掛率     | %%5  | 直前行*0.05 : 仮単価とする                                   |
| 直前行までの合計  | #    | 直前行までの合計 : 仮単価とする                                   |
| グループ合計    | #1   | 全行のうち同一グループの合計 (グループ 1 の合計)                         |
| グループ合計に掛率 | #1%5 | 全行のうち同一グループの合計*0.05<br>(グループ 1 の合計*0.05)            |
| /         | /    | 名称・規格にコメント  |
| T         | T    | 任意入力単価 (更新忘れ防止のため、任意入力単価は極力作成せず、必要な単価は単価マスタに登録すること) |

◆その他の代価表について

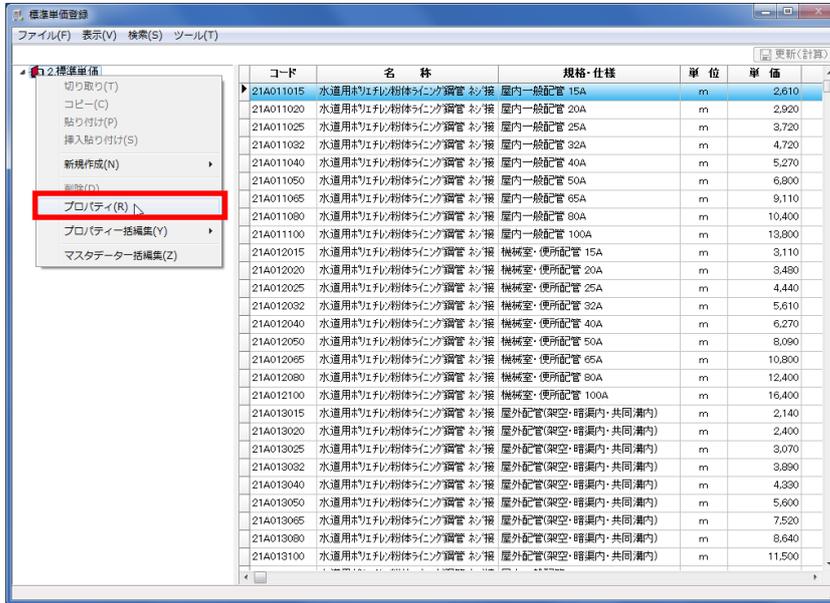
シートを新規作成時のプロパティ設定のシート属性の設定 (P118 参照) により、「3. 配線器具代価」・「4. ハンドホール代価」・「5. 接地工事代価」・「6. 機器搬入代価」・「7. 塗装費代価」が作成できますが、機械積算の補足単価マスタや標準単価マスタの作成作業では使用しないため、解説は省略致します。

## 5. 標準単価登録画面 その他の機能について

### (1) ルートプロパティ

標準単価マスタの基本設定を行います。

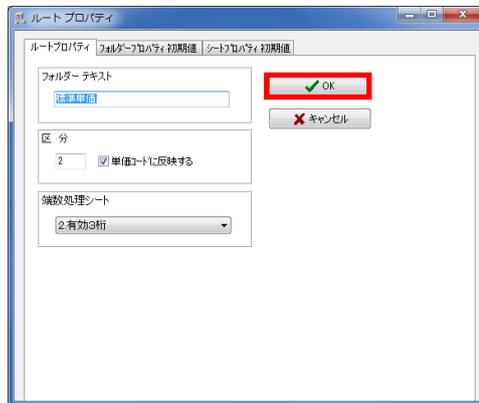
- ① ツリービューの一番上にある赤色のフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ(R)]をクリックして下さい。



- ② 各種項目を設定の上、[OK]ボタンをクリックして下さい。

※必ず、下の図の通りになるように設定して下さい。

- ◆ ルートプロパティ (ルートフォルダーのプロパティ及び端数処理方法の設定を行う)



- ◆ フォルダープロパティ (新規作成時) 初期値



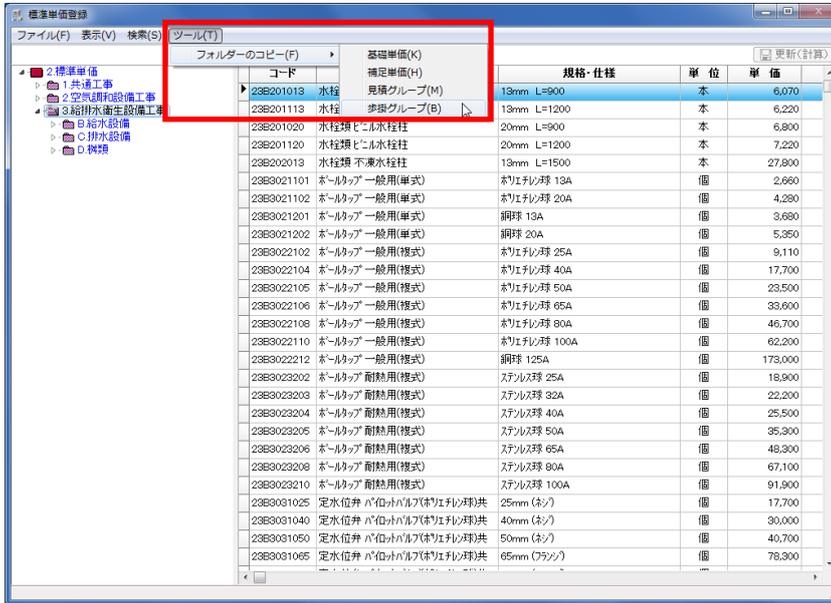
- ◆ シートプロパティ (新規作成時) 初期値



## (2) フォルダのコピー ([ツール(T)]メニュー)

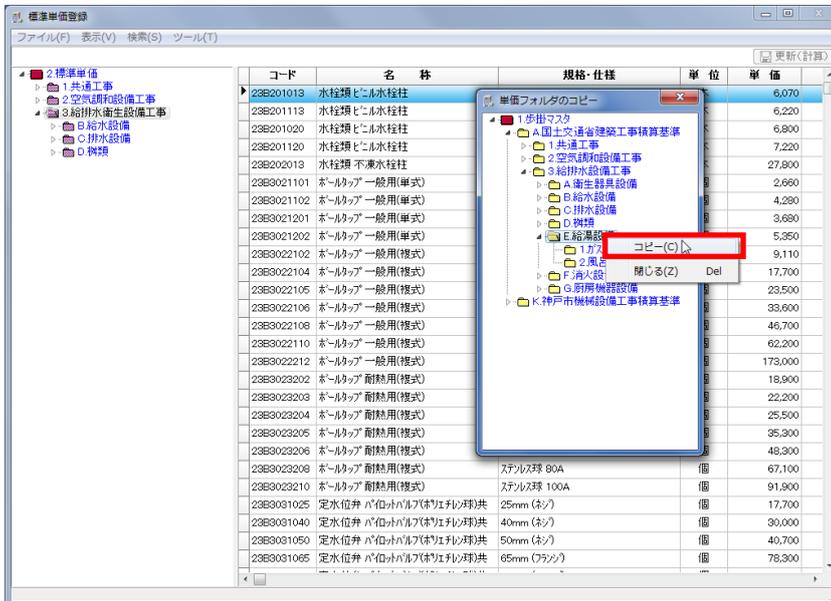
他の単価マスタのフォルダ階層構造（そのフォルダ階層下に含まれるフォルダを全て）をコピーする機能です（フォルダ階層の中の歩掛シートはコピーされません）。

① [ツール(T)] → 「フォルダのコピー(F)」 → [フォルダ階層をコピーしたい単価マスタ名] をクリックすると、フォルダ選択画面が表示されます。

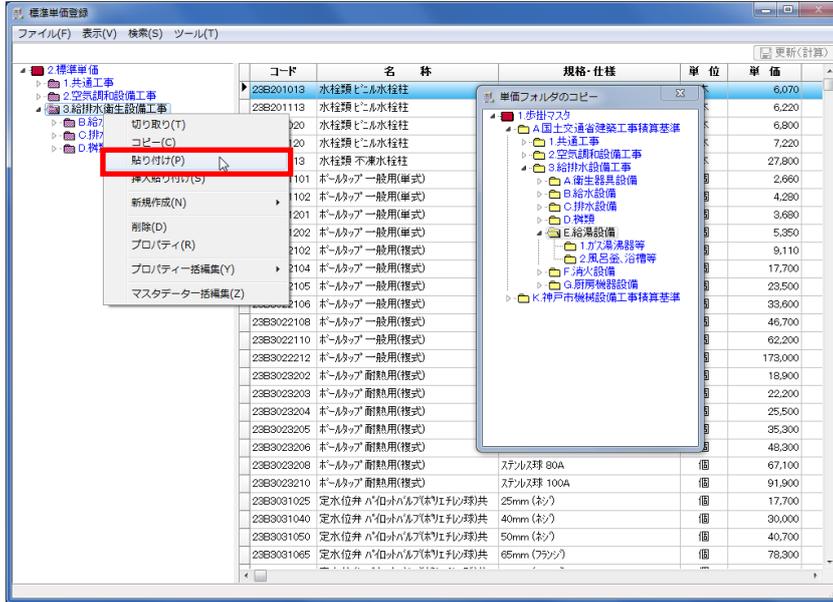


② コピーしたいフォルダを選択し、右クリック → [コピー(C)] をクリックして下さい。  
(コピーしたフォルダ情報が記憶されます)

※フォルダ選択画面は貼り付け操作を行うまで閉じないで下さい。



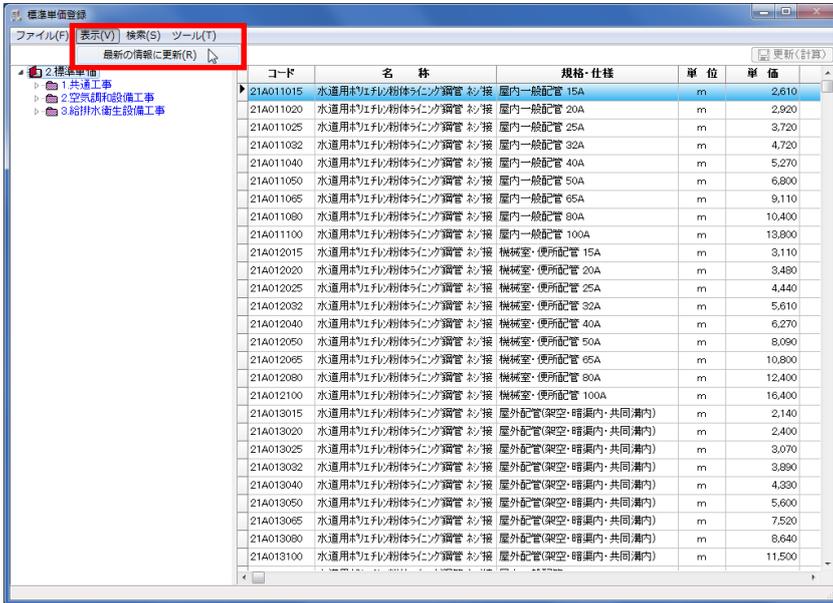
③貼り付けを行いたいフォルダー階層を選択し、右クリック→[貼り付け(P)]または[挿入貼り付け(S)]をクリックすると、フォルダー階層の貼り付けが行われます。



### (3) 最新の情報に更新 ([表示(V)]メニュー)

マスタデータベースの内容を再読み込みします (特に使用することはありません)。

①[表示(V)]→[最新の情報に更新(R)]をクリックして下さい。

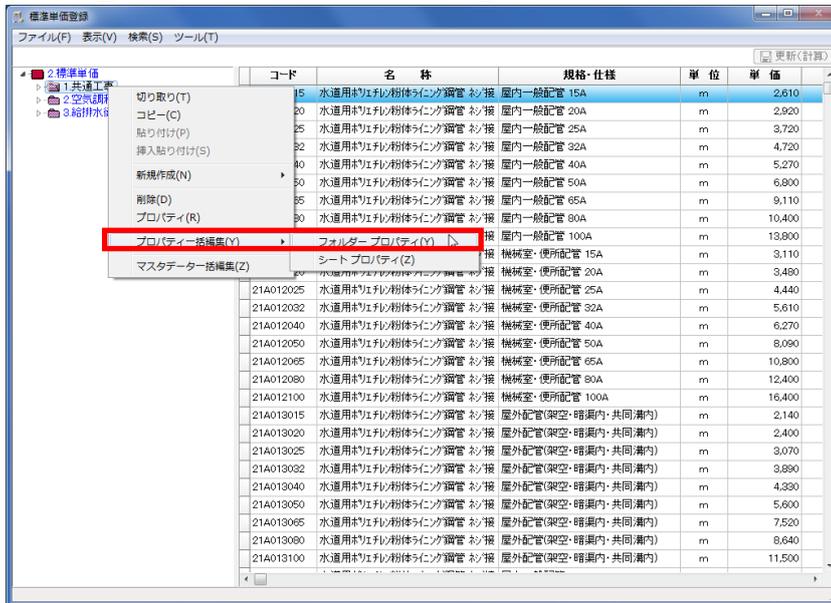


(4) フォルダープロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

選択したフォルダーの配下にあるフォルダーのプロパティを一括編集します。

※大量のフォルダーが含まれるフォルダーを一度に処理しようとすると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

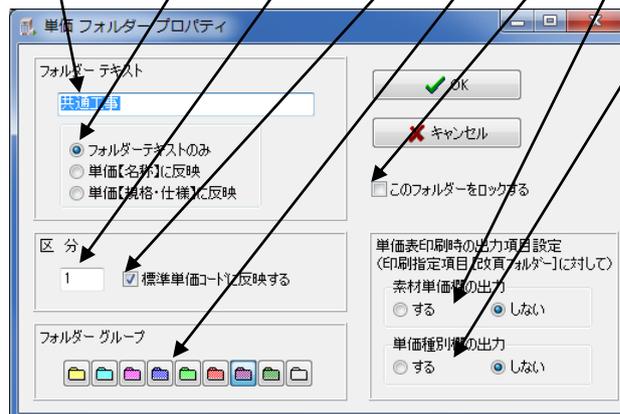
- ①一括編集したいフォルダーを配下に含むフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ一括編集(X)]→[フォルダープロパティ(Y)]をクリックして下さい。



- ②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



対応項目

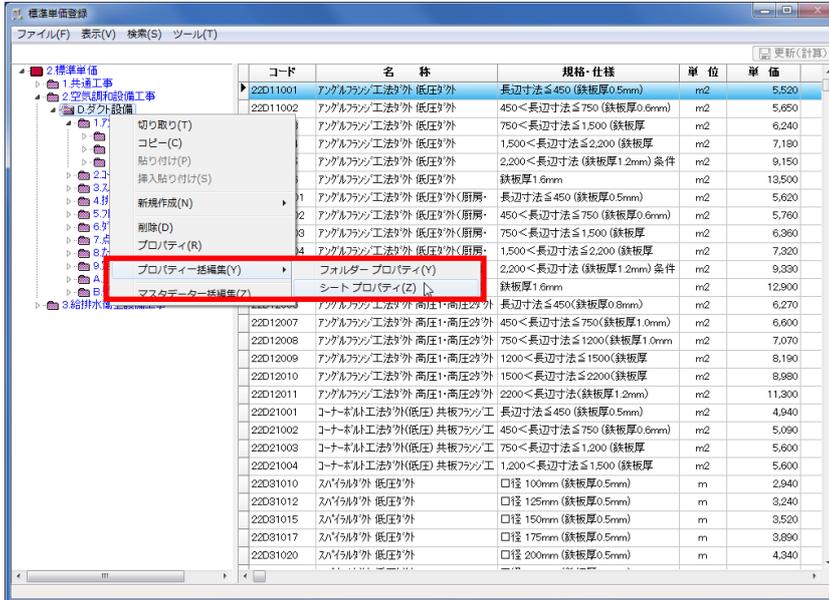


(5) シートプロパティ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

選択したフォルダーの配下にあるシートのプロパティを一括編集します。

※大量のシートが含まれるフォルダーを一度に処理しようとすると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

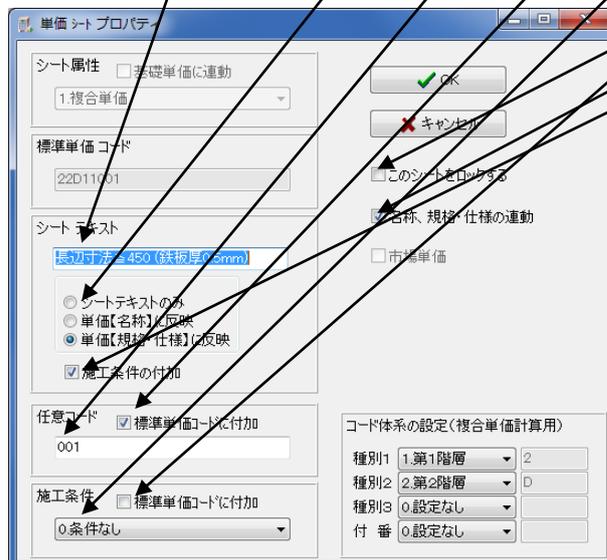
- ①一括編集したいシートを配下を含むフォルダーを選択し、右クリック→[プロパティ一括編集(X)]→[シートプロパティ(Z)]をクリックして下さい。



- ②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



対応項目

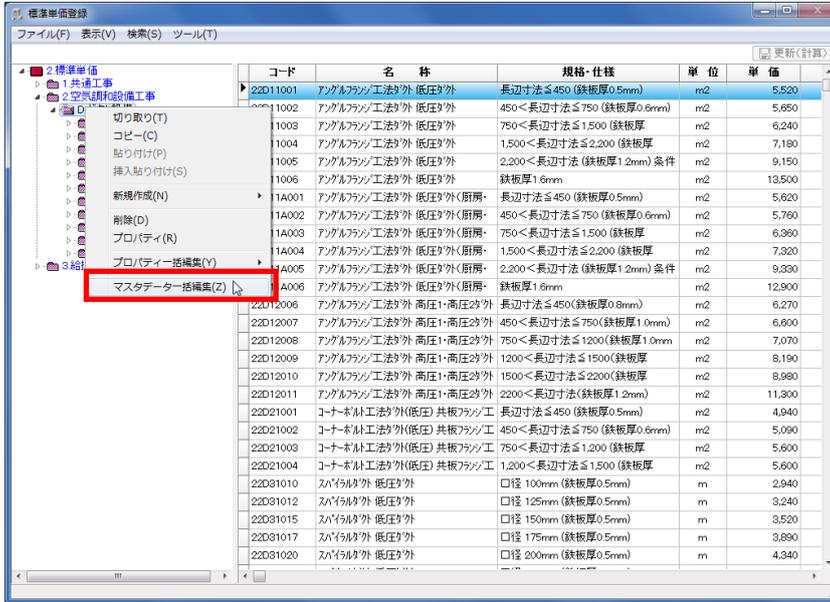


(6) マスタデータ一括編集 (ツリービューの右クリックメニュー)

選択したフォルダーの配下にある単価を一括編集します。

※大量のシートが含まれるフォルダーを一度に処理しようとすると非常に処理が重くなり、処理しきれないためにエラーすることがありますので、小分けして行って下さい。

①一括編集したいシートを配下に含むフォルダーを選択し、右クリック→[マスタデータ一括編集(Y)]をクリックして下さい。

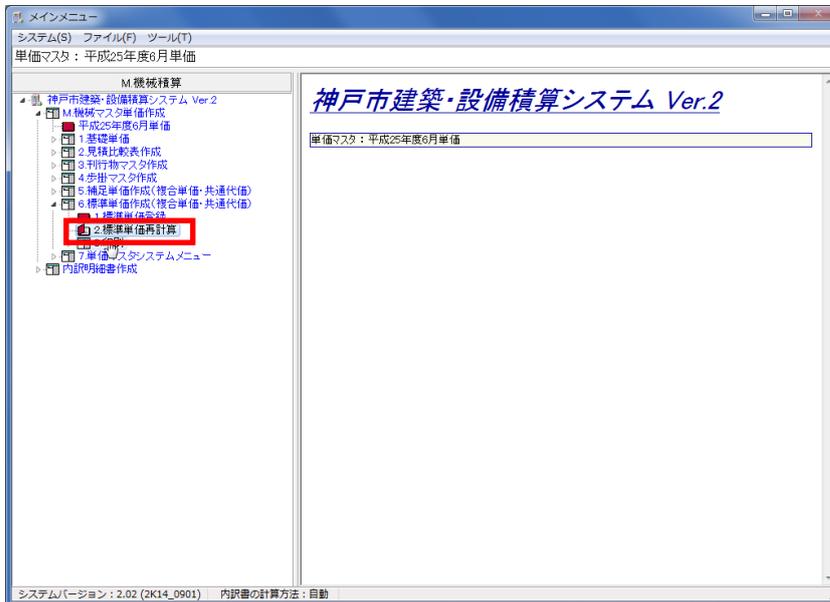


②表示データを編集し、[保存]ボタンをクリックして下さい。



## B. 標準単価再計算

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[6. 標準単価]→[2. 標準単価再計算]をダブルクリックすると、標準単価再計算画面が表示されます。



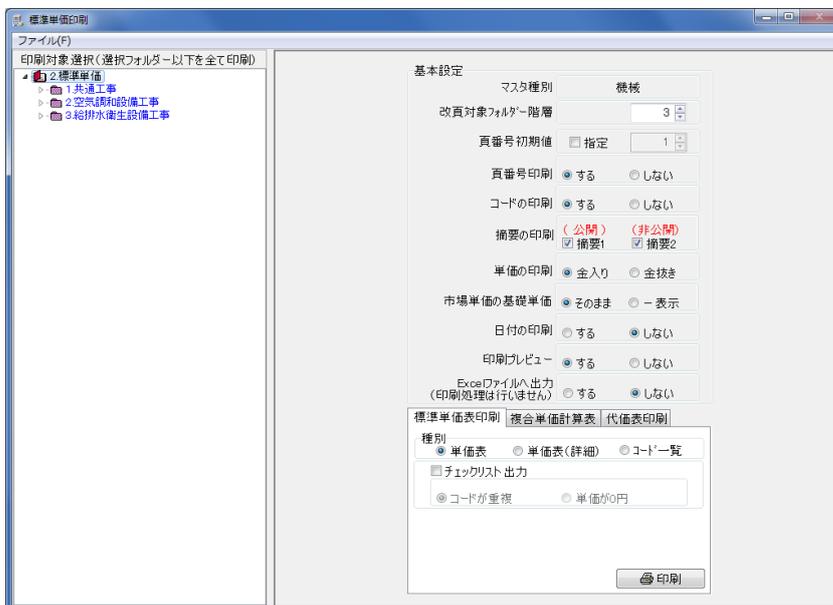
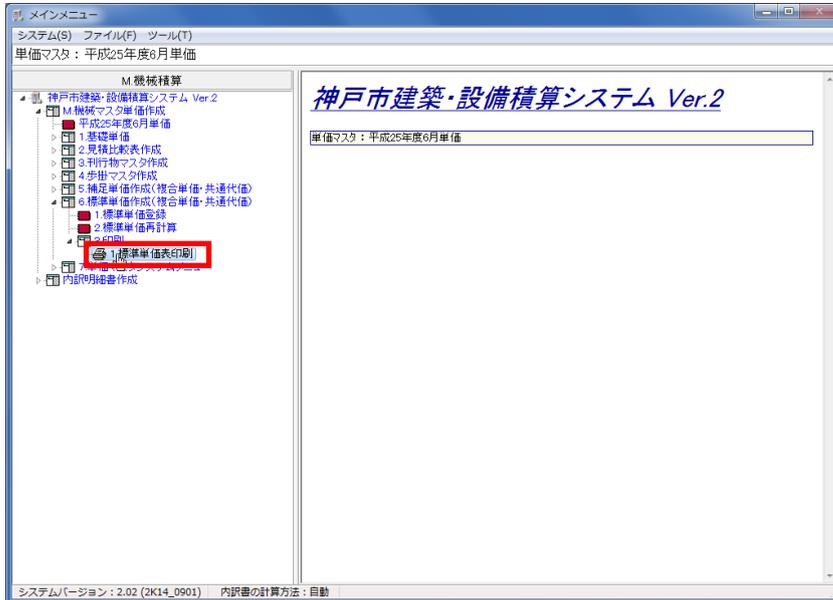
- ②[OK]ボタンをクリックすると、標準単価情報の再計算を開始します。  
※再計算には時間がかかります。再計算が終わるまでお待ち下さい。



## C. 標準単価表印刷

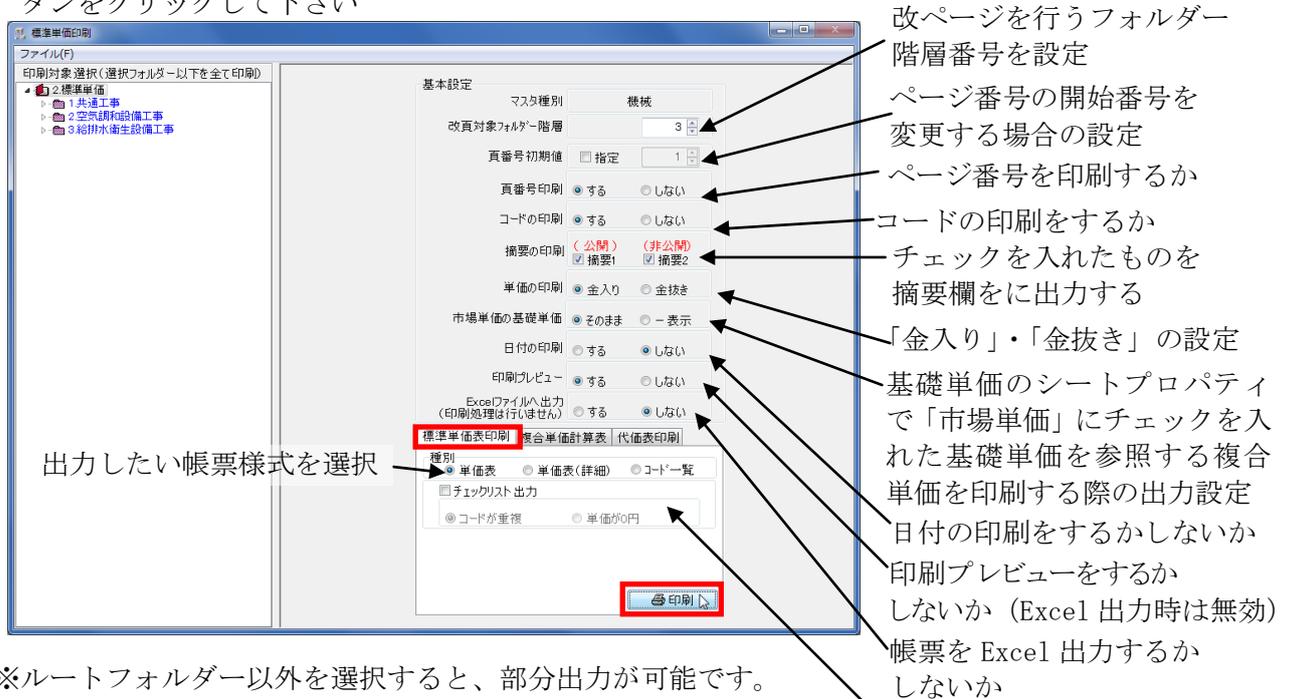
### (1) 標準単価印刷画面の表示

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[6. 標準単価]→[3. 印刷]→[1. 標準単価表印刷]をダブルクリックすると、標準単価印刷画面が表示されます。



## (2) 標準単価表の印刷

- ① 「標準単価印刷」のタブを選択して下さい。
- ② 各種項目を設定し、[印刷]（「Excel ファイルへ出力」を「する」にしている場合は[出力]）ボタンをクリックして下さい

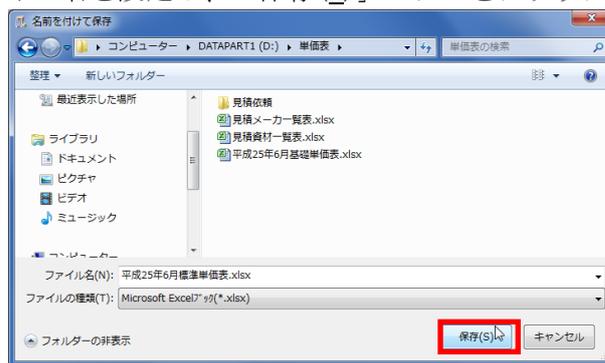


※ルートフォルダ以外を選択すると、部分出力が可能です。

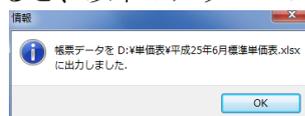
※思い通りの出力結果になるように、設定項目を適宜変更して下さい。チェックリストを出力する場合の設定

- ③ 「印刷プレビュー」を「する」にした場合は、Excel の画面で印刷プレビュー画面が表示されます。Excel の印刷プレビューからの印刷操作方法で印刷を行って下さい。

「Excel 出力」を「する」に設定した場合は、以下の画面が表示されます。保存先及びファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



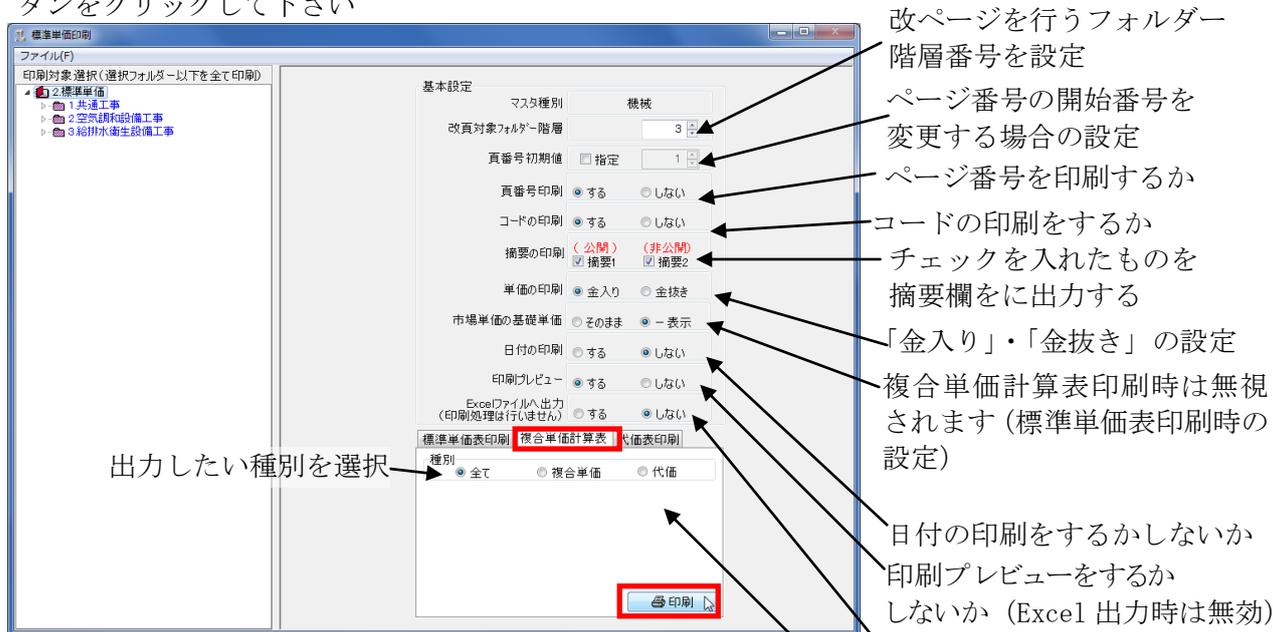
帳票の Excel 出力が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



※Excel で開く際は、上図のメッセージを閉じてから開いて下さい。

### (3) 複合単価計算表の印刷

- ① 「複合単価計算表」のタブを選択して下さい。
- ② 各種項目を設定し、[印刷]（「Excel ファイルへ出力」を「する」にしている場合は[出力]) ボタンをクリックして下さい

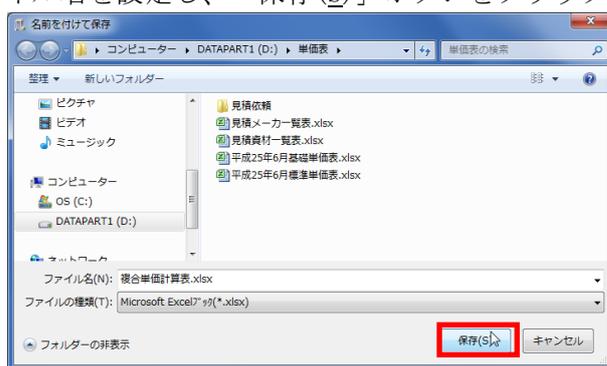


※ルートフォルダ以外を選択すると、部分出力が可能です。

※思い通りの出力結果になるように、設定項目を適宜変更して下さい。チェックリストを出力する場合の設定

- ③ 「印刷プレビュー」を「する」にした場合は、Excel の画面で印刷プレビュー画面が表示されます。Excel の印刷プレビューからの印刷操作方法で印刷を行って下さい。

「Excel 出力」を「する」に設定した場合は、以下の画面が表示されます。保存先及びファイル名を設定し、「保存(S)」ボタンをクリックして下さい。



帳票の Excel 出力が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



※Excel で開く際は、上図のメッセージを閉じてから開いて下さい。



帳票イメージ  
標準単価表

機械 平成25年度6月単価

標準単価表

平成 年 月 日  
1頁

1. 共通工事>A. 配管工事>01. 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管

| 標準単価コード   | 名称・仕様   | 単位 | 標準単価   | 備考 |
|-----------|---|----|--------|----|
| 21A011015 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋内一般配管 15A             | m  | 2,660  |    |
| 21A011020 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋内一般配管 20A             | m  | 2,920  |    |
| 21A011025 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋内一般配管 25A             | m  | 3,720  |    |
| 21A011032 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋内一般配管 32A             | m  | 4,720  |    |
| 21A011040 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋内一般配管 40A             | m  | 5,270  |    |
| 21A011050 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋内一般配管 50A             | m  | 6,800  |    |
| 21A011065 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋内一般配管 65A             | m  | 9,110  |    |
| 21A011080 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋内一般配管 80A             | m  | 10,400 |    |
| 21A011100 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋内一般配管 100A            | m  | 13,800 |    |
| 21A012015 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 機械室・便所配管 15A           | m  | 3,110  |    |
| 21A012020 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 機械室・便所配管 20A           | m  | 3,480  |    |
| 21A012025 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 機械室・便所配管 25A           | m  | 4,440  |    |
| 21A012032 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 機械室・便所配管 32A           | m  | 5,610  |    |
| 21A012040 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 機械室・便所配管 40A           | m  | 6,270  |    |
| 21A012050 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 機械室・便所配管 50A           | m  | 8,090  |    |
| 21A012065 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 機械室・便所配管 65A           | m  | 10,800 |    |
| 21A012080 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 機械室・便所配管 80A           | m  | 12,400 |    |
| 21A012100 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 機械室・便所配管 100A          | m  | 16,400 |    |
| 21A013015 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) 15A  | m  | 2,140  |    |
| 21A013020 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) 20A  | m  | 2,400  |    |
| 21A013025 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) 25A  | m  | 3,070  |    |
| 21A013032 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) 32A  | m  | 3,890  |    |
| 21A013040 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) 40A  | m  | 4,330  |    |
| 21A013050 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) 50A  | m  | 5,600  |    |
| 21A013065 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) 65A  | m  | 7,520  |    |
| 21A013080 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) 80A  | m  | 8,640  |    |
| 21A013100 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PA(給水・冷却水) 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内) 100A | m  | 11,500 |    |
| 21A021015 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PB(給水・冷却水) 屋内一般配管 15A             | m  | 2,790  |    |
| 21A021020 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PB(給水・冷却水) 屋内一般配管 20A             | m  | 3,120  |    |
| 21A021025 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PB(給水・冷却水) 屋内一般配管 25A             | m  | 3,990  |    |
| 21A021032 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PB(給水・冷却水) 屋内一般配管 32A             | m  | 5,080  |    |
| 21A021040 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PB(給水・冷却水) 屋内一般配管 40A             | m  | 5,680  |    |
| 21A021050 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PB(給水・冷却水) 屋内一般配管 50A             | m  | 7,360  |    |
| 21A021065 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PB(給水・冷却水) 屋内一般配管 65A             | m  | 9,900  |    |
| 21A021080 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PB(給水・冷却水) 屋内一般配管 80A             | m  | 11,400 |    |
| 21A021100 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PB(給水・冷却水) 屋内一般配管 100A            | m  | 15,000 |    |
| 21A022015 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PB(給水・冷却水) 機械室・便所配管 15A           | m  | 3,290  |    |
| 21A022020 | 水道用ホリフェン粉体ライニング鋼管 裨り 接合(管端防食継手) SGP-PB(給水・冷却水) 機械室・便所配管 20A           | m  | 3,670  |    |

標準単価表 (詳細)

機械 平成25年度6月単価

標準単価表

平成 年 月 日  
1頁

1. 共通工事>A. 配管工事>01. 水道用樹脂リフレクト体フランジ鋼管

| 種別           | 標準単価コード   | 名称                     | 仕様 | 施工条件 | 単位 | 素材単価  | 標準単価   | 単価種別      | 歩掛2-1*     | 乗率     | 労務係数   | シート属性  | 摘要 |
|--------------|-----------|------------------------|----|------|----|-------|--------|-----------|------------|--------|--------|--------|----|
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A011015 | 屋内一般配管 15A             | m  |      | m  | 382   | 2,660  | 1-一般工事(A) | 1A1A011015 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A011020 | 屋内一般配管 20A             | m  |      | m  | 395   | 2,920  | 1-一般工事(A) | 1A1A011020 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A011025 | 屋内一般配管 25A             | m  |      | m  | 547   | 3,720  | 1-一般工事(A) | 1A1A011025 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A011032 | 屋内一般配管 32A             | m  |      | m  | 740   | 4,720  | 1-一般工事(A) | 1A1A011032 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A011040 | 屋内一般配管 40A             | m  |      | m  | 852   | 5,270  | 1-一般工事(A) | 1A1A011040 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A011050 | 屋内一般配管 50A             | m  |      | m  | 1,160 | 6,800  | 1-一般工事(A) | 1A1A011050 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A011065 | 屋内一般配管 65A             | m  |      | m  | 1,630 | 9,110  | 1-一般工事(A) | 1A1A011065 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A011080 | 屋内一般配管 80A             | m  |      | m  | 1,920 | 10,400 | 1-一般工事(A) | 1A1A011080 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A011100 | 屋内一般配管 100A            | m  |      | m  | 2,650 | 13,800 | 1-一般工事(A) | 1A1A011100 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A012015 | 機械室・便所配管 15A           | m  |      | m  | 355   | 3,110  | 1-一般工事(A) | 1A1A012015 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A012020 | 機械室・便所配管 20A           | m  |      | m  | 395   | 3,480  | 1-一般工事(A) | 1A1A012020 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A012025 | 機械室・便所配管 25A           | m  |      | m  | 547   | 4,440  | 1-一般工事(A) | 1A1A012025 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A012032 | 機械室・便所配管 32A           | m  |      | m  | 740   | 5,610  | 1-一般工事(A) | 1A1A012032 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A012040 | 機械室・便所配管 40A           | m  |      | m  | 852   | 6,270  | 1-一般工事(A) | 1A1A012040 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A012050 | 機械室・便所配管 50A           | m  |      | m  | 1,160 | 8,090  | 1-一般工事(A) | 1A1A012050 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A012065 | 機械室・便所配管 65A           | m  |      | m  | 1,630 | 10,800 | 1-一般工事(A) | 1A1A012065 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A012080 | 機械室・便所配管 80A           | m  |      | m  | 1,920 | 12,400 | 1-一般工事(A) | 1A1A012080 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A012100 | 機械室・便所配管 100A          | m  |      | m  | 2,650 | 16,400 | 1-一般工事(A) | 1A1A012100 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A013015 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 15A  | m  |      | m  | 355   | 2,140  | 1-一般工事(A) | 1A1A013015 | 1.0000 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A013020 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 20A  | m  |      | m  | 395   | 2,400  | 1-一般工事(A) | 1A1A013020 | 1.0000 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A013025 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 25A  | m  |      | m  | 547   | 3,070  | 1-一般工事(A) | 1A1A013025 | 1.0000 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A013032 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 32A  | m  |      | m  | 740   | 3,890  | 1-一般工事(A) | 1A1A013032 | 1.0000 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A013040 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 40A  | m  |      | m  | 852   | 4,330  | 1-一般工事(A) | 1A1A013040 | 1.0000 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A013050 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 50A  | m  |      | m  | 1,160 | 5,600  | 1-一般工事(A) | 1A1A013050 | 1.0000 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A013065 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 65A  | m  |      | m  | 1,630 | 7,520  | 1-一般工事(A) | 1A1A013065 | 1.0000 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A013080 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 80A  | m  |      | m  | 1,920 | 8,640  | 1-一般工事(A) | 1A1A013080 | 1.0000 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A013100 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 100A | m  |      | m  | 2,650 | 11,500 | 1-一般工事(A) | 1A1A013100 | 1.0000 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A021015 | 屋内一般配管 15A             | m  |      | m  | 465   | 2,790  | 1-一般工事(A) | 1A1A021015 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A021020 | 屋内一般配管 20A             | m  |      | m  | 515   | 3,120  | 1-一般工事(A) | 1A1A021020 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A021025 | 屋内一般配管 25A             | m  |      | m  | 710   | 3,990  | 1-一般工事(A) | 1A1A021025 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A021032 | 屋内一般配管 32A             | m  |      | m  | 957   | 5,080  | 1-一般工事(A) | 1A1A021032 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A021040 | 屋内一般配管 40A             | m  |      | m  | 1,100 | 5,680  | 1-一般工事(A) | 1A1A021040 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A021050 | 屋内一般配管 50A             | m  |      | m  | 1,500 | 7,360  | 1-一般工事(A) | 1A1A021050 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A021065 | 屋内一般配管 65A             | m  |      | m  | 2,107 | 9,900  | 1-一般工事(A) | 1A1A021065 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |
| 砂 接合(管端防食継手) | 21A021080 | 屋内一般配管 80A             | m  |      | m  | 2,480 | 11,400 | 1-一般工事(A) | 1A1A021080 | 1.0300 | 1.0000 | 1.複合単価 |    |

神戸市

標準単価マスタ コード一覧表

機械 平成25年度6月単価

標準単価マスタ コード一覧表

平成 年 月 日  
1頁

| 標準単価   | 階層 | コード       | 名称                     | 規格 | 施工条件 | シート属性  |
|--|----|-----------|------------------------|----|------|--------|
| 2. 標準単価<br>├─ 1. 共通工事<br>├─ A. 配管工事<br>├─ 01. 水道用樹脂リフレクト体フランジ鋼管<br>├─ 1. 砂 接合(管端防食継手)<br>├─ 01. SGP-PA(給水・冷却水)<br>├─ 1. 屋内一般配管<br>├─ 015. 15A<br>├─ 020. 20A<br>├─ 025. 25A<br>├─ 032. 32A<br>├─ 040. 40A<br>├─ 050. 50A<br>├─ 065. 65A<br>├─ 080. 80A<br>├─ 100. 100A<br>├─ 2. 機械室・便所配管<br>├─ 015. 15A<br>├─ 020. 20A<br>├─ 025. 25A<br>├─ 032. 32A<br>├─ 040. 40A<br>├─ 050. 50A<br>├─ 065. 65A<br>├─ 080. 80A<br>├─ 100. 100A<br>├─ 3. 屋外配管(架空・暗渠内・共同溝内)<br>├─ 015. 15A<br>├─ 020. 20A<br>├─ 025. 25A<br>├─ 032. 32A<br>├─ 040. 40A<br>├─ 050. 50A<br>├─ 065. 65A<br>├─ 080. 80A<br>├─ 100. 100A<br>├─ 02. SGP-PB(給水・冷却水)<br>├─ 1. 屋内一般配管<br>├─ 015. 15A<br>├─ 020. 20A<br>├─ 025. 25A<br>├─ 032. 32A<br>├─ 040. 40A<br>├─ 050. 50A |    | 21A011015 | 屋内一般配管 15A             |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A011020 | 屋内一般配管 20A             |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A011025 | 屋内一般配管 25A             |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A011032 | 屋内一般配管 32A             |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A011040 | 屋内一般配管 40A             |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A011050 | 屋内一般配管 50A             |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A011065 | 屋内一般配管 65A             |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A011080 | 屋内一般配管 80A             |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A011100 | 屋内一般配管 100A            |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A012015 | 機械室・便所配管 15A           |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A012020 | 機械室・便所配管 20A           |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A012025 | 機械室・便所配管 25A           |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A012032 | 機械室・便所配管 32A           |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A012040 | 機械室・便所配管 40A           |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A012050 | 機械室・便所配管 50A           |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A012065 | 機械室・便所配管 65A           |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A012080 | 機械室・便所配管 80A           |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A012100 | 機械室・便所配管 100A          |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A013015 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 15A  |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A013020 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 20A  |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A013025 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 25A  |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A013032 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 32A  |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A013040 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 40A  |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A013050 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 50A  |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A013065 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 65A  |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A013080 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 80A  |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A013100 | 屋外配管(架空・暗渠内、共同溝内) 100A |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A021015 | 屋内一般配管 15A             |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A021020 | 屋内一般配管 20A             |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A021025 | 屋内一般配管 25A             |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A021032 | 屋内一般配管 32A             |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A021040 | 屋内一般配管 40A             |    |      | 1.複合単価 |
|  |    | 21A021050 | 屋内一般配管 50A             |    |      | 1.複合単価 |

神戸市

# 標準単価チェックリスト

※「コードが重複」の場合も同じ様式です

機械 平成25年度6月単価

## 標準単価チェックリスト(金額が0円)

平成 年 月 日  
1頁

| フォルダ   | 標準単価コード   | 名称              | 仕様         | 施工条件 | 単位 | 素材単価 | 標準単価 | 単価種別 | 歩掛コード      | 乗率     | 労務係数   | シート属性   |
|--|-----------|-----------------|------------|------|----|------|------|------|------------|--------|--------|---------|
| 1. 共通工事 > A. 配管工事 > 01. 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 > 1. 杉/ 接合(管端防食継手) > 01. SDP-PA(給水・冷却水) > 1. 屋内一般配管 | 21A011015 | 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 屋内一般配管 15A |      | m  | 362  | 0    | 一般工事 | 1A1A011015 | 1.0300 | 0.0000 | 1. 複合単価 |

神戸市

# 複合単価計算表

機械 平成25年度6月単価

## 複合単価計算表

平成 年 月 日  
1頁

1. 共通工事 > A. 配管工事

| 種別                   | 複合コード     | 基礎単価コード    | 歩掛コード      | 複合単価        | 計算結果        | 式  | 計   | 算 | 式 | シート属性   |
|----------------------|-----------|------------|------------|-------------|-------------|----|---|---|---|---------|
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A011015 | 1A01051015 | 1A1A011015 | 2,660.0000  | 2,668.0000  | 04 | (382*2.05+(17100*0.089*1.08)*1.1)*1+1.03  |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A011020 | 1A01051020 | 1A1A011020 | 2,920.0000  | 2,926.0000  | 04 | (395*2.05+(17100*0.1*1.08)*1.1)*1+1.03    |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A011025 | 1A01051025 | 1A1A011025 | 3,720.0000  | 3,728.0000  | 04 | (547*2.05+(17100*0.123*1.08)*1.1)*1+1.03  |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A011032 | 1A01051032 | 1A1A011032 | 4,720.0000  | 4,722.0000  | 04 | (740*2.05+(17100*0.151*1.08)*1.1)*1+1.03  |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A011040 | 1A01051040 | 1A1A011040 | 5,270.0000  | 5,272.0000  | 04 | (852*2.05+(17100*0.166*1.08)*1.1)*1+1.03  |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A011050 | 1A01051050 | 1A1A011050 | 6,800.0000  | 6,801.0000  | 04 | (1160*2.05+(17100*0.208*1.08)*1.1)*1+1.03 |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A011065 | 1A01051065 | 1A1A011065 | 9,110.0000  | 9,112.0000  | 04 | (1630*2.05+(17100*0.271*1.08)*1.1)*1+1.03 |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A011080 | 1A01051080 | 1A1A011080 | 10,400.0000 | 10,477.0000 | 04 | (1920*2.05+(17100*0.307*1.08)*1.1)*1+1.03 |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A011100 | 1A01051100 | 1A1A011100 | 13,800.0000 | 13,849.0000 | 04 | (2650*2+(17100*0.401*1.08)*1.1)*1+1.03    |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A012015 | 1A01051015 | 1A1A012015 | 3,110.0000  | 3,116.0000  | 04 | (355*2.4+(17100*0.107*1.08)*1.1)*1+1.03   |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A012020 | 1A01051020 | 1A1A012020 | 3,480.0000  | 3,487.0000  | 04 | (395*2.4+(17100*0.12*1.08)*1.1)*1+1.03    |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A012025 | 1A01051025 | 1A1A012025 | 4,440.0000  | 4,448.0000  | 04 | (547*2.4+(17100*0.148*1.08)*1.1)*1+1.03   |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A012032 | 1A01051032 | 1A1A012032 | 5,610.0000  | 5,616.0000  | 04 | (740*2.4+(17100*0.181*1.08)*1.1)*1+1.03   |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A012040 | 1A01051040 | 1A1A012040 | 6,270.0000  | 6,270.0000  | 04 | (852*2.4+(17100*0.199*1.08)*1.1)*1+1.03   |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A012050 | 1A01051050 | 1A1A012050 | 8,090.0000  | 8,098.0000  | 04 | (1160*2.4+(17100*0.25*1.08)*1.1)*1+1.03   |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A012065 | 1A01051065 | 1A1A012065 | 10,800.0000 | 10,829.0000 | 04 | (1630*2.4+(17100*0.325*1.08)*1.1)*1+1.03  |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A012080 | 1A01051080 | 1A1A012080 | 12,400.0000 | 12,446.0000 | 04 | (1920*2.4+(17100*0.368*1.08)*1.1)*1+1.03  |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A012100 | 1A01051100 | 1A1A012100 | 16,400.0000 | 16,478.0000 | 04 | (2650*2.4+(17100*0.481*1.08)*1.1)*1+1.03  |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A013015 | 1A01051015 | 1A1A013015 | 2,140.0000  | 2,143.0000  | 04 | (355*1.8+(17100*0.08*1.1)*1.1)*1          |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A013020 | 1A01051020 | 1A1A013020 | 2,400.0000  | 2,403.0000  | 04 | (395*1.8+(17100*0.09*1.1)*1.1)*1          |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A013025 | 1A01051025 | 1A1A013025 | 3,070.0000  | 3,072.0000  | 04 | (547*1.8+(17100*0.111*1.1)*1.1)*1         |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A013032 | 1A01051032 | 1A1A013032 | 3,890.0000  | 3,890.0000  | 04 | (740*1.8+(17100*0.136*1.1)*1.1)*1         |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A013040 | 1A01051040 | 1A1A013040 | 4,330.0000  | 4,336.0000  | 04 | (852*1.8+(17100*0.149*1.1)*1.1)*1         |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A013050 | 1A01051050 | 1A1A013050 | 5,600.0000  | 5,605.0000  | 04 | (1160*1.8+(17100*0.187*1.1)*1.1)*1        |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A013065 | 1A01051065 | 1A1A013065 | 7,520.0000  | 7,523.0000  | 04 | (1630*1.8+(17100*0.244*1.1)*1.1)*1        |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A013080 | 1A01051080 | 1A1A013080 | 8,640.0000  | 8,647.0000  | 04 | (1920*1.8+(17100*0.276*1.1)*1.1)*1        |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A013100 | 1A01051100 | 1A1A013100 | 11,500.0000 | 11,560.0000 | 04 | (2650*1.8+(17100*0.361*1.1)*1.1)*1        |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A021015 | 1A01052015 | 1A1A021015 | 2,790.0000  | 2,796.0000  | 04 | (485*1.95+(17100*0.089*1.08)*1.1)*1+1.03  |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A021020 | 1A01052020 | 1A1A021020 | 3,120.0000  | 3,126.0000  | 04 | (515*1.95+(17100*0.1*1.08)*1.1)*1+1.03    |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A021025 | 1A01052025 | 1A1A021025 | 3,990.0000  | 3,999.0000  | 04 | (710*1.95+(17100*0.123*1.08)*1.1)*1+1.03  |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A021032 | 1A01052032 | 1A1A021032 | 5,080.0000  | 5,081.0000  | 04 | (957*1.95+(17100*0.151*1.08)*1.1)*1+1.03  |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A021040 | 1A01052040 | 1A1A021040 | 5,680.0000  | 5,682.0000  | 04 | (1100*1.95+(17100*0.166*1.08)*1.1)*1+1.03 |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A021050 | 1A01052050 | 1A1A021050 | 7,360.0000  | 7,364.0000  | 04 | (1500*1.95+(17100*0.208*1.08)*1.1)*1+1.03 |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A021065 | 1A01052065 | 1A1A021065 | 9,900.0000  | 9,902.0000  | 04 | (2107*1.95+(17100*0.271*1.08)*1.1)*1+1.03 |   |   | 1. 複合単価 |
| 水道用* 1/2φポリプロピレン管 鋼管 | 21A021080 | 1A01052080 | 1A1A021080 | 11,400.0000 | 11,404.0000 | 04 | (2480*1.95+(17100*0.307*1.08)*1.1)*1+1.03 |   |   | 1. 複合単価 |

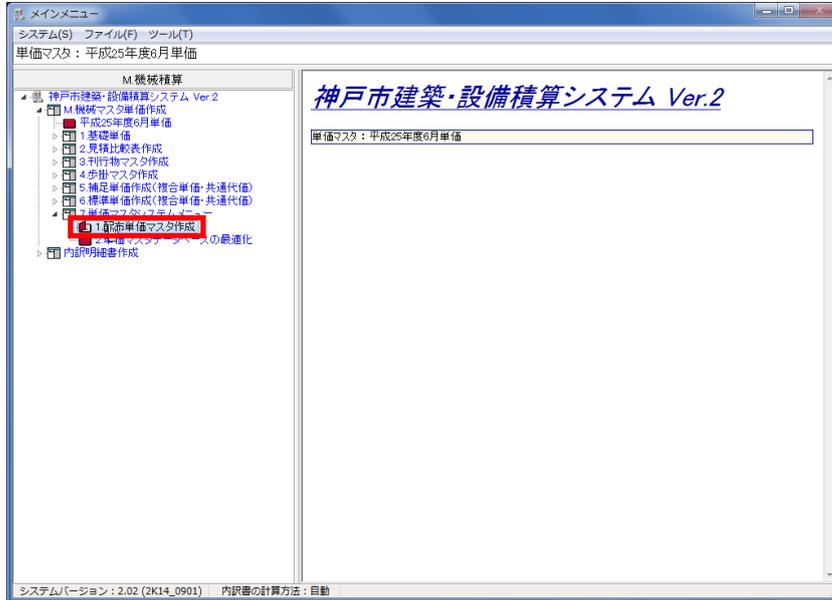
神戸市



## § 11. 配布単価の作成

### 1. 配布単価作成・金抜き処理画面の表示

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[7. 単価マスタシステムメニュー]→[2. 配布単価マスタ作成]をクリックすると、配布単価作成・金抜き処理画面が表示されます。



## 2. 配布単価作成手順

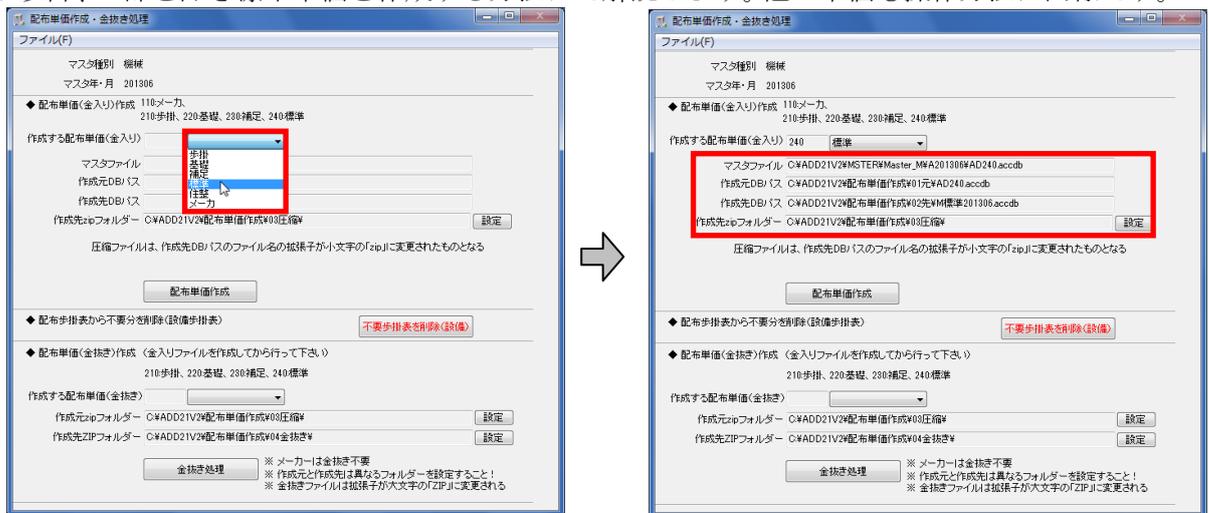
配布単価作成・金抜き処理画面にて、以下の操作を行って下さい。

※以降、当システムがCドライブの中のADD21V2フォルダー（C:¥ADD21V2¥）にセットアップされている前提で解説いたします。Dドライブや別のフォルダーにインストールした場合などは適宜読み替えて下さい。（DドライブのADD21V2フォルダーの場合→D:¥ADD21V2¥）

①[作成する配布単価（金入り）]の項目を選択して下さい。

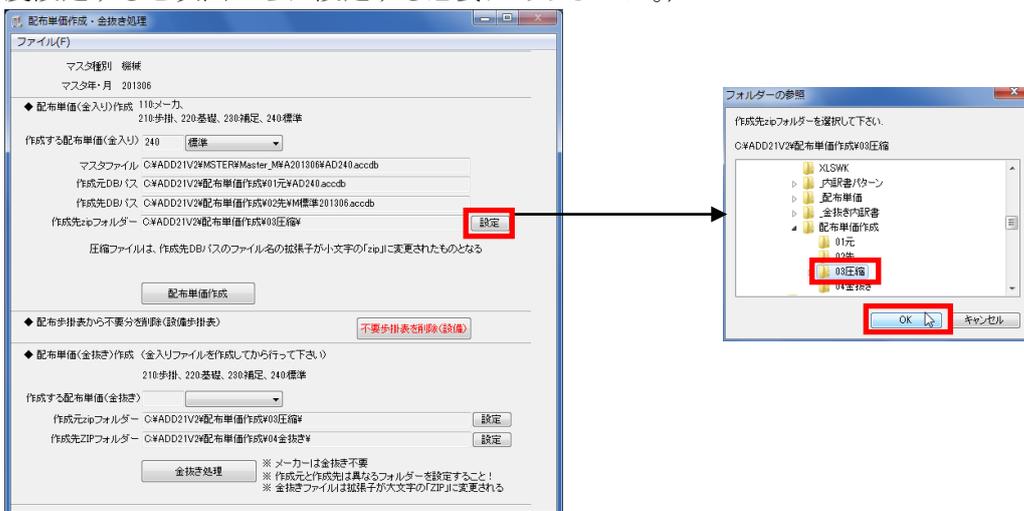
選択すると、「マスタファイル」・「作成元DBパス」・「作成先DBパス」の設定が自動的に行われます。

※以降、一部を除き標準単価を作成する方法にて解説します。他の単価も操作方法は同様です。

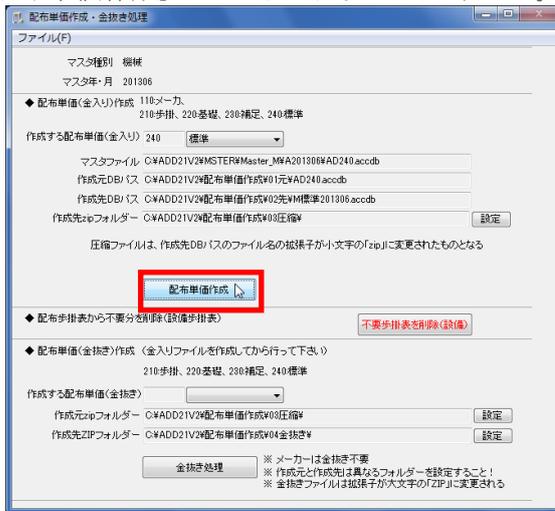


②作成先 zip フォルダーを「C:¥ADD21V2¥配布単価作成¥03 圧縮¥」に設定されていることを確認して下さい。設定が異なる場合は、「設定」ボタンをクリックし、[Cドライブ]→[ADD21V2]フォルダー→[配布単価作成]フォルダー→[03 圧縮]フォルダーを選択し、[OK]ボタンをクリックして再設定して下さい。

（一度設定すると次回からは設定する必要はありません。）



③ [配布単価作成] ボタンをクリックして下さい。



④ 以下のメッセージが表示されましたら、作成先 ZIP フォルダに設定されているフォルダ (C:\¥ADD21V2¥配布単価作成¥03 圧縮¥) に金入りの配布単価ファイルが作成されています。

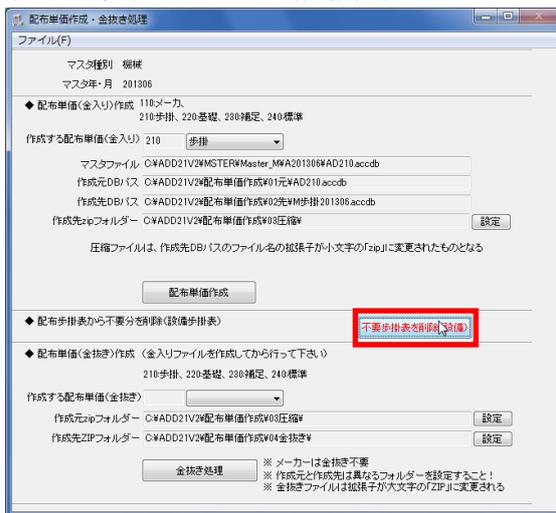


※ 歩掛作成時に不要な歩掛表のデータを削除する場合は、⑤へ進んで下さい。

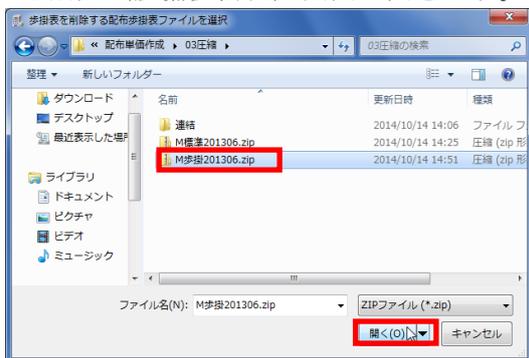
不要な歩掛表のデータを削除しない場合は、⑩ (金入り配布単価ファイルを元に金抜き配布単価ファイルの作成を行う) へ進んで下さい。

⑤ 歩掛の金入り配布歩掛表ファイルから不要な歩掛表のデータを削除します。

[不要な歩掛表を削除 (設備)] ボタンをクリックして下さい。

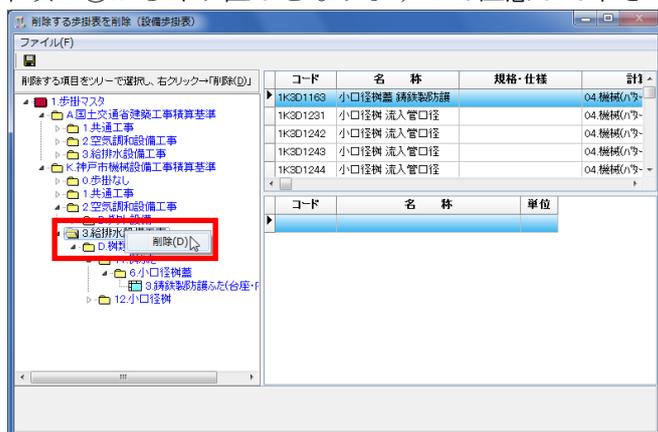


- ⑥ ④で作成した配布単価ファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックすると、削除する歩掛表を削除（設備歩掛表）画面が開きます。



- ⑦削除する歩掛表を削除（設備歩掛表）画面で、参考歩掛が格納されているフォルダーを選択し、右クリック→[削除(D)]をクリックすると、参考歩掛が格納されているフォルダーが削除されます。

※ 下記のイメージは解説のための参考です。必要なものを削除して保存すると元に戻せなくなり、本項の①からやり直しとなりますので注意して下さい。

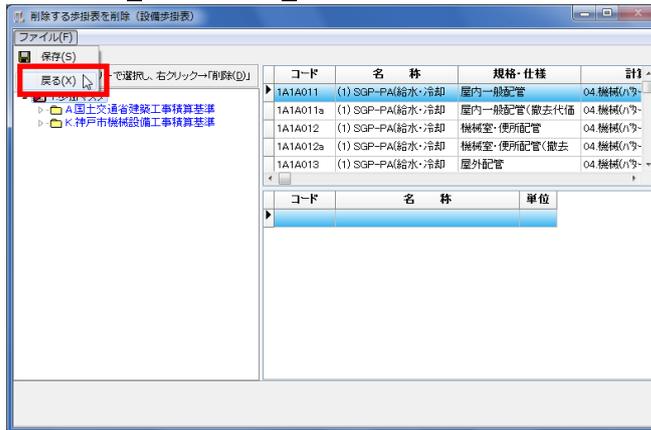


- ⑧[保存]ボタンをクリックして下さい。

※保存作業を行わないと、配布歩掛表ファイルに結果が反映されません。



⑨ [ファイル(F)]→[戻る(X)]をクリックし、配布単価作成・金抜き処理画面に戻って下さい。



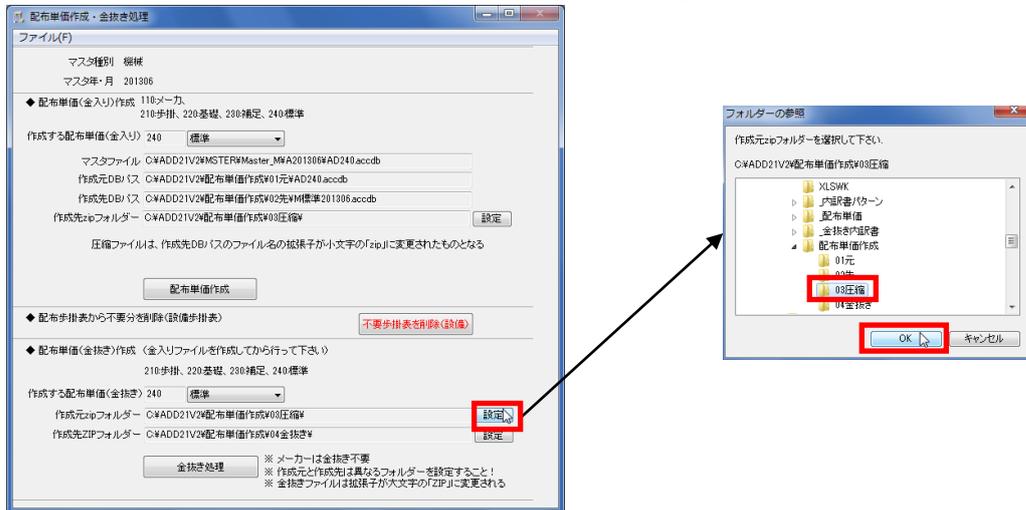
※この工程までで金入り配布単価ファイルの作成が完了しました。この金入り配布単価ファイルを元に金抜き配布単価ファイルを作成します。

金入り配布単価ファイルを元に金抜き配布単価ファイルを作成します。

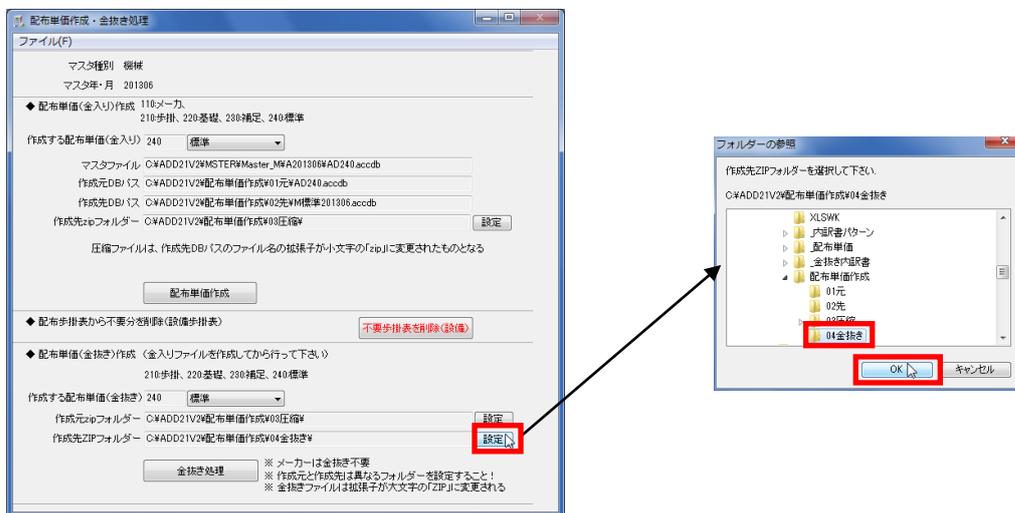
⑩ 「作成する配布単価 (金抜き)」項目を選択して下さい。



- ①作成元 ZIP フォルダを「C:\¥ADD21V2¥配布単価作成¥03 圧縮¥」に設定されていることを確認して下さい (②で設定したフォルダと同じ場所になるように)。設定が異なる場合は、[設定] ボタンをクリックし、[C ドライブ]→[ADD21V2 フォルダ]→[配布単価作成フォルダ]→[03 圧縮フォルダ]を選択し、[OK] ボタンをクリックして再設定して下さい。  
(一度設定すると次回からは設定する必要はありません。)



- ②作成先 ZIP フォルダを「C:\¥ADD21V2¥配布単価作成¥04 金抜き¥」に設定されていることを確認して下さい。設定が異なる場合は、「設定」ボタンをクリックし、[C ドライブ]→[ADD21V2] フォルダ→[配布単価作成] フォルダ→[04 金抜き] フォルダを選択し、[OK] ボタンをクリックして再設定して下さい。  
(一度設定すると次回からは設定する必要はありません。)



⑬[金抜き処理]ボタンをクリックして下さい。



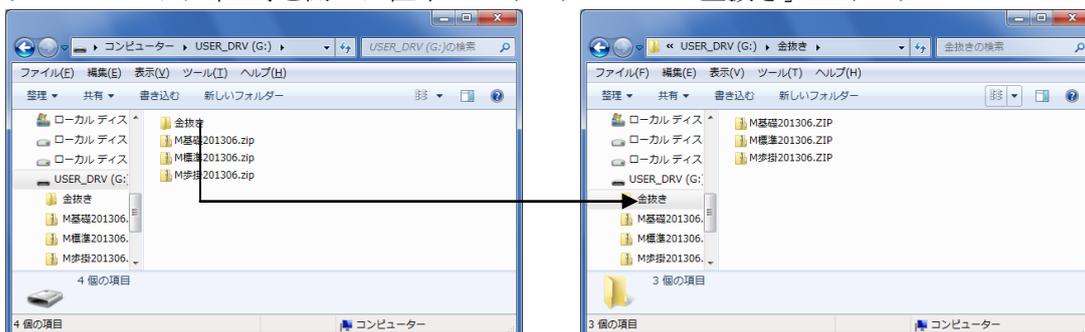
⑭以下のメッセージが表示されましたら、作成先 ZIP フォルダに設定されているフォルダ (C:\¥ADD21V2¥配布単価作成¥04 金抜き¥) に金抜きの配布単価ファイルが作成されています。



⑮金入り配布単価ファイル・金抜き配布単価ファイルをそれぞれ CD-R や USB フラッシュメモリー等のリムーバブルメディアに保存し、各部署へ配布して下さい。

※「金抜き配布単価ファイル」と「金入り配布単価ファイル」のファイル名は同じものになります。リムーバブルメディア等に保存する場合は、リムーバブルメディア等を開いた直下に金入り配布単価ファイルを保存し、リムーバブルメディア等を開いた直下に「金抜き」フォルダを作成し、その中に金抜き配布単価ファイルを保存して下さい。

リムーバブルメディア等を開いた直下のフォルダ 「金抜き」フォルダ



※「金抜き配布単価ファイル」と「金入り配布単価ファイル」を間違えないように注意して下さい。  
 ※「金抜き配布単価ファイル」は「金入り配布単価ファイル」よりもファイルサイズが小さくなります。  
 ※配布単価ファイルのファイル名は絶対に変更しないで下さい。積算システムで読み込みできなくなります。

## § 12. 単価マスターデータベースの最適化

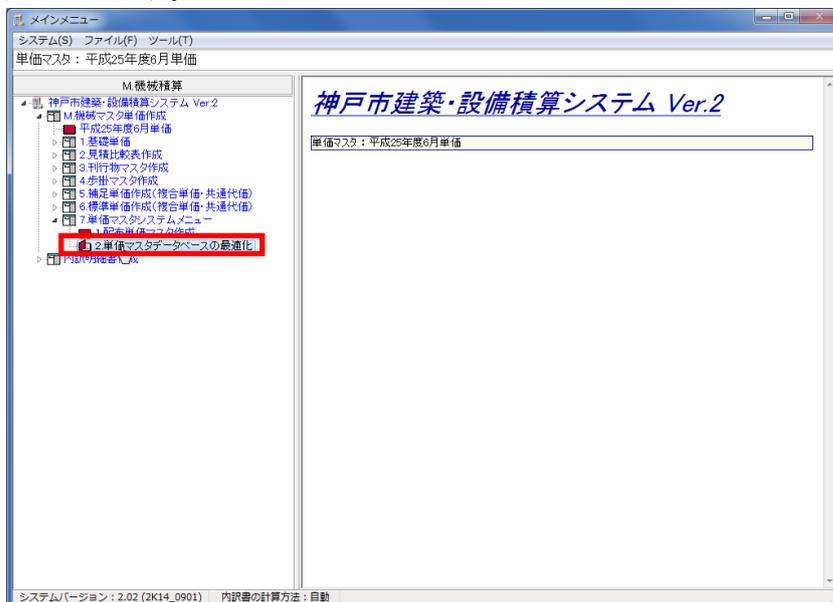
単価マスターデータベースは追加・編集・削除を行うと、どんどんファイル容量が大きくなり、肥大化します。(Access データベースの仕様により、変更・削除前の不要なデータを、使用者が見えない場所に持たせるため。)

ファイルの肥大化を防止してデータの破損を防ぐため、単価マスタに大きな変更を行ったときや、何度も再計算を行った時は、単価マスターデータベースの最適化を行って下さい。

※万一、データベースが破損してエラーメッセージが表示された時などにも、単価マスターデータベースの最適化処理を行うことにより、正常な状態に復旧できる場合もあります。

### 1. マスタデータベース最適化手順

- ①メインメニューの[M. 機械マスタ単価作成]→[8. 単価マスタシステムメニュー]→[2. 単価マスターデータベースの最適化]をクリックすると、マスタデータベース最適化画面プログラム画面が表示されます。



- ②最適化を行いたいマスタのボタンをクリックすると最適化処理が行われます。

※どのマスタから最適化処理を行っていただいても支障ありません。

※万一、データベースが破損してエラーメッセージが表示された場合は、該当するマスタデータのボタンをクリックして下さい。



### § 13. バージョン 1.XX 形式配布単価ファイルの変換

積算システムバージョン 1.XX 形式の配布単価ファイルは、バージョン 2 ではそのまま利用することは出来ないため、変換プログラムにて変換を行います。

#### 【注意】

誤配布防止のため、配布単価ファイルの変換作業時は、作業中の配布単価ファイルが金入りか金抜きかを確実に把握しておいて下さい。

#### 1. バージョン 1.XX 形式配布単価ファイルの変換手順

①単価作成システム及び積算システムを起動している場合は、終了して下さい。

②バージョン 1.XX 形式の配布単価ファイルを変換先とは異なる場所の任意のフォルダーに予め格納しておいて下さい。  
(本解説では、バージョン 1.XX 形式の配布単価ファイルは C ドライブ内の「配布単価変換」フォルダー内の「バージョン 1」フォルダー内に格納しているものとします。なお、バージョン 1.XX 形式の配布単価ファイルは、CD-R 等に記録してあっても問題ありません。)

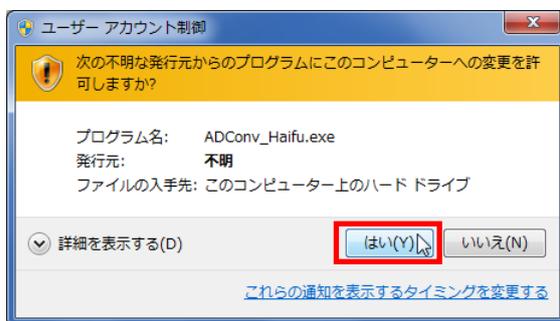
③「内訳書ファイルの変換」ショートカットアイコンをダブルクリックして下さい。

(ショートカットアイコンは、デスクトップまたはスタートメニュー→すべてのプログラム→神戸市建築・設備積算システム Ver. 2 にあります。)

※Windows Vista 以降の動作環境の場合、「配布単価ファイルの変換」プログラムのショートカットアイコンに「互換モードの設定」が必要です。〈本書 P4〜〉を参照して下さい。

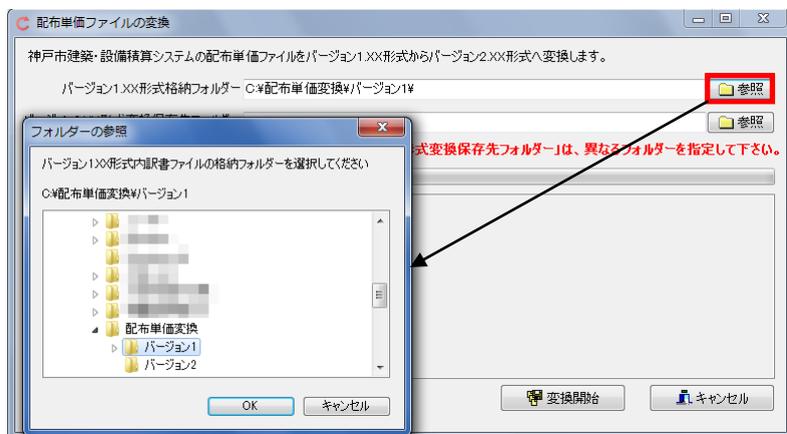


④Windows Vista 以降の OS 環境の場合、互換性設定を行っているため、ユーザー アカウント制御画面が表示されますので、「はい(Y)」ボタンをクリックして下さい。  
(環境設定の状態により表示されない場合もあります。)



⑤バージョン 1. XX 形式内訳書ファイルが格納されているフォルダーを設定して下さい。

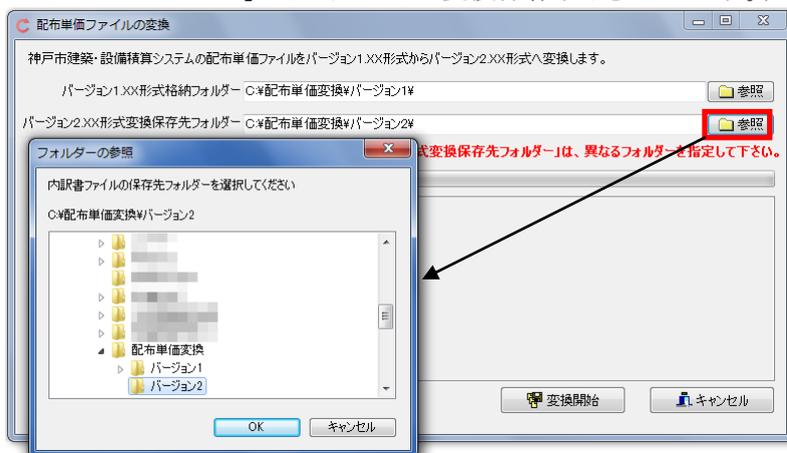
[参照] ボタンをクリックするとフォルダーの参照画面が表示されますので、正しいフォルダーを選択して下さい。



⑥バージョン 2.XX 形式内訳書ファイル変換保存先フォルダーを設定して下さい。

[参照] ボタンをクリックするとフォルダーの参照画面が表示されますので、正しいフォルダーを選択して下さい。

(本解説では、バージョン 2.XX 形式変換保存先フォルダーは、Cドライブ内の「配布単価変換」フォルダー内の「バージョン 2」フォルダー内へ変換保存するものとします。)

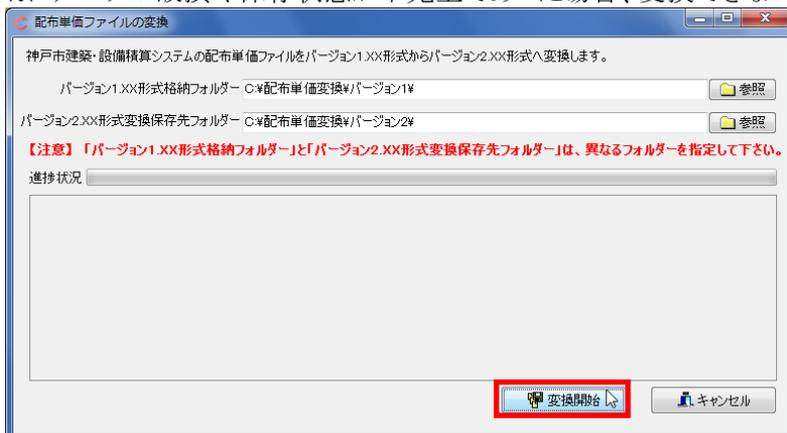


⑦[変換開始]ボタンをクリックすると、変換処理を開始します。

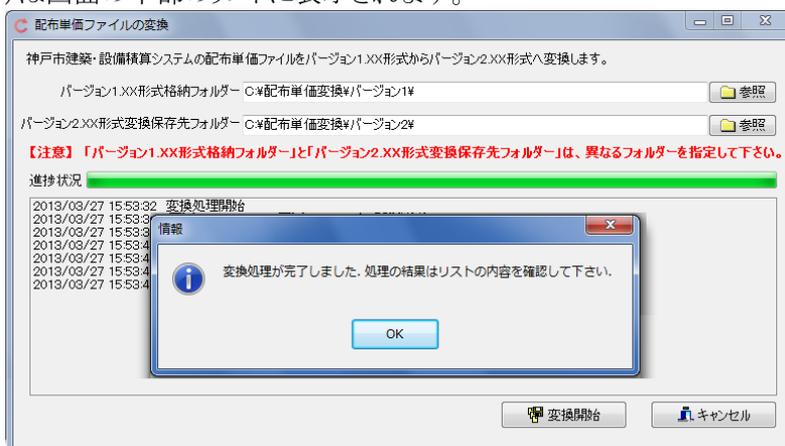
進捗状況や変換結果が画面下部に表示されますので終了するまでしばらくお待ち下さい。

※ バージョン 1. XX 形式の配布単価ファイルが複数ある場合、一括変換できます。

※ データの破損や保存状態が不完全であった場合、変換できない場合があります。



⑧変換処理が完了すると、メッセージが表示されます。変換処理結果の詳細(変換成功・変換失敗の理由等)は画面の下部のリストに表示されます。



## § 14. F A Q (よくある質問と回答)

Q 1. Windows のファイル格納先を示す文で「:」や「¥」記号の示す意味は？

A 1. 「:」記号は、ドライブ名の後ろに付く記号です。「C ドライブ」の場合は「C:」となります。また、「¥」記号は、フォルダー階層の区切り文字を意味します。

「C ドライブ」の直下 (C ドライブのルートフォルダー) は「C:¥」となります。

また、積算システムの規定のインストール先は (C ドライブの中の ADD21V2 フォルダー) は、「C:¥ADD21V2」となります。

また、「C ドライブ」の中の「ADD21V2」フォルダーの中の「My\_SEKKEISYO」フォルダーの中にある内訳書ファイル「〇〇改修工事.zip」は、「C:¥ADD21V2¥My\_SEKKEISYO¥〇〇改修工事.zip」となります。

なお、ネットワーク共有フォルダーの場合は、¥¥[コンピューター名]¥[共有フォルダー名]¥という形式になります。

(例) ネットワーク上の「SV1」というサーバの「共有」という名前の共有フォルダーの中の「test.xls」という Excel ファイルの場合 → ¥¥SV1¥共有¥test.xls

Q 2. 単価マスタファイルはどこに保存されていますか？

A 2. 積算システムインストールフォルダー→「MSTER」フォルダー→「MASTER\_M」フォルダー (機械の場合) →「年月フォルダー」保存されています。

※Windows のファイル格納先を示す文で「:」や「¥」記号の示す意味は Q 1 を参照。

(例) 積算システムが C ドライブ内の ADD21V2 フォルダーにインストールされている場合における、平成 25 年 (2013 年) 6 月標準単価マスタの格納先。

(C:¥ADD21V2¥MSTER¥MASTER\_M¥201306)

単価マスタ新規作成時に設定した内容 (頭文字・西暦年・月) 組み合わせになります。



Q 3. 単価マスタのバックアップ方法は？ また、バックアップしたファイルを復元する方法は？

A 3. バックアップは、単価マスタファイルの保存されているフォルダーを他のハードディスクなどに手作業でコピーして下さい。

(全部バックアップしたい場合は、C:¥ADD21V2¥MSTER¥MASTER\_M を全てコピーして下さい。)

ファイル容量が大きいので、大容量のディスクにバックアップ保存して下さい。

また、バックアップファイルの復元は、バックアップしたファイルを同じフォルダーに手作業でコピーして下さい。

Q 4. メインメニューの[歩掛マスタ作成]とは何をするためのものですか？

A 4. 電気・機械単価マスタ作成作業で利用するものです。建築単価マスタ作成には使用しません。(現状、建築単価マスタ作成作業には対応していません。)

※歩掛マスタとは、労務費や労務経費に掛ける乗率・その他経費率などを掛けて、標準単価で歩掛コードを割り当ての上、歩掛を掛けた材工共になった「複合単価」を作成するためのものです。建築単価マスタ作成作業では、共通代価表で材料費・労務費・その他経費率などを掛けるという方法で歩掛を組むため、基本的に作業方法が異なります。

Q 5. なぜ、設備単価マスタ作成に関する項目が表示されているのか？ 設備単価作成システムでしか使用しない項目を建築単価マスタ作成時に非表示にすることは出来ないのか？

A 5. 当システムは、建築単価作成だけでなく、設備（電気及び機械）単価マスタ作成でも使用されています。設備単価マスタ（特に電気単価マスタ）は旧設備単価作成システムの仕様によりコード体系が厳格に規定されており、建築単価マスタの作成よりも自由が利かない部分があります。そのようなシステム仕様が現システムにも継承されているため、建築単価作成においても値を設定しなければ動作や計算等に影響を及ぼす項目となっていますので、非表示にすることは出来ません。

Q 6. 入力項目を変更したが、保存（計算）ボタンが使用できません（グレー表示になっている）。

A 6. 入力項目を変更後、Enter キーを押して確定し、次の入力項目へ移動して下さい。

Q 7. 基礎単価マスタの既存の単価コードを変更した場合、補足単価マスタや標準単価マスタの共通代価歩掛表で引き込みを行っている基礎単価コードはどうなりますか？

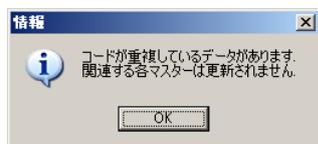
(補足単価マスタの既存の単価コードを変更した場合、標準単価マスタの共通代価歩掛表で引き込みを行っている補足単価コードはどうなりますか？)

A 7. 変更後の単価コードに自動的に置き換わります。但し、Q 9 のように重複単価コードがある場合は、重複を解消するまで自動的に置き換わりません。必ず、他の単価マスタの場合) の変更作業を行う前にコードの重複を解消して下さい。

Q 8. 建築単価マスタ作成で、シートテキストで入力した文字列を単価名称に連動は出来ますか？

A 8. 連動は出来ません。名称・規格・仕様の連動は、電気・機械単価のフォルダー及びシート構造で利用できますが、建築単価マスタのフォルダー及びシート構造では仕様上問題が発生いたします(フォルダー構造を更に細分化し、フォルダーに単価名称、シートに単価規格・仕様を割り当て直すなど、単価マスタの抜本的な構造変更が必要になります。また、連動処理を行うと、一部のフォルダー名称の変更により、その下層に入っている歩掛シートの名称への影響が出るなど、メンテナンスの手間が増大する場合がありますので、現状は連動処理を行っていません)。お手数ですが、シートテキストを入力後、コピー(ctrl+c キー)で Windows のクリップボードに記憶させ、名称を入力時に貼り付け(ctrl+v キー)して下さいますようお願いいたします。

Q 9. 各マスタの更新作業が終わって作業を終了する際、以下のメッセージが表示されます。対策方法は？



A 9. 重複する単価コードが存在するため、単価コードに自動的に置き換え作業が行えないことをお知らせするメッセージです。

各マスタの印刷画面で、「チェックリスト出力」のチェックボックスにチェックを入れ、「コードが重複」を選択の上、チェックリストを出力して確認の上、重複があるコードを解消して下さい。(必ず、他の単価マスタの変更作業を行う前にコードの重複を解消して下さい。)

Q10. 刊行物マスタのデータ移行作業時、CD からコピーした固定長テキストファイルと別に、作業フォルダーに「001\_????」、「002\_????」(????は固定長テキストファイル名) というように、固定長テキストファイル名の前に数字が付加されたファイルが作成されます。これは何ですか？

A10. 刊行物の固定長テキストファイルがフロッピーディスクに収録されていた時代では、フロッピーディスクの容量の都合上1枚に収まらないため、2枚に分かれてファイルが収録されていたときは、2枚とも同じファイル名で収録されていました。そのため、ファイル名が重複しないようにシステム上で「001\_」「002\_」を自動付加する処理をしています。その時の名残です。

Q11. 刊行物単価のテキストファイルは、CSV形式の読み込みは出来ますか？

A11. CSV形式の読み込みは出来ません。

Q12. 刊行物単価のテキストファイルは、名称有り・名称無しとも読み込み可能ですか？

A12. 名称有り・名称無しとも読み込み可能です。名称無しにした場合、基礎単価に反映した際に名称が表示されないため、本当に正しい刊行物単価が取り込まれたかを確認することは困難です。費用上の理由など、特別な理由がない場合は名称有りの固定長テキストファイルを取り込みましていただくことを推奨いたします。

Q13. 補足単価及び標準単価の似たような単価の共通代価歩掛を、一度に置き換えたい。

A13. 一度に置き換える機能はありません。お手数ですが、1歩掛シート毎に手作業で変更して下さい。

※他の歩掛シートをツリービュー上で[コピー]→[貼り付け]を行い、単価コードを変更し、名称及び規格・仕様などの変更を行った上で、代価歩掛の変更を行う方が容易な場合もありますので、作業を行いやすい方法で処理して下さい。

Q14. 今回の単価と以前の単価をシステム上で見比べたい。

A14. 単価マスタの選択(P21参照)にて、比較する作業単価マスタを開き直し、同じ単価コードを見比べて下さい。(システム上で同時に表示する機能はありません。単価表の印刷物などを併用して下さい。)

Q15. 配布単価マスタの作業フォルダー(「01元」・「02先」…等)を変更することは出来ますか？

A15. 出来ません。

Q16. 配布単価を直接フロッピーディスクに書き出すことは出来ますか？

A16. 一応可能ですが、推奨いたしません。確実に作業を行うことや無用なトラブルを防止するため、必ず本取扱説明書の手順で作業を行って下さい。

フロッピーディスクは容量が少なくかつ低速なメディアのため、稀にファイルの保存に失敗する場合があります。

なお、リムーバブルメディア等にコピーする場合も同様に、一旦ハードディスクに書き出してからコピーするようにして下さい。

Q17. 印刷処理に失敗します（エラーメッセージが表示されます）。

A17. ご使用のパソコンのシステムにプリンターが設定されていない場合、印刷に失敗します。

プリンターを必ず1台はシステムに設定して下さい。

プリンターを設定済みの場合は、コンピューターを再起動して様子を見て下さい。

※プリンターを接続していない場合でも、ダミーのプリンターで構いませんので、必ず1台はプリンターを設定して下さい。

Q18. Excel の計算処理・印刷処理で失敗します。

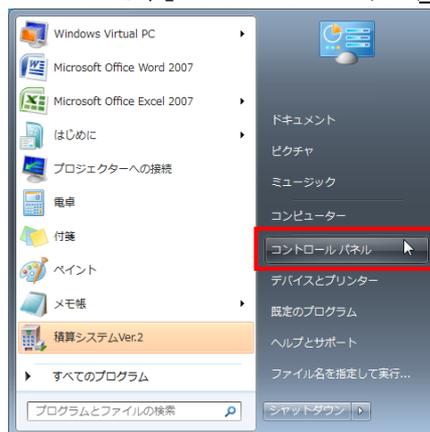
A18. Excel2007 の場合、SP3（サービスパック 3）以降、Excel2010 の場合は SP1 以降が適用されていることを確認して下さい。

※サービスパックとは、マイクロソフト社が Microsoft Office 製品の不具合解消や機能追加等を行うために無料で配布しているプログラムです。Microsoft Update やマイクロソフト社のサイトのダウンロード関連のページからダウンロードして適用して下さい。

※ 上記のサービスパックが適用されているにもかかわらず、正常に動作しない場合

①実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。

②[スタート]メニューから、[コントロール パネル(C)]をクリックして下さい。

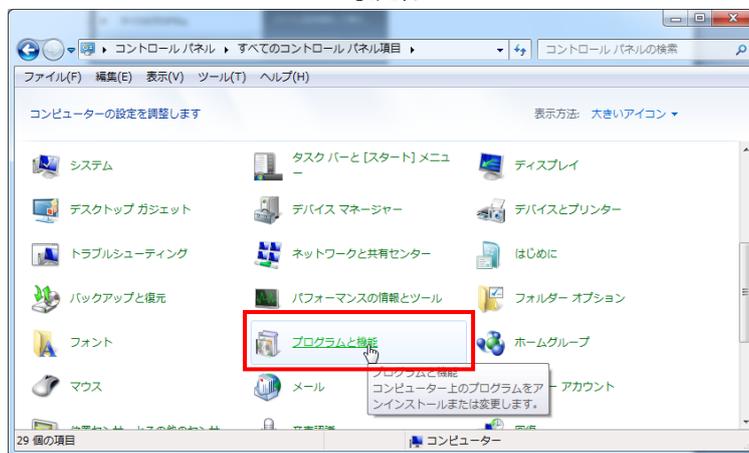


※Windows のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

- ③コントロールパネルの「プログラム」→「プログラムのアンインストール」または「プログラムと機能」をクリックして下さい。

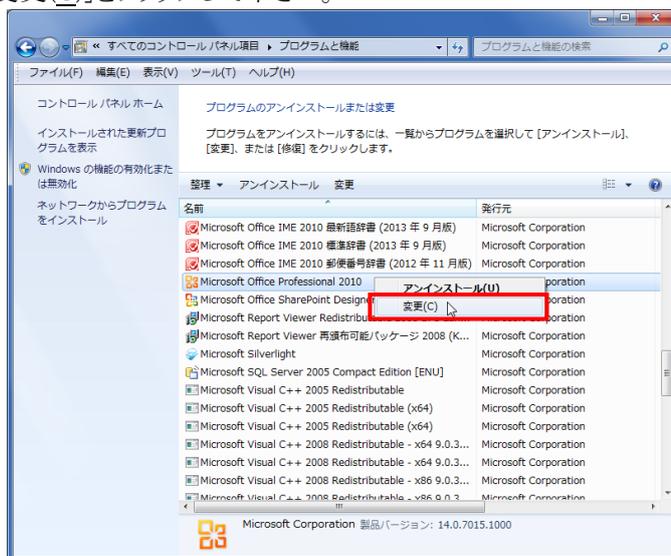


または



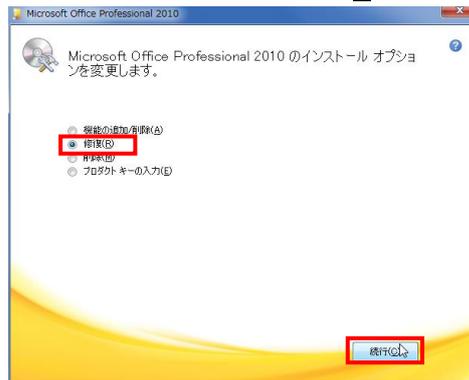
※Windows のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

- ④一覧から「Microsoft Office (エディション名・バージョン番号)」をクリックして選択し、右クリック→「変更(C)」をクリックして下さい。



※Windows のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

⑤インストールオプションの選択から[修復(R)]を選択し、続行(C)ボタンをクリックして下さい。



※Microsoft Office のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

⑥修復作業が完了するまでしばらくお待ち下さい。



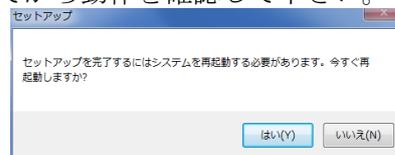
※Microsoft Office のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

⑦修復が完了しましたら、[閉じる(C)]ボタンをクリックして画面を閉じて下さい。



※Microsoft Office のバージョン及び設定により、表示方法が異なります。

⑧システムの再起動を促すメッセージが表示された場合は、[はい(Y)]ボタンをクリックし、再起動してから動作を確認して下さい。



それでも正常に動作しない場合は、Microsoft Office をコンピューターから一旦削除し、再インストールしてから動作を確認して下さい。